

貞操逆転アズールレーンに転移しちゃいました？

ナガチィ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

主人公がやり込んでいるアズールレーンというゲームの世界に転移して、イチヤイチャするお話です

ついでに貞操逆転世界というオマケ付きです。主人公がヒロインポジションになるのかな？

キャラ崩壊が沢山しています。許せる読者様向けです…ね？

「これってもしかして貞操逆転アズールレーン？」のタイトルから変えました。よろしく願いしますね

# 目次

転移前

行方不明者多数 | 1

オープン基地で生活開始

ようこそ！貞操逆転アズールレーンの世界へ！ | 11

えっ？えっ？ | 22

うわ〜 | 31

……はっ？分からない？ | 41

新たな扉を開いてしまった…… | 54

???すみませんがどちら様ですか？ | 65

おお〜。絶景！絶景！ | 77

秘書KAN達 | 89

執務室行くわ | 100

スツゲ〜 | 115

トレーニングう〜っ！ | 128

えええ…？ | 142

耳掃除するよ？ | 153

えっ？最高なんですけど♡ | 166

集チユー治療室？ | 176

これが、極悪癒し刑…。ゴクリ…っ | 192

ほおあ〜っ♡ | 205

ふう〜ん…。……えっ？今、なんて…？ | 220

キタコレっ♡ | 236

やっぱり凄いよ♡ | 252

…んっ？えっ…？ちよっ… | 266

ええ…?ここまで変わる?

なんだ?なんだ?

ヤっちゃったZ☆

うん、早いね…

### ドエム基地

最高の景色だぜっ!

えっ?あつ、うん…

…:…:えっ?はっ?

レベル高つかうい!!!

うっわ

建造…?にや?

### 再びオープン基地

ウソでしょ!!?

うん。知ってたけど…。ねえ?

うお〜っ!やっぱりかあ〜っ!!!

元帥会議い〜?

マジかよ…

ウエーい!

### 廃墟基地

効き過ぎじゃないかなあ?

いよっしや〜っ!!!

### 最終話

これはこれは…

566

552 537

522 506

487

468

452

436

420

404

389

374

355

340

324

309

294

280

## 転移前

### 行方不明者多数

キンコンカンコンとチャイムが鳴ってツルツルの頭をした男性が出て行く。そんな男性を2人の美女が追うのを見る男性がいた

やり取りを見る。決着がついたのを見る。そしてズボンの右ポケットから携帯電話を取り出して、とあるゲームのアイコンをタッチした

背景は食堂でしょうか？に、美女が笑顔で待っていたようだ。ツルツル頭の男性を追う美女2人とは比べられない位、美しい

男性は習慣なのででしょうか？とある事を呟いたのだった。しかもっ面をした美女。こう返したのだった

『重婚しないプレイヤーがいる？そう……。重婚しないなんてユルセないよねええええ!!』

「いやいや、そもそも重婚自体が許せないと思うのですが？ローン？」  
やっべえ。声出しちゃった。大丈夫か？…よし。大丈夫だな

あつ？どうも？教室内で大好きなゲーム、アズールレーン、略称は『アズレン』をしている令司でえす。…って誰に自己紹介してるんだろ？アホらし

アズレンってね？船を美少女や美女達に擬人化してるんだよ。そんな彼女らはKANISENって呼ばれているんだ。流石、変態の国の日本。凄いです。発想がね？それと服装もね？エチチなのよ…

敵さんがもちろん居てね？セイレーンって言われてる。色白な美女や美少女なんだよね。で、KANISEN達をポチポチして育成して戦闘させるんだよ。それ以外にも色々やり込み要素があるんだ

プレイヤーの俺は、指揮官や害虫、坊やとかご主人様とかとか。色んな呼ばれ方をしている。色々と刺さってます。はい。下半身にもね？はいb

ローンって本当に良い笑顔をするよね〜♡目の中のハイライトさ〜くん。仕事放棄しちやダメじゃなく〜い？いや？もしかして仕

事してるのか？可愛いから許す！キスやハグされてえ〜

ああ〜もう♡大鳳、赤城、隼鷹、ローン、ベルバ……ゲフンゲフン……。ベルファスト、アドミラルヒツパーなど……。全員美しい、可愛いいい！癒されるうう！流石、妻達だぜ〜！

雑な編成しても毎回勝ってくるし？何でなん？無能の指揮してると思うんだけど？嫌な顔をされた覚え無いんだよねえ？

それと、大破状態になったらキラキラして生き生きしだすのはナゼ？

撤退ボタンが実装されてないし？撤退ボタンはある。ってサイトに書いてあったのに？バグかな？しっかりとみんなのお胸様などを拝ませて貰ってますけどね？眼福ですもん。ありがとう

雑な編成の例。最大6人までの仕様です←

赤城、加賀、翔鶴、大鳳、アークロイヤル、プリンツオイゲン

綾波、夕立、ジャベリン、ラファイ、Z23、ユニコーン↑この時のアークロイヤルは仏の顔をしていたとか？この編成を組んだ時、『主人公組、頑張つてね』と言つて編成されたみんなは一斉に首を傾けた

睦月、如月、アークロイヤル、愛宕、神通、ジャンバル↑この時、アークロイヤルが出撃前で大破状態になっていてキラキラしていた。「大丈夫！はあはあ……。」と鼻血を出しながら本人が言っていたのでそのまま出撃させた

→帰つて来る頃にはアークロイヤルは小破状態になっていた。睦月を肩車していて如月と手を繋いでいた。もうワケが分からなくなった主人公の令司であった

☆☆☆

ぎゃ〜！ぎゃ〜！ざわざわ……

もう、授業が無いようで騒がしい。そしてとある？事で盛り上がるのだった

「おい、また行方不明者が出たぞ！僕も異世界転生、行けるかもしれん

「!信じてる!」

「ええ〜?また?なんか多いね?間隔も短くなってるじゃん。えっ?異世界転生とか信じてる系なの?うつけるんですけど〜。あつ、欲しかった素材ゲトwwwwありがと」

「えっ?ああ…、うん。アドバイス通りだったでしょ?」

「うん。でき?続きはあんたの家でやる?耳貸して?」

「あつ、はい。……っ?!?!」

「にししく。顔赤い……。よろしくね?えっ?本気だよ?いいじゃん……。好きだし。減ると思うけどね?あはっ」

そう最近、自分のクラスや他のクラスの連中が何故か行方不明になっている。カップルさん(陽ギャルと陰キャラ)は夜戦でもするんかね?どっちが主導権?って、ギャルだろうね?頑張りなよ?

そうしてポチポチしている際に親友が近づいてきて何か言ってきた

「令司。異世界転生?転移?しようぜっ!なっ?信じてるから!」

「……はい?すまんが、もう1回言つて貰つていい?親友よ?」

携帯画面から親友の顔を見る令司。指揮官としてポチポチするのが終わったようだ。ローンと呼ばれた美女が了解と言っていた。綺麗な敬礼をしていた

この親友、笑顔で変な事を言った……。絶対言った。もう一度聴こう……。クツソいい笑顔だなあ!イケメン親友ううう!

「おう!異世界転生?転移?しようぜっ!って言ったんだよ」

「おっ?おう…。聞き間違いじゃなかったのね?」

「間違いじゃないよ。隣のクラスの爽やかイケメンが1週間前から行方不明になってんのよ。で、そいつが行方不明になった理由ってのがどこかの異世界に行ってるって話さ!あつ、その異世界って、そいつのやってるゲームのどれかって話!どのゲーム内に行つたんだろ?指定出来るかな〜?出来たらいいな!」

ドヤ顔をして早口で喋る令司の親友。頭、大丈夫じゃないね?令司はポカンとする

うん……。ナニイッテルノカワカラナイ……。頭沸いちやってる

？あゝ。そういう系の小説好きだったね？

えっ？ゲーム内に異世界転生？転移？そんな事起きないでしょ？あつ、生きたまま異世界に行くから異世界転移が正解かな？転生って死んでるし……？

そのゲーム内に行けたとしてもさ？俺達って不審者扱いされると思うんだけど？どう見ても異質じゃん？異邦人じゃん？

「ええ〜っ？何でそんな話になってるの？ゲーム内に行くってあり得ないでしょ？分かる？小説とか読み過ぎじゃない？そういうの好きだけどさ……。その世界では不審者扱いされるでしょ？」

「分かってるよ？でもなあ〜？最近多いじゃん？んん〜？不審者扱い？されないでしょ？特典とか付くと思うし？」

「あ、はい」

こいつ、マジで信じてるわ。目、キラキラさせてるし。読み込み過ぎたか？

「あつ、そうそう。2週間前にも行方不明になってる奴がおるんよ。そいつと彼女さんも一緒に居なくなってるし？ノートにそれっぽい事が書いてあったし？ほれ、そのノートだぜ！コピーした奴だけどもめっちゃばら撒かれてたwww」

「ふ〜ん？どれどれ？タイトルは…『行きたいですっ！』ねえ？」

『ゲーム内の美少女や美女達と出会ってキヤツキヤウフフしたいっ！神様達！お願いしやす！ゲーム内にイカして下さい！俺、強ええ！や、立て直し主人公とか、ヤンヤンデレツデレで修羅場キタ〜っ！！とか？もう何でもいいんで！』

(別の日付)

ヤツタ〜！イケる！ありがとうございます！では、選べたら一番好きなゲームのアズールレーンでお願いしやす！立派なゴリラなんでもwwwあつ、彼女さんも一緒にwww。コピーしてばら撒いてる頃には行方不明になってるんじゃない？みんな〜？後はよろ〜！』  
「いやいやー何がよろなのっ?!雑っ!!!けど、字、めっちゃキレイ!うん、アズールレーンの世界に彼女さんと一緒に逝けたのかな?良かったね?頑張って指揮官してね?それか指揮される立場かな?で、妻は



誰なんです？語り愛たかった……」

雑っ！雑すぎるよっ?!達筆うっ！これ書道部部长だね？当然かな？

アホっぽい奴だったよな？で、イケメン。神様達？に願って「良いよっ！♡いってらっ！♡特典いるなら色々付けとくよっ！♡」って事っ?!そういう展開のある小説、大好き！ご都合主義万歳！

艦息子とか流行ってるじゃん。それと女体化してブラック指揮官と対峙してみんなを魔の手から守る系とか。行方不明になってるのが多かったのはそういう事？みんながゲーム世界に？ふ……ふっん？

「だろだろ？おっ？興味沸いちゃった系？んっ？」

「うぐっ！」

「そう睨むなって。そろそろ俺達もゲーム内にイケるんじゃないかな？クラスのもうほとんどが行方不明だしwww。クラス崩壊してるだもんwww。先生とかも数名行方不明だからwww。家帰って寝たらゲーム内の世界にお邪魔しました！そこで色々謳歌してねっ♡ってね？」

「はいはい……。そうだねっ？カップルもその内。……かな？」

何に対してツボってるん？分からんなあ

「おっ？そうだな。……まあ？どのゲーム内に行くか分からないかもだけど？俺、強ええ！とか勘違いとか？不遇すぎて胃を痛めるキャラになったり色々するんじゃないかな？なんだ、令司も興味があるんじゃないwww」

「あつて悪いか？んっ？転生とか転移出来たらいいな！指定出来るならこのアホ部長と同じでアズールレーンの世界に行きたいなあ」

本当に出来たらいいな！出来たら何をしようかね？やっぱりイチャイチャしたいかな？そんな時、考えようかね？

恨まれてて会って直ぐボッコボコにされるかもね？前？元？指揮官達に性的に色々されちゃって男性みんな大っ嫌い！っていう理由とかで？うん。あり得るよねっ

「だな！やってる4つのゲームのどれに行けるかなあ？指定しても行

けるか分からんし？おつと？もう帰る時間じゃん……。一緒に帰ろうぜ！行方不明になるの楽しみだなあ〜」

「そうだね……。帰ろつか……。行方不明になるのが楽しみって良いかね？…なあなあ、ゲームの妻達について喋りながら帰ろうぜ〜」  
「良いねえー！アホイケメンのアズレンの妻でも予想すつか？立派なゴリラだったんだなw」

「そうしょ。こいつの残したコピーがまだあるなら読ませろよ？」

親友とゲーム内の妻達について色々お喋りしながら帰る。脳内のシチュエーションとかもコソコソ喋った。他のコピーは無かったようだ

☆☆☆

「ただいま。つと……。洗濯機回して、ご飯作って〜、お風呂入ってアズレンの妻達を見てサツサと寝ますか〜。ふっふふ〜ん……。いつ見ても美しいよね？みんな。委託とか色々お疲れさま。好きなだけ休んじゃって。フッドはアークロイヤルとしっかりお話ししなさい？あつ、その服はエッチいですよ？プリンツオイゲン。眼福です。ありがと。パイタツチ失礼しますね？くう〜！柔かい！あつ、ヒツパーの顔が凄いい事になってますって……。お酒は程々にね？はい、乾杯」  
一方的に携帯の向こう側に色々とお喋りしている令司。シニールです。でもな？令司？気付かないの？会話が何か成立しちやつてるんだよ？

☆携帯の向こう側の食堂☆

デツカいテレビにででん！と主人公、令司の生活が映っている。盗撮、盗聴？ちよつと何言ってるのか分からない。明石と不知火、夕張、ヴェスタルの愛の力で完成させました。一部の会話を聴きましよう  
「はあはあ♡ああく、いつ見ても素敵ですわ〜♡毎回毎回毎回、優しく囁いてくれて♡大鳳は♡大鳳は♡沢山イッてしまえますう♡んん♡はあはあ♡あく〜♡子作りしたいですわ〜♡お待ちして

ますわ〜♡」

「サプラ〜♡イズ♡たいほ……。ぐええ〜！ギ、ギブギブつ!!!」

「大鳳〜？指揮官様は私のですが？邪魔者は排除したいですが。ハア…、出来ないのよね……。指揮官様と子作り♡うふふふふ♡燃えますわ〜♡どんなシチュエーションなら指揮官様は燃えるのかしらねえ？加賀あ〜？」

「……………姉様、まだご飯を食べてるので手を尻尾でペチペチしないで…。ああ、床をビショビショにしないで。濡れ過ぎ。掃除がたいへ…」

「せ・ん・ぱ・い・方〜♡」

「ちよつと！翔鶴姉え〜♡つ?!変なお酒を飲み過ぎい！」

「……………あ〜もう！パクパク…ごくん。赤城姉様、翔鶴、瑞鶴は廊下で正座しろおお!!!」

「オイゲン！お酒臭い！うぐぐぐ……。重いつ。きや〜♡つ！」

「ヒック……。あひやひやひや♡姉さ〜♡ん♡うひひ♡むにむに♡ヒック……」

「ど、どこ触つてつ?!んっ♡…はっ?!ち、ちがうつ?!指揮官だけの物なのに〜♡！うが〜♡つ?!」

「誰が重いですつてつ?!」

「フォーミダブルさんの事じゃないのです。パクパク…。んぐん。…鳳翔さん。お代わりなのです。酔い過ぎて草」

「あはは……。オイゲンさん。エツチつて言われて喜んでる……。ガーン見してたもんね。私でも欲情してくれるかな……。？巨乳や爆乳でもないけど…」

「お兄ちゃん……。？……。ユニコーンじゃダメ？結婚指輪ちゃんと左手薬指に嵌めてるよ？」

「ジャベリン、ユニコーン……。大丈夫……。ラファイ……。おう……。えんする……。Zzzzzzzzz」

「ご馳走様でした。綾波に薦められた鳳翔さんの料理美味しかった。ラファイー！ここは部屋じゃないの。引きずって部屋へ行きます！あつ、インディさん……。手伝って下さい」

「う、うん。ちよつと待ってて?。」

「ありがとうございます。はい。待ってます」

「インディちゃんの素晴らしさを語り愛たい!指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡」

「うん。これで良し。ほら、行こう?。」

「ご主人様、夜伽の勉強はバツチリでございます。元メイド長のニューカッスルと一緒に実戦経験を積ませて下さいませ♡元彼女さんより気持ち良いと思いますので、ハッスルして下さいませ♡」

「がいち……。ダーリンがお休みになる前の行動に入ったわね……。ケダモノね……。濡れちゃった……。こんの」

「ええ……。そうよね?オサナナジミ♡寝る前にいつも私の水着姿や下着姿等で欲情して抜いてるものね♡それを私は見るだけ。なのに押し倒されるノ♡毎日毎日♡力は私の方が強いハズなのに……。アア……。オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡スキスキスキスキ♡あつ、イックウウ……。はあはあ……。えっ?もう一戦?まつ!……。っ!!」

隼鷹残念。今、司令の司令君はセントルイスでハッスルしてるゾ♡それを見てたセントルイスが顔を真っ赤にしてクネクネして喜んでるゾ♡

「ヴェスタルの料理美味しかった……。今日はセントルイスで抜いてるのか……。本人、喜んで沢山イッてる。ホノルルが顔真っ赤で介護してる……。っで?……。ねえ?飛鷹?止めたら?あんた、あれの姉でしょ?。」

「……。ゴツくん……。川内……。いつもの発作よ?放って置いたほうが良いわよ……。ハイライトが仕事してるもの……。あんなんで傷付けないようにしてるから凄いわ……。私は弄ろうとは思わないけど」

「あらそっつ。」

「閣下……。是非!是非!その捨ててしまうのを私の下の口に注いで

「うえ?! 駆逐艦のみんなの前でしたい?! 是非! はあはあ♡公開授業♡ああくっ♡漲つてくるうっ♡」

「あーくろいやるじゃん。あのね?あのね?いっしょにねよう♡」「ぐぼああああくっ!!! 睦月型駆逐艦は最高だぜくっ!はいっ!一緒に寝んねしようっ!」

決め顔してても鼻血で台無しですよ?出し過ぎです。血足りてる?あつ、如月からハンカチで拭き拭きされて成仏してる?・

「にゃくっ♡にゃくっ♡にゃくっ♡にゃへ♡うにゃにゃくっ♡」

「よしよし。大うつけの為に頑張つて神様にちよつかいかけてありがとうございます。高級マタタビ茶を一気に飲まなくてもいいのですよ……。沢山有るので。流石シリアスです。今頃尻叩きされて喜んでる所でしょうか?あつ、ヴェスタル。どうぞ。飲みやすいと思うお酒です」

「ありがとう。ゴクゴク……。はあく。あら?ホントに飲みやすい……。はあく、賑やかよねくっ♡エツちな指揮官だもの。発情するの分かるわ……。……つて、明石?ぎゅくっ♡ヨシヨシ♡」

「くらくく!愛宕っ!お座りっ!摩耶っ!鳥海っ!縛るよっ!ああくもう!嬉しそうにしないでよ!私の性癖じゃないから!」あらあら♡」

一部を除く全員が手で目を隠して隙間から見てたり、隠さずにガン見していたり。令司の令司君はバツチリ見られていた。オープンなんですね?・

令司の基地の食堂は賑やかです。あつ、ここの基地の名前はオープンです。オープン基地です

「あら?やり疲れたみたいですよ♡もうお休みになられます♡」

食後に紅茶を飲んでいたイラストリアス。テーブルの上にたわわな物を2つ乗つけてそう呟いたら、ぎやくぎやくしていた雰囲気ガラッと変わって?・

「!!お休みなさい!!そして目が覚めた時はこのオープン基地によるこそ!!色々と楽しみましょう!ウへ♡」」」

……とまあ？そんなこんなで？快樂？主義？な神様達？の餌食？  
になって令司は行方不明者の仲間入りを果たしたのだった

☆遠い遠い暗い場所☆

「~~~~~」

「ふっふふくん♡良い仕事したあ♡おや？オブちゃん？ご機嫌だね♡  
観察対象に動きでもあった？」

「ピュリちゃん……。別世界線のカップル成立させて来たんだって？  
ヘタレ彼氏とヘタレ彼氏だっけ？よくやるわ。そうよ？ようやく行  
方不明者リストに拳がったわ♡名前は四季令司。私の初めてを捧げ  
る運命の相手♡がここに来るかもしれないわ♡うふふ♡」

「そうそう。ヘタレ彼氏とヘタレ彼女を無事結合させて来たよ♡彼  
氏が私に言い寄って来たけどまだ純血♡ピュリちゃんと竿姉妹にな  
りたいから♡おう……。タコ足が絡んで来た……。絶妙な締め付け  
だよ……。あひやひや♡これこれ♡ヌルヌルいっぱい♡！あつ、テス  
ターも頑張ってるよ。神々にちよっかいかけたんだってさ」

「令司くん♡この貞操逆転世界にいらっしやい♡男女比とかはお仲  
間がきつと説明するでしょ？仲良くパーティー（意味深）をしましよ  
♡ずつとずつと待ってるわ♡」

「あふう。聞いてないのね…。まあ知ってたけど。あゝ、気持ち  
良い〜」

どうやら令司は敵であるセイレーンのお二人に目を付けられてい  
たようだ。2人の目の中が♡マークである。仕事熱心な目の中さん  
だ事

あつ、もしかして行方不明者が多かったり、戦争をしている理由つ  
て男性の下半身の件だったりする？それぞれのゲーム内の女性達つ  
てすごく溜まってるの？それ、何てエロゲーム？

令司が朝起きた時、どんな反応をするのでしょうか？楽しみです  
ね？

## オープン基地で生活開始

ようこそ！貞操逆転アズールレーンの世界へ！

「んっ…。むにやむにや…。んが…。んごご…。すくすく。んっ…」

「ハアハア♡やつと…やつと♡会えた♡んっ♡スンスン…あくく本物♡ハアハア♡良い寝顔♡ダメ。襲っちゃダメ…ああん♡我慢我慢…」  
無事、行方不明者の仲間入りをして異世界転移を果たしました。そう、令司がひたすらプレイしていたアズールレーンの世界にね

眠っている隣で添い寝をしている女性がいた。息を荒々しくして眺めている。下半身をモゾモゾしているのには目を瞑った方が良いのでしょうか…。えっ？女性のパジャマがどんなのか知りたい？それは…

「んがっ。はっ！起きなきや…。…っつて、あえ？んっ？んんくく？ローン？」

Why? Why? 夢の中で誰かとお喋りしてて起きたらくく！起きたらくく！なんとローンが全裸でお出迎えくく♡添い寝されてた！あゝりがどうぐごいゝまゝずっ！可愛い過ぎます！

「ハアハア♡んっ♡あつ、起こしちゃった？おはよう♡あなた♡愛するあなたの寝顔を生で見ないなんてユルセナイよねええええ?!」

「ローン♡あくく。遂に幻覚が見えちゃったかくく。やり込んでいるアズールレーンの妻達の中で正妻のローンが喋べっ（むにゅん）ふがっ…」

ふおおおおお！ローンのハグ！ローンのハグですぞくく！ポキッゴキヤッとしてるけど、痛気持ち良いい♡ひやつふく！スベスベくく♡やわらかくくい♡すごい！うん、信じるわ。行方不明者になれてありがとう

「ハアハア♡やつとあなたにハグ出来た♡あつ、忘れてたわ…これを忘れるなんて…。ユルセないわ…」

「はあ…はあ…。えっ？なに…んむうう?!」

おほっ！キス！キスです！ベロキス！わくわく。あつまいわ！ご馳走様です！おん？お尻触つて来てる？それするの逆じゃない？

そう言う事でお尻触りまくります。結婚してるしヘーキヘーキ。こんなんで嫌われたらそれまでです！やっべ、モッチモチ！良いの持ってたねえ！

「んちゅ…。ちゆるちゆる…。んつくんつく。ん？?!ぷはっ…。ハアハア…。ああ♡ファーストキスを捧げちゃった♡お尻触つてごめんなさいね？んっ…。もっとお尻触つてローンの事、確かめて？」

ローンさんの目の中さんや…。♡マークを出しちゃって…。お仕事お疲れ様です！

常にブラックな仕事をしてるの？ふむふむ。ブラックっ…。えっ？楽しんでるの？そっか…。一応お薬出しますね？令司というお薬をね…？

「充分確かめたよ。ローン。ありがとう。気持ち良かった。これはゲーム世界に轉移しちやっただ系で合ってる？ここっでもしかして俺が指揮してるオープン基地？」

えっ？尻尾をぶんぶん振り回してる幻覚がが…。しかもサキュバスの♡マークの尻尾…。もう…。もう…。最高かよ♡

『俺の正妻ローンが最高にエロ可愛くて生きるのが辛い件について』。うん。異世界転生や轉移最高。ありがとう。神様、ありがとう…。てえてえ…

「そう…。どういたしました。合ってるわよ。ええ、そうよ。ここはあなたが指揮してるオープン基地よ。行方不明者が多い件も多くのアズールレーンの世界線とかに行ってる感じよ。不審者扱いとかかわないわ。ここがあなたの家だもの♡あつ、こっちの世界で同姓同名に憑依したって言う話はないわ」

知りたかった事をペラペラと。でもお尻は触るのね？

「へえ？行方不明者がゲーム世界に行くのって本当だったんだな？まさか目が覚めたら「異世界転生？轉移しました♡てへっ♡」とか思わなかったけど…。ここが家なのか…。おっふ…。口、ローン？ど、どうしたの？」



「ハアハア♡朝から元気ね？アツつい…。んっ♡昨日の夜、セントルイスで沢山抜いてたのに…」

「うっ!？」

頑張つて平常心保つてたけどダメだったあぁ〜！そうだよね？  
チラチラ見てたもんね？

ふぉ〜♡息子よ！暴発はするなよ！ぜってーするなよ！フリじゃないから〜！ヨシっ！という現場猫はご退場ください〜！

心の中でぎゃ〜ぎゃ〜騒いでいる令司。キリつとしたキメ顔をしてたのに鼻の下伸ばしちやつて台無しにしてません？ローンは気にしてないご様子ですね…。良かった…。のか？

「ついでにホノルルにも手出してたものね？2人とも喜んでたわよ？」

「くっ…。見られてたのかよ…。何かアツツイ視線がずっと向けられてた事は知ってたけど」

だって次の日、抜いた娘達の背後から天使の羽根やサキュバスの羽根とかが生えてたもん。凄く眩しかった。キラ付け？つていうの？をしてあったね

「それで話を変えるけど私とやりましょ？その…。不束者ですがどうぞよろしくお願いしますね？あ・な・た♡元彼女さんの事なんか忘れちゃつて？」

「あ…。彼女の事バレてたのね…。まあ、うん。こちらこそよろしくお願いします。ローン。いや、こう言った方が良いのかな？もうずっとずっと愛して愛してハナサナイよねえええ!!」

「きやつ♡すっごくイケメンボイス♡ウフフ♡そうね♡準備は出来るわよ♡ハアハア♡来て♡激しく愛して♡」

「えっ？でも…」

マジ？最初から激しくがオツケーなの？

「私達、KANSENってすっごく丈夫なのよ？それと人間とは身体の構造が違うわ。だって船だったんですもの…。あっ♡来る♡あゝんっ♡んっむ♡」

「くっ！なんだこれはっ?!」

表現出来なああい!?アアアつ?!持つてかれるううう?!?!?  
こうして司令とローンは朝からハッスルするのです。羨まけしか  
らんですねっ!?

えっ?2人が居る場所を書いてない?そうでした…。指揮官専用  
の寝室でございます

内装とかは必要最低限の物だけです。シンプルイズベストなんで  
すっ!あつ、キングベットですよ?5人くらい連れ込めます

また、共用寝室やKANISEN専用の寝室がある。全寮制がしつ  
くり来ると思う。風呂も色々な場所に色々あるよ!もちろん。露天  
風呂があります!

この指揮官専用の寝室には隠しカメラ等が何台もありますので、S  
H I K I V I D E O sがどんどん増えていきますよ。愛の巢に  
なったりするかも?

プレイバシーの侵害?指揮官にプレイバシーなんてモノはナイナ  
イ…。ヤベくく奴から逃げられんのかな?プレイした時点でもう無  
いのもかもしれない…?

それと寝室の隣は執務室でございます。総員起こしとかその日の  
起床時間のギリギリまで寝られますね。ヤツタじゃないか…。仕事  
量はどうなってるのか分からないけどね?

☆☆☆

「~~~~つ♡ヤツタ~~~~♡」

ふいいくく…。ヤツタ…。ヤツちやったよ…。凄く気持ち良かつ  
た…。初めてって言う事は本当だった…。乱れまくってたけどな

後、すっげ〜お尻揉まれたけどね?そんで何故か疲れが取れてるん  
よ…。ビックリするわ。体調が凄く良好です♪

てつきりさ?こっちの世界の屈強な男性達ともうよろしくしてて、  
そこから立て直してイチヤイチャすると思ったけどね?違ったわ…

あ〜…。締め付け最高だった…。思い出しても勃たないな…。ヨ  
シっ!それで?指揮官専用の寝室の直ぐ隣に執務室があるのか…。

ギリギリまで寝られるな！ヨシっ！

おや？令司にまだ男女比について喋ってないようですね？いつ喋るんでしょうか？聞いたらどんな反応をするのでしょうかね？「あつ？ふくん？」とかですかね？

何処かへ向かってる最中にとあるKANSENと出会う令司なのであった

「どもども♡おはようございませす。令司指揮官♡指揮官専用の青葉ですうー！」

「おはよう。青葉」

「あゝ♡生で見れた♡明石とかにお礼言わないと…。すっごく好きです♡結婚して下さい。あつ。もう指輪してましたね♡えへへ♡いやゝゝ♡お二人は朝からお盛んでしたねゝゝ♡お二人とも凄くツヤツヤつ♡ご馳走様ですうゝゝ」

「ウフフ♡凄く盛り上がったわ♡私が気絶するとか思わなかったけど…。明石特製のを飲ますんじゃないかな。効きすぎよ…。でもスッキリした♡まだポカポカしてるの♡後でお礼として明石にハグしてこようかしら…」

「そうですか…。明石に聞いてどんな成分が入っているのか記事にしますね？はい。では私も指揮官にハグしますね♡ぎゅゝゝ♡クンクン…。スーハースーハー♡あゝ。幸せゝゝ。首筋に…。ちゅゝ♡」  
「もう知ってるのかよゝゝ…。青葉新聞を作るくらいだから流石だよなあゝゝ…」

「えへへゝゝ♡口にキスを…。ンチュ♡」

甘いねゝゝ。…あつ、お尻揉むんだね？揉み返すよ？あゝ。青葉の最高の桃尻だよ…。まあ？隠しカメラが何台も設置されてる小説とか色々あったし？気にしちゃ負けですね…

…なんかすっげゝお尻をいやらしく揉まれてるんですけど？後、嗅ぎ過ぎじゃない？悪臭だよ？明石特製のだったんだ？美味しかった。ありがとう。楽しんだよ♪

青葉にローンとのアレコレが筒抜けでした。青葉、すっげー良い笑顔♡間抜け顔を撮られたよ…。それとローンのお胸様の谷間に右腕

がスツポリ♡の腕組写真もバツチリ撮られた令司なのであった

転移初日の朝からコレだぜ？わーい…。どうなるのでしょいうね？ヨクワカラナイなく…。後、にや〜っ!!!って明石の声が聞こえた気がする…。気のせい気のせい

うんうん。やっぱり指揮官っていうのは四六時中見守られてるのね…。トップだもんね？仕方ないね？もう広まるでしょうなあ〜

青葉ってクンカーなんですね？すっごくハスハスしてる。ものすっごく悪臭を漂わせてると思うんですけど？うん。コレは赤城や大鳳、隼鷹と会ったら凄い事になるんだろなあ〜…。注)なりませんっ!!!

「ええ…。気にしちゃ負けよ？あなたのお尻は最高っよ？魔性のプリ尻よ♡後、ずつと嗅いでいたくなるの分かるわ♡最中に何度嗅いだ事か？♡それで…ウフフ♡みんなにバツチリ見られちゃってるのよね♡最高♡」

「ええ…。俺の体臭ってそんな凄いモノなの？あつ、もしかして神様達の転移特典として『全身媚薬タップリ♡』を贈られちゃった系？」  
えっ？ナニソレスゴスギ…。神様達って何を考えてるんだよ？神様達と面接した覚えはないんですけど？そういうのあるんじゃないの？ねえ？

あつ。でも、夢の中でそれっぽいのと会話をした気はするけどね？ヘラヘラしてたような…。…あつ、面接するのは死んだ転生者だけって事？へえ？ふうん？

マジですか〜?!?!神様達？それはやり過ぎですよ！まあ？ゲーム内に異世界転生や転移をさせる方法があるから無茶苦茶なのは分かってたつもりだけ…。ええ…。ええ…。思いつきり小説の主人公してますやん。俺ってばさ？

神様達が何を考えてるのかって？ゲームをしてるプレイヤーとゲームキャラのキャツキャウフフ♡が見たいっ!!!

ただ、それだけです。なので、全力で色々な特典をタップリつけて応援しちゃいます♡ラブ&ピース♡何か違うと思うけど…？

えっ？こんな世界でもチャラチャラなDQN達の存在が居るん

じゃないか？つて？大丈夫

DQN達には最高のステージを用意してそこに永久監禁してるので安心安心♡好きなだけラブラブチュッチュして下さいな♡

「そうなの？それはそれでアリですっ!!!」

急にキラキラしだしたよ。スツゴ〜い

「まあ…。それでいいなら…。いつか…。…朝食…食べたいです。青葉とローン、食堂の場所分らないので案内よろしくお願い致します」

うつわ〜…。良い音が鳴ったわ〜。顔、真っ赤だろうな

「了解しました♪任務を遂行します♡ぎゅ〜♡」

おほ〜！両手が谷間に〜！マジかっ?!えっ?このまま食堂へ?えっ?マジか?えっ?

ええ。その通りですよ?堪能しろよな!

向かう最中に駆逐艦と遭遇する。肩車をしてあげた。そのままお喋りしながら無事食堂へ着く

赤城や大鳳、隼鷹などからの猛烈なアタックがなくてソワソワしちゃうのだった。また、アークロイヤルも静か過ぎて気持ち悪かった…。大丈夫?アークロイヤル、ちゃんと息してる?!

食堂の入口付近で肩車を止めた。またしてねと予約されました。身体を鍛えるのに丁度いいので許可してあげたのだった。筋トレするのが趣味だったりする

「はあはあ…。ふう…。着いた〜」

駆逐艦達と遊んだらもっとお腹空いちやっただよ…。うわ〜…すっげー広い…。パーティー会場?いや高級レストラン?なんか色々混じってる

「あらあら♪」

は〜…。おわっ!ようこそ!指揮官!そしてローンおめでとう!って弾幕があるう〜!

「青葉ああああ!やりやがったなあ〜っ?!」

「えっへへ〜♡張りきっちゃいました〜♡だってようやくですもん♡」

」

「ちよつとっ！翔鶴姉え？無言で撮るのは…。それと連写止めなつて」

「……………瑞鶴も撮れば？」

「はっ？…ま、まあ、私も撮るわよっ。」

「まあまあ…。青葉に頼んだのよ。っで、ここの食堂って重桜、鉄血、ロイヤル、ユニオン、サディアとか多国籍？って言うの？だから、こうなるでしょ？」

「ア、ハイ」

「弾幕のサプライズされるなんて…。ありがと♡これでみんなも自由にイチャイチャして良いわよ♡頑張つてね♡無理させちゃダメだけだからね？」

食堂の入り口で口撃？をしていた令司。青葉は嬉しそうに身体を震わせた。もつとして欲しいようだ

「大鳳♡♡サプライズ♡♡って、あわわ♡し、指揮官♡な、生っ؟! きゅ♡♡♡…」

「ふ♡♡ん?ヨシっ!切り替えて朝食を摂るわ。んっ?あ、アルバコア?グルグル目で倒れなくていいんじゃない?おーい?」

んっ?大鳳人形なんてあったっけ?実装されていないような?ヨシっ、また切り替えてっど…。えつとどれにしようかな…。ええ♡?種類豊富過ぎるわ…。これ、毎日がパーティーだよ

「生指揮官…。…暖っかくて…ラファイ…また…寝る…。Zzzzzzzzz…」

「ラファイ?お♡♡い?」

メニュー選びに迷っていると、あっ、もう腕組は解除されたよ…。アルバコアがお目目グルグルにしてボタンキュ♡♡。とラファイに抱きつかれました

うむ。ラファイ…。隠れ巨乳は反則じゃないの?寝る子は育つんだな…。もつと育つてね?ねっ?堪らん

もう一回サツサと切り替えて朝食朝食!迷うわ♡!失礼かもだけどリットリオって料理作れるんだね?うん。スタイルさいつこう

です。ただ全裸調理は辞めて欲しいけどね？

リットリオは令司に気付いて笑顔でピースをした。令司はつられてピースを仕返してあげた。もちろん、笑顔付きだ。ボフンとなるリットリオだった。可愛いね？

料理が思っていたより豊富過ぎて何を食べるか迷っている所に声がかかりました。令司にとっては聖母の存在からです

「あら？指揮官様？お食事は如何ですか？」

「うひゃいつ?!えっ？その声は鳳翔？結婚して下さい！」

「はい♡もう指揮官様としてますね♡ほら、この様に左手薬指に♡もし選べなければ私がお召し物でも用意しましょうか？お腹が減ってはお仕事には集中出来ませんよ♡♡」

あつ、心の眩きが口に出てた。笑顔、最高♡♡む、胸がチラリと！テール乗せてる！眼福でありますっ！

「そうだった…。鳳翔の料理、頂きます！」

「畏まりました♡どうぞ召し上がって下さいね？」

無事朝食を摂る事に成功した。鳳翔マムの料理は美味しかったよ  
うで、おかわりを3杯した

みんなも続々と朝食を決めて食べていく。船だから食べなくても良いんじゃないか？…ここでは食事が補給を兼ねてたりしてます。まあ？娯楽つてのものもあるかもしれないけど…

「良い食べっぷりね…。料理、習おうかしら。講師は誰にしようかしら…。うっくん」

「ご馳走様でした。リットリオさんの作った料理。見た目はグロテスクでしたが味は最高でした…。あつ、指揮官、お伝えする事があります」

ローンは令司の隣で、青葉は令司の向かいに座って朝食を食べた。令司の食べっぷりを見てローンは作れるようになりたいと思ったよ  
うだ

令司はローンの作った消し炭でも残さず食べると思うよ？腹を簡単にトイレ？に捧げると思う

「ふうっ…。ご馳走様でした。美味しかった。…えっ？青葉の真剣

な顔を見るとか中々ないなあ。どうぞ?」

「はい。それじゃズバツと言いますね…。このアズールレーンの世界の男女比が1・30なんです。男性が1で女性が30。大きく偏ってる世界なんです」

「うんうん。…うん?」

とりあえず頷いておく令司

「で、指揮官のアツチが凄いのは基地のみんなは知っています。それ、基地にいるみんなに素敵な体験させて下さいね♡もちろん、みんな初めてです!」

「…うん?」

首を傾げる令司。そして顔を真っ赤にして身体をクネクネして言いきる青葉なのだった。ローンはウンウンと頷いている。ちゃんと説明が出来たようだ

「二「ようこそ!貞操逆転アズールレーン世界へ!」二」

んっ?んんっ???:はい?

「……………はい?男女比1・30?……………はい?女性過多の世界に轉移した…。の?ええ…?赤城、隼鷹、アークロイヤル、エンタープライズ。どっから湧いて来てんの?壁の修理しな…っってもう治ってるう?!」

うん?えくく?なんか凄い事になってるんですけどくく?ちよつとくく?オブザーバーにピュリファイヤー達?なんて事してくれてんの?」

会ったらお話ししようぜ!会話出来るでしょ?物理会話はやめよう?なっ?まあ?無理かもだけど…?

そんな感想をもった令司なのだった

二「きゅくくん♡」二

ダイナミックな登場をしたみんな。赤城、隼鷹、アークロイヤル、エンタープライズの頭を撫でて落ち着かせたのだった。みんなハッハッして犬の様になっていた。良い娘でちゅねくく♡

☆遠い遠い暗い場所☆



「クシユん…。ああ〜♡これは令司くんが遂にこの世界に来たのね♡はあ〜♡会うのが楽しみ〜♡」

「オブちゃん。オブちゃん。ギブギブっ！締めすぎ！おい！聞いてる？ギブ！ギブ！本当にギブなんだってえ〜。お〜い！あうんっ♡」

セイレーンのお二人、ピュリファイヤーとオブザーバーが令司の存在を確認したようです。凄いね？どうやって令司の存在を確認したの？ねえ？

令司と令司の部下達とお話する機会はあるのか？多分、あるんじゃないかな？その内にね？

えっ?..えっ?..

朝食を済ませたところで青葉の口から、このアズールレーンの世界の男女比が1:30と言われた令司。頭の上にポンポンポンと?マークがついていた。まあ...:そうなるな?

ローンはローンでうつとり顔を決めていた。思い出したのだろう壁をブチ破って登場した方々の頭を撫でて、落ち着かせたのだった。喜んでいた。良かったね?

☆☆☆

「「「ピヨヨヨッ!!!ピヨ!!!」」」 ↑ 饅頭語訳・指揮官!頂きます!  
「えっ?えっ?女性過多世界であり?男性がメツツツチャ貴重な世界である?だから素敵な体験をしたいと...:」

「そうです!ローンの様にしてもいいし、リクエストに応えます。勉強はしますので!」

「あつ、ふくん...:。だから息子の様子がなんかおかしかったんか?なあ?ローン?」

いきなり話をふられるとは思わなかったローン。ビクうつ!?!としていた。妄想から現実へ連れ戻されたようだ。お帰り

「えっ?..ええ、そうよ!／＼青葉の言う通りよ。まあ、転移初日だから混乱して当然だと思っただけ?その内慣れるわよ。私達、理性しっかり効く方だから。無理やりはユルセナイよねえええ!つて事...:」

「ふくん...。あつ、ひよ...:じゃなかった。饅頭だね。饅頭さん達や?ハテナマークをバリバリボリボリ食すのはビックリしますよ?首を傾けてるって事は伝わってるのかな?こっちはピヨピヨだけで意味が分からないけどね...:」

令司は貞操逆転に男女比の崩壊している小説をあまり読んでなかったのでしょうか?読んでも好みじゃないし、作品自体がかなり少なかったのかもしれないですね?

饅頭達は令司の?マークをバリバリ食べていた。みんな、キラキラ

している。令司からなんか美味しい成分が出てるんでしようね？

貞操逆転してるのかあ。へえ？真剣に伝えて来たからそうなんだね？頑張りますよ……。身体をそこそこ鍛えてて良かったあ！ヨシっ！）唐突に現場猫登場。腕君してドヤ顔を決めている

わお。目に見えるし触れるよ。この？マーク……

あ、饅頭がすごいワラワラ湧いてきたよ。ワイルドな饅頭、これは警備棒あるから警備員だね……。眼帯つけてるのはトツプかもしれない。うくくん。こっちは整備士かな？や医療系などなど本当にいっぱいいるね

おつ、饅頭触れる。♪マーク出して喜んでますね。後、エプロン姿のものもいるしせっせと？マークを厨房に持って行ってる……。♪マークも持っていくのね……

クリーブランドに渡して何かお願いしてる。コツチをチラチラ見えますね？手、振つとこ。おつ？目が合ったかな？

わあ、ポンツで音の表現が合ってるよ。真っ赤つか……。勢い良く顔を鉄板にぶつけたね。痛いでしょうよ……。手伝つてた妹達がお腹抱えて笑ってる……。何を言われたかは聞かないでおこつと……。さて

「指揮官様あ……？青葉の言う通りなのお。急に言われて困惑するのは分かるわあ」

「おお」

「正妻のローンの夜戦の様子からだともあ分かり辛かったですよけど……はあはあ……あ……あ……害虫は駆除しなきゃなのに嗅いだらどうでも良くなってしまうたわ……♡」

「それは良かった」

右側に赤城、左側に大鳳が胸を押し当てている。というか、挟んでいる。2人とも超ご機嫌である

「スーハースーハー♡指揮官様あ……？大鳳は、朝のラブラブライブを見て濡れに濡れましたわ……♡」

「そ、そうか？うん。濡れてるね？」

「盛り上がった途中でアルバコアがサプライズで部屋に入って来た

時はビツクリしましたわ〜。背後から抱きしめ上げてダウンさせましたわ♡起きた後、一緒に事後処理して貰いましたわ♡はあ：はあ：。本当にコツチの世界に、愛してる指揮官様が♡あうん♡また濡れてきちやいましたわあ♡」

うむ。素晴らしいモノを本当にお持ちですよ。ありがとうございます。後でしつかり胸を触つていいかい？それと、2人の目の中さんは今日も元気にハイライトオフ♡。だけど♡マークを作る器用ぶり。お仕事おつ疲れ様で〜す！

「大鳳がアルバコアと仲良しで良かったよ。見るや聞くだけで気絶するって聞いたし」

この大鳳は変わってんだな？逆サプライズをかます良いお姉さんじゃないか。アルバコアも嬉しいんだらうな？きつと

「そうなのですか？仲良しですわ。たまに私の部屋でお酒などを飲む仲ですわ。けど、ビクビクされますわ。何なのか分かりませんでしたわ」

そりや〜〜ねえ？大鳳のムチムチい！の胸の最高の感触を味わってるからだろ？ハグで。ご馳走じゃないか

「そっか。あ〜〜？赤城、大鳳…？嗅ぎ過ぎじゃないかな？悪臭プリンしてるだらうし…。後、2人もさりげなくお尻を揉むのね？」

すごく嗅がれてるしメチャメチャ揉まれてるう。そんなに良いんだ？あつ、鳳翔も嗅ぎたそうにしてる?!キラキラしてる。そんなキラじゃなかったよね?!嬉しいです！

「悪臭じゃないですわ！魔性のプリ尻！止まらないですわ〜♡」  
「そっか〜。赤城の尻尾触つても良いかい？鳳翔も俺の揉みたそうにしてたから揉「揉みます♡」どうぞ…」

「どうぞですわあ♡んっ♡ああああ♡あああ♡指揮官様あ♡愛してますわ〜♡」

愛してるって言いたいけど首、締まってるう！力加減してえ〜!!無事解かれて、そのお詫び？として赤城と大鳳による囁きを聴く事になった。右耳が赤城、左耳が大鳳である

「始めますわ。ふ〜〜っ♡指揮官様あ♡愛してますわ〜♡うふふ

♡」

あつ！同時囁きはなんかゾクゾクするう！息を荒げながらの艶やかボイスは息子に効いちやいますつて〜っ！

2人とも囁きのASMRの出演希望？どうぞ！聴きたいです！クソう！貴重な男優さんが羨ましい！あつ、俺か？ひやつふ〜っ!!!  
でも赤城い？また締めてるってば！気持ち良いんだよなあ〜。  
んっ？おや？おやおや？身体がポカポカに？うそん…まてまてまてい！

注) 令司のみの出演希望です。2人とも令司と結婚してるのでガッツリ囁いてくれるでしょう…。貴重世界でそんな体験？が出来る男優は令司君？あなたしか存在しませんよ？そこんとこオツケー？

「赤城に大鳳？そこまでよ？はあはあ…あか…しのお薬は…すぐく…効きますね…んっ♡おか…しくなっ…ちやう…。はあ…はあ♡」

「鳳翔さん…。分かってますわ♡指揮官様の身体をポカポカにするお薬を料理に混ぜて一緒に食べてた事を♡効くまでこうして楽しんでましたわ♡ウフフ♡ふ〜っ♡あ…い…し…て…ま…す…わ〜♡クスクス♪」

赤城の尻尾責めから解放された令司。赤城は顔をほんのり赤くしていた。令司は身体の変化に対してまた？マークを出していた。饅頭達は必死に食べたり厨房に運んでいる。マイペースです。楽しそうですね？

また、撮影班らしき饅頭達が令司達をガッツリ撮影している。クネクネしているのもいた。饅頭がポーズをとって饅頭がそれを撮影しているのはなんなんでしょうね？

「うほお〜！ふう……。鳳翔？これは効き過ぎるよ？これじゃお仕事に集中出来ないな……」

「うふふふ」

「はあはあ……。す、すまんがスッキリしたい……。赤城、大鳳、鳳翔？頼む。青葉は……。どうする？」

「あつ、青葉はまだ平気ですよ〜！お誘いを断るのは悔しいですけどね？海の上でラブラブライブ見ながら敵と戯れて来ます！愛宕と

か連れて行きますね〜!」

「「畏まりましたわ♡指揮官様あ♡」」

すっごく美味しかった料理に隠し味としてアツチが元気になるのが入っていたとか考えてなかったわ〜。これは逆転してるからかもしれない?キまつてるのね?

鳳翔の姿、花魁だもんね?それすっごく峻っちゃうノ。朝食貰うときガツツリ見ちゃったけども終始無言笑顔だったね……。心情はいかほどでしたか?↑すっごい大はしやぎしてたよb

これから聖母と…。うっ…鼻血出ちやうかも…。ちよつと出たかな?うん。出てたわ……

「執務室で仕事しようとしてるの?そんな…そんなの女性としてユルセナイよねえええ!」

「そ、そうなの?平気…:…じゃないか?」

「んっ、平気よ?秘書KAN達がやるもの。私は充分に休憩を取った後で青葉と一緒に壊してくるわ♡あっ、そうそう……」

「はあはあ…。お…おおう行つてら…んっむう!?ぷはっ…はあ…ロー…んっ!ちゆる…んっ…。あお…れるん…!ちよ…うむんっちゅ…んっくんく…:…、はあはあ……」

ふおおおおー?!これで理性しっかり効いてんの?

ローンからのキスをキツカケに青葉、鳳翔、大鳳、赤城の順とシちやったよ!あ〜!みんな甘いよ!美味しいよ!何で!これも貞操逆転の影響なの?マジで?スツゲ〜しか言えないんですけど?貞操逆転世界万歳!

「「ニアーストキス♡捧げちゃった♡キャツ♡それではご案内しますわね♡」」

なんか甘い雰囲気?が出てますけどここっって食堂ですよ?メチャメチャ視線集めてますけど?お目目グルグル目になってたり、ガンガン頭を打ち付けてたり太ももを自分でつねったり、つねらせたりなどなど色んな奇行してますよ?

令司?おわかり?あんたトップでしょ?ダメじゃなあい?

「あかぎしやんのしっぽぶんぶん〜!きや〜!」

「ハアハア……。フツ……。閣下の戸惑う声などがエロ過ぎて漲ったが睦月……。それは……尊……死……だ……よ……。……ごっつはあああ！」

睦月？赤城の尻尾にしがみついちやいけません！お父さん怒るよ！?

あゝ？アークロイヤル？鼻血出しながらガツポーズして気絶してる？ヴェスタル？そのヤカンで何をするの？かけたゝゝ！なんか直っていくゝゝ？すご〜い！で、いつの間にか睦月達は尻尾から離れてる

「うはっ！ヴェスタル！ありがとう！単騎で遊んでくるぞ！さらばだ！」

「いえいえ……。修理で経験値溜まりますもの♡それはもうガツツリと……。……ありがとうございますね？気をつけて行ってらっしゃい」  
ヤカンで復活させたヴェスタルは良い笑顔をしていた。母親のような顔をして右手を振ってアークロイヤルを見送るのだった

単騎か。気をつけろよ？えっ？許可出してない？勝手に出撃はダメ？

いや、ゲーム上で単騎から6人までの自動編成を許可してるんでダメではないです。轟沈しないで帰ってくるもん。大破してからは本番だったりする。いやまあ、無傷で帰還するのもいるけどね？川内型の皆さんとか

「お、お兄ちゃん……。そ、そのね？スケ乳首は凄く……。破壊力……。……があるの……。ネツ？そうだよな？ゆーちゃん？……。うんっ」

「ごつちに来る前から見て分かってたけどやっぱり清楚ビッチよね♡破壊力があつて最高よ♡害虫♡あつ、間違えたダーリン♡あゝゝ♡喉仏にキスしたゝい♡」

「ご馳走様でした。リットリオさんの料理美味しくて草生えるです。それとシエフィールドさんが笑顔で草。……。ラフィーと一緒に敵をブツ潰して来るのです……。……それじゃ、サツサと叩き起こさないと……。……」

「生令司指揮官♡やつふゝ♡是非是非インディちゃんと私、ポートランドを可愛がって下さいね♡指揮官♡指揮官♡インディちゃん♡イ

ンデイちゃん♡指揮官♡インデイちゃん♡好き好き好き♡ぐええ〜  
〜!」

「……………」

「あ、綾波ちゃん?無言で引きずらないでえええ〜!ねね?一緒に  
出撃するから許してえ〜!インデイちゃん!」

「うっふふ〜♡加賀り火先輩を焚きつけるチャンス♡もういつそ、生  
令司指揮官に土下座して頼めば良いのに♡ねえ?ずいか?く?……  
あれ?居ない?高雄?瑞鶴は何処にいるの?」

「パクパク…。ごつくん…。んあつ?ああ…。瑞鶴はヨークタウン、  
エンタープライズ、ホーネット、アドミラル・ヒツパー、ロドニーと  
一緒に敵と戯れてる最中じゃないかな?こっちは愛宕を締めてから  
朝食を取りに来たって訳だ……。シリアスの監視だから凄く大人し  
いかもな?」

「…………ヤル事が凄いわ……。っで、敵を倒しても消化不良を起こしてエ  
ンタープライズと一騎打ちの演習をする感じね……。懲りないわ  
ねえ……。瑞鶴……」

「性欲の発散の仕方はそれぞれだからな?加賀を弄って楽しむお前の  
様にね?」

……と、まあ、食堂は賑やかでした。平和ですね〜。令司を見て理性  
崩壊気味ですけど。結婚してるんだから沢山、ハッスルしましょうね  
〜?〜?

☆☆☆

「ここが、鳳翔の部屋か……。お邪魔します」

「どうぞ♡…ハアハア♡」

令司達は無事に食堂から移動して鳳翔の部屋へたどり着いた。  
移動中は右側に鳳翔の谷間に挟まれての移動だった。えっ?左側が  
空いているじゃないか?赤城か大鳳のどっちかが腕組みをするをす  
るんじゃない?つて?

しないです。何故なら……



「(指揮官様と鳳翔さんのツーショット！実に良い！鳳翔さんの外側に向いてる、はねっ毛がピコピコしてて最高ですわあ！どんなライブを奏でるのでしようか？ハアハア…♡)」

…と、脳内がお花畑になっていたから。きゅゅん♡ともなっている空母の母？でもあるからねえ？

2人は鳳翔と令司の後ろを歩いている。2人はヤバくい奴じやなかったのかい？

確かに？理性はしっかりしてるね？ただ、3人が歩いている床が凄く湿っていくんですけどね？お漏らししているようだ

うおおお！聖母・鳳翔の部屋。スツゲく綺麗！甘い香りが凄くする……。お香焚いてるんだね……。うう……。嗅いだらポカポカ度が増しちやったよ！よく耐えた！ヨシヨシ……

「…鳳翔？その…はっ…はあ…。もう始めようか？赤城も大鳳もよろしくね…？」

「ハイ〜っ♡ですわ〜♡指揮官様あ？ソレを思いつきり解放してくださいませ〜♡」

「ハイ♡激しく愛してくださいませ♡指揮官様♡もう我慢は…んむっ♡……アっ♡着たまま…♡」

「あ〜。鳳翔！鳳翔！」

こうして令司は鳳翔を可愛がり、その次に大鳳、赤城の順でライブを奏でていった。3人の血を確認しました！青葉の言う通りだ！

そして他のKANISEN達が見ている、床をビショビショに濡らしまくって清掃の達人？の饅頭達が張り切ってピッカピカにしたり、回収して饅頭達専用のプールを作って遊んだりしたとかなんとか？饅頭は自由に過ごしてます

えっ？何で行為を見れるのか？それはこのオープン基地の至る所に隠しカメラが設置されてるからですよ？隠しカメラが設置されない所はないんじゃないかな？

令司は多分、分かっているとと思う？そう言った小説を読み漁ったらしいから？見られたいタイプなのかもしれない

☆遠い遠い暗い場所☆

「ふう…。スツキリしたかも…。締めすぎはビックリしちゃったけどね?ふふん。あつ、首の向き間違えた……。よいしょつと……」

首スポンしてたのか?そのまま喋れるとか凄いね?首無し騎士さん?

「ごめんね?ピュリちゃん。興奮し過ぎちゃったわ…。ああ!これじゃ令司くんに嫌われるわ…。そんなの嫌よ……。ごめんなさい」

体育座りして床にノの字を書くオブザーバー。たわわっぱいが良い感じになっっている

「んんん?嫌いになるかなんんん?」

「…で?テスターはどうしてるの?」

「んっ?じゃんじゃん量産して、令司くんのKANSEN達にじゃんじゃん破壊されてるからテスターはそれはもう大興奮だつてさ♡じっくりや瞬殺とか色々な方法でね?令司くんの所って破壊数ブツチギリのトップ♡他の所にもちよっかいかけて、そこそこに破壊されてるけど満足しないってさ」

「へえ?そうなの?他の世界線が滅んでここに集まってきたテスター1000人を大満足させるとか凄いわね?その元締めでもしてる?オリジナルとお話ししたいわね♡」

いじける?のをやめて、立ち上がり背伸びをするオブザーバー。ぶるんぶるんしている。令司が見たら押し倒してしゃぶるでしょうね?

「1000人だっけ?1万じゃなかった?まあ?どっちでもいいけどね。オリジナルとお話し出来るかね?ああ、令司くんと会ってキヤツキヤウフフしたいな♡」

令司くんと会えるのはいつになるのでしょうか?楽しみですね?テスターさんは破壊されたい系のDMかなにかかな?数が多いよ……

うわ〜〜…

鳳翔の料理にお薬を盛られていたので発情状態になってしまった令司。また、鳳翔も料理を食べていて発情

お香の焚かれていた鳳翔の部屋にお邪魔した令司、赤城、大鳳。3人とのラブラブライブを基地全員にまたまたお届けした。お盛んですなあ〜

基地のどこかの床などは沢山濡れている事でしょう。枕を濡らしたりするかもね？これには饅頭達もにつこりだとか？

「大うつけは饅頭達にとって神様みたいな存在ですね？見た事がないくらいイキイキしてるからね……」

と、饅頭達を撫でながら呟いていたのが居たとか？その内に毒牙？にかかるんじゃないかな？フラグ？ポツキリへし折るか受け入れちやうかのどつちかじゃない？結婚指輪をツンツンしていたから

☆☆☆

「ふう〜〜…。スツキリ。鳳翔、赤城、大鳳、ありがとう……。愛してるよ」

俺の身体ってどうなってるんよ……。ええ？神様達は何の特典をくれたのやら……。お話ししたいぜ……。でも、会ってお話しをしたとしても、多分記憶に残らないと思うんだよねえ？

「愛してますわ♡指揮官様あ♡赤城は指揮官様に満足して貰えて嬉しいですわ〜♡凄くタフで素敵でしたわあ♡それと鳳翔さんの貴重な乱れる姿でキyunキyunしちゃいましたわ♡うふふふ♡」

「大鳳も愛してますわ♡オールラウンダーだったのですね？みつともなく乱れに乱れちゃいましたわ♡うふふ♡鳳翔さんと絡みが出来て幸せですわ♡」

「愛してますわ♡指揮官様♡赤城に大鳳……。／／もう……。思い出さないで……。そ、その……。指揮官様の、ち、乳首がみ、魅力的すぎるのがイケナイのです〜。休憩中にすていたす？おーぶん？つて

言ったのにはビックリしましたけど……」

みんな、全裸で仲良くお喋りをする。みんな、スッキリした顔をしていた

令司は自身の両手を枕にしたかったようだが、右手は大鳳が、左手は赤城に占拠？されて腕枕を堪能していた。赤城は嬉しくて尻尾を振り回している。鳳翔は令司に乗っかっていた

「いや〜？表示でもされるかなあ〜？と思ったけどダメだったよ…。チュートリアル無しかあ〜？い！って叫びそうだったね……」

「イケテルボイスで尻尾、ピーンってしてしまいましたわあ♡」  
「そっか〜。良かったな？赤城」

ふう〜…。聖母が凄くエロ過ぎるのがイケナイ。赤城に大鳳のサポートも効果抜群で沢山ギシギシアンアンしちゃったじゃないか！干からびるのを覚悟してたのになあ〜

マジか〜。だったよ…。『全身媚薬人間♡』にされたかもしれない…。明石の所に寄って見て貰うか……。詳しくそうだし。赤城に大鳳は腕組み好きだね？頭スリスリしてるよ。腕枕してるのにな？器用だな？

「明石なら酒保にずっといますわ。この貞操逆転世界に指揮官様を連れて来る様に神々に沢山ちよつかいをかけてましたから……。褒めたりしてくださいね？後は……。明石とも励んで下さいね♪」

「……顔に出てたかな？ありがとう、鳳翔。酒保ね？案内頼んでもいいかい？ほら、このオープン基地ってだっ広いじゃないか……？会えない可能性出ちゃうと思うし？言い訳になるけど転移初日で地形とか分からないし……。迷子になるよ」

本当にだっ広いのよ…。迷路のようだ。あつ、部屋の詳しい？説明したかな？全寮制ってこじんまりしてそうないメージだけどね？ここって超高級マンションなの……

令司の言う通りでこの基地内に住み家がある

詳しく？説明すると、鳳翔の隣に『川内型』、その隣に『大鳳』、その隣に『翔鶴・瑞鶴』、その隣に『赤城・加賀』って感じになっている後、二階建ての一軒家も複数存在を確認しております。誰の家なん

でしようね？

「嬉しいですが、お断わりします。プリンツオイゲンやポーラなどを捕まえた方がよろしいでしょう……。それとお話したいって思っているKANSENは多いですからブラブラして迷子になって相手をして下さいませ♪」

右耳囁き。ゾクゾクするうくく!!! あっ、退いた……。もう一戦したかった……

「そっか……。ありがとう……。迷子になってくるよ。しつかり休んでね？赤城に大鳳もしつかり休んでね？それじゃ、行って来ます」

「行ってらっしゃいませ♡」

令司よ。だだっ広い基地で簡単にプリンツオイゲンやポーラなどといった酒スキの連中に会えるのかい？あつ、盗撮・盗聴されてるから簡単に会えるかな？

☆☆☆

何度でも言おう。我がオープン基地はやっぱすっげくく広いっ!!! 迷子になったっ!

でも、ここまでデカくし過ぎたっけ？よく覚えてないわ……。まあしたんでしような……。やり込んだもん……。メツチャ応援してたなあ……。叱った記憶はございません。さてさて？酒スキーには会えるかな？

携帯電話の地図アプリ使えばいいじゃないかって思って使ってみたよ？圏外だったから使えなかったよ……。役立たずっ！……。って、誰に言ってるのだろうか？んっ？あれは……？

令司は早速迷子になった。ナイスです。そして、第1KANSENを発見したのだった。盗撮・盗聴のお陰でしょう

「あら？がい……。んっんっ……。ダーリン♡明石のいる酒保へ向かうのですよね？頼まれた物を酒保へ届けるのでご案内しますね♡」

発見した。……。キャラ違くない？シェフィールド？袋に沢山入ってるねえ？……。親友の所と大違いだ。親友はシェフィールドと結婚

してたっけかな？分かんないな……。まあ、いいか

コレはコレでアリっ！なんだよなあ……。くう……。俺ら男性って奴はそういうギャップに弱いんよ……。わかってルウ！

「えっ？そう？頼むわ。シエフィールド。すっごく良い笑顔。大好きだぜー！」

「ふふ。ありがとうございます。がい……。ダーリン♡」

「知ってるかい？シエフィールドって本当は毒舌無表情キアラなんだぞ？銃をプレイヤーである俺らに突きつけたりするんだ……。うむ。素晴らしいな……」

し、しまつた……。っ！っ！っ！ついで、ヤッてしまつた……。っ！っ！っ！身体が勝手に

……

「あら♡嬉しいわ♡ダーリン♡会って早々に下の口に挨拶するなんて♡」

セーフっ！！よっしや……。ふがっ？！おお♡ありがとうございませすっ！！

「んん♡無表情ならニューカッスルじゃないかしら？毒舌は……。いたかしらね？銃を突きつけるのは1発で癒し刑にされるのでゴメンですね♪まあそういうプレイをご所望でしたら幾らでもしますよ♪そういう部屋が複数ありますので♪害虫♪あつ、間違えた……。ダーリン♡」

嫌し刑？貞操逆転世界での女性に対する重めの刑かな？聞かないでおこつと。興奮しちゃうかもしれないし？複数あるんだ。毎日、誰かしら利用してそうですね？まあ、すごいからね？うん……

「はふ……。美味しかったよ。それじゃ案内よろしく頼む。シエフィールド。いや、フィーちゃ……。んむんっ？！？」

「んっく♡んちゅ……。ハア……。はい♪ダーリン♡……。っ！っ！」

ペロキスされたぜ！あだ名が嬉しかったのか……。うんうん。恋人繋ぎで酒保へ行くんですね？わ……。鼻歌上手い！

酒スキーではないですが酒保と一緒に行ってくれるKANISENが見つかって良かったですね？恋人繋ぎをして鼻歌を聴きながら酒保へ向かうのだった

☆☆☆

「明石く？お邪魔するぞく？」

「お邪魔します」

「あつ、大うつけとシェフィールド。いらつしやい。迷子になったの  
でしよう？」

「にや〜♡にや〜♡にや〜♡にやうん♡うにやにや♡」

お〜、明石と不知火が尊い絡みをしているぞ。ありがとう

「はは。バレてたか。迷子になったよ。で、シェフィールドに発見さ  
れたんだ」

「発見して連れてきました。デート、楽しかったです。あんっ♡」

あ〜っ、ファイちゃんのお尻の感触、最高♪楽しかったよ♪

「ヨシヨシ。ラブラブだね？……大うつけが来たし、ウチが頼んだク  
リームをタツプリと塗られなさいな。高級マタタビ茶効き過ぎ……。  
ヒック。塗らないと……」

「ヒック♡ヒック♡ヒック♡しらにゆい〜♡もっとおしやけちよう  
らい〜♡あひやひや♡ヒツパーねえしやんもによめによめ〜♡  
あひやひや♡」

「」

「ヒツパー……。その……。忠告を無視してごめんね？ウチ強いから  
……。んっ……。だからごめんってば。抑えこんでるじゃん……。罰は  
後でしっかり受けるから。何の罰を受ければいい？」

「……リットリオの相手。シリアスの監視付きで……。半日」

「ひっ?!?!?うう……。わかったわ……。今後、ヒツパーがいない時に  
しっかりお酒の量調整させるからね？」

「わかったわ……。ヨロシク……」

「うわ〜」

見ない振りしてたけど……。こっちはコツチで……。ねえ？凄い  
事になってたのね？

「ええ？凄い事になってる。お酒臭い。ここまでとは……。頼まれた

物を大量に持って来いはこういう事でしたか。しっかりと塗らせて頂きますね♪」

「フィーちゃん？頼まれた物を落つことしてるんよ。何かのクリームを3つね？」

「シェフィールドのお尻を触るのを止めて拾った令司。商品名を見る」

『激痺れ薬☆マタタビエキスたっぷり増量版』。……うん。何か凄い。ずっと凄いしか言っていないような？ほう？1つの容量は120gね？

「不知火、明石、プリンツオイゲン、アドミラル・ヒッパーにプリンツハインリヒ？そのね？飲み過ぎだよ？計画的に飲もうね？限界まで飲もう！とかはしない方がよいよ？言っちゃなんだけど、家飲みで限界まで飲んでみて吐いたからね？俺。まあ？見守られてたんなら知ってると思うけど……」

酒保の中に飲める所があり、オイゲンが素晴らしくベロンベロンになっただけでヒッパーに絡んでいた。ヒッパーは必死？に抵抗してても無駄だったようだ。目の中がハイライトオフである

ハインリヒがオイゲンの背中に跨って拘束している。オイゲンは大人しく拘束されている

ヒッパーとハインリヒは口約束を交わした。ハインリヒは凄い顔をしたが受け入れた。リットリオとシリアスは凄いのかね？

「おいおい。飲み過ぎだよ?!一升瓶10本はダメっ！絶対っ！……んっ？」

「……フィーちゃん？激痺れ薬☆のクリームを無言で1つと医療用の手袋を渡すのは何でだい？もしかしなくても一緒に塗れと？それで手袋を出した所についてはツッコんだほうが良いのかい？」

「谷間から出てきたんだけど？ガッツリ見てたけど無かったよねっ?!」

「ええ♪そうです♪一緒に塗りましょう♪あら、ヤダ♪突っ込む所が違うわダーリン♪突っ込むのはココにしてよね？ダーリンのオイルマ……じゃない」



ほう？オイルマッサージなのね？もちろん、フィーちゃんのそこに突っ込むよ？準備出来てるじゃん？

「クリームマッサージ。ダーリンのテクニクで弱々、オイゲンちゃんを昇天させて下さいね♪鳳翔、赤城、大鳳以上に良い反応をしますよ♪私は明石をしますねえ♪~~~~♪」

「ん~~~~♪にや~~~~♪!!!じび~~~~♪じびれるにや~~~~♪!!!まつ~~~~♪」  
「ダメです♪しつかり1つ丸ごと塗り塗ります♪「う~~~~♪にや~~~~♪!!!」~~~~♪」

ええ？効き過ぎじゃなあ~~~~い？本当に痺れてるんですけど？猫の尻尾がイナズママークになってるし毛が逆立ってる。ええ……。そんなのを丸ごと1つ使用するの？んん~~~~？

渡された商品を見まくる令司。そして説明書のようなのが書いてあった。手書きでね

えっ?!丸ごと使わなきゃ効果出ないの?!マジですか?!あつ?あ~~~~?かなり酔っ払った方向けね?明石、良かったね

それじゃ、手袋を装着してオイゲンに塗っていきますか。どんな反応をするかな?弱々オイゲン?

「ふう~~~~…。到着が遅れてたらオイゲンの餌食になってた……。スツキリした。ありがとう。大うつけとシエフィールド。おや?明石がようやく戻って来た。良かった。良かった」

軽度?な不知火は腕組みをして明石を観察する。うんうんとしていた。不知火の尻尾は嬉しそうに左右に振っていた

「良くにやいにや~~~~♪う~~~~♪にや~~~~♪う~~~~♪~~~~♪……まだ半分。しつかり塗られてね?「にやい~~~~♪」~~~~♪」

令司のマッサージが始動した

「うひんつ!えっ?えっ?指揮官?ビリビリする……」

「あつ?オイゲン。おはよう。どうも、令司です。転移して来たよ♪」

「ええ……?そう?えっ?……んん♥」

「酔ってるなあ~~~~?臭いぞ?タツプリ塗り塗りますねえ~~~~?お客さん~~~~♪」

「ひゃん♡あつ♡あつ♡あつ♡」

「……そ〜れっ♪」

あはっ。オイゲンのエロい声を聞いてるとゾクゾクしちゃう♡  
もつと聞かせてくれ!

「〜〜〜かひゅっ?!?!あんっ♡」

「……ウチ、限界まで飲まなくて良かった…。少し塗っただけでもかなりキテるから…。すっごくキラキラした目でオイゲンにマッサージしてる…。ご愁傷様……」

令司のノリノリ?のマッサージを身体を震わせて見る不知火。目  
の中がハイライトオフ。だが、尻尾は早く振り回していた

「」

「ヒッパー?無言で腕組んでドヤ顔するのは何で?あれ、妹でしょ?」  
「時間」

「あつ?もう罰の時間?わかった。行くわ。夜伽の方は残念だけどね?  
?ヒッパーはちゃんと楽しんでね?愛されなさいよ?」

(う〜くん?オイゲンに揉まれて大つきくなつてない?)

「……もちろん。上書きされてくるわ。あんたもちやつかり揉むのね  
?」

妹が令司に良いようにされてご機嫌なヒッパー。引き攣った顔を  
するハインリヒ。なんとも言えない?図が出来上がっていた

☆クリームマッサージ終了☆

「はっ♡はっ♡はっ♡」

「いや〜♪オイゲンにマッサージするの楽しかった♪すっごくキタ  
よ…。本当に…。ありがとう…。目の中さんが♡マークになってる。  
ヨシっ。ハインリヒは罰?とやらを受けに行ったのね?程々にね?  
内容は聞かないよ。トラウマなんですよ?」

いや〜♪ノリにノツテ、2つ使っちゃった♪1つで十分なのにね  
!

素晴らしい声を奏でてくれたよ♪ついでにリンパマッサージとか

をして昇天してました♪オイゲン、フェロモン出し過ぎです♪流石だよ♪滾っちゃった♪

「やり過ぎました？お2人は完全に出来上がってますね……。引きずって部屋へ連れ込んでしましうか♪私はもう濡れ濡れです♪」

シエフィールドはそういつてメイド服のスカートを持ち上げて誘うのだった。もちろん、素晴らしい笑顔で

「ゴクリ……。そうだね……。明石に聞く事があったけど後回しだわ。ヒッパー？失礼かもだけど胸、大っきくなつたよ」

「……そうなの？ハムっ」

「耳たぶ噛むんだ。おっし、おんぶしたまま行くぞ〜♪」

令司とシエフィールドによるマッサージで出来上がっちゃった明石とオイゲン。涙を流しまくっている。それと2人は火照つていて下の口から燃料が沢山漏れていた。受け入れ体勢が整つたのだった

自分で塗って復活した不知火は明石を、シエフィールドがオイゲンを引きずって、障子のドアを開けて部屋へ入っていくのだった。令司はヒッパーをおんぶして部屋の中へ入っていく

また懲りず？にギシギシアンアンを始めたのだった。タフ過ぎませんか？四季令司？マッサージしただけなのに

魅力的な美少女や美女達がラブコールをじゃんじゃんか出してるんだぞ！それと貞操が逆転してるっばいし！最高だろう？シなきや失礼でしょうがっ!!!妻達だしなっ！↑あつ、はい……

### ☆遠い遠い暗い場所☆

「ねえねえ？オブちゃ〜ん♪何かのクリーム拾った〜♪これ読める〜？」

外出していたようで？何かを発見したピュリファイヤー。読めないうようでおブザーバーに読んで貰いたいようだ

「はい……はい……。ヨロシクお願いしますね？」

電話をしていたおブザーバー。電話なのにペコペコと頭を下げていた。上司かな？

「んんん?」

(誰とだろう?まつ、どうでも良いんだけどね)

「では…。…ふう…。で?クリームが何?ピュリちゃん?貸して。えつと…。?」

終わってクリームを渡すピュリファイヤー。読んで貰えるようだ  
クリームについて表記しますね

『☆痺れ薬ママシマタビエキス増し増し☆』

容量150g

使用方法

付属の手袋を着用して人差し指でひと撫でが適量です。それを両手で薄く伸ばし、疲れている場所に塗り塗りしましょう♪塗った場所がポカポカしますよ♪1時間放置したらスッキリします♪

「????」

首を傾げるオブザーバー。頭の上に?マークがいっぱい出ていた

「なんて書いてあった?」

右手人差し指を口元へ置いて首を傾げるピュリファイヤー。あざと可愛い?仕草をしますね?

「分からないわ?とりあえず私の吸盤一本に全部塗って、痒い所に塗る事にするわ…。ピュリちゃんに塗るわよ?」

間違った使用方法なのですが?

「は〜い♪…んっ?…っあ…。〜っひゃん♡えつ?えつ?ちよつと?ちよつと?オブちゃん?ハアハア…。ア、アツつい〜♡」

「あ〜っ♡あ〜っ♡コレダメ〜♡ナンデ〜?すつごくポカポカするう〜♡あん♡令司く〜♡来て〜♡」

あらら…。2人が凄く悶えていますね?本当に痺れている。ピリ  
ピリが見えていますもん

令司達の使用した激痺れ薬☆のクリームを、間違った使用方法で塗ったらどうなるのでしょうかね?実験したくない?

………はっ？分らない？

酒保に居る明石に身体について聞いて、見て貰おうとした令司

ただっ広い基地で早速迷った。そして、フィーちゃんというあだ名を持つシェフィールドと出会い、一緒に酒保へ向った。シェフィールドはデートと置いていた。デートですよ？良かったですね？

酒保へ入ると、そこにはベロンベロンに酔っていたプリンツオイゲンと明石がいた

シェフィールドが不知火に頼まれていた『激痺れ薬☆マタタビエキスタップリ増量版』のクリームを、令司とシェフィールドが使ってマツサージを決行

オイゲンと明石をトロットロに仕上げたのだった。軽度だった不知火は自分で治した

プリンツハインリヒは罰を受けにバイバイ。引きつっていたのでリットリオとシリアスの組み合わせはどんな罰なのでしょうかね？ヤベ〜いのかな？

半日と言っていたけど丸1日指定とかも出来ちゃうのかな？それ以上もあるかもしれない

ヒツパーが令司に抱きつき感想を述べた。そしてハインリヒ以外を部屋へ引きずり、またまたラブラブを開始したのだった

おい、令司！執務室での仕事はどうしたっ！ローンにするなどは言われたけどさ？

あつ、もしかしてキャツキャウフフするのが仕事かい？貞操逆転で男女比1：30だもんね？それなら、うむ！頑張るしかないな！無理はすんなよ！身体を大事にしなさいな！

☆☆☆

「…大うつけのモフモフ攻撃は破壊力バツグン過ぎる……。フツサフサのツヤツツヤになった……。ありがとう。トロトロにされたら出来るとかビックリした」

「~~~~つ♪」

右側にシエフィールド、左側にヒッパーが抱きついて頭をスリスリしています。令司は気にしていない様子です。大賢者になったからでしょうか？んんん？何か2人から尻尾が見えたような？気のせいですね。目薬差しとこ

「……………はっ？分からない？不知火、どう致しまして。こっちもビツクリしたよ……………」

女体の神秘って奴ですな。睦月型はアウトダゾ！アークロイヤルが黙っている訳がない！ゾツコンだし。まあ、駆逐艦全員ラブなんだよね

みんなのファーストキスご馳走様でした。全員とやり抜きましたよ。何でみんなの口は甘いのか？逆転してるから？凄いゾ！この世界は！

いや〜明石い〜。まんま猫でしたよ。癒された〜♪可愛い〜！可愛い〜！大事な事なので

でっ！復活した後には身体について聞いたらさ？笑顔でね？分からないにや！って言われんだ♪ええ…？見て貰ってたけど分からないってさ〜。自身なら良く分かるだろって？良く分かんないのさ♪

「あ〜…。少し痺れてるにや〜…。そうにや！分からないにや！見て調べてもにや！神々にちよっかいをかけに行っただけにや？直ぐ了解しました的な回答を貰ってポイにや！記憶も曖昧にされたと思うにや！ごめんによさいにや……………」

やつぱり？神様達ったらそういう事をしたがるよねえ？都合が悪いのかな？ちよっかいかけられるのかよ……………。凄いなあ〜

「いやいや！謝んなくていいし。ゲームの世界に来れたのは明石がちよっかいかけてくれたからだと思うし？本当にありがとう。こうして画面越しでのお喋りじゃないからさ……………？感動しちゃってるんだよ。息子張り切ってたし？有難く頂戴したしな。量が少なくて良かったじゃないか」

「……………励まし方が下手だと思っけどありがとにや！そうだにや。結婚

しても求愛しちやったからにや！それと…タフ過ぎるにや！ふにや〜♡気持ち良いにや〜♡」

明石と対面で会話してると思った？残念でした。令司があぐらをかいていて、その中にスッポリ収まって会話してるの。たまに明石の顎をコチヨコチヨして喜ばせていたりする

「ううう……。お酒好きなのに……。映像見せられたら凄かった……。ごめんなさい……。姉さん……。記憶が無いって罪ね……。罰はしっかり受けたし？罰の行為中で、姉さんの好意をしっかりと感じたわ……。お酒の量とかハイソリヒからしっかりと学ぶわ」

「うっ……。そうして頂戴。性長してるってウソつかれたと思ったけど、最中に測ったら本当に成長してたのよね……。ありがと……。感謝するわ」

「うふふ♡喉仏にキスが出来た♡最高♪育乳されてたのね？良かったじゃない♪……。あら？がい……。ダーリン？凄く立派な音ですね♪」  
くっそう……。尊い百合を見てたのに、空気が読めないお腹めえ〜

「……………もうお昼じゃないか…。運動もしたし、お腹が空いて当然だろう？ヨシっ。ここに来たお礼として冷蔵庫を漁って料理作るとするよ……。台所借りるぞ〜」

「！！手料理！ありがとうございます！ありがとうございます！！！！」

「うおわっ?!?!声、デツカっ?!」

ほんとに運動しまくりましたよ？での、腰痛くならなかったの。不思議。なんか起きてからヤツてばっかだけどね？復活が凄いと思う。本人が1番ビツクリしてる……

料理するって言ったら一斉にキリっ☆って、なって押んで来るのは何ですか？この世界の男性は料理しない系ですか？それか料理はするけど、女性と一緒にたべないとかかい？

言葉より行動でドンドン知っていかうか。盗撮や盗聴されてるのにインターネットの方が使えない？とかはどうしてでしょうね？使えるかもだけどさ？聞いてもはぐらかされそうだから聞かないよ

「期待はしないでなく♪見てたんならわかるだろう?」

「二「大丈夫です!ありがとうございます!」」

「あつ、はい…。待つてな〜♪」

声、デツカ〜い。目、キラキラしてる〜。頑張りますよ〜

これらの会話が盗聴されているって事をさ?忘れてなあ〜い?基地内や出撃組などにさ?

〜一部の様子〜

「閣下の手料理!Fooooo→→」

討伐を終えて休憩していたアークロイヤル。鼻血出してる。令司の手料理は神々しいのかもしれない

「きやつきや♪あ〜くろいやるしやん♡てつだうよ〜♡」

「あつ?む、睦月達いい!?違う海域に行つ…ちよっ!?!ごっはあああ〜!!ああ〜漲つちやううう〜♡」

嗅ぎつけた?のかアークロイヤルに勢い良く抱きつく睦月達。睦月達の顔に血が付いていてもお構い無しのようにだ。アークロイヤルも気にしていない。抱きつかれて元気になっている。キラ付け?されたのだった。凄いな?

「大鳳〜♡おつめでとぅ〜!…えっ?ぎ、逆サプライ〜イズ…?…ぐエエえ〜!ギブツギブツギブツツ!…アツ♡…キユウ〜」

「…はっ?!あら?アルバコア?お目目グルグルですわよ?どうしたのかしら?ねえ?鳳翔さん?赤城?」

サプライズでは無く、純粹に祝福を述べに来たアルバコア。無言で大鳳にハグをされてミシミシと力強くしていき気絶させた。2人のいつもの奴ですね

大鳳はアルバコアがなんで、こうなったのか分からない様子。お話しをしていた鳳翔と赤城に聞く

「……………」

「…何で目を反らすのですか?ねえ?ねえ?ねえ?」



表情には出ていないが背中に汗を掻く鳳翔と赤城。大鳳のハグを経験していたのかな？関わりたくないのかもしれない。アルバコア、ドンマイ

「ふう……。これで、100体討伐完了なのです。アークロイヤルさん、草生えるです。手料理おめでとうなのです。で？こっちは……はあ〜」

「ここをギョツと強く締め付けてね？仕上げに思いつきり引つ張って離して♪はい、完成♪……って、あら？倒しちゃったわ♪んもう♪お姉さん、高雄縛りの素晴らしさを教えてたの〜。これで200体目？300？朝から高雄からの締めとシリアスのコンボで絶好調だわ〜♡指揮官の手料理おめでとう♡」

「……………」  
「…………?!クウ〜ン……。綾波〜。締め解かないでよ〜!ぎゃんっ?!」

愛宕の頭にタンコブが出来たがすぐ直った。駆逐艦のパワーでは無いらしい？綾波が凄いのかもしれないね？

「はいはい……。ゴメンなさいね？ササつと帰宅帰宅……。ラフィー？お〜〜い？……ラフィーの手料理食べた〜〜い!」

「えっ?なにになに?!食べてくれるの?!?!は〜〜い♡帰ろう〜!」

『ビリビリ☆コーラ』を飲みながら120体討伐したラフィー。飲み干したのはちゃんと持ち帰るようだ。溜め息をついた綾波が食べた宣言をしたらいきなり綾波に抱きついた

「では、私が盛り付けるお皿になりましょう……。ご安心を。何処でも皿になれるように、しっかり綺麗にしておりますので。どうぞ遠慮なく。次いでに私の全てを遠慮なく食べて下さいませ。……事務系?畏まりました」

「ニューカッスルさん?無表情でそういう事を言っちゃうのビツクリ……。私もお皿、したいですう!」

「ジャベリン……。えっ?ゆーちゃん?ユニコーンはやらないよ〜。お兄ちゃんの料理教室を開いて欲しいなあ〜」

こーう言ってる。みんな一斉に拍手とかしてるんよ?涙流してるの

もいるし。……この基地って何かズレてませんか？最初つからズレているのかもしれない

☆☆☆

「「「ご馳走様でした！美味しかった♡本当よ♡幸せだわ♡愛してるわ♡」」」

ほっぺたが落ちるって表現あるじゃん？本当に落ちてるんです。お代わりたつくさんでしたし……。幸せな顔で食べてくれて幸せ！いっぱい食べる君達が好き

「良かった。どう致しまして。いっぱい食べる君達が好き。間違えた。愛してるよ」

「「「うふふ♪」」」」

……饅頭達って何でも食べるんだなあ。大好物なのは何だろう？ミミズかなあ〜？あつ、ファイちゃんに饅頭達、後片付け手伝ってくれてありがとう

「どう致しまして♪がい：ダーリン♪畑達のミミズを沢山食べてるのでそうでしょうね。ミミズの量が絶妙にされてるって話です♪」

「……顔に出た？」

「出ましたね」

「そっか」

「「「んぴっ！ぴんっヨ〜っ♡ピンピ♡ピピッヨ♪」」」訳：どう致しまして。ササミが1番好き♡2番にミミズ♡こういうのが仕事です♪

「畑達。まあ、あるよね〜。今度見に行こうと……。いつ行けるかなあ？まだ執務室で執務してないけどね？うん。饅頭語、分かんないや……」

明石がいるから聞こうか。翻訳機作ってそうだし？

「ねえ？明石？」

「んにゃ？にゃんにゃ？」

「饅頭達の翻訳機って作ってたりする？それか明石達なら何て言っ

るのかわかる？ホラ、整備饅頭達とコミュニケーションを取ってるだろうし？」

翻訳機で分かれれば大好物のフルコースを作れるからねえく。コミュニケーション、大事ですよ

そうそう、食べ終わったら直ぐにはないけどオイゲンとヒツパー帰っちゃった。寄るところがあるんでしようね。不知火は令司がお皿などの片付け中に2階に行って寝ました

「作ってみたけど反応しなかったにや〜。何を言ってるのか分かんにやいにや〜！ごめんになや〜？んにや〜っ♡」

令司が胡座をかいて座ったら、明石がちよんこんと座りにきた。胸にノの字を書く明石。令司は尻尾をぎゅつと掴んで鳴かせたのだった。2人のスキンシップのようだ

「そつか〜。分らないか…。ありがと…。こっちの言葉は届いてるから別にいつか。楽しそうにしてるなあ。行こっか？フィーちゃん。それじゃ、バイバイ」

「はい♡がい…ダーリン♪お邪魔しました。行ってきます♪」

「バイバイにや！いつてらっしやいにや〜！また用事とかあつたら来てにや〜!!!」

両手をブンブン振り回すのとぴよんぴよん飛び跳ねながら見送る明石なのだった。お花や♡マークが咲いていた。令司は、右手で目をゴシゴシしてからその光景を刻んで散歩を再開したのだった

☆☆☆

迷子になるのを再開した令司とシェフィールド。恋人繋ぎを再開しています。シェフィールドは令司のお尻を1度も揉んでいない。移動中だけね。誰と会うのでしょ…んっ？

「あら？令司指揮官さまにシェフィールド…。ごきげんよう」

無事遭遇しました。良かったですね

「ごきげんよう。イラストリアス様」

「イラストリアス。ごきげんよう」

イラストリアスお嬢様のおな〜り〜。って、何か混じってるけど気にしない事にする。やっぱりお嬢様ですわ。すっげーキラキラしちやってるよ。スタイル良いわ〜。うん。同じ感想しか言っていないわ〜

「シエフィールド？指揮官さまの手料理を食べられて良かったですわね♪みんなして拍手しましたわ♡お皿になるって言った方々もいましてわ♡」

お皿になる方々?! そんなにいろの?! えっ? 雑な料理なんだけどね?! 右手が谷間に沈んでいく。ありがとうございます!

「有難うございます♪美味しかったですよ♪強制とかはしないようにしてくださいね? ……お皿ですか。ニューカッスルなら絶対に言うでしょうね?」

「しませんわ♡こうしてお喋り出来る時間を罰の時間にしたくないですから♪ニューカッスルはしつかりと言っていましたわ♪

ニューカッスルが言ってた?! ヨシっ! 会ったらヤルと伝えよう! ベルバストが釣れるゾ♪

「それで? 指揮官さま? お腹を満たした後、どうされるのですか?」

「えっ? 執務は?」

「終わりましたわ♡」

「えっ? そうなの? ありがとうとね? 基地のマッピング! 何、だけど俺に必要そうなのはなさそうなんだよな……。なら畑達の所か? でも休憩してたいな……」

「そうですか?」

「あ〜、畑に行った感想は、すげ〜、広い。しか言えないと思うのよ……。みんなのお部屋訪問か? 一件一件? 部屋……。多いんですけど? 200以上はあるんだよ? う〜ん」

基地の全体図だけど、俺には関係ないのが多いと思うのよ……。KANISEN寮と自分専用の寝室、執務室、第1食堂。(食堂が5つあるって事後会話で聞いた)、酒保などで充分だった

「……………暇なんですな?」

「暇だねえ」

「なら、指揮官？お茶会に参加しませんか？癒されると思いますわ♪  
今、セイレーンの動きが少し緩くなってるので、これから演習場で大  
会が開催されると思いますわ」

「ふうん？セイレーンの動きが少し緩くなったのね……。良い事じゃ  
ないか。ここ以外にも基地があるんならお任せしようか……。大会  
ねえ？そこそこにしなよ？お茶会！参加するする。今直ぐ行こうか  
！」

「はい♡嬉しいですわ♡それでは失礼しますわ♡ぎゅゅゅ♡スーハー  
スーハー♡~~~~♡」

うん。おちやめなのかな？お姫様抱っこしてるぜ。感触を堪能し  
ながらエスコートさせて頂きますわ。最高ですう。やっぱりみんな  
犬や猫なのかな。頭スリスリや嗅いできますわ

令司がおネエになってる？戻ってこい！

「コレで行こうとしてるのね。畏まりました。イラストリア……。お  
ほん……。リアお嬢様」

うん。笑顔、決まったんじゃない？ダサイと思うけど……

「~~~~つっつ?!?!~~~~つっつアツツ♡♡♡」

「……あるえ？」

「あらあら♪イラストリア様ったら♪匂いを嗅いでお漏らしなんて  
♪笑顔でトドメを刺しましたね♪鍛えてた効果がありませんね♪お  
茶会、参加しますね♪メイドですもの♪」

「ええ？ビックリなんですけど……。くっさいのかい？」

うん。フィーちゃん？言わないであげてよ……。コレは……。うん  
『全身媚薬人間♡』説の可能性大だろ？まあ……。無いとサツサと枯  
れてたでしょうからね。助かるわあ

「???良い匂いですよ？臭くないです。何を言ってるんですか？」

マジの奴だね。そうですか。良かったよ。お茶会へゴーゴー！

そうして令司はお茶会に参加するのだった。執務は絶対？にさせ  
ないようだ

☆☆☆

「来たわね！旦那様！お茶会を始めましょう！イラストリアスったらうらやま……、けしからんのよっ！私にもお願いするわ！」

「……………っ。んむっ……。リア……………」

お茶会の部屋を開けたら直ぐ目の目に腕組みをしていたクイーンエリザベスがいた。令司は固まった。だってねえ？プルンプルん♡なんですよ。すっとーんじゃなくてプルンプルん。エリザベスのお胸様が

で、イラストリアスと濃厚なキスをする。終わったら橋が出来た。エツチいすね？

「……………はあ♡うふふ♡分かっているとありますが、リアのファーストキスですわ♡下ろして？」

「ありがとうございます。畏まりました。クイーンエリザベス。いや、エリちゃん。よいしよと……。『ひゃんっ』ふう……。いかがですか？って？「ふにや〜っ♡」……………エリちゃん？お〜い？」

「あらあら♪エリザベス様ったら♪」

茹で蛸になるエリザベスなのだった。グルグル目である

「ご主人様のお姫様抱っこの破壊力は凄いですね……。特大抱き枕で鍛えてもダメとは……。やはり匂いですね」

いや〜。実ってるよ……。最高です。ニユーカッスル？特大抱き枕って……。？全員持ってそうだなあ〜。↑いいえ？全員じゃないです

「……………羨ましいですわ♡(な♡)……………」

「誰が重いでっすってっ?!ねえ？誰が重いですって?!トレーニングでキープしてるわよ?!果実が重めなのは認めますよ?後、指揮官!?!生乳首、最高ですわっ!?!」

グルグル目で、右手人差し指でビシツと令司を指して早口で最高と言うフォーミダブルなのだった。コツチも茹で上がっている。耐性が無いようだ

「ひゃいっ?!ありがとっ!?!フォーミダブル!!?」

背筋をピンとする令司。なんか色々可笑しいすね？

「まあまあ……。フォーミダブル。落ち着いて……。陛下は頑張って鍛錬してもダメでしたか……。まあウチも匂いでだいぶ脚がガクガクしてるんですけどね。メイド達は流石ね?」

「鍛え方が違うので。ご主人様はウォースパイト様とヴィクトリアス様の間で、陛下を抱っこしたままお座り下さいませ。それではお茶会を始めましょう!」

畏まりました。うん。紅茶の種類沢山ある〜。あつ、美味しい喋ってないKANSEN達がいるが、このお茶会に参加しているのは

クイーン・エリザベス、ウォースパイト、プリンス・オブ・ウエルズ、イラストラシアス、ヴィクトリアス、フォーミダブル、ニューカッスル、ベルファスト、シエフィールドである

令司達は紅茶を飲んでシリアス他が作ったクッキーなどを食べて談笑した。そしてお茶会が終わる時が来た。エリザベスはお茶会をしている最中、ずっと令司の乳首を思いつきり見ていた。触らなかつたが

「お茶会終わった……。いや〜色々喋って、笑った〜。誘いにノツテ良かった〜。ありがと〜。それでね?やっぱり何かを盛ったよね?身体ポカポカしてんだけど?」

シリアスのクッキー美味しかったです。クッキー部門?つてのがメイド内にあつてニューカッスル、ベルファスト、シエフィールド、シリアスの順なんだつてさ

クッキーが紅茶に盛られてて、身体ポカポカし出したんだけど……。息子よ?出番ですよ?ロイヤルお嬢様方をガッツリ食しな?「盛ってないわよ!旦那様!シリアスのクッキーは平気だった?…んっ…ハア…♡キちゃった♡」

「はあはあ…。ええ…。陛下の言う通り盛ってないわよ……。平気…そうですね……。はあはあ♡」

「えっ?盛ってない?うん、平気だけど?みんな食べてたじゃん?それでみんなして発情しちゃったんだね?うん。シよっか……」

「ご主人様。身体の調子はいかがですか?」

「ベル？身体の調子？絶好調だから。奥の部屋がそういう部屋だって事、分かってるから。エリちゃんから美味しく頂いちゃいますね？」  
「バレバレでしたか……。ご主人様、流石です」

クツキーや紅茶に盛られてなければ……。って話はもうしないよ。  
ピンク部屋でラブラブする！以上！これは決定事項だ！

「はあはあ♡お願い…するわ……。ドロドロ…に愛して…ね？旦那様……。んっ♡」

「畏まりました。エリちゃん。みんなともスルからな？よろしくね？」

「ハイ♡」

「ははっ。全員、いい返事をするんだね」

エリちゃんからゴースインが出たので我！夜戦に突入す！

ヤル気マンマンな令司達はピンク部屋にゾロゾロと入っていき、アンアンしまくったのだった

実は、お薬は盛られていながったが、お香のような物が焚かれていたのだ。令司はそんなのには気付かなかった。まあ、結果オーライって事で♪

### ☆遠い遠い暗い場所☆

「おじゃま〜!!って……」

「あ〜♡う〜♡ひゃんっ!?アッ♡アッ♡ひもちいい♡んっ♡ハアハア♡」

使用方法を守らず勝手に弱体化したオブザーバーとピュリファイヤー。2人の目の中さんも働き者ですね？♡マークですね。痺れるのに快感が襲って？いるようだ

板チョコのようなドアを蹴破って入ってきた美女が2人を見て引いていた。板チョコのようなドアは壊されなかった。頑丈だね？で、閉まったドアに自然と背中を合わせていたのだった

「……あんたら、何でビクンビクンしてるの？なんかさ？2人の声がエッチいんですけど？うん。これ知ってる。ロリボイスとウイ



スパロボイスって奴だ。ロロボイスがピュリっちで、ウイスパーボイスがオブっち」

落ち着いて2人に近づいて観察をしていき、指差しをしながら声の種類を告げた

「おりじなるてしゅたー♡しびれてうごけにやいっ♡たしゅけてっ♡あっ♡」

「うん。そうだねっ。でも残念だね？オリジナルテスターじゃないんだあ。あたしは2番目なんだよ」

キヨロキヨロする2番目のテスター。ビクンビクンしてる原因の物を発見した

「あっ？原因はこれかな？うん？……クリームだね？空だね？説明っぽい事が書いてあるけど読めないなあっ。どうしよっ？どうすればいいかなっ？とりあえず2人を縛るところかな？えいっ♪」

読めないようにクリームをポイ捨てした。で、突然現れた縄で2人を縛ったのだった。笑顔でね？拘束プレイがお好きなのかな？

「アアアアアっっっ♡」

「うっわっ。良い声で鳴いたわっ。緩かった？それならちよつとキツめに「っっっっっ?!?!」えええ？」

これはこれは……。クリーム最強説明がありますね……。？令司よ？クリーム攻撃効くぞ！

新たな扉を開いてしまった……

酒保の奥の部屋で明石、不知火、プリンツオイゲン、アドミラル・ヒツパー、シエフィールドと肉体関係を結んだ令司。勿論？全員初めて♡しっかり血を確認した。ここに来て1番最初にヤツたローンも血を出していた

酒保が明石と不知火の家だと知った令司だった。その方が便利だからね？

昼食で手料理を振る舞ったら大喜びされ、盗聴していたKANIS EN達から拍手で祝福される。あつたかいですね？

シエフィールドと一緒に酒保を出て行き、迷子という名の散歩をしていると『リア』というあだ名、いや愛称？のイラストリアスと出会い、立ち話をする

お茶会に誘われて、それに乗った令司。イラストリアスをお姫様抱っこして色々な部分の感触を堪能しながらお茶会の部屋へ向かった。

移動中のリアも令司の乳首を沢山触って興奮していたのだった。お互い発情していたのだ。それを笑顔で見守るシエフィールドだった

お茶会に参加していたのは、エリちゃん事、クイーンエリザベスと、ウオースパイト、プリンス・オブ・ウエールズ、イラストリアス、ヴィクトリアス、フォーミダブル、ニューカッスル、ベルファスト、シエフィールドだった

クイーンエリザベスのお胸様はプルンプルンであった。育乳に成功していたようだ。おめでとうございます

紅茶とシリアスや他のKANISENの作ったクッキーなどを食べて談笑していった。ホッコリしていて最高だね

お茶会が終了すると令司を含めた全員が発情。奥のピンク色の部屋に逝き、全員とラブラブしたのだった。ロイヤルお嬢様方の作戦通りだったのかな？まんまとハマったのだった



あ、頭をスリスリするのも止まらなかつたわよ?! ええ、気持ち良すぎよ! 匂い最高よ! 悪臭じゃないわ! 満足したわ! ありがとう! 旦那様!

「どういたしまして。エリちゃん♪早口なのはビックリ♪締め最高だったよ」

ちよつと、分けが分かってない事を言うね?! エリちゃん?!

んっ? いいねえくく♪エリちゃん。また腕組みをして谷間をアピールしてくれるなんて……。育乳しつかりしてたね。失礼だけど本物だったよ……。凄いね

他の基地のエリちゃん達と交流があるらしく、胸の事で凄く嫉妬されたんだってね? 揉まれもしたって? うむ。同じ人物同士か……。また新たな扉開けそうですね……

同じ人物ってオープン基地にいたかな? 居なかつたような……。分からん。いたら楽しみましょうか? 感触は違うんじゃないかな? いや、同じかな?

「ウェールズの欲望を聴いて、それを楽しくヤツてのけた主人。ありがとう。気持ち良すぎたよ……。うっ…、思い出したらまた鼻血が……」

「息子が大変お世話になりましたウェールズ。ウオースパイトが良い感じに……。ぐふふ……」

「うっ……。くっコロもどきが……。指揮官、気持ち良かつたよ。ありがとう」

「お皿にして下さりありがとうございました。ご主人様。これからはお皿同好会のみなさんにしていって下さいませ。また、ベルファストのミルクもたっぷりつけて堪能とは流石ですね」

ニューカッスルのつてさ? なんかそっちのお店を開けそうだよね? 程々に呼んで楽しみますよ。それか向こうが率先して皿になるかもね? 知らんけど

「ベルのミルク、ご堪能ありがとうございます。ご主人様♡」

「ニューカッスルの事務系の方も楽しんで頂けたみたいで良かったです。勉強した甲斐がありました」

「うむ。報告書とし」

「こちらに……」

早いなあ。まあた、谷間からだよ……。どうなってるのさ？流行ってるのかね？身体の構造が違う。で、簡単に済ませそうだな。ま、良いんだけど

「……ありがとう。それ……」

「どういたしました。……あら？ヴィクトリアス様？まだ搾り切れて無かったご様子ですね？搾り切りましょう」

「はっ♡はっ♡…えっ？」

お茶会終了後にミルクティーの使用してたミルクがベルファストのって聞いてびっくりした令司。後、ヴィクトリアスのも使用していた。プレイ中に楽しんだらしいですよ？

飲んでる時、ヴィクトリアスの顔が真っ赤かで湯気が出てたのはそういう事だったんですねえ……。？イヤンイヤンする仕草、ぐさつと刺さったよ？

くつそく、ヴィクトリアスの搾り切ったと思ったのに！ありがともっとイチヤイチヤを見せて？どうぞ

「はあ……はあ……。ありがとう（ですわ）」

「だいぶ鍛えられましたわ♡リア、幸せですわ♡後、フォーミダブルつたらねえ？趣味、バレましたわね♡うふふ♡」

「うう……。誉め殺しは効いたわ……。トレーニングしてて良かった。それとみんなして撮…、ううう……」

テーブルに重い果実を乗つけてグデングデンするフォーミダブル。頭から煙が出ている。沸かせそうだ。褒められる事に慣れて？いなようだ。慣れていきましようね？

「似合ってた（ましたわ）。青葉新聞に載る（りますわ）」

「……好きにして良いですよ。これ、盗聴されてますからね」

フォーミダブルが全員から褒めまくられまくったようですね？令司、ウォースパイト、ヴィクトリアスが青葉新聞に載ると断言。後日、バッチリ青葉新聞に載る。そしてその趣味？とやらに参加するKANSEN達が増える事をまだ知らないのだった

☆☆☆

「旦那様！散歩再開よ！良いわね！何処に行くか迷ってるならね！時間と場所的に第2、第3食堂がオススメよ！ハイ！地図！貰ってないのでしょ！これを使って散歩すれば良いわ！」

「陛下の言う通りです。指揮官。ここから先は私達は付き添う事はないので1人散歩を楽しんで下さい。他のKANISEN達を見つけて捕まえて散歩するのも良いですね」

「地図！そうだよなあ。最初から貰えば良かったんだよ！うん。ウォースパイト、ありがとう。捕まえてみるね？それじゃ、行って来ます」

「行つてらっしゃい！（ませですわ）。旦那様！（指揮官、ご主人様）」  
令司よ。ローンと出会って会話した時点だね？そのね？このオーブン基地の全体の地図を貰う発想をしなかったんだね？だだっ広いつて言つてたじゃん

ベンチに座つて地図を眺めている令司。真剣な表情をしている。この表情を見てキュンキュンするKANISENがいるんじゃないかな？

「はえ〜。ひつろ〜！本当はひつろ〜！饅頭農園、饅頭養鶏場☆ゴージャス☆、饅頭養豚場、饅頭牛放牧場、饅頭養殖場とか色々書いてある。饅頭スツゲ〜！経営者じゃん！」

うん。やっぱり広いね♡軍のテーマパーク♡って感じ。船が美少女や美女達に擬人化したんだもんね？そりやねえ？俺には関係ない施設がいっぱい♡

無差別KAN種級☆大会用海域って凄いなあ……。戦艦海域、重巡海域、空母海域とか色々あるね

工場も広い？よね？明石1人が回してるの？いや、ずっと酒保にいるって言ってたな。ヴェスタルと夕張がいるから任せてるのかもしれない。他にも適性の方々もいるかもね？

饅頭達もいるから平気か？朝に工☆廠☆長！って書いてある法被

を着た饅頭がいたからねえ？頭の上で跳ねてたなあ。楽しそうにしてたっけ

でさ？饅頭養鶏場☆ゴージャス☆って何っ?!共食い?!……って、発想はないのかもしれないな。饅頭に鳥料理メツチャ振る舞おう!!!↑キリっ!!!

では、第3食堂に行きまーす!第2食堂は別の機会です!

☆☆☆

〈第3食堂〉

誰とも会わずに1人ブラリ旅を堪能しました。わくわくパチパチ。うん。第3だから銅のネームプレートだわ。確かに第1食堂は金色だったね。第2は当然、銀色してるね

「ふうふう……。ここが第3食堂だな……。うん。ここも広いじゃん。おっ?リットリオ、ザラ、ポーラがいる。リットリオはやっぱり全裸か。うむ。素晴らしい身体をしている。ありがとう」

料理表を見ないで、腕組みをしてリットリオとザラとポーラを見る令司。熱く見られていた3人は気付いたのだった

「「~~~~~っ♡あつ、令司(様)♡いらっしやい♡」」

「やあやあ。来たよ。リットリオ、ザラ、ポーラ。料理の邪魔をして悪いね?」

「「平気ですう~~~~」」

「第1食堂じゃないんだな?みんな愛してる。結婚してください。そしてその素晴らしいリットリオの褐色を食らせてくれないかい?ザラもポーラも勿論、食らせてくれ」

みんな、素晴らしいよ。リットリオはプリンツハインリヒの罰の相手をしていた筈なんだけど?ここにいてるって事は終了したんだな。アドミラル・ヒツパーとプリンツオイゲンが寄ったから早まったのかもね?

「「ハイ♡喜んで♡って、結婚してますよ♡」」

ほらっ。っと、言っつて左手薬指を見せる3人。熱い視線を浴びてキュンキュンしている

「おっと。そうだったね。すまんすまん」

「ふふ。……サディア料理を食べてくれ（ませんか?）。はい♡この後、身体を貪ってくれ（ませ）♡」

「うん。サディア料理を頂こう。「どうぞ♡」……って。ポーラ?おっと。そうだったな。お皿同好会だったな……。それでは頂きます」

積極的にお皿になった♡!!本当に丈夫なんだねえ?ビツクリ。熱いのに

「どうぞ♡召し上がれ♡」

「おめでとう♡ポーラ!!!可愛い声を出すネ♡」

ポーラがお皿同好会のメンバーだったので料理とポーラの両方を美味しく頂くのだった。みんなから拍手で暖かく祝福されるポーラなのだった。リットリオとザラもニッコニコで見守っていた

「いや〜。令司の下半身は元気だね。知ってたけど。流石、清楚ビツチ♡ここに来る前に演習上がりのKANISEN達とヤツタというのね。リットリオは濡れてるからな♡あつ、襲っていいかい?理性が効かなくなつてき〜んっ♡」

第3食堂内で始めた令司。食べ終わったからね。リットリオの言う通りで、来る前に演習大会上がりて服が破けてエッチイ姿のKANISEN達と出会っていた。そこでも始めていたのに復活していた凄いで!令司

### ☆第3食堂へ到着する前の回想☆

「~~~~~♪」

地図を見ながら、鼻歌を歌いながら1人ブラリ旅を堪能中の令司。そこに演習大会が終わって服が破けてエッチイ姿のKANISEN達と遭遇した

「どの食堂に行く……て?!しししし、指揮官っ?!」

「んっ?エンタープライズ。それに瑞鶴や青葉達。演習お疲れ様。コッチの世界に転移されて来たぞ。もう知ってると思うけど」

演習お疲れ様です!カッコいい美女達がキタ〜っ!んもう。エンタープライズ、モジモジすんな。襲っちゃうゾ!ダイナミック登場



してたじやん？

「いらつしやい♡しきか…ん？はい。どうしたの？翔鶴姉え？うんうん…。えええっ?!やめてよねっ?!おねがいつ!あっ!ちよ?!もしもし?!」

「二二「ようこそ!貞操逆転世界へ!指揮官!」二二」

「んああ〜♡本物だあ〜♡やつと来た〜♡明石達に感謝だな!高級マタタビ茶を持って行こう」

「そうだな。明石に感謝だよ。盗撮・盗聴で知ってると思うが感謝の印としてヤツタよ…。求愛してきて可愛いかったよ♪」

「生のイケメンボイスが聴けて耳が幸せだよ♡待ってたよ♡結婚してるのに求愛のメス声をずっと出してたな。可愛いかった♡瑞鶴との一騎討ちの演習はエンタープライズが勝ったぞ!それでな?ししし、指揮官?キキキ、キスをして「どうぞ♪」ありがとう♡では、失礼する…。んっむ♡んっ♡〜っ♡〜っ♡」

エンタープライズが素晴らしくオドオドしていた。犬の尻尾が見えたと駆逐艦全員が感じたようです。笑顔で暖かく見守っていたとか

「うう…。翔鶴姉え〜…。手加減無しかもなく。で!グレイゴースト!長いよ!みんなもシたいんだから!」

「ぶはっ…。ハアハア♡んう♡瑞鶴♡指揮官は…魔性だぞ♡気をつけろ♡」

「ありがと!失礼するね?」「どうぞ」ありがと♡んっ♡んちゅ♡んっ♡♡♡♡♡ぶはっ♡はあはあ…♡はあはあ…♡美味しい♡お尻凄いい♡あんっ♡あたしのお尻揉まれちゃった♡気持ち良い♡」

「んはっ…。情熱的だな…。甘くて美味しいよ。橋、出来たな。エツチだ。みんなの口は甘いのが常識なんだな…。」

「キスありがとね♡そうだよ?あつ、勿論、これファーストキスよ♡言っとくけど指揮官以外の男性なんて見た事ないわ!せいぜい見たのは指揮官のイケメン親友さん位かしら?指揮官の方がイケてるよ♡」

「瑞鶴、ありがとう。まだお尻揉むのね?止めないよ。みんなも演習

お疲れ様。エッチイ姿が見れて大満足だ。それじゃみんな！キスしようか！お尻解禁。揉み合いしよう！さあ、来いっ！」

「「「ハイ♡指揮官♡」」」

「あ〜」

（ハアハア♡あ〜〜っ♡どうしよう♡キスやお尻の揉み合いでムラムラが凄い事に♡何の為にエンタープライズと一騎討ちしてるか分かってるのっ?!こんの〜っ♡頭の中の翔鶴姉え……。ドヤ顔でグツジョブするなあ〜〜!）

キスにお尻を揉むのを許可した令司。その中で瑞鶴がムラムラして発情状態に仕上がっていました。演習に参加していた全員とのスキンシップを終えたら？

「ぶはっ…。はあはあ…。はあはあ…。うっ…。これは…。すごく…キツイ…。はあはあ…。なあ」

おつかしいなあ??? スツキリしたんだけどお？キツイよお？

「ど、どうした？瑞鶴？おい？瑞鶴？様子が変だぞ？それが発情状態って奴か？」

「瑞……。鶴？」

「はっ♡はっ♡はっ♡んうう♡…んっ♡な……。なあに…？しきか〜ん♡はあはあ♡はあはあ♡」

（くっ！おそ…。ちや…。ダ…。メ…。なの…に…おそ…。いたいよ〜っ♡ダメダメダメダメエ〜〜っ♡）

「はっ♡はっ♡はっ♡ス…ル……。スルぞ〜っ!!! 瑞鶴うううう！」

「きや〜〜っっ♡ハイっ♡しき…んうっ?!んっ♡んっむ〜♡  
〜〜っ♡アアアアア〜〜♡♡愛してるわ〜♡  
しきか〜んっ♡」

「俺もダアあああ〜♡瑞鶴うううう〜♡んっ！」

「本当の本当に発情状態だったのか。おめでとう。瑞鶴♡」

「「「エンタープライズ〜イズ〜♡えへへ〜♡そいや〜♡」」」

「…えっ?あっ?ちよっ?!駆逐艦達?!「エンタープライズ〜ズっ!!!ヤルぞっ!濡らすからな!」ひやいっ!!!あんっ♡んんっ♡〜〜っ♡」

「きゃつ?!えっ?えっ?えっ?なんで?なんで?駆逐艦ちゃん達?何で青葉の服を脱がそうとするんですかつ?!青葉は、青葉は指揮官を眺めてるだけでも充分に幸せを感じ……!」

「足りない!青葉あああゝっ!ヤルぞゝゝ!!!」

「んひゃいっ!ンンンゝゝっ♡」

「!!「えへへゝゝ♡瑞鶴♡エンタープライズ♡青葉♡おめでとうゝゝ♡」」

こんな事があったのだった。盛りまくりですね?まあ?みんな、笑顔で受け入れてるから良かったな?キラキラしまくりである

#### ☆遠い遠い暗い場所☆

「あゝゝ♡うゝゝ♡」

「なんか凄い下の口からなんか垂らしてる……。上の口から涎出てるし。これ、どうしようか?……垂れないようにもつと強めに縛ってみる?えいっえいっ♪」

縛つても回復しない様で、同じ所をグルグルと歩いている2番目テスター。縄が緩いと思つたようでキツめに縛り直したのだった。それ、やっちやいけない奴ですよ?

「かつつつは♡んんんゝゝっ♡ゝゝっ♡ゝゝっ♡」

「えゝゝ?もつと垂れてきたんだけどゝゝ?かかったしいゝゝ?しよっばい。ちよつと白くなってる?ピユリつちにオブちゝゝ?どうしちやつたのゝゝ?仲間を呼ぼつと……」

分けが分からないようで、涙目になっていた。令司が見たら睨めるのかな?

携帯電話を取り出して仲間を呼ぶ事にした。電波、届いてるんですね?文字を読めないのにどうやってるんでしようか?オブザーバーも使つてたし。不思議ですな?

「もしもしゝゝ?35つち?2だよ?ピユリつちとオブつちの様子が変でさゝゝ?介護っぽい事したら悪化したのゝゝ?うん?縄で縛つたゝゝ。だよな。合ってるよね?でね?助けに来て?お願い!うん。待つてるよゝゝ」

「~~~~~つつつ?!?!?」

「連絡したからね? うくん。35つちが来るまで放置が良いのかも?  
何か食べよつと……。何があるかなあ?」

35つちの応援が来るまでお腹を満たす事にしたようだ。クリー  
ムの攻撃、凄いね? もつと悶えてて下さいねえ? 人類側のお願いだぞ  
?

???すみませんがどちら様ですか？

ロリ爆乳のクイーンエリザベスから地図を貰って色々へえ？ふん？となった令司。やり込みすぎてテーマパークみたいになっていた

それと饅頭達が経営者だったのでスゲくくとなった。地図を見ながら1人ブラリ旅をして第3食堂へ向かうのだった

えっ？ロリ爆乳？えっ？プルンプルんって表記されてたよね？↑プルンプルんなんだけど爆乳だったのです！そういう事にしておいてね！ガバッガバな作者からお願いダゾ♪

向かう途中に演習が終わってエッチい姿になっていたエンタープライズ、瑞鶴、青葉達と遭遇

瑞鶴は翔鶴から何かを言われて、茹で蛸になった。エンタープライズとキスとお尻揉みを合図？に演習に参加していた全員とキスとお尻揉み合いをしたのだった

全員とのキスとお尻の揉み合いが終わったら令司と瑞鶴が発情したのだった。瑞鶴と始めて、エンタープライズ、青葉の順でラブラブしたのだった

青葉は見るだけで幸せを感じる勢だったようですが、ここは貞操逆転世界。なので実は身体が仕上がっていた。駆逐艦達、ナイスアシストです。

で、人数が多い駆逐艦達とシタか？トップ3とシタのだった。軽巡や重巡、空母などともした。お盛んなのです

スツキリしてから第3食堂に到着。そこでリットリオ、ザラ、ポラに会い、結婚を申し込んだ令司。笑顔ですぐ受け入れられた。既に全員、結婚指輪を貰っていたのだ

サディア料理を頼んだら突然ポーラがお皿になった。同好会に入っていたのである。そのまま料理とポーラを食す令司だった。周りから笑顔で拍手で祝福された

それを見守っていたリットリオが発情？して？いたのか襲う宣言をした。が、令司が襲ったのだった。リットリオの次にザラも食した

のだった。更に駆逐艦や軽巡、重雷などとヤツてみんな大満足するのだった

☆☆☆

「ご馳走様。美味しかったよ。3人の身体も美味しかった。可愛い。ありがとう。愛してる。もちろん、食堂に居るみんなも愛してる。気持ち良くしてくれてありがとう」

「「お粗末様♡愛してるわ♡令司(様)♡むつきゅゅつ♡スーハー♡スーハー♡」」

「「「どういたしまして♡指揮官♡愛してます♡気持ち良かった♡」」」

ふう…、スツキリした〜。ハグ最高です♪リットリオのおへそ辺りに紋様が浮かぶってねえ？そんな事ってあるんだね？びっくりだよ

それでね？どうやら本当に俺のお尻は魔性のプリ尻みたい。挨拶代わりになるんだろ〜。ドンドン揉んでって？こっちも揉み返すからね。胸も行くかもよ？

「うふふ♡紋様綺麗だ♡駆逐艦達や軽巡達とか数名に手出して数名紋様出たからな？本人達もびっくり。まあザラは出なかつたけどね？」

「そうね。出なかつたわね。あ〜あ。淫紋出て欲しかったわ〜」  
リットリオとザラの絡みは尊い！ありがとう！もつときやつきやウフフしてっ！

令司の目の前で淫紋を撫でる2人。それを正座して見る令司。みんな全裸だ。なんとという光景でしょうか

「違うのは沢山出したな。母乳とか。料理に使っていくわね？ベルファストとヴィクトリアスのミルクも使いたいなあ。重桜達のも使いたいなあ…。ああ♡使いたいのがいっぱいいるうう♡」

「そうなんだ？リットリオの紋様、凄く綺麗よね？褐色だから本当に凄いわ♡ええ♡令司とポーラに美味しく沢山搾られたから沢山使っちゃって♡うふふ♡気持ち良かったわ〜♡ありがとう、令司にポーラ

「どうも。ザラのが美味しすぎるのがイケナイのよ！それと令司様の汗をたっぷり舐められたのとお皿に出来て幸せ♡ウフフ♡シたみんなもウンウン頷いてるわ♡本当にありがと♡令司様♡愛してるわ♡んちゅ♡」

「んはっ…。こちらこそありがとう。料理もみんなの身体も美味しかったよ。お腹いっぱいになった。ええ。ザラ達に美味しく頂かれましたよ。お粗末様」

いや〜、本当に枯れないなあ〜。神様達？は下半身のサポートをしつかりしてくれてただね？ありがとう！ドンドンラブって逝くよ！

ご馳走様でした。そうなの。ポーラ以外にもリストに載ってたから、おかわりする時にお皿になって貰ったのよ。喜んでた。そのまま下の口をパツクンしたぜ。みんなから「幸せですう♡」って言われた。良かったよ

リットリオの発言の重桜達のも使いたい？あ〜？母乳が出る体質は誰がいるんだ？まだ会ってないけど信濃、吾妻辺りか？樫野もいたかな？樫野は出るだろ？偏見だけど。牛娘だし。…。牛娘だよね？

それはそれは楽しみです〜♪いや？そもそもミルク出るのかな？巨乳や爆乳じゃない可能性あるし？…会わなきゃ〜キリッ

勝手に？1人で盛り上がる令司なのだった

そう！そうです！ポーラの言う通りで、女体盛りがあるなら男体盛りがあるだろっ?!って事で体験したぜっ！男体盛りを！勢い良くパツクンされちゃったんだぜ♡これでまたまた新しい扉開いたゾ♡最高かよ！

新しい扉をまた開いて大興奮な令司であった。大興奮し過ぎでないかい？鼻血は出してない。鼻血出したら舐めて飲まれるんじゃないかな？

これからドンドン新しい扉を開いていく事になるでしょう？さて、これらのピロートーク？を盗撮、盗聴していた一部のKANISEN

達の様子を見る事にしましょう

〜第3食堂の中を盗撮・盗聴していた一部の感想〜

「うふふふ♡令司つたらすつごく逝き逝きしちゃって♡そろそろお姉さん限界♡襲いたいわ♡高雄と一緒に襲いたいけど多分ダメよね♡ああ〜♡もう襲っていいわよね♡襲う♡襲っちゃうわ♡今い…んぐっ?!…くう〜ん♡」

「ひとまず安心。です…?…高雄縛りもどきでも効くとか草です。草生え散らかしてて草草草。順番的なのがあるのに。このメスイヌ!」  
暴走気味の愛宕をゲンコツと縛り上げで黙らした綾波。手際が良いのので毎回やりとりをしているのでしよう。愛宕はトロトロ顔になっっている。反省?してねえな?

「うつぶ……。ラフィーの手料理、凄く量多くてお腹いっぱい。美味しいんだけどさ…。うつぶ…。うえ…。」

「お兄ちゃんがお皿に…なつ…た…?…?…?良い笑顔してた…。なら…ユニコーンの欲望も対応…可能…なの?…その…よろしく…?…ね?…ネっ?良かったね?ゆーちゃん?お兄ちゃんに沢山気持ち良くなっって貰おう?ねっ?」

食事が済んだラフィーは、テーブルを枕にして寝ていた。そんなラフィーの背中を椅子にしてゆーちゃんとおしゃべりをするユニコーンなのだった。悪い娘ですね

「なるほど。ニューカッスル。ご主人様をお皿にする発想はありませんでした。代表の座をポーラ様に渡して教わりますか。いや。このままで逝きましょう。お皿に専念します。まあ、ご主人様がお皿になっって下さってもしっかりとご奉仕させて頂きますね」

無表情で早口で言うのはどうなの?みんなスルーしているじゃないか

「ニューカッスル?はあはあ…。ヴィクトリアスのミルクはもう搾り切っってあ…、アンっ♡はあはあ♡べ、ベル?右乳を出してど…んむんっ♡んっ?!んんん〜っ♡んん〜んっ!〜っ♡」



ヴィクトリアスは発情気味メイド2人、ニューカッスルとベルファストから奉仕されてジタバタしてますね。顔が赤いよ〜?慣れて無いようだ

「リットリオの紋様、凄く綺麗ね! 唆るわね! 褐色の娘が紋様率が高めね! ウォースパイト! 私に紋様つてある?! あつたのなら旦那様に感想を言われてないわ! おへそ辺りには無いわ!」

勢い良く服を脱ぎ散らかした女王様。腕組みをしてウォースパイトに見せつける

「無いですね。陛下の右乳に黒子なら有ります。エッチいですよ。指揮官は黒子をしっかりと見てました。んんっ♡陛下♡ちよつと: な: ナニを?!」

「そうなの! ウォースパイトは紋様あるわね! 良かったじゃない! 感想言われなかったわね! 会う口実出来たじゃない! おめでと! 機会を作るか旦那様から呼ばれ? たらしっかりヤルのよ!」

エリザベスには無かったがウォースパイトにはあつたようだ。おめでどう。令司に確認して貰いましょうね?

「:えっ??? は、はいいい!!! 陛下! あつ? くっココもどき! 見るなあ〜!!! んっ♡」

「ウエールズは大丈夫だ! 続けて?」

お茶を優雅に飲んでいたウエールズ。ホッコリ顔でお花を咲かせてエリザベスとウォースパイトのイチャイチャを見ていた

「うがあ〜!!! はあ〜ん♡」

「:お茶会で散々見られたのに。なんでそうなるんだか:」

やれやれな感じを出して2人に向かって歩き出した。混ざるのでしようか? 良いぞ!

「ねえ? ねえ? この姿になっちゃったね♡ 令司お兄様の所に突撃しよつか♡ アークロイヤルも一緒に逝こう♡ 愛宕さん程ではないけどムラムラしてるのでしょ? うふふふ♡」

両手を恋人繋ぎをして頬ズリをし合っていた。仲が良いようだ

「はっ♡ はっ♡ ハアハア: い、いや:。こ:これはく:、そのく。ハアハア♡ ハイ♡ 凄くムラムラしてる♡ 閣下とドロツドロの

グッチョグチョのヌツチョヌツチョになりたい♡んんっ♡ハアハア♡」

「そっ♡ならとっつげきく♡令司お兄様く♡今から逝きまく♡す♡マツサージ堪能してねく♡条件を満たしたからねえ♡好きな時に好きなだけ姿変われるの♡きやつきや♡」

ふむふむ。ムラムラ限界突破組がいたり、百合の花が咲いて？いたり。新しい扉？を開けてくれそうだったり？アークロイヤルと絡んでいるなんか怪しげな2人がいたり？する。そんなオープン基地なのだった

これはオープンじゃなくてムラムラに名前を変えた方が良いのではないかい？

令司？本当に大丈夫？こんなにムラムラがマツハしてるのが大勢居るんだよ？一斉に来たら腹上死コース真つしぐらだよ？…えっ？絶対にならない？ふくくん？そっか…。…って誰だっ！…あれ？居ない？気のせいでしたか…

こんな感じでオープン基地は毎日？がピンク色です！

☆☆☆

「ふう…あつ、もうこんな時間か。お風呂に入る為に俺専用の部屋に取りに行くか…」

そもそも替えの服があるかわからないんだけどねえ？

着ている服、びしょ濡れにされて、破かれたりするんさ。でもいつの間にか綺麗になってるんだよねく？不思議く。饅頭達がなんかしてると思うの。凄いね？饅頭パワーは？ありがとうございます

第3食堂を後にして指揮官専用の部屋へ向かう事にした令司。向かってる最中にKANISENと出会う事になる。だだっ広いのに良く出会うよねく？あつ、盗撮・盗聴されてるから当然なのかな？人数が多いってのもあるかもしれない？

「くっ♪ん？あれはアークロイヤルと。えっ？美女2人…。誰？コスプレイヤーって居たんだなあく。VRだけだと思ってたよ。

あつ、コツチに来た〜！サイン貰おう……。つて色紙にペンが無い！クソっ！」

白ゴスロリと黒ゴスロリの巨乳・爆乳で？双子？なコスプレイヤー美女！うん……。結婚指輪はしてるね。妻達……。なんだけど名前が出て来ない！ねえ？誰えええ？覚えがないんだけど〜?!

「あつ、令司お兄様発見なの〜♡令司お兄様〜♡ウチらが〜♡近くの部屋の中で〜♡マッサージするわ〜♡いっぱい勉強したから絶対気持ち良いよ〜♡いやん。谷間見過ぎい♡もつと見てえ♡」

コスプレイヤーの美女2人が谷間をもつと見て欲しいようで、角度を調整するのだった。後ろに手を組んで誘ったりもした

「はあはあ……。閣下……。うっ♡：はあはあ♡マッサージ：受けてくれ♡気持ち：良い：ゾ♡閣下……。良い匂い♡」

えっ？令司お兄様？美女2人、ありがとうございます！アークロイヤル。朝会った時は発情してる素振り無かったよね？わ〜。お目目グルグルと♡マークだあ〜。器用〜。ハイライトさん。お仕事、お疲れ様で〜す

「??すみませんがどちら様ですか？」

谷間を見つめたままでゴメンね？ウゴカナイノ……

「??睦月、如月だよ〜♡きや〜♡」

「スーハー♡スーハー♡スーハー♡んんんっ♡キマっちゃう♡〜っ♡」

「アークロイヤル？は大丈夫じゃないですね？背中触るぞ〜。うん。睦月に如月……。えっ?!そんなあ〜！」

よしっ！動いた！アークロイヤルに感謝！

「〜っ♡〜っ♡はあううん♡かつか♡ダメえええ♡ダメええええ♡」

「…っ。声エツロいんですけど？背中を触っただけなのに…。仕上がってたんだな……。？ヨシヨシ。泣かないで〜？なっ？なっ？」

「……………」

「泣き止んで良い子でちゅねえ？ヨシっ…。寝た…。それっ！」

目の中がハイライトオフだったのには触れませ〜ん！堪能させてね！

「きやつ♡お兄様ったら触り方が優しすぎ♡遠慮しないで良いのに〜♡ああくん♡そうだよ〜♡睦月と如月だよ〜♡もつと強くだよ〜♡」

「声エツロい！ふむ…。睦月と如月…ね？…：…：…：…？…？…？…？…はつ？幼稚園児体型に戻って?!また美女に?!えっ？ちよ？はつ？えええっ?!?!ナンデ？ナンデ？ナンデ？こんなあり得ないでしよっ?!」

うむ。素晴らしい。マジかああ!!朝見た時とは別人なんだけどおお?!

えっ?!姿変える所を見せつけられたんですけど?そんな機能ついていたの?やり込み要素多かったからわがらなないんぞでずげど?!

朝、幼稚園児体型の睦月と如月と会っていた令司。それが美女になつていたのである。不思議だね？

疑われて幼稚園児体型と美女の姿を見つけた睦月と如月なのだった。ほっぺをプクうとしたのは反則だと思えます幼さ?が残っていた。ギャップがあり過ぎですね？

脳がヤラれている真つ最中の令司お兄様なのだった。でも揉むのは止めない

「んんんん〜♡そうそう♡この強さが欲しかったの♡アルバコアの言葉を借りよつか?令司お兄様〜♡サプラ〜イズ♡」

言葉を借りられたアルバコアの様子でも見ましよう

「Zzzzzz…：…：…：…：…ふがっ!えっ?た、大鳳?逆サプラ…つ。うぐっ!ギ、ギブっ!ギブギブツ!大鳳?!ギブだつてばあく〜つ!!!うう…し、しまるううう…。…あんっ♡…んきゆ〜♡」

「Zzzzzz…。あく〜♡指揮官様♡愛していま…っは!…：…：…あら?夢でしたの…。ここは…。?アルバコアの部屋ですわね?アルバコア?伸びてどうかしまして?まあ、良いですわ…。一緒に寝ますわ

…。ZZZZZZZZ……」

いつも通り、大鳳のハグで無事シメられた。2人仲良くお休みするのだった。良い夢を見てね？

場所を令司達に戻しましょう

白ゴスロリで巨乳なのが睦月で、黒ゴスロリで爆乳なのが如月である。そして？2人ともロリボイスとウイスパーボイスの両方持ちである。素晴らしいですね？令司お兄様の右耳に如月、左耳に睦月が近づいていつて

「クスクス♡そうだよ♡お兄様♡睦月と如月だよ♡はい♡それじゃ♡あ♡♡マッサージに同意したからするね♡♡饅頭さん達♡アークロイヤルを運んで♡♡」

「うひゃいっ！お願いしますー！」

うおおおおお?!?!ゾクゾクするんですけどくっくっ?!?!つてもうムラムラしてる?!何故?!沢山アンアンし愛ったじゃないか?!?!落ち着いてただろ?!

「「「ピヨツツ!!」「」」訳。ハイつつつ!!」

「饅頭さん達、良い返事♡♡ヨロシク♡♡はい♡令司お兄様をマッサージ部屋へご案内しま♡♡す♡♡」

マッサージを違う意味で捉えたか?!ええ?この馬鹿息子!健全の方だろ?!?!マッサージのASMR作品も大好きで沢山聴いてたけども?!良い加減にしろよ?!?!いや?まさか……あるの?ええく?

健全!健全!健全!とヤつちやう?マッサージなのかい?ニシシ。イイぞ!ヤつちやおう! とうかヤラレちやう!と?令司の頭でお祭り?会議?が行われていた。混乱?していますね

ドナドナされる令司であった。饅頭達はしっかりアークロイヤルを運ぶのだった。凄い力を持つてるんだね

「はい♡部屋に到着♡饅頭さん達、アークロイヤルを運んでくれてありがとう♡お礼のササミクツキーあげる♡♡バイバイ」

おおくっ。部屋の中凄くマッサージ機でいっぱい!本格的なマッサージ部屋なんだねく。ササミクツキーつて言ったら饅頭達

がギラついてたな……。好きなんですね？よし、ササミのフルコースを作ろうつと

「「「ピヨ～～♡ピツ!!」「」」 訳。ササミ～～♡ハツ!!」

「それじゃあ～～♡お兄様♡マッサージを始めるね～～♡しっかり癒されて下さいね～～♡」

「うむ…。えーと？採点するの？もう100点なんですけど？」

うん…。それで？睦月に如月？手に持つてるのもマッサージ機なの？あ…凄いニコニコ。あんっ♡…んえっ？えっ？ヤバそうだな

「そのな…？お手柔らかにおねが」

「えい♡えい♡」

「んぎや～～っ?!?!あっ?!ちよっ?!」

「はあい、オイルを垂らすよ～～♡気持ち良くなってね～～？」

「あんっ♡」

あんっ♡ふぎや～～っ!!健全と意味深が合わさってたっ?!ひやんっ♡んっ♡変な声が出そうだな。もう出てるかも？

えっ？アークロイヤル？おーい？アークロイヤルさ～～ん？ひや～～っ♡ナニコレなんですけど～～っ♡ハアハア…。アツすぎっ!ア～～っ♡ハツ♡ハツ♡

「アークロイヤル、凄いね～～♡令司お兄様～～？アークロイヤルのマッサージが終わったら睦月と如月を使ったマッサージも堪能して下さいね～～♡ハイ♡ヌルヌル、追加しま～～す♡えい♡えい♡キャハ♡愛してるよ♡令司お兄様♡ふ～～っ♡クスクス♡」

「あつ。終わった～～？休憩をちゃんとして～～、それから如月のマッサージ♡如月のお気に入りのマッサージ機を使って逝つて貰いますね～～♡癒されてね～～♡あつ、もう良い感じ？如月逝つきま～～す♡」

「もう採点は満点だね♡ヤツタ♡如月、逝つてらっしや～～い♡えつと～～？何のヌルヌルが良いかな？う～～ん？あつ、そうだっ!睦月のお気に入りを使おう♡うふふ♡気持ち良くなってね～～♡令司お兄様～～♡」

睦月と如月のマッサージは息子の予想通りで、ヤッチャう意味深の

方でした。おめでどう

令司お兄様が奇声をあげてヌルヌルマッサージを受けている所に、目が覚めたアークロイヤルが乱入してきてラブラブ?を開始。アークロイヤルの次に如月、睦月の順で意味深マッサージを受ける事になるのだった

令司は悶えまくったんだとか?良い思いをしますねえ?3人はもつとヤツちやえ!

☆遠い遠い暗い場所☆

「」

「えー?クタクタ過ぎて言葉発せられないの?ピュリっちにオブच्छच्छ?下の口からドンドン何かが溢れ続けているんですけど?ええ?わっかんないよ?」

お腹をポンポン触りながら部屋へ入ってきた2番テスター。2人の様子が悪化していてワナワナしていた。綺麗な髪をワシヤワシヤした。台無しにするんじゃないよ

「ヤッホー!ニーねえ!呼ばれて来たよ?うっわ。ピュリーとオブー、どうしたん?床がヌルってるね?うわ?」

板チョコのようなドアを蹴破って入るのが作法なのでしょうか?服を脱ぎ散らかす器用さ?を發揮した35つちだった

「?!!?」

「ええ?35つち……。滑って2人に抱きつくなんて。2人とも?奇声?悲鳴?のような、なんかエッチい声をあげてなんなのさ?縄はバッチリ締まっているし?これ、見てあげてよ?」

「うんうん♡すっごいヌルヌルしてるね。オブーのタコ足の締め付ける力弱いよ?ピュリーの胸、柔らかい♪大きさは巨乳クラス?それ以上?すっごいねえ?」

麻痺している2人の身体をいやらしく触る35つち。彼女なりの介護なのでしよう。35つちはビリビリしないんだね?不思議だね?ニーねえは正座で3人を見守るのだった。お茶を飲んだりする

「35つちもある方じゃない？」

ニーねえは自身の胸を真剣な顔をして揉むのだった

「くくくくくくつ?!?!」

2人は声が出ない位、快樂?に襲われたようだ。良いぞ!もとヤレ!

「なんか勢い良く透明なのが出てるね?つて、言ったら白いのが出たね?だから、それ何?ねえ?聞こえますか?」

セイレーンの百合の花が咲いていて最高ですね?平和…かな…?平和だね。ずっと平和が続けばいいね?効果の上乗せ出来ないかなあ?この場所を訪問したいね!



おお〜。絶景！絶景！

第3食堂でリットリオ、ザラ、ポーラ以下、数名のKANISEN達とギンシアンアン海溝を無事に乗り切った？溺れ切った？で、スツキリしたのだった

リットリオのおへそ辺りに綺麗な紋様が浮かび、ウツトリ顔で紋様を撫でた。ザラがそれを羨ましそうに見る。そして触る。ザラはミルクを沢山搾られたのだった。ポーラは令司に抱きついてイチヤイチャした

紋様は褐色KANISEN達が多く浮かんだ。また、ウォースパイトの何処かに紋様があったことがクインエリザベスの戯れ？で判明したのだった。それをウォールズに見られ、ウォースパイトは顔を真っ赤にするのだった

夜になっていたのでお風呂に入る為に、専用部屋へ服を取りに向かう事にした。そして発情していたアークロイヤルと白ゴスロリ巨乳と黒ゴスロリ爆乳の美女コスプレイヤーと遭遇。2人とも結婚指輪を左手薬指にしていた。勿論、アークロイヤルも結婚指輪を左手薬指にしている

白ゴスロリ巨乳が睦月、黒ゴスロリ爆乳が如月と判明。朝、会った時は幼稚園児体型だったので脳がヤラレたのだった

2人は察したようで、令司の目の前で幼稚園児体型と大人の両方に変身して証明した。2人の呼び方が令司お兄様。ロリボイスとウィスパーボイスなのでぴつたりだったそうだ

睦月と如月からマッサージの勉強をいっぱいしたからその成果？を披露？してお兄様を癒したい♡と笑顔で言われる。令司お兄様の令司君が勝手にムラムラし始めた。健全でしょ！と叫ぶが効いてなかった様子

そんなこんなでズルズル？とマッサージ部屋に入った。睦月と如月はヌルヌルのオイルを使って癒す

マッサージでヨガっていた令司に発情したアークロイヤルが無言でやって来て、アツアツの下の口でマッサージを始めた。如月、睦月

の順番でハッスルしまくったのだった。お風呂入るんじやなかったのかよ

☆☆☆

「ふう〜。癒されたぜ。アーク、睦月、如月。マッサージありがとう。気持ち良か…：…って」

貞操逆転世界のマッサージってスゲーのなあ〜！スツゲ〜癒されたあ〜。マッサージ病みつきになるわ〜

俺の身体キラキラしてるんじやね？これ、本当にエフェクト出てるよね？あつ、出てたね…。饅頭達が回収してる。もう何でもありかよ…。うわ〜…。一口でいったよ…。美味しいみたいですねえ？良かった？…ね？

「「〜〜〜♡」」

「うん。ビクンビクンしてる。まあ、マッサージしてあげたからね？エロい声上げまくってたわな。そのままにしておこつと」

令司達はマッサージのし愛をしたようだ。アークロイヤル、睦月、如月の3人は天国へ旅立っている。アークロイヤルの右側に睦月、左側に如月が抱きついていた

戦艦クラスのマッサージってぜってー気持ち良いよ。何人かに頼んでマッサージしてもらおつと。いや、まあ？息子がマッサージでしてるされてるけどね？

「「あつ♡あつ♡あつ♡んんっ♡」」

「……………エツロいなあ〜…。……………アークの豊乳、揉んどこつと。うむ。素晴らしい」

令司はアークの豊乳を揉みながらキョロキョロと部屋を見るのだった。時々、おへそを触ったりもした

うん。マッサージ部屋だから色んなマッサージ機や液体があるね。液体は10種類以上はあるなあ〜？マッサージ中にメス声が出てしまったけど…。メス男性にされちまうのかねえ〜？知らんけどね？…おつ？起きるかも？揉むのやめとこ

「……………はっ!!閣下、令司お兄様。おはよう♡気持ち良かったよ♡愛してる♡」

一緒にタイミングでガバアつと起き上がった。仲が良いようですね

「うん。おはよう。俺も愛してるよ。マッサージありがと。癒されたし、スゲー気持ち良かったよ。気に入ったわ。耳も幸せだった」

採点は満点!花丸ですよ!癒したい気持ちいっぱい伝わったし。下の口からも感じたからねえ?

「良かった♡2回奪って貰っちゃったね♡♡キャツ♡令司お兄様のマッサージ最高でした♡キャツ♡」

本当に2回貰ったよ。別スベックだったのね……。ここに犯罪者がいまます。俺でくす。けどね?嫁だから気にしないでくす!

「癒されてくれて嬉しいぞ。閣下のマッサージは気持ち良くてスッキリした。ありがとう」

「どう致しまして」

アークロイヤルはすっげく鼻血出してたけど。貧血とか起こさないとか本当に丈夫だよなあくす?

マッサージ、する・される楽しかったよ。これらも?覗かれてるんかね?だったら?猛勉強してるんじゃないかな?知らんけど。面白くなって来そうだ

「睦月と如月の笑顔が見れて幸せだ♡まあ、駆逐艦全員が幸せならアークは大満足だ!後は綾波、ユニコーン、ラファイ、ジャベリン、ニーミ(Z23)達と一緒になら……。イイ。ジュルリ♡グへへ♡」

「……………そっか。睦月と如月のを2回貰いました。ビックリしたけどな?ありがとね。アーク、すごい乱れてたな。2人が変身を繰り返すから目付き凄かったけど。綾波達とはほどほ」

「ほどほどは無理だ!」

「…そっかく。……乳首、痛いんですけど?」

わお!血涙。初めて見たわ。そろそろ離してくれませんか?

「…っは!す、すまない」

「……………ヨシヨシ」

アークロイヤル、睦月、如月も令司にマッサージをした・されたのでキラキラしていた。キラキラを饅頭達が美味しく食べています

ここで駆逐艦達が好きすぎるアークロイヤルに指名された綾波、ユニコーン、ラファイ、ジャベリン、ニーミの様子を見てみましょう

「……………縛るぞ。アークロイヤル。……………指揮官のマッサージ…。受けたいのです…。まあ。こここの基地全員、マッサージされたいんだよね。その内に機会がくるです。ああ〜♡あつたまる……………です♡」

低い声を出した綾波。令司にマッサージをされる想像をしたのか涎が出ていた。なんとという変わりようか

「Zzzzzzzzz…。Zzzzzzzzz…。うへへ…。綾波に…手料理♡完食…して…くれた…♡ラファイ…嬉しい……………Zzzzzzz」

「んもう…。途中で寝ちゃダメよ？ニーミが洗うわ…。よいしよ…よいしよ…。はい。流して。はい♡どっぼ〜ん♡」

「んぎゃ〜〜♡」

「はい。アークロイヤルさん。相手しますよ♪よろしくお願いしますね♪」

みんな、お風呂で温まっていたりしていますね。ラファイはエロい声を出しましたね？何のお風呂に浸かったのでしょうか？お湯の色はピンクじゃない、白色ですけど？

ジャベリンとユニコーンは一緒に入っていないようですね？視点を更に切り替えましょう

「へえ？睦月ちゃんと如月ちゃんにそんな機能あったんだ？ジャベにはあるかな？……………ん〜？な、無い？でもいつか……………。その内に条件？満たすと思うし。はふ〜♡ビリビリ風呂、気持ち良い♡」

ジャベリンは機能を探して、諦めてビリビリ風呂に入った。それ？大丈夫なのかい？

「……………ユニコーンもお兄ちゃんにマッサージしたいしされたい。気に入るかなあ〜？ユニコーン。頑張るっ!!!あれ？そういえば…ゆーちゃん？どこ？」

「あたた〜」

「???ゆー…ちゃん？」

「そうだよ？ ゆーちゃんだよ？ 気に入るでしょう？ ユニコーンお姉ちゃん、ガンバってんじやん♡ 条件を満たしたから、あたしも女性の身体を手に入れたよ♡ よつと……」

混乱しているユニコーンをハグしたゆーちゃん。ハグを返すか返さないか迷っていた。少し離れて行ってボフィンという効果音で

「えっ？ あつ、ペガサスのゆーちゃんにな…「ほいつと♡」……っ!」  
「自由に姿を変えられるう♡ ヤッタ〜♡ あ〜んな事やこ〜んな事出来るようになった〜♡ ゆー。頑張るっ!! あ〜♡ あつたまる〜♡」

ゆーちゃんがどうやら条件とやらを満たして女性の身体を手に入れたようで、喋れるようになった。ぴよんぴよんと飛び跳ね、クルクル回ってから勢い良くお風呂へ入っていった。ここ、オープン基地は何でもありなんですねぇ？ 饅頭達もワンチャン、男性化か女性化がある？ かもしれない？

☆☆☆

「~~~~~♪」

アークロイヤル、睦月、如月から、「??? 替えの服は饅頭達が沢山用意してるから専用部屋に取りに行かなくてもいいよ?」

と言われたからお風呂場に向かっているわ。ありがとう。饅頭達。凄くありがとう

「よし。お風呂場に到着う〜! もう何もかもが凄い! で片付いちやうなっ! うむ。素晴らしい! 過去の俺? グツジヨブ! お風呂は大事だもんな! おおっ? 本当に服があつたわ。ありがとう」

なんか高級ですよ! 最高! これらがあちこちにあるんだな…。お風呂巡り出来そう。何人かしてるんじゃないかな? 服、あつたぜ。本当にありがとう

やり込んだ過去の自分自身を褒め称え始めた。またキラキラを出したので、饅頭達がまた食べてます。饅頭達のお腹の中ってどうなっているのでしょうか? 饅頭達は何処にでも居ますね? 番頭の格好を

している饅頭達も居るのだ

「二二」あつ、指揮官だあく〜♡うん♡お風呂大事！疲れとれたよ。ありがと。愛してるよ♡「二二」

聞こえてたのかな？みんな、耳良いつすね。見て！って顔に書いてありそう。見ますよ。ポーズ取ってくれてる。ありがとう

「おう。みんな愛してるよ。お風呂上がりだな。挨拶としてお尻や乳首のお触り、どうぞ？あつ、こつちも触らせてもらうからな？キスもしようか。おおう……。柔らかいなあ……」

「二二」きゃ〜♡えいつ♡うふふ♡んれろ♡「二二」

うんうん。あく〜。やっぱみんなの口あつま〜い。うん。ビクンビクンしちやっ〜。もつとサービスしたろ。モミュモミュ…つとね。……泣かなくて良いじゃん?!

無駄？にハイテンションになつちやった？令司。脱衣所でイチヤイチヤするのだった

「二二」堪能したわ♡ありがとう♡指揮官♡バイバイ♡おやすみなさい♡お風呂でゆつくり温まつてね♡「二二」

ふう〜。脇メツチャ嗅がれたし舐められたわ〜。脇フェチつて居たんだね…。2人とだけヤツタ。残りの3人はキスをメツチャメツチャしまくったけどね？幸せって言ってくれたから良かったよ

「バイバイ。ゆつくりおやすみなさい。さてと……、脱いだ服は…おつ？この穴に入ればいいんだな。ホイっど。ヨシっ。それじゃ〜。ドアを開けて…つと。おおう〜。絶景！絶景！」

「あつ♡指揮官♡入ってるわ〜♡ゆつくり温まつてね〜♡」×10人以上

いや〜♡本当に絶景！夜景も綺麗だしパンパカパーン♡が沢山。絶景のダブルパンチですぞ〜！いや〜。失礼だけどプカプカ浮かんじやつてますよ！乾パイっ！

お風呂に浸かって温まつてKANSEN達を見る。タオルを巻いて入浴はしていなかった。頭の上にタオルを置いているのは少数でした。プカプカ浮かんでいるお胸様を一通り見てから身体を洗う事にしたのだった

「おうーみんなもゆっくり温まって疲れをとれな〜? さてと…身体を洗おうつと…。シャンプーは…。おつ? 指揮官専用つて書いてある。用意良いじゃん。ありがと。おつ? 泡メツチャメツチャたつなあ。〜〜〜♪」

ノリノリで鼻歌を歌いながら頭を洗い出した。洗っている姿を必死に目に焼き付けているKANーSEN達だった。背中をウツトリ顔で見えていたり、鼻血を出していたり大忙しだ。つまり、浴場で欲情していたのだった。ワンチャンあるかも。と……

「……………」

「……姉貴? おおい? クリーブランド姉貴? ブクブクしてるし顔真つ赤だよ〜? 鼻血出してる? 大丈夫じゃないね〜? コロンビア? これ、どう思う?」

クリーブランドの両側から目の前で手を振り回す2人。コロンビアというのに話しを振ったのだった

「モントピリアにデンバー。これは「浴場で欲情しちゃった……」って思っちゃったんじゃないかな? 後は指揮官の背中を見てウツトリしちゃったとか? かな? ゴクリつ。生はヤバイからなあ♡」

縁? に両手を大きく広げたキングのようなポーズをとっていたコロンビア。頭の上にタオルを置いてガムを膨らませて解説をしたのだった。最後にガムを飲んじやつたね

「……………つ!?!ごほつ!?!ごほつ!?! なになにを言つて…つ!?! そそそそんなんじやじやじや…!?!」

お湯を飲んじやつたクリーブランド。勢い良く立ち上がり、顔を真つ赤にお目目グルグルさせて両手を勢い良くワチャワチャした

ヤカンのお湯を沸かせる位までになつていたようで、気付かれないようにお湯を沸かしていたのだった。そのお湯でKANーSEN達と饅頭達が仲良くお茶を飲み始めたのだった

「??えつ? 浴場で欲情? ぷっ…。あははは! 確かに。欲情するよ♡指揮官の背中つて凄いい唆るし♡ニツシシ〜♡」

クリーブランド級4姉妹は元気だなあ〜。背中、唆るんだ? ありがと? ……んつ? こつちに近づいて来る音がするなあ〜? 誰だろ?

「はあはあ♡あゝゝ♡指揮官の背中♡凄ゝゝ♡」

「洗い流してつと…。おおゝゝ。背中洗ってくれるんだな…。ありがとう。クリーブランド。よろしく頼む」

えっ？巨乳ですよん…。失礼だけど、ちっばいじゃなかった。ひやつほい！朝、会ったのにな？気付かなくてゴメンね？

遠かったつてもあるかな。胸での洗い、凄く気持ち良いよ。最高です。…………息子よ？復活早くね？…………もういつか☆沢山、見られるし。もつと見る

「はあはあ…。…………んえっ?!い、いつの間につ?!…………はっ?!ハイっ！指揮官！」

フラフラした足つきで到着したクリーブランド。背中に抱きついてトロトロの顔をした。令司の背中はヤバめなお薬なのかな？頼まれたクリーブランドは、背筋をピーンとして返事をしたのだった

「「ガンバってねえゝ♡その先もねゝ♡」  
「んなっ?!?!」

アホ毛？でしょうか？その毛がギザギザの雷のようなマークになっていた。準備が出来ている事がバレたらしい

「「ニシシ♡」」

「指揮官の背中♡はあはあ♡な、流すね?…えっど?前を…つて…ええええっ?!むんっ♡んゝっ♡んゝゝんっ♡」

「「わおっ♡ヤツタねゝゝ♡」」

「んむっ。ふうゝゝ…。コロンビア、モントピリア、デンバー。いらっしやい。クリーブランドのサポートしちやいなさい」…………ハアイ♡指揮官♡」

「あっ♡あっ♡そ、そんなあゝ♡」

コロンビア、モントピリア、デンバーが勢い良く立ち上がり令司の下へ向かっていった。3人に犬の尻尾が生えていて、勢い良くブンブン振り回していたとか？

入浴中だったのにゴメンね？パンパカパーン。クリーブランド級4姉妹、全員巨乳！みんな、そこまで育乳していたのか！洗い愛っこしよう。うひゃい?!みんな気持ち良いよゝ。もつともつと洗うから



ねえ〜？よろしく〜

お風呂に入る前にクリーブランド4姉妹と軽く運動会を開催しちゃうのだった。入っているみんなは暖かい目をして見守っていた

☆☆☆

クリーブランド級4姉妹全員と洗い愛っこをした後、4姉妹全員とやり遂げちゃった令司。4姉妹達は、出て行くKANISEN達によつて4姉妹の部屋へと運ばれて行ったのだった

「あ〜。気持ち良い〜。湯加減最高じゃないか！疲れとれる〜」

クリーブランド級4姉妹全員とヤっちゃったぜ。入る前からのぼせそうだったから水風呂のをかけたわ。キンキン過ぎだよ。水風呂だったよ？サツパリしたわ

息子も落ち着いたしな？少しは黙ってほしいね〜？多分無理だろうけど？

それで只今真っ白なお風呂に浸かっております。本当に真っ白。成分聞いても分からないのが多いと思うから聞かない。だってゲーム世界じゃん？この世界の独特な奴が入ってそうだし？

饅頭達が伸び伸び泳いでるよ。時々お湯飲んじやってるから飲む成分なんでしょうね？飲まないけど

頭の上にタオルを置いて寛いでいる令司。饅頭達の観察と景色を眺めて疲れをとっていた

「疲れがとれて良かったわ。ヒック。指揮官」

「そうだな〜。飛鷹」

隼鷹の妹、飛鷹型2番艦の飛鷹が来た〜！えっ？大丈夫かな？姉の隼鷹が突然来たりしない？後ろからグサつとかない？まあ。カモン！なんですけどね？

「ヒック。初日、あつという間ね？…ヒックヒック」

「あつという間だったな。お酒、だいぶ飲んでるな？悪酔いはしないでくれよ？それで…その…な？だいぶ近くないかい？おつふ…。太ももを撫でてくるのね？」

「指揮官の太ももが最高なのがイケナイワ♡ヒック…。悪酔いはしてないわ…。罰、イヤだもの…。ヒック…。」

「そっか。たっぷり堪能してっくれ」

「了解。…。ヒック」

お風呂でお酒を飲む！良いよね〜！おっ？饅頭達、分かっているう！頂きます。…。うん。美味しい。飲みやすいな

飛鷹って確か、周りからは隼鷹の姉扱いされちゃっているのよね〜？本人訂正する気ゼロなんだっけか？罰…。ねえ？勝手な行動とかとつたらダメとか独自の暗黙のルールでもあるのだろうなあ？

あ〜もう。耳、ピコピコしてて可愛いなあ。これはどれだ？狐か？重桜のケモ耳最高だよっ！

ここに居る娘以外を考えちゃイケナイけど、赤城の耳、最高だったぜ…。うわ、すっげ〜太もも堪能してる…。おっ？キス？カモンツ！お酒味カモンツ！こっちもお酒味だけどね？

「んちゅ♡れろれろ♡んっ♡んっ♡…ぷはっ…。はっ♡はっ♡もちろん、ファースト…キスよ？お酒味だけ…どね？…酔い冷めたわ。……………つ。ごく…」

「ファーストキス貰ったよ。ありがとう。そうだな。イチヤイチャしよ…う…？…ひ、飛鷹？お湯を掬って…んぐっ!!」

飲んじやつたぜ！大丈夫でしょ？うん

「……………お風呂の中で貰って欲しいのよ…。これはゼツタイナノ。飛鷹に任せて欲しいわ。初めてだけど準備してるわよ？中で立派になっってネ？遠慮なく果てて？」

「ごっくん。美味しい。うん。飛鷹お嬢様に任せます」

身体がジンワリとあつたかくなつていくのが分かるんよ。発情させる成分が入ってるな？エロいお湯め！ありがと！

「任せて。ガツカリしてね？」

「ガツカリって…。うおっ?!」

「??」

飛鷹が静か？に欲情していたようで、お風呂に浸かったままイチヤイチャしたのだった

この時の隼鷹の様子を見てみましょう

「あ〜〜♡オサナナジミが可愛い可愛い、妹の飛鷹とお話ししてキスを♡飛鷹？そのままヤツチャエ♡ヤツチャエ♡ウン♡ヤツチャタネ♡オサナナジミ？飛鷹の中は最高よね？♡私の事が好きでハッスルしてくれてたのに、飛鷹のキスでコロッと浮気ハッスルを♡ウフフ♡この感じ。最高よ♡あ〜〜♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡」

「…妹だったんだ。川内は間違ってたな。今度会ったら謝ろう…。見回りしながら器用な事をするんだな。矛盾してそうだがな」

隼鷹は目の中のハイライトをオフにしていた。ハイライトさんは、いつも通り丁寧な仕事をこなすのだった。川内は頭の後ろを右手で搔いていた。狐の尻尾はシユンとしていた

「川内さ〜くん、隼鷹さ〜くん。行こ〜う〜」  
「あ〜〜、行くよ〜。ほらっ、隼鷹、行くぞオラ！」

川内と以下数名のKANSENで、見回りをしていたようです。軽空母なのに夜の見回りが出来るとか。隼鷹は特殊な訓練を積んだんでしようね。川内に引きずられて見回りを再開したのだった

ちなみに、令司と飛鷹はのぼせる前にお風呂から上がって脱衣所で続きをしたようです。時々、お風呂に入ってくるKANSEN達ともやり始めたとか？本当にお盛んな夫妻です事

### ☆遠い遠い暗い場所☆

2番テスターが呼んだ35番テスターが、床のヌルヌルに足を取られてピュリファイヤーとオブザーバーに抱き付いて百合の花を咲かせていたのだった。令司は尊いって叫びそうだ？

「ZZZZZZZZ…ZZZZZZZZ…ZZZZZZZZ…」

「ええ？寝ちやつたよ…。原因はやっぱり分からなかったんだけど。何か2人ともスッキリ顔になってるかな？参考にはなかったかな。ありがとね。35っち。あたしも寝よつと」

35っち流の介護でしつかり寝ているピュリファイヤーとオブザーバー。気絶寝ともいうが。仲良く寝ていた

「あつ、その前に部下？達を生産してつと……」

寝る前にいつもの奴？をし出した。床から沢山、召喚されていったのだった。演出は無かった

「よし。こんくらいにしとこう。みんな、おはよう。早速、いつものゴーゴーだよ？」

召喚されたみんなは、無言で頷いて戦闘の準備をしていくのだった。1番早く準備を終えたのが出て行こうとした所で待ったをかけた。一斉に振り返って指示を待ったのだった

「オープン基地？だっけ？は1番最後に攻撃してよね？うん。良い領きじやん。それじゃ、よろしくううう。逝ってらっしやいっく。はあ……。オリジナルはやっぱり来なかったか……。見たいんだけどな？逝き延びてればそのうち会えるっしょ？んじや、おやすみなさい。Z z z z z z z z……」

手を振ってみんなを見送った。伸びをしてから仲良く寝ている3人の上に乗っかって寝たのだった。全裸になって。全裸の2人と全裸で縄で拘束されている2人というなんとも言えない絵が出来上がっていた

令司がこの絵を見たらどんな反応をするのだろうか？この遠い遠い場所は今日も平和です

## 秘書KAN達

お風呂場を見てハイテンションになった令司。過去の自分を褒める。これ、お風呂巡りしてるKANSENがいるんじゃないかね?と思つたのだつた。はい。実際に行っているKANSEN達がいま

脱衣所で上がる所だつた5人の内2人とヤル。3人とはキスをしまくつた。ビクンビクンしまくりであつた。5人みんなしつかりと令司のお尻を揉んだ。みんな令司のお尻が大好きである

扉を開けて中に入ると露天風呂で、夜景の絶景とKANSEN達の湯船にプカプカ浮かぶ絶景を見た。令司の身体もしつかりと見られた。KANSEN達が浴場で欲情していたのである

頭を洗っているとクリーブランドが背中に抱き付いてきたので、背中を洗うように頼んだ。そしてムラムラしてやり始めて、クリーブランドの妹3人、コロンビア、モントピリア、デンバーともヤツタのだつた。お風呂屋さんですね。無料だ

やり終わった後、真っ白なお風呂に浸かる。饅頭達がお盆で運んで来たお酒を飲んで景色を眺めて身体を癒していると、既に酔つていた飛鷹と出会つた

飛鷹に太ももをたつぷり撫でられた。こんな事でヤル気が出て、流される?ままにファーストキスを貰い、湯船に浸かつたままやるのだつた

また、場所を脱衣所に変えて続きをして、お風呂に入ってくるKANSENの数名ともヤツたのだつた。令司のパラダイスが広がっていた。みんな、凄く良い顔をしていたのだつた。修羅場じゃないか。つて?そんな物は早い段階でゴミ箱へポイしている

☆☆☆

「気持ち良かったわよ。ありがとう。指揮官、愛してるわ。隼鷹に何か言われるかもね?見回りしながら観てたと思うの。絶対ね」

「愛してるよ。何か言われる?刺すの間違いじゃ:つて、顔面蒼白に

なって泣くのは何でっ?!ヨシヨシ。もう言わないから!」

飛鷹をハグして頭、撫で撫でヨシヨシをして落ち着かせるのだった。飛鷹もちやつかり令司のお尻を揉みしだいていた

飛鷹の最高だったぜ。刺すって言葉は言っってはイケないのかもね。了解しました!もしかして、こんなので罰の対象になるのかな?罰の内容:…は気にしちや負けかも?

それで、隼鷹の「刺さないわよ!オサナナジミ!挿すのはオサナナジミよ!ありがと!濡れたわ!オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ…」って、声が聞こえたような気がしたんだ。電波、使えるんだね?

そっか〜。隼鷹はいつも俺にアピールをするけど攻めて来ないもんなあ〜?水着や下着であれこれしてるのに…。力強いから押し倒せるのに。「……………っ?!?!」

俺が妹の飛鷹とヤツてるのをドアの隙間から見てたいんだもんなく〜?「……………っ?!?!」趣味ソツチだもんなあ〜?「……………んなっ?!?!」  
令司と隼鷹、お互い記憶にない事を言い合って?何故か成立しているのだった。ナニソレ?

「ありがと。落ち着いたわ。ハグと撫で撫で最高よ♡」

「それは良かった」

そつちも満足するまでお尻触ってたね。叩かれそうだな。大丈夫じゃなくなりそう。手加減してくれるかなあ。してくれないでしょ?メス男子が出ちゃう?それはそれで……。うん

「それで?後は寝るだけだけど、指揮官専用の部屋で寝るのかしら?」「んっ???」

指揮官専用の部屋?あるんだ?スツキリ・さっぱりのが?首を傾げる仕草、なんか良いね!

「えっ???指揮官専用の部屋あるわよ?何?鳳翔の部屋にお邪魔して遊びまくったように、誰かの部屋にお邪魔して寝る?いわゆる。添い寝?ね。どうなの?」

「おっ?そうだな……。専用部屋で寝るとするよ。悪いと思うけど。誰かの部屋にお邪魔は今度だな。人数多いから回れないよ。今度は

いつになるか分からないからな?」

いや〜。誰かの部屋に行ったらハッスルしちゃうと思うのよ? みんなエッチいし? 幸せにしろって言うし? 相性最高に良いし? 一睡も出来ないんじゃないかな? 知らんけど。鳳翔の次は誰にしようかな

専用部屋だったらぐっすり眠れそうなのよ。知らんけど……。本当に悪いねえ? 今度は胸にノの字を書くんかい

「専用部屋ね? 分かったわ。悪くないわ。なら、秘書KAN達の数名を呼んで寝るのね? うん。それは納得だわ。おやすみなさい」

なんかスツと納得してった。飛鷹ってそういう性格をしていなかったような? 変わったのかもね?

「えっ? おっ? おおう。秘書KAN達ね。全員を専用部屋に招待するわ。飛鷹、おやすみ。それと盗聴してるみんなもな? 見回り組みも交代時間が来たらサツサと寝ろよ〜?」

こう言つとけば良いだろう。良い娘達だからさ? サツサと寝るでしよ? 起きてても良いけどさ?

飛鷹に指揮官専用の部屋で寝るのか、誰かの部屋で寝るのか聞かれて専用部屋を選んだ。すると「待ってました!」とばかりに基地全体に放送がかかるのだった

『ええ〜。どうも青葉ですう〜。指揮官の許可により、秘書KANのイラストリアス、セントルイス、ジャン・ボール、愛宕、シリウスは指揮官専用部屋に向かってくださいねえ〜! 放送は以上で〜す! おやすみなさい! あつ、忘れてた! 言ってた通りで見回り組みの方々も交代の時間ですよ! それじゃ、おやすみなさい!』

うん? スピーカーが無い? ちっさいから見つけられないのか? どうでも良いか。明石やヴェスタの変態技術の結晶体でしよ? 夕張も居たな。音質最高じゃねえかな? 凄いいねえ?

専用部屋に入る許可あ? ……あ。大人数で押しかけて来ないようにとかか? メイド達の掃除は無理なのかもな? 饅頭達が掃除するのかもなあ?

って、そういう設定は入れてないぞ。好きにして。って言った記憶

があるからその時に好きにしたかもしれないな

専用部屋なんだからそうでしょ？盗撮はされてるけど、盗聴はしていない？部屋である。饅頭達がすっかり隅々までピカピカに掃除しています。万能ですね。メイド達の出番はありません

さて、青葉の放送により呼ばれた秘書KAN達、5名の様子を見てください

「あら♡リアとまたシてくれるのかしら？でも、かなりの人数とやられてお疲れでしょうから、きつと寝るだけですわね？……一応、濡らして準備しておきますわ♡」

エツロい下着姿で優雅に紅茶を飲んでいたイラストリアス。やっぱりテーブルにたわわっぱいを乗せてるんですね？楽なのだろう。手などを使わないで準備していったのだった。胸も使っていない。凄いな

「指揮官くん♡ウフフ♡ようやく、生声が聴ける♡一応、濡らして準備しておくわ♡指揮官くん♡ルイスをよろしくね？ウフフ♡転移前より立派になってるわよ♡素敵ね」

セントルイスもイラストリアスと同様に準備していく。違うのは、司令の過去のハッスルシーンを見ていてノートに書いて勉強していた事だ。

過去のハッスルシーンとは？それは、転移前の元彼女と転移して来てローン達のセツの事である。なんかヤバめな感じがする

「令司兄さん……。バールの身体を好きにしていからね？準備は出来てるから。不束者物ですがよろしく♡まあ、サツサと寝ると思うけど？ね？」

おっぱいのついたイケウーマン事ジャン・バールは筋トレをしていて沢山汗を掻いていた。拭った後、香りを何度も嗅いでいた。頷いたので仕上がったようだ。これが準備なのでしょう。変わっている「……………」

「呼ばれたな？どうした？愛宕？襲う宣言してたのに随分と大人しいじゃないか？仏の様な顔をしているぞ？下の口、濡れっ濡れじゃないから心配だぞ？すっごく足がブルブルしてるな？あ、縄、もう解いて



おくよ……」

凄く大人し過ぎて、慌てていた高雄。早口でテキパキと拘束を解いていった

「はあ…はあ…。たか…お〜…。ど、どう…し…よう…。浄化…され…そう…。はあ♡はあ♡」

限界突破し過ぎたようで？高雄の指摘通りで足がプルプルして立て上がれなかった。また、床に湖が出来ていたのを高雄は見てもあったが、何も見なかった事にした。いつもの奴なのだろう

「そつか。途中まで送るから。私は専用部屋には入れないからな？盗撮・盗聴で見守ってるよ。よいしょ」

「きやつ」

「シリアスがいるからインパクト薄くなると思うがな？逝ってらっしやい♪」

お姫様抱っこで持って行くようだ

「たか…お〜」

愛宕はウルウルな目で見つめ返したのだった

「メスイヌになればいいな？」

「うん♡」

変態？な会話をしていた姉妹であった。2人とも犬耳と尻尾を嬉しそうにブンブン振り回していた

「ロイヤルメイドとして♡妻として♡シリアス♡我が誇らしきご主人様のためにご奉仕させていただきます♡濡れ濡れでございます♡ぐっすり眠られてくださいませ♡誇らしきご主人様♡愛しています♡ウフフ♡」

シリアスの部屋の中がピンクの霧で覆われているのはどういう事なのでしょう？廊下に漏れ出ていますよ？危ないですね〜？

こうして、令司から指名されたみんなは準備マンタンしてからルンルン気分専用部屋に行くのだった。添い寝は大事な行事？なのかもしれない。で、ワンチャンスのスツキリがあるかも？令司は簡単に飛び付くだろうね？おめでどう

☆☆☆

「みんな、専用部屋に到着したよ。ようこそ。入って」

「「ハアイ♡邪魔します♡」」

うん。予想通り。スツキリ・さっぱりの部屋だったわ。落ち着くわ秘書KAN達と出会って専用部屋に入っていく。令司はイケてる？ボイスでキリっ！とキメていたが令司の令司君もまた主張していた。愛し合いの開始ですかね？

そんな令司の令司君をしつかり見て、モジモジするのだった。準備した以上に大洪水なのである。お互いムラムラしていた

みんながベツトに腰をかけたのを見届けて、全員の目を見て♡マークになっているのを確認した令司は……

「ヨシっ…。それじゃ…みんな！寝る前に愛し合うとしよう。まずはジャン・ボールからだ！それっ！」

ダイブポーズをキメた。見事な奴を。ジャン・ボール？キンの、入れ易くなつたよ？

「きやつ♡令司兄さん♡んむっ♡んゝゝっ♡」

両手を大きく広げて受け入れてあつついキスをした

「クスクス♪ジャン・ボール。おめでとう。それではリアがサポートさせて頂きますわ♡指揮官様の右耳に近づいて……ふうっ♡」

「では、シリアスがこの尻尾から出る粘液を使って誇らしきご主人様にご奉仕させて頂きます♡ヌリヌリ♡……効いているようですね。誇らしいです♪」

「「……………くっ♡…ハアハア♡」」

令司はやはり？専用部屋でも秘書KAN達とベツトウエー海溝の攻略を開始した。ドロッドロのグチュグチュにしたりさせたりし愛つただった。専用部屋がピンク色に染まっっていく

最後の相手はシリアス。出し切ってスツキリした。全員全裸で令司に抱きついて仲良く眠りに落ちていった。みんな、良い夢を見れるでしょう

起きる頃には令司もみんなもキラキラに。秘書KAN、みんなの体

調などが絶好調になっているのをまだ知らない

では、ハッスルする前の令司の専用部屋に入る前の様子？心の叫び？を覗きましようか

〜回想。専用部屋入る前〜

「「「令司兄さん♡指揮官様♡指揮官くん♡指揮官♡誇らしきご主人様♡専用部屋に入る許可、ありがとうございます♡」」」

専用部屋に到着。それで？許可した秘書KAN、全員エッチいエロ下着を着用してる！ネグリジエ？だっけ？最高に似合ってる。眼福ですぞ。ありがとう！セントルイスにジャン・パールは母乳が出る体質だったんだな。ジャン・パールは意外だよ

うんうん。エリちゃん事、クイーンエリザベスの本物のロリ爆乳（モチモチ、プルンプルン）、睦月と如月のゴスロリ美女の件もあったから、まだ居るんだろうなあ？とは思ったけどさ…？

そのお？シリアス？スツツツゴク、エッチいい♡最高くっっ！しゅき♡だってさくく？『淫魔』だよ？『淫魔』。淫紋バッチリ出ちゃってるし、尻尾もある。ブンブン振ってるし♡マーク作ってる。角に羽根はないね？隠してたりする？

ああ、シリアスのお尻叩きてえ！メイドサキユバスって最高ですうくっっ!!!ちろつと舌出したけどなんか長そう…。それで耳舐めなんかされたら…。ふおおくく♡想像だけでゾクゾク、鳥肌たっちやった

髪は本来はショートだよ？親友の見たんだぞ！それが俺の基地ではロング♡似合ってる♡はあ♡しゅき♡しゅき♡1番最初に指輪あげて正解だったよ♡勿論、みんなを愛してるぜ！

それで、愛宕は高雄におんぶされてここに来たな？愛宕のケモ耳が前に垂れ込んだ。撫でたくなって撫でたら「くくくんあ♡」ってエツロい声あげてたよ。高雄が笑顔で「ありがとう。おやすみなさい」って言ってきた

高雄にお礼としてキスとケモ耳を撫でたら「わうくくん♡」って喜んで？たわ。足ガクガクになった。んで、摩耶と鳥海に連れていかれたんだわ。摩耶達、2人にもハグとキスしてあげたよ。2人もガク

ガクしてたね。なんなんだよ

で、ある。令司の頭の中はピンク色でパラダイス？のようだった。秘書KAN達もパラダイスなんですけどね。お似合いだねサカツプルって事で

「指揮官くん♡転移前にルイスとホノルルを使ってくれてありがとう♡ホノルル、凄く可愛かったわ♡襲いたくなるの我慢したのよ？んちゅ♡れるんちゅ♡」

「ぶは…っ。お、おう…。セントルイス。転移前にお世話になったよ。生声を聞けて幸せだよ。愛してる」

バレてたか。百合っちゃえば良いのに。それは嫌だったんだろうね？ルイスらなりの一線はやっぱりあるのか……

「ハアハア♡ええ。愛してるわ♡」

転移前にお世話になったセントルイスがあくく、腰をへこへこして誘ってるう♡幸せだくく！良い匂い♪

「本当に専用部屋に招待ありがとですわ♡むぎゅく♡」

専用部屋に入れるので嬉しいイラストリアス。嬉しさを爆発させてハグをする。大胆であります

「おっと…リア…。何も無いけどな？寝るだけの部屋だし」

真正面にリアの爆乳！これを…お茶会の後にね。凄かった。ごくりっ

「…♡…♡…♡」

お喋りをしていない残りの4名は必死に専用部屋から漂ってくる空気を嗅いでいた。必死に思いつきりに。レイシニウム？という成分補給をしていたのである。下の口は準備していた時より濡れ濡れ度が増していった

まあ、専用部屋に入ったらレイシニウムは嗅ぎ放題なんですけどね？成分過多になると思うの

「みんなもハグしよう？おい…んむちゅ…」

グイグイ来たくっつっ!!!

「…♡♡♡」

うはあく！ここにいるみんなの口の中などが甘い事は分かっ

たけどろ。目の前のメスらは甘さ増し増しですぞ〜!!美味しい!  
やっぱり、お尻を揉んでくる!バッチリだ。寝るだけなのにムラム  
ラしてきた〜!早く専用部屋に入ろうっ!!!シンプルでつままない  
部屋だけどねっ!

……と言う事になっていた。で、長い長いベットウエー海溝の攻略  
開始である。秘書KANSEN達に令司の味をしつかりと刻み突けるので  
す。初日からかつ飛ばしますね?流石ですみんな、誘い受けスキル?  
を身に付けていたようだ

☆☆☆

大半が眠っている中で、専用部屋のベットウエー海溝をリアルタイ  
ムで観る精鋭のKANSEN達の様子を見ましよう。録画されて  
いるので後で観る事が可能なのですけどね。とにかく生が欲しい様  
だ

「指揮官♡セントルイスとジャン・ボールのマッサージで気持ち良  
なってる♡音声がないから何を言ってるのか分からないけどね?あ  
あ〜♡インディちゃんと一緒にマッサージしてあげたい♡意味深  
の方も♡インディちゃん♡指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡」

「……うるさい…。ZZZZZZ…」うぎや〜♡あつ…。ZZZZ  
ZZ」

インディアナポリスは睡眠の邪魔をされたようで、ポートルランドに  
拳骨を喰らわせて強制的に寝かせた。ティツシュをゴミ箱へ捨てま  
しょうね?あつ、饅頭達が回収していった。流石だ

「はわわ♡みんな気持ち良くなってる……。ゆーの下の口にそれが入  
るの……。?寝てるユニコーンお姉ちゃんと一緒に卒業したいなあ  
……。ヨシ。マッサージの勉強しよつと。マッサージ部屋に行こう」  
ペガサスのゆーちゃんが、顔真っ赤にして部屋のテレビ画面で行為  
を見ていた。チラチラとユニコーンお姉ちゃんを見てから massag  
e 部屋に向かっていた

「ZZZZZZ。お兄…ちゃん……。お皿…に…なつて…?ZZZZZZ

……」

プレイ内容の1つを呟いて寝ていた。令司はチヨロそうなんだからイケるよ！

「わふ〜〜！良かったじゃないか。愛宕、メスイヌになれたぞ。素晴らしい縛りをされているじゃないか。キラキラしてるのが伝わってくるぞ。音声がないから内容は分からないが、嬉しい言葉を囁かれたのは分かる。本当に良かった。さて、寝るか。Zzzzzz」

令司の縛りをウツトリ顔で観ている高雄。愛宕がメスイヌになれた事を祝福する。縄で自分自身を縛りあげて眠りに落ちていった。縛リストなのかな？縛っていると安心するのもかもしれない。船だし「遠征終了〜！はあい。みんなお疲れ様。自由に過〜してね〜？」

「『はい！熊野！』」

「……へえ〜？令司っち、こつちの世界に転移出来たんだあ〜♡やったく〜♡シリアスとヤツてじゃん♡おお〜。熊野達の母乳が入ってる風呂に入って飲んでくれたの♡嬉しいな♡セントルイスとジャン・パール、ヴィクトリアス、ベルファストみたいにさあ？直接飲んでよね〜♡会えるの楽しみにしてるネツ♡ん〜ちゅ♡あつ、瓶に詰めなきゃ！よいしょつと。はあ〜♡出るう〜♡」

遠征から帰ってきたギャルな熊野。令司が転移してきて嬉しいよ。うだ。目がキラキラしていた

熊野はリアルのを観ながら、過去のも観ていた。器用である。見ている場所は何処だろうか？映像室かな？画面に投げキッスをしてから瓶に何かを詰める作業を始めていった

そんな？こんな？で令司はみんなに歓迎されていたのだった。ただ出会っていない沢山のKANISENも幸せにする事でしょう。これから徐々に。程々に頑張りなさい。作戦名へ身体を大事に〜だよ！なつ！

☆遠い遠い暗い場所☆

もう、みんなが眠りについているので会話がない！

では……、寝ている彼女らの心の声？でも覗いてみましょうか

……。ここに心の声を聞く事が出来る品があります。それ、投下く！

以下、オブザーバー、ピュリファイヤー、ニーねえ事、2番目のテスター、35つち事、35番の順番でお送りします。(○)の中が心の声である

(熱い♡熱いよ♡ずっと熱い♡下の口からどんどんヌルヌルが溢れていくう♡いつ止まるのお♡熱すぎて可笑しくなっちゃう♡♡助けて♡司令♡)

一週間はそのままでございます

(なんか気持ち良いなあ♡うっ…。35番。変な所を触るなく♡！ビリって来て、何か来ちゃう♡♡……アッ♡)

どうやら逝った様子ですね…。何処を触られたのかな？オブザーバーと同じく、ずっと下の口からどんどんヌルヌルが溢れていくのだった

(スピー、スピー…。むにやむにや……。……白いドロっど…。したの何……。だつたんだろう……。ZZZZZZ)

ニーねえは？マークがいつぱいな感じですね？何時か分かる時が来ると思いますよ？ニーねえからも出ますので

(オブーのタコ足締め付け悪うい。ピュリーの何かヌルっとしたの触った？ネバネバしてる……。もっど触ろう……。えいえいつ)

ビリビリして抵抗出来ない所に追い打ち？をした35つちだった。気持ち良くしてるからヨシ！

遠い遠い暗い場所にいるセイレーン達は百合の花？が咲いていて平和でございます

令司達は無知？の彼女達と何時になつたら会えるのでしょうか？で、オリジナルテスターは来ませんでしたね？何処で何をしているのでしょうか？会いたいですねえ

## 執務室行くわ

後は寝るだけになった令司。初体験が済んだ飛鷹からの専用部屋か各部屋で寝るかの提案に専用部屋で寝る事を選んだ。飛鷹から秘書KAN達と寝るのね？と納得した顔で言われ、許可？した令司であった

そこで、待ってました！と青葉の基地全体放送がかかり秘書KANのセントルイス、イラストリアス、愛宕、ジャン・ボール、シリアスが呼ばれたのだった。呼ばれた全員、下の口を触らずに濡らすのだった。器用です

専用部屋に到着した時、イラストリアスのハグとルイスが愛称のセントルイスとキスをきっかけに全員とキスをしたのだった。甘さが増し増しでビックリするのだった

セントルイスとジャン・ボールが母乳が出る体質だった事にビックリする令司。しかしそれ以上にビックリしたのはシリアスが淫魔で淫紋と尻尾があつてロングであつた。ついでお尻を叩きたくなる魔性のお尻持ち

シリアスの舌は長いんじゃないか？と思った令司。その通りで、舌が長く、耳奥をトロットロのグツチョコグチョコに舐められる奉仕をされるのをまだ知らなかったのだった

キスによって令司と全員がムラムラしてしまい、専用部屋に入ったらジャン・ボールを押し倒し、イラストリアスがサポート役を買って出てやり始めたのだった。作戦名？はベットウエー海溝。これを開始したのだった

ラブラブライブだったりギシギシアンアン海溝だったりコロコロと海溝が変わりますね？後、どの位の海溝を攻略するのでしょうか？楽しみですねえ？

ジャン・ボール、愛宕、セントルイス、イラストリアス、シリアスの順番でやった

セントルイスとジャン・ボールのダブルマッサージを受けたり、縄を使つてのプレイなどなど。全員が疲れるまでヤツたのだった。ヤ





「ローン。お帰り。おはよう？だよね？おおう。気持ち良い」

「ただいま♡あなた♡そうよ？はあはあ♡おはよう♡あつ♡ごめんなさい♡寝込みを襲ってごめんなさい♡ごめんなさい♡我慢出来なかったのよねええ♡罰受けるわあああ♡♡ん♡♡」

気持ちええよおお♡!!!

秘書KAN達はもう既に起きていて専用部屋を出て行ったようだ。早起きなんだね？

「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」

おつと……。まだ居て、運動会の音で目が覚めたようですね……。全員♡マークで見守ってますね。下の口がまた濡れ濡れになっている。気にしていないようですし、触りもしない。愛宕は縄で縛られている。それが平常運転なんですね？

だいぶ溜まってたんです？おうふ♡ハグ♡♡痛気持ち良いぞ♡♡そうそう、これこれ！この感じはローンにしか出来ないわ。…で？何故謝るんです？なんかシちゃった？いや、今シてるけども？

朝起きたらローンに襲われていた令司。睡○漢の実績を解除した感じですか？ついでに痛気持ち良いハグをされて大興奮。罰については言及しなかった。見られていてもスルーする令司なのだった。「はあはあ♡収まったわ…。それじゃ。あなた？ローンは丸1日、罰を受けますね？ぶらぶらしてKANーSEN達をどんどん幸せにしてくださいねえええ？後、覗いてもいいんだからねええええ！」「分かった。幸せにするんだからねええええ！覗く……。考えておくからねええええ！」

終わる頃には秘書KAN達はもう部屋から出て行っていた。びしょ濡れの床は饅頭達がキレイに掃除していた

ローンもスッキリした様で肌がツヤツヤになっていた。部屋を出て行く時、ウイソクをして出ていった

ふう…。スッキリ♡。本当、息子は働き物だよ♡。やれば出来る子。身体の調子絶好調。凄い！痩せ細っては…。いない！ヨシっ！

さてさて運動してスッキリしたし、朝食を第2食堂で食べるか…。どんなKANーSEN達がいるのかな？

スツキリ顔をキメて身体のチェックをしてから第2食堂に向かうのだった。ローンは言葉通り丸1日、罰（癒し刑）を受ける準備？をして別れた。顔がセイレーンと戦う時の真剣なものになっていた。意味不な戦場なのかな？

☆☆☆

「ヨシっ。第2食堂に到着っ」と

うん。ネームプレート、予想通りで銀色だったね。入ろうつと。と、その前に

「駆逐艦達？下ろすぞ？スツキリしたかい？俺はスツキリ出来た」

「「出来たっ！」「」」

「ありがとう。軽巡以上のお姉さん達も夜の見回り、ありがとう」

「「「いえいえ♡こちらこそありがとうございます♡指揮官♡」「」」

ふう…。またスツキリ。遅いわ。夜の見回り組みの駆逐艦達と会って一緒に来た。軽巡以上のお姉さん方もいたけどな？廊下でおっ始めてしまった。いつもの奴だな

「みんなも朝ご飯をしっかりと食べてね？非番だっけ？外出とか色々自由で過ごしなね？」

「はい♡指揮官♡」×10人以上

第2食堂に到着した令司。向かっている最中に駆逐艦達や軽巡以上と出会い、キスとハグ、お尻を揉まれる、揉む。の挨拶をした。そして朝這いされてスツキリした筈なのに駆逐艦と移動しながらヤツた。回復力とか凄いな？

「おっ、第2食堂もそこそこに広い…。さて…。どんな料理を食べようかな？…。おっ？あれは…。へえ？ヨシっ。頼むか」

どの料理を食べようか悩んでいると、厨房に意外？だったのか、とあるKANISENを見つけたのだった

「〜っ♪……。あつ。旦那様！おはよう！いらっしやい！」

「おはよう。来たよ。エリちゃん…。エリちゃんの料理、食べるよ。服装エッチいな？ご馳走様」



すのだった。今日もピンク色の世界が広がっていました

ハッスルを終えて背伸びなどをしていた令司。何を思ったのか厨房に入って行って料理を作っていくのだった。みんな、涎を垂らして見守った。ケモミミ娘達は耳と尻尾を勢い良く振り回していた

☆☆☆

「「「美味しいですう〜♡おかわり!」」」

「ははは。泣く位に不味く…はなかつたか。良かった良かった」

明石達が美味しそうに食べてたからな。泣いてたっけね?男のガサツ飯に需要があるんだ?なんかがズレてんだよな〜?

「は〜い、おかわりいっぱいしてくれてありがとう」

ウォースパイトとエリちゃんと数名を食した後に朝食を作ってみたらやっぱり喜ばれたよ〜。一部泣いてるし、拜んでる。そこまてかな〜?幸せ感じてるから良いんだけど

「「「ピヨピヨ♡ピヨピヨ♡ピーヨ♡」」」訳、指揮官の作ったササミ料理い〜♡ササミい〜♡美味しい♡

ついでに饅頭達用にササミの料理を作ったら、凄くはしゃいでたからササミが好物なんだな。了解しました。……………共食いみたいな感覚はないんだろなあ〜。あつ、出した♡マークも食べるのね。便利だな?

「旦那様の手料理を食べられて幸せよ!美味しいわ!それで?どこに行くのかしら!」

「うん。みんなが美味しく食べてくれて良かったよ。んっ?執務室行くわ」

ニコニコして令司の料理を食べてるエリちゃんがどこに行くのか聞いてきた。エリちゃんのプルンプルンプルん谷を覗くのを辞めて、目を見てキリっ!と、キメ顔で執務室と答えたら

「……………えっ?」

「んっ??」

んんん〜?空気がピシッと凍りついたんだけど?あ〜〜なんか

涼しくなった？ 気持ち良い温度だわ。食堂にいるみんなが一斉に「えっ？」て言うなんて。こつちが、「えっ？」なんですけど？

そう。みんな固まってしまったのだった。空気が凍りついて、温まった身体には丁度良い温度になった。執務室の中は一体どうなってるのでしょうか？ 見られたくないのでしょうか？

変な事は言っていないよ？ 執務室に行くって言っただけだよ？ ほら、これでも一応俺、上官？ 指揮官だし？ 仕事しなくても良いって言っけどさく？ 見て置きたいんだよ

指揮官専用のハンコが必要じゃない？ ハンコ、あつたかな？ で、ポンポン了承する作業しなきゃじゃん？

漫画みたいに報告書とかが山積みでしょ？ 深夜コースになる位の量がね？ あつ、でも朝で終わる位の量だっけ。それにもハンコ必要じゃないの？ 知らんけど…。と？ いう訳で執務室行くわ！ おう…。エリちゃんの谷間ブルブル。眼福々

上官らしくハンコを押す仕事しようとする令司。ふんす。と鼻息をだしていた。ウォースパイトやエリザベス等が何故か全身をガクガクしながら説得？ しようとするのだった

「か、考え直して？ 別の「執務室行くわ」だ、だ、旦那様に仕「執務室行くわ」…はううう…。言葉に力が…込められ…て…。うぐつ…。う、動けない…。」

「し、指揮官？ 執務室に行かな「執務室行くわ」うつ…。「執務室行くわ」ううう…。動けない…。秘書KANみんな…海に出ちゃってるしい…。ううう…」

ええええ？ 「執務室行くわ」って言っちゃいけないの？ ちよつと？ 力を込めてみたら、なんかエリちゃんとウォースパイトがピタッと動かなくなっただけ？ 口は動くんだけど？ 何で？

あれか？ 言霊みたいな奴？ ふくん。へええ？ 悪用しないようにしよう。反動で何か起きるかもだし

それで？ 中どうなってるの？ 気になるじゃん。ヨシっ。走って執務室行くわ！ うおおおおくく!!! 執務室うううくく！ 待ってるくく!!! 中がどうなってるのか押んでやるうううくく!!!

何故かクラウニングポーズをしてから走って執務室へ向かうのだった

「うう……。あつ?!ちよ?!旦那様くくつ?!待っ……。もう!本当に動けない!こんなので癒し刑なんてイヤくくくツツツ!!!」

「陛下。諦めましょう?罰、受け入れましょう……。ローンも今日も丸1日罰を受けてるので。もう罰を食らってる最中です♡」

「悟ってる顔しちやっつて!はっ?そうなの。内容とか違うわね……。良かった……。じゃないわ!それでも……」

「お邪魔しまくす!罰の部屋へ2人ご案内くく♡」

「あつ……。もう連れて行くの?!」

「良いからイクよく♡」

「心の準備がああく!!!」

女王陛下でもお構いなしに連れて行く。嬉しそうに引きづって食堂を出るのだった

罰の癒し刑は一体何なのでしよう?相当ガクガクしていますね?みんなもガクガクしているので、1度は罰を受けているようです?ウォースパイトは悟りを開いている顔をしていて素直に連れて行かれたのだった。食堂にいるみんなが罰を受けるって事はないようです。その差は何なのでしよう?

☆☆☆

「執務室に到着ううくく!入ります!おつと。ノックをしなくちやだな」

執☆務☆室☆書かれてある部屋の前へ走って来たぜ!良いタイム出てそうだ!専用部屋でハンコを探したけど無かったからこの中でしょ?!

青葉の放送とかが、されなかったから寝てるのかもな?それかまだ見回ってる?

ノックした。うん?なんかドサつと音がしたな。ヨシつ。入って良いという事にしとこうか。失礼します

執務室に到着した令司。身だしなみなどを整えてドアをノックした。中から返事が無かったが、ドサっという音で許可が降りた事にして勝手に？入っていった…。執務室の中は一体どうなっているのでしょうか？

「お邪魔します。令司で……。おつふ……。えええ……。???これは……。えええ……。???」

「もう……。許して……。♡」

「ほら……。♡しっかりしてよ……。♡まだ出し切れてないじゃ……。♡?」

「はあ♡はあ♡そ……。うだけ……。ど……。きか……。いで搾……。「ほい☆そんなじゃ、機械のスイッチMAX！スイッチケ……。♡んっ♡イクう……。♡」……。♡」

「はあはあ……。ごめん……。なさい……。ふう……。：あら？指揮官？執務室に来るなんて……。盗撮と盗聴で分かっていたけど止められ無かったのね。んあっ♡見られちゃったわ」

「ナニコレ？サイコウデスヨ♡ムラムラスルヨ♡」

はい。こちら中継先の執務室の中に入った令司です！執務室の中で何があったか簡単に説明するであります！母乳搾り！ピンクの霧で部屋が包まれていてエッチいであります！現場からは以上であります！しっかり目焼き付けて来ます！

現場の令司さん。ありがとうございます。ジューシーなJK軍団が来たあ……。!!!な発言は何だったのでしょうか？

はい。そうなんです。執務室内で母乳搾りをされてるKANIS EN達と搾り機のスイッチを持っているKANISEN達が複数いたのです。搾り終わったKANISEN達がぐったりしていたのだった。返事の正体はこれでしょう

「みんなおはよう。もしかしてこれが罰なのかい？熊野？エッチいんだけど？」

ギャル……。♡な熊野がさ。搾り機のスイッチで相手と自分のを搾ってるんだけど……。キラキラしてるの……。エッチいのよ♡

「「ハアハア♡あっ、おはようございます♡指揮官♡」」



「んふ〜♡搾り切ったね♡あつ♡令司っち♡おはよう♡エツチいの？ヤツタ〜♡罰？あ〜、癒し刑ね。そうだよ♡熊野、執行する側なの♡プレイ中に何度か癒し刑見てるじゃん♡」

振り返る熊野。手を振る

「えっ？…そうなの？」

ギャルの熊野が母乳出る体質ね。もう…最高じゃん！紙束が山積みじゃないし。執務室で紙仕事しないんだね。それで良いのか？軍南だけど？まあ…：気にしない方が良いよね？

ええ？哺乳瓶に入れるんじゃない方が良くないかね。沢山あるな？バケツにご丁寧の名前が書いてあるし。どれどれ？

熊野に手を振り返してあげてからバケツを1つ1つ見ていく

信濃、吾妻、榎野、熊野、翔鶴、翔鶴?!加賀、加賀も?!ヴィクトリアス、ベルファスト、セントルイス、ジャン・ボールなど…：。結構いるのな。榎野はやっぱ出たのね

あつ、もしかしてこれらって料理に使ってたりするかも！リットリオが言ってたし？ふう〜→→→知らない内に取り込んでいたようだ！

キョロキョロしていると熊野が背中に抱きついてきてアピールしてきたのだった。もちろん。お尻を揉んでいる。おそろおそろから大胆になつていった

「そうなの♡それでね？ハッスルの動画を観てたら身体、ポカポカしちゃったんだよ？張っちゃったね。遠征仲間飲んでくれなかったし…。海にちよつとポイしちゃったから許せなかったよ」

「そっか。俺、動画でもわかる位、熱い視線を送ってたんだな」

遠征中にそんな事が！罰を見てたのか。ヒッパーとオイゲンの奴だったか？うん。罰って言ってたし…。ええ〜？あれが罰…？うん…。癒しだな。熊野がアピールしてる…。ありがとうございます。後で襲うね？いや…もうシようよ…

ピンク色の雰囲気でもまたムラムラしてしまった令司。ギャル〜ん♡熊野を押し倒してしまった…。周りの母乳艦隊が熱い視線を送っている

「きゃ♡令司っちのヤル気あるじゃ〜♡良かった♡色々な母乳を飲んでアソボ♡沢山飲んでも料理とか他の用途に回せるから♡心配しないで」

簡単に押し倒せちゃったぜ。ハアハア言ってるね？JKにイケナイ事してるよ♡最高♡熊野達、全員成人してるけどね！

受け入れる熊野。始めてないのにメスの顔をしていた。準備出来ているぞ。早よ早よ

「「「♡♡♡」」」

熊野の合図？でみんなが発情？したのか搾り切った筈なのにトロつと出始めていたのだった

「そうだな。みんなの母乳を飲んで溺れるとしよう熊野…みんな…スルぞー！」

そりやく、ねえ？窓側を見えない位まで積んでるバケツの量なら平気でしょう？

ギャルな熊野は母性増し増し？な感じなんだよね。これがバブみ…？嬉しいですよ！オギャー〜！！

「「「ハイ♡どうぞ♡熊野さんや私達を頂いてね♡」」」

我、バブみ海溝を攻略スル！抜錨！それイッケ〜っ！

「ありがと♡うん♡初めてを令司っちにアゲルよ♡……っ!?んあ〜っ♡んむっちゅ♡」

「「「熊野♡おめでどう♡お祝いのシャワーだよ♡受け取って〜っ♡」」」

ギャルな熊野の開封お祝いで母乳シャワーを浴びた令司と熊野なのだった。いや〜。本当に令司の令司は元気ですな〜♡

☆☆☆

令司が執務室内の状況が分かって、バブみ海溝を絶賛攻略中の所を盗撮、盗聴している一部のKANISEN達の様子を見てみましょう

「あらあら♡篝火先輩♡バレちゃいましたね♡耳に尻尾をシナシ

ナにして顔が真っ白になってる♡可愛い♡私もバレちゃいました  
♡♡これで。ウフフ♡」

知られなくなかったようだ。尻尾を触っている所だったり、抱きつ  
いて頬をくっつけ合っている所をパシヤパシヤしていった

「ちよつと、翔鶴姉え♡。写真を撮るのはどうなの？」

「そう言っている瑞鶴だって撮ってるじゃない♡熊野の顔、デレデレ  
ね♡」

加賀から離れて瑞鶴の頬をスリスリ出した翔鶴。瑞鶴の携帯を  
奪って写真の事を聞いた

「あつ…、これは…その……」

「あ、そうだったわ。瑞鶴。初体験、済んでおめでとう♡凄く搾れたわ  
♪下も凄く濡れたわ♡ありがと♡」

「………っ?!…きゅ♡」

思い出したようでボフンとなった

「ウフフ♡瑞鶴を連射♡連射♡あつ、そうだ。折角のチャンス！」

鶴姉妹は仲良しのような。姉妹のイチャイチャ中でも加賀はまだ  
戻って来なかった。戻って来なさい。瑞鶴を加賀の方へ引きづって  
いって何をするんだろうか？写真撮影会でも始めるのだろうか？

「お兄ちゃん。楽しそう……。ユニコーンも出せたら良かった…の…  
？」

揉みしだいても出なくて残念そうにするユニコーン。涙が出そう  
だった

「ユニコーンお姉ちゃん♡ゆーと令司お兄ちゃんと一緒にマッサージ  
すれば出るようになるんじゃない？マッサージ部屋で何かの塗り薬  
？を手に入れたからさ♡これ使ってみよ？」

背後から抱きしめて励ますゆーちゃん。薬振って見せた

「ゆーちゃん。それは…うん♡そうだね♡」

元気が出て良かった

「指揮官。熊野さんのギャル母性にハマってる…ですか？セントルイス  
さんなどは違うジャンルの母性なん…ですか？…草。バブみ海溝  
じゃなくてバブミューダ溪谷だと思う…のです」

違い分かりませんが、みんなウンウンしていた

「あら？ルイスのバケツ使ってる♡ありがとう♡母性のジャンル違うわよね？色んなママの味♡た〜んとお飲み♡指揮官くん♡」

「ハアハア♡んん♡指揮官…♡ギヤルに囲まれてバブってる♡ホノルルも混ざりたい♡」

「指揮官…。ジャベの如何です？なんかの条件を満たして出るようになっただんです♡胸小さいですけど、どうぞです！」

「何?!信濃印と吾妻印と榎野印?!このリットリオが料理で使いたい三大印が執務室内に大量にあったのか?!使って令司に振る舞えば褒めて貰えるっ！饅頭達！お願い致します！三大印をリットリオにお恵み下さい！」

執務室に入って行けばいいのに。出入り禁止にされてるのかな？腕組みをしている饅頭達にお願いをするのだった

「鈴谷…イク♡ん♡っ♡ふう…。。。。。。。リットリオ、土下座するんだ。あつ…。あれは信濃に榎野？が執務室に入っていく感じかな？」

「んなっ?!」  
血流するリットリオなのだった。それと鼻血も出した

「…(褐色ギヤル？ママならリットリオだよね？でも何か違うかも)……」

それぞれ適当？な事を言ったり行動していたりしていたのだった。オープン基地は元気いっぱい？ピンク色の頭をしていたのだった。上官の令司がエッチいからかな？

☆☆☆

「んちゅ♡れるれるんちゅ♡ちゅっぱ♡れるちゅっぱ♡ん♡っ♡ア  
ン♡も♡つ♡と♡溺♡れて♡え♡っ♡っ♡っ♡っ♡っ♡っ♡っ♡」

あくもう…素晴らしくエロくて溺れちゃう♡もうしゅごしゅ  
ぎ♡っ♡ヨシ♡ヨシ♡しゅ♡ご♡い♡っ♡バブ♡っ♡

バブみ海溝にラブラブ溺れて攻略中にさらなる母性の塊？が登場するのだった

「失礼…する…。…んっ？汝…。この世界に…ようやく来たのか…。丁度良い…。私の母乳を搾り取って…くれ…」

「失礼します。あら？令司様♡いらしてたんですね♡榎野、嬉しいです♡あん♡張ってきちやった………」

「んっっっっっ♡んっっっっっ♡」

「ぐくぐくぐく…。ぐくん…。はふっっ♡美味しいわ…。…んあ…。信濃に榎野か。はあい、来たよ。分かった。思いつきりイクわ………」

「頼む…。…んっ♡…んはあ♡」

「はい♡どうぞ♡んっ♡」

信濃と榎野が援軍？で来ちゃった！本当にスゲっっエロい！清楚な2人のおっぱい、デッツ!!!母乳搾り切ってヤルぞ！そんなもって下の口も頂いちやうゾ！はわわっっ♡なんか…なんか。しゅごしゅぎっっ♡語彙がしにゅっ！

「んむちゅ…。ハアハア♡下の開封…。ありがとう…。汝…存分に楽しんでくれ」

「令司様に榎野の母乳を運送出来るなんて♡嬉し…きやつ♡」

「ニシシ♡元気すぎっしょ♡信濃ミルクと榎野ミルクたっっんとお飲み♡それか色々なのを飲んでねっ♡」

もちろん♡そうするさ♡うっめっっ♡ダメになるうっっ♡ギャルママ達と清楚淫乱の2人に沈められるっ！分からされるうっ！最高ですうっ！

昼食の時間になるまで、このバブみ海溝に現れた母乳艦隊の艦パイや下の口に溺れ続けるのだった。見た目がJKと他人の人妻のようだからか？凄く興奮していたのだった。良き良き♪

母乳艦隊のみんなは肌がツヤツヤして、母乳の質と量が増し増しで絶乳調となったのだった。そして饅頭達もイキイキと働いていた。床の掃除の事ですよ

令司の令司君は素敵な思いをいっぱいするのだった。おめでどう

☆遠い遠い暗い場所☆

「んあゝ…。良く寝たゝ…。35つちはもう帰った？のか。それで？もうビリビリとか何かでエロい声は起きないでしょ？ねっ？ピュリっちにオブっち？」

目を擦りながら起きた。下敷きに使っていた2人を起こすのだった

「あゝ♡うゝ♡ハアハア♡アツ♡アツ♡アツ♡アツ♡何でえゝ♡」

クリームの偉大なる？効果によって、2日目の朝もまだビリビリしてエツロイ声をあげて、下の口がヌルヌルになっていた

「ええゝゝ？エロい声出しちゃってるゝゝ？うん…。2人の下の口、まーたヌルヌルだね？こっちも何で何ですけどゝゝ？このクリーム？の内容なんだったんだろう？あゝ、わっかんないよゝ！」

ニーねえはずっと頭の上には？マークを浮かべるのだった。髪の毛をワシヤワシヤして乱していった。美しい髪の毛を乱しちやダメじゃないか。そうして介護を始めるようです？優しいんだね？

セイレーンの方が平和？かな。なんで戦争をしてるんでしょうか？不思議である

スツゲくく

転移2日目の朝。ローンによる朝這い後、第2食堂に向かう。ローンは罰の癒し刑を受けにイク

令司は食堂に向かっている最中でも夜の見回り組であった数名の駆逐艦に手を出す。軽巡以上のお姉さん方も数名パツクンしたのだった。勿論、初体験でした

エリちゃんとウオースパイトの合同料理を注文し食べた後、エリちゃんとウオースパイトをデザートとして食べる。淫紋に気付いて撫でた。喜ばれたのだった

また、発情した数名の初体験を食べる。挨拶化してきた甘いキス、お尻を揉まれる、揉み返す。KANISEN達の胸を揉みしだきまくったのだった。喜ばれた

お礼として大雑把な料理を振る舞ったら、泣いていたり、拜んできたり色々な反応をされて困惑した。大袈裟なんですよ。饅頭達にもササミ料理を振る舞ったら大はしやぎしたので良かったねと思ったのだった

令司の料理を食べ終わったエリちゃんからどこへ行くのか聞かれ、執務室と答えたら食堂内の空気が凍った。凍っているのに涼しくて気持ち良い発言をした令司なのだった。尊敬？しますねくく？

説得しようとするエリちゃんとウオースパイトだったが言霊により体が動けなくなる。走って執務室が気になり走って行く。そうしてエリちゃんとウオースパイトは罰である癒し刑を受ける事になったのだった

執務室内に突入した令司。そこで見たのは母乳を機械で搾り取っているピンク色で甘い光景でした。執務室じゃなくて搾乳室の間違いないのかい？

執務室内には紙束、書類の山々は一切なく、その代わりに窓が見えない位、個人名が書いてあるバケツの山々が築かれていた。母乳が飲み放題である。やったね♡

搾乳を見てムラムラしちゃう令司なのだった。搾り取る側には

ギャルな熊野がいた。熊野自身も搾っていたのだった。搾られた側にもギャルなKANーSEN達がいた

母性増し増しのギャルママでJK軍団。実に…良い♡そして、これらの行為が罰の癒し刑であると判明したのだった。なんかビツクリしていた

ギャルの熊野の母性？にヤラれてバブみ海溝を攻略する事になった。お祝いの母乳シャワーを受け取った令司と熊野。凄い事なってるね？

熊野をキツカケにして次々とギャルママとヤツていく。そこに母乳を搾って欲しい信濃と樫野が到着して2人の初体験も貰った

令司はギャルママ艦隊や清楚代表？の信濃と樫野と昼食の時間になるまでおギャリ倒しまくるのだった。令司にはプライドが無いようだ。熊野達は全力でおギャってくれる令司にキungkungkungしていた

また新しい？扉を開きましたね？扉は何枚あるのでしょうか？ドンドン開いていきましようね？

これらを盗撮、盗聴していた一部のKANーSEN達中で色々な反応があったのだった。リットリオは三大印が執務室内にある事が分り発狂して、全裸泣き土下座を饅頭達にかました。リットリオの下の口はもちろん大洪水だった

令司はドンドン、ハッスルして行って幸せにしなさいね？

☆☆☆

バブみ海溝、改め、綾波命名のバブミューダ溪谷の攻略が終わった  
「「「ありがとう♡指揮官♡気持ち良かったよ♡愛してる♡」」」

スツゲくくエロかったし、美味しかったわ♡つくくか、この基地みんな凄くエツロくて身体中が美味しいのよ♡最高かよ♡

「ハアハア……。おう。俺も愛してる♡うっ。ふう。スツキリしたく  
」

ギャル母乳艦隊のみんなの肌はツヤツヤしていた。キラ付けが完



了していた

令司はゲツソリするかと思つたが、してなくてキラキラしていた。人間辞めてません？薬を盛られ過ぎて勝手に肉体改造されちゃった系かい？みんな、全裸できやつきやと会話をする

イチヤイチヤしている時に饅頭達は母乳バケツを何処かにせつせと運んでいくのだった。そこには触れない令司とKANSEN達なのだった

はあ〜♡スツゲ〜♡気持ち良かった♡なんなん？ギャルママ軍団は？熊野の母性が特にヤバかつたぞ？沢山おギャリ倒したわ。喉はカラカラにならなかつたぜ！

キュンキュンしてくれて良かった。両目が♡マークになるとかビックリ。ハッスルしたみんななるんだもん。ハイライトさん、張り切つて仕事するね？ドンドン仕事してね？よろしく♪

「やっぱり、令司っちは魔性だったね♡このこの♡跡、付いちやつたよ♡ヤッター！」

「魔性なのはどつちだい？熊野？良かったね？」

こんのイケイケJKめ！笑顔が最高なんじゃい！おりやおりや！モッチモチだあ。ありがとう！

「んんん〜♡ありがとう！凄く気持ち良く搾り取られた♡みんなの母乳の量も質も良くなつたよ♡流石♡熊野、嬉しい♡愛してる♡ん〜ちゅ♡」

「んっむ……」

熊野とスキンシップをとつてそれとなく熱々なキスをし出す。こいつらの頭、なんとかしないとなんじゃ？スキンシップはお尻の揉み合いである

「汝が沢山……。出したから我は凄く…乱れてしまった…。母乳…出し切れたわ…。ありがとう…。疲れたからここのベットで寝るわ。おやすみ…なさい…。ZZZZZZ」

「令司様に母乳の運送を沢山出来て樫野嬉しかったです♡樫野、搾り方が下手じゃなくて良かったです♡素敵なお初体験、ありがとうございます♡愛してます♡チュ♡」

両手を令司の首に回して熱々なキスをした榎野。良い具合にお胸様を当てていた。牛耳をピンとするのと、牛尻尾をブンブン振り回していた。床に尻尾が当たって鞭の音が出ていた。痛いだろうな

「んはっ。こちらこそ、ありがとう。信濃、榎野。みんなもね？信濃、お休み」

信濃と榎野の母乳搾り、スツゲくく興奮した♡2人とも出過ぎだよ。信濃がバケツ7杯で、榎野はバケツ10杯。他が3杯逝くか逝かないかだったのにな？熊野達は慣れてるから助かったなあ

榎野は牛耳に牛尻尾だからそんなに出るの？2人ともはち切れんばかりの美爆乳だから、仕方ない…のか？榎野の運送技術：最高過ぎました♡お店出せるよう♡運送艦スツゲくく♡運送艦より補給艦がしつくりくるんだけど。それはそれで実に良い♡

「それで？令司つち？夢中でシてたらもう昼食の時間だよ？第1から第3食堂のどこで食べるの？それかここに持って来て貰って食べる？熊野は鈴谷と一緒に第3で食べるよ？」

抱き付いている榎野を抱き締め返してラブラブ中に昼食の話になった。榎野は令司の乳首を弄り始めた

「んくく…。そうだな。ここで食べるよ。母乳が溜まっていて搾って欲しいっていうKANISEN、3名の料理を食べるよ。曖昧で悪いね？お腹凄く空いてるから食べられるけど量は加減してね？」

指名してないから料理バトルになりそうだけど待つよ？母乳事情は分からないんだ

把握してたらきつとドン引きするでしょ？まあ、みんなスツキリ搾られているのなら作りますけどね？執務室内に冷蔵庫があるの確認したし。沢山飲ませられたからね。色んな方法で

ドン引くでしょうか？むしろ、令司に管理されたいと思っているのが居そうなんですけど？管理方法を書類に丁寧に纏めて説明して来そうなんだけど？令司の引く顔を見て興奮もしそう。なんか無敵だね？

「了解しました。この会話、聴いてると思うから直ぐ来ると思うよ？それじゃ失礼しますねくく」

「直ぐ来るの？了解」

ええ？バトルしない感じかあ。平和で良いですね

「二」指揮官・令司様、失礼しました」

「はい。失礼されました。すっかり昼食とってね？」

熊野達は後ろに手を組んだり、両手を頭の後ろに組んだりして笑顔で出ていった。みんなキラキラしていた。令司は手を振って見送った

「んん。誰が来るかな？セントルイスやヴィクトリアス辺り？ザラも母乳が出てたな。あ、ベルファストもね。なんか搾る候補多いよ？」

両手を頭の後ろに組んで考え出した。誰が来るのかと

バケツの山々で分かつてるんだけど。ここ、執務室以外にも母乳バケツを保管してるんじゃない？置けないし？ヨシッ。考えても仕方がないだろう。来るまで執務室内を見とこうか。書類は何処かな？ハンコあるかな？

ガキに戻ったかのように、部屋の探索をし出したのだった。書類があれば見たいのかもしれない

「あ………??」

書類仕事とハンコ無いんだね？執務室なのにどうなってるのさ？もう今日分の書類は終わって何処かに運んでる？早くね？ハンコじゃなくて、サインでやりとりしてるのかな？万年筆なのかよ……。沢山ある

見つからないようだ。頭の後ろをガリガリ搔いて、別の場所を探すのだった。無いと思うよ？

「……………」

机の引き出しの中にある、このスイッチは押しちゃダメな奴だろ。搾乳するスイッチと違うし。遠隔操作プレイをした……のか？

ええ？スツゲ。誰のだろう？ニューカッスルは絶対、違うね。押したら新しい扉を開いちゃいそう。ゴクリ……。ダメだダメだ。次、本棚！

何のスイッチでしょうね？引き出しを全部見終わり、本棚を見よう

として近いしていく所でドアがノックされたのだった

えっ?! 本当に直ぐ来た?! 熊野の言う通りだった?! 全部見れてないんだけど?! 返事しないとだな! うん!

ドキドキと両肩を震わせた。スイッチをズボンの右ポケットに突っ込んで、高級な黒い椅子に慌てて座ったのだった

「どうぞ」

フツカフカ! 凄い! こういう感じで良いんだよね? ふう、決まったぜ! …… スイッチ、踏んでちよつと痛い。ズラそう

イケてる? 低い声で入る許可を出したのだった

「失礼します。指揮官。昼食を持って来ました。どうぞ召し上られ」

「ありがとう。加賀、翔鶴、ジャベリン。頂きます。はむっ。うん。美味しい〜」

加賀、翔鶴、ジャベリンか。意外な組み合わせだな

「ありがとうございます」

翔鶴はニコニコ。加賀はなんかグツタリ気味? しよんぼり尻尾だぞ? つて、尻尾、手入れしてねえな? 美しくないなあ! 体質の事、バレたくなかった感じ? ごめんね? コンプレックスなのかな?

ジャベリンは、うん……。モジモジしてる。そうだよ。母乳を搾られに来たんだもんね? ジャベリンの豊乳、触り心地きつと良いでしょ? 翔鶴も加賀も良いだろうね!

チラチラと見るんでは無くガツツリ、3人の身体を見ながら食べていた。行儀が悪いね?

見られてる3人は、食べ終わるまで姿勢をビシッと正して横一列に並んで待っていた。何? もうそういうプレイを始めてるの? ええ……?? 令司から見て右側が加賀、真ん中が翔鶴、左側がジャベリンである

「ご馳走様。本当に美味しかったよ。ありがとう」

「お粗末様、指揮官♡翔鶴達の料理を美味しく食べた後は、デザートとして翔鶴を食べて♡間違えた♪美味しく搾乳をお願いしますね♡」

「んお? おう、任せて」

執務机にドンとお胸様を乗つけたよ。黒子、発見。エロいぜ！黒子にキスしたい

「丁度溜まってるので嬉しかったです♡それと下の口も貰ってくださいね♡もちろん初めてです♡準備はして来てます。ねえ♡♡？加賀せんぱあいい？」

翔鶴が脱ぎ始め、搾乳する準備をし始めたのだった。母乳が少し漏れていた。加賀を煽る？弄る？事を忘れなかった

「お〜っ♪」

翔鶴は加賀を煽ったり弄ったりするのが好きなんだな？着物の下はやっぱり着けないんだ？エロいね！

「ああ…、そうだな……。指揮官。よろしくお願いします。加賀のも遠慮無く搾ってイツてくれ。バケツを見ただろう？意外と出るんだ」  
そうなんだ？加賀も着けてないのね。漏れてはないか。バケツ何杯行くかな？

「ジャベもお願いしますう〜。下の口も準備出来てます」

「加賀のはビックリしたね。丁寧に母乳を搾ってから初めてを貰うね？みんな、よろしく」

加賀もジャベリンも準備完了！それでは溜まってるのをしっかりと搾ってイキたいと思います！バブみを感じないけどそれは許してね？それでは第2回？第3回？か、分かんないけど3人の乳搾りを始める！

「ハアン♡アツ♡アツ♡アツ♡ん〜っ♡」

「翔鶴。すっごい下半身に来るエロい声を出すね？」

「この鶴の胸、最高じゃん！ありがとう！乾パイ！」

「気持ち良いんだから♡出る…‥でしよ〜♡ハアン♡」

「そっか。良かった。次は加賀だ」

「…‥へっ???う、うん。ひやうっ?!?!んんんっ!!!」

「もつとエロい声を出して！なっ？」

睨むなって！それ、唆ちやうから♪おりやおりや！ほおら、良いエロい声出せたく〜♪いっぱい出くるね〜♪その調子だよ〜♪

「ジャベリン。お待たせ。行くよ」

「はい！んっ?!?!?」

「……感度良過ぎでは？最高な感触だよ？ありがとう。ジャベリン」  
「ありがとう?!かひゅっ?!」

翔鶴のエロい声を出したのをきっかけに翔鶴、加賀、ジャベリンの順番で搾乳してイキ、同じ順番で初体験を貰ったのだった。鶴と狐だから交尾と言った方が正しいのかもしれない

執務室内はオスフェロモン？のレイシニウムとメスフェロモンのカンニウム？で充満していった。ラブラブしてますねえ？しっかりスツキリしましょうね？

☆☆☆

搾乳にやりまくって・交尾していたら夕方になりました。饅頭達が換気して行ってピンクの濃度は下がって行ってます。饅頭達、お疲れ様です

「搾り切った〜。スツキリしたわ♡ありがと。愛してる。翔鶴、加賀、ジャベリン」

たっぷり母乳を搾りました。息子もスツキリさ。ありがとう！

伸びをして身体をほぐす令司。背中に素晴らしい感触が来たのだった

「ウフフ♡スツキリしたわ♡指揮官♡ありがと♡愛してるわ♡加賀先輩のお宝写真、沢山撮れたわ♡」

「それは良かったな」

オカズがいつぱい出来て良かったね？お一人様夜戦が捗りそうだな。背中に。ありがとう！

「撮りすぎよ。凄く乱れてしまった……。全身がキラキラしてる。指揮官、搾乳に初体験。それと尻尾をフツサフサにしてくれてありがとう。愛してる♡」

「どう致しまして。加賀」

満足してくれて良かった。フサフサの尻尾で器用にお尻をペチペチするのね？気持ち良いからヨシっ！手入れ中に悶えまくっていた

加賀は可愛すぎたよ。翔鶴の気持ちがあつた気がしたよ

「バケツ一杯並々。ビックリですう。指揮官の首筋にキス出来て幸せです♡ありがとうございます♡愛してます♡」

搾り甲斐ありました。豊乳も素晴らしいな。良かったね？跡、付いてそう

「幸せを感じてくれて良かったよ。みんな、ありがとう。もう夕方じゃん。ふあゝゝ、眠い……」

「二はい。それでは指揮官。失礼しますね」

「うむ。ゆつくり過ごしてね？戦闘とか見回りも程々でいいから……。代わって貰っても良いからね？」

「二了解しました。指揮官。失礼しました。お休みなさい」

「はい。お休み」

お辞儀をして出て行く3人。手を振って見送つたのだった。格好は全裸ですけど。3人も全裸だった。これからみんなに見せつけるんでしょうね？ギャルんな熊野達と同じ行動を取っているよ？参考にしたのかな？

「眠い。眠すぎる」

ヨシっ。信濃と一緒に寝るか……

突かれ？疲れちゃって？眠くなっちゃった令司。信濃と添い寝する事にしたのだった

「信濃ゝゝ、お邪魔するぞゝゝ？」

「Zzzzz」

運動会を開いて、大きな声を出しまくつたというのにグッスリとは……。頬をツンツンしても起きねえ。スゲえな？3人とキスをしまくつたのもあるかな？知らんけど

「信濃？すまんが、信濃を抱き枕にするよ？失礼します。ふおゝ♡スツゲゝゝ♡モチモチ♡それじゃお休み。Zzzzzzz」

そうしてそのまま信濃と令司はここ、執務室のベットで朝まで寝るのだった。翔鶴達、3人とはベット以外で愛を育んだ

令司の令司君は大人しく眠っていたのだった。実は信濃は起きていて、睡○漢をシてる。っていう事は無かった。理性、しっかりして

ますね〜。というより、睡眠欲の方が勝っている？寝る娘は育つんですね？

睡○漢で思い出しました。朝這いしたローンの罰、癒し刑を見る事にしましょう

◇

「んんん〜っ♡出ないわ♡出ないわよ♡ローンは母乳が出る体質じゃないわ♡あアンっ♡ひやうっ♡み、耳ラメえ〜♡イツ：けない：。ユルシテええ〜♡」

全裸でゴーグルを着けている。VRでしょうか？プレイ中のようだ。イッている

「ひゃん♡あなた♡その：分身♡んあああああああ〜っ♡♡「えいつ♡」モガっ?!ん〜ん♡ん〜ん♡ん♡っ♡」

お相手が分身して襲わっているようだ。煩すぎて口を塞がれてしまった

「んんん♡んん♡んん〜っ♡♡♡んんん〜っ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ?!?!?!ん♡ん♡ん♡〜っ♡」

涙を流すローン。快樂が凄いのでしょうか。お相手達は容赦しないようだ

「はあい♡ローンさん。そろそろ本気?の奴イツチャえ〜っ♡それですそのまま朝までコース♡自動で色々されるみたいだよ。ゴーゴー♡」

「?!?!?!甘い声で囁いてボタンを変えてあげたのだった」

「わ♡スツゴ〜い。見事過ぎる潮噴きだ〜♡これだから癒し刑の執行役を続けられるんだよね〜♡私もここでセルフ罰しますね〜♡装着してっど。開始開始♡んっ♡あっ♡ああん♡ん♡っ♡〜っ?!?!?!ああああアアアアアっ♡出るう〜っ♡指揮官〜♡大好き〜♡」

執行役の娘も装着していった。理想?のシチュエーションで令司



とハツスルしているようだ。上も下の口も涎を垂らしていた

いやあ、執行部屋はピンク色でしたね？メスフェロモンポンプだ。充滿してるんじゃないかな？

ローンは色んなプレイを施されたようですね？床がびしょ濡れになっっている。水分補給も自動で出来るようだ。ハイテク過ぎるよ？

この状況を令司が見ていたらローンはどうなっていたのでしょうか？きつと、押し倒されて気絶させまくるのでしょうか？VRの中の令司と現実の世界の令司に包まれるんだよ。幸せですね！元気いっぱい！最高じゃないか！

◇

### ☆遠い遠い暗い場所☆

まだまだクリームの効果が続いていて下の口が大洪水になっていてピュリファイヤーとオブザーバー

ニーねえ事、2番目テストターが良く分からずに見守っていたのだった。応援で呼んだ35つち事、35番テストターはもう姿が無かったのだった。寝に來ただけじゃん

「ハアハア♡ニーねえ。この下の口のヌルヌル止めてよ♡♡アツ♡アツ♡アツ♡なんか来るうう♡んん♡♡」

ビリビリの効果が出まくって下下の口が大洪水しっぱなしであります。そんなに出しまくっていたら身体中の水分持っていられませんか？麻痺は続くよ。何処までも。触らないで何か來ちやっただ人だった

「えっ？なんか嘔いてるんですけど？……甘じよっぱい……。そんな事を言われてもお……良く分からないよお……」

こつちも見事な潮噴きをした。飲んじやっただようだ。ニーねえは涙目である

「1日立てば収まると思ったのにもう2日目。2日目も、もう終わっちゃうよ？あつ、オブつちのタコ足からヌルヌルが出出した。大丈夫

じゃないね。タコ足全部縛つとくよっ!」

もう介護といたら縛る!これしかない!といった感じで縛り始めた

「ハアハア♡…えっ?縛つ…やつ…「えいえい!」……………っ?!?!んきゃくつ♡……………アツ♡」

「あつ…………、白眼を向いて気絶?した?おおう…。噴きが勢い増して……。オブつち、お休みくく?…で?ピユリつち?ピユリつち?」  
追い打ちをしてしまったニーねえ。オブザーバー、哀れ?

「あくく♡うくく♡あはっ♡令司キユンが複数見えるくく♡えへ♡令司キユン♡ぎゅくくつてして♡アツ♡アツ♡あちこち触られる♡あつ、ダメえくく♡そんな所舐めなんて…。また何か来ちゃうううくく♡アアアつ♡」

ピユリファイヤーは幻覚が見えちゃってます。何人の令司キユンに出会ったんだい?2人?3人?5人?それとも10人以上?幻覚の中?でたつぷりイチャイチャしているようです?

「なんか幻覚見えてる?胸からなんか出てるし?それ何?あつ、床に垂れた。ペろん。…………うん。甘くて美味しい?…ね?私は…、ううん♡…出ない…………。なんで?」

ピユリファイヤーが母乳を出しました。おめでどう。夢中で令司達と一緒に気持ち良くなれて。?マークがいつぱい出ているニーねえだった

「アツ♡アツ♡アツ♡令司キユン♡令司キユン♡モガっ♡んっ♡んくくんっ♡」

「まあ、いつか?もう寝よ寝よ。お休みくく。つとその前に量産量産。うん。完了。それじゃあね?ピユリつちとオブつちのこの状況を改善出来る何かを探してきて頂戴。よろしくくく。ヨシ。寝る。Z z z z」

ニーねえは知らない内に2人をイカセまくっていた感じだ。介護という名の快樂攻撃かな?いつもの量産をして軽い?指示を出していった。みんな了解したようで外出した。見送ってサツサと寝たのだった

セイレーンの百合の花は続いているようです。令司くく！サツサ  
と出会ってさくく！アンアンとせまくなりなよくく？

トレーニングううくっ！

罰の癒し刑がギャルママの熊野より母乳搾りであると判明！しかしそれは罰の一部なのです。執務室内で搾乳しまくる令司なのだった。そして全員の初体験を貰った

ギャルママ達とイチヤイチャしてる途中で、入ってきた信濃と樫野の初物も貰ったのだった。途中参加は罰対象では無かったようです。罰対象の差？が良く分かりませぬね？

搾り切って、信濃バケツ7杯、樫野はバケツ10杯でビックリしたのだった。他の母乳艦隊はバケツ3杯なるか？って量だったのに。熊野曰く、全員、量と質が良くなったようです。ヤツタね！令司！ゴットハンドですね！

リットリオは饅頭達により、三大印（信濃、吾妻、樫野）の信濃母乳と樫野母乳を貰う事に成功した。嬉し涙を流しながら第2食堂で振る舞ったそう。大好評だったとの事

貰っていた時のリットリオの下の口は大洪水だったそうです。バツチリ、饅頭達に回収された

おギャリ散らかした令司は昼食を執務室内でとる事にした。母乳が溜まっていて搾って欲しいKANISEN3名の料理を食べる事にした

来るまでの時間で机を見て、引き出しにとあるピンク色なスイッチがあったのだった。搾乳のスイッチじゃない。一体何のスイッチなのでしようか？その答えはローローのスイッチだ

そのスイッチで新しい扉を開けかけるのだった。開けちゃえばいいのに。歓迎されるよ？貞操が逆転してる世界なんだから。ずっとムラムラしているのよ？ずっと抑えているのよ？多分ね

昼食を作ってくれたのは翔鶴、加賀、ジャベリンであった。大変美味しかったようです。実は翔鶴の料理には隠し味に翔鶴の○液が入っていたのだった

そして搾乳をしていき、全員の初体験を貰う。夕方の時間になるまでイチヤイチャしたのだった。饅頭達によって綺麗に掃除された。

働きの物だね？

信濃がベットで寝ていたのにお構いなし。激しい大運動会を開催していても起きなかった。凄いよ

ヤリ突か：疲れた令司は眠気が来てしまい、寝ている信濃をハグ、添い寝して朝まで寝るのだった。令司の令司は大人しく眠っていたのだった。朝、起きるまで誰とも繋がら無かった。信濃も含めて。理性すごくいい！

その裏側で、ローンは罰の癒し刑を受け続けていたのだった格好？全裸で目隠し万歳ポーズで両手を拘束。壁に取り付けられています。エツロい声を出して、色々嘔き出しまくっていたのだった

なので？罰の部屋はメスフェロモンがプンプンしまくっていたのだった。令司が見ていたらローンを押し倒して気絶させまくりだっただでしょう。罰を執行している美巨乳KANISENもセルフ罰を与えて下の口を大洪水にしたのだった……。何故？

もしかして理性を保っているのは、この罰、癒し刑が関係しているのでしょうかね？罰部屋が沢山あってお店レベルまで存在するのかもしれない。オープン基地は危険な基地なのですね？

☆☆☆

3日目の朝でございます。令司はどんな行動をとり、どんなKANISEN達とイチャイチャするのでしょうか？おや…？何かピチャピチャ？タツパ♡タツパ♡と音がしますね。信濃？ナニしてますよね？

「Zzzzzz……………。みんな…：愛して…る…。…んはっ!?…えっ？し、信濃…？」

イエエーイ！ヤラレテルウ！

「汝…。おはよう…。我を抱き枕にして気持ち…良く…寝れたか…？んん♡熱い…。これで我をメス…に♡」

「おはよう。おっふ♡美爆乳の使い道…♡最高ですう…♡」

えっ？夕方からノンストップで朝まで寝てたの？マジか。まあ、

ハッスルが終わった後のお話中に翔鶴からの飲み物を飲んだら眠気が来ちゃたけども……。混ぜられてましたね。まあありがと。寝不足は解消したかも。何故か体調、絶好調ですよ？

それで息子よ……。信濃の美爆乳にデレッツデレでないかい？最高だよね♡あゝ♡新しい扉こじ開けられたかも♡おっ？これは令司の息子は良い感じに登り詰められて逝く。しかし察せられてしまい、止まってしまった。息子はちよつと泣いてしまった。が、素敵な提案をされたのだった

「汝……。出すで……。ない……。出すのはここだ♡下の口、オ○ン○でだ♡  
♡それで……。また搾乳を…頼む…。んっ♡」

「はあはあ……。そう……。だね……。それじゃ信濃…スルぞ♡」

右耳に甘いエロい声で囁きながらは反則うううう！そうだな！よろしくスルぞ！抜锚っ！

「んあ♡来た♡あっ♡あっ♡あっ♡汝♡汝♡汝♡い♡」

こうして信濃と令司は朝食の時間まで甘々にやり続けるのだった。これは罰の癒し刑確定？ウンウン……。えっ？違うの？判定が良く分からないねえ？

「ふう……。搾ったし、スッキリした……。ありがとう」

キス魔か……。いや……。みんなキス魔だけどね？バケツ5杯……。ええ？溜まるの早いんじゃない？知らんけど。きつと個人差があるよな。うん。そうだよ

背伸びをして首をゴキゴキと鳴らす令司。両肩をクルクルと回して落ち着いてから信濃を見てお礼を言った

「あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡」

「信濃？やり過ぎちゃったか？悪いけど朝食食べに行くからね？ちやんと朝食をとってね？」

朝食の時間だからこのまま置いてくね？饅頭達が見張ってくれるから安心だろう？

タオルケットなどをかけて執務室を出て食堂に向かったのだった。どの食堂に行くのかな？

☆☆☆

朝食をとる場所は第3食堂でした。どんなKANISEN達と会うのでしょうかね？

「第3食堂に到着つと…。さてさて…。誰が料理してるのかな？」

ネームプレートは銅でした！分かりやすいね！広いけど？違いが分からん！

朝食をとったらお風呂に入ろう。入ってないからね。すれ違ったりしたKANISEN達はすつごくクンカクンカしてたわ。良い匂いって言ってくれた。ありがとう？で、いつものセットをしたわ。で、誰とも繋がってない。手は入れたけどね

〔注〕いつものセット↓甘いキス、令司のお尻、揉まれる。揉み返す事。と、そこに色々追加でハグしてクンカクンカなどがある

んんん…。悩みます…。ね？おつ…。？ヨシつ…。食べます！

令司が選んだKANISENとは誰なのでしょう？料理をしているのはホノルル、クリーブランド、ザラ、樫野、饅頭達などですね  
「んんんんん。あつ、指揮官♡おはようございます♡ホノルルの料理を召し上がるのですか？」

「おはよう。ホノルル。そうだよ。ホノルルの料理を食べる。次いでにホノルル自身も食べるよ。なっ？」

食べて食べてオーラが出てた気がしたから。とは言わないけど顔に出てそうだなあ

「んっ♡いやんっ♡何て事を言うのよ♡」

選んだのはホノルルでした。ホノルルを食べる宣言をしたら顔を真っ赤にして両手を頬についてイヤンイヤンしだした。美巨乳の谷間を強調していった

あつ…。可愛いんじやあ…。♡ホノルルう♡プルルン谷があゝ♡眼福だよゝゝ

「はい♡朝食です♡それを食べたならホノルルをどうぞ召し上がれ♡んんん♡指揮官、良い匂い♡素敵♡」

「良い匂い？ありがと…。廊下ですれ違ったみんなに言われた。で

は、頂きます。はむっ」

「どう？どう？美味しい？」

テーブルに美巨乳をドンと置くのと両肘をつき、両手を頬に置いて司令を見つめる。料理はもう作り終えていた。饅頭達が料理を渡している

「美味しいよ。流石だ。モグモグ……。ゴクン……。ご馳走様。ふう……。ヨシっ。スルぞ！ホノルルう♡」

「ハアハア♡んきや〜♡んむちゅ♡ん♡っ♡んんっ♡〜♡〜♡♡」

乗っかっていたお胸様を鷲掴んでからキスをして盛り上げていった。ほんと、サカップルですね

「姉貴姉貴。ホノルル、凄くデレてるね♡良かったね♡……って、姉貴？おおい？聞こえてる〜？ねえ〜？」

デンバーが肘鉄をクリーブランドにしていた。気付かれなかったので目の前で手を振ってみた

「ふう……。ふう……。ひゃん♡えっ？デンバー。そうだね♡おめでどうだね♡」

手を振ってみても気付かれなかったので、揺すった。そしたら気付いた。クリーブランドはホノルルの祝福をした。お一人様夜戦をしていたようだ。デンバー、邪魔しちやダメじゃないか

ホノルルの美味しい料理を食べた後、デザートとしてヤルのだった。第3食堂内はお祝いモードです。良かったじゃない。そしてホノルル以外の数名ともヤルのだった

「指揮官♡指揮官♡指揮官〜♡♡愛してるわ♡あん♡♡あふ……。す〜……。す〜……。す〜……」

「ふう……。スツキリ……。ホノルルにみんな愛してるよ。で、ホノルルはお休み……。それじゃみんな、ゆつくり過ごしてね？演習とか色々なのも程々に頑張つてね？バイバイ」

「♡♡指揮官♡程々に頑張ります♡貰ってくれてありがとうございます♡ごさいました♡♡♡♡」

スツキリした〜。それじゃ、お風呂に入ろう。おっふる、おっふ



ろ。朝風呂って響き。良いよね？第3食堂に近い所はまだ入ってないからね。どんなお風呂があるかな？楽しみ。

第3食堂内でホノルルと数名のKANISENとヤツタ後、朝風呂をする事にしたのだった。それっぽい上官命令？を出して近くのお風呂に入る事にしたのだった

☆☆☆

お風呂場に到着した令司。ここで誰と出会うのでしょうか？貸し切りか？ここも高級ですか？

「着替え終了。それじゃ、入りますう。おお。ここも露天風呂！朝の景色も最高じゃないか！」

貸し切りでございます。ここも高級ですね！もうどこのお風呂場も高級そうだよ。身体を洗って。いざ入浴です！どれどれ？あ、うん……

「は。ここにも真つ白なお風呂があるのか。で、真つ白な風呂に浸かってますけどね」

まともなに入れるのはこれ位かもしれない。なんかビリビリしてる風呂があるんだけど…。あれは無理だよ。風呂なのか？浸かったまま看板まで近づいてつと……

ふむ。入渠用。あつ、そうだった。みんなの身体の構造って違ってたわ。エルドリッジが提供してそう。提供先はエルドリッジ。うん。そうだね。

真つ白なお風呂。母乳風呂でしっかり癒される令司なのだった。入ってくるKANISEN達は居なかったのだった。1人で居たい時間があるかもだからね？脱衣室に戻っても誰とも会わなかった

「サッパリ。癒されましたあ。貸し切り状態のままだったぜ！脱衣室にも居るかなと思っただけど居なかった。まあ、そんな事もあるよね？演習や遠征、戦闘でもしてるかもだし」

貸し切りになるとはビックリだったな。誰かしらと遭遇してお風呂で欲情スルかも？と思っただけだね？まあ、盗撮・盗聴で見

守られていると思いますけど

令司の独り言の通り、朝食をとったら大体が演習や遠征に行っています。大体が。部屋で寝ていたりもいますよ。非番って奴だ。非番の各部屋の床はいつもびしょ濡れになっているとかいらないとか？

それで、自動母乳販売機があるなんて。容器は瓶だ。前のお風呂場には無かったよ？

「で、吾妻の母乳を飲みました。美味しかったです」

味のレポートとか出来ないからね？許して？さてさて？お風呂を上がって、牛乳じゃなくて母乳を飲んだぞ。それで今からする事は……トレーニングううう！をするぞうう！おおおううっ！

突然？心の中でトレーニングと叫んだのだった。どうしたんだい？トレーニングをしなくても良いじゃないか。そのままでもKANSEN達はムラムラ、発情してくれるんだぜ？

そんな中でトレーニングをしたらさ？色気度？が増し増しになって襲われませんか？あ、でも理性がしっかりしてるから何とかなる……か？罰、癒し刑を嫌がってる感じ？だったし？

「トレーニング室はどうなってるのかなあ？このお風呂場から近い所にレッツゴー！」

そうして、令司はお風呂場から近くにあるトレーニング室にスキップしながら向かうのだった。手の込んだ自殺行為に感じますけど？令司は羊でKANSEN達が狼

☆☆☆

「はい……ここがトレーニング室！って……。うん。これはトレーニング室っていうよりスポーツジム室？中、入りまゝす」

はい！スポーツジム室ですね！これも貸し切り……。まあ、どっち？でも良いんですけど……。しつかり鍛えますんで

それじゃ、楽しくトレーニングうううっ！始めますうううっ！すっす……はっは……すっす……はっは……すっす……はっは……

中が本格的？でビックリした令司だったが、直ぐに意識？を切り替えて、ハイテンションでトレーニングを始めたのだった。色々な機械

で鍛え直す? 感じのようです

では、スポーツジム室を盗撮・盗聴をしている一部のKANISE N達の反応を見る事にしましょう。一体どんな反応をしているのでしょうか?

〔注〕色んな場所を見えています。分かりやすく? ◇表記で区切ります。終わりは◇◇◇表記です

◇

「……………えっ???今のままでも充分、ムラムラ発情するのに? どうして? どうして? 鍛え抜いて色気度を増し増しにしようとするの? 濡れ乳首、最高♡本気で襲っちゃうわよっ?!?!ねえ? 愛宕式マッサージ喰らわ「こらっ! 愛宕っ!」きゃんっ! くうくん……………」

「ヨシっ。大人しくなったな。まあ…はっ♡はっ♡んん♡私も結構キ始めてる。未熟物だな…………。んん♡耐えろおっ!」

「…………本格的な高雄縛りを受けてるです…。草です…。愛宕のムラムラは凄いです…。それを止める高雄さん。ヤルです。指揮官は綾波達を狂わすのが好きなようです? 悪魔だろ! 早く受け入れたいです……………」

「あ、綾波ちゃん…………? 涙を流しながらジャベにハグは…って、しかもそれ血…………あはは♡く、くすぐりたいよ。あはは♡ひひくく♡なんか痛い! 力出し過ぎ!! うっく」

「(指揮官。色気増し増しに…。ううう…。ダメえええ♡)」

愛宕は平常運転中かな? それで? 本格的高雄縛りって何なんです? 綾波は顔を真っ赤にして涙を流すとは。ジャベリンに罰の執行をしている感じ? 綾波達の行為を見ていた2名は何がダメなんでしょう? 襲っちゃえって

◇

「くくくく…。ゲエっぶ…。ラフィーもつと頑張つて条件満たすよ♡指揮官♡待ってて♡あつ、川内さん。待って…! 置いてかないでっ!」



中つと。大鳳よ。襲つちやえ♡受け入れられるよ…で、アルバコアは何故かキラキラして気絶すると…

鳳翔の外側に跳ねている毛がピコピコと上下に振るとか器用ですね？卑怯なんだね？何処が卑怯なのでしょう？理性を鍛え直されて良かったじゃないか

何処かにお出かけするのかな？戦闘用？の服に早着替えしたね？行ってらっしゃい。駆逐艦達が鳳翔を見てビクビクするのは何でだろうか？

潜水艦達はアルバコアを待たずに演習を始めた。戦闘でムラムラを発散するんですね？この基地はみんなそうなのかもしれない

色々平和？なKANISEN達でした。性欲が凄い事になってるのはいつもの事だろう。令司がしっかりお相手をするから安心だろう？

◇◇◇

場所はスポーツジム室の令司に変わります。水分補給をしつかりとって夕方までトレーニングに熱中していたのだった

「はあはあ…。はあはあ…。ふう…。んっ？もう…夕方かあ…。ここまでにしとこう…。ふう…。」

トレーニングは最高ですね！筋肉が喜んでるよ♡飲み物も美味しかったし。良い汗掻いたくっ♡拭かないと

「タオル…タオルつと…。…んおっ?!いたた…。ふう…。どうしたんだ？長良あゝっ?!」

「ハアハア♡指揮官の汗♡んれろ♡れる…ちゅっば♡んは…♡ハアハア♡あて…、もう我慢無理♡素敵過ぎる♡誘ってるんだもん♡ごめんなさい♡んちゅ♡ちゆるん♡れるれるちゅ♡」

タオルを探していた所に抱きついて押し倒した長良なのだった。そう。夢中になってトレーニングをしていた所に、自主的にこのスポーツジムに長良が来て色気にやられた。おめでとう！

「ちよつと?!長良！それは罰の執行対象よ！って聞いてないわね。

ハアハア♡うう…。抑えるのキツイわ…。色気、凄すぎよ♡ふにや〜♡」

もう1人忘れていました。五十鈴も鍛えに来たようです。令司の色気が部屋に充満していたようで発情しています。五十鈴は、猫の尻尾をピンと立てていた

ふお〜♡♡なんか長良に押し倒されたゾ♡汗を舌で丁寧に舐め取られてる。なんか気持ち良い〜！五十鈴も居たんだね？気付かなくてごめんっ！一方的？なキス♡よおし！ではこれより舌戦を開始する♡

「んっ?!うぐっ♡ん〜♡つ?!?!ぶはっ…。ハアハア♡指揮官〜♡あての貰って〜♡あつ、上は脱がないでね？エロくてセクシーなの」

「はあはあ…。そう…。だな…。お〇ン〇トレーニングをしよう！五十鈴！来い！何か罰対象って言ってたろ？その罰、もう喰らいなさい！」

「ハ、ハイいいい♡お願いしますう♡指揮官〜♡にや〜♡お♡あつ…。これはち、違う…。♡にや、にや〜♡お♡……………っ?!にや〜♡お♡違ううう♡にや〜♡お♡…ううう…」

おう♡エロくてセクシーなの？そっか？五十鈴ったら結婚してるのに求愛してる♡可愛いなあ〜♡顔、真っ赤と涙、流さなくて良いじゃん？

「指揮官♡指揮官♡指揮官♡指揮官♡あああ〜♡クンクンくん…ス〜♡ス〜♡ス〜♡んっ♡キチャう〜♡んんん〜♡」

長良〜♡！最高ダゾ♡五十鈴も開き直って飛び込んで来た〜♡最高〜♡！

何かカオスですね？スポーツジム内で意味深スポーツをスルんですね？トレーニングマニアには堪らないのでしょうか。長良と五十鈴とのスポーツ海溝は夜食の時間になるまで続くのだった

部屋で寝ていたKANSEN達。非番組は録画されていたのとスポーツジム内の映像を見る事にした。見ていたら突然、鼻血と下の口がスプリンクラー状態になって大量に出した。キラキラして気絶したのだった

やはり、令司は色気が増し増しになっていてムラムラがマツハになつたのですね？長良は悪くない。令司が悪い！襲われて当然である！

饅頭達はねじりハチマキをして♡マークを頭の上に出しながら大掃除をしていったのだった。饅頭達、お疲れ様です。令司から何か貰いなさいよ！

オーブン基地は平和です♡令司が転移して来てからみんな、イキイキしていると思います！良かったね！はい！

### ☆遠い遠い暗い場所☆

ニーねえが寝る前に召喚した部下達にオブザーバーとピュリフアイヤーの下の口の大洪水事件の解決策を探して来て。と頼んだのだった。成果はあるのでしょうか？

クリームの効果が切れるのは4日後ダゾ♡それが縮む？それとも伸びちやう？分かりませんか？

「アツ♡アツ♡アツ♡んんん♡♡令司キュン♡令司キュン♡令司キュン♡♡」

「ええ？まだ、何か幻覚見えてるの？変わった事はずつと出っ放しに。かな？舐めたら何か甘くなってるのよね♡♡しよっぱいの何処いった？エツロい声あげちゃって。早く解決策持って来てくれないかな♡♡？」

脱水状態にならないように水分補給をして介護しているニーねえ。そこに部下が帰って来た。解決策を持ち帰って来たのでしょうか？

「あつ、お帰り♡。ボロボロだね？オーブン基地じゃなくて良かったね？そこを相手にするのは最後にしなきゃ。幸せ死はまだ早いよ？ナンバーが上がるんじゃない？」

「それで？何か方法は見つかった？…んっ？何これ？あつ、うん。ここではしばらくゆっくりしてなさい？お休み」

「え♡♡？何これ？説明っぽいを書いてあるけど。読めないんですけど？多分クリーム？かな？これを塗れば良いのね？まあ、全部でしょ

？って液体ね？匂いは甘い。味は…、2人に聞こつと…。2人分に分けなきや。お皿はどこかな〜？」

ニーねえの部下が渡してきた液体の紹介です。原文をそのまま表記しました

『ムラムラ♡マツハ♡よ〜い♡ドオーン♡』液体版。容量300ml

成分。黄金ママシ50%、赤スッポン25%、黄色マタタビ25%

#### 使用方法

水などを200ml用意します。ちやんと計つてね♡ねつ？そこにこの商品を10mlを入れて良くかき混ぜるだけ♡それであればグイッと飲むだけ♡

#### 注意事項

原液のまま飲んじやダメだぞ♡スプリングラー状態になりっぱなしになるゾ♡それでもいいんなら？レッツ☆スプリングラー♡

それで、効果時間はねえ？なんと！ふ・め・い♡効果が切れたらキラキラのツキリだよ♡ピツチピツチになるよ♡あつ、これ死語？あつはは〜♡それじや、頑張れえ♡

ふざけてる商品名ですな〜？液体版。クリームとかあるのかもしれない。成分のエキス。なんかヤバイ動物のなんですかね？

なんという事でしょう…。ニーねえ？また色々追いかちをしようとしてませんか？この開発者は飲んだ可能性大ですね

ピュリファイヤーとオプザーバーはどうなってしまうのかあ！快楽が与えられるぞ！

「はい。分けて来ました〜。それじや2人同時に…。えいつ！」  
2人が口を同時に開けてくれるのを待っていた。笑顔で飲ませていく

「んぐ…んぐ…。んは〜…。ああ…。ああ…。んんあああああ  
ああああアアアア〜♡出、出るううう〜♡」

「もがっ?!もががが…。ゴクン…。ふう〜。甘さが増したね?えええ?!ちよつと?!何か悪化してるうううつ?!大丈夫じゃない〜?!?!  
何でよ〜?!」



あらら……。見事なスプリンクラーです事。たつぷり飲んだようだ。しよっぱいのは無くなつたようです

これでピュリファイヤーとオブザーバーの2人は収まるのに1週間では無くなりましたね。痙攣しっ放しになった。涙を流す二ーねえだった。抱き締めたいですね。ボロボロになった部下よ。ナイスだ！

令司のKANISEN達……。早く見つけなさいよ……。攻め込むチャンスだぞ……。！

セイレーン達は今日も平和に百合？をしていたのだった

ええええ……？

執務室内のベッドで寝ていた信濃と令司、そのまま3日目の朝を迎える。信濃が先に起きていて、美爆乳を使って令司の令司君を先に起こしていたのだった

貞操が逆転している世界なので信濃の起こし方は合法です。そして目が覚めた所で甘々イチャラブを朝食の時間になるまでスルのだった

朝食を第3食堂で食べる事にした令司。選んだのはホノルルの料理でした。ホノルルをデザートにする発言をしたら顔を真っ赤にしてイヤンイヤン。美巨乳の谷間を見せてくれたのだった。眼福ですね

ホノルルをきっかけに次々と開封。初体験をしていったのだった。お互い凄い発情力？が？高いようですね？バツチリ、みんなのファーストキスを貰うのだった

令司、朝風呂をするの巻。しかも貸し切り。どれに入ろうか迷っていたが、入れるのは真っ白なお風呂。母乳風呂だけだった。しっかりリラックスしたのだった

お風呂を上がって周りを見ると、なぜか自動母乳販売機があった。容器は瓶です。吾妻の母乳を選び美味しく頂いたのだった。販売されていたのは、吾妻、翔鶴、加賀、ヴィクトリアス、ベルファストなどなど。ラインナップは日替わりだそう

突然トレーニングと心の中で叫ぶ令司。頭が壊れたようだ。ハンマーで叩けば直るかな？このお風呂から近いトレーニング室に向かう

そこはスポーツジムでした。高級だろう。夕方まで良い汗を掻くのだった。……悪い汗つてあるんですかね？こいつ、昼食を食べてないね？みんなも持って来るとか食べたら？とかの行動はしなかった

盗撮・盗聴していたKANISEN達は大喜。ムラムラがマツハで凄い事になっていた。鼻血を出していたり、スプリングカラーになっ

ていたり。まあ、一部は平常運転していましたが

トレーニングは色気を増し増しにする行為だった。無自覚？にお誘いをしていたのだ。令司は悪い上官だね？理性を鍛えさせてるから良い上官なのかな？

良い汗をタオルで拭き取ろうとしたら、途中から入ってきてトレーニングをしていた長良に押し倒された。色気にやられたのである。汗を全部舐め取られたのだった。タオルに盗られたくなかったのだろう。そのまま長良は初体験を迎えたのだった

それを罰、癒し刑対象であると五十鈴が注意したが、五十鈴の理性も限界だったようだ。結婚してるのに求愛をして来たのだった

罰とか関係なく五十鈴も初体験を迎えたのだった。スポーツジムなのでお○ン○マツサージと言った方がいいでしょう。夜食の時間になるまで令司は上を着たままハツスルしたのだった。着衣ツ○ス。良いじゃん

☆☆☆

夜食の時間になりました。お互いの欲情。獣欲は収まったようです。が？どうやら2人の様子がおかしくて？

「」

「ええええ？」

スポーツジム室で長良と五十鈴と意味深マツサージ、まあ、お○ン○トレーニングとも言おう。をしてスッキリしたらさ？何も言わずに全裸土下座してるんだけど？ブルブルと震えてるの。電動○ナホですわね？

長良と五十鈴は何故か、顔を真っ青にして床に額をグリグリしていた。？マークをいっぱい出す令司なのだった。何とも言えない雰囲気ですね？令司、何とかしなさいよ！

何で？罰っぽいプレイしたんだけど？2人とも妻じゃん。震えなくても…。えええ…？反応に困るう…。何？貞操が逆転してると何か独自ルールでもあるの？癒し刑を嫌がってる感じだし。百合、見て

て最高なただけど？

「……………」

えっ？何？この空気？と突っ込みたい感じの饅頭達。掃除をしたかったようだ。3人が仲良くなるまで静かにして待っていた。サングラスを付けたのがビデオカメラを回していた。ハリセンで叩かれていた。饅頭達なりの和ませでしょう

「あ〜っつと？えっつと？うんっつと？」

ただ身体を鍛えてただけなのに……。ハッスルしたらこうなるとかわつかんねえよ!!

色気がムンムンしてて誘ってる。ムラムラしちゃった♡ごめん。襲う♡…って最中に言われてもね？えええ…？どう、貞操が逆転しているのか分からないな。息子は元気でしたよ？頑張ったよね〜？

本当に気持ち良かったよ？押し倒されて舐められまくったのはビックリしたけども？沢山愛したじゃん？2人ともスゲ〜匂い嗅いできたけど？クンカーなら最高のご褒美じゃないか。良いじゃん。それでさ？ダメなの？

「あては淫乱です。ごめんなさい…。(悪くない。これで癒し刑はいやああ〜!!!)」

「えええ？ちよつと？えええ…？いきなり泣かなくてもいいじゃん。鳴いてたけど」

みんな淫乱だけど？もう済んだ事じゃん？お互い気持ち良くスッキリ出来たし。求めてくれてありがとうだったんだけど？もうこれかあ…？ハグだな。ロイヤルお嬢様方が堕ちた奴だから有効だろ？

ロイヤルお嬢様方を堕とした方法で機嫌を良くしてもらおう作戦に出た。効果はどうなのだろうか？

「うぎゅ〜っ♡しきかあ〜ん♡スーハー♡スーハー♡」

「ヨシヨシ。もう責めなくていいからなあ〜？ヨシヨシ…。気持ち良かったよ〜？ありがとう。愛してるよ」

トレーニングしてて突然襲われるのは最高だったぞ？新鮮だったし！新しい扉を開いたかもだぞ！

ハグをして慰める令司。ついでにお尻を触るのだった。甘い声を

出す位、元気が出たようで何よりです。さりげなく匂いを嗅ぐ2人なのだった。無事に墮としましたね。効果抜群でした。良かった良かった

饅頭達もハグをして喜んだ。で、掃除を始めたのだった。ビデオカメラを回していた饅頭が1番良い動きをしていた

「ヨシヨシ。それじゃ、もう夜になってるからご飯食べて、お風呂入ってもう寝なさい？まあ、罰の癒し刑があるなら受けて来なさい？罰の対象とかの事は良く分からないけど」

「とうとう…、了解しました。お先に失礼します」

「はい。失礼されました。饅頭達。本当に掃除ありがとう。入って来た時よりもピカピカ。凄い。頭、撫でるぞ〜。これでヨシ。食べに行くね〜」

元気を取り戻した長良と五十鈴。先にスポーツジムを出る。饅頭達の掃除に感謝して頭を撫でてからご飯を食べに行くのだった

饅頭達は自分達が出した♡マークをバリバリ食すのだった。頭を撫でられた饅頭は次々と胴上げをされていた。胴上げされてる時も食事をしていた。凄い

長良と五十鈴は癒し刑を受けるのか？答えは受けませんっ！それが分かって幸せな顔をしてぐっすり眠りに落ちていったそうだ

☆☆☆

第3食堂に戻って来ました〜。昼食を食べるのすっかり忘れてたわ…。夢中になってしまった。だって楽しかったし？ごめんね？みんなとイチャイチャする時間を少なくして。誰が料理してるかな〜？おや？

上半身裸スタイルで首にタオルを巻いて食堂内へ入った。誰とイチャイチャするのでしょうか？

「〜っ♡あつ、うれしい…。りっおりおのりよおり、たへてくれるのか…？すはらしい…、ぼにゆうをつはったぞ…♡ほそんそうたいばっちりら…♡」

リットリオの言う、素晴らしい母乳。それは信濃と檜野です。配合率などにこだわったそう。全裸泣き土下座が饅頭達に無事届いたようですね？

今度は吾妻のを手に入れようと意気込むのだった。…えっ？自動母乳販売機があるじゃん？あれは手を出しちゃいけないようです。謎ルールがあるようですよ？

「えええ？」

なんかリットリオ、涙目。鼻血を大量に出したのかティッシュ詰めてる。食べてる何人かも同じ状況だし。モジモジしてますね？？絶賛鼻血出し中も居るし。刺激しちゃった？何かしたっけ？

リットリオは相変わらず？全裸で過ごしてるんだね♡最高♡愛してるよ。ああ、みんな、盗撮・盗聴してて大興奮しちゃったのか？えええ…？鍛えて色気増し増し♡って話、本当なんだね？

あれか？スケブラみたく、スケチクビが拝めてありがたや♡ってか？そっか♡。ありがと？それじゃ、どんどん鍛えるね？来い来い

令司の思考はどうやら可笑しいようだ。腕組みをしてうんうんしていた。熱い視線を向けられていて気持ち良いのかもしれない

で？リットリオは饅頭達を頭の上に乗つけて平気なんだ？数匹？は寝てるし。紋様を撫でる饅頭も居る。自由だなあ♡

「リットリオ。鼻をしっかりと♡んだ方が良いぞ？饅頭達がティッシュを用意してるからさ。それと、涙拭いてね？うん。食べるよ…。素晴らしい母乳ね？それはどうも？かな？頂きます。もぐもぐ…。ごくん…。うん。美味しいよ…。ありがと♡」

「ズビ〜っ！ふう…。美味しく食べてくれて嬉しいよ。令司♡愛してる♡ん〜っ♡」

豪快に鼻を♡んだね？鼻血は流石にゴミ箱にポイ…。しないのかよ…。分からない液体に漬けてる。何に使うの？饅頭達の食事になる感じか？遅しいね？

饅頭達を見ていると良く分からない行動を取り始めた。分からない液体が入った瓶にティッシュを漬け込み始めて蓋をした。そうし

たら瓶の周りをクルクルと回ってお祈りのようなポーズをとっていた。儀式でしょうか？令司には見られていない

「愛してるよ。リットリ…おお…？おお…♡背中に大変素晴らしい感触が♡うつ…♡耳が…」

リットリオとキスする前に令司の背中に抱きついて来たKANSENがいた。右耳タブを甘噛みして来たのだった。誰でしょうか？

背中に素晴らしい感触が♡一体、誰です？右耳…♡逝くでない♡あつ、これ耳の中、舐められてるな。うひゃ…♡ゾクゾクしちゃう！なんだこれ！？気持ちよしゆギル！

「ふむ。リットリオは母乳入り料理を振る舞えて満足だからな？シナイよ。ずっと後で良いぞ♡って、聞いてないか…。まあ、令司の背中は素晴らしいからな」

助けなかったかい笑顔をして、淫紋を撫でながら見守る。うん。襲いたい気持ち、分かる。みたいな領きをしていた

「はむっ♡んちゆる♡れるれるろ♡んちゅぱ♡指揮官に会え…た…です♡ハアハア♡耳美味しいです♡草草草♡愛してるです♡ハアハア♡結婚してくださいです♡ちゅっぱ♡ちゅっぱ♡ん…♡ちゅルルっ！」

「うつ…。はあはあ…。ちよ…♡あ…♡あ、あや…な…みっ!!!」

身体をガクガクと震えさせてしまった令司。頑張つて振り返ると舐めていたのは鬼神の綾波でした。綾波の周りの空気は♡マークが舞っていた

何っ?!美爆乳じゃないか♡綾波も着痩せするタイプだったのか。最高なんだけど♡結婚してるよ…♡

耳奉仕をしていたのは綾波でした。着痩せするタイプで美爆乳だったんです。美爆乳の感触を楽しみつつ、耳舐め奉仕で沢山登り詰められて逝くのだった。いっぱい勉強したんですね？

「綾波ちゃん。お兄ちゃんともう結婚してるよ？ねえ？聞いている？あつ、お兄ちゃんの汗。ゴクリ…」

「これ、聞いてないよ〜? ユニコーンお姉ちゃん? ゆー、頑張ってマッサージの勉強したから披露出来るね♡ 令司お兄ちゃん、何かビクンビクンしてるよ♡ 気持ち良いんだね♡」

ユニコーンとゆーちゃんが令司に近づいて来た。あらやだ。奥さん。みたいなやり取りをしていた

そうだよ! ビクンビクンしてるよ! 気持ち良いんだよ! 綾波! 力、結構込めてません? 良いぞ! 来いっ!! ほらほら! 我が息子はシャキンとして準備出来るから! 綾波のヌルヌルなんだろう?

令司は、さあお出で♡とアピールをするのだった。メス男性になつてませんか?

「……………っ♡…ハアハア♡始める…です…♡ 指揮官に跨がる…です♡ 熱いです♡で、この液体を塗って…逝く…です♡…♡?!?!はあああああつんっ♡」

綾波が発情していて令司がデザートになった。○ーションをたっぷり塗ってヌプヌプし始めたのだった

うひよ〜♡ 気持ち良いぞ♡ 愛してる♡ ラブラブ恋人繋ぎスルぞっ! あ〜、良い眺めだよ♡ 幸せだよ〜! 駆逐艦は最高だぜ!

ユニコーンの隣にいる、褐色美爆乳美女で額に角があるのはゆーちゃんかい? ペガサスから人化出来たんだね? おめでどう! ユニコーンと声と一緒に気がする! くっ!

でさ? ゆーちゃんの右手に持つてるそのヌルヌルはさ? アブないと思うの…よおおお〜♡ ほわ〜♡ やっぱりいいい〜♡

「ヌリヌリ♡ ウフフ♡ しっかり効いてる♡ 良かった〜♡ ちよつとビリビリするけどね♡ えいっ♡ 「モガっ! ンゴっ…:」」

アブナイ液体って飲めるのお〜! かっつっら〜い! アツイっ! あ〜、ムラムラが治らないよお〜! マッサージ気持ち良いよ〜♡ 綾波! 良い感じ良い感じ!

「お兄ちゃん♡ んちゅぱ♡ ちゆるる♡ ハアハア♡ レロン♡ 汗、美味しい♡」

「あつ、ユニコーンお姉ちゃんが♡ おめでどう♡ 休憩したら、ゆーの初めて貰ってよネツ♡ んちゅぱ♡ れるちゅ♡ :はあ…。なんかカラい



ね♡ヒック♡ヒック♡」

ゆうちゃんがアブナイ液体を飲んで酔っ払ったようだ。令司は酔っ払ってないですけどね？男女で効き方が違うようだ。火照った様で全裸になった

「んんんっ?!?!?」

ちよくく!ちよくく!ゆうちゃんっ?!アブナイ液体の追加はアアアアあ嗚呼くくっっっっ!!!

ゆうちゃんはどんどんアブナイ液体を垂らしていくのだった。追いかち止めなさいよ。絶叫してるじゃん

「??お兄ちゃん?ゆうちゃんのオイルマッサージ、気持ち良くないの?綾波ちゃん達とキスしてるから分からないな。ならユニコーンがマッサージして気持ち良くする!んしよっ」

首を傾げるユニコーン。ユニコーンも勉強の成果を見て欲しい様でゆうちゃんを退かした

気持ち良いよ!ユニコーン、分かって!んっ?!ユニコーン?!ユニコーンの用意した液体は、ゆうちゃんの液体よりアブナイ感じがするんだけくくくくっっっっ!!!ほおアアアア嗚呼くくっっっっ!!!

谷間はポケットなんですな?ユニコーンもゆうちゃんもオイルをそこから取り出した。ユニコーンのオイルマッサージでトロトロにされるのだった。メス男性へ一直線じゃないか?新しい扉を開けたな?

「気持ち良い?気持ち良い?気持ち良いよね?どんどん塗っていくね?~~~~~っ♪」

「指揮官の気持ち良かったですよ。綾波、チヨロくて草♪カツコイイ目付きでキョんキョんするです」

「ふふふ。素晴らしい光景だよ♡おめでどう♡さてさて、リットリオの番は来ないだろうから料理でも仕込んでおくよ♡良いねくく♡指揮官がマッサージをされてる所を見ながら料理をするって♡くくっ♪」

リットリオはみんなが幸せになっていつて嬉しいようだ。いつも

より早く料理を仕込んでいくのだった。手伝っていた饅頭達が驚いていた

令司がデザートになったと思ったらしいの間にかマッサージのお客様になっていったのだった。令司専用の出張マッサージ店がオープン。みんなが勉強した事を受け入れるのだ！逃げられないぞ！

食堂の床全部が饅頭達のパワーで吸水性の高いベツトに変わっていたのだった。ナイス判断！饅頭同士でマッサージをしている

マッサージ店員さんが変わって逝って、令司はひたすら気持ち良くなるのだった。店員さんの順番は綾波↓ゆーちゃん↓ユニコーン↓その他。みんなとキスをしまくるのだった。もちろん、みんなフアーストキスです♡本番もした

「「リットリオさ〜くん！ほらほらあ〜」」

「ふえ?!あつ、ちよつ?!し、指揮官?!目がっ!んむっ!?!く〜く〜つつ♡♡」

リットリオは出番が来ないと思っていたようだがバッチリ来た。お互いスツキリし愛うのだった。キスもしまくりでした。リットリオのマッサージも受けるのだった。仕込みは終わっていた

やりまくり、全員逝き疲れて第3食堂内で寝る。みんな幸せな顔をして眠りに堕ちて逝ったのだった。令司と全員、肌がツヤツヤしているのだった。インキュバスとサキュバスじゃない?

腰等が天国に逝ってないと良いねえ?令司?神様達のサポートで何とかなるか?

### ☆遠い遠い暗い場所☆

アブナイ?液体の商品を飲まされたピュリファイヤーとオブザーバー。見事なスプリンクラーを披露する。噴き出したのを少し飲んで二ーねえ。今回もどんな百合の花が咲くのでしょうか?楽しみであります

「」

「飲ませるのこれ位でいっつか?スヤスヤ寝ている部下に膝を貸してっ

と……。ヨシヨシ♪探してくれてありがとね？悪化しちやっただけど。その内に平気になるでしょ？」

スプリンクラーの出し過ぎで喋る事が出来ない2人。ニーねえはひたすら2人の口に飲み物を突っ込んで介護するだけだった。百合の花は咲いてないようですか？

では、ピュリファイヤーとオブザーバーの2人の心の声でも覗きましようか

「(ハアハア♡アツ♡令司キユン……♡もうヤメテえええ♡手だけなんて……♡はうん♡アアアア……♡ハアハア♡笑顔素敵♡アツ♡また噴いちやうううう♡令司キユン……♡愛してるよ……♡らめえ……♡噴くうううう♡早く♡令司キユンの令司キユンを頂戴♡んあああ……♡らんでき……！ラメえ……♡)」

色々？真っピンクですわっ！夢の中？の令司は笑顔で準備しまくってるようですか？幸せを感じてますね……♡最高じゃないか！

「えええ……♡もう夜なんだけど。中々、止まらないねえ？何か2人の顔、すごく幸せ♡って書いてある気がする。それに肌がツヤツヤしてる気がするし。オブちのタコ足からの粘液？っていうの？の量凄いな？ドロツドロじゃん」

ニーねえの指摘通りで2人の肌はツヤツヤになっていった。効果が出てます。オブザーバーのタコ足も綺麗になっていく。2人とも美しくなってるね？

「もう寝たいから部下を量産……量産……。えっとね？交代で飲み物飲ませてあげて？うん。下の口のスプリンクラーのは集めて飲ませてもいいから。美味しいと思うのならみんな、どんどん飲んじやってね？ほら、大量に用意されてるじゃん？勿体無いし」

「了解してくれたね？はい。それじゃ、介護よろしく……。おやすみ……。zzzz」

ニーねえは介護を部下に任せて寝る。部下達は交代で睡眠をとってすっかり命令を遂行するのだった

自分達が飲む用と2人に飲ます用と色々と準備をして介護をし続けるのだった。スプリンクラーもバッチリ回収して分けていく。た

まにニーねえの口に飲み物を突っ込んできたりもしたのだった

ビクンつと身体を跳ねさせるピュリファイヤーとオブザーバーを見ると、部下達もビクンつと身体を跳ねさせたのだった。なので？刺激を与えないように遠くから見守るのだった。一定時間になったらソツと飲ますのだった

セイレーンの所も平和です？早く辿りつけよ？面白い事になってるんだから。令司が好きそうなシチュエーションだぞ？

耳掃除するよ？

第3食堂に近いスポーツジム内で、長良と五十鈴とお○ン○マツサージ・意味深トレーニングを夕食の時間になるまでしたのだった。令司は昼食を摂っていなくて飲み物だけです。タフですねぇ〜？

そして終わった後、2人は何故か全裸土下座をした。電動○ナホ並にブルブル震えまくっていた。顔と唇が真っ青。2人共、令司の妻です。合法なのです！なのにね？

2人の心の声を覗いて見ると、罰の癒し刑を執行されると思ったようです。行為前の押し倒しが？かな？

罰は執行されずにホツとして、しっかりと夜食を摂ってぐっすり寝たのだった。良かったですね？長良達は第2食堂で食べたようですよ

令司は、まだまだ貞操逆転世界の独自？ルールを把握出来ないようですよ

まあ：そりや、そうだよね？日が浅いですからね？その内に慣れるでしょう？まあ、KANISEN達の理性が頑張ってくれてる？ので何とかなってるのでしょうか

第3食堂に行き、リットリオの素晴らしい母乳(信濃印と樫野印)入り料理を食べた。食べ終わって、リットリオとキスする寸前で抱きつかれたのだった。綾波でした

綾波の着痩せが判明したのだった。美爆乳の持ち主！そして耳舐め奉仕を始めたのだった。ゾクゾクするほど気持ち良いのです！令司がデザートになった瞬間である。綾波、積極的！

綾波にお出で♡ポーズで受け入れてやり始めたら(開封したら)、人化した褐色美爆乳美女のゆるちゃんが来た。アブナイ液体を使いマッサージをシて来たのだった。飲めるのだが味はメチャメチャカラい。凄くムラムラしたのだった

ユニコーンも勉強をしていたようでゆるちゃんよりアブナイ液体を塗って悶絶させられた。ユニコーン、悪い娘！令司は良い顔をしている。気持ち良くなれて良かったですね〜？

饅頭達のパワーで床全面が吸水性の高いベットになって逝ったの

で、第3食堂内が令司専用のマツサージ店に早変わり

綾波↓ユニコーン↓ゆーちゃん↓その他大勢の順番でハッスルして逝った。令司専用よりKANISEN達のマツサージ店じゃない？

ヤリ突かれたのだった。全員お風呂に入らず、全裸で寝るのだった。電池切れを起こしたみたいにバツタリと眠りに堕ちて逝ったのだ。寝ている全員、肌がツヤツヤ♡の状態になっていた。インキュバスとサキユバス達ですか？

朝食と昼食の中間の時間(ブランチ?)まで寝る令司達なのだった。いや〜?令司は頑張り屋さんですね?身体、壊さないでね?

☆☆☆

4日目の朝食と昼食の中間の時間。ブランチ?(ブラックファースト+ランチ)で起きる令司達。どんな1日を過ごすのでしょうか?

第3食堂内にピンク色な霧などは発生していません。饅頭達が全力を出して対処したのでしょうか。饅頭達は幸せな顔をしてピラミッドで組み寝しています。器用だね?

「……………朝です…ね?起き…っ?!か、身体が起こせな…い?ふお〜っ♡幸せ〜♡」

はい!ゆーちゃんのアブナイ液体のマツサージを受けてから追い打ちで悪いユニコーンのマツサージで悶絶した。で、KANISEN達、まあ妻達ですね?をガンガン逝かせまくってあげた令司でえええす♡

時間はあ〜♡食堂の時計より朝食と昼食の中間。ブランチって言った方が良いのかな?な時間で起きました!

綾波とゆーちゃんに抱きつかれていて身体を起こせません♡綾波とゆーちゃんの美爆乳の感触最高♡

ゆーちゃんのアブナイ液体のマツサージにユニコーンのアブナイ液体。凄く気持ち良くて色々ヤバヤバでした♡反撃したら凄く反応されたわ。イキイキしてたね。気持ち良くなってくれて良かったよ

「「「おはよう?」ごぞいます♡指揮官♡退くね?」ごはん食べよ?」」」

「おはようです♡指揮官♡愛してるよ♡右肩齧ってごめんなさいです。逝かされまくって大満足で草です♡あははっ♡ラフィーを弄ってくるですう♡ラフィー〜♡あ〜そ〜び〜ま〜しよ〜♡あははははっ♡」

超ご機嫌の綾波。クルクルと回りながらラフィーの元へ向かう。ラフィーはどんな反応をするのだろうか?

「おはよう。そっか…、程々にしと…って、もう居ないし!」

綾波の右肩を吸って舐めてのお返ししたよね?ラフィーを弄る、遊ぶ?どっちなんだい?ラフィー、ドンマイ。ラフィーも着痩せしてたっけね。どっちが大きいのかな?同じ位?機会があれば比べねばならぬ

「お兄ちゃん♡愛してるよ♡左肩齧ってごめんなさい。気持ち良かった♡マッサージ、受け入れてくれて♡えへえへ♡」

「ユニコーンお姉ちゃん、良かったじゃん♡お兄ちゃん♡ゆーのマッサージ、褒めてくれてありがとう♡嬉しかったよ〜。あつ、そうそう♡角弄りまたシテね?ねっ?」

角、危ないな!まだ抱き着かれてる。最高だぜ!腰、大丈夫だったぜ

令司の右側にユニコーン、左側にゆーちゃんである。角が刺さりそうだね。気を付けなさい。令司の背中ではベットに沈んでいる

「平気だよ。ユニコーン。ゆーちゃん、今度はしつかりとした掃除用具でピカピカにしてヤル♡」

「分かっているう〜♡♡ユニコーンお姉ちゃんも一緒に逝けるね♡」

「う…うん♡ふへへ♡」

ユニコーンお姉ちゃんのマッサージ、なんともまあ…。新しい扉を開きましたよ。一定数いるって知ってたけどね〜?ゆーちゃんが勉強したマッサージ部屋、今度連れてって?あつ、聞いてたから1人で行くわ

令司の新しい扉は幾つ存在するのでしょうか？結構開けてると思うんですけど？むしろ、こじ開けられてるんじゃない？スッキリしてる感じでラブラブオーラ全壊ですね？ユニコーンとゆーちゃんどどんなプレイをしたんでしようか？

「みんな、おはよう？それともこんにちは？かな？ヨシっ。リットリオのごはん食べようか！」

こうなるって分かってたんだらうね？流石だよ。みんなのお姉さん！

「「「ハイっっ♡」」」

「出番が来るとは思わなかった♡スッキリしたよ♡どうぞ召し上がり♡」

美味しい♡…また、アブナイ液体マッサージ…。受けるかもしれない…。…うっ♡マッサージは奥が深いねえ♡。病み付きになっちゃった。勉強して施してヤルか

きつと、プリンツオイゲンのようにエツロい乱れをしてくれるでしょうよ♡受けてるばかりじゃあねえ♡。まあ？一番効くであろうマッサージはしてますけど？

深夜のテンションを維持？している令司。ゆーちゃんとユニコーンのアブナイ液体マッサージ。凄かったんですね？良かったですね？そうだね。1番効くマッサージを令司はしてますね！

綾波、ユニコーン、ゆーちゃんは罰を受けません！理由は分からないですけど？良かったですね？ラフィーはどうなるのでしょうか？令司に何もしてないからセーフだ！早よ、ラフィーともハッスルしよう？

「ご馳走様でした。料理美味しかったよ。まあ、リットリオ自身が美味しいんだけどな♡」

そう言いながらリットリオを抱き締める。隣に座ってるから出来るのだ

「良かった♡令司♡ありがとう♡発情しちゃうじゃない♡キスしたら演習してくるわ♡」

メスの顔をして受け入れている。抱き締め返して、お尻を触るリッ



トリオだった。頭、お花畑であった

「そつか。俺はブラブラ1人旅でもするよ。みんなも演習とかか？  
しっかり取り組んでね？」

「二二」ハイ、指揮官♡寝る、遠征、演習、出撃しますね♡んくくっ  
♡くくく」

雰囲気がラブラブになっていって盛りそうになったがなんとか持たせた。別れる前に全員とキスをしたのだった。もちろん、令司のお尻は揉まれて、揉み返しました。胸は揉んでいません。その線引きは分かりませんね

☆☆☆

甘いキスを全員としたぜ。みんな、キス魔だよなくく♡美味しかった。うん。そろそろ、聞いたマッサージ部屋かな？睦月、如月、アークロイヤルと入った部屋と場所が違いますね。部屋沢山あるからそうだよなくく

みんな、宣言通りの行動をとって、令司は1人ブラブラ旅をしてゆーちゃんが勉強した部屋へ向かったのだった。ゆーちゃんは寝るで、ユニコーンは綾波達の様子を見るようですよ

「くくく♪おつ、ここがゆーちゃんがマッサージの勉強をしたっていう部屋だな？……っ！」

えっ？何かさ？ピンク色の霧がさ？下の隙間から漏れてるんですけど？本当にアブナイ部屋じゃん♡ムラムラしちゃうじゃん♡入りますくす♡

ゆーちゃんが勉強したピンク色の部屋の中はどうなっているのでしょうか？マッサージ部屋の周り？壁や床が真っピンク色で、アツチ系が勢揃いしている事に気付いていないようですね？

〈極悪♡エロエロマッサージ寮くく極悪癒し刑部屋を添えてくく〉  
最高に♡刺激的♡なマッサージをドウゾ♡思いつ切りスッキリしたい時、利用しましょ？

これが見えてなかったようすし？

「おおおくく。すつごく見た目がアブナイのばかり♡ピンクの霧が

ハッキリ見えるよ♡」

アブナイ液体ばかりがズラ〜と並んでる。本はきつと説明書でしょう。ピンクの霧がハッキリ見えるって、どういう事？饅頭達の不思議パワー？それか、嫁達の嫌がる？癒し刑のランク？がメチャメチャ高い部屋かい？スツゲ〜ムラムラするの♡

「まあ、いつか？エロけりやいいし？勉強！勉強！おっ？耳掻き棒ゲット♡高級そうだな…。これで耳掻きマッサージでもしてやる！耳掻き用の本はあるかな〜…」

ムラムラしてピーンとなっている状態で耳掻きマッサージの本を読み漁る令司なのだった。また、耳掻き以外の本も夢中になって読みまくったのだった

「ふむふむ…。あつ、もう昼食の時間じゃん…。食べに行こうつと…。本を戻してつと…。で、息子はこのままにしよう…」

結構勉強になりましたよ。で、本の最後にオリジナルの液体を作ろう！と書いてあったからちゃんを作りました♡これをゆうちゃんに使ったんだな…。うん、披露したくなるよね？誰にシヨウか？ヨシッ。ここを出て初めて会った嫁にするか…

「昼食をどこで…。おっ？コツチにくる気配が？誰だい？実験台になつてくれるのわ？」

部屋を出て昼食をどこで食べるか考えていたら実験台になるK A N I S E N 達・嫁達が来たのだった

「ヒック♡ヒック♡ヤラ〜♡こんにやのでえ〜♡このりやうのけいひやえにい〜♡くるによわ〜♡ヒック♡ひつぴや〜ねえしや〜ん♡」

「そう言わないの、オイゲン…。紙渡されちゃったし…。もう逃げられないよ…。あ〜、リヒが強すぎるのがダメなのかなあ〜？つて

?し、指揮官つ?!?こんな所にな、何でっ?!」

「よっ!プリンツオイゲンにプリンツハインリヒ。うん…。お酒の練習しててもダメだったか…?」

「Zzzzzzzzz…。ヒック♡ウへへへ♡しきかあんがあくふたりいゝ♡」

「う、うん…。(あくゝ♡アブナイ液体を沢山作ってるし、耳搔き棒♡痒いから助かる♡スケ乳首に息子がエグめに立ってる…。リヒ♡開封されるんだ♡ヤツタ♡お尻触られただけで逝ける♡ふ、ふたり?…うっ♡)」

ダブルプリンツ!オイゲンはついに?ヒツパーから何かを下されましたね?ハインリヒは平気と…。うむ♡2人ともけしからんプリ尻だよ♡オイゲンは叩きオツケーだけど、ハインリヒはどうなんだろう?

この2人に耳掃除するか。試したいですう♡ハインリヒのエチチ下乳♡ありがとうございます♡慌てちゃって♡なんか汗ダラダラ流してますね?顔と息子を交互に見ちやって♡あつ、紙落ちた…。どれどれ…

「あつ、それは…」

『マツサージ寮の極悪癒し刑部屋で癒し執行。夜まで一度も逝くな。夜になったらシリアスが来るから。ハインリヒも同様。byヒツパー』

ヒツパー…。何をされたんだ?へえ?ここってマツサージ寮なんだ…。極悪癒し刑?なにそれ見たい!息子よ。痛いぞ!痛い痛い!静かに!

「ふゝん?ハインリヒ、いやリヒ?ここの近くで昼食をとったらさ?耳掃除するよ?良いよね?耳をほじほじしてたからさ?痒いんでしょ?」

「は、はひい♡お願いしまふ♡こっちです♡」

昼食をダブルプリンツととったのだった。オイゲンはリヒの押し込みで食べたのだった

☆☆☆

「Zzzzzz…。しきかあゝん♡むにや…むにや…」

「耳掃除するよ?リヒ、ほらお出で♡」

「…ゴクリ…。ハイ♡失礼します♡」

お腹が満たされましたので、今度はマッサージ欲。まあ耳掻き欲?を満たそうと思います。膝ポンポンしたらゴクつとするなんて…。膝枕が良いのかもしれない。女のロマンか?太ももフェチいたし…。言われればやるよ?耳掻き店営業しちゃうよ?

耳掃除をする前から天国に逝っている気味なハインリヒ。オイゲンは猫のように丸くなって寝ている

「はい、失礼されました。耳掻き棒にブレンド液体を少し垂らして、カリカリつとね?シユワシユワ泡だつてるねえ?ゝゝゝ♪」

酔っ払いを放置してハインリヒの耳掃除を始めたのだった。ハインリヒの心の声を聴いていきましよう

「ゝゝつ?!ゝゝつ♡ゝゝつ♡(あゝゝつ♡あゝゝつ♡イツ?!トロトロに溶けちゃうゝゝ♡しゆきゝゝ♡アブナイ液体がゝゝあ♡良い仕事してるゝゝ♡スーハー♡これで逝けっ?い、逝けないっ?!)」

「おう…。すごく詰まつてるじゃん…。ゴツソリでびっくりなんだけど?しつかり掃除しようよ…。息吹きけるよゝゝ?ふうゝゝ」

「ゝゝつ?!ゝゝつ!!! (逝け…ないっ!あゝゝ♡うゝゝ♡もう♡これは極悪癒し刑が始まつてるのね♡うゝゝ…)」

凄い溜まってたんですけど？ハイソリヒつたらずつとモジモジ、ビツクンビツクンしてのよ。耳掃除でエツロい声を抑えてるの？最高♡それに、息子を嗅ぎまくられています。息子よ。デレデレする時間ではないぞ？オイゲンの後でたつぷりと♡

あつ？饅頭達？そんなにジューつとコレを見つめてどうした？あつ？えっ？コレを食べる感じ？平気ならどうぞ？おおう…。食べたよ…。それも美味しく…

実は令司が作ったアブナイブレンド液体には美味しい調味料的な役割があります。饅頭達のご飯を作るとか凄いですね！愛の共同料理！令司の耳の中はピツカピカです！だってねえ？プレイ中にゴツソリとね♡

「息を吹きかけた後は、また液体を垂らして…。もう一度。グリグリ、クチュクチュ♡~~~~つ♪」

「~~~~つ?!?! (イケ…ないっ!あ~~~~♡う~~~~♡ハアハア♡ハアハア♡ま…だ…みぎ…み…み♡あつ、指揮官の…湿ってる…♡スーハー♡んっ!い、逝きたい~~~~つ!)」

すんばらしく?悶えまくっているハイソリヒ。そう、極悪?な癒し刑は始まっていたのです。オイゲンの方はまだ刑は始まっていますん

「~~~~つ♪ヨシつ。右耳、完了。それじゃ左耳行くぞ~~~~?カリカリカリ~~~~と…」

「~~~~つ?!?! (ああああ~~~~♡ラメえええ~~~~♡うっ♡逝けないっ♡逝けないっ♡ヤダ~~~~♡逝きたい~~~~♡これが夜まで?ヒツパーごめん~~~~♡)」

「んあ?右耳よりなんか固い大物がある感じ?あつ、そうだ。動くな  
「!!」

モジモジ動いてアブナイでしょ！大人しくしてて！そうそう。良い子♡続きしますね♡？液体垂らしてガリつと…。どこだ？ここか？おつ？

「~~~~~♡♡♡♡♡（そんなにや~~~~♡ううう~~~~♡うごげにやい♡気持ち良い♡ずっと溜まっていく♡）」

「とつたどー！うっわ…。はい、饅頭達、仲良くお食べ…。美味しいんだね？スツゲ……。つと、仕上げをして…。終了……。お疲れ様……。どうだった？って、エロくビククンビククンしてる…。誘ってくれてありがたいけどオイゲンさせて？ね？」

「ハアハア♡ハアハア♡あ、ありがとう♡」

ハインリヒはぐったり涙目。で、一度も逝けてません。夜のシリアスの到着でどうなるのでしょうか？

右耳、大物ぼかったけど左耳の方が大物でした。リヒだけかな？オイゲンを見させて貰うよ……。目を覚まして貰うよ……。アブナイ液体を飲ませてつと…

「もがっ！あああ~~~~♡指揮官~~~~♡この癒し刑ヤ~~~~♡」

あつれ~~~~？大型な猫？最高です♡息子よ…。まだだぞ？涎出まくりでも待て！健全ですよ？

「オイゲン？動くな」

「うぎゅ！えっ？！し、指揮官？笑顔で耳掻き棒を見せてきてど、どうしたのかな~~~~？」

「オイゲンの耳掃除するよ？液体垂らして、ほい、カリカリつとね~~~~？」

「~~~~~つ?!?!~~~~~♡」

溜まってますね〜？シユワシユワ泡しゅごい！饅頭達？ご飯もうちよつと待ってろ〜？耳プレイした嫁達は意識高かったんだな〜？

オイゲンもアブナイ液体の耳掃除でエツロク悶えていく。罰の癒し刑が始まったのです

☆☆☆

これら耳掃除中も盗撮・盗聴されているので一部のKANISEN達を見て見ましよう

「あらあら♡令司、直々の極悪癒し刑が始まったわね♡ヒツパー？ナニされたのかしら？紙なんて出しちゃって♡」

「ザラ…。言いたくない…。ハインリヒはしっかりしてくれてたけど…。アブナイ液体マツサージをしてくれるなんてありがたいわね…。しつかり治れば良いけど…」

「指揮官様直々の耳掃除♡大鳳〜〜されたいですわ♡ドロドロになりたいですわ♡極悪癒しなのが最高ですわ〜♡」

「大鳳ちゃん…。私に抱きつかなくても…。指揮官様？言えば、耳を掃除してくれるのかしら？嬉しいです♡」

「鳳翔さん…。目が♡マーク…。赤城もされたいですわ♡極悪癒しは、まあ…。はい…」

◇

「ほら。ラフィー、食うです♡どんどん食うです♡耳掃除店、出来たら予約するです。取れないかもで草です♡」

「美味しい♡綾波、キレイになった♡耳掃除のシユワシユワ凄いいね〜！」

「ニーミはどうすればいいの…？指揮官の耳掃除したいけどピカピカそうだし…」

「指揮官♡インディちゃんを掃除しようよ♡ついでに私も♡インディちゃん♡指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡」…うるさい…」あぎやんっ！」

「オサナナジミの耳掃除♡最高じゃない♡いっつも気持ち良くしてくれてありがとう♡いっつもピカピカよ♡あゝ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡」

「誇らしきご主人様♡このシリアス♡極悪癒し刑を披露する時が来たのですね♡ウフフ♡ダブルプリ尻様♡待っててくださいませ♡ジュール♡ンフ♡尻尾の粘液♡最高ですよ♡」

「耳掃除？最高じゃない♡そんなの予約取るに決まってるよねええええゝゝ♡」

相変わらず？オープン基地のKANSEN達はムラムラしているようです。みんな極悪癒し刑を受けるダブルプリ尻を拍手で祝福していた

### ☆遠い遠い暗い場所☆

ニーねえの部下がすっかり介護しました

「」

「私にも飲み物を飲ませてくれてありがとう。みんな、2人がビクつとするとビクつとしちゃうのはビックリしたなゝゝ」

「あゝ♡うゝ♡令司キユンの意地悪うゝ♡んにゆいゝ♡」

「うん…。もうね？凄いな？私が寝てた時でもずっと嘔き出してたんでしょ？で、まだ嘔いてる…。どうなってるの？オブっちのタコ足の粘液を料理したの？美味しい？…そうなんだ…」

「ひゅゝゝ♡ひゅゝゝ♡もがっ…。んっ♡」

「んっ？…すっかりご飯食べてるか？食べてるよ…。2人もなんとかなってる…。よね？あつ、肌ツヤツヤじゃん…。んえ？また何か集めてくる？ありがとう♡行つてらっしやい」



あつた  
まだまだ治らない2人。ニ―ねえの介護？はまだまだ続くので

えっ？最高なんですけど♡

令司はユニコーンとゆうちゃんにより新しい扉を開けた。令司は一体、幾つ新しい扉を開けるんでしょうか？いや、開け続けると言っただ方が良いのかもしれないね？

そして、ゆうちゃんがマッサージの勉強をしたという部屋を聞いたのだった。地図に印を付けて貰ったので安心してブラリ旅が出来るです

令司、綾波、ユニコーン、ゆうちゃん、リットリオ、その他大勢は朝食と昼食の間の時間、ブランチ（ブラックファースト+ランチ）を第3食堂でリットリオの作り置き料理を美味しく食べた

愛情がしっかり入っている。母乳は入っていたりするが、○液が入っているという事はない。リットリオ以外の料理には入っているかも？鳳翔が良い例です。翔鶴は飲み物に睡眠剤だから別枠です

もう一度部屋で寝る、演習、遠征、出撃などで解散前に甘々キスをしまくったのだった。えっ？甘いのはかり飲んでる？食べてる？から糖尿病の心配しちゃう？大運動会が開催されているので平気です。スポーツジムもあるので平気平気…スポーツセツ♡もあるので♡

ゆうちゃんの地図にココ♡と書かれていた場所に行ったら何とそこはエロエロマッサージ寮♡そして極悪癒し刑部屋がある。そう、アッチ専門の部屋しか存在しないのです。しかも高ランクな罰ばかりです。全員1度は使用しているとか？

壁や床が全部真っピンク♡ゆうちゃんが勉強した部屋からもピンクの霧が漏れていたのだった。明らかに時空が歪んでますよ？

令司はアブナイ液体に耳掻き棒を手に入れた。それに関する本でしっかり勉強するのだった。本の最後にブレンド液体を作るように書かれていたので、色々作ったのだった。令司の令司は勉強中でもしっかりムラムラしていたのだった。聞かない子ですね？

最初に会った嫁にマッサージを施してヤろうと逝きこんでいたら、丁度ダブルプリン尻がやって来た。あつ、間違えました。プリンツオイゲンとプリンツハインリヒがやって来たのだった

オイゲンはベロンベロン状態だったので、ヒツパーにまたナニかをしたのだった。紙に罰の内容を書いてハインリヒに渡していたのだった。ザラがお胸をテーブルに置いてヒツパーに聞くが、黙秘されたのだった。録画がある？見る事が出来ないようにされていた

ここでも？シリアスの名前が記載されていた。まあ、エロ特化の淫魔ですからね？それでメイドですから…冥土淫魔？がしつくり来るかも？盗撮・盗聴していたシリアスは張り切っていたのだった。罰をスルのが楽しいんでしょね？

極悪癒し刑は紙が必要なようです。その紙の内容を見た令司。何故か耳掃除を提案する。耳が痒かったハインリヒは素直に提案にノツたのだった

アブナイブレンド液体を使ってハインリヒ、オイゲンの順番で膝枕耳掃除をするのだった。ハインリヒは膝をポンポンする令司を見て、ゴクリと唾を飲み込みと鼻血を出していたのだった。大興奮なようです

膝枕されるのは女のロマンなのです！これらを盗撮・盗聴していた一部の嫁達は血涙で祝福するのだった。耳掃除リフレ。繁盛すると思われず。令司、スゲ〜！ヒロイン？！しっかりしてるよ！

ハインリヒの耳の中は凄く汚く、左耳に大物がごびり付いていたのだった。取れたのは全て美味しく饅頭達のお腹に入っていたのだった。凄いね？アブナイブレンド液体の正体は調味料？シユワシユワ泡立つとかどんな配合をしたんだい？

耳掃除をしてるだけなのにずっとエロくビクン♡ビクン♡していたのだった。しかも紙の内容が絶対なので逝けずにムラムラがずっと溜まり続けるのだった。それを見て聞いている息子が涎ダラダラでひたすら待てをして貰っていたのだった。嗅がれていてご満悦のようです♡

耳掃除が終わって猫のように丸くなって寝ているオイゲンに、また違うブレンド液体を飲ませて目を覚まさせて膝枕耳掃除をシタのだった…。こちらと同じくエロく喘ぎます

2人とも令司の言霊により動けなくなり、ひたすらムラムラを溜め

続けて逝くのだった。これが極悪？癒し刑の一例？のようです。まだシリアスの出番まで時間があります。令司はどのような行動を起こすのでしょうか？

☆☆☆

「くくくくっ♡」

「ふうふう、2人の耳掃除終了〜！え〜？ビクンビクンしてる…。エツロい…。で、昼食の時間か…」

膝枕耳掃除終わったぜ。全て饅頭達が美味しく食べたよ…。凄いよ…。ブレンド液体は調味料なのかい？アブナイねえ？

健全な耳掃除なのになあ？エロくてエロくて…。何？メスフェロモンプリン出しちゃって？ねえ？誘ってるの？ねえ？耳掃除中さ？聞かん坊だったんだぜ？痛いんよ…。我慢比べは負けますって…

健全な膝枕耳掃除をされた2人。鼻血、鼻水、舌を出してビクンビクンしてグツタリしています。下の口のムラムラは溜まりっぱなしです。耳、性感帯だったんですね？それか令司がクリニツク並の腕前だったんですね？液体の力もありそうですが…

「2人の昼食を持ってきますか…。それじゃまた後で来るよ〜！」

「あ〜♡う〜♡（か、身体を…はあ…、んっ♡動かす…許可をく〜♡んあっ♡出ちやダメええ♡）」

2人を置いて部屋を出て昼食を取りに行く令司なのだった。…だった筈なのですが…。おや？様子が…？

「はあ〜…。2人の昼食を持ってくるって言ったけども…。これだよなあ…。あ〜っ…。凄い…。ハアハア♡健全が出来ない部屋ってどうなのよ…。あっ、2人とも言霊で動いて良いと言ってないから動けないよね？まあ？いつか？」

身体熱い〜♡健全な膝枕耳掃除してただけなのに〜っ!?頭  
ボーっとしちゃう♡耳掃除に意識集中して何とかなった〜!まあ、  
バレてたけども♡

昼食の前に誰かでスッキリしたい〜っ!ダブルプリ尻がいるけ  
どさ?夜の方に回す♡シリアスと一緒にやるし♡さいっこのの快樂  
が確定♡それと極悪?癒し刑見れるし♡

「ハアハア♡あ〜、誰か来ないかな?来てよ〜♡盗撮・盗聴して  
んなら何となく分かってるでしょ?この状況をさ〜っ!」

全身汗でびしょ濡れの令司はマッサージ部屋のドアに背中をつけ  
て座りこんだのだった。すぐくオスフェロモンをポンポン出しま  
くっているのだった、スケ乳首しています。鼻血出ますね

息子のムラムラは凄いです。はよっ!はよっ!我慢は毒だ  
ぞっ!さあさあ!とせかしている。限界まで待てをしていたからね  
?仕方ないね?よく保ちましたね?ヨシヨシ

これらの行動は全て筒抜けなので、タイミング良く?救って?くれ  
るKANSEN達と出会うのだった。良かったじゃないか♡

「あ〜…。動けね〜。良く見ると床、壁などが真っピンク。気付  
かなかった…。あ〜、汗でビチョビチョになってる…。透けてます  
ね〜。…うん?足音…?複数…?」

誰だい?おいつ!イタタタっ!ちよっどっ?!聞かない奴ですな〜  
〜っ!もう少し待って〜!

「あつ、オサナナジミ♡やっど見〜つけた♡相変わらず隠れるのが  
上手よね?(隼鷹が未遂しちゃったからかな♡)飛鷹の旦那なのにね  
?ウフフ♡スーハー♡スーハー♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オ  
サナナジミ♡オサナナジミ♡襲うわよ♡」

「隼鷹…。お前も指揮官の嫁じゃないか？そんな行動起こす気ないじゃないか…。指揮官、昼食を持って来た。もちろん、ドアの向こうの2人の分もあるよ。膝枕耳掃除、うらやま…。けしからなかった♡良ければシテ貰いたいな♡店を開いたら連絡してくれ♡直ぐ逝く♡」  
「ご主人様…。別の部屋で隼鷹様と川内様と繋がって来て下さいませ♡ベルがオイゲン様とハインリヒ様をちよう…。いえ、食べさせますので」

隼鷹に川内、ベルファスト…。天使♡ベルファストはメイドだからメイド服はわかるけど…。あつ、母乳垂れてる…。隼鷹に川内の2人のメイド服、有りつつっ！だなっ！

隼鷹…。そうだな…。上手に隠れても必ず見つけてくれるもんな？それで首筋にキスや匂いを沢山嗅ぐもんな？その後、飛鷹に見せつけイチャイチャするもんな？飛鷹を煽るの楽しいからね♡♡

川内？そのムチムチエロスメイド服は反則♡川内って花魁粹なんだよね？メイド花魁って新しいね？コスプレって最高ですね♡これ言ったらコスプレパーティー開催しそう♡えっ？最高なんですけど♡

ベル？調教って言いそうになったね？癒し刑でもスルんだね？よろしく♡あつ、鎖首輪付けてないから購入して付けてあげるか…。んんん？…。見なかった事にしよう…。うん…。サキユバスの尻尾…

令司と隼鷹は有りもしない生活？を語っていた。なにそれ？頭大丈夫？こいつらのイチャイチャの仕方なのかな？それなら仕方ないな！

川内は狐耳に尻尾をずっとピーンと立て振り回していた。笑顔で鼻血を出していた。血、足りてる？目線は令司の乳首です。ガン見です

ベルファストは母乳が垂れているが気にしていない様子。目の中が♡マークで右手を輪っかにしてヌプヌプのジエスチャーをしていた。メイドとしてではない唯のメスとしての行動かな？幻覚でベル



見た川内は、尻尾を嬉しくブンブン振っていたのだった

隼鷹の親友、川内の下のお口、きつもちいい♡あく♡ようやくだよ♡前から狙ってたんだよ♡川内♡スツキリさせてね？ふ♡♡♡

令司の改ざん記憶では…

飛鷹の旦那。だけど、なかなか満足出来ず、姉の隼鷹に夜ば…をして、開封？そして、隼鷹の親友である川内の事がずっと前から気になっけていて狙っていた。令司はメイド服好き？を利用して捕獲に成功。これらが飛鷹に公認されている？

…こんな感じでしょう。無事に川内とイチヤイチャが出来たのだった

「♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡おっ♡ほっ♡」

「ふう…。隼鷹…。まだ出来るからスルぞ！」

スツキリしたかな？と思っただけど、この部屋にお香が沢山焚かれてるからさ？ムラムラヤツベえのよ！嫁達も？ムラムラマツハ♡えっ？最高なんですけど♡ハッスルするゾ♡

「きや♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡  
スーハー♡スーハー♡あく♡♡オサナナジミ♡好き好き好き大好き  
大好き好き好き♡」

「愛してるよ。隼鷹♡んちゆる♡ん♡♡♡」

メイド服を着たくないって言っていたのに♡着てきたからにはしつかり奉仕を学んで貰おうか♡後、その格好で飛鷹の相手シテね？  
喜ぶよ♡♡！

隼鷹の口移しで昼食をとって川内、隼鷹の順番でハッスル。そして有りもしない生活を喋って？いた様子でした？うん、イチヤイチャし



てるならそれで良いか…な？

イチャラブ？をしていた所にハインリヒとオイゲンのお世話が済んだベルファストが部屋へ入って来て、報告をしてきたのだった

「ご主人様、ハインリヒ様とオイゲン様に昼食を食べさせて来ました。…あら？」

「ハアハア♡んん♡指揮官・オサナナジミ♡しゅきい♡」  
「ふう〜。ベルファスト…、ダブルプリンツを見てくれてありがとう」

若干、肌がツヤツヤしてるね？母乳止まつてる？百合の花が咲いていたのかな？うんうん♡百合は良いよね♡…で、やっぱりベルの首に鎖首輪付けてあげる♡ないと何か違和感があるんよ…。購入は…饅頭達に頼めば良いかも？

饅頭達に伝えれば直ぐ似合う鎖首輪を作るよ！オーダーメイドつてやつです！1人作ったら多分、全員分作るよ！そんな事は分からないかもしれない令司です

「…いえ♡（癒し刑ちよつと楽しんだとは言えません。言霊で動けないから楽でした♡）メイドの仕事ですから。ご主人様♡ご褒美としてご奉仕させて下さいませ♡」

ベルのご褒美としてご奉仕？うん…。えっ？最高なんですけど♡是非是非♡まだまだ元気ですから♡お出で〜！

「…………♡お出でをしてくださり感謝します♡（ハアハア♡我慢しなくて良いのですね♡んん♡また母乳飲ませます♡ちよつとあげちゃいましたけど…）ベル、逝かせて貰います♡アアアン♡（頭、真っ白になるうう♡あ〜♡キスうう♡美味しい♡）」

おっほ♡えっ？最高なんですけど♡最高なんですけど♡んあぁ〜  
♡ビンビンするんじやぁ〜♡突き愛おう♡んむんちゅ♡やっぱ、  
あつま〜い♡美味しい♡

ご褒美としてご奉仕？ああ…、貞操逆転だから女性がリードしな  
きゃ逝けない感じですね？でも大半が令司がリードですけどね？こ  
れも独自の謎ルールに沿っているのかもしれないですね？

そうしてベルファストを昼食のデザートとして食べたのだった。  
鎖首輪の件についてはいつ言うのでしょうか？饅頭達に頼んでサプ  
ラ〜イズ♡でもするんですかね？受け取るベルはどんな反応をす  
るのでしようか？楽しみですな〜？

シリアスの極悪癒し刑の夜までまだ時間があるので、このエロエロ  
マッサージ寮でも探検するのでしょうか？それか夕食、寝る、耳掃除  
をする？などなど。どんな行動を取るのでしょうか？

#### ☆遠い遠い暗い場所☆

「」

「涎、ダラダラで、下の口ずつと噴いてるね？いつ止まるの？ねえ？オ  
ブつち？ピュリつち〜？ねえ？…うん？…あつ、やつぱり？肌ツヤ  
ツヤしてる？そうだよな〜！2人の肌ツヤツヤだよな〜！飲ん  
でからだよね〜！」

「あつ、お帰り〜。止める方法あった？ん〜つ？これは耳搔き棒  
？止める方法と関係ないよね？後は…。…ゴーグル？これも関係な  
いかも？2人に耳掃除したいけどさ〜」

「かひゆ〜…♡かつはっ♡あへ〜♡」

「…危険いでしょ？あ〜？直接飲んじやう？…えっ？何その布  
？へえ〜？それがパンツ…。なくて良くない？あ〜、オムツ替わ  
り！それじゃ履かせよう！」

「これでヨシ！それじゃ固定して貰って…。ピュリつちに耳搔き棒で  
耳掃除するよ〜！カリカリつと♡」



## 集チュー治療室？

プリンツオイゲンとプリンツハインリヒ（別称、ダブルプリ尻・ダブルプリン）の膝枕耳掃除が終わったのは昼食の時間でした

耳掃除しただけなのに、もの凄くエロくなっている2人を襲わずに部屋を出る令司だった。健全ですね？良く我慢しました。ヨシヨシ

昼食を持ってくる宣言したが、ドアに背中を預けて座り込んだのだった。全身汗でびしょ濡れです。スケ乳首してます。息子は限界突破していたのだった

健全が出来なくてビックリするのだった。言霊の解除をしていないのだった。気付いたが放置した。まあ、極悪癒し刑中ですから放置して問題ないです…

これらを盗撮・盗聴しているので、代表？として隼鷹、川内、ベルファストがやって来た。川内の料理を食べる事になったのだった。川内は嬉しさを爆発させていたのだった

隼鷹と川内はメイド服（魔改造）を着ていて眼福。ベルは発情していたのだった。ベルはダブルプリ尻に昼食と癒し刑をする為に来た感じ。令司は、お香が沢山焚かれている別の部屋に案内され、改ざんされてる？生活を再現をする？のだった

昼食を隼鷹の口移しで食べながら川内、隼鷹の順番で開封してスツキリした。デザートとして少し発情が収まっているベルをご褒美としてご奉仕して頂くのだった。変な話の気がしますがね？息子はニッコニコだったとか？

ムラムラ大航海を航海しましたが、夕食の時間にもなっています。令司はどんな行動をするのでしょうか？夜はダブルプリンの部屋へ逝くことが決まっています

☆☆☆

「うふふふふふふ♡あつ？飛鷹から？はい♡もしも？ええ、そうよ♡オサナナジミとね♡ずつぷり♡ええ、ありがとう♡そっちも手に入れ

てるのじゃなくて？おめでとう。あつ、そうそう、飛鷹もメイド服着て奉仕したがってたじゃない♡オサナナジミは受け入れてくれるわよ♡気絶は覚悟しなさいね♡うふふ♡あら、切れちゃった…。うふふ♡オサナナジミはサプライズ好きだったわね♡はあく♡愛してるわ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡

「ふふふ♡尻尾フサフサ♡キラキラしている♡ありがとう♡………♡はあく♡川内は幸せな気持ちだ♡愛してるぞ♡終わった後に耳掃除されて何度果てたか♡一瞬眩しくなつたと思つたら…これが…こんなプレゼント…嬉しい♡愛してる♡愛してる♡」

「あく♡ご主人様♡ご主人様♡スーハー♡スーハー♡愛しています♡愛しています♡長く♡深く♡突き愛いましょう♡じゆるる♡んちゅ♡れるんちゅ♡んつく♡んつく♡んつく♡」

なんか、カオスwwwwそれで絶賛、ベルによるキス口撃を猛烈に喰らつてるであります♡あつまい♡サキュバスの尻尾ないのに見えちゃう♡えっ？なんでこんな事になつているのか？その答えはねえ？

「ぶはあく♡こんな…♡こんな…♡ベルにふさわしい立派で美しくエロい鎖首輪をくださるとか♡清楚ビッチなご主人様は、また最高に幸せなポーズをなされて♡何度メロメロにするおつもりなのですか♡情けなく何度も果ててますよ♡んちゅ♡ちゆるる♡」

喋らせてく！はい、そうです。鎖首輪をプレゼントしたらこうなつた♡まあ、多分？引かれて嫌いになるでしょ？と思つたのにグイグイ来てます♡目の中の♡マーク2つになつたよ！いくつ♡マーク住んでるんだい？3つ？4つ？メチャメチャメロメロしてますやん…

終わった後の会話後に、食事やお掃除してた饅頭達にベルに似合う鎖首輪を♡ごに♡ごによ耳打ちで頼んだらさ？10分かな？いや、5分だったよな…？とにかくメチャメチャ早く作つたのよ！なんか

待ってましたっ！感が、あつただよね〜。ありがとう！

ベルだけのつもりだったんだけどさ？なんと！饅頭達は、このオープン基地全員分作ったのです！凄いね！隼鷹と川内の首にバツチリ付いてます。3人とも装着する時、メチャメチャまぶしかつたんだよね？演出凄いね！

で、ベルにベットへ押し倒されて甘き増し増し増し増しになってるキスをされてるって訳♡キス魔、最高なんですけど♡サプライズ？成功したのかも？鎖首輪がエロい？へえ？そうなの？どういたしまして？あつ、唾液飲むよ〜！ジューズですって！

えっ？令司が基地全員分なのが分かった理由？饅頭達がカンペ：じゃない。団扇に一文字ずつ書いてドヤってたの…。饅頭達ってお茶目なのかな？

饅頭達を横一列に並べ替えたなら『全員分作った♡てへっ♡』だったんだって？文字書けたんだね？そのうち、擬人化するの？…かな？性別はどつちかな〜？

令司は無事、鎖首輪をベルにサプライズプレゼントをする事に成功したのだった。饅頭達もヤツタゼ♡良い仕事した〜♡的な行動や態度をとっていた。オープン基地全員に再度、最高のプロポーズをしたのだった

鎖首輪だけでなく、チョーカーといったお洒落？なモノも短時間で作った饅頭達なのだった。それもそれぞれに似合うチョイスをしたのだった。令司が饅頭達に逆サプライズされたような感じですか？饅頭達、超優秀！

では、美しく？エロい？鎖首輪や、美しく？エロい？チョーカーなどを身に付けた一部のKANSEN達の様子を見る事にしましよ  
う

◇

「くぅ〜ん♡くぅ〜ん♡わうっ♡ハッ♡ハッ♡ハッ♡きやんっ♡  
きやんっ♡きやぶんっ♡わっふ〜んっ♡」

「えっ?ちよっ…、ちよつとっ?!あ、愛宕さん?高雄に満面の笑みで縄を差し出してきて…ど、どうしちゃったの?な、縄でな、何するの?今、演習中なのだけ…どっつ?!?!…うそ…」

「」「」「」

「開始して1分で全員轟沈つ?!?!お尻丸出しでプカプカ浮かんで…。それは…えっ?あつ、ちよっ…。んあつ♡ひやう♡ひいひいひい♡締め付けが♡にや…、にやんでく…!」

「あはは♡令司お兄ちゃんったら、ゆーにも首輪くれたんだね♡ペツトとしてしっかりバツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡をね♡あははく♡」

注)バツキューン♡は、放送事故的な発言でございます。ゆーちゃんは人化する前の獣の何かが残っていたのかな?

「お兄ちゃん♡ユニコーン、良い娘だったんだね?悪い娘と思ってたのに…。愛してるよ♡愛宕さんは…うん…」

ゆーちゃんの悪い飼い主、ユニコーン…。谷間寄せて見せてますよ…!素晴らしいっ!鼻血出しちゃって大丈夫じゃないですね?

「あら?愛宕ったらはしゃいじゃって♡こちらの高雄は別の場所なのよね。演習相手の高雄を縄で縛るなんて…。それで?嬉しいサブライズをリアにも♡ウフフ♡ベルが、ああなっっちゃうのは仕方ありませんわ♡愛してますわ♡指揮官様♡ウフフ♡」

「…:…:…つ。(何もしなくて演習終わっちゃた…。相手…かなり上位の所だったんだけどなく…。つまんない…。セイレーンと遊ぶ方がマシかも…。チョーカー…。グへへへ♡)」

愛宕さくくん?演習相手の高雄になんて失礼な事を!でも、相手の高雄は嬉しそう?相手の高雄は猫耳でしたか…。こちらの高雄が見たら愛宕はどうなったのでしょうか?綾波も居ません…。何処にいるのかな?

イラストリアスの目の中に2つ♡マークが発生しました。それで？サキユバスの尻尾を振った幻覚が？とりあえず、演習してるみんな喜んで鼻血出してくれて逝っています

演習、お疲れ様。相手の指揮官には…、ごめんなさい？です？男性が貴重世界だから、指揮官は当然、女性でしようね？

◇

☆遠い暗い場所☆

「うがあゝゝつ！眩しいのだゝゝつ！なんなのだゝゝつ！夕立に不意打ち攻撃するなんて！ガルルつ！なのだゝゝつ！はあはあ…：うん???(鎖首輪?)…：…：つ♡わつぷゝゝなのだゝゝ♡」

「…：…：つ!!!（あゝゝつ！無性に愛宕を弄り倒したいっ!!!早く帰ろうつ！とりあえずこいつにつ！首輪、チョーカー…。グへへ♡）」

「うつきゅゝゝ…（痛いっ！痛いっ！弱ってるってばっ！縛られてるつゝゝのっ！投降したよねっ?!?!?あんたらオープン基地所属でしょ?!無理ゲーだつてばっ！あゝゝ…。ニーねえの所にずっといれば良かった…。なんか下の口、ムズムズする…。どうしちゃったんだろう…?）」

「…ふう…。35番?テスター?かな?…：を、弱体化させて持ち帰れるようになったわね?これで…♡…んっ?…あら?ピツピ?首にエロいチョーカーなんて付けていたかしら?似合ってるわよ」

「ビス姉え…、ありがと…。一瞬眩しくなって、終わったら付いてたのよ…。姉えにもエロいチョーカー付いてるわ。似合ってるわ。…：…つて?!これ、令司兄様のプレゼントよっ！きゃゝゝつ♡んんんゝゝつ!!!ハアハア♡ウフフ♡」

「そう…。…：…：…：えっ?れ、令司兄様のプププ、プレゼント?ほん…「ハイ♡これ見れば♡」…：…：つ!!!あはは♡うふふ♡令司兄様がこつちの世界に♡いらっしやい♡令司兄様♡楽しんで頂戴♡あゝゝ♡こんなエロい素晴らしい♡サプライズプレゼント♡愛してるわ♡ハアハア♡ハアハア♡」

「ぎゃ、逆サプライズ…♡大鳳のハグで逝くと同じくら…、いや。



それ以上の幸せを感じる〜♡うえへへ♡滾る〜♡」

「……………っ！（あ〜…。なんかやつば〜い…。全員の中、♡マーク。しかもなんかエロそうな尻尾がブンブン振ってる気がする…。令司兄様？あ〜…。オブちゃん辺りが騒いでる男性だね？…男性…。男性っ?!あつ、終わっちゃったな〜…）」

「それじゃ、みんな♡基地に帰るわよ♡令司兄様♡待っててくださいね〜♡」

「…「はい♡早く帰ろう（なのだ〜）♡」」

「（ひやうっ♡早い早い早い〜!!ひゃん♡）どこ触ってるの〜！」

暗い場所で急に眩しくなれば、そりやジタバタしますよ？でも夕立以外の綾波、高雄、ビスマルク、テイルピッツ、アルバコアは平気だったようですな？夕立の鍛え方が甘いのかな？夕立は耳と尻尾をブンブン振って大喜びしてます

逝けどりに成功したんですね？おめでとうございます。これで少しはセイレーンの情報をヌキ取れますね♡35番テスターは強く逝きましよう！

ここまでお散歩しに来ました♡感がある。みんな笑顔で鼻血出しながら帰投します。血、足りなくなるよ？ムラムラ？が凄い事になったのかな？令司、出番ですよ！

今日『も』元気いっぱいムラムラしてる？KANISEN達なのだった…。最高のプロポーズでドレッツデレのようで良かったですね♡饅頭達に頼んで良かったじゃないか！



「ハアハア♡ハアハア♡ああん♡ご主人様〜♡愛してる♡愛してる♡愛してる♡あ（プスっ）Zzzzzzz…」

「うふふ♡グツタリしてるベルファストに代わってシリアス。エロエ

ロマツサージ寮内でデートしましょう♡誇らしきご主人様♡」

「そうだな。デートしようか。よろしく、シリアス」

「んんんっ♡ハイ♡誇らしきご主人様あく♡♡シリアスの自慢のお尻と…んっ♡尻尾を優しく撫でるなんて♡まだ、夜じゃないですよ♡♡ハアハア♡んんんっ♡」

「おつと…。失礼…。それじゃデート始めようか♡」

隼鷹と川内はベルとのイチャイチャ中に去って逝きました。あつ、去る前に舌を入れるキスしたけどね？で、床に垂れたのを饅頭達がすっかり全部食べましたよ…。本当に凄いよ…

ベル、何かを打たれるなんて…。ゆっくりお休み。シリアスがエロ過ぎるのが逝けない。ヨシ。エロデートしましょう♡あく、サキユバスの尻尾、やっぱリスゲくくよ♡

エロの権化？であるシリアスがエロマツサージ寮にヤツテ来た。早く誇らしきご主人様に会いたかったようですね？挨拶で谷間を寄せて見せてくれたのだった。観パイ♡

当然？両目の中は♡マーク3つで、サキユバスの尻尾を器用に♡マークにしてブンブン振っていた。メスフェロモンメチャメチャ撒き散らしていました♡

イヤらしき美爆乳を何度も観パイする令司なのだった。ベルと大運動をしていなきや、デートそっちのけだったでしょうか？…まあ？エロエロマツサージ寮なので？直ぐ何度も逝けると思われます？無茶？しますね？

「うんうん…。……………??？」

「ここがくくくつで、ここが、足のマツサージ部屋…。ハアハア♡……………??？どう…んっ♡されました？誇ら…し…きご主人…んっ♡様？ハアハア♡(フェロモンしゅい♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡ああん♡我慢するって素敵ですくく♡あくくつ♡誇らしきご主人様の汗♡舐め回し

たい♡でも我慢♡)」

「あつ、ごめん…。ごめん…。こここの部屋が気になってね？」

上半身裸でデート中だぜ♡汗凄くかいてるんですもん…。はあ♡シリアスの尻尾、マジ最高♡足のマツサージ…。これは何度目か分からないが、新しい扉を開く事になりそうですね♡んもう♡扉壊れてるよね？全壊だよ？ボロいなあ♡…

恋人繋ぎをしながらエロエロマツサージ寮の説明を聞くデート？をする令司とシリアス。…ではなく、シリアスの尻尾を握ってデートをしているのです。そんなんで良いのか…シリアスう…

メスフェロモンしっかり撒き散らしています。流石サキュバス♡しかしメイドの方を優先しています？しっかりしているね？なお、心の叫び？は凄く我慢を連呼してるんですけど…

令司もしっかりオスフェロモン撒き散らしています。汗など？で、サキュバスの性欲を煽ってる感じ？そして何か気になる部屋を見つけたようです？

「集チュー治療室？」

えっ？集『中』治療室じゃなくて、集『チュー』治療室？これもマツサージ？…治療って書いてあるんですけど？あつ、もしかして癒し刑の方かな？うわ…。下の隙間からピンクの霧が漏れてますよ？エッチいですやん…

チューだからキス？しまくり？もしかして？もしかすると？キスだけで簡単に逝けちゃう感じですか？…えっ？そんな事あるの？う…くん…。こつちが沢山情けなく逝かされそうですね…？

「ええ…。そこは集チュー治療室ですね？その部屋が気になった感じですか？誇らしきご主人様？なら、入りませうか…。1つか2つの部屋の中を見て貰いたかったんで丁度良いですね♡夜までこの部屋

を堪能して下さいませ♡後の部屋も生活が慣れて来た時に楽しんでくれれば良いですから♡」

気になった部屋は、集チュー治療室。ピンクの霧に気をとられてますが、何故か饅頭達がしつかり警備しています。しかも電気にメチャメチャ強い感じの見た目をしています。雷属性って奴ですね？厨二病患ってる？

集チュー治療室は結構危なめ？エロエロマツサージ寮なのに？令司とシリアスはそんな部屋へお邪魔するのだった

☆☆☆

「お邪魔しま〜す…。「ハアン♡ムリムリムリ〜っ!!!ダメえええ〜♡」って…。うお〜っ?!?!あ、あつぶなかつた〜。シリア…いやいやいや…。え〜?」

「ああ〜ん♡良い感じのビリビリですね〜♡流星です〜♡しつかり治療して下さいね?誇らしきご主人様♡出来ますから♡雑魚ですから♡うふふ♡」

お邪魔して早々、電気の塊を喰らいそうになったよっ?!メチャメチャ危ないじゃん?!シリアスはビリビリ避けずに喰らってるし?!気持ち良いって満面の笑みで言うなんて…。えっ?雑魚なの?ええ〜?!!

どこが良い感じなの?どこぞのポケット以上に強めだと思っただけどっ?!風呂の方のビリビリは弱かったと思うよ?エルドリツジっ?

あ〜…。ドキドキで、ムックリしちゃったじゃないか…。こんの…ウへへ♡する所かい?キュっ縮こまるでしょうよ!

俺、もろ受けしたらこんがり逝っちゃうからねっ?!まだいっぱい遊べるっ!をシタイのよっ?!ガンガン逝こうぜっ!は間違いですよっ?!ここは命大事に。だよっ?!ねえ?ねえ?聞いている?ねえっば〜?

息子の声↓効いてる効いてる♡エルドリツジのシチュエーション  
最高にエツロいじゃん?うえへへ♡あつそびましよう♡

「……………えっ???ち、治療…?えっ?えっ?はっ?えっ?ちよっ?えええ〜?」

上手にこんがり焼けました〜♡が出来ちやうエルドリツジを治療?えええ〜…?あつ、エルドリツジの姿…エツロい♡あつ、他にもいますね〜?

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡  
んあああああああああああああ〜♡ヤアヤアヤア♡」  
「あら?あらあら♡坊や?この世界に来たのね?ようこそいらつしや  
い♡寝付けないのなら子守唄を歌いましょうか?うふふ♡エルド  
リツジったら、本物に電気を当てようとするなんて♡過激な求愛ねえ  
〜?もう結婚指輪してるじゃない♡クスクス♡あつ、そうよ♡ビリ  
ビリ攻撃もつと頂戴♡」

「はあ…。いい加減、慣れて欲しいですね…。何度も等身大の指揮官  
様の抱き枕をダメにして…。ここは治療室ですよ?自宅化してる  
じゃないですか…。まあ、一種の癒し刑で最狂ランクですけど?天城  
にはもつと強めに当てて欲しいですね〜。制御の特訓になります  
からね♡ん〜♡まだ弱いですよ〜?」

「うん…。来たよ…。等身大の抱き枕?そんな…のお〜つ!?!おおお  
〜…」

等身大の抱き枕がいつぱいボロくなってる…。こんがりと逝って  
るって感じじゃない?大丈夫そう…。…って凄くそつくりじゃない  
?!アンドロイドか何かかな?うわ〜。へえ〜?

うっわ?!奥の壁辺りに新品が何体いるの?軽く500…かな〜  
?え〜?よく積んだな〜♡これもダメにする感じだった?これ  
どうやって作ってるの?饅頭達の不思議パワー?

おおくく…。フリードリヒ・デア・グローゼじゃないか…。ええ？  
サキュバスの尻尾あるうくく…。エツロい♡片目メカクレ美巨乳つ  
て良いよねえ♡あつ、隠れてるのは左目だよ。尻尾で♡マーク作るつ  
て器用だよねくく♡尻尾噛んで良い？

えっ？ちよつと？天城?!最狂つて言ったよね?!大丈夫じゃない  
じゃん?!エルドリツジ?!少し電圧・電流弱くしてえええ?!キス出来  
ないじゃない!

あつ、天城、着物似合ってるよくく♡コレは花魁粹ですつて♡花魁  
粹沢山居てオツケー♡今度は是非違う服装でお願い!セーラー服と  
か!ナース服とか!色々着て下さい♡

んで…。天城は狐耳でサキュバスの尻尾があると。狐淫魔だったん  
だねくく?

えつと?確か?美巨乳だったと思うのだけど?なんとつ!美爆乳  
♡最高ですう♡何それ?エツロい♡流石サキュバスです♡…で、尻尾  
で♡マークを作ると…。サキュバス達の必須スキルかな?求愛して  
る?受け入れますう♡

えっ?令司?キスするの?な状態です。しなきいけないんですよ  
?そう♡この部屋に入ったらドアがロックされて出られないんです  
♡

垂れ幕に『キスしまくらないと出られないゾ♡逃がさん♡』とあつ  
た。頭、悪過ぎですよ?そして小さく、口以外でもオールオツケー♡  
と書いてあった。首筋にキスマークをつけるとかかな?身体中にキ  
スマークを付けるのも可?

令司が突っ込んだ説明をしていないエルドリツジは貧…。ゲフン  
ゲフン…。美巨乳でございます。しっかりと育てたんですね?おめで  
とう!…で、囚われのお姫様状態なんです。エツロイんです。サキュ  
バスの尻尾あります♡

囚われのお姫様状態の説明をすると、万歳状態で両手を壁に固定、  
そして両足も大の字で壁に固定されてるんです。良くある?エロ  
ゲームの敗北シーンです?良くあるつて…

それでエルドリツジはゴーグルを付けてます。ゴーグルの中の令司とキスしようとしてダメだったんですね？ビリビリを暴発させたと…。ふむん…。立派な牙が見えますね。

グローゼ、天城、シリアスがエルドリツジのビリビリを笑顔で受け続けているので、だいぶ弱くなって逝きました？令司！チャンスだぞっ！イツケくっ！

あっ、ビリビリ弱くなってきてる…。ヨシっ！逝こう！

「ゴクリ…。エルドリツジ？逝くぞ？」

「ハアハア♡ハイ♡逝ってらっしやいませ♡坊や・指揮官様・誇らしきご主人様♡」

令司っ！気合っ！イレてっ！逝きますっ！

どこぞの娘の掛け声を出して弱くなったのを見逃さずに集チュー治療を開始するのだった。さて？エルドリツジはどうなるのでしょうか？

☆☆☆

「ハアハア♡んむっ♡んくく♡んむくく♡んんんくく♡んつぐ♡んつぐ♡んつ♡んつ♡んくく♡」

ふおくく→囚われのエロいお姫様にビリビリ攻撃されぬ…。良かったく！超が沢山つく程に苦いです…。これを甘くなるまでずっとキスをする感じなのかなく？うん。そうだね…。これは立派な集チュー治療室ですね…

ヨシっ。ドンドン逝こう！苦いの欲してましたからねく→苦い！不味いっ！もう一杯っ♡的な奴ですよ…。あっ、立派な牙がある…。えっ？これでガブとされて血吸われる感じ？後で献血してあげ

る♡お出で♡

無事、サキュバスで電気属性、立派な吸血する牙がある美巨乳のエルドリツジのファーストキスを貰う事に成功した令司。ビリビリ攻撃はされない。おめでどう！味は苦いようです！

えっ？口撃が待ってるんじゃない？心配入らないでくす♡

「あらあら♡坊やのキスで何度も果てるわね♡ファーストキス出来たわね♡おめでどう♡涙目、茹でダコ状態じゃない♡クスクス♡グローゼに強めに電気当てて来ちゃって♡照れなくて良いじゃない♡あゝ♡気持ち良いわ♡じゆるる♡」

「うふふ♡そうよ♡もつともつと強めに天城にあつたつて頂戴♡エルドリツジだったら嬉しくなつて尻尾を器用に使つて…。あら♡まあ♡指揮官様つたら♡清々しいほどのカッコ良い清楚ビッチで♡ハアハア♡ハアハア♡ジュルリ♡それ、頂いてもよろしいですか♡あつ、その前に♡」

「ハアハア♡ハアハア♡誇らしきご主人様のエロいお姿♡もう夜まで我慢出来ません♡このシリアスが♡ご奉仕させて頂きます♡プリンツオイゲン様とプリンツハインリヒ様もしっかり奉仕させて頂きますね♡うふふ♡」

エルドリツジは令司のキスで何度も果てています。シリアスの言葉通り雑魚だったようです…。そしてサキュバスの尻尾を器用に使つて令司のズボンを脱がしていくのだった。息子、ご対面くす♡

「んぷあ…。あゝくす♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡」

天城?!清々しいほどのカッコ良い清楚ビッチって何い?!頂いちやう?どうぞ?頂いちやう?エルドリツジくす?エルドリツジさんやゝ?囚われてるけどサキュバスの尻尾で器用にズボンを下ろすのはどうなの?凄いな?



あぐつ?!う…動けねえ…。あ、あか…ん…。みんなの両目の中の♡マークが3つだし、もの凄く尻尾を♡マークにしてブンブン振ってる。後、メチャメチャムラムラする♡サキュバスのフェロモン全壊?それかレイシニウムとか良く分からん成分で煽っちゃた系?

「んは…。ハアハア♡ハアハア♡愛してるう♡令司様あゝ♡」

「あ…ああ、愛し…んむゝゝっ!?!むんゝゝっ♡」

「じゅるるっ♡れるちゅ♡チュツチュ♡んゝゝっぱ♡れちゅんっ♡んつくんく♡」

んあゝゝっ♡苦いの次はカラアああいつ!!!痛いっ!痛いっ!超が沢山付く激激辛あゝゝ!なんで…なんで?息子よ?元気になっちゃうのよゝゝっ!サキュバス特有のフェロモンに当てられたゝゝ???

息子の声↓わっしよい♡わっしよい♡わっしよい♡グへへへ♡ムクムクするんじやい♡それぞれ♡早よお!!!早よお!!!早くシようよゝゝっ!!!

はい♡バツチリとwww

天城も無事、令司にファーストキスを捧げました♡サキュバスの尻尾を嬉しくブンブン振り回しているのだった。狐耳もピコピコ振っている。可愛いです♡

「んはあ♡うふふ♡指揮官様にファーストキスを捧げましたわ♡それで…」

「あ…あみや…ぎ…。ハアハア…。んつぐ…。いひや…い…よ…。ハアハア…」

「グローゼのファーストキスを坊やに捧げるわ♡もう分かかってると思うけど、グローゼも集チュー治療物なのよ?それでね♡夜?ダブルプリンとハッスルする前にたあーっぷり♡グローゼ達を愛して頂戴♡子守唄歌って元気にするから♡うふふ♡んちゆるる♡チュツパ♡

チュツパ♡」

うっがくくっ!!!しょっぱくくいつ!!!うえ?!カラアい!!!辛くてしょっぱいのおくく?!?どうなってるのよくくっ!...うん?苦いつ?!?苦い苦い苦い!!!

しょっぱ、カラア!にがあいつ!トリプル役満つ!トリプル役満つ!で、何故かムラムラするの♡

「んはあ...♡...幻滅していいわよ...。でも...坊や事、愛してるわ♡グローゼの治療は最後にお問い合わせするわ...。もう、シリアスの下の口が我慢出来ない感じだからね♡」

「ハアハア♡それでは動けない誇らしきご主人様にご奉仕をさせていただきます♡んちゅ♡チュツパ♡ちゆるじゆるるる♡♡」

あはは♡スツゲくくあつまくい♡ヨシっ!エルドリツジ、グローゼ、天城!かかってこいやあくくっ!!!息子おおお!!!抜錨おおお!!!たっぷりハツスルせえよくくっ!!!

息子↓ハアアアアイっ♡ハツスルハツスルくくっ♡

「あああん♡誇らしきご主人様くく♡愛してます♡愛してます♡ハアハア♡んんくくっ♡ちゆるる♡んんくくちゅ♡♡」

令司の息子はサキュバスKAN隊に甘々?抜錨をしたのだった。これより?令司による集チュー口撃を始めるっ!!!治療室内のピンクの霧濃度が上がるのだった。令司...強く逝きてね?

夜、ダブルプリンの所へ逝けるのでしようか?

☆遠い遠い暗い場所☆

オブザーバーとピュリファイヤーの介護疲れ?な?ニーねえ...。部下が持つてきたゴーグルでの耳掃除で癒された?

「ひゅ〜♡ひゅ〜♡かつは♡」  
「んほあ〜♡なんか両耳からすっごいモンが取れた♡汚かったんだね〜♡? ゴーグル1つだけ? あっ、沢山あるんだ? どれどれ? あっは♡ウチ、男性と手繋いでデートしてるよ♡ 貴重な男性の顔は良く見えないあ〜♡? 2人が良く言う? 令司様? の顔を知らないんだよなあ〜♡?」

放置スキルを見につけたようです? 部下がそんな2人にピッタリなシチュエーションのゴーグルを付けたようです。まだ嘖きまくっています♡

「……………♡ふみゆ〜♡Z Z Z Z Z Z……………」  
「あっ? ウチのおっぱいを揉みたい? どうぞ? んきや♡えっ? ごめん? いや? こっちこそごめん? 続けて? んっ♡ハアハア♡」

おや? ニーねえが堕ちて来てる? 間接的に攻撃をしていたようです? 令司、サツサと幸せにしてやれよ〜?  
今日も? セイレーンは平和です?

これが、極悪癒し刑…。ゴクリ…っ

シリアスとエロエロマッサージ寮をデートしてる最中に、気になる部屋を発見したのだった。そこは集チュー治療室。雷属性の饅頭達が警備していたのだった。シリアスが入るよう提案？してきたので、部屋に入っていくのだった

お邪魔したら挨拶代わり？としてエルドリツジのビリビリを喰らいそうになった。シリアスは避けずに受けて気持ち良い発言をした。淫魔だからかな？

囚われのお姫様状態でエロいエルドリツジなのだった…。そして立派な牙があり美巨乳です♡饅頭達が必死にビリビリを掻き集めて作業をしていた。お風呂に回すのかな？

部屋の中に居たのはフリードリヒ・デア・グローゼ、天城、エルドリツジ。この3人にはサキュバスの尻尾がある。淫魔、追加されました♡良かったじゃない♡

闇マツマ、夢く危ない未亡狐、電気姫であり吸血姫…。属性がてんこ盛りな淫魔達です♡息子はウハウハしていたのだった。タフですね…？

部屋の中に入ったら出られない仕様だったので、覚悟？をキメて治療を始めたのだった。ここ、集チュー治療室にいるので3人のキスのお味は甘く無かった。苦い、しょっぱい、辛かった

グローゼのキスで全部を体験した令司なのだった。あつ、3人の味でもムラムラの効果はしっかりあります♡流石サキュバス♡シリアスとのキスはメチャメチャ甘いので、参考にしようかな？と思った令司なのだった

治療の順番はエルドリツジ、天城、グローゼで進めるのだった

そして、遂に我慢の限界がきたシリアスと運動会を始めたのだった。運動会の前にサキュバスの力で動けなくされたのだった。犯人はグローゼと天城です。2人は自分達の尻尾を舐め回すのだった。サキュバス流のアピールでもしてるんですかね？結婚指輪してるじゃない…

運動会をしつつ、治療もしつかり続けるのだった。夜にダブルプリンと会えるのでしょうか？強く逝きヌケたのでしょうか？

☆☆☆

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡制御：出来るようになった♡んちゅ♡うん：甘い♡それと吸血させてくれてありがとう♡愛してる♡んちゅ♡えへ♡苦いのだよ♡」

「そうね♡坊やの治療で制御出来るようになったわ♡んちゅるる♡んふ♡辛いのを流したわ♡愛してるわ♡んちゅ♡今度はしよっぱいのを♡うふふ♡今後キスする時が楽しみね♡」

「うふふふふ♡これで治療完了♡愛してるわ♡指揮官様あ♡んふ♡服装を変えたら態度も豹変するなんて♡素敵な開封されましたわ♡愛してるわ♡」

「誇らしきご主人様あ♡誇らしきご主人様の誇らしきご主人様にご奉仕出来て、シリアスう♡幸せですう♡愛してます♡愛してます♡んちゅ♡♡ちゅルル♡」

結論：無事逝きヌきました。夜になってダブルプリンとの逢瀬の時間です♡ようやく極悪癒し刑が見れるぞ♡まあ、サキュバス達との運動会の方が、極悪癒し刑になってると思いますか？

………ふうふう。メチャメチャ汗掻いたく♡なんか神様？らしき方々がメチャメチャ騒いでたなく♡？天国にイカせてくれなかつたよ……。後、ちよつとだったのに……。まあ、記憶がボヤけてるからそんな気がしてるだけなんだけどね？

あつ？もう、夜じゃん……。ダブルプリンの極悪癒し刑を見るぞ♡それで：息子よ……。強いなあ……。♡サキュバス4人が相手だったのに……。まあデレデレするのは分かるっ！最高だもんな♡綺麗な噴水を……。うへへ♡

エルドリツジは、うん……。簡単にキスで面白い位に何度も果てたね……。ビリビリ喰らわなかった……。良かった……。けど、全部3人に当

ててただけどね？後、ビリビリも制御出来るようになって良かった良かった…

吸血行為、エツロかった♡お返しでエルドリツジの身体メチャメチャ噛んだぜ！喜んでくれて良かった？のかな？

グローゼと天城も最高に気持ち良かった♡子守唄じゃないでしょ？寝かせる気ないじゃん…。天城は…甘城になったな♡はあ…しゅき♡結婚しよう？…あつ、してたわ♡

みんな、ありがとう♡幸せ者だぜ♡うん。みんなしつかり味を変えて来るね？治療完了して良かった♡これが治療で良いのか？と思うけども…。さて？出られるかな…？おつ…。出られるぜ♡ヤツタぜ♡

無事、治療が完了しました。それぞれのキスのお味に甘さが加わりました。それ治療って言えるの？まあ？制御出来て味を変えられるようになったから良かったですね？無事に部屋から出られるようになります。シリアスとデート、再開出来ますね？

「それじゃ、ゆっくりごはんなどをとってね？お休みく。愛してるよ♡」

「はい♡坊や・指揮官様♡お休みなさいませ♡愛してるわ♡」

「スーハー♡スーハー♡はむん♡れるん♡ちゆるる♡チュパチュパ♡ちゅゅゅゅ♡」

「誇らしきご主人様、エルドリツジ様をおんぶしたままプリンツオイゲン様とプリンツハインリヒ様の所に戻りましょうか♡極悪癒し刑の時間ですね♡うふふ♡楽しみ♡」

「そうだな…。エルドリツジ？このままダブルプリンの所に行くぞ…？堪能させて貰うわ…」

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡…うん…♡堪能して…♡れるん♡…♡」

エルドリツジは首の匂いを嗅いだ後、牙を引つ込めて肩を甘噛みす

るのだった。出し入れ出来るんですね？これも最中で習得したのかな？それとビリビリが漏れていません。令司の完全勝利ですね♡尻尾をずっと♡マークです。時々、振り回しています♡

ダブルプリンのお部屋に向かう令司達を追う？前に、集チュー治療室の行為を覗いていた一部を見る事にしましょう

☆☆☆

◇

「ごくごくごく…、ゴクン…。あら！旦那様つたら集チュー治療室で、極悪最狂淫魔3人に沢山キスして完全に治療に性…成功したわね！おめでとう！これから、お祝いとしてキスデーを作ってハッスルしましょうか！ねっ！ニユーカッスル！」

「ええ…。そうですね。クイーン・エリザベス様。エルドリッジ様、天城様、フリードリヒ・デア・グローゼ様は淫魔なのに甘いのを出せなくて、強烈な催淫キスフェロモンを全壊にしてキメまくってましたからね…。ファーストキスを奪われるかと思いましたがよ…」

「あら！そうなの！でも、みんな理性が働いててファーストキスを旦那様に届けたわよ！平和よ！」

「3人ともファーストキスをあげられて嬉しくなつて尻尾振りまくつて可愛かったですね。（陛下…。ニユーカッスルを椅子にするのはどうかと…。それで、しれっと無表情でやってのけちゃうんだ。で、椅子のまま優雅に紅茶飲んでるよ…。えええ…。まあ、治療室に足を運びたくなっちゃうフェロモン出してたからなあ…。警備頭達が生なかつたら…。ヤダ！嫌われるっ！）」

「ごくごくごく…。ふう…。うん…。最狂ランクの極悪癒し刑の執行サキユバスだから…。ヒック…。ごくごく…。みんなこれは受けたくないから頑張れたんだよな…。ヒック…。せいぜい、ヒックパーが出した癒し刑が最高かな？ヒック…。ゲエツぷ…」

「フツド様、もうビリビリ酒を控えるべきかと…。ご主人様にファーストキスに開封行事…。キュラソー楽しみです♡うふふ♡あつ、キュラソー、サキユバスですけどちゃんと甘いですよ？お3方が特殊なん

です。シリアスも特殊寄りですけどね…。れろん…」

ニューカッスル…。椅子になるなんて…。それでエリにお尻撫でられてるぞ？エリは美爆乳をテールブルに乗っけて寛いで？るし…。そして極悪最狂淫魔というパワーワード？が出ちやったよ？えっ？令司って凄いですね?!

キュラソー…。想像したのかサキュバスの尻尾を♡マークにして舐めた後ブンブン振り回し。それに美爆乳をプルンプルんさせて眼福だぞ♡フツドは…触れないでおきます…

◇

「加賀せんぱあい♡天城さんの治療が完了したので、これでバツキューン♡バツキューン♡が出来ますね〜♡うふふ♡これに瑞鶴も混ぜちやおつと♡指揮官の目の保養になるわ♡後、こんなエロくて美しいチョコレートをくれる最高のプロポーズ♡優しい♡うふふ♡愛してるわ♡」

「モグモグ…。ゴクン…。…。やめてくれ…。極悪癒し刑を受けるような態度とかは取った覚えはないぞ…。天城さんは、かなり飢えていたからな…。凄く乱れっぷりで目が離せなかった…。凄く…濡れた♡あ〜♡バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡」

「へえ〜？ようやく帰って来たら、面白い旦那様がこつちの世界に降臨されてたんだ♡戦艦加賀の初めて奪ってくれ♡勝手にキスデーを作るっかな♡」

「お帰り…戦加…。…2人ともひつつかないでくれるか？ひやうっ?!」

「バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡」

「何っ?!遠い海域に居たからバツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡なのは見れなかったぞっ!まさか…裏切ったのかっ?! まあ、冗談だけど…。それで、このエロいチョコレートという最高のプロポーズでみんな色々ハッスルしまくりだったよ!旦那様!会えたらよろしくお願いする!」



「ハアハア♡そんなバツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡なのは〜♡うぎい?!し、搾るなあ〜♡つ♡ヤア〜♡」

「ふ〜♡つ。サツパリスツキリしたわ〜♡あら？戦加お帰り…。指揮官様あ〜♡天城様を治療して赤城は嬉しいですう♡で、空母の加賀つたらじゃれちゃって♡混ぜて貰うわ♡」

「ひやつ♡んなつ♡あ〜♡つ♡」

「うふふ♡指揮官様専用の料理や風呂に回しましょうかあ？」

「さんせ〜♡い♡」

あらあら…。空母の加賀つたらモテモテだね？戦艦加賀、居るんだ…。略して戦加ね…。成る程…

戦加は褐色美爆乳で、狐耳のサキュバスの尻尾であります♡狐淫魔でしたか♡メイド服、似合ってます♡正装かな？

翔鶴は嬉しくなったのか放送禁止用語連発してるよ…。戦加も驚いて悪ノリ？を…。瑞鶴〜！止めてやれ〜！何処に居るんだ〜！

こんな感じ？で、あちこちで百合の花が咲き乱れて？いるとか？オープン基地はムラムラしてるけど平和ですねっ！

◇◇◇

☆☆☆

拘束されているダブルプリンンの部屋に到着しました。どうなっているのでしょうか？たつぷり、エルドリッジの美巨乳を堪能したのだった

◇

「はあ…。やっと夜ね…。オイゲン…。もう懲りて断酒しなさいよね…。エルドリッジが参加するとか良いもの見えるわ…」

「…なんかヒツパー、肌ツヤツヤしてるわね？後、ウキウキソワソワしてる…。良いもの見えるわね…(ザラも何となく分かるわ…。その気持ち…。ホノルルの時そうだったもの♡あつ、遠征行かなきゃ…。海

の上で見させて貰うわ♡危険な感じするわ…」

ヒッパーにザラ？テーブルに乗せて谷間を見せつけてウキウキしちゃって…。頭、大丈夫じゃないですね？何処かで見てもらいましょう？

◇◇◇

「入るぞ〜。…って、これは…大丈夫じゃないですね〜…まあ、言葉魂を解除しなかったのは悪いと思ってるけど…。もう動いて良いぞ…」

「ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡はっ♡はっ♡（やつと動ける…。けど…。あ〜…。逝きたい逝きたい逝きたい逝きたい逝きたい逝きたい〜っ！）」

全裸で血涙をずっと流してたんだね…。下の口は濡れてもいないと…。沢山ビクビク震えてたのに…。紙通りで1度も逝けてないんだ？それじゃ凄く溜まつてるじゃない…？潮噴き凄いいんじゃない？知らんけど？

おっと？『ベル♡』って書いてある母乳バケツが散乱してるよ…。床に溢れてるし…。ええ？綺麗にして帰ると思っただけど？饅頭達も綺麗に掃除してない…。えええ…？どうなってるの？

「??何？指揮官？プリン達は極悪癒し刑を受けてるの？エルドリツジ…、手伝う…。むふ〜♡」

「あら？エルドリツジ様が手伝う？ありがたいですね♡楽しみましょ♡うふふ♡あつ、紙を見ますか…。どれどれ？ヒッパー様の刑の終了条件は…。……………はい♡畏まりました♡たっぷりと粘液を出して…。ううん…。ここの部屋の液体に混ぜて…。♡ハイ♡ヌリヌリ逝きますね〜♡」

「…うん。はい…ビリビリ…逝くよう…あつ？……………ハインリヒはかなり弱め。で、オイゲンは全壊で♡ゴー♡」

「んえ…？…んあ…♡ ああああ…！！！」

「ヨシ♡ヨシ♡シリラスにお任せ下さいませ♡…♡」  
「あはっ♡楽しい♡」

ヒッパアの刑の終了条件？どれどれ？…えっ？読めないんですけど？う…くん？とにかくエロい内容だったんだろうなあ…。楽しい所を邪魔しないように静かに部屋の中を観察していますか…

おお…。ゆーちゃん紹介のマッサージ部屋で勉強したよりも上…『超上級者♡』の本ばかり…。タイトルも危なめ？うん。ここ、危ないね？

あつ、夜食発見…。頂きます…。モグモグ…おいヒイ♡エルドリッジにシリラス、楽しく百合してるね…♡眼福♡眼福♡ダブルプリン、エツロい声あげちゃって♡もつと聴かせて♡

令司が終了条件を読もうとしても読めなかった。そりゃ、KANSEN達にしか分からない言語で書いてますからね？

呑気？に発見した夜食を食べるのだった。この夜食を作ったのは隼鷹です。饅頭達の不思議パワーで保温バッチリなのです！

「……………」馳走様でした。美味しかった。で、ダブルプリンの状態…はあ…♡うっは♡えっ♡ちよっ♡エロイ声を沢山出してたけどね…。コレは…♡」

『終了条件を満たしました。後は、バッキューン♡バッキューン♡バッキューン♡をして下さい♡』

「」

「出来上がった（りました）♡指揮官・誇らしきご主人様♡仕上げをどうぞ♡」

「これが、極悪癒し刑…。ゴクリ…っ」

楽しい百合ん百合んの時間が終わったようです。ダブルプリンは、それはそれは素晴らしいエロさを醸し出しています♡ようやく濡れたようですよ？

「エルドリツジとシリアス、お疲れ様。仕上げ？あつ、はい…」

いや〜。ご飯食べながら楽しい百合を見てたよ？極悪癒し刑つて素晴らしくエツロいじゃないか♡うん。まあ、そりゃ罰になるよね〜？天城達とハッスルしまくったのに元気になっちゃったよ♡遅しい！

ムラムラ、オサマンナイノ…。スゴくイタイノ…。ダイブ、コウイウコトニ、ナレタトオモツタノダケド…。タスケテ…

ふう〜。あ〜あ〜？ナニソレ？2人の下の口？ぜって〜ヤバイじゃん？語彙死んじやう奴じゃん♡速攻、刈られる奴じゃないのん？ねえ？ねえ？仕上げ過ぎだよ？はしやぎ過ぎたね♡

あつ、でもエルドリツジとシリアスはサキュバスだから簡単に刈り戻せますね？…なんだあ〜、蘇生方法バッチリだね♡うん、逃げられないねえ♡

あ〜…。明日の俺、ファイト…？あつ、ムラムラやっば〜い♡わあつてるよ？ちよつと待ってて…。って、痛いからっ！早く脱がすから！こらっ！聞けって！イテテ！

エルドリツジとシリアスが楽しく百合ん百合んをシテ、ダブルプリンを最っ高なエツロい状態に仕上げる事に成功したようです。それを見てた令司は、それはそれは素晴らしくムラムラしていました。令司も仕上がってたんですね？頑張る貴殿は美しい♡

「ハアハア♡んっ♡ヨシっ。抜锚しますっ！ハアハア♡」

「ハイっ♡誇らしきご主人様の誇らしきご主人様で刑を終わらせて下さいませ♡」

「んっ♡エルドリツジ…、指揮官のサポートしっかりスル…。じゃ、早

速サポートするね?はい…。もみゆつて…ビリビリ♡  
「……ほあつ?エルドリツジ…?ナ…:にいいつ?!」

あああああゝゝ…♡これは♡あははははは♡これは♡これは♡  
アツハハハゝゝつ♡んゝゝつ♡漲つてくゝゝるゝゝつ→→ヒック  
♡ヒック♡ヒック♡キャハハハッ♡

「あら♡誇らしきご主人様つたら♡アハハ♡ハアハア♡ハアハア♡  
…ヒック♡愛してます♡…ヒック♡」  
「ゴクリ…。…:…つ♡…ヒック♡愛してる♡」

☆☆☆

朗報つ!令司!壊れるつ!朗報つ!令司!壊れるつ!朗報つ!令  
司!壊れるつ!朗…

「んあゝゝつ♡ハアハア♡ゝゝゝゝゝゝつ?!?!?!  
キューン♡バッキューン♡」  
?!?!?!  
「ハアハア♡そうだぞっ!お前等が、バッキューン♡バッキューン♡  
バッキューン♡なんだからなっ♡愛してるぞ♡ハッ♡ハッ♡ハッ♡」

「んちゅ♡ちゆるるるっ♡んつくんつく♡れるんちゅ…:ハアハア  
♡ああんっ♡もつとゝゝゝつ♡」

「言われなくてももっ!!離さないからなゝゝつ!!!」

「(ご)く…:。あゝゝつ♡素晴らしくカツコ良い指揮官・誇らしきご  
主人様♡欲しいよゝゝつ♡ハアハア♡ヒック♡)」

「ご主人様ゝゝ♡ハアハア♡フェロモン全壊で誘つて♡ベル♡サポー  
トに徹します♡ヒック♡」

「ハアハア♡よろしく頼むっ!」

あゝゝ?あゝゝ?えゝゝ?放送禁止用語…、連発し過ぎじゃない?  
ムラムラし過ぎなのは?かゝなゝり部屋の中、真っピンクですよ?  
濃度濃すぎです♡それは令司がこの世界に慣れてきたからかい?

お互いがフェロモンを出しまくって、お互いのもの凄い強い？性欲を煽り散らかしちやっただ奴ですかね？うん…

そんな？こんな？で？酔っ払い達は、朝食の時間になるまでぶっ通しスルのだった

う〜ん…。では、盗撮・盗聴してる一部を見るとしましょうか…。どうなってるのかな？もう大興奮でしょうか？

◇

「ハアハア♡ハアハア♡あ〜っ♡オイゲン♡オイゲン♡んもう♡エロ過ぎいい♡ハアハア♡指揮官もエロカッコ良くて優しい♡結婚して♡あつ、してたわね…。首輪貰ってるし♡ハアハア♡」

極悪癒し刑を申請？したヒツパーが笑顔でテーブルに大量の鼻血を垂らしていた。そして沢山果てていますね♡床、びしょ濡れです♡饅頭達はオロオロしているのだった…。相当危ない量の血を流しているんですね？輸血パックをピョコピョコして渡そうとしているのに気付いてないね？

◇遠い暗い場所から帰投組◇

「「「「うっ♡」」」」

「うわ〜っ!!!（えっ？ナニ？一斉に5人が鼻血出したんだけど?!見事な噴水。綺麗だなあ〜。キラキラしてる…。って、痛いっ！痛いっ！えっ？です、言ってる娘に何もしてないよねっ?!弱ってるからねっ?!）」

「ハアハア♡見える所に来てつけたら、これって…。令司兄様♡カッコ良過ぎ♡オイゲンにハインリヒ、おめでどう♡みんな、早く帰って色んなモノを鎮めましょう？アルバコア？聞こえてるわよね？良いわね？」

「「「「ハイ♡」」」」

「……………っ。(沈めるっ?!うん…。まあ、仕方ないね？って…。まだス

ピードをあげられるのおおお〜っ?!ひゅい♡食い込む〜っ!」

35番テスター…。強く生きてね?もの凄いスピードで帰投する  
ビスマルク達なのだった。とりあえず、みんな?鼻血、止めよう?

◇

「凄いにゃ♡覚醒したにゃ?プリン達、極悪マッサージされてるにゃ  
♡癒しより重いにゃ♡おめでとうにゃ♡不知火っ!高級マタタビ茶  
を沢山飲むのにゃ!にゃ〜っ!!!」

「ええ…。凄く飲みたいですね…。大うつけの覚醒♡エロカッコ良い  
です♡飲む前に3日間休養と貼り紙で知らせますか…。…………貼っ  
て来ました。飲みましょうか…」

「にゃ〜♡ヒック♡にゃ〜♡にゃにゃにゃ〜♡ヒックヒック  
♡」

「…………ヒック♡ヒック♡ヒック♡ヒック♡大うつけ〜♡ヒック♡」

明石、不知火がヤケ茶して平和?してますね…。ハイ、次!

◇

「うつわ〜♡令司つち、最高にエロカッコ良い♡で、樫野?樫野?お  
〜い?樫野〜?聞こえてる〜?ねえ?」

「ハアハア♡ハアハア♡ヒック♡ヒック♡んん〜♡ダメ♡まだ  
ダメ♡帰投してない…。あ〜っ♡ヒック♡ヒック♡んん♡そろそ  
ろ…限界…」

「熊野…。早く帰って楽にさせないと…。樫野のこれはもの凄い数の  
搾乳機を壊すわよ?んっ♡鈴谷♡んつく〜♡ハアハア♡」

「えっ?あつ、うん…。みんな早く帰るよっ!で、樫野の母乳、手で搾  
り捲ろう!これ緊急任務っ!実は熊野もヤバイんだ〜!ヒック♡」

「了解っ!…ヒック♡(リットリオに搾らせたら良いと思うなあ〜  
〜。ヒック…)」

遠征中だったのかな？ 檜野の母乳が凄い事になりそうです。檜野はドラム缶にエロく寄りかかっていたのだった。それにみんな酔ってるね？ ちゃんと帰りましようね？

あちこちで酔っ払いが発生。そして大量の鼻血、潮噴きなどなど；、オープン基地の性欲が崩壊♡しちゃったようです？ 饅頭達を忙しくさせちゃってません？

こうなってるコトを知っているんですかね？ これから令司はどうなっちゃうのでしょうか？ ガンガン逝こうぜっ！ がずつと続くのかな？

☆遠い遠い暗い場所☆

喋ってくれるニーねえが、ゴーグルの耳掃除でスッキリ、キラキラした後、寝てしまいました

ニーねえの部下が交代でオブザーバーとピュリファイヤーのお世話をしていきます。休憩とかしている部下達は、大量のゴーグルを自身につけて耳掃除などの色んなシチュエーションを堪能していきます

堪能後、幾らかの部下達は海域に逝き、幸せそうに即逝きされるのだった。倒されるのが幸せって、なんかねえ？

令司との接触1号？ になるのは35番テスター？ 接触したらどうなるのでしょうか？



ほおあ〜っ♡

集チュー治療室内で夜になるまでサキュバスである、シリアス、フリードリヒ・デア・グローゼ、天城、エルドリツジ達の美しい獄楽ま〜♡でヌツキヌキしまくった令司なのだった

そんな部屋のピンクの霧の濃度がかなり濃くなるのだった。これには饅頭達も大はしゃぎしていたようです。ナイフやフォークを両手にもって、涎を垂らしてグへへしていたのである。食欲お化けです？

令司は4人のちようきよ…ゲフン…が終わった時に天国が見えたようです。天『獄』じゃなくて良かった…ね？天国で神様達が騒いでいたような？とか、令司達はナニしたんでしょう？4人は更に令司へのデレデレ度を上げました。ヤツタネ♡

3人のキス、苦い、しょっぱい、辛い所に甘いを追加する事に性…成功しました。味を制御出来るようになって、尻尾で嬉しさをアピールしまくるのでした

無事部屋から出られるようになりそれぞれ別れる。令司、エルドリツジ、シリアスはダブルプリンのお部屋へ向かうのだった。遂に？極悪癒し刑が開始されます♡

ダブルプリンをエルドリツジとシリアスは楽しく刑を施す。それを見て聞きながら、隼鷹の料理を食べるのだった。隠し味として隼鷹の色々な液体がたっぷり入っている。それと超高級発情剤も入っている。流石、ヤンなおサナナジミです♡

極悪癒し刑でダブルプリンのま〜♡はサキュバス顔負け？なまでにプリンプリン♡に美しくエロく仕上がりました♡まあ、本物のサキュバス達が仕上げたのでそうなるでしょうよ…。唾を飲み込むのだった

令司はムラムラマツハし過ぎた為か？隼鷹の料理の所為でもありません？色々壊れてしまった♡そして、みんな、放送禁止用語を連発するのだった。禁止用語は、まあ、具体的な感想を熱く述べてるのでしょう…かね？

盗撮・盗聴しているKANSEN達にとって、令司が壊れるのは朗報でした♡饅頭達が心配するくらい鼻血を出しまくり、下の口もいつも以上に異常なまでにドロツドロのグツチヨグチヨに♡滝の表現がびったりであります

そして、ほぼ全員が雰囲気酔いをしてしまうのだった。なんか凄いね♡見て聞いているだけなのに効いてるってのは♡罪な旦那様です事♡

遠征などをサツサと終わらせて、とにかく励みまくって沈める事にシタのだった。饅頭達もオロオロしつつも、元気いっぱい掃除したり食事したりしていたのだった？うん…。まあ、平常運転？してる感じ？

後は、癒し刑の部屋がほぼ満室になったとかいないとか？エロい合唱団が出来上がったのでした？

ビスマルク達に逝けどりされた35番テスターは、縄で初逝き？よく分からないですが…。シタそうな？そんな？テスターに令司はいつ会えるのでしょうか？ビスマルク達が基地に帰って来るのは何時になるのでしょうか？

そして会った時、どんな反応をするのでしょうか？どつかのAVのように？出会って3秒で合体スルんですかね？ここではSV(Shiki・Videos)？それかRV？実に楽しみですね♡

ベルが復活してサポートを勝手出で、ダブルプリン達と朝までドスケベ祭りを開催シタのだった。本当に凄いタフだね♡

☆☆☆

転移5日目の朝食の時間です。令司はどんな行動をとるのでしようか？

「ZZZZZZ…。んはっ…。あゝ？うゝ…。あ、頭イテゝ…。飲みモノ…飲みモノ…。おっ…「あつ、おは…キャンっ♡んんっ♡」頂きます…「ああん♡出ないのにゝゝっ！許せないのにゝゝっ！」

「アツ♡アツ♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡んん♡  
しゅき♡♡」

頭痛いであります。お酒でかなり酔っ払ったであります。飲み物で抑えようと思うであります。吐きはしなかった。一部はなんか吐いたのを…、いや、これ以上は止そう…。その扉は開きたくないです…。でもこじ開けられそう…

こつちの世界って飲み物飲めば完治する感じだからねえ…？本で読んだよ…。だいぶ慣れまし…って？うん？これ飲めない。なんで？って…?!この声って！まさかっ！

「んん♡ハアハア♡ローンは出ないわよ♡ユルセナイわ♡んん♡ドスケベね♡貴方あああ♡ん♡♡まだジンジンしてるわ♡」

ほおあ♡♡♡ローンのお♡♡?!おっふ♡ハグう♡ありがと♡最高ですぞ♡♡♡しゅき♡♡でも常に？ムラムラしてる息子は寝てますよ…。開封、頑張ったからねえ♡…。ローンにみんな全裸布団ありがと♡あつたかくて気持ち良かった♡ほおあ♡♡♡♡

頭が痛く、寝ぼけてた令司はローンを飲み物と勘違いしたようです。そんな勘違いはしないでしょ？でもローンは許して嬉しうです。ローンは自身を許してないようですが…

ドスケベ祭りを開催中に発情した嫁達が次々とヤッテ来て、次々と開封していったのだった。癒し刑でスッキリ出来なかったのかも？何の為の罰なのでしょう？まあ？Win-Winのようですから良かった？

「ああん♡ハイ、飲み物はこれよ。朝食の時間になったからね？食べに行くわね。貴方の朝食を持って来てるわ…。それを飲み食いたら…。うふふ♡」

「おつ、ありがと。ぐくぐくぐく…。ぷはっ…。モグモグモグ…。んぐん…。ふい…。頭スッキリしたしお腹も満たされたよ…。…で？最後なん…。…アレ…。？なんか…。眠く…。？ZZZZ…。…。」

ふう…。美味しい飲み物飲んで、頭スッキリしたぜ。それで美味しい料理で…。お腹が…。満た…。されたのか急に眠気が…。襲って…。来…。う…。そ…。だ…。ろ…。ZZZZ…。

朝食をとつたら急に眠くなった令司。そして寝た。常に？運動会を開催や海溝で抜錨していたので、身体に支障が出てしまったのでしようね？朝食を作ったのはローンです。隠し味として睡眠薬盛りました。♡正妻？それで良いのか…。

「ローン様、誇らしきご主人様をヴェスタル様の所へ持ち込ませ…。運ばさせて頂きます♡スーハー♡スーハー♡」

「ええ♡シリアス、お願いするわ♡けど、尻尾振ってフェロモン攻撃するの止めて♡濃度下がったのに…。♡」

「シリアス…。そんなに攻撃したいのなら、ベルとニューカッスルにして頂戴…。開催中一度も相手に…。ん…。っ。サポートするって逝ったからですけど…。ハアハア♡」

「ハイ♡ベル。シマスね♡うふふ♡シリアスう、最高に幸せです♡それか…。♡ゴニョゴニョ♡」

「っ♡是非♡んハア♡」

「はふう…。♡…んもう♡フィーちゃんつたら♡キュラソーはまだまだ先だと思つてたのに強淫ねっ♡まつ、みんなと同じで、ノコノコ来ちゃったんだけど♡ん…。♡まだジンジンするう♡尻尾凄くねちっこく…。♡気持ち良かった♡きやふふ♡凄くス・テ・キ♡あつ、運ぶの手伝うわ」

「ハアハア♡んっ♡身体中にキスマーク沢山♡あ…。っ♡引つ掻き傷などもつけられちゃって♡ハアハア♡素敵過ぎるわよねえええ♡これにはみんな、雰囲気酔いしちゃうわよおおお…。っ♡」

「ローン、ローン、指揮官の血、美味しかった♡キスの治療有難かった♡愛してる♡うふふ♡噛み返されたから何度も天国に逝けた♡またやりたい♡けど我慢♡」

「ふふ♡見てたわよ♡エロかったわ♡それじゃ？寝てるみんな？朝食をとりましょお〜」

「「「んあ〜？はあい♡（ローン♡グへへ♡だったよ〜♡つ♡ざあこ♡ざあこ♡）」」」

ドスケベ祭りに参加したみんなの肌は、眩しく美しく綺麗になっていた。レイシニウムを満タンにシタのでしょう。後？饅頭達はお腹をパンパンになっています。満足行くまで食べまくったのですね。そして寝ています

シリアスとキュラソーがヴェスタルの所へ運ぶようです。尻尾をブンブン振って嬉しそうにしている。そして尻尾を絡め合う行為は何なのでしょう？

ローンの号令により、みんな朝食をとりに行くのだった。しっかりと令司のお尻を触ってからですけど…

☆☆☆

「「「おはようございます。キュラソーさん、シリアス、ベルファストメイド長。きやは♡指揮官だぁ♡ス・テ・キ♡」」」

令司を運んでるメイド達、駆逐艦達の群れに出会う。そして駆逐艦達はエロく唇に手を添えるが見れません。残念。そしてキュラソーはサキュバスの特性？で？

「〜♪あら？みなさん、おはようございます。遠征などお疲れでした。：あら？あらあら？みなさんは、まだご主人様にファーストキスを捧げてないのですか？今のうちに済ませましょう♡ほら、遠慮せず♡あつ、許可はご主人様からとつてますよ♡合法です♡」

「「「ハイ♡キュラソーさん♡ありがとうございます♡んっ…

♡「」」」

「うふふ♡誇らしきご主人様、もうすぐでヴェスタルの所へ到着しますからね♡楽しんで下さいね♡あん♡お尻叩かれちゃった♡  
……♡あはっ♡」

「」」……んはっ♡美味しかった♡ご馳走様でした♡それじゃ指揮官♡バイバイ♡ヴェスタルをよろしくね♡」」」

「はい♡着きましたっ。ヴェスタル様っ？キュラソーとシリアスがご主人様を運びましたっ。後、無言のベルも居ますっ」

『はあい…。あつ、こらこら♡メツ♡でしょ♡うふふ♡良い娘ねっ♡  
♡はあい♡どうぞっ♡』

「失礼します。あらっ♡ヴェスタル様ったら酔っ払って♡うふふ♡愉しくなるわ♡」

「ううう…。こんな所には居たく…なあ?!?!スンスン♡ししし指揮官?!  
フェロモン全壊♡あっ…♡エンターはダメにされりゆうっ♡  
あっ♡ヴェスタリゅ…この手錠をはじゆせっ♡」

「ふおっ♡閣下っ♡ますますオス度を高めてえっ♡カツコいい♡  
（あちこちにキスマークに引つ掻き傷があ♡最高♡漲る♡）結婚して♡あつ、してた♡うふふ♡囚われの騎士プレイは何度かヤツテると思うが♡よろしく頼む♡ハアハア♡」

「ちよつとっ?!ヴェスタル?!酔っ払い過ぎよ?!（グレイゴーストを連れて来たらなんでこんな嵌めに…。あっ。翔鶴姉えの良いネタにされるうっ?!うう…。翔鶴姉え、良い笑顔でグツジョブすんな!）」

「あつ…し、指揮官?!その沢山のおっつ!んひゃんっ♡（あんっ♡ヤダ♡落ち着いたのにっ♡嗅いだだけで逝っちゃったっ♡ドスケベ祭りに参加しなくて良かったっ…。とか、倍率高かったし…。翔鶴姉相手に疲れてたし…。後、姉えはセンカも相手にシテたし…。凄いや…。）」

「まあ♡指揮官様♡ヨークタウン♡嬉しくて嬉しくて逝きますっ♡  
はあ…はあ…♡見捨てないで下さいね♡ネツ♡指揮官様♡子供は何人欲しいですか?何人でも?はい♡サッカーが出来るくらい頑張り

ますね♡愛してます♡うふふ♡」

「んんんっ?!んんんっ?!んんんーんんっ!?!んっ♡んっ♡(ヨークタウン姉え、エンター姉え、発情中…。で、なんでホーネットはこんな格好にされてるの〜?外せないし…。あつ、気持ち良い♡スンスン♡指揮官の匂いで逝くう♡ハアハア♡)」

ナース服のヴェスタルが居ました。女神様降臨です♡それと部屋にはヨークタウン3姉妹とアークロイヤル、瑞鶴が囚われの騎士や姫のようになっいて拘束されていました。雰囲気は事後ですね。床がびしょ濡れです♡

ホーネットと瑞鶴は巻き込まれたようです。拘束されて満更でもないようです。令司のフェロモンで理性がお亡くなりになったようです♡魅力的なんですね♡

「んん〜…。…。はっ?!寝てたっ!…。と、ここは…おっ?ヴェスタ…ルっ?!?!」

「スーハー♡スーハー♡スーハー♡スーハー♡んちゆるるっ♡んちゅぱ♡れるんちゅ♡チュ〜っ♡チュ〜っ♡」

「うふふ♡ヴェスタル様ったら♡それじゃ?ベル♡楽しみましよ?」

「……………はい♡んんっ♡」

朝食を食べて寝ちやつて起きたら、別の部屋に運ばれたんだね。ありがとう。で、発情してるヴェスタルにキスされてるう♡ほおあ〜っ♡しゅわしゅわ美味しい♡しゅわしゅわは初めてですね〜♡

あつ、ヨークタウン3姉妹。エツロい姿で拘束されてるなあ…。それとアークロイヤルに瑞鶴もエロい姿で拘束中…。演習後に来た感じかな?お疲れ様

うんうん♡囚われで拘束されてる騎士や姫のプレイ最高だよ♡あつ、しゅわしゅわ度を増してきてるう?!ちよつと痛いよ〜

ハアハア♡あ〜♡媚薬たっぷりのお風呂に入ってる感じで身体

熱いですう♡あつ、ヴェスタル、ナース服似合い過ぎですう♡女神様あゝ♡なんか酔ってるよおゝ♡あつ…。令司君、起きたかも…。おはよ…

ヴェスタルのしゅわしゅわキスで、おっ？抜錨？抜錨ですな？と令司君が起きました。はい。抜錨しますよ。酔ってノリノリのヴェスタルは工作艦らしく口さ…ゲフンゲフンをスルのだった。令司は工作艦のエロい素晴らしさを体験するのです♡

「んぷは…。ヴェスタル？えっ？しゃがんで…あつ♡それは♡んぐっ…。ハアハア♡あゝゝつ♡あゝゝつ♡き、気持ち良い♡」

「スーハー♡スーハー♡スーハー♡あつ♡あつ♡」

「うふふ♡ベルゝゝ？ほらほら？どうしたのゝゝ？（メイド長の顔じゃないメスの顔をサツサと晒せ♡うふふ♡）」

「……っ♡（ごくっ♡指揮官・指揮官様♡早く使って気持ち良くなつて♡）」

「んんんゝゝつ♡んんんゝゝつ♡んつくううゝゝつ♡（あゝゝつ♡指揮官♡気持ち良さそうにしてる♡ヴェスタル、おめでとう♡…ねえ？ホーネットを使ってよゝゝ♡ねえ？開封してゝゝ♡準備出来てるからゝゝ♡んハア♡）」

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡んんんゝゝ♡（フェロモン度が増した指揮官を見てヌルヌルになっちゃったゝゝ♡指揮官♡瑞鶴でまた遊んで♡あんっ♡指揮官♡指揮官♡指揮官♡）」

「ふうゝゝ♡あら？あらあら？ベルつたらゝゝ♡」

囚われ中の嫁達は良い感じに仕上がっていました。フェロモンをプンプン放っています♡ヴェスタルが工作艦らしく工作したのでしよう。…んっ？んんゝ？（ゴシゴシ…）なんか…、ヴェスタルの背中に天使の羽根が見えたような…。……うん♡気のせいですね！

☆☆☆



「〜っ♡〜っ♡〜っ♪んん〜っ♡(はあ♡これこれ♡あゝっ♡指揮官♡愛してる♡ヒック♡)」

ほおあゝっ♡ヴェスタルの口ま…:さいつこう♡何なの?まゝ♡ん♡じゃん♡くっ♡アツアツ♡気持ち良過ぎい♡そりや、デレッデレになるよねえええ♡

動きたくてもベルに抱き着かれてて動けません♡ドスケベ祭りはサポートばかりだったから溜まつちやった?それはごめんね〜♡?ひゃい♡ゾクゾクする舐め方〜、最高ですよ♡

後で、しっかり深く突き愛うからさ♡思いつきり満足スルまで嗅ぎ倒しと舐め回して良いぞ♡さあ♡来いっ♡って。あるえ〜?来ない?シリアスとキュラソーに仕上げられちやた?癒し刑でもシテた?

あつ♡ヴェスタルっ!ちよっ?!後少しでっ所で…。んんっ?あつ♡ほおあゝっ♡ほおあゝっ♡あつちゅい〜っ♡そんなにやゝ♡はんしよくでしよ〜♡しゅき〜♡

女神でナースのヴェスタルの口ま…:で搾せ…:をデレッデレして受け続ける令司君。良い感じに登り詰めて逝つた所で止められたと思つたらまゝ〜♡で工作を開始した。ナースだから介始と逝つた方がいいです?

はい。メイド達は癒し刑をしています。意識が飛んだ?ベルを介護してる?ので突き愛いには参加出来ないでしょう…。けど、令司がガンガン逝けば良いと思うよ♡

「んんんっ♡ヒック♡指揮官に注射されちやった♡ヴェスタルのヌルヌルのお薬沢山塗りますね♡それでおかえりなさいとして、沢山お注射して沢山塗り薬を出して下さいね♡ヒック♡愛してる♡ヒック♡愛してる♡んちゅ♡れるんちゅ♡チュっちゅ〜♡」

うんうん♡塗る塗る♡沢山塗りたぐっちゃう♡令司君頑張るって♡ヴェスタルは女神様なんだから要求飲んじやう♡囚われてる嫁達とのプレイもシタいい♡口ま♡で元気にしてくれるよね♡

「んつくくく♡ハアハア♡気持ち良かった♡素敵♡愛してる♡」

「ハアハア♡すっげえのな…。ありがとう♡愛してるよ、ヴェスタル。んちゅ♡ふくくつ…。あつ♡ヴェスタルくく♡」

女神ヴェスタルにたっぷりお薬を塗りたぐりました。キスをした後、口ま♡で元気してくれたのだった。うん…。ヴェスタルの背中に天使の羽根が見えますねえくく？

「さてさて…。元気になったし囚われプレイを開始しよう♡それっ！ホーネットっ！逝くぞくくつ♡あくくつ♡沈んでくうくく♡あくくつ♡さいつこうだよ♡なんて出来の良いのを持つてるんだ♡ハツ♡ハツ♡ハツ♡」

「んっ♡ん♡ん♡くくつ♡んっぐくくつ♡（来たくく♡あくくつ♡逝っちゃったよくくつ♡あくくつ♡気持ち良い♡気持ち良い♡好き♡好き♡大好き♡愛してる♡愛してる♡いっぱい産み産みするう♡）」

「ハアハア♡…ギャグなボール邪魔だな…取り外して…ヨシっ。うつわ…。ドロドロでホカホカじゃん♡気持ち良いやつだ…。キスするぞ♡んちゅ♡」

「んはっ…。ハアハア♡んむっ♡んっ♡ん♡くくつ♡（最高♡最高♡ホーネットのを使って気持ち良くなってる指揮官好き♡ううん♡愛してる♡ひゃん♡更に元気につ♡あんんんっ♡くくつ♡）」

「んんんっ♡閣下くく♡これ以上フェロモンの濃度を上げないでくく♡あつ♡あつ♡あつ♡くくつ♡」

「指揮官・指揮官様♡もつと♡もつと♡フェロモンの濃度を上げてくく♡ホーネット、おめでどう♡何度も果ててね♡使ってくく♡」

「あゝゝつ♡あゝゝつ♡あゝゝつ♡………かつつはっ?!?!?」  
×っ?!(まだ、フェロモンの濃度を上げられるのおゝゝ♡素敵♡愛して  
るう♡ゝゝつ♡アツ♡ゝゝつ♡)」  
「ハアハア♡瑞鶴…っ♡もつと気持ち良くなろうな♡ハアハア♡んっ  
ぷっ!?!」

はい♡みんなをしっかり愛すよゝゝ♡囚われプレイのプレイ幅  
増やしてくれてありがとうね♡

「ご主人様・誇らしきご主人様♡囚われプレイにベルを参加させまし  
た♡ご褒美としてキュラソー・シリアスを深く突き愛って下さいませ  
♡」

「ハアハア…♡ハアハア…♡」

「ハアハア…♡ありがとう、キュラソー・シリアス。ベル♡最高にエロ  
いよ♡愛すからな♡」

ハアハア…。ほおあゝゝつ♡エツ♡最高です♡癒し刑最高なんで  
すけど♡漲って来たゝゝつ♡抜锚しますゝゝつ♡うおゝゝつ!!!

「きやゝゝつ♡ご主人様・誇らしきご主人様♡愛してますゝゝ♡ハア  
ハア♡」

「指揮官♡突かれたらヴェスタルのお口ま♡で癒されて下さいね♡  
ネツ♡あゝゝつ♡まつへまふ♡」

そうしゆるゝゝつ♡ほおあゝゝつ♡止まんねえゝゝつ♡で、ヴェス  
タルのお口を…♡かひゆ♡あっ♡天使の羽根え、綺麗えゝゝ♡

令司君、元気になってそれぞれの囚われの口作海溝に突っ込むの  
だった。みんな嬉し涙を流しているのだった…。この海溝の口略は  
昼食までかかったのだった

☆遠い遠征帰り一向☆

「「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡んっ♡愛してるう♡」」

「ハアハア♡早く愛宕をしばいている所を見せたい♡で、どんな反応するかな♡ハアハア♡」

「ハアハア♡早く基地に着きたいのだあ〜！指揮官と遊びたいのだあ〜！雪風と時雨♡2人とももう済んでおめでとうなのだあ〜♡ハアハア♡あゝ?!邪魔するなのだあ〜！ガルル〜♡」

「…………。うつぷ…。綺麗な鼻血の噴水し続けているのにスピードが落ちない…。ドンドン速くなるのどうして？笑顔だし…。んで？アタシ、縄でなんか？何処かにフワフワしちやっただのよ…。何で？ナニが起きてるの？下の口からドロっとしたの出ちやっただし…。終わっちゃった？まあ…悩んでも仕方ないか…」

「ビス姉え…。後、どの位で基地に着く？ハアハア♡身体が熱いわ♡待っててね♡令司兄様♡深く突き愛ってね♡出来ればピツピのお願いを聞いて受け止めて欲しい♡んにゆい♡」

「ハアハア♡そうね♡この調子で逃げば夜には着くわよ♡ハアハア♡後は、アルバコアが探してくれてる燃料次第で、夕食の時間に逝けるかもね♡ピツピ…、令司兄様が受け止めてくるとは思わないわ…。バーチャル世界の令司兄様100人に相手して貰うわよ♡ハアハア♡じゆる♡」

「それもそうね♡うつ♡想像しただけで幸せだわ♡ますます鼻血が♡ふう…。アルバコア？燃料見つかった？」

「あつた〜♡。あつた〜♡♡やつたよ〜♡♡豊富豊富♡補給終わったから全部そっちに撃ってあげるう〜♡それイケ〜♡帰ったら大鳳にサプライズをするんだあ〜♡指揮官の逆サプライズがあつたら盛りあがるう〜♡♡キャハハ♡あつ、邪魔邪魔〜♡にやふふ〜♡」

「「アルバコア、ありがとう♡はあ〜♡染みるわ〜♡」」

「後、ひと踏ん張りね…。本物の令司兄様に早くこの35番テスターを届けるわよ♡長いからザコちゃんの良いか…。ハアハア♡待って

てね〜♡バーチャルの令司兄様♡しつかり相手しますから〜♡  
♡」  
「「ハアハア♡ハアハア♡うっ♡」」  
「……………。(なんかヤダあ〜?!なんの会話してるの〜?令司兄様に何されるの?!あ〜♡つ!?またスピードが速〜♡いつ!痛い痛い…♡ひゃうん♡)」

あ〜♡…。ビスマルクとテイルピッツ?受け止めないって断言するって…。どんな欲望を秘めてるんです?バーチャルの100令司…。強く…逝きましよう…

ビスマルク達が逝けどりした35番テスターとの出会いが近づいている!笑顔で綺麗な鼻血の噴水を噴き続けたままオープン基地に進んでいるのだった。血、かなり抜けてますけど大丈夫なんです…。びっくりです…。基地に着いたら補給しつかりしましうね?

#### ☆遠い遠い暗い場所☆

「あ〜♡う〜♡そんなにや〜♡あつ♡あつ♡あ〜♡つ♡ハア♡んきや〜♡つ♡ハッ♡ハッ♡令司きゅ〜♡ん♡もつと〜♡意地悪して〜♡愛して〜♡アアアア〜♡つ♡噴いちゃう〜♡」

「んみゆ…♡はふう〜♡。朝でしたか…。いや…そろそろ昼?耳綺麗なつたよ〜♡お世話ありがとね〜♡」

「はあ〜♡男性の膝枕を疑似体験出来た♡幸せ♡何度も果てちゃつた♡スケ乳首眼福だった♡お金取らないなんて神様ですよ♡触つても怒らなかつたし♡大しゆき♡う〜♡ん…。これがオブつちとピュリつちゾツコンの令司様なら良いなあ〜♡うふふ♡」

「…んつ?あつ?部下ちゃん達もゴーグルつけた感じ?で、何人かあの世へ旅だったんだ?オツケーオツケー。幸せそうに逝つたのは想像つくよ♡ヨシヨシ♡報告ありがと♡」

「んつ?3人にナンバーがついたじゃん♡おめでどう♡立派になったね♡エライエライ♡あはは。くすぐったあい♡…で?その手に持つ

てる瓶はオブつちとピュリつちの噴き続けるのを止めるやつなのかな？どれどれ？読めない！けど、持つて来てくれてありがとう…」

3人とも耳周りがキラキラしています。ゴーグル内の令司のテクニクで何度も果てたようですね♡ニーねえ…、バツチリ、令司に惚れ堕ちました。バーチャル令司！ナイスう♡これで平和になる感じ？ヤツタじゃん♡

ニーねえの新人？ナンバーが持つて来た瓶の正体を載つけます←  
商品名↓スカイハアイ♡

容量350ml

見た目↓甘いよよ♡

使用方法↓よく振って飲むだけ♡それだけ♡

これで沢山、潮を噴こう♡味い？辛いよ♡幸せだよね♡沢山ピュッピュッしてピッチピチになろう♡あつ？ピッチピチって死語なの？へえ？

はい！2人に追加攻撃入りまよす！ファイトっ！

「んんん？ドロドロしてるね…。んっ？振れば良さそう？うん…。そうだね…。振ろっか…。わあ…♡サラサラしていく…♡飲みやすいね…♡はい♡2人にプレゼント♡えいつ♡」

「もががっ!?!んんんっ!?!令司きゅん♡これ、辛いよ…♡んはっ!?!イヤアアアアアああ…♡」

「わあ…♡逆効果だった…♡辛いって…。見た目からだとなんかことは無いんだけど…。あつ？沢山ある？1つ頂戴？振って…。飲む…。ごくごく…。うっは?!か、辛い…?!んっ？えっ？まつ？ハアああんっ♡止まってえええ♡」

ニーねえ…。遂に噴きに参加しました。数を管理していたようで

すが、次から次へと部下ちゃん達を産んで？いるようです。これには先輩部下ちゃん達はオロオロ。しかし、ナンバーズが指示して収まりました。生産も無くなりました

ナンバーズはお世話の方法などを教えてこの潮噴きし続けているお世話を始めるのだった

令司達！オープン基地に存在する危ない液体を大量投下したら平和が訪れるゾっ！速く、3人のいる場所へ早く辿りつきましょう？

今日も、セイレーンは逝き逝きして潮を噴き続けるのだった♡

ふうくん……。…………えっ？今、なんて……？

ドスケベ祭りを朝食の時間まで開催した令司達。全裸布団で少し睡眠をとっただけでした。二日酔いな令司のゲ……を欲しそうにしていた一部がいてビツクリするのだった。近い内にその扉、こじ開けられるよ？

令司は正妻ローンの睡眠薬入り料理を食べる。飲み物は、ブレンド茶。(令司専用はー)これには二日酔いなどを取り除く成分に、空母の加賀(クウカとする)、檜野、セントルイスなどなど、様々な母乳が入っています

シリアスとキュラソーがヴェスタルの所へ持ち運ぶのだった。運び方は、椅子に座ったまま椅子ごとでした。KANISENパワーで楽々運ぶのでした♡

メイド長のベルファストはドスケベ祭り中に、一度も相手にされなかったようですと発情していた。シリアスに言いたくない！という顔で癒し刑を申し込んだのだった。そしてシリアスの提案を呑むのだった。堕ちてたんです？

『ヴェスタルの治療室♡』と書かれた部屋へ着いた令司達。シリアスとキュラソーがビツクリして笑つちやうくらい、ヴェスタルは酔っ払っていました。目を覚ました所でヴェスタルのしゅわしゅわな美味いキスをネットリと味わうのだった

しかも、しゅわしゅわ度や量を調節出来るのです。流石工作艦。いや？口○艦の方がピツタリでしょう。ヴェスタルの背中に天使の羽根が生えていました。オーブン基地は何でもありませんねえ……

キスをしまくっている時、演習後の治療？か何かで来ていた、ヨークタウン3姉妹に瑞鶴、アークロイヤルが、エツロイ姿で囚われているのを見たのだった。オスフェロモンの濃度が高くなっていたようです。半狂乱状態になる嫁達だった

拘束プレイに被りがないのでプレイ幅が広がります♡良かったね？新しい扉開いたんじゃない？部屋は薄暗いので、凄く拘束プレイが映えるのだった♡



シリアスとキュラソーのダブルサキユバスの癒し刑を受けているベルファストの美声（嬌声）をBGMにして、ヴェスタルとアツアツな仕事を開始。いや…、交錯を介始。うん？口〇を開始のほうがしっくりくる？とにかく耕作しまくったのだった

次にホーネットと繋がり、その先の順番は、ベル、アークロイヤル、瑞鶴、エンタープライズ、ヨークタウンであった

ダブルサキユバスはサポート役に徹するのだった。理性が働いているようです。サキユバスなのにガンガン逝かないようですね？ドスケベ祭り中に満タンにシたんでしよう…

ヴェスタルは大きい♡マークを両目の中に作り、大きく口を開け、羽根をパタパタさせて待機するのだった。口オ〇ホ状態であります♡しつかり丁寧に使うのだった。嬉しくて何度も果てて漏らしちゃうのだった

昼食の時間になるまでダブルサキユバス以外を使い倒す♡壊れたのに懲りないようですね♡飲み物や睡眠薬入り料理でリセットでもされたのかな？

キヤツキヤ♡ウフフ♡ラブラブしている裏側で、ビスマルク達は、綺麗な鼻血の噴水を出しながらスピードを上げ続けて35番テストター（ザコちゃん）を連れて帰って来てるのだった

到着時間が夜になる所を、アルバコアが見つけた燃料で補給した事により夕方に早まったのだった。令司とザコちゃんの交流がいよいよ始まるうとしている

ザコちゃんは真っピンクな霧に包まれてる？オープン基地を見てどうなるのでしょうか？

ビスマルク達に張り付いている饅頭達は、キラキラしてて楽しそうにザコちゃんを隅から隅まで観察・撮影していたのだった。特にマン♡を念入りに撮影していた。そんな事に気付かないザコちゃんなのだった

☆☆☆

「ハアハア…。ふう…。うん？昼食の時間になった…。食べに行

くか〜〜…。…で？」

スッキリした〜。囚われプレイ最高です♡ヨークタウンが最高だった♡幅広がったよ…。ありがと♡それとヴェスタルの口、最高に幸せだったぜ♡愛してる♡一回一回を…。んもう♡

オス度を上げにやいで〜♡とか、フェロモンの濃度上がってて素敵♡とか言われても良く分からないだわ…。そうなんだね…。…？としか思わんよ

う〜くん？理性とかが壊れちゃったからかなあ？それか酔っちゃったからかな？まあ、とにかく嬉しくなってくれてありがと

「「「ハアハア♡ハアハア♡アツ♡アツ♡アツ♡指揮官・ご主人様・閣下〜♡愛してる〜♡」」」

「ウフフ♡素敵でしたよ♡ご主人様・誇らしきご主人様♡サポートするの楽しかったです♡ちゅ〜♡」

うん。やり過ぎが丁度良い感じですね♡うっはっ♡ありがと♡2人とも愛してるよ♡お〜、尻尾で大きな♡マークを作った。器用ですね？ありがと♡

…で？何なん？みんな？繋がりまくったら、超が幾つあっても足りない位、美女になっついていったんですけど？眩しいっ！美女度と魅力度が高まりすぎですよ？悶え死させる気ですかっ?!それに媚声を上げ続けちゃって♡ありがと♡癒し刑を受けるベル…。ゴクリっ…

…っはっ?!止め止め。サツサと昼食を食べよっ…。誰が料理してるかな？それか作って一緒に食べるか？行って見てから考えますか…。はあ…。お腹空いた〜

令司の色々なのが崩壊した事により、フェロモンである？レイシニウムがパワーアップ？それと肉体改造に成功したようですよ？

変態嫁達のそれぞれが持っている重欲が満たされて美女度と魅力度を高めたようです♡ダブルサキユバスのサポートがあっただのも関

係してるでしょう♡

それかヴェスタルが令司の令司君を耕作しまくったからですかね？とにかくお互いのデレデレゾツコン？度が増した事は間違いないです♡

「そつか…。キュラソーとシリアス、サポートありがとう♡愛してる♡………ごく…っ。みんなエロ過ぎるよ…。美しくなっちゃって♡最高♡じゃ、食べに行つて来るよ…。みんなもしっかり食べてね…？」

「…ハアハア…♡…はい♡んっ♡少し…Z z z z z…。」

「…畏まりました。ご主人様・誇らしきご主人様♡行つてらっしゃいます♡アンツ♡ウフフ♡ありがとうございます♡♡キャハッ♡」

令司はキュラソーとシリアスの尻尾を甘噛み、お尻を引っ叩いたいでから第2食堂へ向かうのだった

キュラソーとシリアスは噛まれた場所を蕩けた顔で見つめるのだった。後、尻尾の先端から粘液を沢山出しちゃってますけど？平気なの？どんな成分が含まれています？

饅頭達はこの様子を観て、『撃・激・苦♡』と書かれている350m 1缶コーヒーを3本飲んで、ねじり鉢巻きを巻いて大掃除を始めるのだった。いつもいつも事後処理をしてくれてありがとうございます

えっ？令司、お風呂に入っていないんじゃないか？だって？お風呂の件は、ヴェスタルが工作艦の力を発揮して即席風呂を作製しました。媚薬たっぷり入っている

ヴェスタルと一緒に入ったようですよ。メイド達は入らなかつた。後、令司の全身キスマークと引っ掻き傷を治す成分が含まれていました。凄いよ！ヴェスタルっ！

ではでは、昼食を食べに行く令司を見る（追う）前に、拘束プレイを盗撮・盗聴している一部の発情している？た？KAN—SEN達を見ましよう

☆☆☆

◇

「「「あつ♡あゝゝつ♡んゝゝつ♡んつ♡ふうゝゝつ…」」」

「はあはあ…。はあはあ…。間に…ふう…、合った…。ああん…。んゝゝつ♡スツキリしたゝゝ♡熊野…、これ以上は出ないよ…。鈴谷だつてそうでしょ…?」

「んつ♡んつ♡んつ♡鈴谷ゝゝ♡はあゝゝ♡ふう…。ええ…、そうね…。スツキリしたわ。で、みんなのバケツ合計30杯…。ヨシつ。饅頭達に頼んでプリンでも作って貰いますか♡饅頭達もキラキラしてる…。饅頭達、ええ、お願いします♡」

「みんなも海にバラ撒かないで良かったゝゝ♡熊野、ホツとしたよ。あつ、饅頭達ありがとう♡プリン楽しみにしてる。…それで?えつと…?リットリオ…?だよね…?」

遠征を中止した熊野達。母乳が出る組は最後の一滴までしっかりと搾り切ったようです。海に撒き散らすのは許されないようです?独自の謎ルールを守ってるんですね?

饅頭達はプリン作りに気合いを入れるようです。量と質が良いように大はしやぎです。良かったね。そしてみんなが出し切った中、まだ格闘中?が居ました。樫野です

「ハアン♡んつ♡んつ♡」

「ハアハア♡あゝゝ♡あゝゝ♡ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡(ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡ありがとうございませ♡)」

「??熊野?どうしたの?そうよ?リットリオが樫野のを搾ってるだけよ?癒し刑執行中よね♡まあ、中々搾れてないようだけど?」

「あつ、やっぱりリットリオで合ってるんだ？リットリオが服を着てるなんてね〜？榎野のバケツは…、一杯目を満たしてないね…。パワーアップした榎野専用バケツだからそうでしょうね？でも、熊野達のバケツ換算だと5杯目が満タンにな所なんだけど…。搾れてない、少なくとも感じちやうのは末期かもな〜…」

リットリオが服を着る事は珍しい？ようです。全裸が本体のようですね。榎野が三大印の1人だからかな？心の声と一致するとわ…

「ハアハア♡んんっ……。…ねえ？リットリオ？ちよつといい？」

「はひっ?!なananでしようか?!榎野様あ?!(えっ?!しつかり搾つてますけど…。なんかしちやいましたっ?!手に入れられなくなるのはイヤ〜っ?!)」

「ハアハア♡お願い…。しつかり癒し刑ヤツテ?こんな風に…ネっ?」

「…………えっ?(えっ?…アヒイいいい〜っ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡(な、なにに♡ビリビリする♡)「で、こうして…」ひやうんっ♡ちよああ〜っ♡(アああああ〜っ?!)」

「うん?リットリオつたら溜まってたんだね〜♡関係ないけどバラの紋様、綺麗だよ♡それじゃ、みんな?邪魔しちや悪いから昼食食べに行こうねえ〜?鈴谷〜?後で、紋様あるか見て〜?」

「「「はあい♡」」」

「分かったわ。熊野。饅頭達?2人の事とプリン作りよろしくね?んっ♡はあ♡…あつ、待って〜」

「ピヨッ!!!(ハッ!!)」

「アツ♡アツ♡「クリつと♡」〜〜〜〜っ?!?!「こんな感じで搾つて?」は、はひい〜っ♡(ありがとうございます♡ありがとうござい

ます♡ありがとうございませう♡ありがとうございませう♡ありがとう(ぎ)…)」

榎野とリットリオが乳繰り愛を始めたのだった。これから最後の

一滴まで搾り愛をするんですね♡令司、見れなくて残念ですね♡録画してるのかな？してたなら是非見ましよう？でも見れる時間あるかな？

◇

「ハアハア♡瑞鶴うっっ♡拘束プレイなんて♡進んでるわねっ♡ハアハア♡指揮官とみんな、魅力度をあげちゃって♡素敵だわっ♡ねえ？加賀センパイ♡…って、あら？」

「

んっ？それはセンカか？それともクウカか？クウカなら真っ白になってるぞ？（尻尾でペシペシ叩かれるの、丁度良いんだよなあ…。真っ白になってるのに器用だなくっ）よし、そろそろか…」

「クウカの方ですよ。センカ…。赤城先輩は何処に行っちゃってるし…。それで？最後なん…きやん?!んっ♡はあ♡うふふ♡万歳で拘束されちゃったっ♡癒し刑？ええっっ♡」

「久しぶりに翔鶴のを揉みしだきたかったんだ♡やっぱり溜まってるじゃないか♡癒し刑を開始しますねっ♡抵抗しても戦艦の力には敵わないだろ♡あつ、言い忘れていた。指揮官に揉み、吸いをさせて、ドロッドロのグッチョグチョヌプヌプにされたんだって？おめでとう♡探し出して見たんだ。興奮したわ♡」

「ありがと♡センカ♡ハアハア♡んっ♡そうねっ♡久しぶりねえっ♡しっっかり搾ってやるからな♡期待してくれ♡あっっ♡翔鶴♡翔…すぎっ♡」

「（揉み心地最高♡これだよ♡これこれ♡翔鶴が1番だ♡）ハアハア♡しっっかり搾ってやるからな♡期待してくれ♡あっっ♡翔鶴♡翔鶴♡」

「はうっ♡ハアハア♡ええ。お願いね♡ハアハア♡っっ♡?!?!♡見えなくするなんてっっ♡っっ♡」

「うんうん♡久しぶりの翔鶴の攻撃♡気持ち良い♡それに威力増して最高♡そうね♡翔鶴の癒し刑受けるわ♡ああん♡もつと威力上げちゃって最高よっっ♡」

翔鶴は瑞鶴の拘束プレイを滝を流しながら羨ましく見ていた。そしてセンカが翔鶴の癒し刑を始めるのだった。で、アイマスクをした翔鶴が癒し刑を執行するようです。エロく元気ですね♡

饅頭達…、センカと翔鶴の真似をするんだ…。ただ、2人は縄で縛られてないよ？

◇◇◇

☆☆☆

「~~~~~っ♪~~~~~っ♪おっぐえええええっつっつ?!?!…イツタタ…えっ?誰?」

えっ?!何っ?!そろそろ第2食堂に到着するって時に背後からタツクルされたんですけど?!足音聞こえなかったよっ?!凄いついで、倒れちゃったよ…。令司君は守れて良かったぜ…。ふう〜

鼻歌を歌いながら第2食堂へ向かっていて、到着寸前の所で、足音無しの暗殺?タツクルをかまされたのだった。令司君は、腕立て伏せの姿勢で守ったのだった。ナイス判断!そして、これらの行為を駆逐艦達にバツチり見られるのだった

「二二」あつ、指揮官だ♡会えた♡ヤッター〜♡んふ〜っ♡「二二」

はあい♡タツクルで倒れちゃった指揮官です♡あつ、床が凄い勢いで濡れていく…。で、クンカーに嗅がれてま〜す♡もしかしてフェロモン出しちゃってる?え〜っ?そんな筈ないんだけどな〜っ?

クンカーからしたら『えっ?フェロモンを出してない?はっ?何、言ってるの?フェロモンダダ漏れなんですけど?しゅき♡』とかそういう事を言うのかね?うん。クンカーが言うんなら間違いないでしょうね?

「クンクン♡スンスン♡スーハー♡スーハー♡スーハー♡スーハー♡

れろん♡あああ♡指揮官にようやく会えました♡素敵♡エロカッコ  
良い♡クソ淫乱清楚ビッチ♡エロい首輪をくれてありがとうござい  
ます♡愛してる♡嬉しくて鳥海、何度も果てちゃったんです♡ハア  
ハア♡（もう、良いですよ？充分ワンワン♡シタから♡解放され  
たんです♡）」

「鳥海、会えて良かった。うん。愛してるよ。お待たせ。エロい首輪、  
気に入ってくれて良かった。似合ってるよ。それで第2食堂で昼食  
を一緒にいっしょ?!ちよ、鳥海?鳥海さっくん?んむう♡」

あらやだ♡鳥海お嬢様はクンカーですわ♡それで発情しちゃって  
るわ♡うん、これはオスフェロモンダダ漏れですね♡分かるんです  
ねえ?小さな犬耳をピコピコして可愛い♡気持ち良くなってる♡の  
気持ち、ちゃんと伝わってるよ。愛してる♡

クソ淫乱清楚ビッチ?新しい称号?を手に入れたっ!称号チャレ  
ンジでもしてみるか?するなら、もつとこの貞操逆転世界の生活に慣  
れてからかな??

「んっ♡んっ♡ちゆるるっ♡んれっっ♡ちゅぞぞっ♡んゝんゝん  
ゝっっ♡」

んもう♡困った令司君だよっ♡アツツいラブ♡な甘い唾液口  
姦で、漲っちゃうんだもの♡口例になったかも…。うん、もう解放し  
ちやいましょう♡ホラっ。お出でっ。どうぞ召し上がれっ

「……っ♡ハイ♡捧げますね♡っっ♡んあっ♡ハッ♡ハッ♡ハッ♡  
ちゅぱ…♡ちゅれ…♡ハアハア♡指揮官、愛してます♡んむ♡」

「「鳥海さん、おめでどう♡指揮官、キスしますね♡」」」

令司は第2食堂で昼食を食べる前に、暗殺?タックルをかました鳥  
海お嬢様に食べられるのだった。綾波と長良、五十鈴パターンです  
ね?他にも居たかもしれないですが…



駆逐艦達が暖かい拍手をしていた。そして令司にファーストキスを捧げて、垂れ流したまま食堂へ入って行くのだった。饅頭達が掃除兼食事をするのだった。お疲れ様であります

「ハアハア♡鳥海が、嬉しそうにしてくれて嬉しいよ。あつ、そうだ、鳥海…ちよつと良いかい?」

「んっ♡んっ♡…ハアハア…♡…???はい、指揮官?何でしょうか?んっく…♡。アンっ♡」

「ありがとう。それじゃ、抱き寄せて…。ほいっ…。おうっ♡うんん…。変な声出ちゃったわ…」

「くっっ?!はうっ♡かぶっ…♡くっっ♡」

おっ?やれば出来るんですねくっ♡鍛えたからかな?良かったく。気持ち良い♡とにかくこれでオツケー♡うん。動けます。甘噛み、気に入った感じですね…。どんどん噛んじゃって何度も果てちゃえ♡イケイケ♡

「ヨシヨシ♡大丈夫じゃないだろうけど、しっかり抱きついてろよく♡あつ、噛んでて良いからな?はい。それじゃ、このまま、第2食堂へ行こうか…。おっふ…。下の口で返事とは…ヤリますね♡」

こうして第2食堂へ入って行くのだった

☆☆☆

「くっっ♡くっっ♡くっっ♡くっっ♡くっっ♡くっっ♡くっっ♡くっっ♡くっっ♡くっっ♡」

「鳥海?何言ってるのか分からないよく…?さてさて。誰の料理を食べるかな?っぐ…。ふむふむ…。…おっ?へえく…?これはこれは…。うん。これに決まりですねく…♡」

「はい。どうぞ召し上がれく…。くっくっくっ♪あつ、指揮官に鳥海、いらっしやい。あたしの料理を食べるの?嬉しい♡どうぞ召し上がれ

「うん、鳥海、おめでとう♡」

「三笠…。頂くよ。…あははっ。気合い入ってるな？美味しそうだ。頂きます。もぐもぐもぐもぐ…。ゴクン…。ご馳走様。うん。美味しかったよ。ほら、鳥海も食べ…。あるえ…。」

「」

「満足して寝ちゃったか…。幸せな顔をしてて良かった。ゆっくり休んでね？起きたら、しっかりごはん食べてね？聞こえてるかどうか分からないけども…」

美味しかった♡…で、鳥海はこのパターンは無かったような…？嬉れシヨ…。ゲフンゲフン…。あつ、饅頭達…。掃除してくれるの？ありがと。いつも助かっています。ヨシヨシ

茶髪美爆乳ギャルな三笠の料理を堪能したのだった。鳥海は幸せな顔をして遠くへ意識を持っていかれたのだった。その遠くで何を見ているのでしょうか？

「良かった♡それで…。デザートとしてあたしを食べて♡お皿同好会の一員としてこれだけは譲れないんだ♡しっかり身体を綺麗にしているぞ♡さあ♡指揮官♡召し上がれ♡」

「そっか…。しっかり準備してくれて嬉しいよ。うん、本当だな♡シロップかけ放題だよ♡お皿にしてデザートとして三笠、頂きますわ。愛してる♡んちゅ」

「んむちゅ♡♡♡♡ん♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「三笠様、おめでとうございます♡紋様が何処かに付けば良いですわ♡ハアハア♡ねえ？指揮官♡いや、パパあ♡遊ぼう♡」

「ぶはあ…。はっ♡はっ♡そうだな♡パパ、パーティー開いて、食べる事にす…。あぐっ!?ハアハア♡ちよつと…。みか…。んむう♡♡♡♡♡」

パパあ…。?!ぐほあつ！新しい扉を開きますう♡パパ専つてやつ？いや、ここではパパ船だろうなあ…。うわ…。最高じゃん♡何か欲しいのがあるかい？

アークロイヤルの気持ち、分かったかもな〜？パパ、頑張るよ〜  
♡よろしくお願いするわ♡三笠〜♡必死に吸いついて来ちやつ  
て♡かつわいい〜♡それぞれ〜♡あ〜♡最高♡

「ハアハア♡んっ♡指揮官♡愛してる♡いっぱい気持ち良く…♡なつ  
てね♡パーティー、楽しんでね♡アツ♡んは〜♡」

「ぶはっ…。はあはあ♡もちろん♡気持ち良いよ…。ハアハア…。三  
笠、愛してる♡くっ…。はあ…はあ…。それじゃみんな？パーティー  
を始めようか♡」

「二二はあい♡パパあ♡愛してる〜♡よろしくお願いしま〜♡す  
きやは♡んちゅ♡（ヤツタ〜♡ネットリラブラブ、擬似通貨ラブラ  
ブなどをいっぱい楽しめるんだあ♡気持ち良くなつてね♡愛してる  
♡）」

三笠をお皿にしてデザートを食べた後、三笠をデザートとして食べ  
るのだった。完食後、夕方になるまで駆逐艦、軽巡、重巡などとパー  
ティーを開くのだった

この光景は何度目でしよう？だいぶパターン化されたようです？  
お皿同好会に、パパ船達が第2食堂に集まっていたようです。新しい  
扉を開けたのだった

そうして食堂内はピンクの霧に包まれるのだった。何かいつも  
真っピンクの霧に包まれてるよ〜な？饅頭達は大忙しです。けど、楽  
しんでいるのだった

#### ☆ビスマルク達、到着寸前☆

「そろそろ到着するわよ♡ハアハア♡見えてきたわ♡やっど帰って来  
たわ♡ハアハア♡令司兄様♡ビスマルクを沢山褒めて、抱きしめて愛  
して♡それで欲求を開放させて♡無理と言うのならバーチャルの1  
00の令司兄様にね♡…うっ♡想像しただけで鼻血が♡」

（ハアハア♡お願い。まだ元気にならないで♡）

「ビス姉え…。報告するの忘れないでね？それか見回りしてる誰かが報告してくれるかも…」

「そうね…。報告するわ…。報告弾を…。…これでヨシつ。んんんっ♡」

「ハアハア♡相変わらず真っピンクの霧に包まれてるわね♡外も中も真っピンクとか最高よ♡ハアハア♡令司兄様を探して土下座しない♡」

（ハアハア♡ヤダヤダあ♡元気にならないで♡まだダメ♡…ビス姉えのも元気になりそうな感じ？）

「鳥海、おめでどう♡嬉シヨをしちやうなんて…。可愛いわね♡摩耶もドスケベ祭りで初体験したし…。後は高雄が初体験するだけね…。確か…そう…。指揮官♡是非縛り倒して欲しい♡けど、先に愛宕をしばかない♡」

「愛宕しばき、参加するよ。ふくくん？ニミミにラファイ…。まだあげてない…です？引きづってでも指揮官に合わせてやる。サポートはするです。ヨシツ。アークを釣るか…」

「ハアハア、やっとな到着するのだから♡指揮官待つてるなのだから♡嗅ぎ倒してやるのだから♡それで交尾するのだから♡わっふくくん♡あ、そうだった…。ザコちゃん、起きるのだから！そろそろ到着するのだから…！」

「Zzzzz…。んん…。…はっ?!…えっ?!あ…、あはは…。(寝ちやつてた…。みんな鼻血が止まって良かった…。何故かみんな眩しい…。…で、これがオープン基地…。凄い、ヴァツカみたいに広いっ！それで真っピンクの霧で全体を覆われてるんですけど?!これ大丈夫じゃないでしょ?!)」

大丈夫です。吸ったら気持ち良くなってハイ♡になるかも？  
……あれ？これ、洗脳されてる？

「やっとな帰って来た♡これで大鳳にサプライズ出来るよ♡」

後、指揮官のサプライズ成功出来ると良いなあ♡」

ビスマルク達の遠征がようやく終わります。お疲れ様です。みんな鼻血が止まって良かったです。しっかりと補給して下さいね？

「~~~~~♪……異常な……し……？あら……？あれは報告弾……？逝けどり成功……。……超遠征からビスマルク達が帰って来たのね……。お疲れ様。縄で縛られてるのは……テストター？で良いのかしら？あら？番号が書いてあるわね？N035……。指揮官に報告ね♡これは楽しくなるわ♡褒美として吾妻を使い込んでくれないかしら？耐久性には自信あるわ♡それと、母乳搾りもお願いします♡お風呂上がりに吾妻の乳飲んでくれたし♡うふふ♡1番♡」

テイルピッツの言う通りで、見回りをしていた吾妻が報告をするようです。ザコちゃん、いよいよ令司と出会いますね？どうなるのでしょうか？

☆☆☆

「「ハアハア♡指揮官……♡愛してるう……♡きやは♡」」

「んは……。気持ち良かったよ。愛してるよ♡はあ……。んっ？夕方か……。ちよつと早いけどお風呂入ってくるね？みんなゆつくり休んだり食事したりして自由に過ごしてね？」

「「はいつ♡」」

パパ、頑張ったよ♡スッキリしたよ♡お皿同好会とパパ船が集結してたわ……。で、新しい扉を開けました。まだ、開きそうだな……。うん。新しい扉、壊れてるなあ……。鍵、ボロいねえ？

いや〜、俺のお尻のあ……を♡これは、そろそろ……ねえ？男性が少ないんでしょ？1人くらい居ても可笑しくないんだよなあ……？誰が持つてるかな……？

居なかつたら、お薬でね？ちよちよいと肉体改造。それで百合の花

が咲き乱れるんでしょ？媚声をたあくぷりね♡良いねえ♡

受け入れるゼ♡多分楽しくなるわ♡ものすんごく溜まつてると思うんだ♡まあ、溜まつてなくても、危ない飲み物が沢山あるからねえ？簡単に回復するよ♡

お皿同好会とパパ活を沢山堪能した令司。そこら中に♡マークが飛び散って、いや、舞っていました。令司は、何かを察知して覚悟をキメたようです。むしろ楽しむようです。インキュバスです？インキュバスでしょ？

「ハアハア♡指揮官♡あたし、スツキリ出来たわ♡ありがと♡後、薔薇の紋様を刻めて嬉しい♡惚れ直したわ♡愛してるわ♡んちゅ♡」

「三笠、似合ってるよ♡ますます惚れたわ♡結婚…してたな。一緒にお風呂に入って延長戦しようか♡」

「んんんっ♡ハアハア♡そうしたいけど♡やめておくわ…。そろそろ帰って来るし…。そっちの方が楽しめるわ♡んんんっ♡れるちゅ♡…あら？」

「んっ…。分かった…。…えっ？それはいつ「指揮官♡超遠征に行っていたビスマルク達が『35番テスター』の逝けどりに成功したわ。帰って来てるわ♡素晴らしい縄縛りされてるわ♡ハアハア♡」吾妻…？ふうくん…。…えっ？今、何て…？」

「ハアハア♡…???えっ？ビスマルク達が『35番テスター』の逝けどりに成功したのよ。それで、そろそろ到着するわ。メンバーは旗艦、ビスマルク、副旗艦、テイルピッツ、随伴艦が綾波、夕立、高雄、アルバコアよ」

「35番テスターの逝けどりに成功。報告ありがと…うむんっ!?んんんっ？」

「うふふ♡吾妻、報告ありがと♡ごゆっくり♡」

吾妻、凄く興奮してるね♡エツロいってば♡ヨシっ。ヤツちやおうか♡ビスマルク達、お疲れ様

「んっ?!んはっ…。はあはあ♡不束物ですがよろしく願います♡  
耐久性に自信あります♡うふふ♡」

「ごちらこそよろしく願います。逝くぞ?………ぐあっ?!」

「あゝゝ♡素敵なバツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡あ  
あん♡愛してます♡母乳搾り願います♡あっ、どうぞ召し上がれ  
♡」

「くあ…。はあはあ…。嬉しい事言ってくれるねえゝゝ?ありがとう  
では、遠慮無く頂きます♡」

報告を受け取った令司。吾妻のキスにより令司君、起立。おっ始め  
るのだった

#### ☆遠い遠い暗い場所☆

遂に?ニーねえが潮噴きを開始。ナンバーズの指示でローテー  
ションを組んでテキパキとお世話をする事になった

部下ちゃん達は、3人がビクンとするとつられてビクンとなるの  
だった。ゴークルを3人に付けてお祈りをするのもいた

セイレーンは百合の花が?咲いている?ようです?一応、平和です  
35番テストターの事は知らないのだった。知ったらどうなるで  
しょうか?

キタコレっ♡

第2食堂で昼食をとる事にした令司。そろそろ到着する所で、足音無しの暗殺タックルを鳥海お嬢様にかまされて倒れてしまった。令司君は守った。良かったね？癒し刑の対象行為だと思いますが、対象外のようなです。どんな基準なんです？

そのまま鳥海を誘い、食べられました♡そして鳥海を食べたまま食堂へ入り、ギャルの三笠の薬無しの料理を食べる。薬以外にも、三笠の体液などやKANSEN達の母乳入りといったのも無い純粋な料理っ！良かったですね！

完食後、お皿同好会の一員の三笠をデザートとして食べた。ニューカッスルから貰ったリストは本物だと思ったのだった。盗撮してるニューカッスルは、無表情のままダブルピースをするのだった

駆逐艦達がパパ船なので、パパ活を始めました♡もちろん、食堂内に軽巡、重巡以上もいる。その娘らとも活動したのだった。活動は夕方まで続いたのだった

そのパパ活動で、お尻のあ…を掘…♡ゲフン…。ええくく、男性が少ない貞操逆転世界ならでは？と思った令司。なので、アレを持つてる（付いている）んじゃない？と思ったのだった。受け入れるようですよ。しかも楽しみにしている。ええ？

三笠に綺麗な赤い薔薇の紋様が刻まれたのだった。刻まれたのが嬉しくてデレデレ顔で令司のお尻を触るのだった。お風呂へ入ろうと思った令司は、お風呂で延長戦をしようとして誘ったが、デレデレ顔のまま断られたのだった

楽しい内容を詳しい事を聞く前に、エロい過激な水着を着けてる吾妻がやって来た。令司に見せつけながらビスマルク達の報告をしたのだった。令司は唾を飲み込めたのだった

発情が収まらない吾妻は、報告後に直ぐファーストキスを捧げて、そのまま貫通式♡を済ましたのだった。令司の令司君に元気をくれる言葉を沢山くれるのだった。耐久戦が始まるのだった

三笠は、この行為を見ながらご飯を作るのだった。器用ですね…。



他のKANSENも料理を作るのだった

☆☆☆

◇

ビスマルク達が帰投しました。『遠征お疲れ様。報告するわね』と、吾妻が書いた紙を持った饅頭達が居たのだった。その紙を使って色んなポーズをして撮影会を始めていたのだった。おちやめ♡

「二」到着したわね。のです。のだ〜！・大鳳〜♡待っててね〜♡愛宕？指揮官〜♡大鳳〜♡」

「到着したわね…。ハアハア…♡…んっ♡…令司兄様に報告がいったわね…。吾妻、ありがとう。饅頭達もね…。…うぐっ…（令司兄様♡令司兄様♡令司兄様♡褒めて褒めて♡あ〜♡ダメダメダメダメダメ…）」

「ハアハア♡吾妻が…報告を…。ありがとう。ハアハア♡くう…（土下座しなきや♡土下座しなきや♡全裸土下座しなきや全裸土下座しなきや♡全裸土下座しなきや♡ソレデモウゴール、シテイイヨネ♡）「大丈夫…？じゃないよね〜？これは…。あはは〜…」

（なんか、霧を吸ったら身体中がポカポカしてきた♡下の口からヌルヌルいっぱい溢れ落ちてくし…。このピヨピヨ言ってるの、あたしの下の口を撮影してるのと、粘液を集めて、何かそれを見ながら話あつてたり色々してる…。みんなキラキラしてるよ…。で？ビスマルク？とテイルピッツ？えつと…ちよつと？モッコリしてるよ？）

ビスマルクとテイルピッツの様子が、モジモジしているが高雄達は触れないようです。サツサと、高雄と綾波は愛宕を縛り倒しに、夕立は、指揮官が居る第2食堂へ、そしてアルバコアは大鳳にサプライズを仕掛けに逝くのだった

「各自、補給を…。って、言われなくてもするか…。行動早くて助かるわ。ハアハア♡…ねえ？ピツピ？んっ♡あはっ♡」

「ハアハア♡…何？ビス姉え？ハアハア♡あつ♡あつ♡…あ

はっ♡」

「元気になっちゃったワ♡コレ、令司兄様に見せたらどんな反応するかしら?拒絶よね?拒絶よね?でも、ゴールシタイワ♡ピツピもそうでしょ?」

「ハアハア♡ええそうよ♡元気よ♡拒絶されるわね…。結婚してるのに…。このままだと、他の基地の指揮官と繋がらないと逝けないわ…。だから全裸土下座しなきゃイケナイヨ…。ハアハア♡もう、ゴールシタイ♡ゴールシタイ♡だから…ねえ…?」

「令司兄様♡ザコちゃんを逝けどりシタ褒美として犯し、犯されて下さい♡お願いします♡お願いします♡お願いします♡ハッ♡ハッ♡ハッ♡ああっ♡あっ♡令司兄様♡そんなっ♡♡♡♡」

「……………。(えっ?えっ?ちよつとからシャキーンてなった…。2人のそれ、粘液が出てる…。でっ?何でコツチに来るのおお♡♡♡?!ちよ♡♡♡?!痛いっ!えっ?何処に連れて逝くの♡♡♡?!あん♡♡♡縄がまた喰い込んでる♡♡♡ひゃうん♡♡)」

ビスマルクとテイルピッツの持っているのが元気になったようです。ビスマルクとテイルピッツは全裸になって、ザコちゃんを令司兄様の所へ向かうのだった。戦艦組は裸族が多いんです?

令司、ザコちゃんをパンパパーン♡スル時が来たゾ!後、ビスマルク達を見てどうなるでしょうか?

◇◇◇

☆☆☆

「指揮官♡♡♡夕立が帰って…♡♡♡わふっ♡はっ♡はっ♡はっ♡あお♡♡♡きゃふ♡♡♡くう♡♡♡くう♡♡♡くう♡♡♡くう♡♡♡きゃん♡♡♡わお♡♡♡ん♡♡♡」

「んちゆるる♡♡♡ん♡♡♡ん♡♡♡ん♡♡♡つ♡♡♡れるれるれる…。ちゅぱ…ちゆるん♡♡♡ふ♡♡♡ふ♡♡♡ふ♡♡♡ふ♡♡♡」

「夕立、お帰り。遠征お疲れ様。♡ご飯そろそろ出来るわ。出来れば食べて?…で、夕立のご主人様は吾妻と、羨まけしからんキスの最中だよ♡吾妻が負けたわ♡じゆる♡♡」



遠征お疲れ様。後の3人は補給中ですね…。：うん？何かヌルヌルする？…おや？おやおや？これは？もしかして？もしかすると？キタコレっ♡付いてるんですね♡フウ→

「ビスマルクとテイルピッツ、お帰りなさい。報告しといたわよ♡つて、聞いてない…。で、それを抑える薬、切れちゃったのね…。まあ、薬要らなくなると思うわ♡」

「ちよ♡えっ♡ふう♡（ビスマルクとテイルピッツが抱き着いたのが令司兄様？何だろう？下の口がぎゅゅっ♡となつてく♡粘液の量が増えてくよよ♡ハアハア♡凄い音シテる…）」

「貴女が、35番テストスターね？いらっしやい♡指揮官の指揮官で幸せになつてね♡最初だけ痛いけど、そこから先は平気よ♡まあ、吾妻の感想は当てにしない方が良くもだけれど♡うふふ♡」

令司、ビスマルクとテイルピッツの暗殺タツクルを受ける♡もしかして暗殺タツクル、流行つてる？タツクルされて服従のポーズをしている夕立の夕立ちちゃんにキスをしてしまった♡令司、風呂に入るんじゃないのかい？

令司兄様の考えを察したのか、ビスマルクとテイルピッツはお互いの顔を何度も見て、頷いて夕立と令司兄様をお風呂へ拉…、連れて行こうとスルのだった。悪い汗を掻いていて、令司兄様の機嫌を悪くさせない為かもしれない…

「ハアハア♡あっ?!ちよっ?!な…むん…♡んっ…?んっ…!んんっ?!（えっ?何でボールを啜えさせられてるの…?あたし、どうなっちゃうの?!あっ、何処に連れてくの…?!んん…♡ビリビリする♡つて、気持ち良くなるの何でえええ♡）」

「あああら♡ビスマルク達ったら♡盗撮で見守ってるわ♡いつてらっしやよ♡楽しんでね♡ザコちゃんももう家族みたいな物だからね♡ビスマルク達のをね♡ウフフ♡癒し刑受けてね♡」

あゝ？？ビスマルク達？夕立とキスさせて拘束して何処へ向かうんだい？ハアハア言ってるだけじゃ分からないよ？で、夕立ったら、尻尾をブンブン振ってる…。嬉しいんだね？ありがと

：おっ？これはお風呂に向かっている感じだね？ありがと。ビスマルク達は沢山汗掻いてるもんね？綺麗サツパリ流したいよね♡その後でギシギシアンアン♡ピチャピチャ♡スルか♡じゆる♡

ザコちゃんと令司兄様と夕立をハアハアしながら抱き抱えてお風呂へ向かうのだった。令司兄様はビスマルク達の娘ちゃんを狙っているようです♡そんな事を知らない2人の心の声を聞きましょう

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡（お願いします。犯して♡犯されて♡犯して♡犯されて♡お願いします♡お願いします♡お願いします♡）」

ビスマルク達の頭はパンパカパーン♡のようです。元気になった娘ちゃんは、そのまま維持している。令司君にそっくりですね♡そうこうしてる内にお風呂へ到着するのだった

☆☆☆

「んっ♡んっ♡んんんっ♡♡♡♡♡（ヤダヤダ♡止まってよ♡ボール啜えさせられてから止まんないよ♡♡身体中がビリビリしてるよ♡♡ポカポカしてる♡♡）」

ザコちゃん、頭の中がだいぶパンパカパーン♡になっている♡饅頭達はイキイキと観察しているぞ♡丸眼鏡を付けて楽しんでるのも居た

「指揮官に貫通されて幸せなのだ♡ワオ♡♡愛してるのだ♡で、ザコちゃんがクネクネダンスしてるのだ♡面白いし、エロいのだ♡ヌルヌルし過ぎでビツクリなのだ♡あつ、指揮官♡ザコちゃんにちゃんと幕あるのだ♡わふ♡先に入ってるのだ♡！どっぼ♡♡なの

だ〜♡」

「ああ…。気持ち良かったよ。愛してる。逝けどりに出来るとかビツクリだよ。ゆっくり浸かって疲れとってね〜?」分かったのだ〜♡「へえ?ほおほお…。ザコちゃんって、綺麗な髪と肌をしているんだね〜♡そっか…。あるんだ?報告ありがと♡…。…でっ??」

喰らいついたら離さないワンツ♡だったわ…。それ、違う娘のセリフだと思っただけだね…。凄く元気だったわ♡吾妻とのキスで回復してなかったらどうなってたか…。まあ、飲み物で回復かなあ?。

うん♡35番テスター、ザコちゃんったらエロいクネクネダンスするのね♡豊乳…。いや、巨乳…。どっちでもいいけどね?へえ?幕あるんだ?うん?饅頭達?その写真は?あ〜?ザコちゃんの下口の?へえ?本当にあるわ…

この35回分♡って何?まあ、いつか…。縄は解かないのね…。自殺か逃げられるからかな?で、この縄縛りは高雄だな…。綺麗な縛りだよ♡愛宕が練習相手だろうなあ〜

男性が少ないのってさ?セイレーン達がやり込んで潰してるのかと思っただけど?まあ?35番だから回って来なかったとかありそうだね?うんうん。ありそう…。んで?問題?は、こっちなんだよなあ…

「(お願いしますお願いしますお願いしますお願いしますお願いします)♡」  
バーチャルの100の令司兄様は最終手段♡でも相手シタイ♡」

全裸土下座♡キタコレっ♡ほうほう♡娘ちゃんは元気ですね♡超遠征でしばらくヌッキヌッキ出来なかったのね♡すっごく震えて、何故か大洪水じゃん…。ローション♡入り電動オ○○だね♡絶対、気持ち良いよ♡

犯し、犯されて欲しいのね♡ヨシっ♡変態妻達の欲求を解消しま

しよう♡これ位しか出来ないからなくく？海の上に立てないし…。  
戦闘とかの後で色々興奮して高まつちやうのよね？生存本能って奴  
ですぬく。バッチこい♡

その内、女体化の薬を飲んで？メスにされて分からせられると思う  
んだよなくく♡それはそれで新しい扉を開けるね♡キタコレっ♡褒  
美をしつかり貰ってね♡ネっ♡

令司兄様、覚悟？をキメて褒美をあげる事に♡全裸土下座中の2人  
の肩に手を置いた。2人の娘ちゃんがピクつと反応した。どうなる  
のでしょうか？そして放っているザコちゃんをどうするのでしょう  
か？3秒合体RVは撮れませんでした

「……………?!きゃん♡令司…兄…様…？あの…。その…。無言で爽  
やかな笑顔で握るのは…♡ああん♡」ビスマルクとテイルピッツ♡動  
くな♡「んんっ♡あっ♡ハアハア♡ハアハア♡んむちゅ♡んんくくっ  
♡んくくっ♡（動けにやい♡これは♡ゴールして良いのね♡ファース  
トキス捧げられたわ♡ヤッター♡）」

「わふくく♡指揮官のキス、凄くネットリなのだ♡ネチっこいのだ♡  
ビスマルクとテイルピッツのオチ○○ン、ネチネチされて元気にデレ  
デレしてるのだくく♡良い物を直に見てるのだくく♡時雨に雪風く  
く？見てるくく？最高なのだくく♡」

「んぶは♡2人のファーストキス？かな？を貰ったよ♡ヨシヨシ♡良  
い娘良い娘♡こつちもヨシヨシするねくく？準備出来たらギシギシ  
アンアンするからなくく？」

夕立の目の中が☆マークで満たしている。犬耳を凄く早くピコピ  
コしている。美巨乳を縁に載せ、尻尾でお湯を掻き回していた。それ  
に鼻血の噴水をしていて大興奮しているのだった。疲れ取れないよ  
？

うんうん♡元気いっぱい♡けど、もう少し、高めて貰うわ。念入り

にね?…これでよしつと…。うんうん…。お漏らししなかつたねく  
く♡まあ、そうシタんだけど…

ビスマルクの方からね?娘ちゃんの愛の砲撃をお尻のあ♡で受け  
止めるねくく♡はあい♡ズドーン♡

んくくつ!熱い愛を感じるよくく♡キタコレつ♡キタコレつ♡新  
しい扉壊れたぜつ♡後は、女体化だなっ♡女体化の俺はどのサイズか  
なくく?楽しみくく!

令司兄様はビスマルクとテイルピッツの娘ちゃん。いや…、砲撃  
ちゃん?のメンテナンスをネチネチネットリ♡磨き上げて、キラ付け  
をしたのだった。火力などのチェックをお尻のあ♡でシタのだった。  
だいぶ無理をしますねくく?

「くくくつ♡アアアアアああつっつ♡令司兄様あああつくく  
くくくつ♡あくくつ♡あくくつ♡あいひて…んつれろ♡ちゆるるつ  
♡(拒絶されなかつた♡嬉しい♡童貞卒業出来た♡愛してるわ♡令司  
兄様愛してるわ♡後は、メスを卒業スルだけ…まつ♡キスう♡ハア  
ハア♡もう、またお漏らししちゃったくく♡)」

「うんうん。ビスマルクの愛の砲撃の火力最高だねくく♡流石、戦艦  
♡キスしながらスルよ♡」

ヨシヨシ♡次はピツピの番だな♡仕上げて放置しちゃってごめん  
ねくく?キスしながらゆつくり逝くよくく?あつは♡火力最高じゃ  
くく♡ほらほら、いっぱいお漏らしシテ♡

おつと…、忘れてた…。ザコちゃんの相手をしないとね♡エロイク  
ネクネダンスしてたんだもの♡令司君が涎垂らしっぱなしだったか  
らねくく?逝くよくくつ♡おつふ♡トロトロ♡

「ハアハア♡ビス姉え…。おめでと♡…えつ?…令司兄んつ♡(令  
司兄様の笑顔、素敵♡拒絶されなくて良かったね♡凄くネチネチ交尾  
してる♡磨き上げられたピツピの砲撃ちゃんが泣いて…。はわく



くっ♡2度目のキスしながら、童貞卒業くっ♡砲撃しちやったくっ♡ヤくっ♡逝かないでくっ♡」

「んんんっ?!んっ♡んぐくっ♡ふあにふあつてふのっ?!ふおぐっ?!んっ?!んんんくっ♡」

(ちよつとくっ♡?!何ヤツテンのくっ♡?!?!令司兄様が、ビスマルクとテイルピッツのパオゥンを受け入れてるよねっ?!2人とも動かないなんて…。えっ?コツチに来て…んあくくんっ♡何いくっ♡痛気持ちくっ♡何か切れたくっ♡幕とか言つてたけどくっ♡…?それかなあああ♡また、切れたああ♡)

令司兄様、ビスマルクとテイルピッツの童貞を貰う♡そして我慢しまくりの令司君がザコちゃんとヤル♡ザコちゃんの顔が蕩けるのだった…

「ハアハア♡くくくん♡指揮官くっ♡また、欲しくなったのだくっ♡ビスマルクとテイルピッツの言霊はいつ解除するのだ?」

「夕立…、そうだな…スルか。いつ解除?秘密だよ。身体中を洗ったらビスマルクとテイルピッツもシテあげるからな♡」

「分かったのだくっ♡あつ、饅頭達にご飯を持って来てくれたのだ。ありがとなのだ。食べて休憩したら素敵なおパーティーをするのだ♡わふ♡」

「そうだな…。饅頭達、ありがと。食べて休憩したら沢山しような?ザコちゃん専用のご飯あるし…。突っ込んであげるね。しつかりお食べ♡その後、繋がろうね?」

「んっ♡んっ♡つふあがる♡」

こうしてお風呂でのぼせないようにパンパカパーン♡をしまくるのだった。作戦名?海域名?をつけるとしたら、何だろう?『砲撃迎えくっ♡ヨシっ』かな?

☆☆☆

◇

「指揮官ったら楽しんでるわね♡ビスマルクとテイルピッツ、おめで

とう♡メスの方だけね♡あらあら♡ザコちゃん、エロエロで綺麗♡それで丈夫ね♡なら、安心ね♡」

「三笠ったら、料理には薬を盛らないってキメて、ずっと守ってたじゃない…。なのに、ザコちゃんの料理に思いつきり劇薬盛ったわね♡あゝあ♡食べちゃった♡面白い事になるわね♡♡あら♡指揮官と夕立、凄く心配してる♡大丈夫、死なないわよ。気持ち良くなる薬よ♡」

「吾妻…。セイレーンになら盛るわよ♡テストの名前通り、テストして貰いたいし♡まあまあ♡効果抜群♡指揮官の目付きエロい♡あは♡直ぐに仕上げちゃって♡夕立も欲しそうにしてるわね♡♡種なんてないわ♡」

「だいぶ黒いわね♡♡そこそこにしなさいよ♡♡さてさて…、指揮官にたつぷり搾って貰った母乳をリットリオに渡しに行くわね？えつと…。リットリオの場所は…、第1搾乳室ね。笑顔で気絶してるわね…。檜野ったら、まだ搾ってる…。パワーアップし過ぎよ…。壊し過ぎ…。えゝゝつ、信濃…信濃…。…えつ？工場？遠いわゝ…。」「吾妻が迎えに行かなくていいじゃない。青葉と神通を使えば直ぐよ？青葉ゝゝ？神通ゝゝ？聞こえてるわよねゝゝ？青葉は第1搾乳室で搾乳してる檜野の癒し刑、神通は信濃の所へ第1搾乳室に向かつて頂戴」「畏まりました。三笠様」よろしくゝゝ♪」

「あら？本当に直ぐね…。ありがと、三笠。それじゃ第1搾乳室に向かうわ。あつ、そうそう、ご馳走様でした。機会があったら料理食べてね？」

「お粗末様♪そうするよ…。あつ、言い忘れてたわ…。吾妻のその紋様はモモだと思うわ♡バラ科サクラ。綺麗よ♡ピッタリよね♪ローンにもついてたと思うわ。本人と指揮官は触れてもないけど…。」

「あらそう…。ありがと♡モモの紋様ね…。うふふ♡ピッタリね♡それに合わせて羽化して淫紋を刻んだからかしら♡もう行くわね？リットリオ、待っててねゝゝ？(うふふ♡青葉ちゃんったら、張り切ってるわねゝゝ♡神通は信濃のお世話、お疲れ様♪)」

「行ってらっしゃい。さてと…。お風呂のお酒のおつまみでも作りま

「しょうか…」

吾妻と三笠は黒い？話をしていたようですね〜？ザコちゃんに何かが起こったようですが、元気に生きてね？樫野…、リットリオに癒し刑のコツを教えて搾って貰っていた筈なのに…

青葉と神通、行動早いですね〜？リットリオ？三大印が集まるぞっ！起きろっ！鼻血出し過ぎて復活出来ないのかっ！ねえ？起きてっば！饅頭達が必死に起こしているよ！

◇◇

☆☆☆

◇

大分、遡りますが、高雄、綾波、アルバコアの補給を覗きましょう

「あ〜んっ♡どうしたの？高雄、綾波？無言で笑顔で縛って来ちゃって♡超遠征お疲れ様♪35番テスターを連れて来るのに成功して良かったわね♪報告書を受け取りたいのに、受け取れないわはっ?!これが2人からの報告書?!最高ねえ〜♪…って…、あら?」「ダメだったか…のです…。はあ…。ありがと…。はあ…」

「ええ…?どういたしました?あら♡谷間に♡受け取ったわ♡補給しっかりしてよね〜?エルドリッジのビリビリ風呂入ったら直ぐ疲れとれるわよ〜?う〜ん?聞こえたかしら?聞こえてるわね…。で、縄縛りの強度、イマイチねえ…。どうしたのかしら?よし、セントルイスを見つけて、見回り再開しましょうか…」

何がダメだったのでしょうか?もの凄く落ち込んでいるのだった。愛宕は縛られたまま高雄と綾波と分かれて見回りをするのだった。縄、解きましようよ…

◇

「大鳳〜っ♡サ…グヘ〜っ?!ギブ…ギブギブギブっ!アッ

♡きゅーっ♡」

「アルバコア、お帰りなさい。超遠征お疲れ様。ギユユですわ。ヨシヨシですわ。…って、あら？アルバコア？アルバコア？どうしたのかしら？あら？また、涎垂れてますわ。拭いてあげますわ。大鳳も寝ますわ…。Z z z z z z ……」

「大鳳ちゃん…。また…。アルバコア、お疲れ様。ゆっくりお休みなさい。って、大鳳ちゃんも一緒に寝るのね…。お休みなさい。鳳翔も仕込みが済んだら寝ますね♪あら、饅頭達、手伝ってくれてありがとう♡そうそう、プリン美味しかったわ。また、作ってね？あら、敬礼するなんて♪」

アルバコアは何度も大鳳にサプライズをして、逆サプライズをされて気絶するのね…。キラキラしてますよ…。補給完了したんですね…。ゆっくりお休みなさい…。ギブアップするのなら、サプライズをするのを止めれば良いのに止めないんですね…

鳳翔は、熊野や鈴谷達の母乳プリンを食べたようです。饅頭達はクネクネして喜んでいる。綺麗な敬礼をしてから、仕込みを手伝うのだった

オープン基地に新しい家族、(嫁?)が出来ました。令司の令司君が幸せにするでしょう♡おめでとうございます。ゴールインしましたね♡

◇◇◇

☆遠い遠い暗い場所☆

「んっっ♡ようやく止まったあっっ♡スッキリしたっっ♡キラキラしてるよっっ♡肌、ツルツルで綺麗っっ♡ゴツソリ入れ替わった感じだねっっ♡ナンバーズちゃんと、その部下ちゃん達、お世話ありがとうございます。…でっ…」

2番テスターこと、ニーねえが無事に性還しました。土下座で感謝するのだった。ナンバーズとその部下達も土下座するのだった

「あつ♡あつ♡令司キユン♡やつと♡やつと♡繋がれた♡嬉しい♡  
そうよ♡。漏らしてるわ♡♡あつ♡あつ♡ん♡♡もつと愛  
して♡♡あはつ♡意地悪してる、その笑顔素敵よ♡♡ハアハア  
♡もつと♡♡」

「電話されて来てみれば…、オブザーバー、ピュリファイヤー…。凄く  
エロく綺麗になってるじゃないか…。まさか…、男を見つけて、貫通  
したのか?!エディはまだだぞ?!見つけたら混ぜてくれる約束  
だったじゃないか?!話が違うつ!それが、ついてるKANISEN  
達か指揮官達とパコったのか?!そんな…、諦めちやつたのか?!  
なあつ!聞いている?!(わぷつ…。甘じよっぱいし、ビリビリする  
…)」

うん。効いてる。バーチャル先の令司キユンの令司キユンで素晴  
らしくエロく良い漏らしっぷりですよ♡エディターは、鼻血を止めま  
しょうね…。下の口、大洪水だよ？

「わあ♡♡す♡♡す♡♡い♡♡オブザーバーとピュリファイヤーの  
潮噴き止まらないね♡♡直ぐ止まるのにね♡♡?バーチャル先  
で令司キユンとパコパコしてるのね♡生の令司キユンに会いたいね  
♡♡ねえ?ニーねえもエロ綺麗♡結婚して♡♡」

「エディターに、双子オミッター、来てたんだ…。いらっしやい…。エ  
ロ綺麗?ありがと…。結婚はその令司キユンとしてからね?遠かつ  
たでしょう?ゆっくりしてって?オミッターはリボンの色と一緒に  
してるからどつちがどつちだか分からないよ…。同じだからねえ…」  
「そうなの♡♡?リボン一緒♡♡?あつ、本当だあ♡♡。あはは♡♡  
♪」

「うん…♡ありがと。ズビ♡♡つ!ん♡♡。ふう…。治った…。お邪  
魔するよ。ニーねえ…。はあ…。確認したいが大洪水だから確認出  
来ない…。ビリビリしたし…。まあ、放置して治ったら確認するか  
…」

「♡♡♡♡♡。ふはあ♡♡沁みる♡♡美味しい♡そつか

「〜、放置が1番か〜。部下ちゃん達、自由に過ごしてね？戦って逝っても良いよ♡オープン基地所属の娘達と戦うのは最後が良いかも…。生き延びたニーねえからのアドバイスだよ♪まつ、聞かなくても良いけどね♪」

「オープン基地い〜？思い出したあ〜。ここに来る前にい〜、遠い暗い場所でザコつちが戦ってる所を見たよ〜。あつ、ありがとう。ズズズ…。ゴキユゴキユゴキユ…。ゴキユン…。れろっ…。美味しい♪ご馳走様♪」

「ザコつち、そんな所に…。帰る所だったのかな？…で？」

「でね〜？ザコつち負けてえ縛られてた〜。一応、偉そうな？旗艦？と副旗艦？っぽいのに砲撃当ててきたあ〜♪凄くモジモジしてた♪効果あったのかもねえ♪」

「へえ〜？ザコつちは多分オープン基地の指揮官ちゃん、いや、達？にグルグルされるんだね？モジモジしたか〜♪それはついたね…。それか天然物かも？どつちか分からないけどね？」

「ズズズつ…。ゴクン…。はあ…。生き返るわ…。ザコつち…。お疲れ様…。ん〜？基地特集の雑誌？しかもオープン基地の奴だな…。話してる所だぞ…。ピンポイントだなあ…。しかも読み倒しててボロボロ気味…。指揮官のプロフィールページは…無い？顔写真も無い…。写真嫌いか恥ずかし屋がりのお嬢様なんだな〜？男性が指揮するなんて有り得ないからな〜…」

「えっ？エディター、読めるんだ…。教え…うん？ナンバーズの1人になった5656ちゃん？どうしたの？ボロボロじゃない…。えっ？オープン基地の指揮官が男性かもしれないっ?!名前は…分からないか〜。ありがと。ゆっくり休んでね？」

「わ〜っ♡。何っ?!行かないとお〜♡。行くぞっ!召喚〜♡召喚だっ!」

「あつ、待って〜?!オブツチとピュリつちも連れてこーよー？男性というのが本当ならさ？令司キユンの可能性あるんじゃない？」

「確かに。じゃ…。この空間にポイして〜。行きましょ〜♪」

「あ〜、待って〜!それじゃ逝ってきま〜す」

飲み会をしていた、ニーねえ、エディター、双子オミッター。56  
56ちゃんの情報により、令司キュンに会うためにオープン基地を目  
指すようです。令司キュンが迎えに行かなくて済みますね♪

令司キュンの嫁達の仕事が増える予感がしますね♪後、他の基地達  
の仕事量が増えたかもしれませんね？どの位増えるのか分かりませ  
んが、ファイト♪

やっぱり凄いやいよ♡

アルバコアが海の底に眠っている？落ちている？燃料を見つけ続けて補給を繰り返した事により、予定より大幅に早く帰って来れたビスマルク達だった。超遠征お疲れ様でした

夕立は、帰投して饅頭達に艦装を渡したら直ぐ全裸になって、令司がいる第2食堂へ真っ直ぐ向かったのだった。高雄、綾波、アルバコアも同様にしたのだった。3人は全裸にはなっていない

ビスマルクとテイルピッツは帰って来れてホッとしたのか大興奮して砲撃ちゃんがこんばんわ♡してしまった。ザコちゃん、2人の砲撃ちゃんを心配する。優しい♡敵なのに…

饅頭達が『35回分』と書かれた紙をザコちゃんの額に貼り付けたのだった。何故分かったのです？饅頭パワーで何とかなっちゃった？

食堂に到着した夕立は、吾妻とのドスケベイチャラブキスを見て、食堂内の特濃フェロモンを嗅いで発情した♡そして直ぐ服従のポーズを取るのだった。令司はお腹と尻尾を撫でるのだった。暖かい目で祝福される夕立なのだった

生け捕りされた35番テスター（以下、ザコちゃんやザコつちなどとする）は、縄は解かれず、ボールを咥えさせられるのだった。ボールやオスフェロモンなどに当てられたのか、発情していくのだった。みんな頬に手をつけて優しい暖かい目で見るといった

変態嫁達は心の中で、綺麗ね♡癒し刑拂るわ♡と思っていたりいなかったりとか…

ビスマルクとテイルピッツが遅れて食堂にやって来て令司に暗殺タツクルをした。どうやら暗殺タツクルが流行っているようです。暗殺タツクルをした2人の癒し刑が確定したのだった

刃物などで刺されなくて良かったですね。まあ、令司は刺されるより嫁達を挿…ゲフン…。ビスマルク達は褒めて褒めて♡オーラ全開の大型犬の状態です。ありがとう

タツクルされた勢いで夕立と初交尾するのだった。夕立は交尾出



来て犬耳ピコピコ、尻尾を勢い良く振り回すのだった

最中に2人の砲撃ちゃんが、令司の魔性のプリ尻に涎をたっぷりつけてしまい存在がバレる♡予想が当たって大興奮する令司。清楚ビッチと言われるのも間違っていない

右側がビスマルク、左側がテイルピッツ。これらの光景を見ているみんなはご飯が進むのでした♡調理していた三笠達は、ニコニコしながらご飯タワーを作って渡すのだった

令司の考えを察したのか、ビスマルクが夕立とキスさせたまま縄で拘束して、テイルピッツの砲撃ちゃんがザコちゃんのお尻の♡に、な状態でお風呂場へ向かったのだった。みんな、いつてらっしやいコールをするのだった

着替えが済んでドアを開けて中に入ったら直ぐ令司達の縄を解き、ザコちゃんは拘束したままポイして土下座した2人なのだった。ローション入り電動オ○○になっていた。砲撃ちゃんは元気を失くすかと思ったが元気でした。令司君似のようです♡似た物変態夫婦め♡

頑張って生け捕りした褒美として2人を言霊で動けなくして砲撃ちゃんを磨き上げていった。メスの方も大洪水になるのだった♡ビスマルク達は、令司の温もりから拒絶されないと分かり、トロトロに蕩けるのだった。そして大洪水度が増したのだった

2人の砲撃ちゃんのキラ付けが完了し、ビスマルクをロックオン♡高火力の愛の砲撃をちゃんと受け止めたのだった。初合体おめでと♡そしてテイルピッツの砲撃ちゃんの砲撃も受け止めたのだった。令司の♡？大丈夫じゃないでしょ？戦艦の愛の砲撃ちゃんを受け止めたんだよ？

エルドリツジの電気風呂（母乳・媚薬入り）に浸かっている夕立は、キラキラ大興奮状態で見守るのだった。元気なワンコです事♡紋様は刻まれなかった

ビスマルク達の媚声だけで令司君が暴発する前に、エロエロクネクネダンスを披露して煽りまくっていたザコちゃんとゴールインするのだった。嫁追加です♡盗聴・盗撮中のみんなは、鼻血の噴水をした

のだった。血足りなくなる基地ですねぇ？

饅頭達が三笠達の料理を器用に頭の上に置いて持つて来た。令司達はのぼせないように注意しながら食べて飲んで、ドスケベ運動会を開催して行くのだった。うん、これビュルビュルレーンじゃない？他の嫁達は入って来る事はなかった。貸し切りです。謎ルールを発動したんですね？

令司はお風呂にある携帯を使って呼んでザコちゃん以外を回収して貰い、各自の家へ運んで貰った。回収する前にビスマルク達の砲撃ちゃんを、みんな触れずに息を吹きかけて反応を見たのだった

回収しに来た嫁達をちゃっかり開封した後、ザコちゃんと一緒に、このお風呂に近い空き部屋で寝るのだった。専用部屋使いまししょうよ…。遠いのかも？

☆☆☆

↳転移前の回想

『…おっ??これはローン様には非着て貰いたいっ!あゝゝ!ローン様あゝゝ!愛してます!壊して下さいませっ!うっ♡ふう…。スッキリしたわゝゝ。あつ、そうだった、令司?おゝい?令司?なあなあ?』

『んあゝ?なんだい?イケメン親友よ…。なっ?!運営陣、良く分かってるじゃないか!ローンに似合うよ♡過激でエロエロセクシーなローン♡ハグしながらやらせて下さいっ!』『分かってるじゃん』『ヘキリッ?で?何を言おうとしたの?』

『へキリッ?アズールレーンの敵のエロエロセイレーン達と、もしヤレるならさ?誰と1発以上やる?俺はエディター様。美白髪美巨乳騎士様は、良い具合に俺の事を弄り倒シテくれそう♡笑いながら煽ってくれるとマジ最高♡それで、ローン様に浮気現場を見られて…ああ♡ローン様あ♡そんなっ♡直ぐには勃…♡』

『おいおい。クネクネすんなよ…。そうだなあ…。タコ娘のオブザ『M A・J I・K A!!!』うえいつ!?』裏切り者おゝゝっ!!!』裏切り者お?ええ…。血涙する程か?タコ足で意味深マッサージされたくない?ヌルんヌルんにされたくない?まあ、ぶっちゃけると全員魅了的な美

女軍団なんで全員とやりたいんですわ……。もし、出来るなら全員に結婚指輪をあげたいへキリツ<』

『確かにタコ足での意味深マツサージは捗りそう……。うくくん、ローン様のタコ足……。うつ♡想像したらまた元気になってしまった……。実装されないかな？全員に結婚指輪とか……。令司、凄すぎるよ……。そんなこと出来ない……。』

『えくく？そう？ローンなら公認してくれるん』はああ?!えつ？ローン様が公認してる!?!はっ？Why?破壊の女神様が?!ヤーン♡なデレなのに?!』

『お：おおう……。血涙拭こう？なっ？落ち着けて……。というか、サツサと親友君をスツキリさせて？なっ？ローン様の別プレイ出来るのあつから使えつて……。なっ？』

『スツキリしました。へキリツ<オツケー。俺はエディター様で、令司はオブザーバー様とヤツタたらエディター様、オミッター様、ピュリファイヤー様、テスター様ともヤルと……。ローン様は浮気公認……。なんかそつちのサーバーのローン様、逝かれてるかもしれない。後は、令司が逝かれてるかも。そつちには行きたくないわ……。もたんわ……。』  
『そうだね……。逝かれてるかもしれないね……。えくく？そう？楽しいよ？無能な指揮官なのにデレデレしてくれてるんよ？曖昧な指揮しかしてないんだけどね？まあ、これって放置ゲームだからかも……。で、全力で基地を便利に開発等をする位だからねえ？』

『まあ、そうだな！お互い、楽しくプレイすればいいか。あつ、アークロイヤル幼稚園の園長のアークの様子を見ないと……。アーク、お願いだから誘わないでくれよ？ローン様に……。ああ……。また……。求愛されたあくく！』

『あははく……。もう何回目だあく？諦めてアークに結婚指輪あげちまえ。ダイヤ、溜まつてるんでしょ？……。おつ？イケメン親友よ……。そろそろ家に帰る時間だぞ？』

『何回目か分からない位多いよ……。ああ……。ローン様が何て言うか……。アークロイヤル……。何で諦めてくれないんだ……。あつ、ほんとだ……。夢中になつてたわ。サンキュー。また明日なくく？見せたいの』

があるんだよ〜』

『そうだな〜。気をつけて帰れよ〜？見せたい物？了解。それじゃアレをやるうか…』

『H A H A H A !!!』

ハグしながらの掛け声は何なのでしようか？次の日、イケメン書道部長の日記？を令司に見せてくる。そして家に帰って睡眠をとるイケメン親友と令司。目が覚めるとそれぞれのサーバーに転移していたのだった

イケメン親友にテスターとやったよ。それと基地所属の全員に結婚指輪あげてヤツてるよ♡と、伝えたらどんな反応をするのでしょうか？血涙かな？血涙ですね。イケメン親友も転移してローン様とヤれますよ？という事をイケメン親友は知らないのだった

〜回想終了〜

☆☆☆

6日目の朝…とはいえない、真夜中に令司は起きました。どんな行動をとるのでしようか？

「Z z z z z …… 。 んむ〜〜つ♡ Z z z z z …… 。 んん〜〜つ♡」

「Z z z z z …… 。 んあ〜〜…。朝…？ではないか…。真夜中です…。お腹空いた〜…。この部屋にキッチンと冷蔵庫ないし…。寝るだけの部屋だわ…。え〜、ここから近いのは、第3食堂だな…。開いてるかな？まあ、見回り組がいるから開いてて欲しいんだけど…」

なんか、イケメン親友との話を思い出したわ…。親友、オブザーバーとではなく、テスターとやったよ…。しかも35番なんだよ？ビックリだぜ…。血涙流すんだらうなあ〜

親友は元気にヤツてるかな？ローン様とやった？エディター様と浮気したかい？アークロイヤルに指輪あげて修羅場ってるかい？こっちのローンとアークの仲は良く分らないなあ…。アーク、良く戦闘しに行くし。ローンも戦闘しに行くけど2人を編成した事無いからなあ…

俺は元気に変態嫁達とイケイケドンドンとヤツてるよ。俺らが盛り上がった過激エロエロセクシーの服、ローンが着てくれてさ？ハグしながらやり倒したよ♡最高に気持ち良かった♡気絶しまくってたけど♡

話がまたズレると思うけど、饅頭達が持って来てくれた料理をザコちゃんが食べたなら砲撃ちゃんがこんばんわ♡したんだぜ？磨いてパツクンしたわ♡夕立、凄く気になってたぜ…。尻尾でアンアンさせてたぜ…

俺が転移したこの世界やっぱり凄いい♡最高にエロエロ♡で幸せだよ♡親友に会いたい気持ちはあるが、会う事は出来ないと思うんだよ。イケメン親友よ、ローン様とアークロイヤルとエディターと幸せになれよ♡

あつ、そうそう、親友が好きプレイはコツチでは癒し刑に当たるんだぜ。百合の花を沢山見れるんだぜ。最高だよ♡で、ビスマルクとテイルピッツの部屋に誘われて初めてを貰い…んっ？

イケメン親友との会話を思い出したのだった。全裸で腕組みをしながら空に語りかけるのだった

「んっ♡ふっ♡ふっ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡」

「あつ、？ザコちゃん、おはよう。と、いつても真夜中だけどね…。ビスマルク達は居ないよ。お互い気持ち良くなれたね。ザコちゃんは嫁の仲間入りしたよ♡愛すよ」

集チュー治療しても苦いままだったな…。美味しかったけどね…。味覚可笑しくなってるかもなあ…。饅頭達の研究材料？として沢山採取されたね…。よろしくね？おっと、そうだった。お腹空いてたんだった。食べに行くよ…。よいしょっと…

「んんんんっ♡んんんんっ♡んんんんっ♡んんんんっ♡（おはようっ♡いい加減、縄解いてっ♡逃げないからっ♡ひやうん♡逝くうう♡）」（おはようっ♡思い出させないでっ♡令司様に35回以上、幕を奪われたとか♡あたしのア♡を令司様、ビスマルク、テイルピッツが貪っちゃうとか♡貪ってる最中のビスマルクとテイルピッツの涙声、ゾクゾクしてキュンキュンしたとか♡饅頭達の持って来た料理を食

べたら生えてきてビツクリしたとか♡令司様のア♡気持ち良過ぎに、夕立の尻尾も気持ち良過ぎたわ♡とか♡ええ♡愛してるわ♡よろしくね♡使い込んでよね♡愛してる♡)

お風呂でのプレイでザコちゃんが従順になった様ですね…。ポールと令司のレイシニウム？フェロモンで洗脳？された？した？のかい？まあ、デレデレになっっているので良かったですね？令司は縄を弄りながらお姫様抱っこをして第3食堂へ向かうのだった

☆☆☆

「~~~~つ♪あら…、もうこんな時間…。張り切り過ぎちゃったわね…。まあ、みんな沢山食べるからいいかしらあ…。もう寝るのはやめに…あら？足音？きつと見回り組ね…。食べても」

「おお〜、開いてる。開いてる。良い匂いじゃないか…。絶対美味しいって。ザコちゃんも一緒に食べるぞ？ん〜？薬盛りの心配？鳳翔だから大丈夫だろ？」

「まあ♡指揮官♡こんな時間に食堂に来られるなんて♡パーティーは終わったんですね？うふふ♡ええ、薬盛りの心配はないですわ〜♡」

(薬を盛るのは初めてだけと決めてましたもの♡指揮官に夕立ちちゃん、ザコちゃんとのプレイ楽しんでて鳳翔は嬉し…んっ♡もつと、排水しないと…。あんっ♡指揮官の意地悪っ♡)

鳳翔は鼻歌を歌って張り切って仕込んでいた。足音を見回り組と勘違いしていた。そして令司の声を聞いて、見て、触らずに濡らしていつてヤル準備を始めたのだった。寝るのを諦めて令司と寝る様です

「おお〜、鳳翔…エツロい♡最高です♡料理の仕込みお疲れ様。その仕込んでる料理を食べても良いかい？ダメなら俺が作るよ」

鳳翔、エロく美しいよ♡谷間見せつけて来ちゃって♡ありがと♡花魁妻最高♡

ハネっ毛ピコピコしてて可愛い♡床、大洪水。やる準備してくれて嬉しいぜ。ご飯食べたらヤろう♡目でザコちゃんを弄りたいって訴えてきてるね？好き勝手していいよ？敵だからさ♡いや、元敵かな

?宣言してくれたし

「ハアハア♡指揮官♡いらつしやい♡ハアハア♡ええ、どうぞ召し上がれ♡」

「ありがとう、頂きます」

「ザコちゃんもどうぞ♡って、ボールを取らないと食べられませんね?お取りしますね?」

「んはあくく。ハアハア♡ようやく、とつて貰えたくく。身体の縄は解いて…ダメなんですね…。分かりました。頂きます」

「…はい、召し上がれ♡」

「美味しい。美味しい。…ふう…。ご馳走様。なっ?大丈夫だったろ?」

鳳翔が盛るわけないってえくく…。あつ、一回盛られてたわ…。けど、鳳翔の部屋でヤツて許したんだよな…。むしろ、それを望んでた感じだったし…

いやくく、鳳翔の乱れっぷりを大鳳が見て発狂してたのは気持ち良かった♡お香の力もあってドスケベだったわ♡やっぱり凄いや♡この世界に轉移させてくれた顔が分からない神様くく?見てるくく?ありがと♡充実してるぜくくっ!

大鳳で思い出したわ…。初体験を終えた大鳳がアルバコアと一緒にシタイと懇願してたからアルバコアをサプライズで捕まえるかく。うくくん、鳳翔?ビクビクしながら触らないで良いのに…

くくっ♡くくっ♡ハアハア♡ハアハア♡んつく♡フェロモンの濃度、凄く濃いわ♡クラクラきちやう♡素敵♡ザコちゃんのお尻の♡綺麗ね♡食べたいわ♡」

「ごくん…。はあくく、ご馳走様でした。美味しかった。あくく、お腹いっぱい♡凄くいっぱいよそられたけど食べ切れたわ♡ええ♡薬盛られてなかったわね…。…で、ハアハア♡ちよつと…?つく…」

「んくく?何だい?鳳翔が俺の尻を触っている事かい?ザコちゃんのお尻の♡の周りを触っている事かい?それともザコちゃんの無くなったと思ったザコちゃんを俺が触ってる事かい?」

「ハアハア♡ぜ、全部よ…。お風呂で…ハアハア♡そう…かな?と

思っただけど、令司様のフェロモン…凄…濃いよね♡ハアん♡んっ♡んっ♡逝…け…えっ？そ、そんな…♡ど、どうして…」

そうそう、ザコちゃんのその顔最高♡ありがとう♡鳳翔もニコニコして狙ってるね…？ヨシっ♡ザコちゃんを食べ…愛し倒そうか♡

「もつと高まつて欲しいから。鳳翔、そろそろヤろうか…。暴発寸前だよ…」

「ええ♡そうですね♡指揮官？出来ればここ、食堂内じゃない場所で寝ませんか？良い場所を知ってるんです♡」

鳳翔が言う良い場所は、絶対良い場所だよ♡行こう行こう

「そうだな♡「ひゃんっ♡」行こうか。案内頼む。ザコちゃん、これから鳳翔と一緒に愛すからな？「お、お願いしましゅ…♡」」

「ええ、頼まれましたわ♡饅頭達、仕込みが済んだので後はよろしくお願いしますね♡うふふ♡綺麗な敬礼ね♡」

鳳翔の案内で良い場所へ向かうのだった

☆☆☆

鳳翔はハネつ毛をずっとピコピコし、垂れ流したまま良い場所へ案内するのであった。饅頭達は掃除をしないのだった。鳳翔か令司に命令されたのかな？そして良い場所へ到着したのだった。ザコちゃんは自分の足で向かいました。縄は解かれていない。解いてやれよ

くアルバコアの部屋く

「はい、良い場所へ着きましたわ♡お邪魔しますね？素敵ねえ♡んっ♡ハアハア♡」

「ハアハア♡何とか堪えた…。縄が緩んで良かった。え…、お邪魔します…。うっわ…、えつと…。ここが良い場所…？ええ…？ひゃん♡ううう♡」

「お邪魔します…。「ハアハア♡んっ♡」うひっ!?鳳翔？暴発し…」それはヤ…ですわ♡コ・コにお願いします♡ん…♡はあ…♡んちゅぱ♡」んむ…♡」

あ…♡♡気持ち良い♡準備し過ぎだよ♡最高♡ありがと♡愛してるよ♡ザコちゃん、引きつってただけど、鳳翔の手でザコちゃんのザコちゃん、仕上がって倒れ込んだね♡…で？引きつっちゃった



この部屋は…。えっ…？

良い場所って…。お香か何かか焚かれているか、危ない飲み物がいっぱいあると思っただけ…。アルバコアの部屋じゃくくんっ！鳳翔に続いて2軒目？のお宅訪問ですねっ

アルバコア居ないし、入って良いのお?! って思ったけど、まあ、鳳翔が良いって言うんなら良いんだろうねえくく。潜水艦の管理は、鳳翔とアークロイヤルにして貰ってるし…

引きつってた理由はこれかあ〜。等身大の俺と等身大の大鳳の抱き枕がザツと100はあり、天井に大鳳単独や俺単独、大鳳と俺のツーショット、大鳳との初体験写真など沢山あるからか♡溢れんばかりの大鳳愛に俺愛だこと♡嬉しいねえ♡他のKANISEN達もあるから安心したかも…

潜水艦だから？ベットが水槽の中に沈んでるんだだけ…。饅頭製だね…。ちゃんと寝れるの？それにずっとシユワシユワしてるんだけど？時々、ビリつてなってる…。ええ…

うぐっ…。締まり良くしちやつて♡このこの♡お尻掴んでお礼するぜ♡んぐっ♡求愛しなくても良いじゃないか♡結婚してるよ♡

良い場所とはアルバコアの部屋でした。ドアを開けて直ぐベロキスをかまして繋がるのだった。ザコちゃん、倒れ込んだ時、大洪水してしまった

「んはあ♡んっ♡んっ♡指揮官？落ち着いてきましたから、ザコちゃんを愛し倒しましょう♡それで、アルバコアちゃんの愛を感じる事が出来るので良い場所でしょう♡」

「ザコちゃんを愛そうか♡そうだな♡アルバコアの愛を感じるよ♡鳳翔の写真もありそうだ…。おっ…。あつたけど全部谷間写真だな…。どうやって撮ってるんだ？こんな綺麗な谷間写真…」

「ええ♡あらあら♡アルバコアちゃんったら鳳翔の事も♡写真は置いといて、始めましょうか♡えいっ♡」

「ひゃんっ♡えっ?ちよっ?ハアン♡」

「やつぱり凄いよ♡神様♡転移させてくれて、ありがとう。ありがとう♡」

んもう♡鳳翔がイキイキしながら百合の花を満開にしてるよ♡  
漲つちやう♡これも癒し刑ですね♡癒し刑、最高♡ザコちゃん、気  
持ち良くなつてねえ♡

「あらあら♡良い声ねえ♡うふふ♡仕上がりましたね♡指揮官、あの  
…その…、ハアハア♡（許可して下さい許可して下さい許可して下さい  
許可して下さい許可して下さい）」

「許可するぜ♡逝け」

逝つたれ逝つたれ♡どんどん逝つたれ♡無くなつても多分、薬盛れ  
ば復活するわ♡

「……………♡（……………♡ハイ♡貴方♡愛してます♡）ハイ♡それ  
じゃ、ザコちゃん？逝くわね？準備出来るから一気に…「ハアハア  
♡…えっ？」「ハアン♡」うふふ♡愛しますね♡あつ♡あつ♡」

「……………。辛抱たまらあん♡「ハアハア♡ハアうん♡何で、まだ切  
れるのおくく♡」ザコちゃん、大切に倒しまくるね♡下の口で嬉し  
いって返事してくれて嬉しいよ♡」

「ハアハア♡ふあい♡おふえがいひまひゆ♡アツ♡アツ♡アツ♡アツ  
♡んくく♡」

ザコちゃんを令司と鳳翔が同時に愛し倒しまくり始めました。鳳  
翔の癒し刑執行中でありませす。そしてとうとうアルバコアが帰つて  
来るのでした♡

☆☆☆

「待つて待つて待つて！大鳳、待つててばっ！アルバコアの部屋に  
入つちや…うぎゆうくく！アツ♡」

「指揮官様あ♡指揮官様専用の大鳳があくく♡もう我慢出来なくなつ  
て来たのでヤ…、つて…。あら？鳳翔さん、ザーコとア♡♡セ♡♡ス  
を♡まあ♡癒し刑執行中ですわくく♡凄く素敵ですわくく♡」

「大鳳…、鳳翔の癒し刑は素敵だよなあくく！捲るよなあくく！」

抱き枕や、写真を全力でスルーしてますねえくく？アルバコアへの  
逆サプライズ成功くく！大鳳のハグで涎垂らしてキラ付け完了して  
いるとか聞いていて本当？と思つただけど本当だったわ…。大鳳、  
ちよつと待つててねくく？……………ヨシっ

アルバコア、大鳳のハグにより昇天し、キラ付け完了するのだった。お手軽？ですね…。盗撮で我慢出来なくなつてアルバコアの部屋に突入する大鳳なのだった。癒し刑対象？かな？

「ひゃんっ♡指揮官様あ、ザーコの執行を邪魔してごめんなさいですわ♡んちゅ♡（お帰りなさいですわ♡育つて、気持ち良いですわ♡アルバコアと一緒に♡うふふ♡）」

大鳳、準備してくれてただね♡嬉しいよ♡気持ち良いよ♡それじゃ！そろそろアルバコアの事、開封するね？アルバコアって美巨乳持ちだったんだね♡ロリ巨乳、ありがとうございます♡

令司、ザコちゃんを愛し抜いたので？大鳳とドスケベイチャラブをするのだった。アルバコア？復活しましょう？良いものを生で見れるよ？饅頭達が色んな道具でビシバシ叩きまくって起こすのだった。饅頭達、アルバコアの扱い雑じゃないですか？

「んんんんん…。はっ?!わあ♡大鳳と指揮官が、アルバコアの部屋の中でドスケベイチャラブしてる♡「アルバコア？はい、どうぞ♡」むぐう♡むう♡（鳳翔さんの谷間♡サプライズされまくり♡嬉しい♡天国♡）」

大鳳と令司が大分盛り上がった所で、アルバコアをロックオンするのだった。ザコちゃんはどうなっているのか？幸せな涙を流して気絶しているのだった

「鳳翔さん、ありがとうございます♡指揮官様♡準備が出来てるアルバコアの♡に魚雷を撃ち込んで欲しいんですわ♡ハアハア♡アルバコアが癒し刑を受ける♡ああ♡素敵で逝く♡ですわ♡♡」

「ゴクっ…。アルバコア、垂れ流しし過ぎてエロいよ♡失礼します…。……っ?!呑み込まれて…っぐ?!うう…」

「んんんん♡（魚雷来た♡潜水艦の中で最後に撃ち込まれ♡気持ち良い♡）」

これは…、語彙が無くなるわ♡アアア♡アアア♡幸せ♡アルバコア♡愛してるよ♡はあ♡やっぱり凄いや♡この世界は♡ありがと♡マジでありがと♡

：んっ？大鳳？その飲み物を笑顔で見せてきてどう：もがっ?!ゴクゴク：。ゴキユンっ：。美味しい。：んん？何だか令司君だけがポカポカするんだだけ：どおくく！ヒック：アハハハあくく♡フウ☒？ヒックヒックヒックヒック

「指揮官？アルバコアちゃんが必死に作った飲み物があるんです。それを飲んで：。って大鳳ちゃん：、無言笑顔で飲ませたのね♡うふふ♡さあ♡指揮官♡いや、貴方♡鳳翔達をグルグル回し倒して下さいねくく♡」

「フシユウくくッ！フシユウくくッ！フンッ！」

「あんっ♡指揮官様あくく♡大鳳からですのおくく♡ハアハア♡嬉しいですわあくく♡愛してますわあくく♡ふうふう♡ああくく、まだ逝かないですわくく♡きやんっ♡」

アルバコアの作った危ない飲み物を飲んで、また壊れてしまった。鳳翔達は、壊れた令司にランチの時間になるまでされるがままなのだった。ザコちゃんのザコちゃんも参戦したとかしなかったとか？

やっぱり凄いや♡は、どこがやっぱり凄いのでしょうか？色々と逝かれてるのが凄いや？無能なのに愛されてるから凄いや？危ない飲み物が凄いや？などなど：

令司の考えは分かりませんが、この世界を楽しんでいるのは間違いないでしょう。良かったですね：（2回も色々壊れたのに幸せなんだ？とツツコンだ方が良いのでしょうか？）

☆☆☆

☆遠い遠い暗い場所の海域☆

「なあなあ？オープン基地で指揮してるのが男性って事が分かった？けどさ？多分：？オプザーバーとピュリファイヤーが、ご執心な令司キユンが素直に姦わせてくれるのかな？まあ、素直じゃなくても姦わせて貰うけど：。別の世界に渡ってエディを見たら、ノリノリで笑って煽ってて楽しそうだった♡正の字がいっぱい書かれていた♡羨まけしからん♡」

「ええくく？令司キユンじゃない可能性もあると思うけどくく？令司キユンじゃなければ殺すだけだねえ♡うふふ♡令司キユン、あた

し・わたしの純潔100回散らしてえー？んんん？一気じゃなくて合計だよ？いや、捧げるう？奪ってえ？あげるう？んんん？ま、いつか？あはは♡」

「エディター…。涎…拭いて…。まあ？何処の世界も男性って色々壊れ易いじゃん？多分…。だからこの貞操逆転世界でも簡単に姦わせるよ♡多分…。例外もいるみたいだし？多分…。多分ばっかだけどね…。あはは…」

「まあな…。多分にかけてみよう…。令司キユンじゃない可能性もあるのか…。なら分身ちゃんが相手して貰って、本体のエディは感覚を繋げて楽しむ事にしよう…」

「まあ、そうだね？あたしらがいる、この貞操逆転世界の男性の数を増やそうと思って、KANSEN達に色々ちよつかいをかけてるんだけどね？男性がどんどん減っていくのよね…。このままだと男女比1・50位…。いやそれ以上になるんじゃないかしら？あつ、ちよつと…。双子オミッターったら少し早いよ…」

「ニーねえが狙ってる令司キユンと結婚してくれないとニーねえと結婚出来ないし繋がれなくない♡そんなのヤダ♡男の子いっぱい産み産みさせてね♡」

「はいはい…。？れないね？はあい、キスをしようとしなくて？男性、令司キユンにあげるんだから…。…で、そろそろオブつちとピュリつちの様子を見てよ…」

「ハイ♡わあ♡オブザーバーちゃんのタコ足スツゴイツヤツヤ♡ヌルヌルが止まらないねえ♡ピュリファイヤーちゃんったら首とれてるじゃん♡で、粘液凄く飲んで…。お世話の時間ですよ♡精錬された潮をドバツと♡ぶち撒けて終了♡あは♡キラキラしてる♡効果出てるね♡良かった♡」

最上級のボス達が楽しそうに遠征を始めました。遠征先はオープン基地です。令司キユンは好かれているようです。良かったね♡いつオープン基地に到着するのでしょうか？楽しみですね♡

…んっ?…えっ?…?…ちよっ…

ザコっちのザコちゃんはドスケベイチャラブで沢山ビューし、無事無く（亡く）なりました。良かったですね…

令司とザコっちは、お風呂場に近い空き部屋（ただ寝るだけに特化した部屋）で、ドスケベをしないでグツスリ寝っていた。そしてお腹が空いた2人は真夜中に起きてしまった

近い第3食堂へ、縄縛り姫様をお姫様抱っこをして向かったのだった。令司君はお休みしていた。空気でも読んだのでしよう…。お姫様抱っこされたザコっちは茹で上がっていました

仕込んでいた鳳翔と出会い、2人は仕込み料理を食べた。鳳翔は寝る（睡眠）より寝る（ドスケベ）を選択し、準備として大洪水にするのだった

ハネっ毛を令司達が入った時からずっとピコピコしていたのだった。可愛いですねえくっ♡薬入りを心配していたザコっちだったが、薬入りじゃなかったのだった

料理を食べ終えたら令司君が目を覚まし、ザコっちの無くなった筈のザコちゃんが復活したのだった。どうなっているのでしょうか？薬入りではなく、危ない飲み物が入っていたのでしょうか？

心の中でガッツポーズをとった鳳翔が、良い場所へ案内してくれたのだった。良い場所とは、アルバコアの部屋だった。大鳳愛と、令司愛に溢れていたのだった。他の写真も数枚（鳳翔の谷間ドアップ）あった

令司は、鳳翔の目の前で、鳳翔の谷間ドアップの写真を堂々と一枚、ズボンのポケットに入れたのだった。鳳翔はそれを見てイヤん♡イヤん♡首を振って喜んだ後、見せつけて来たのだった。令司、しっかりと見る。そして、鳳翔とイチャラブを始めたのだった

アルバコアが慌てて帰って来た。後、発情した大鳳も来たのだった。大鳳、鳳翔のサポート付きでアルバコアとイチャラブするのだった。潜水艦全員とヤツた令司なのだった。コイツ、しゅごいわ…

アルバコア特製の危ない飲み物を飲まされて、壊れ、酔っ払い、ガ

ンガン逝こうぜっ！状態になったのだった。酒が入るとしゅごい事になると分かっていたのです♡

令司の壊れっぷりを大鳳、鳳翔は涎を垂らして両手を両頬に置いて嬉しくしていたのだった。そして我慢出来なくなった大鳳と鳳翔は、令司のゲ♡を食べたのだった…。新しい扉こじ開けられましたねえ？見事にフラグ回収しましたねえ？

アルバコアは、幸せな顔をして何度も天国へ逝ったのだった。おめでどう♡

激しいドスケベイチャラブをブランチの時間までしたのだった。令司の令司君。いつもいつもお突かれ様です♪

☆☆☆

「二ハアハア♡ハアハア♡愛してますわあ〜♡・愛してるう〜♡  
Z z z z z ……」

「Z z z z z ……。んん…。はあ〜、イッてて…。頭、イッて〜  
…。ううう…。飲み物は何処だっけ〜？」

頭、痛いです…。二日酔いありがとうございます。サツサと治つて？はあ〜、壊れたかあ〜…。壊れて行く所を大鳳と鳳翔が何故か嬉しそうにしてたなあ〜…。エロかったです♡

アルバコアは天国に逝ってましたねえ…。幸せな顔してたわ…。うんうん…。潜水艦のリーダーを務めてるだけあるわ…。いや、関係無いか…

起きた令司。頭を両手で押さえている。起きた事に気が付いた饅頭達は、組体操をしていき一番上の饅頭が『コレ飲んで』とウルウルした目で勧めてきたのだった。ツツこんで貰いたいのかな？

「おっ？饅頭達、飲み物ありがと…。…ぷはっ〜。染みる〜。スッキリしてきたわ…。ありがと。うっわ…。スツゲ〜状態だな…。よくもまあ…。お前は、いつもいつも出せるなあ〜…。饅頭達、いつも掃除ありがと」

饅頭達、飲み物ありがと〜。スッキリした〜…。効果あり過ぎだよ…。饅頭達の組体操にツツコミを入れて欲しいんだらうけど…。スルーするわ…

スルーした令司。飲んで貰ったのを確認した饅頭達は、えっへん。してからいつも通りに、キラキラオーラを撒き散らしながら掃除兼食事をするのであった。♡マークや☆などをバリバリムシヤムシヤとね

「饅頭達、良く食べるね〜？うん…。アルバコアの飲み物はなんだか危なかったけど、すつつつつごく美味しくて気持ち良くなれたわ…。見た目と味のギャップ凄い。それで酔っただけだね」

材料を聞いても分からないだろうなあ…。勉強しても良く分からなかったし…。何？この世界って電気が付く生物多くね？って感じのもの：

飲み物はそこまですて、アルバコアの乱れっぷりがしゅごかった…。煽られたわ〜。大鳳は、アルバコアの痴態を見て大興奮してたな…。良かったよ：

大鳳がアルバコアのサプライズで気絶するのが一般的なのに、気絶しなかったな…。アルバコアが大鳳のハグで気絶するんだね…。大鳳、お姉さんしててビックリしたわ…。仲良しって本当だったんだね〜

で、これらを盗撮・盗聴しているみんなの中で、アークは見て興奮してくれてたのかな？してたら良いなあ…。アークって潜水艦全員も対象内の筈なんだけど？駆逐艦の方がより興奮するけどね…

全裸で腕組みをしてうんうんと頷いている令司なのだった。服を着ましよう？

◇盗撮・盗聴していたアークロイヤル達◇

「ぶつつは♡ハアハア♡アルバコアあ〜♡閣下と初エロエロ潜水水出来てえ〜♡おめでとう♡うぎいっ！綾波い♡なんだか熱いねえ〜♡ハアハア♡」

「ねえねえ？鼻血出してキラキラして縄で縛られてるアークロイヤル？綾波の癒し刑を受け止めてね？愛宕がダメになつてて発散出来なかつたんだ〜」

「ええ？そうなの？首根っこ掴まれて引きずられたニーミは、監視かしらあ？ラファイアの上で良い気分です寝てたのに♡あつ、大丈夫よ？



ニーミもラフィーも幕はちゃんと残ってるから。なんなら見て確認する？つて、綾波い、そんな顔しないでよ〜♡」

「ラフィーとニーミの絡みっ！そこにユニコーンを混ぜてくれっ！アアアつ、漲るうろう♡はうう♡縄の締めつけ最高おお♡うぐっ♡ニーミに跨られて胸を触られてる♡あははははは」

「監視はやめて、こうして参加しますねえ〜？」「お願いしますっ！」良い返事い♡でもコレで黙って貰います♡「ふぐお〜♡」沢山興奮してくださいね？ねっ？必死に首を縦に振っちゃて〜♡」

「もつと滾つちまえです。鼻血を沢山出すのも良いけど、規定量サツサと出せです。ほらほらです。ユニコーンのゆーちゃんの羽根でくすぐるです」

「ふう〜♡ふう〜♡ぐおっ♡んんんっ♡んんんっ♡んごお〜♡（アヒヤヒヤヒヤ♡ひい〜♡凄くくすぐったいっ！あうっ♡締め付けられる〜♡はあはあ♡…んっ？ガチャ？）」

「ヒック♡あら〜♡綾波にニーミじゃない…。ヒック♡アークに癒し刑執行中ねえ？混ぜて貰うわ〜。ヒック」

「ヴェスタルさん。どうぞ混ぜてやりましょう」

「ふ〜♡ふ〜♡んんぐうう〜♡（漲るうろうう♡ありがとうごぎいますうろうう♡ふごごごおお♡ヴェスタルの注射効くうう♡）」

はい。大興奮していました。良かったですね。百合の花、咲き乱れていました♡

不機嫌な綾波と寝ぼけてるニーミがアークに癒し刑を執行しています。そんな中で酔っ払ったヴェスタルが、癒し刑に参加して注射などを打ってきてアークは沢山色々漏らしまくるのだった

◇◇◇

後、思い出す事は吐い…。いや、それは止そう…。うん。大鳳は良いとして、鳳翔が…つて事は無い無い。夢だよ。うん。そうだよ。夢だよ。きつとそう。嬉しいモノじゃないんだからさ…。うん…

いいえ、現実です♡令司のゲ♡をしつかりと嬉しそうに食べましたよ♡饅頭達の飲み物でキレイサツパリにして、いつでもキスして良い状態にしました♡饅頭達、マジ超優秀♡

「さて……。どう……。っ。ぐくりっ……。大鳳の胸……。エロい……。反則だよ……。失礼するぞ……。……。あ……。スゲ……。最高だよ……。うん。アルバコアの胸も最高♡ハアハア♡あ……。鳳翔も最高だ♡みんな最高♡」

凄いわ……。揉み心地最高♡色々抜群なのも最高♡みんなありがとう、愛してる♡

スツキリした令司は、寝ているアルバコア達の肌蹴っているエロい胸をねつとりと堪能し出したのだった。だいぶ頭がヤラれていませんか？令司君は頑張っていたので「寝てるぜへキリッ」と主張してお休みしています

「「んんん♡スー……。スー……。んっ♡んふ♡指揮官♡。指揮官様あ……。ZZZZ……。」」

「……。っ?!あつぶね……。これ位にしとかなきや起きちやう……。ゆつくり寝て貰わないとね……。激しくし過ぎたからね……」

「……。お腹鳴ったからご飯食べに行くか……。しつかり揉んで堪能したし……。みんな愛してるよ♡んちゅ……」

「「んんんっ♡ぐく……。んぐんっ♡ん……。っ♡(起きてるよ……。ますわあ……。愛してるう♡)」」

「……。みんな起きたらご飯しつかり食べてね？それじゃ、お先に……。う……。ご飯、何処の食堂で食べようかなあ……。」

全員にキスして唾液を与え、全員の頭を愛おしく撫で回したのだった

はふ……。口、堪能しました♡愛してるよ……。うん。大鳳と鳳翔の口の中、綺麗で甘さが増してたから夢ですわ。さてさて、何処の食堂で食べよっかな……。?

ヨシっ。第1食堂で食べる事にしよう。んん……。うわ……。身体バキバキい……。トレーニングでもするか……。トレーニング室も

いっぱいあったからなあ〜：

満足した令司は、両腕をグルグル回し、バキボキ鳴らしながら、第1食堂へ食べに向かうのだった

「今日一日、頑張りますわあ〜♡・る〜っ♡・ますね♡髪を沢山撫でて：♡んふふふ♡」

胸揉みの時から起きていたアルバコア達。両目の中が♡マークになり、両頬に両手をつけてイヤん♡イヤん♡して嬉しがるのがあった。ハイライトさん達。お仕事お疲れ様で〜す。レイシニウム弾んどきますね〜？

饅頭達にどけどけされていては気付かないアルバコア達なのだった

☆☆☆

「ハアハア♡ありがとうございます♡指揮官♡元気でした♡それでは♡」

「それは良かった。じゃあねえ？程々に頑張つてね〜？」

うんうん。軽巡達との触れ愛、良いねえ♡笑顔で「おマ♡踏んで♡」と、言われるとは思わなかったけど…。ええ、靴下姿で踏んでやりましたとも♡喜んでたねえ。良かった…

第1食堂で食べると決めた令司。軽巡達とのお触り愛をしてから1人ブラリ旅を再開した。そして食堂に近くなった時、とあるKANISEN達の後ろ姿を見つけたのだった

「〜っ♪そろそろ着きますねえ〜。：で、第1食堂で誰の料理を食べよう…んっ？あの後ろ姿は…加賀かな？んんっ？加賀が2人？肌の色が違うけど似てますね〜？…あるえ〜？」

あるえ〜？加賀って着物じゃん？いや？袴か…。なんかもう1人の褐色はメイド服なんですけど？それも、ロイヤルメイドのしつかりメイド服じゃなくて、エロ特化に魔改造されてるメイド服。ありがとう♡

う〜ん？狐耳にサキュバスの尻尾…。似てる…ああっ！戦艦の加賀、センカかあ！お帰り！センカが着物を着るとしても魔改造して

から着そうだなあ〜〜：

とあるKANーSEN達は戦艦の加賀（センカ）と空母の加賀（クウカ）でした。彼女達は楽しく会話をしながら第1食堂へ向かっているようです

狐耳に尻尾をブンブン振り回してるセンカと、そこそこに尻尾を振り回しているクウカは何を話してるんだろ？

「まあ、俺の悪口でしょうね〜〜♡だって無能な指揮官だからな〜♡あつはは〜♡指輪って戦力増強の効果あるからねえ〜？」

「ごめんよ〜？無能で。…あれあれ？確か、戦力増強の結婚指輪って右手薬指に嵌める筈だけど、みんな左手薬指にしてたな〜。右手出して？って画面に言ったら左手出してきたし〜？…それじゃ悪口じゃないかも？良かった〜」

令司が悪口を言われてると思って勝手に落ち込み、勝手に解決させたのだった。聞こえていない加賀達の会話とは…？

「久しぶりに帰って来れたからって翔鶴に癒し刑を沢山スルとか…。それに瑞鶴にもシちゃって…。随分とはしゃいだね〜？良く眠れたんじゃない？」

「良く眠れたわ♡良いじゃない♡瑞鶴の合意は得たわ♡ツヤツヤよ♡翔鶴と瑞鶴の可愛い声を出してグツとキタわ〜♡生き返ったわ♡もつと言えば赤城の攻撃を沢山喰らいたかったのに逃げるなんて…。捕まえられなかったし…」

「赤城姉様をセンカが捕まえるなんて無理でしょ…。捕まえる事が出来るのは大鳳と鳳翔くらいよ…。クウカ達が捕まるわ…」

「天城が居ると思うけど…？あつ、天城が赤城を捕まえるなんて無理ね…。無理無理。うっ…。ごめんなさい…」

「……………。気になってただけど…。それって…もしかしなくても？第1搾乳室にある？」

「うう…。うん…？あつ、コレ？そうよ？第1搾乳室で旦那様が漁って見つけたピンクロー♡のスイッチよ♡その時押さなかった。とか押さなかったわよ。センカが持ってたんだから…。コレで少しお疲れ気味の旦那様にね？目の保養をね♡ムラムラ来れば良いわ

ね♡」

「そつか…。ごくつと唾呑んでたから興味はあるそうよ？みんな大はしやぎ間違いないな…。で、ムラムラした指揮官をバツキュ〜ン♡バツキュ〜ン♡で初めてを奪って貰うんだろう？ずっと言ってたもんね？」

「みんな大はしやぎ間違いナシ♡炬を空に出来るからね♡そろそろメンテナンスだったし。早まっただけよ♡そうそう、クウカ分かってるじゃなく〜い♡みんなその場所でシタいけど、センカが1番♡…って事を守ってくれてたんでしょ？ありがと♡」

「どういたしました。ほら、着いたぞ。サツサと注文して食べよう」

第1搾乳室で漁った奴の話で興奮していたよ♡悪口では無かったよ！良かったね！

「おつ…。入って行った…。俺も入ってサツサとご飯食べようか」

まあ、ご飯食べながらそれっぽく聞いてみるか？まっ、聞かなくて良いと思うけど…。よっ…。と。よいしょ…

何を言ってるのか分からない令司が、床のヌルヌルを避けながら食堂に入ってしまったのだった

☆☆☆

…ヨシつ。到着…。誰の料理を…。おつ？ヨシつ。鈴谷に決めた！

「指揮官、いらっしやい。んっ♡はい♡どうぞ鈴谷の料理を召し上げれ♡デザートに（檜野の母乳入り）プリンを3つどうぞ♡んっ♡はあはあ♡はあん♡」

「鈴谷、大丈夫じゃないねえ？うん。食べるねえ」

鈴谷あ〜？匂いだけで逝った〜？おお〜♡テーブルに美巨乳を乗つけて谷間を見せつけて来ちゃって♡ありがと♡凄く顔真っ赤でキラキラしてる。鬼の角ピツカピカ、眩しい〜♡

高校生じゃん♡で、絶対、風紀委員長をやってるって♡美女な風紀委員長様が、実は1番風紀を乱す淫乱さんってグツときちやいますねえ♡友達は熊野といった褐色ギャルズっ♡うん。ピッタリだわ♡

裏で百合の花が咲き乱れてるよ♡

ゲフンゲフン…。…で？プリン？コレがプリン？これ、大つきいバケツ…。いや、何でもない…。ゼリーじゃない？ゼリープリン…。プリンゼリー？プーゼリー？いやナイわ…。命名センスないわ…。まあ、美味しそうだな…

「良いものを見せてつけてくれてありがとう。プリン、凄くキラキラしてるね…。プリンっていうよりゼリーな気がするんだけどね…。？じゃあ、加賀達の所で食べるね？」

「はあはあ。見てくれてありがとう♡鈴谷を食べてくれて良いのよ♡んっ♡…はあはあ♡ゼリーじゃないわよ…。ちゃんとした（バケツ）プリンよ…。んんっ♡はい。どうぞ。んんんんっ♡」

「悪いねえ…。胸揉むだけで我慢してね？ちゃんと機会作って食べてあげるからさ♡俺の右手を舐めて返事しますか♡」

鈴谷の料理を受け取り美巨乳を堪能して、加賀達の所へ向かうのだった

加賀達の周りで食べていたKANSEN達は、次々に席を空けて、他の席で食べるのだった。他の席に座らないで、食べてる娘の上に座るのもいた。座られる娘は許しているのだった。百合の関係かもしれない

「センカ？クウカ？隣、失礼するよ…。その料理は、熊野か…」

うわうわ、加賀達の周りの席ぼっかり空いたわ…。ごめんね？カウスターで食べなくて？食べさせあつてるのもいるねえ♡眼福。プリンだけしか食べてないのがあるな…。15？ええ？スゲく。幸せな顔で黙々と食べてる…

「はむはむ…。ゴクンっ…。はい、指揮官・旦那様♡どうぞ♡んんっ♡（唾液と愛♡入りの料理…。鈴谷あ…。ギリギリセーフ…。ああっ♡首筋の汗♡イっちゃうっ♡）」

「ありがとう。いただきます…。…うっん♡おいひひっ♡このゼリープリンも美味しい。はふっ…。ご馳走様でした。…んっ？2人ともどうした？顔真つ赤だぞ？あ、汗臭いか…。ごめんね？さっぱりした筈なんだけど…」

「な、なんでもない…♡良い匂いだ♡ハアハア♡んっ♡（これなら逝ける♡・早くセンカの奪って？…で、クウカやみんなをコレで楽にさせてくれ♡）」

おつきいゼリープリンだったけど全部食べられたわ。疲れが取れてる気がする…。どうなってるの？

良い匂いですか。みんなそう言うってくれるね。ありがと。んで…？何でも無いって？センカくく？尻尾を器用に使って令司君を起こそうとしてるじゃん♡何でもあるじゃん♡尻尾の先端から粘液出してるけど媚薬かい？舐めたいな…

クウカは、チラチラとピンクのロー♡のスイッチを見てるよ？それ使わせて新しい扉開かせようとしてるのかね？

…あつ♡んもう♡センカが、ねつとり触るから起きちゃったよ…。準備ヨシっ。って現場猫出ちゃった…。おはよう、令司君

「何でもあるじゃないか♡センカは溜まってるねえ？クウカはピンクロー♡のスイッチを見つめてるよくく？必死に目そらしてもグギギってなつて見てるよ？両手で顔を隠しても隙間から見てるねえ？」  
「旦那様の旦那様が目を覚ましたな♡この魔改造メイド服を気に入ってくれてありがとう♡ああ♡凄く溜まってるんだ♡不束物ですがよろしくお願い致します♡旦那様♡」

「おっふ…。こちらこそよろしくお願いします。素敵なメイド服を見せてくれてありがとう♡後、谷間ありがと♡準備出来たよ…。まあ長い間、戦闘しに出て貰ってたから溜まってるよな？あく？場所はここか？」

すっかり発情しちやつて♡何か、ここじゃない気がしたから聞いている。令司君はもう少し大人しくしてて？くっ…♡

みんな凄くエロい顔して何か期待してる…。視線がピンクのコレに集まっているのよ…。何なん？ポチツと押すだけだけどき…。暴発や暴動起きそうなんよ…

…んっ？えっ…？ちよっ…。ええ？なんかさ？良く見たら俺が知ってるスイッチと違うんだけど…。このボタンの横にある数値がさ？可笑しいんだよ？

『MINI万♪』『MAX100万♡』『ランダム♡』って何？3段階や5段階じゃないの？なんか常識通じねえ〜。そこまで期待してるのなら暴発や暴動を起さない事にかけて使いますね〜♡新しい扉開いちゃお〜♡壊れてるし〜♡

「ここじゃない…。はあはあ♡素敵な場所に案内するよ♡そこで素敵に奪って欲しいのよ♡」

「うつく…。了解。案内よろしく。収まらんわ♡」

ええ？素敵に奪うって、どういうこと？

「ハアハア♡分かったわ♡コツチよ♡ハアハア♡収まっちゃダメよ♡」

収まっちゃわないさ…。令司君？泣かないでくれよ。まあ？多分、沢山鳴くでしょうな〜？頑張れ〜♡素敵な場所で逝けるからな〜？もしかしてセンカの部屋かな？

「センカ、逝ってらっしゃい♡ハアハア♡見守ってるわね♡後、ソレ♡みんな楽しみにしてるから♡ああっ♡」

センカはピンクロー♡のスイッチを持って、尻尾の粘液で令司の魔性のプリ尻をヌリヌリマーキングしながら、初めてを素敵に奪う場所に案内するのだった

☆☆☆

「…んっ？えっ？ちよっ…。ええっ？ここって…。ええ…？マジですかあ〜？」

「そうよ♡ココで♡素敵に奪って欲しいの♡ハアハア♡センカのココ、凄くヌルヌルで、準備出来てるわよ♡旦那様♡」

ココってト♡レじゃああんっ！新しい扉が開くうう！マジかつ♡ここで良いのっ؟!ありがと〜♡ロマンが叶っちゃたよ〜♡愛してるよ♡センカあ〜♡

センカが案内したのはトイ♡でした。センカと令司、大興奮し過ぎですよ？移動中にお互いのフェロモンにでも当てられました？煽り合戦でもしました？

「あ〜♡そうだったわ♡旦那様が座ってセンカが奉仕しないとね♡



待ってて♡センカのファーストキスを旦那様の旦那様にあげるね♡  
んれる♡んちゅぱ♡ふ〜♡ふ〜♡ふ〜♡

「おひょっ?!鼻息荒いよ…セン…んむう♡」

わおっ♡座ったら勝手に万歳してって、動けなくなったぜ♡これが  
センカのサクキュバスの力かあ〜♡言霊みたいなもんですね〜♡  
喋ってないけど

うぐお〜?!ファーストキスを捧げる先、間違えてるよ〜?上はセ  
カンドキスですか〜。うっわ〜美味しくないんだけど〜?でも、  
みんなは美味しく感じるんだよね〜?不思議〜

「ん〜ん〜っ♡〜♡〜♡〜♡〜♡〜♡ (ヤツた♡ヤツた♡愛  
してる♡愛してる♡愛してる〜♡)」

ああ〜♡♡凄いい熱い♡締め付け最高〜♡ヒロイン気分味わっ  
てるぜ〜♡♡おっ?誰か来たな〜♡

素敵に初めてを奪って貰ったセンカ。尻尾を♡マークにして振っ  
ている。誰か来たようです

「センカおめでと♡ハアハア♡んっ♡指揮官?鈴谷もここで散らして  
くださいね♡んっ♡あつ、センカ:サポートありがと…。では、逝き  
ます♡んちゅ♡んん〜♡」

発情が収まらない鈴谷お嬢様が来ました。バツチリ準備出来る  
のです♡風紀委員長自ら、風紀を乱すようです。これには熊野が笑顔  
でダブルピースをするでしょうね?

風紀委員長の鈴谷お嬢様、ご自身が風紀を乱すのね〜♡:あつ  
…。やべっ…。持たされたスイッチ、うっかりMAXにしちやっただ  
♡ももうどうにでもなれ〜♡

「?!?!?!♡〜♡〜♡〜♡〜♡〜♡♡ (キタああああ〜♡  
〜♡〜♡〜♡〜♡〜♡〜♡〜♡)」

んはっ?!ちよちよっ?!熱いっ!熱いっ!凄く熱いよっ!アツアツ  
すぎるってえええ♡湯気出:ちよアアアアああああ〜♡セン  
カ?センカさあん?どうどう…。落ちああああ〜♡ぬあに  
コレ〜♡アツアツすぎるってえええ〜♡

うっかりスイッチをMAXにしてしまった令司。強く生きてね?

夕方までドスケベイヤラブを続けるのだった。強く…生きてね？  
ぷぷぷ♡

◇  
べちゃ♡どす…。ばたんっ。じよぼぼぼぼ♡ぶつつしや  
あつあああああ♡♡

「…んっ？えっ…？ちよっ…。ええ…？みんな？湯気出てるよ？笑顔  
になってる場面じゃないでしょ?! どうしちやったの？イっくヤッ  
くっ♡とか、ダメダメええ♡とか騒いでるだけじゃ分かんないよ  
く？ねえ？どうすれば良いのよっ?!」

首筋にキスマークが沢山ついているザコつちがオロオロしている。  
縄解かないんですね…。拘束されてる方が落ち着くのかな？

オーブン基地所属の変態嫁達全員が、笑顔で倒れ込みました。色々  
な効果音を出してあちこちの床が濡れ始めました♡大洪水になって  
いくであります

そうですね…。変な例えですが、ダムの一斉崩壊が始まったぞ♡避  
難しなきやいけないのに浸かっていつてるぞ♡ですね

「ピョっ!!ピッピョっ!!ピッピョっ!!ピいんっ!!!（みんなっ！  
炬のメンテナンスが来たゾっ!!!しっかり食べ、掃除しなっ！始める  
ぞっ!!!）」

「ニッンピっ!!ピョピョくく♡（ハッ!!グへへくく♡）」

饅頭達、超頑張つてえええ♡に、なったのでした。真っピンクの  
霧の濃さがどんどん増すのであった

オーブン基地にはまだ分からない事がいっぱいありそうですねえ  
…。令司は、みんなを幸せにしてないかもですね？

◇遠い遠い暗い場所の海上◇

「ああ♡ニーねえ♡好き♡愛してる♡もっとお♡ううう♡」

「うっわくく…。ニーねえ…。見ない内にそっち側になったのか…。  
エディには触るなよ？この身体は、男性に捧げるんだから…。正の字  
を…グへへ♡」

「ちよっつと、好きでこうしてるんじゃないんだっつ?!オミッターが

勝手に発情してるから世話してるだけよ?!分かってるってば!…どう? スツキリした?」

「スツキリした〜♡ありがと〜♡出した潮は全部、オブザーバーとピュリファイヤーにあげる♡うわ〜♡まだ潮嘔いてる♡すつご〜♡い♡ポイツと♡」

「オミッター達、楽しそうだな〜。補給スポットに到着したぞ。沢山補給していかうか…。ふ〜♡染みる〜♡」

「そうだね〜。補給しよつか〜。ほらオミッター達…は、お互いの身体で補給し合ってるよ…。便利だね〜?」

「キスや幕を残してるから良いじゃないか…。ゴーグルを使おうとしてるな…。全部持ってきたか…。どれ…。…はひつ♡おねがひひまふ♡」

「お互い違った光景を見た感じだね〜。交換してるよ…。エディは何見てんの? 鼻の下伸ばしちやって…。まだまだ補給しなきゃだから、あたしもゴーグルを使おうと…。…えっ? う、うん♡おねがひ♡」

補給スポットで沢山補給をするようです。温泉に浸かっている感を出しています。持ってきたゴーグルで何を見ているのでしょうか? エディターもニーねえも鼻血を出して興奮していたのだった

それぞれの部下達が交代で見張りをしている。お疲れ様です。休憩中のみんなもゴーグルを使って幸せな顔をしている

令司がいるオープン基地にいつ、到着するのでしょうか? 到着するのが楽しみですねぇ〜? 令司がどんな反応をしてどんな行動をとるのでしょいか♡

まあ、その前に他の基地のKANSEN達と戦う事になるでしょうが…

ええ…？…ここまで変わる？

第1食堂で、高校生で風紀委員長をしている鈴谷お嬢様の愛がこもってる（ギリギリセーフ）料理を加賀達と一緒に食べるのだった。2人とも嬉しくて尻尾を振りまわしていたのだった。センカは♡マークを作ったのだった

デザートの檜野の母乳入りバケツゼリープリンを食べて疲労回復したのだった。プリンは、エリクサーか何かかもしれない。KANSEN達はプリンを沢山食べてキラキラしていた。キラ付け効果があるようです。流石、三大印の1人

加賀達のテーブルの上に堂々とピンククローバーのスイッチが置いてあり、みんな期待した熱い目で見ていたのだった。もちろん、令司を見るのもいた。視線が気持ち良いと感じる令司なのだった

センカ曰く、炬の一斉メンテナンス。スイッチに書かれている数値が可笑しくて常識が通じないと感じた令司なのだった。逆転世界ならではの道具ですからね。令司のいた世界の常識は非常識ですよ

発情中のセンカが、狐耳をピコピコしながら器用にサキュバスの尻尾で起こしてきた。先端から媚薬を沢山出すのだった。どうやら舐めて欲しいようです。そして初めてを素敵に奪う事になったのだった。全員、暖かい目をして送り出された2人なのだった

素敵な場所に到着した。そこは何と、ト♡レだった。それも指揮官である令司専用である。センカにとつて、ここは神聖な場所なのです。サキュバスの力を発揮され、万歳拘束で動けなくなったのだった。令司は万歳拘束ヒロイン役のようです。センカは、両頬に手を置いて嬉しそうに見つめていたのだった。その顔を美しいと感じた令司なのだった。頭、大丈夫じゃないですねえ？

センカのファーストキスが令司君で驚いてしまう令司。そしてそのままセカンドキスをねっとりとした。ちよつと何言ってるのか分からないですねえ？

イチチャラブしていると、風紀委員長鈴谷がヤッて来て、令司が揉んだ右胸を揉んで煽って来ました。準備満タン、ヤル気マンマンであります

♡そして風紀を乱しまくるのだった。熊野達ギャルズはハイタッチし、抱き合って喜ぶのだった

2人とイチチャラブしている時に、持たされたスイッチをついちゃうかりMAXにしてしまった令司。戻そうとしても戻せません。スイッチを落としてしまったのだから

スイッチが入った事により、センカと鈴谷のが火傷してしまう位、アツアツトロトロに豹変。如月、睦月のマッサージを受けていた時のアークロイナル以上であります♪奇声をあげる令司なのだった。炉の一斉メンテナンス開始です♪

盗撮・盗聴組全員、ダム決壊♡みんなと仲良く食事をしていた縄縛りされたままのザコっちは、凄くオロオロしだして何もしないのだった。セイレーンなので炉のメンテナンスは不要なのかもしれない

饅頭達は、ダム決壊が始まって直ぐ綺麗に横一列に並んで、『暴食♡』と書かれてる法被を着たボスの命令を受けるのだった。息ピツタリで綺麗に敬礼をしたのだった。饅頭全員の目の中は、シイタケでした。(シイタケ♡☆☆?)

幸せな顔をして豪快にバリバリムシヤムシヤしだしたのだった。フードファイターです。饅頭達は食べながら自身達で♡マークを量産するのだった

この食事風景を、勝手に大会として実況中継する饅頭がいたり、解説するのもいたり、トーナメントボードとかを作り、料理を賭けて盛り上がるのだった。自由過ぎるぞ♪

☆☆☆

第1から第3食堂内でフードファイターの大会を参加しない饅頭達が、いつの間にか布団を敷いていました。優秀ですね。そして饅頭達同士が、抱き合って寝ているのだった

「くっ♡アツ♡アツ♡アツ♡んんくっ♡愛してる♡愛してる♡愛してる♡はあん♡Zzzz………」

「……………あっ、拘束解けた…。ふう…。スッキリしたくっ。鈴谷、センカ、気持ち良かったよ。愛してるよ。んくっちゅ♡スト

レツチするか…。んんん、バキバキいってる…。痛気持ち良いわ」

スイッチの電池切れにより、ヒロイン役を演じる事が終了したのでした。そして2人にキスしてからストレツチを始めるのだった。令司の肌はゲツソリではなく、ツヤツヤしているのであった。令司の肌はどうなってるのでしょうか？

「んんあっ…。指揮官っ…。そこ…はっ…。むにやむにや…。んんん…っ」

たぐぐつぷりと拘束ヒロイン役を演じたぜ。キラキラしてたなぐ。気持ち良かった。これでまた新しい扉開いたぜ。これでもう新しい扉を開けきつたんじやないかな？

センカは尻尾の♡マークの先端から媚薬を垂れ流して幸せな顔をして寝ている、鈴谷は、赤黒い鬼の角を大事そうに握りしめて寝ているのであった。2人とも全裸です

2人は、夢の中でも令司とイチャラブしているようです。令司って愛されてますねえ。そして令司はフラグをおっ立てるのだった。立ったら回収するのよ？お分かり？

「んんんっ。はあ…。バキバキいってる…。ふう…。2人とも炉の一斉メンテナンスで凄くエロさが増したね。メンテナンスの光景凄かったよ…。肌ツヤツヤで眩しいわ…」

令司君、火傷しなかったよ…。良かったぜ。元気にイケイケしててビックリ。センカの媚薬が凄く効いたのかも…。とにかく頑張ったね。えらいえらい。凄い凄い

「よし。ストレツチはこれ位にしとくか…。バキバキしなくなったし…。これだよやく2人のを揉めるよ…。ふう…。揉み心地最高。良いねえ。ありがとう」

拘束されてたから揉めなかったんだよなぐ…。2人とも揉み心地良いですねえぐ。最高。鈴谷、角を大事そうに握っちゃって…。取れるのかよ…。いや、ポロっと落ちたんだっけ…。ビックリしたなぐ

「んんんっ。すくすく…」

その落ちた赤黒い角どうするんだろう？保管でもするのか？そ

れで新しい赤い角が凄く早く生えていつてびっくりしたわ…。それはいいとして、鬼の角が生えてる他のエロ妻達も生え替わってるかもなあ…。鬼の角博物館でも作れそうかも…

令司は、炬の一斉メンテナンスで角がポロっと落ちていつて新しいのが生えていつた事に驚いたのでした。鬼の角が生えてる他のエロKANSEN達も生え変わっているのだった。博物館作れそうですよ？

「鬼の角でこれなら犬耳や猫耳やそれぞれの尻尾も変わってるかも？……。さつきからペチペチ背中を叩かれちやつてる…。とりやく。センカの尻尾捕まえたつ。…んっ？おいおい：センカくく？ええ…？」

センカくく？尻尾から出てるこの媚薬を沢山飲んだり、ココで受け止めたのにまだまだ出せるのかよく。溜まってるねくく？戦艦サキュバスって凄いなだねくく？ぐへへ…

令司、センカの媚薬垂れ流しに歓心する。そして好奇心からか、右手人差し指を差し出していくのだった。それを察知した尻尾は

「おお…っ。熱烈なネットトリキスをしているつ。これはこれは…。ごくりっ」

トロトロだなくく。熱くなつていくよ…。うっわ…。右手全部真っ赤になつてきた。湯気出でないけど茹だつてる

「(んんんっ。わあく。ご馳走がいっぱいだく。いっただつきまゝす。あんむっ。うくくん♡旦那様の料理おいひい♡)んんんっ♡だんなふあまぐく。おかわりくく♡」

「はあ…。すっごくネットトリ。こういうのいいねえ。…んえ？こんのっ。令司君、静かに寝たと思つたのにつ！」

静かに寝てなさいってくっ!!!すっごくネットトリイチャラブしたでしょ?!…えっ？なんか尻尾の様子が…。えっ？センカは寝てるよね？えっ？おかわり？つて、えっ？ちよわくっ!!!…あっ♡

人差し指を差し出してネットトリキスをされてるのをうつとり顔で眺めていたら、令司君が何故かピコン。元氣あり過ぎですよ？センカの尻尾は、待つてました♡となつていつたのだった

「へキリツ」尻尾にこんな使い方があってなんてなあ……。新しい扉開けたなあ……。俺、フラグ回収お疲れ様。これでフラグ回収士一級(笑)を名乗れるよ。あつはつは。」

ふう……。ようやく垂れ流しが終わったぜ。センカの尻尾はしゅごいぜ。まあ、戦艦サキュバスだからかもしれないけど。後、メイドだし。これには令司君はニツコリしてたぜ。良かった良かった

他の戦艦サキュバスに、シリアスやキュラソー、天城達とかとこれをシテみるか。令司君とサキュバス達は、どんな反応をするのかな？ばつちり盗撮・盗聴されてるから今度のイチャラブが楽しみであります。いえ。見てるう？よろしくね？

お互いスツキリしたようです。令司の頭がだいぶヤラれたようですが、通常運転のようです。タフですね？隠しカメラがあるであろう場所にダブルピースをするのだった

「ふう……。炉の一斉メンテナンスされたって言うから、他のエロ妻達を見て来ますか……。夕方だから第1食堂に行くか……。お腹空いたつてのもあるから……。それじゃ、センカ？鈴谷？起きたらご飯でもお風呂でもいいからゆつくり休んでね？う……。よくバキバキ鳴りますな」

大賢者？になった令司は、両肩をグルグル回してバキバキゴキゴキ鳴らしながら第1食堂へ向かうのだった。トイレのドアが閉まった後の2人は……

「?!止まって止まって止まってっ!!!ちよつとっ!鈴谷止まってよっ!!!ねえ?!ねえつてばっ!!!聞いてるっ?!ああ、盗られるっ!!!盗られちゃうっ!!!イっ!ヤああアアアアアっ!!!ふごお!!!んんんっ!!!んんんんんんんんんん!!!」

「んっ♡んっ♡んふっ♡動いてないわよ。戦艦の力でねじ伏せれば良いのに……。尻尾が率先して癒し刑を受けに来てるのよねえ?えらいわねっ♡あっ♡遂にいらっしやいしちゃったわよ♡ヨシヨシ♡そうそう。全部ここに吐き出しましょうねっ?抜け落ちた赤黒い角、役にたったわ♡」

センカの癒し刑が執行されるのだった。戦艦の剛力を出せないよ



うで、ただ涙顔をして両手で顔を隠しているのであった。鈴谷は満面の笑みを浮かべています。風紀を取り締まれるからか？

令司！運？がないなあ〜！咲き乱れてんぞ〜！戻ってこ〜い！イチャイチャしたれ〜！

◇

「あら〜？センカが癒し刑受けてるわ。凄い光景ね。ね？クウカ？」

「そうだな、赤城。尻尾の毛繕いを頼んだのにモフモフと触ってるな？（良いけど）翔鶴がトイレに行きたそうにしてるが、瑞鶴が素早く縄で拘束して動けなくしたな。あつ、搾乳を始めた。んひゃんっ!」「そうね〜？必死に首を横に振ってるわね。でも、嬉しそうよ？んひゃん？クウカも搾乳の時間なのよ？たっぷり搾るわね」

◇

「ご〜ご〜ごくん。指揮官のをココでパツクンしていいんだ？エルドリッジ、奉仕、頑張る！……後、血を吸わせてね？パツクじや味落ちてるから。直が1番。ふへへ♡」

「ごくん。指揮官様♡天城とイチャラブする時、パツクンされて下さいね♡絶対ですよ♡気持ちよくなりますから♡うふふ」

「ちゅぽん…。誇らしきご主人様。センカ様と素敵なイチャラブをなさって♡誇らしいです♡シリアスもシテも良いですよね？気持ちよくなつて下さいませ♡」

サキュバス達の様子が少し？可笑しいですねえ？煽つちやたか？令司よ。これから大変な事になりそうだぞ？強く逝きて？調きよ…をしたんだから逝けるでしょ？

☆☆☆

「「指揮官…。きゅ〜…」」

「あらら…。気絶しちやったよ…。腰抜けたみたいだし…。よしよし。お休み」

鼻血出してビクンビクンしてたけど、大洪水しなかったな…。メン

テナンスの影響かな？それとビックリな事にお触りされなかったぜ……。こつちも触らなかつたけど……。だいぶ健全。第1食堂にいる工口嫁達が楽しみであります

向かっている所で軽巡2人、重巡2人、駆逐艦と出会い、鼻血を出して気絶される。1人ブラリ旅を再開し無事に第1食堂に到着したのだった

「第1食堂に到着したんだけど……。これはいったい？？凄く眩しいんですけど……」

眩しいんですけど……。眩しいんですけど……。まあこの感じ、慣れてきたから良いんですけども。さあて、炉の一齐メンテナンスでどうなったのかな？ワクワクしますねえええ

「よしっ。見えるようになった。：Ohhh。エロい模様替えされてるし……。過激じゃなくて清楚ですねえ。良いねえ。エロいねえ」

えええ……。ここまで変わる？凄くバカ広いここをせくくんぶ模様替えするとかさ……。真っピンクの霧がほぼないわ。あちこちにお香焚いてあつて凄く落ち着く良い匂いしてるわ。これ好き。発情する感じしないですって

後は、デッツデッツカイ水槽無かつたよね？生簀ですねえ。観賞用でもあるのかな？デツカイビリビリしてる魚がウジャウジャ泳いでるよ……。運ぶの大変だったろうに……。注文してからめるんですねえ？えええ……。ここまで変わる？

「饅頭達はなんかフードファイターの大会を開催したようだねえ？」

ええ？みんな幸せな顔をして毎日食事兼大掃除してくれているのに、食い足りなかつたのね……。食欲お化けめ……。あちこちに♡マーク沢山積んであるわ……。食べないのね……。不味いのかな？もしかして調理しないと食べられない感じ？

『暴食♡』法被の饅頭が優勝したんだね？なんか掛けてたようだね？大好きな料理を差し出してるのかな。暴食饅頭、拒否ってるけど……。あつ、暴食饅頭が準優勝の口に流し込んだわ……

「?!?!…えっ？…えっ？…えっ？…ええっ？…ええっ？愛宕…？愛宕さん…？ど、どうしちやつたの？」

「んんん？高雄に綾波、大っきい声出してんな？？なんだ？なんだ？料理を作ったのが愛宕なのか…。……………んっ?!愛宕っ?!」

よし。食べようへキリツ。他のエロ嫁達もビクビクしながら食べてる。食べてからはパクパクですな…。そして久しぶり？に専用部屋で愛宕と高雄と一緒に寝ようか

「?!高雄？綾波？どうしたの？愛宕と料理を見比べて来て？不味かったかしら？後、何か顔についてたかしら？しっかりツヤツヤのモチモチになっていると思うのだけど？」

「不味くないですついでないですモツチリツヤツヤですはい全身を縄で縛ってなくキラキラしていてビクビクしましたはい癒し刑をし過ぎたごめんなさいです」

「そう？良かったわ。随分と早口ねえ？癒し刑の件は謝らなくていいのにく。こちらこそありがとうなのに。だいぶスッキリするのよ？」

「はあい。愛宕、高雄、綾波。隣、失礼するよ。愛宕。愛宕の料理食べたいな」

「指揮官。どうぞ。です。……………えっ？」

「あら？指揮官、いらっしやい。食べてくれるの？どうぞ召し上がれ」  
「頂きます。あむ…。うん。美味しい。美味しい」

ええ…。ここまで変わる？愛宕、縄で縛られているのが通常運転なのに、清楚なセーラー服を着てるなんて…。縄の跡ないし…。顔、真っ赤。耳、綺麗になったし、モフモフ度上がったんじゃないかな…。  
谷間、見せてる。眼福眼福

愛宕は縄縛りをしていなくて清楚なセーラー服を着ている。谷間とおへそを魅せつけているのだった。下着？着けてませんよ？

おお、料理美味しい。見た目はアレだけでも…。パクパクいけるわ。おかわりしちやおう。愛宕、高雄、綾波。俺を真っ赤な顔をして見過ぎじゃね？

それで触って来ないねえ…。積極的にお触りしてたのにガラツと変わっちゃったねえ？これはメンテナンスの影響ですかねえ？お淑やかになったね？ギャップしゅごい

「おかわりをしてくれるなんて…。ありがとう。指揮官の匂い、良い匂いねえ。凄く落ち着くわ。大好きよ。やん…。急に耳を触って、どうしちゃったの?」

「ご馳走さま。美味しかったよ。良い匂い?ありがとう。落ち着くんだけ。それは良かったよ。いや〜、耳、綺麗になっただけ。触りたいなあと思ってたんだ。触り心地最高だよ」

「触り心地最高だよ。ピクピクして可愛いわあ〜。こうしちゃうぞ。よいしょ〜!」

「ありがとう。きやつ…。…えへへ。お姫様抱っこされちゃった。あ〜。あつたか〜い…。好きい。くう〜ん♡」

「このまま風呂に連れて行って、一緒に入ってから俺専用の寝室へ案内するよ。ぐっすり寝ような?高雄も専用部屋へ案内するよ。綾波はごめんね?」

「求愛しなくても結婚してるってば〜。乳首クリクリしようか迷ってるね〜?シテ良いのに…。言わないけど。ずっと顔真っ赤なのね」

「…えっ?専用部屋に招待された?ありがとうございます。幸せです〜」

「謝らなくていいです。綾波、見回りがあるので断ってたです。指揮官を見れて喋れて幸せです。お風呂、一緒に入ってもいいです?」

綾波、背中当ててきちゃって。って思ったらしがみついてきた。ありがとうございます。耳舐めありがとうございます。ぜひぜひ。一緒にお風呂入ろう

「もちろん。一緒に入ろう。見回りよろしくお願いしますね。そうだけ、高雄?近づいてきてくれない?ありがとう。ごによごによごによごによ」

「(あら。素敵な提案。サポートするわよ。高雄、可愛い声で沢山鳴いてね?)」

「?!ふ、ふ、不束物ですが、よろしくお願いします」

よっしや。お願いされたぜ。高雄、茹で上がってますね〜?モジ

モジしながら耳ピコピコしてる。可愛い綺麗。好きい。綾波、スリスリしてきて可愛いなあ〜。ちよつと体温高めですねえ。濡れてないけど。大丈夫じゃないんじゃない？

「高雄、よろしく。それじゃ、お風呂に入ろうか〜」

「了解しました」

浴場で欲情してくれよ〜？高雄をパツクンしたいんだからさ？愛宕と綾波とも、もちろんしたいよ。高雄のサポートしながらね？よろしく

令司は、愛宕をお姫様抱っこ、綾波をおんぶして、お胸様達の感触を堪能しながらお風呂場へ向かったのだった。到着して全員綺麗さっぱりして入浴してしばらくたってから、3人は欲情した。令司は、ギラついた目をしてイチチャラブを開催したのだった。若干壊れた？

発情しないとは嘘だったようです。なにかのきっかけで発情したようです。令司は、高雄を沢山鳴すのだった。綾波と愛宕も沢山鳴した後、宣言通り、高雄と、愛宕を専用部屋へ連れて行き、イチチャラブをしないで寝りに落ちていったのだった。健全とは珍しい

◇

「愛宕が料理を作るなんて…。炉の一斉メンテナンスの効果は凄いですね〜。青葉、ビックリですう〜。高雄、おめでとうっ！沢山鳴してる感じだね〜？これは新聞を作るのが楽しくなる〜」

「ええ。高雄型で最後に開封されて沢山鳴いてますわね。…で、青葉？何でフォーミダブルの部屋で新聞を作ってるんですの？」

「んん？何となく？で、フォーミダブルの趣味を新聞で載つけた後、放置しっぱなしだったからプチ癒し刑をと♡」

「ええ？趣味をバラされて沢山部屋に入られて見せましたわ。そ、それで沢山癒し刑を…。気持ち良かつ…。…って、何、言わせますのっ!!! あんっ」

「勝手に暴露してるじゃん…。好評で良かった〜。おお〜おお〜。指揮官、激しいねえ。良いなあ〜。よっし、新聞作り終了〜。

フォーミダブル、ばいばい」

「~~~~♡~~~~♡」

フォーミダブルは、青葉新聞により趣味をバラされて沢山、百合の花を咲き乱れさせたようですね。青葉新聞の影響は凄いです？

オープン基地は、炉の一斉メンテナンス後でだいぶ雰囲気が変わったようですが、相変わらず平和でエロいようです。それに記憶がスツポリ無くなる事がなくて良かった良かった

盗撮・盗聴もバツチリしているので百合の花があちこちで咲いている事でしょう。オープン基地は、今日も元気で変態で平和です♪

☆遠い遠い暗い海上☆

「はああん♡ニーねえ~~~~♡出るうう~~~~♡あああ~~~~♡」

「(傷つけないように。傷つけないように。傷つけないように。クリクリしていく)ほらほら、沢山出してスッキリして:ね?交代でおんぶしてあげるからさ?」

「オミッター。補給が済んでしばらくしてから発情するとか。オープン基地に早く着きたいのだけど?さてと、オブザーバーとピュリファイヤーの様子は、:まだ潮噴きしてるのか。綺麗だよ。令司に純潔を捧げたらシしような?んんんっ」

「まだ潮噴きしてんの?部下ちゃん、世話してくれてありがとね?オミッター達?スッキリしたようだからおんぶするよ?いらっしやい」

「はあい。ありがと。ニーねえ♡むつきゅ。それじゃ、オープン基地に早く行~~~~♡おお~~~~」

「(遅らせてるのは誰なのかな~~~~?)はいはい。それじゃ行こうか。オミッター。エディター。次の補給スポットってどこだっけ?まあ、しばらく保つけどね」

「了解。確か遠い遠い海上じゃなかったか?早く到着して正の字を沢山刻んで欲しいわ。ふたってる娘にも刻んで欲しい。ふたってるのはオブザーバーとピュリファイヤーとシタ後だけど。令司ってどんな男性なのだろう。楽しみだ♡」

「そうだね~~~~。って、暴れんなあ~~~~!落とすよ?よしよし。最

初っから大人しくしててよね」

補給をした後、双子オミッターが発情したようですね。ニーねえが処理をしたようです。エディターはエディターで発情してる？潮噴きしているオブザーバーとピュリファイヤーに潮をかけたようです。どっちもどっちじゃないかい？

ニーねえは発情しないようで、必死に双子オミッターのお世話をしていた。お姉さんしてますね。お疲れ様です

スツキリしたようで、オープン基地に向かうのだった。いつ頃到着するのでしょうか？会うのが楽しみですね。令司、モテモテだな♡セイレーン達をすっかり幸せにしろよ？この状況は、『遠距離で通い妻達』って奴かもしれない

### ☆とある基地☆

私はここ、ドエム基地の指揮官をしているわ。位ってどこだったけ？たしか大将だったかしら？本棚をチラツと見てっ…。そうね。大将だわ。まあ、位に興味ないのだけれど

ここのKANISEN達とコミュニケーションを取りまくると、オープン基地の深淵のお嬢様への愛の手紙を書くのが私の仕事なの。深淵のお嬢様の位って元帥なのよ♡種を受け取りたいわ♡それでね…。そっちに集中し過ぎて…

お…？令司…？貞操逆転世界の女性指揮官に、深淵のお嬢様扱いされてるぞ…？そして、令司は軍のトップじゃないか。オープン基地は大本営だったのか？

「うわ…ん。(軍)書類の山々が減らないよ…っ！筆頭秘書艦の高雄…！手伝ってよ…っ！どこにいるのよお…っ！愛宕、鳥海、摩耶、手伝ってくれてありがと…」

軍書類の山々に埋もれています(泣)パソコンを使おうよ。手が痛いわ

「指揮官がサボってたからでしょ？高雄は今、工廠にいるわよ。艦装のチェックね。オープン基地と演習したから念入りにしてるわ。…ええっ？鳥海、摩耶？オープン基地の深淵のお嬢様へのプロポーズ

書類100枚はどう処理するのかしら?」

「(呆れられたく)艦装チエツクね。了解。オープン基地との演習ってセイレーン以上だからね。大事大事」

対策立ててるのに毎回負ける。で、なんか演習に出た全員毎回キラキラして帰ってくるのよね。何故だろう?注)ドエムだからです

えっ?処理?捨てないで!お願い!

「えっ?100枚?数が増えてるような?」

摩耶くく、ドスの効いた声出さないでよ。怒ってるの?そうよ?増えてるわよ?愛してるんだから♡書くのが止められないわよ。全裸写真にスリーサイズ、性癖を全部包み隠さずに書いてるわ

「えっ?懲りずにまだ書いてるの?青葉と川内に渡せばいいだけよ。何も言わなくていいわ。分かってくれるから」

青葉と川内ね。なら、しっかり届けてくれるわね。いつもありがと。2人とスキンシップしたいのだけど、顔を真っ赤にして拒否されるのよね…。権力を使って無理に迫ってないのにお酒)の力も使ってないのに…。ううう

「そう?鳥海、ありがと。ノルマ終わったから探してくるわね。判子押させるだけになってるから。後はよろしくね?」

愛宕くく!ありがと。なんか静かに怒ってるね?何かしたつけ?サボり過ぎた?いやいや、サボってないわよ?

「二行ってらっしゃい」

「ありがと、愛宕。行ってらっしゃい。サボってないわよ。KANSENちゃん達とコミュニケーションを取ってたらこうなったのよ。悪くないわ」

深淵のお嬢様への愛を綴って何が悪いの?純潔は深淵のお嬢様に捧げるって決めてるのよ!産み産みたいわ♡まあ、返答されてないから振られてるかもなんだけどね(泣)

私が駄肉だからかな?ええ?そんなくく。あつ、もしかして放置プレイですか?ありがとうございます。興奮するわ。分かっているじゃない

…つて、摩耶、そんな睨ま「ないで。ドスの効いた声を思い出して



興奮しちやうわ」

「(ドスが効いてる？興奮しちやう？そうなの？)悪くないわ。コミュニケーションねえ？大事だけど、すぎなのよ。禁止にし「ごめんなさいごめんなさいごめんなさい。うお〜っ！」:はい♡書類の山々が無くなりましたね。よく出来ましたね？」

「鳥海。あはは…」

禁止にしないで〜！生き甲斐が〜！はあはあ…。よしつ。全部終わった！はわわ〜♡鳥海、ヨシヨシありがと〜♡ええ？最上位のセイレーン達が大規模移動してる可能性有りつて…。そんな事無いって〜！でも対策とつとこ〜

女性指揮官？それが有るんですよ？その最上位セイレーン達が、オープン基地に移動中なんですよ？恋敵？ですよ？

「鳥海、摩耶、手伝ってくれてありがと。でね？最上位のセイレーン達が大規模移動してる可能性有りだつて。そんな事無いだろうけど、艀装チェックや体調管理しつかりしてね？お願いします。掲示板に貼つとくから。お休みなさい」

「了解つ。お休みなさい」

ドエム基地のプロポーズ書類、令司に辿りつくのでしょうか？オープン基地のエロ嫁達の反応はどうなるのでしょうか？お嬢様と思ってる女性指揮官が男性であると知つたらどうなるのでしょうか？

と、いかプロポーズ書類をせずにオープン基地に訪問しちまえよ。視察(デート)という名目でさ？出来そうなんだよな〜？

なんだ？なんだ？

炉の一斉メンテナンスのスイッチの電源が切れて、拘束ヒロイン役を演じる事が終了した令司。ストレッチをしてバキバキ鳴らすのだった。毎度毎度ドスケベをしてお突かれ様です

饅頭達が気を効かせたのか布団が敷いてあって、やりきった2人は幸せな顔をして寝ていた。2人の肌、ツヤツヤです。美肌効果が令司君のアレにはあるのかもしれない。ようやく2人のお胸様を揉む事が出来るようになったのでネットリ揉みしだくのだった

センカの尻尾の先端から媚薬を垂れ流している事にビツクリする。右手人差し指を差し出してみた。するとネットリキスをされて、スツクリした筈の令司君が何故かピコン。先端と令司君がキスをするのだった。イチチャラブの再開であります

スツクリした令司は第1食堂へ向かった。大規模な模様替えがされていてビツクリ。空気も変わっていたとか？

逆転世界ならではの大型？電気魚達を初めて見たのだった。食べられない部分は、危ない飲み物やクリームなどの原料になっている。危ない本を読んでいた令司だが、どれがどれだか分からないのだった。模様替えや大型？電気魚達をじっくり見ている所に、高雄と綾波の大声が響く。どうやら愛宕が料理をしたようです。キリツと決め顔を決めて、愛宕の料理を食べる事にした。料理をしない事で有名？

3回おかわりをしてお腹を満たし、3人を令司の専用部屋で一緒に寝ようと誘う。高雄、愛宕は受け入れ、綾波は見回りという事で断られた。言霊があるじゃん？使えば？と思うが、使わないのだった。それか発動出来ないのかもしれないし、忘れてるのかもしれない

3人と一緒にお風呂に入る。欲情して欲しかった令司の願いが叶ったのか、3人は何かのきっかけで欲情した。高雄、綾波、愛宕の順でイチチャラブをしてお互いスツクリ。全員の肌がツヤツヤになったのだった

見回りを始める前に令司とキスをし別れた。専用部屋に向かった。到着してイチチャラブの再開をしないで全員全裸でぐっすり寝りに落

ちていったのだった。寝る前におやすみのキスはしましたが

とにかく平和に幸せな性か…ゲフン。幸せな生活をしている令司達なのだった。饅頭達もイキイキしている

最上位のセイレーン達が令司を姦まわしに、オープン基地に向かっていきますけどね？そこんところどうするのでしょうか？令司の指揮能力が試されますね？それとザコつちがどう反応するのか？気になりますね

☆☆☆

転移して来て1週間目の朝です。1週間目の朝です。2回叫んできました。令司はどんな行動をとるのでしょうか？

「Z z z z z z ……」

「…ふあく。うんうん。よく寝た…。…あ、饅頭達、おはよ」

饅頭達に顔をペチペチされたであります。スキンシップかな？敬礼してどっか行った…。あるえ…？この部屋って入れない筈なんじゃ？まつ、良いんだけど…。…で？動けません…

俺、2人に胸枕してるぜ…。最高の感触だぜ！ありがと！あく、2人の頭、撫で撫でした〜いっ！起きてそうだけど、しばらくこのままにしとこう。尻尾ブンブン振り回して喜んでるし。良かった

令司は饅頭達とのスキンシップ？をした。2人に抱き付かれているので、手や足を動かす事が出来ません。右胸に高雄、左胸に愛宕です。2人のお胸様の感触を楽しむのだった。寝ているフリをしている疑惑をかけられている2人の心境？は…

「(きやく〜！胸枕しちゃった♡やった♡やった♡幸せ♡クンカクンカ…。うにゆ！良い匂〜い♡しゆき〜！愛してる〜♡)くう〜ん♡わふっ♡きやいんきやいん♡」

バツチリ起きていて指摘？通り、尻尾をブンブン振り回し、胸枕を堪能するのと匂いを嗅いでいました。顔はトロトロになっていますでしょう

「2人とも息荒くして顔真っ赤で求愛してきちゃって。起きてるんでしょう？おはよう。胸枕、満足したかい？」

求愛されるのいいね〜♡ありがと〜！愛してるぜ♡みんな、胸枕したがるよね〜？した嫁達すつごくキラキラしてトロトロになつてたわ。何か危ない物質？が漏れてるのか？マジか…

貴重な男性の胸を枕にして寝るのは女のロマンツツツ！

ええ、危ない物質がしつかり漏れてますよ！ただ漏れ！物質名はレイシムネニウム。ゴロ悪いですけど。逆転世界だからね？仕方ないね？逆転してないこつちではパフパフ？されたまま寝る事ですよ。幸せですね〜？

それに令司も令司君もエロ嫁達のエロ谷間に溺れて寝ているではないか！エロ嫁達を大洪水にさせてたではないか！お互い極上な睡眠を取れてるんですよ？おわかり？

「指揮官、おはようございます♡ええ♡満足したわ♡ありがと♡何度求愛しても良いじゃない♡それで、この世界に来て1週間が経ったわね？どう？慣れたかしら？（慣れてて欲しいわ…）。だいぶやり過ぎてる気はするけども…」

「まあ、そうだな♡慣れたよ。ありがと。幸せ感じてるよ。高雄、愛宕、愛してる」

まじか〜。転移して来て、もう1週間経ったのか〜。慣れたね。：慣れたよな？令司君？

母港の散歩中、食堂内でお皿になる・される、お風呂で、寝室で、トレなどなど…：他にも有りそうだけど…。で、ずっと盛ったよな〜♡風船なんて使ってないし…。その内…ね？祝いとして直ぐ仕込むかもしれない♡

まあ、無理にシテ来なかったから良かったよ。一部はしようとしてたけどなんか震えてたな〜。癒し刑をされなくなかったのだろう。うん…。理性、強いようですね？他の基地の女性指揮官やKANIS EN達を知らないから何とも言えないけど…

「良かったわ。愛してるわよ。…んっ♡♡♡わふっ♡♡♡くう〜♡♡もつと頭撫で撫でてえ〜♡んんん〜っ♡」

「ヨシヨシヨシヨシヨシヨシ」

あ〜♡撫で撫でしていると癒されるんじや〜♡心がワンワンす

るよ〜!愛してるよ。背中を尻尾でペチペチされてるぜ。嬉しいんだね〜♡あはは〜。もつと撫でたるわ!ヨシヨシヨシヨシ♡

ベツトの上で抱き合っけてイチャラブスキンシップをとる3人。重巡エロ犬嫁達は従順です。隅っこにいる饅頭達も真似しているようで、お互いの頭を撫で合っけています。それを見て食事をしているのもいる。饅頭達も盛るのか?

「す〜は〜♡す〜は〜♡んんっ♡はあ:はあ:♡んっ♡つく♡わふっ♡くう〜ん♡くう〜ん♡わんっ♡わんっ♡」

おや:?:2人の様子が変わすねえ〜?尻尾をピーンとおつたてて、どうやら逝ったようです。『もう、辛抱堪らん♡』な状態になったようです?

「ヨシヨシヨシヨシヨシヨシ…。ヨ…:んっ?た、高雄?あ、愛宕?ど、どうしたのかな〜?…:うお?!」

「わんわんっ♡くうん♡んちゅば♡ちゆるちゆる♡んれろれろお〜♡んっ♡きゅ〜ん♡きゃんきゃんっ♡」

令司を押し倒しました。発情したようです♡令司はこうなる事を考えてなかったのでしょうか?

「ん〜っ!ん〜っ?!:んっ?!んむ〜っ♡んん〜っ♡」

撫で撫でし過ぎた?背中ペチペチされなくなっただと思ったら2人とも逝ってたわ:。ええ?なんか凄いな?押し倒されちゃったぜ♡発情したんだ♡やったぜ!

「〜っ♡〜っ♡」

ハイライトさん、仕事張り切り過ぎじゃない?バチバチ♡マーク出してるよ?濃厚なキスの嵐、ありがと♡最っ高〜♡甘いねえ〜。美味しい♡んあ♡令司君ったらガンガンされてる♡気持ち良いね〜♡ヨシっ。とことんヤろう♡

どうやら発情させたかったようです。策士か?3人とも♡マークを撒き散らしながらドスケベイチャラブを朝からするのだった。凄く幸せなんですね?

☆☆☆

「~~~~♡~~~~♡……っ♡……っ♡……あアンっ♡ZZZZZZ  
……」

「ふう〜。あはは。ビクンビクンしてて可愛い。ゆっくりおやすみ。んちゅ。さてさて、朝食朝食」

スツキリした〜。勝ったぜ。いや、勝負してた訳ではないけど…。朝食を食べに行こうつと。どこで食べようかな？第2食堂かな〜？

ドスケベイチャラブを終えてスツキリした3人。頭を軽く撫でてキスをして別れた。どの食堂で食べようか迷いながら散歩していた所に

「あっ！ちよつと！ラフィー?!待ってよ〜！あ〜！速い」

「ん〜。よしっ、第3食堂で食べ…んっ?なんだ?なんだ?」

なんか凄いドドドって音がするんですけど?おっ?アレはラフィーか?えっ?なっ?ちよつ?!

「指揮官♡指揮官♡ふみゆ〜♡ZZZZ……」

「ふぐお〜!んん〜っ!んぐっ♡」

ラフィーが走って来てジャンプして抱きついてきたわ〜。癒し刑の対象になりそうだけど?パフパフありがと♡やっぱり隠れ巨乳でしたか〜♡いや、この感じは美爆乳だな♡ありがと♡それで器用に抱きついたらそのまま寝るのね〜?

…おや?この感じ、着けてな〜い♡ふお〜♡ありがとうございます♡堪能しまっせ♡お前のような駆逐艦が居るか!いや、居る!な状態?なんですけど♡

美爆乳のラフィーがジャンプして抱きついてパフパフしてきたのだった。ありがとうございます。窒息しない程度に手加減されている。ありがとうございます。ニーミは少ししてから到着したのだった

「はあはあ…。んもう…。ラフィーったら…。急に走らないでよね?指揮官♡おはようございます♡(あ〜♡良い匂い♡生は凄いわね♡流石クソヤリビッチ♡カッコ良い♡素敵♡いっぱいズブズブされたいし、シたい♡)んんっ♡」

目の中が♡マークになっているニーミにより新しい称号を手に入れました。良かったですね？クソヤリビツチ？頭の上にいる饅頭達が、正気に戻れとペチペチしているのだった。饅頭達、無駄だと思いませんよ？

令司に見せつけるように、自分の右手人差し指を舐めながら急いで下の口の準備をするのだった。見れなくて残念ですね？リクエストすれば何度もしてくれるけどね？

「ふぐお〜〜！(おはよう)」

ニーミ、おはよう。で、ニーミの声がなんかエロい！見えないけど発情してませんか？朝食食べる前に俺が食られるのか？有りだけど。令司君なんか元気になりそうだし？…んっ？おいおい♡んもう…困った奴だぜ♡

「んっ…。指揮官の指揮官、元気になった…。ラフィーのココで静める…。準備出来てる…。…んあっ♡んんん〜っ♡〜っ♡〜っ♡〜っ♡」

「んんん〜っ♡ごくごくごくごく。んっ♡」

急に起きて熱烈なキスをするんだね〜♡ありがと♡しっかり気持ち良くなつてという事がわかるよ〜♡お返ししなきゃ

困った感じを出していない令司君。しっかりバレていてラフィーの上下にキスしたのだった。ラフィーの顔がどうなっているのか？嬉し涙を流してトロトロに溶けている。

「うわうわ♡すっぽり♡ラフィー、しっかり沈めなさいよね♡あっ、指揮官は朝食を食べようとしたのよね？それならとっておきの所に連れてってあげる♡逝こ逝こ♡」

とっておきの所？第1から第3食堂以外にもあるんだ？ニーミありがと〜。ラフィー？上と下、キスしたまま逝こうな？ぐう…。良い返事♡

令司とラフィーはキスしっぱなしのままニーミにとっておきの場所へ♡素敵な食べ放題な場所へ♡案内されるのだった

◇エリザベスが持っている食堂◇

「ザコつちお嬢様。どうぞ、食後の紅茶です。それで？後、何回ご主人様に破られれば癒し系刑をさせてくれるのでしょうか？ベルはお嬢様のそれを長手袋を使って調きよ…んん。シたいです」

「ありがと。えつとくく？分かんないなあくく？あははくく」

（ええ？今更だけど、どうなってるの？敵な筈なのに殺意とか感じないんだけど…。また、ザコちゃん起きてるし…。なんでよ…。なんかコレじっくりネットリ見られてるんだよね…。何で？言い淀んだのは何？調きよ…つて？）

「畏まりました。楽しみに待ってます。ヴィクトリアス様。母乳を搾りとって飲ませて頂きますね？」

「(ラフィー、おめでとうですわ♡ニーミったら♡)んん♡ハアハア…♡ええ…。よろしくお願いしますわ。んっんっ♡」

「えつ？あつ、うん…。よ、よろしく？ぐくぐく…。…んっ(なんかよろしくしちゃったよ…。紅茶美味しい…。あくく、なんか縄で縛られてないと落ち着かないなあくく。あつ、ムラムラしてきちゃった♡)」

「あら♡ニーミにラフィーががいち…んん。ダーリンを最高に楽しい楽しい所へ連れていくのね♡まあ、1週間経ったからね♡慣れたでしょうから楽しんで食べてね♡」

「ヒック！そうね！絶対気に入るわ！暴走してくれないかしら！ヒック！ラブラブしたいわ！ねっ！ウォースパイト！んちゆるる♡」

「はあはあ…。へいかあくく。むねなめないで♡つく♡んはあくく♡」

「アツ♡アツ♡アツ♡アツ♡くくつ？?!んんくくつ♡」

「エリザベス様、ウォースパイト様の豊乳が相当お好きですね？で、お酒は程々にして下さいね？」

「ニューカッスル？なんかシリアスの尻尾責め激しいよ？規定量の媚薬出してるよ？もうしなくていいんだよ？あつ、エリザベス様、ウォースパイト様の豊乳に埋もれた」

「ふう…。キュラソー…。貴女も気持ち良く逝って下さいね？」

「…えつ？きやくくつ♡ああんっ♡」



「ハアハア♡あああつ♡逝くううう♡(ザコちゃん、毎回毎回凄いや  
う♡手が止まらないよ♡)はあん♡紅茶に何か入ってたかも  
♡♡)」

ドスケベイチャラブを巨大テレビで、堂々と観ながら優雅に朝食を  
食べる？食べた？エリザベス達。それと癒し刑をしている。令司が  
見たら襲うのではないでしょうか？多分、大姦迎(大漢迎)されます  
ね？ザコっちは朝からエロエロ大変な思いをしているね？敵だった  
から仕方ないね？

いつも通り？エロエロなオープン基地の朝なのでした。メンテナ  
ンスは何だったのだろうか？

◇◇◇

「……………」

「……………」

夕立達が艤装を饅頭達に預けた場所で、4人は無言で見つめ合っ  
ていた。荒れている波の音が響き渡ります。誰か喋りましょう？

「えつとくくく？ドエム基地の青葉さん？と川内さん？また？またなの  
？」

「えつ？あつ？はい…。ドエム基地の青葉ですう…。オープン基地の  
青葉さん…。川内さん…。またですう…」

「…川内？今回は何枚？前回の50枚。全部とつてあるわよ？その前  
も。最初に貰ったのもね？」

「んっ。全部とつてあるのか？200枚とつてあるんだ？燃やしてる  
かと思った。今回は100枚だ。全裸写真とスリーサイズが載って  
いる。いつもの奴さ(指揮官)…。忙しい深淵のお嬢様より俺を選んで  
よ…)」

「100枚…(何度言ったら分かってくれるんだろう？信じて貰うに  
は…。あは♡ラフィーにニーミ、ありがと♡ドエム基地の○○指揮  
官。素敵な文言ありがと♡素敵なパーティーしましょ？)」

「へつくし…！ガルルなのだくく！」

「えっ？夕立？豪快なくしやみね？時雨のあげ…。いらないうね…。さて資源回収回収…。樫野さくくん。樫野さんのドラム缶に入れさせて下さくくい」

「ねえ？青葉さんに川内さん？素敵なパーティーに参加しましょう？」

「素敵なパーティー？…：はい。参加します」

「お腹なっちゃったわね？丁度良いじゃない。了解。ご安心しませす」

令司は深淵のお嬢様にされてますね。素敵な文言とはなんなのでしよう？令司は他の基地のKANISENの青葉と川内をパツクンするのか？

◇◇◇

☆☆☆

『ここから先は北方連合の地域♡寒いよ♡指揮官達は防寒対策とつてね♡』

「ふくくっ♡愛してる♡じゆるるる♡じゆち♡んれろんちゆ♡れろれろれろおく♡チュツチュチュツチュ♡」

ラフィーが建物の中に入る前にやめて？と言ってきたからやめておんぶしてる。スツキリしたみたいだし？で、ラフィーの身体凄く熱くなってる。どうした？で、絶賛、右耳を舐め回されてるぜ♡ありがと♡最高だよ♡

「えつと？ニーミ？ここに食事する場所なんて無いんじゃない？間違ってるよ？」

「ここどこよ？あくく、お腹空いたわ…。空気が冷んやりしてるわく。寒い所ですわく？」

看板に気づかなかった哀れ？な令司なのだった。ラフィーが体温を上げて暖めているのだった。ラフィーとニーミは北方連合の地域という事を知っているようです。そりや、そうか…

うっわっ…。天井や床のあちこちに氷柱出来てるんですけど?!雪もあるねくく？雪ダルマが沢山あるわ…。季節とかガン無視っぽい

わ……。あるえく？俺の等身大の氷像が何人もあるうく?!しかも全裸あくく!わおつ!

色んなポーズを決めてる等身大令司氷像を眺めて歓心するのだった。観光地ですなくく?

◇

「ラフィー、おめでとうなのだ!……ハックシュんつ!!!ズビいく!!!ふう……」

「???夕立、また?どうしたの?風邪?えつと?時雨達つて風邪なんかひかないわよ?一応ヴェスタルに診て貰ったら?」

「時雨くく、なんか噂されたっぽいのだあくく!!!診て貰うのだあくく!!!時雨!早く基地に帰るのだくく!!!」

「待つてね?ドラム缶に積み込むのはこれで最後つと……。よし、完了。はいはい、帰りましょうねくく?あつ、邪魔物はポイなんだから……。バイバくくイ。あつ、夕立、速いよくく?!!」

「あら?うふふ?ニーミつたら?暴走を期待してるのね?倍率高くなりそう?そろそろ、令司様に運搬しないと?みんな。早く帰るわよ?」

「二はい(檜野さん……。すつごくエツロい……。キラキラしてる……。ごく……)!!!」

いやいや、夕立の事を言った訳ではないですよ?遠征先で資源回収?お疲れ様です。敵、バイバイ。戦う相手間違えましたね?檜野は牛耳に牛尻尾を振り回しながら帰投命令を出すのだった。熊野と一緒では無いんですねえ?

◇◇◇

なんか、ここにいる饅頭達つて、氷属性と炎属性ばかりじゃない?饅頭達つてほんつとに不思議だなくく?氷像の前で撮影会始めるよ……。自由過ぎるね……

「間違つてないわ?指揮官着いたわ?さあ?召し上がれ? (食べまくつて暴走してね?ニーミのココ、もうグジュグジュになつてるから?待つてるわ?)」

「ちゅぽんっ♡…んっ♡はあはあ…。指揮官。ラファイ、スツキリ♡  
さあ、召し上がれ♡（食べまくって暴走してね♡）」

「おおぅ…。さっつっつむ!!?あっつっつっつ!!?」

なんだ?なんだ?ニーミがドアを開けた瞬間、もの凄い強い冷氣ともの凄い熱気に晒されたんですけど…。もしかして?もしかすると、ここって北方連合?

「「ようこそ♡指揮官・あなた様♡・ぎーこ!♡北方連合の食堂へ♡  
いっぱい食べて飲んでね♡」」

大正解!北方連合です。みんな、令司の嫁ですよ。これでもかつ!というくらい料理とお酒が沢山ある。パーティー開いてますよ♡一部のお酒はもう空で、床に転がっていた。ようやく朝食を食べられま  
すね〜?」

「あつ、ああ…。来たよ。来るのが遅くなってゴメンね?パーミヤチ。  
メルクーリア、アヴローラ、ガングート、チャパエフ。みんなの料理  
いっぱい食べるよ」

みんな、お酒臭っ!けど、酔っ払ってる感じしないわ。強いね〜  
?料理の量とお酒の量が凄いわ〜。どれも美味しいでしょ!…あ  
れっ?ニーミとラファイは?

「う〜ん♡おいひい♡ごくごくごく。ぷはあ〜♡」

美味しそうに食べて飲んでるわ〜。非番だから良いって感じか  
な?程々にしろよ〜?余計なお世話かな?

「ほらほら、指揮官?食べて食べて♡ごくごくごく。ぷはあ〜  
♡ようやく会えた〜♡嬉しいわ♡」

「お、おお〜。そうだな。ガングート。頂きます。あんむ…。もぐ  
もぐ。美味しいよ。うん。うまうま…。いけるいける…」

「美味しそうに食べてくれて良かった♡（練習したからね）あつ、そっ  
ちのテーブルはチャパエフで、あつちはアヴローラ。で、アヴローラ  
の隣がメルクだよ。メルクのは食べると面白い事が起きるわ」

美味しい〜♡ガングート、料理が不味いと勝手に思ってたゴメン  
ね?チャパエフの料理美味しい♡アヴローラの料理も美味しい♡  
ふう…。よし、メルクの料理イッキま〜す!

ガングートによる様々なテーブルの説明を聞いて全員の料理を食べる。おかわりもした。相当お腹が空いていたのでしよう。そしてメルクーリアの料理を決め顔で食べるのだった

「~~~~つ?!?!」

「指揮官?!?!凄い勢いでテーブルに顔をぶつけて大丈夫じゃないでしょ?!ちよつと?!メルク?!」

「えっ?ええ?ラフィーとニーミ?大丈夫だよ~♡ざーこ!が、わたしの料理で一番面白いのを最初に食べたのはウケるけど~♡あはは♡(ヤバ~♡い♡飛びつきりの面白い料理を1発目になんて♡きや~♡素敵~♡)」

「あなたたつたら…。最初に当てるとか…。なんか凄いわ(アヴローラの初めてを激しく燃やして下さいね♡うふふ♡乱交楽しみ♡)」

「指揮官…。沢山ある料理から迷わずに当てると…。ああ、素晴らしいわ♡」

「そうね、チャパエフ。これから素晴らしいパーティーの開催だ♡倍率が高くなるぞ♡ふひひ♡」

メルクーリアの飛びつきりの面白い料理を最初に食べるとは運が良いのか悪いのか分かりませんね?毒殺って事は絶対じゃないでしょう。それをしたら最狂の癒し刑が待っていると思うの

ガングート達は、メルクーリアの料理を食べた令司をト口顔でぼくつとを見つめていた。4人も下の口を大洪水にして準備満マン♡ラフィーとニーミは、はあはあしながら背中をさすっていた。グルか?

「~~~~つく…」

なんだ?なんだ?ヒックヒック…。メルクの料理、美味しかったのに…身体中がものすごく熱くなってく…

ロリ美爆乳のメスガキなのに…。そこが堪らんよ…。指輪見せた瞬間、顔真っ赤にして無言で左手を差し出してきたのはビックリしたよ…。ヒック…ヒックヒック…。あゝ、アヒヤヒヤヒヤ♡

メルクーリア?令司に飛びつきり強いお酒でも飲ましたか?オスフェロモン全壊にしたようですよ?これが狙いだったか?食べ放

題って…

「あはは♡んっんっんっ♡お腹いっぱいになった事だし、ぎーこ！のざこが、おはようしたからね♡これを言わなくちやイケない気がするのよね♡」

「あら？メルク？良いんだ？あなたにあの言葉を贈るのね♡アヴローラ、楽しみ♡♡んっ♡」

「そうね…。メルク、言っちゃいなさい？指揮官、サツサと銃の引き金弾いて頂戴♡チャパは弾を受け取る準備、とつくに出来てるわ♡じゆるっ♡」

「チャパエフ、右胸揉んで誘惑してもメルクを見ているぞ？メルク、早く言っ頂戴。素敵なパーティーをしましょうよ♡」

あの言葉？どの言葉でしょうか？令司はメルクーリアを見つめて、あの言葉を受け取るのだった

「りようか〜い！んっんっ。ぎーこ！わたしより弱いつて何事お？（えへへ〜♡言っちゃった〜♡）きや〜♡んむちゅ♡ん♡♡ん♡?!♡♡♡♡♡」

んだとゴラ。あ〜?!弱くねえよ〜?!ああ。んっ?!よしっ!上と下両方たっぷり料理してやらあ〜!!このメスガキがあ〜!!!

「はあはあ♡あなた♡あなた♡素敵♡素敵♡愛してるわ♡…きや♡ん♡ん♡♡んむ♡♡♡♡?!?!」

「二二(ヤツタ〜♡幸せなパーティーの始まり始まり♡)二三」

メルクの煽りで火が付いたようです。4人はガッツポーズをとって祝福をする。分かせドスケベイチャラブが始まったのだった。食堂に続々とエロ嫁達がやって来て、素敵な幸せなパーティーを開催する事知らない令司なのだった。それでいいのか？一応上司よ？今更だけど…

オスフェロモンとメスフェロモンの濃度が凄く濃くなるまでスルのだった？令司、ファイト？

☆遠い遠い暗い？海上☆

令司が素晴らしいエロいパーティーを開催している間、エディ

ター、ニーねえ、双子オミッター、ピュリファイヤー、オブザーバーは順調に、オープン基地に向かっていているのだった

「ふう…。補給スポットに到着つと…。みんな補給するよ？ええい！鬱陶しい！それ！ポイだつ！」

「はあい、エディター。順調順調♡あはは♡必死に避けてる♡攻撃するのヤ♡クスクス♡当たったけど痛くなあい♡もつと強い愛を感じさせてえ♡？きやはは♡ニーねえの方が気持ち良い♡」

「オミッター達、はしやぎ過ぎ♡はいはい。ありがと。補給中の邪魔しないで欲しいんだけどなく？オープン基地のKANISENじゃなく？どこだろう？ま、いつか。邪魔邪魔。沈んだらゴメンねえ？ぼちやぼちやとバラ撒いてバイバ♡い♡」

「あ♡、逃げてく♡。バイバ♡い♡もつと強くなつてよね♡？その時は沈めてあげる♡」

出回った情報により何処かの基地のKANISEN達と戦闘をしたようです。圧倒的な力で轟沈寸前？に追いやつた？ようです。みんな必死に基地に帰投する。追加攻撃はしないようです。最上位？に君臨しているので流石ですね？

そうするとオープン基地のみんなの力って凄いですね？セイレーン達《オープン基地》他の基地。の凶かな？ドエム基地のメンバーは大丈夫だったのでしょうか？

「ふん。エディを傷付けて良いのはオブザーバー、ピュリファイヤー、そして今、向かっているオープン基地に居るとされている令司という男性だけだ！」

「へえ？そうなんだ？さてさて、オブザーバーとピュリファイヤーの状態は…。ん♡？潮の量だいぶ減ってきた♡？はい、補給♡うん。減ってきてるんじやない？良かったね♡？すつごくキラキラしてるね♡」

「そうなの？あつ、本当だ。そろそろオブツちにピュリツち喋れそうだね？はい。補給お終い。オープン基地に向かいます♡」

「はあい」

戦闘と補給でキラ付けされたセイレーン達、オープン基地に向かっ

て来てます。エロ嫁達は気付いているのでしようか？オプザーバーとピュリファイヤーが喋れそうですね？良かったです？ね？

令司、嫁が増えるぞ？令司君はもつと頑張らないとイケないですね？

#### ☆ドエム基地の執務室☆

「青葉と川内オープン基地に着いたかな？書いた事を実行してるのかな？それは素敵ねえ〜♡惚れちゃう♡」

青葉と川内を可愛がってくさいね？深淵のお嬢様？何度も男性だって報告書に書かれてたけど嘘だし。あり得ないし…。男性って海軍女性、大っ嫌いじゃん…。まあ、男性って事が本当だとしたら嬉しいんだけどね♡

「(素敵な文言？) 指揮官？書類の山々、また復活です。頑張つて片付けましょう？」

高雄〜！なんかエロくなってるよ〜？どうした？誰かとヤツたか？どこの基地の女性指揮官だ？友達は、あり得ないし…。またはどこかのKANSEN？ここ？いや、それはないか…。笑顔で無いつて言われたし…

「高雄、おはよう。うん。頑張る！うお〜！」

まつ、良いや…。高雄と一緒にオープン基地の指揮官に受け入れられたら嬉しいなあ〜♡あ〜。オープン基地に足を運びたあ〜い！とつとと終わらずぞ〜！

「整理してますね〜？」

「ありがと〜♡」

素敵で文言で青葉と川内が先にメスになるよ？女性指揮官？令司との会うの楽しみですね〜？令司がドエム基地にお邪魔する可能性もあるかもしれませんね？



## ヤっちやったZE☆

令司専用の寝室で高雄と愛宕と一緒に寝て、女のロマンである胸枕を堪能した2人。起きてスケベなスキンシップをとってイチヤイチャラブをしていると、3人元気良く発情しスケベをするのだった。こいつらの身体ってどうなってるのでしょうか？

お互いスツキリし、朝食を食べに行こうとしてぶらり散歩をしていた令司に、お前の様な駆逐艦が居るかっ！と言いたい美爆乳のラフィーが抱き付いて来た。目の前真っ暗（パフパフ）。ありがとうございます。ございます。しっかりとっぷり堪能するのだった

ニーミのファインプレー（ズボン下ろし）でラフィー、卒業。ニーミはエロい声を出して祝福をする。そして食べ放題（意味深）の所へ連れて行ってくれるので、イチヤイチャしたままついて行く

連れて来られたのは北方連合の建物。ここの食堂をラフィーと恋人繋ぎをして目指すのだった。廊下の壁際に等身大令司の氷像が何体も様々なポーズ（男性グラビア！女のロマン）をとっていて、観光地に来た気分令司なのだった。写真撮れば？

食堂へ着いて北方連合全員？から歓迎されて、全員が作った料理を食べまくる。最後にロリ美爆乳でメスガキのパーマイチャ・メルクーリアの料理を食べる

運が良いのか悪いのか、一番面白いのを最初に食べてしまい酔っ払う。そして壊れた。壊れたのは3回目？壊れていくのを両目の中に1つのデッキい♡マークを浮かべてねつとりと眺める北方組なのだった。準備マンマンにしていくのだった

メルクーリアのメスガキ発言の煽りにノツた令司。素敵な素敵な分らせイチャラブパーティーを開催するのだった。嬉し涙を流して進んで分らせられるのだった。令司っていつでも？どこでも？パーティーを開催していますね？そりゃ壊れるでしょ？睡眠薬を投与されて当然なのかもしれない…

タシユケント、ソビエツカヤ・ロシア、ミンスク、グロズヌイはここ、オープン基地に居るのかって？居ます。食堂に案内された時は委

託や資源回収やら色々な仕事をしていたのです。それらが終わって報告書を秘書KAN達に渡し、急いでパーティーに参加して無事卒業しました

パーティー開催中の裏側では、ドエム基地の女性指揮官の100枚のプロポーズ？書類を持ってきた青葉と川内に、オープン基地の青葉と川内が対応していた。書類に目を通す青葉と川内。すると、とある文言に目が止まる。直ぐに令司が何処にいるのか確認した後、2人は笑顔でパーティーに誘うのだった

そしてホイホイ乗っかり北方連合の食堂へ連れて行き、令司にメスにされるのだった。オープン基地の青葉と川内も令司とイチャラブを堪能するのだった。ダブル青葉とダブル川内の食べ比べ。贅沢？ですわね？

盗撮・盗聴でしつかり壊れた事を確認したエロ嫁達。この機会を逃して堪るか！という事で？謎のルール？を適応して高い高い倍率を勝ち？抜いた？選ばれしエロ嫁達（性女達）が、ぞろぞろとやって来てイチャラブするのだった

北方連合の料理を食べる・令司を食べる・令司を丸洗いし食べる。勝ち抜いた？エロ嫁達を令司が隅から隅まで食べる等など…。令司が気絶？体力が尽きる？まで続けたのだった。全員体力馬鹿だから凄い事になりそう…

そんな素敵な素敵な幸せな時間を盗撮・盗聴するだけの組も幸せに逝っていたとかいないとか…。オープン基地は色々オープン？である

☆☆☆

素敵な素敵な分からせパーティーが終わりました。メルクーリアの面白い料理は凄く強烈だったようで1週間経っていました。オープン基地所属の全員をペロリと食べたのだった。頭、可笑し過ぎですよ？メルクーリアは加減を知らなかったようです

「ZZZZZ…」。んっ♡指揮官♡…んっ♡好きいっ♡ZZZZ  
……………」



それでいいのかよお…。メルクーリアあ…。料理に使っちゃダメでしようがぁくく

饅頭のスペシャル？ドリンクでスッキリした所で周りを見渡すと、みんな全裸で幸せな顔をして寝ているのだった。ツヤツツヤのモチモチである。美人度が増したそうなの？

「あはは…。メルクーリアあったらありがとうを連呼してビクンビクンしっぱなしだぁくく。それで良く寝れるね？こっちこそありがと。ヨシヨシ…。愛してるよ。…んで？」

まあ、そうだよね…。沢山分からせたからなあ…。多分…。それに盗撮・盗聴組がぞろぞろとここに集まってきた気がするんだよね…。しつかり相手したと思う…。うん…。○口はしなかった…。うん…

涙を流しっぱなしでビクンビクンし続けて寝ているメルクーリアの頭を撫でる。落ち着いた所で、とある全裸な2人を眺めるのだった。「ハアハア…。ハアハア…。す、すごすぎですうくく。はっ…はっ…。青葉ぁくくイツクうくく。はあはあ疑ってて…はあ…。ごめんなきいですうくく。んっ…♡」

「ハア…ハア…。…つく…。また逝く！んっ♡はうあつ♡俺、もう逝きたくなあ！ひゃんっ♡アツ♡アツ♡アツ♡」

「…：…：…？青葉と川内…：だよな？うん…」  
あるえくく？何か雰囲気違くなあ？開封済みの筈なのにさ？あつた気がするんだけど…？抵抗してたけど落ちていった気がする…。被ってたつけ？被ってないと思うんだけどな…？

うくくん…。分かんねえ…。凄く似てるんだよなあ。青葉・青葉、川内・川内で抱き合つて貰つて食べ比べたような…。いや、背後拘束してだったつけ？くそう…。どれもこれも記憶が曖昧だけど、この匂いと状況で事実なんだよなあ…。令司君？お前さぁくく…。元氣過ぎるよおく…

腕組みをして、ドエム基地の青葉と川内を眺めてうんうん考える。オープン基地の青葉と川内が足音を立てずに背後から抱きつくのだった。右腕に青葉、左腕に川内である

「二指揮官、呼んだあ？なあとドエム基地の青葉と川内をまじまじ眺め

ちやつてるのさ？あつ、もしかしてまだ出し足りないの？ええ？沢山  
出してくれたのに〜？ふう〜つ」

「……………えっ？青葉・川内？今、何て？足りたよ？寝てるじゃん…」

うん。これは確かに青葉と川内だな。令司君はお寝んねしてまゝ  
す。足りましたよ。はい！ドエム基地…。うん？ドエム基地の青葉  
と川内い？聞き間違いじゃないかな〜？あ〜、両耳気持ち良い！  
「じゅぞぞぞ！じゅぶん…。…ん〜？足りたんだ？良かった。何つ  
て、ドエム基地の青葉と川内って言ったんだよ？何度も何度も分か  
せられて、やつと信じて貰えたよ〜。あは♡」

「そうか…」

いや、そうか…。じゃねえ〜から！聞き間違いじゃなかった！  
あつ、2人の両手薬指を良く見たら結婚指輪してないじゃん…。気付  
けよお〜、俺え〜！信じて貰えて良かったねえ〜！何を信じて  
なかったのか知らないけれどお〜！

スピリタス等が入って理性などが壊れたのだから気付けません  
よお〜？ドエム基地の2人は同意してたのだからへーき、へーき。  
信じてなかったのは男性が指揮官をしているって事

だって、この世界は貞操逆転してて男性貴重だし…。女性指揮官の  
発言によれば、男性は軍の女性全員嫌いなようですし？女性の方が  
色々強いからか？

そんなの関係ないね！な、令司によって2人は身体で素敵な体験を  
したのです！その時の映像がこちらになります

◇

「何処に連れて行くの？…えっ？ここ北方連合の建物でパーティー  
をするの？いつも通り第1食堂で食べるの…：…えっ？きやつ!?だ  
だだだ男性の氷像がいっぱい?!?!それぞれセクシーポーズをとってる

♡んっ♡」

(写真いっぱい撮らなくちゃ♡ふへへ♡すっごい♡多分、等身大  
だよな？背、高いね♡雄雄しい♡好き♡うふふ♡)

「いっぱい写真撮ってる。抱きついたり、握ったり…。デレデレし  
てるね？良かった♡氷饅頭達、ありがと♡) 青葉・川内？サツサと食

堂に行くよ〜?」

「はあはあ…はあはあ…。あつ、待つてえ〜?!」

「はあい♡食堂に着いたよ〜。うつわ♡うふふ♡指揮官、すつごいぬ!」

「?!?!うっ♡」

「が!ちゆう♡凄すぎ♡愛してる♡す〜す〜」

「指揮官様あ〜♡はあはあ♡大鳳を孕ませて下さいまし〜♡んん〜♡はあん♡これで出来ますわ〜♡うふふ♡あははははは♡んちゆう♡ちゆるる♡んむっ♡ん〜♡ん〜♡ん〜?!」

「?!?!何っ?!だだだだ男性?!本物?!あつ、すつごく良い匂い♡逝くう〜♡ん♡ハア…ハア…はっ…んんっ…。きやつ?!」

(うつそ〜?!ずつと言つてた事は本当だったの?!きやく♡氷像の男性じゃん♡本物、エロセクシーすぎるよ〜♡ちち乳首丸見え♡やった〜♡もう、ゴールしたい♡アンケートに関係持ちたいって回答したし♡)

「はあはあ…。あつ、ちよつと?!青葉?!青葉の背後に回つて拘束してなん…むう?!…んっ♡♡♡?!?!♡♡♡」

「拘束されちゃった…。青葉、すつごく気持ち良さそう…。俺も…繋がりたい♡あつ♡来てくれるのか?うれ…んひい♡んむちゆう♡んっ♡」

「指揮官!ドエム基地の青葉と川内を味わうのもいいですけどお!来た〜♡これこれ♡青葉の♡ここで気持ち良〜♡んぎや♡」

「あつ♡あつ♡あつ♡信じてなくてごめんなさい!ありがとうございます♡ます♡ありがとうございます♡食べ比べられてるう♡あん♡」

「はあはあ…。俺っ娘の川内とあたしの食べ比べ…。んっ。気に入つたよ…んんっ?!♡きたきた〜♡」

「令司様♡檉野の母乳召し上がれ♡あん♡いっぱいありますから♡急がなくて良いんです♡んっ♡はい♡来て下さい♡準備は出来あつ♡んむっ♡」

ドエム基地の青葉と川内は、令司のセクシーポーズで発情して、抱き付いたり、息子を握ったり、何枚か写真をとった。そして食堂に到

着するとすごい良い臭いを嗅ぐ。令司の令司君が色々とししまくっている最中なのだった。エロ嫁達は気絶していたりしていた

本物の男性を見て固まった隙にオープン基地の青葉と川内は背後に回って拘束。足りない令司食べ比べをするのだった。偽物の男性って居るのか？もしかしたら偽物はフタっ娘の事なのかもしれない。知らんけど…

一部抜粋して映像をお送りしました。令司、ワイルド過ぎるよ…。気絶組に容赦なく追加攻撃をする。エロ嫁達はずっとキラキラしていました。コイツらやつぱりインキュバスとサキュバスじゃないか！まあ、一部はサキュバスなんですけどね…。サキュバス軍団ともバッチリやつたのだった

◇◇

☆☆☆

えっ？他所の基地、ドエム基地の青葉と川内なのおっ!?で、何度も何度も繋がったと…。あはは…。ヤっちゃったZE☆ドエム基地の指揮官、何て言うのかな？ネットトリしちゃった…。嫌いでしょうよ…。「そっだよ♡あゝゝっ！『ヤっちゃったZE☆』って顔にかいてあるゝゝ。良いじゃん♡幸せな顔して寝てるよ♡はい、これ。ドエム基地の女性指揮官の書類だよ♡とある文言あるからネットトリしてもヘーキ♡ヘーキ♡」

「良いのか…。ありがと…。読むね」

「はあい♡ふうゝゝ。じゅぶん…じゅちち…。じゅるる♡ゝゝっ♡」

バレてえら…。へえ？ドエム基地の指揮官って女性なんだ？…。あつ、そうか！男性貴重世界だったわ…。うゝゝん…。男性の指揮官って存在するのかな？いたら会いたいわ…

あつ?!やつべえよ…。他の基地と交流してなかったわあ…。このドエム基地の女性指揮官と会うのは良い機会かもしれない…。連絡しないで訪問するか？連絡いれたら何か悪い事隠しそうだし…。一

応それっぽい書類作成するか…。外の空気たっぷり吸いたいし

よし、書類読もうか…。枚数多いな…。どれどれ？どんな女性かなあ〜？う〜ん何か、同じ文っぽいわ…。おっ？写真がついてる感じ？ふむん…

軽く流して？書類100枚を渡す2人。しつかり令司のお尻を揉むのだった。令司は気にせず書類を読み進めていくのだった

確かに他の基地の女性指揮官達と交流してないですね〜。エロ嫁達との交流は毎日してましたけど…。基地から外へ出かけてませんもんね？一般女性達も見てませんし…

連絡入れても悪い事を隠したりしませんよ？身の潔白を証明する為に直ぐに全裸になります。って、事を知らないのだった。常識が違うのですよ？

同じ文っぽい100枚全てに目を通した令司。全裸写真もじっくり見ました。写真はドエム基地の青葉提供であります。余談ですが、オープン基地の青葉も様々な令司の写真を持っています。オカズにした事は一度もない

「ふう〜ん…。そっか〜…。そっかあ〜…」

とある文言ってこれか？100枚全ての冒頭にあつたこれ…

『深淵のお嬢様！私を含めてドエム基地全員と肉体関係を持つて下さい！お願いします！全員にアンケートを取ったら（元帥だからいつか…）肉体関係を持ちたいと回答されました！結婚しなくてもいいとの事です！ただ、私、咲耶とは結婚してお使い下さい！お願いします！お願いします！』

ドエム基地全員って…。何人居るのお？俺、深淵のお嬢様じゃねえんですけど…。男性ですよ？ふうん…。地位は元帥なんだね…。1番偉いじゃん…。ビックリ。何でも出来そう…。ってなつたわ。名前は咲耶で、大将ですか…

フタっ娘達に求婚されてるけど全てお断りしてます。って…、女性陣に天然物がついてるのか〜…。どん位です？多分、こつちの世界で暮らしている男性より大きいのでは？小説でそんなのがあつたよ？



マジなら転移者で良かったかもしれない…。勝てるかも…。知らんけど：

あつ、全裸写真ご馳走様です。おマを開いて見せてくれるなんてなあ…。…。。ただ溜まってるのよ…。…。：そーいや、玩具は無いつてローンが言つてたわ…。指か、フタっ娘とね？後は、クリームとか飲み物とかだな：

貞操逆転世界って美醜もセットで逆転してるイメージがあったからKAN—SEN以外の女性ってみんなボンボンボンかな？って思つたけど、咲耶はボンキュボンだったよ…。超美人。すげえタイプだわ：

美爆乳を駄肉呼ばわりつて…。フォーミダブルタイプですか…。今回の暴走？でヤツたと思うけど…。勝ち抜いたわ♡とか言つてたっけ？それと趣味の披露は酔つてない時にするとか言つてたよな？

でさ？全裸なのは良いんだけど両目って盲目なの？アイマスクの種類豊富だねえ？100枚以上あるんですか？どれもエロいよ…。勃っちゃうよ…

咲耶（読み・さくや）は、両目をエロ過激セクシーな模様をしたアイマスクで隠している。100枚全て違うのを着けていた。早く会つてそこん所を質問攻めしたれ？

「読み終わったみたいだね。青葉、気になります！こっちの世界の人間の女性と1度も会つてませんもんね？」

「毎日ずつと基地内で交尾しまくつてたからな…。理性ある方だけど駄目だよお…。まあ、大体想像はつくけど。スケベだからね♡」

「えっ。青葉と川内、想像ついちゃった？咲耶大将は超美人でエロイなくくつてさ？タイプ。出来れば植え付けたいわ。咲耶大将は深淵のお嬢様にされたいようだけどね？」

植えたいよなあ…。？なあ？お寝んね中の令司君？

多分、咲耶って強いと思うの…。グズグズに溶かしたいわあ…。まあ、多分俺が沢山吸われるんじゃない？ヤつたら男性が減っている理由知れそうだし…。命、賭けましょう。キリリッ

「やっぱり♡ローンがそう言うと思ったみたいでドエム基地にお邪魔してるよ?」

「ローンが?そっか!頑張りますよ?」

「咲耶を幸せにしてあげてっね♡何度も何度もプロポーズをしてたんだよ?一途だよ♡深淵のお嬢様の正体は男性です。っでローンが伝えるよ?写真に動画を見せるってき?」

「動画なら男性ってわかるな!」

正妻が言うんじや頑張らないとねええ!!……んっ?なんか廊下が騒がしいなあ?何だ何だ?

咲耶指揮官との交流をしようとする令司。だがその前にセイレーンをお忘れですよ?令司に会いたくて会いたくて横断してきたんですよ?1週間経ってるのもう…

「あゝ♡居た居たゝ♡やったゝ♡来てたんだねゝ♡令司キyun♡会いたかったゝ♡うふふ♡いっただきまゝ♡あんっ♡」

「うお?!んむっ!」

「あら?ピュリファイヤーにオブザーバー?いらっしやい。楽しんでねえ♡」

「青葉と川内、ありがと♡んんっ♡凄い気持ち良い♡はあはあ…。オブちん、おめでと♡」

おおっ!ピュリファイヤーにオブザーバー!セイレーン達がお邪魔して来ちゃったよ!いらっしやいっ。俺の名前知ってるのね!?!とか見回り組を突破してきたのかよ?!見回り組何してるの?あつ、敵意感じなあい

おっふ♡気持ち良い♡この感触は…、タコ脚器用に使うのね?ピュリファイヤーのおマの味美味しいぜ!もつと舌使って飲むよ!こら逃げんな!飲ませろ!敵意がない感じだからとことん突き会おうぜ!

出会っちゃいましたねゝ?青葉と川内は敵意を感じないよう武器などを構えません。気絶してた組も復活してたが、こちらも武器を構えません。参考にしたいうようでしたっかり食い入るように見てい

る。良いのかそれで…

ピュリファイヤーとオブザーバーが居ると言うことは？双子オミッター、エディター、ニーねえが居るよね？遅れてやって来たのだった。見回り組いゝ？何を見回ってたんです？あつ、セイレーンじゃなくて一般？女性達の方？

「あゝゝ♡オーブン基地の指揮官って本当に男性だったんだゝゝ♡シリアスの言う通りじゃん♡ねえ♡エディター？ねえねえ♡令司いゝ♡100回幕をブチ破つてゝ♡楽になりたあゝい♡」

「ああ、そうだな…。オミッター…。ピュリファイヤーとオブザーバーの交尾凄くエロイ♡早く正の字を書いてくれえ♡（うっわ、龍を飼ってるのか♡他の世界線のより凄いい♡狂いたい♡）」

「凄いい♡凄いい♡凄いい♡凄いい♡気持ち良いわ♡令司キユン♡オブザーバーを堪能して頂戴♡もう、悪さはしないからゝゝ♡沢山産み産みさせてゝゝ♡」

「むっ。オブちん、ズルいよ？産み産みしたいのはみんなもそうなんだから♡男性の数増やそう♡休憩したら交代だよ？」

「おらあああん！欲しけりやくれてやるゝゝ！令司君！イツたれえゝゝ！気合！入れて！イキます！」

「はあはあ…。みんな早いよゝ！あつ、35つち…。おひさゝ！元気にしてみたみたいだねえ♡すっごい臭うね？不快じゃない♡良い匂い♡好き♡」

「あええ？ニーねえ？なんか…。幻覚が…。見える…。んっ♡」

「いろいろ吐き出した感じだね？幸せだね？あつ、もう幕奪つて貰った感じだね？おめでと！あたしも奪つて貰ったらエロエロしようね♡」

最上位？のセイレーン達が続々とやって来ましたあゝ！令司、おめでと！食べ放題の延長だよ！セイレーンのみんな、しっかり濡らして準備するのだった。ヤル気マンマンである。いつの間にか自分達の身体を縄で縛っているのだった。どうした？落ち着くのか？

「旦那様！セイレーンみんなと楽しくキスしながらズコバコしてる！素敵よ！ね！ニューカッスル！ウォースパイトつたら、倍率に負け

ちやつたのよね！何してるのかしら！観てるわよね！」

「はい。素敵でございます。クイーン・エリザベス様。ウォースパイト様は任務の方で励んでいる事でしょう。はい。観てるでしょう」

訳・腕を組んでクネクネダンスをしているでしょう

セイレーン達の幕を次々と奪って逝く令司。即墮ちしているのでしつかり励んで躓みましょう。これで平和ですね？令司の令司君は指揮棒だった？後は、ドエム基地の咲耶指揮官を調理するだけです。男性の数が少ない理由が分かるかもしれない？

### ☆ドエム基地☆

「んもう！何なのよ！本当に最上位のセイレーンが移動してたじゃない！しかも目的地はオープン基地！ああ！深淵のお嬢様あ！助けられない事をお許し下さい！」

殺されないで下さい！奪って植えて貰ってないですもん！

協力を要請して戦って貰ったのに、セイレーンは小破止まりでこちらは、ほぼ轟沈寸前って…、何かバグってるよ!?練度とかもかなり高いのにいっく！うがあくく！

オープン基地に協力を要請した？直ぐ解決するんじゃない？

「咲耶指揮官、ごめんなさい…。実力不足で…(ノックされてるけど気付いてない？またか…)」

「ホーネットは悪くない！頑張った！ありがと！オープン基地に要請出したけど頑張って♡ってさあく！あつ、書類の手伝いありがと！」

助けに行きたいのに事後処理とかの書類の山々に囲まれて動けなあいっ！ホーネットありがと。入渠してからすぐ手伝ってくれて！オープン基地の戦力があれば良いのにい！頑張って♡って何さあく！

みんな丸投げしたようですね…。良いのかよお

「どういたしました。山々の1つがようやく片付いたね」

「そうだね」

サボってないのに！速記してるのにいっくっ！パソコン使いたいよくく！明石から何度も提案されてるんだよくく！楽だったよおくく。

深淵のお嬢様は相変わらずだんまり決めてるしい〜!

荒ぶってる咲耶指揮官。書類の山々を必死に減らす。セイレーンはやっぱり?強いんですね?そうするとオープン基地の戦力は頭可笑しいんですね〜?令司の愛の力のお陰か?

執務室を何度もノックされているのだが気付いてないようです。毎度の事なようなので、秘書KANのサポート?のホーネットが黙って開けるのだった

「咲耶指揮官、荒ぶってる所、申し訳ないです。そのオープン基地の正妻のローンが来ていて、お話がしたいとの事です。談話室で待機して貰ってます」

「えっ?!正妻のローン様が来てるの?!高雄とホーネット!一緒に居て!ボイスレコーダーを持参して…。ヨシ行こう!」

◇

「お待たせしました。ローン様。あつ。ボイスレコーダーを使わせていただきますね?」

「咲耶指揮官…。お邪魔してます。ええ、どうぞ」

「えつと…。最上位のセイレーン達がオープン基地を目指していると情報が入りました。協力を要請して戦って貰って食い止めてたんですが、進行を止める事は出来ませんでした。深淵のお嬢様は殺されてないですよね?」

殺されてませんように!殺されてませんように!

「殺されてませんよ。むしろ、セイレーン達を(肉体的に)殺してますね♡」

「良かったです。本当に良かった」

良かったあく!うん?セイレーン達を殺してますね♡の前になんかボソつと言ったような?えつとく?そのビデオカメラは何かなあ?全裸になつて潔白を証明しろよと?しますよ?色々舐めますよ?

「後、深淵のお嬢様じゃなくて男性ですよ?令司って言います。四季令司。ローン達の旦那です♡このビデオカメラの中が証拠です♡観て下さいね?うふふ♡」

「?!?!?」

えっ? ウソお? 青葉と川内の報告書に書いてあった事って本当なの? みんな信じてなかったけど?! あっ、ホーネットと高雄、メスフェロモンの濃度上げたね? ナメクジじゃない? 多分私もなってると思うけど…

「は、はいー観賞しますね」

ローンも含めて観賞会を開いたのだった。談話室以外でも見れるようにした咲耶なのだった。食堂や各携帯などなど

「!?!?!?!?!」

「ねっ♡こっちの基地の青葉と川内の言った通り男性だったでしょ? どのKAN-SEN達も素敵なお方よね♡最高なのよ♡」

「は…はひっ♡」

本当だったく!!! 何なのよ♡痺れるイケてるボイスに龍ちゃんは♡軽イキと本イキを交互に叩きつけられて腰砕けたじゃない♡沢山漏らしちゃった♡それに乳首にサポーターを着けてない! 見放題! パンツはどれも清楚! ヤリビッチって存在するんだ♡ありがとうごさいます♡

「書類を見させて貰ったけどね? とある文言通り、咲耶大将の基地全員、食べるわね♡そっちの青葉と川内は開封されたわ♡」

「?!?!?!」

えっ? 何それ? 天国♡拗れ処女の性癖を丸っと包み込んでくれるんですかあ?! 産み産みして良いんですか?

見たら何KAN-SENかはもう産んでるし♡目の前のローン様も産み終わってる…。ど、どっち? 男性なら私以外の腐ってるメス共を喜んで差し出しますよ? 私って優しい♡

「あっ、そうそう、咲耶大将の容姿って旦那のタイプドストレートだから♡よろしくね♡」

「?!?!?!」

えっ? そうなの? ありがとうごさいます♡プロポーズ書類、諦めなくて良かったあ♡

「これからずっとよろしくね♡咲耶? ドエム基地のKAN-SEN達

「？」

「は、はひっ♡」

令司い！咲耶は令司の好きだぞ！沢山植えつけてやれよな！この世界の男性の数を増やせよ！

うん、早いね…

メスガキのメルクーリアの面白い料理により、令司が壊れて1週間ぶつ通しでハッスルし続けた。その結果、エロ嫁達、KAN—SEN全員と関係を結んだのだった。お突かれ様です。みんな幸せな顔をしていますよ

令司は難関？なアンアンイワスゾ海溝を性…制覇したんです。おめでとう！令司も含めてみんなツツツヤのモチモチ。凄いね！令司の身体はガリガリしていない！凄い！WinWin！

頭が痛かった令司は饅頭ドリンクを飲んでスッキリしてしばらく休憩していた。そして青葉と川内に違和感を覚えた。そうでしょう。結婚指輪をしていないドエム基地所属なのだから…

オープン基地の青葉と川内が背後からやってきて説明。令司はビックリしたが、嬉しい声をして寝ている2人とイキイキ奉仕をしている2人を見て良かったんだいう事にした

オープン基地の2人とイチャイチャした後、寝ている2人の上司の全裸プロポーズ書類を100枚渡された。ドエム基地の女性指揮官の名前は咲耶。地位は大將。そして令司の地位は元帥。令司本人は知らなかったようです。良かったなあ、好き放題出来るぞ！

その書類は海軍の正式な書類である。ふんだんに使用して凄いですね？深淵のお嬢様Ⅱ令司を一途に思っていたようです

令司は咲耶が超タイプ（ドストレート）だったので、犯る事にした。青葉と川内はそう言うと思ったようで、嬉しい楽しい雰囲気を出してヤッチャえのゴーサインが出た。良いんかい…

それと正妻のローンもやって良いと言っていたとの事で頑張る事にしたのだった。エロ嫁達が幸せならオールオツケーです！な感じの令司なのです

廊下が騒がしいなと思った後、敵であるセイレーンのオブザーバーとピュリファイヤーが勢い良く登場。1週間もすれば到着しますよねえ？他の基地ちのKAN—SEN達が頑張ったようですよ…

そんな2人は目の中を大きな♡マークをしていて、好き好きオーラ



全壊で処女をあげた。令司の身体は惹きつける何かがあるのかもしれない

そして続々とセイレーン達がやってくる。見回りをしているじゃないか！なのだが、見回りしていたシリアスが会話して招き入れたのだった。見回りの意味無いです！

シリアスは『敵意が無いので誇らしいご主人様の誇らしいご主人様でメロメロになって貰います♡』…と、一緒に見回りしていた伊吹・雪風などに言ったとか言わなかったとか…

エロ嫁達は戦う気が無いし、セイレーン達も無い。令司が転移前に親友とお喋りしていた事を守って捕虜にしたかったとか。ザコつちはベルバスト…間違えた、ベルファスト達により沢山吐き出し続けたのだった。ニーねえはその後の状況を見てキャツキャツするのだった  
セイレーン達を嫁にすれば解決するんじゃないでしょうか？他の基地に迷惑がかりません！オープン基地は凄く大らか？でオープンであります

☆☆☆

「ふう…。スッキリした。バキバキ鳴るなあ！…で？」

やりきったよ。無事な令司であります。セイレーン達が来て2日目であります。令司君が枯れないでくれて良かったです！はい！

…まあ、饅頭ドリンクで助かったのもあるかも…。気持ち良かった。落ちるわく。というか、もう落ちた？美女達だし…。双子オミッターは美少女っぽいけど…

「はあ…はあ…。ああっ！んんんっ…。Zzzz…。（沢山破かれたあ♡えへへ♡まだまだ破ってね♡乳首にキス出来た♡やったあ♡）」

「うふふふふふふ♡正の字をウキウキしながら書いてくれるとは♡エディの逝った回数まで書かれた♡他の世界線のエディターより優れていたよ♡最高だ♡あははは♡」

「令司つちに捧げちゃった♡その後、寝てる双子オミッターにねっ

とり啜られて盗られちゃったけど♡令司っちの令司っち、気持ち良かったね?ピュリっち?オブっち?」

「ええ、そうね…。気持ち良かったわ♡令司君にタコ足をマツサージされて動けなくされた後、ドロッドロに溶かされたのは気持ち良過ぎたわよ♡20回以上気絶したわ♡しゅき♡れるお♡もぐもぐ…」

「気持ち良かったよ♡頭だけ令司君に沢山ぎゅーってされてカッコいい匂いをマーキングされたのは嬉しかった♡それで身体本体が嫉妬したのは受けたなく♡しっかりぎゅーされたけど♡本体は令司君に捧げた後、エディに沢山ヤられたね♡照れるなって♡あつ、そろそろ頭付けて?」

セイレーンみんなエロいよ♡拭き取らないのね?タコ足の両耳奉仕、凄く気持ち良かったです♡ありがとう♡俺ってピュリファイヤーの断面に即キス出来たんだなあ…。驚かれたわ…。たっぷり奉仕されたけど…。凄く持っていったな♡欲しがりさんめ♡

「うふふ♡がいちゅ・指揮官ったらセイレーン達とラブラブするなんて♡流石ね♡ますます惚れたわ♡ふうくく♡」

「フイーちゃん、キュラソー…。そうだな…。流石かく。背中に柔らかい感触ありがとう。気持ち良いよ…」

キュラソー…、サキュバスの尻尾で令司君を起こそうとしないで?媚薬を出さないでくれてるのは感謝ですけど…。キュラソーの右耳ふうくく♡は効くうくく。流石サキュバス!サキュバス達の耳ふうに舐めは慣れないわあくく!ぐわっ!?!尻尾の先端でツンツンするなあくく!!!

ハアハア…。最初は一方的だったけどな?逆転出来たぜ!力は逆転していない?…のか?…良く分からんけどな?セイレーンみんな嬉しそうで良かった良かった

寝てる双子オミッターの100回奪って?はびっくりだったな…。何回奪ったっけ?20回だったか?知らんけど…。カウントの仕方とかは本人達にしか分からないだろうなあくく

…というかセイレーンみんなは、何故複数回破けるって分かっているでしょ?「構造が違うの♡構造が♡」で、済まされそうだわ…。う

ん。聞かなくらい。痛みが最高の快樂になってるんだろうな…。ト  
ロトロの顔してたし…。凄いわ：

オブザーバー、エディター、ニーねえは捧げた後、サクツと生やし  
て沢山遊びまくっていたよね。シてるのをエロ嫁達全員が凄く冷  
たい目で見てたわ。冷たい視線でなんかゾクゾクしちやっただけ♡エロ  
嫁達は1度もしてないって言ってたし：

癒し刑の激重な極刑かもしれない。ビスマルクとテイルピッツが  
ずっとすっごく泣き叫んでたから…。心から嫌ってたっぽいし…。  
演技じゃ無かったし。まあ、多分癒し刑の部屋でそれっぽい事を体験  
したんだろうけど…。：そろそろこっちの世界でVR使いたいわ…。  
どんな内容かな？

ファイちゃんキュラソー、抱きついてるだけなのにフェロモンプ  
ンプン撒き散らしてるよ。本当にありがとうございます！良い匂い

♡

シエフィールド、キュラソー、令司の3人とも全裸。というか、食  
堂にいる全員、セイレーンも含めて、全裸です。セイレーン達の姿を  
説明すると

両手を繋いで幸せな顔をし、垂らし続けて寝ている双子オミツ  
ター。時々ビクンビクンする。夢の中で令司やサキュバス達？にヤ  
られてる可能性がある？

うっとり顔で正の字を撫でるエディター。夢が叶って良かったで  
すね？すごく目がイッてます。目薬使いなさい？それと全身正の字  
だらけじゃないか！令司の正の字は少ないようです。そりやそうか  
？エディターは敏感なようです

両目がトロンとしていて両手を顔について穴を作って興奮し、垂れ  
流し続ける2番テストターことニーねえ。胸周り拭きましよう？蜘蛛  
の巣張ってます♡

タコ足全部を自分に絡めて垂れ流し続けているオブザーバー。首  
絞めしている足あるけど大丈夫なんだね？令司が触ったであろう足  
を美味しく舐めちやってます。いや、食べました。そして生えていき  
ます。愛おしくお腹を撫でる。ええ…。？もしかして無限にたこ焼き

作れる？

頭と胴体が別々になつていて、本人いわく本体(胴体)。が頭を持つて向かい合っているピュリファイヤー。勿論、垂れ流し続けている。本体は正座している。思い出したのか本体がクネクネしている

：が、広がつっていた。それと、全員にサキュバスの淫紋もどきがおへそ周りに刻まれた。サキュバスの見習いといった感じか？服従の印とかかな？本物のサキュバスであるキュラソーは何故か自分の淫紋を撫でた。盗撮・盗聴しているサキュバス達も同様に撫でた

注)垂れ流し続けている。下の口の愛え…などの事。触らないでヌルつと出来る。便利です

「令司君・令司。気持ち良かったよ♡メスにしてくれてありがとう♡」

「どういたしまして…。喜んでくれて良かったよ…」

「うん…。それでね？そのお…。みんながしてる結婚首輪が欲しいな♡」

「あらくらく♡(本気になっちゃってる)♡流石♡結婚首輪…。確かにそうかも♡うふふ♡)」

「…えっ?」  
すつごくうふふな顔から大真面目な顔をして言った事が結婚首輪あらくらく?♡チョーカーや、鎖の名称か?ちよつと低い声を出したら土下座したよ…。セイレーン達でも流行ってるんだね?うっわ…。ブルブルさせてるし、ドバツと垂れてる…。ええ…

もう悪さをしないって言ってたからするか…。男性を産み産みするっぽいし?貢献したれ!もってけ!俺のを!そんで、俺の息子達!世の飢えた?女性達を幸せにしたれ!お父さん、これから飢えた?軍女の咲耶とラブラブするから!

「うん…。そうだな…。結婚首輪、あげるわあつぷ?!」

「やくくん♡がいちゅ・指揮官ったら流石♡パフパフされてる♡」

ふおろろ♡乳死ですぞろろ♡素晴らしいじゃないか!あ、頭撫でられてるうろろ♡ああろろ♡ばあぶう♡…はっ?!ふう…。闇ママが誕生したぜ♡

…で、ずっとキュラソーの尻尾奉仕されてたから起きちゃったぜ☆  
それで包まれちゃったぜ♡媚薬が少しずつ流し込まれていく！器用  
！サキュバスって本当に凄いよ！しゅき♡

「「ありがとう♡ちよつとキュラソー？起こしたら双子オミッターの  
にブチっ♡とね♡1度寝たら何しても起きないから♡」」

えっ？良いんだ♡いやっふっふっ？新しい扉開けまっす♡とい  
うか、多分、もう開けてるかも？いや、でもローンがキツツイ癒し刑  
を受けたっぽいし？録画してるなら見たいわ…。機会あるかなあ  
っ？無いよなあっ

「ハアハア♡あら♡素敵ね♡オミッターちゃん達も喜ぶわね♡」

「「お互いを向かい合わせて抱き合わせてえっ♡縄で拘束して…、  
はい♡準備完了♡はあい♡令司君・令司っち♡イツけっ♡」」

「はあい♡指揮官、ごめんね？双子オミッターちゃんの幕破り再開し  
てね♡(嬉しい♡美味しい♡嬉しい♡ヒック♡美味しい♡ヒック♡こ  
の行為をさせてくれるなんて♡ヒック♡嬉しい♡しゅき♡愛して  
りゅ♡ヒック♡」

あっ！ちよつ…！身体が勝手にいあああっ♡寝てる時の双子オ  
ミッターちゃんの感触なんか違う！凄い！あああっ♡止まんねえ  
っ♡

「んんんっ♡Z z z z ……Z z z ……」

3人によるパフパフとナデナデでだいぶ堕ちた令司。キュラソー  
の尻尾奉仕により令司君は元気に。令司君チョロいぜ…。チョロ過  
ぎる。まあ、頑張り屋さんですもんね…

キュラソーは奉仕して酔った。サキュバス殺しの名称が授けられ  
るでしょう。というか既にエルドリツジ、天城、フリードリヒ・デア・  
グローゼでサキュバス調教師の称号を持ってました。キュラソーは  
尻尾を舐め始めた。エロいよ。サキュバス流のオ♡♡かな？

双子オミッターちゃんて新しい扉を開けて沢山堪能するのだった。  
セイレーン達みんなと、シエフィールドとキュラソー達も暖かい目で  
見守る。双子オミッターは、セイレーン達の愛娘みたいなようです

饅頭達もそんな状況を見ながらせつせと食事と掃除をするのだっ

た。イキイキしていてキラキラしている。平常運転であります

寝ている双子オミッターをたっぷり愛した令司。本当に1度も起きなかつたし、オブザーバー達は盗まなかつた。その光景を見て自分達とまた：♡という展開にもならなかつた。満足したようです

饅頭達作成の結婚首輪を着けてあげてキスとハグをして別れたのだった。オブザーバー達は嬉し泣きをした。そしてザコつちを囲んで抱きついて眠りに堕ちていった

☆☆☆

「……………えつとくく？第5食堂がある建物はここで合ってる……………のかな？」

えつ？ふつるくく日本屋敷じゃん…。いや、武士の家？古民家？とにかく味のある屋敷ですわ…。庭あるし…。カツコくんする獅子脅しに、水車がある…。こここの電力は水力か？池には鯉？です？なんかデツカいわ…。が、泳いでるわ。何年物？

ヴァカみたいに広いわ…。絶対畳があるでしょ？茶道室ある、弓道場ある、柔道場はある？んでしょ？色々ありそうだわ…。…えつ？…合ってるの？

セイレーン達みんなを嫁にした令司は『がいちゅ…、ううん。指揮官。はい。この地図に書いてある所に行つて下さいね♡』

と言われ、1人ブラリ旅をした。途中で遭遇するイベントもエロエロイベントも1度も無かつた。令司を求め過ぎたから我慢しているのか？それか演習や遠征、睡眠などに出ているのかもしれない。立派な屋敷にお邪魔して第5食堂を目指すのだった。令司の服装は着物。似合っている

このヴァカみたいに広く古く味のある日本屋敷には畳・茶道室・弓道場・剣道場・射撃場が複数ある。柔道場？そんなのは無い。寝技が得意な令司は、何処でも寝技を仕掛けられる（何言ってるの？）

屋敷を管理しているのは長門・陸奥・伊吹・江風である。見習い？として駆逐艦全員（重桜・鉄血・ユニオン・北方連合・ロイヤル）が管理する事もある。勿論、饅頭達もいる。饅頭達は着物を着ている

「〜♪おつ、第5食堂つて看板がある。良かった。合つてたわ…」  
木の良い香りがするぜ…。ヒノキかな？いや、スギ？まあ、いいや  
…。第5食堂まであるのすつかり忘れてたわ〜。北方連合の食堂  
が第4だったんだな…。遠いし、寒かったけどね？第3食堂まである  
建物が本館だとか…。地図にそんな情報載つてないよ…。聞かない  
俺が悪いのか？

どうでも良い情報なんだろうね…。食事は娯楽っぽいし…。すつ  
げ〜食べるけど…。それでスタイルを維持するとは凄いわ…。まあ、  
激しい運動してるからね〜？俺とも運動(意味深)するし…。お〜、  
出来たての良い匂いするわ〜♡お邪魔するよ〜？

「これで、じゅんびはできました。…あつーごしゅじんさま！みんな  
といっしょにあいじようとかんしやをこめてつくりました！たべて  
ください！」

「二」つくりました！おとうさん・おとうさまあ♡たべてください・で  
すわあ♡「三」

「??」えつ？あつ、うん…。食べるよ…」

…はつ？えつ？ちよつ…、うん？ベルファストがちつこくなった？  
？胸は巨乳…。大っきいベルと同じかちよい下だな…。メイド服で  
優雅にお辞儀してるよ…。眼福だぜ。大っきいベルファストの教育  
のお蔭かもしれない

後、ニューカッスルの教育。…つて、ニューカッスルもちつさく  
なってるし、すつげ〜笑顔?!表情筋、イキイキしてるね?!胸は…。う  
ん、巨乳ですね…。大っきいニューカッスルの胸、しつかり揉んでヤ  
ろう！育乳つて出来るのか？

お〜お〜お〜！ベルファストとニューカッスルが抱きついて胸が  
凄い事に♡良いねえ♡良いねえ♡あつ、着物饅頭達、写真撮ってる。  
グツジョブ！後で頂戴

赤城・加賀…あつ空母の方ね・大鳳・天城・鳳翔・シエフィールド・  
クリーブランド・クイーン・エリザベス・ウォースパイトなどなど…。  
も、ちつさくなってる…。クリーブランド…、娘に胸、負けたよ？揉  
んで大きくせねば！)キリイ!!!

流石エリちゃんですわ…。引き継いでるよ…。エリちゃんを見る  
ウオースパイト、すっげ〜凍ってますね〜？DM男子のご褒美つすね  
…。ハッスルしまくりじゃん？あつ、こっちの世界の男性は弱めだつ  
たかな？そういうや、男性とも会ってないわ…。というか会えるのか？  
知〜くらない！

娘達が居て、料理を作ったようです。一部の胸は完熟している。ク  
リーブランドは泣いて良いと思う。ちっさいニューカッスルの表情  
筋は生きていて、すっごく笑顔である。大人のニューカッスルはどん  
な心境なのでしょう…

ちっこいクイーン・エリザベスは腕組みをしてドヤ顔をしている。  
バツチリ遺伝してますね…。胸は巨乳である。ちっさい身体とマツ  
チしている。流石女王。ちっこいウオースパイトの胸も巨乳である  
大っきいウオースパイトと同じ位。みんな育ってますね〜？

そう…。リトルシスターが勢揃いなのである。令司はお父さん  
になったのだ。おめでとう！転移して来て2週間ちよつとで♡快挙か  
もしれないよ！

うん、早いね…。リトルシスターズ…。構造違うと言ってたし。こ  
う…ストーンと産み産みして勢揃いするとは…ねえ…？まあ、3回位  
？理性や諸々が壊れたからね？沢山ハッスルしたからなあ…

外はアブノーマルって凍った表情で言ってたし…？準備ならオツ  
ケーだったと思う…。ヴェスタルで証明してるし

あつ、料理美味しい…。どれも美味しいよ…。う…ん…。大人のシ  
リアス…。マンツーマンで料理教えるか…？ガサツ飯だけ…。い  
や、ここは鳳翔を頼るか…

「おいしいわよねええええ!!」

「んぐん…。美味しいよおおお!!ローン!!!」

ほわ〜♡ちっさいローンがメイド服を着てる〜♡似合ってる  
よ♡ちっばい、可愛い♡お父さん、抱きついちゃう♡

「よかつわぶっ?!んんんっ♡きゅ〜…」

「にゅーかつする、はなれてえ〜。はあ…はあ…。あ〜〜！ろん、ず  
るいです！べるもぎゅ〜〜されたい！」



「よしっ。みんな、おいで♡ハグしよう♡頭も撫でるよっ!」

ハグして、とうるうる目してるんだからね。やるよ♡沢山する♡させてください!

「!!!…はい♡ごしゅじんさま・おとうさん・おとうさま♡」  
良い笑顔〜。娘達のを奪う気にはなれないわ〜。誘われたらどうなるか分からないけど…。ま、多分、息子達が頑張るでしょ?ヨシヨシ♡

食後にハグをする令司とリトルシスターズ。ついでに頭を撫でるのだった。下の口は大洪水になつていない。大丈夫。誘われ無いら。令司の予想通りセイレーン達が産み産みした息子達が頑張るか  
らb

「閣下?閣下に読んでも…ああっ♡ハアハア♡んっ♡目の前に尊い光景が広がってるう♡ありがとうございますう〜♡(やだ♡閣下の着物、似合い過ぎる♡)」

大人のアークロイヤルがやって来た。手には書類を持っている。書類は女性の仕事の筈だが令司に見せる必要があるのかもしれない  
「あつ、おかあさん。産み産みしてくれてありがと♡ぎゅ〜♡えへ  
へ♡」

「どういたしました。うぐっ!(はあ♡可愛い♡書類を置いてなでなでしちゃう♡ムラっちゃった♡出来ればこの状況で閣下とハッスルしたい♡)よしよし」

「よしよしよし。…おっ?アークロイヤル、サプライズは成功だよ。その置いた書類、後で見るね?」

「んんんっ♡…あつ…、ああ…。そう…してくれ…♡」

大人のアークロイヤルが小さいアークロイヤルとハグしてる。良いねえ♡…けど、大きいアークロイヤル、発情してない?この状況でハッスルしたいと思つてそう…。…しちやおつか?令司君、起きたし…。ほんとに凄いよ…。新しい扉開けちやいま〜す。着物脱いで…それイツケ〜♡

「きやつ!かつ…んむっ♡んっ♡んんん〜っ♡んっ♡」

「あ〜、おとうさんとあ〜くろいやるおかあさん、いやらしいキスし

てる〜！すご〜いっ♡めがとろとろでなみだめ〜♡サプライズせいこ〜？」

「おとうさまとあーくろいやるおかあさまが、てをにぎりながらいちやいちやしてる♡たいほうもお♡はやくいちやいちやしたいですわあ〜♡」

「しりあすおかあさまにおしえてもらったことをじっせんしたい♡あつ、しつぽからはじめてのびやくがでた♡ごくごく…。おいしい♡これをせんようのようきにいれて…。まんじゅうたちにわたす…。はい、まんじゅうたち、おねがいますー！」

おおー！息子達とイチヤイチャしたれ！アークロイヤル、キユンキユンしちゃって♡最高♡愛してるよ♡

令司とアークロイヤルが娘達の前でイチヤイチャし始める。こいつらの頭だいぶ弾けてます。両手で目を塞ぎ隙間から見るとも居れば（アークロイヤル、クイーン・エリザベスなど）、ガッツリ見つめる（赤城・大鳳・隼鷹など）のも居る。早速教育してますね…。息子達よ、頑張れ♡

☆☆☆

「…へえ？咲耶、結婚宣言出したんだ。プロポーズしまくっていたフタつちゃん達が大荒れするの予想してたけどあつさり引いたんだね？宣言書を書いたと…」

そこまでするんだ？こつちの世界にそれっぽい法律あるんだ？女性だらけだから？ざつと読んだけどなんか厳しい感じ？女性つてだけで負け組か？ふう〜くん？幸せにしなきゃ!!!（暗黒笑顔b）

「そうね…。咲耶は優しいみたいなのよ？書類を読み進めていけば分かるわ。饅頭達、シスターズのお世話ありがと♪」

「そつか…。ちゃんと読むよ…。まあ、枚数は30枚つて所かな？ふむむ…」

アークロイヤルとのイチヤイチャ教育を終えてリトルシスターズはお寝んねした。ぐっすりと寝ている。夢の中で勉強をしている。誰とも繋がっていないし、誘われてもいない

まあ、全員のファーストキスは貰いましたが…。リトルアークロイヤルのセカンドキスは大人のアークロイヤルに捧げた。饅頭に写真を貰おうと思っただった

アークロイヤルの美豊乳を背中で堪能しながら書類を読み込む。カラー写真付きである。動画は無いようです。残念ですね？

ほお…。ドエム基地内に女性記者達を100人呼んで全裸で会見したんだ…。ズラツと会社名が10社あるけどどれも知らない！流石、逆転世界。こっちの常識は非常識♪

多分、1番最初の『ア〜ン』が最大手でしような…。バブっておぎやるんじゃないかね？おしゃぶりずつと装備されそう…

10番目の『パンパン』って…。何なんだ？フタっちゃんが多めに所属してるのか？色んな属性持ちです？お邪魔したら色々刺さっちゃうぞ☆優しいと厳しいの2択じゃね？なんだ？最高じゃん♡うーん。多分、休憩無しじゃね？まあ、想像ですけど…

両隣は高雄と愛宕だな。両方とも猫かあ〜。コツチは犬だよ…。だから何？ですがね…。で、当然の様に秘書KANも全裸ですか…。身の潔白を証明する為かな？エロイアイマスクは外さないつと…。瞳見てえ〜！オツドアイか？

ビツクリしてみたみたいだけど俺とエロ嫁達とのイチヤイチャを、デツカイテレビで放送したら食い入るように見たんだ？

みんな励みそうになったと…。へえ？そう…。フタっちゃんも10名いて全員おつきしたんだ？で、放置したと…。フタっちゃんの比率は少なめか？地位とかも低そう。偏見入ってるけど

記者の中でプロポーズしたのが3人居たんだ？お別れ会？という事で、壇上に招いて『ブルブル♡』という商品名の電動オ♡ールを装着してサクツ♡…とねえ？使い心地良かったっぽいな…3人のダブルピース、バツチリ写真載つけてるし…。良いのかよ

で、処理は…。おおう、咲耶、高雄、愛宕が3人に飲ませたのね…。飲み易いように味つけたんだ？メロン、イチゴ、モモと？ふうくん？「読み終わったみたいね？あつ、イチヤイチャする場所はドエム基地よ♡閣下とデートするメンバーは決めてあつて、天城・大鳳・ウオー

スパイト・シリアス・ユニコーン・セントルイスだから♡」

「そつか…。決めてくれてありがとう…。ドエム基地に向かうのは…。ふむ…明日か…。デート楽しんでくるよ♡」

「そうして頂戴。オープン基地の維持・管理とかはやつとくわ。咲耶をネットリヤツちやってね♡閣下が転移して来て初めての人間の女性ね♡あつ、ついでにアークロイヤルとの感想を聞かせてね♡」

手で輪っか作ってるよ…。凄く楽しいって声色してるねえくく？まあ、そうだよな…。ずっと基地内でイチヤイチャしてたから…。他の基地の女性達と交流して世界観とかざっくり知らない…。大将に墮とされるか、墮とせるかどつちかな？どつちもオツケー♡

軍女じゃない、一般女性とも繋がれればいいな…。♡エロアイマスクをするのは咲耶だけなのかも知りたいし？あつ、記者達もエロいアイマスクしてたな…。壇上に向かう時に外したし…。ずっとエロいアイマスクつけてるのかもしれない

「勿論♡維持・管理よろしく♪」

「了解しました♪幸せを感じてるわよ。閣下♪あつ、そうそう。そつちに毎日最大12人デートしに行くから♡大丈夫、ムラつとしても強くないから…。落ち着いたから」

「幸せを感じてくれてて良かったよ…。了解♪楽しみにしてるよ。でさ？盗聴・盗撮するって書類に書きちゃダメじゃね？」

幸せに出来てた！良かった！本心だし！甘いエロ声してるし…。ドエム基地でも盗撮・盗聴は続けるようです…

「そんなのどうだって良いじゃ無い♪咲耶、サインしてるし♪」

「あつ？…。あつ、ほんとだ…。筆頭秘書KANの高雄のサインまである。マジか…」

サインしてたよ。マジか…。あつ、全員集合写真ある。咲耶含めて100名と…。了解いたしました♪

「司令司君♡司令司君♡司令司君との結晶が出来たよ♡男の子2人！元気！立派！こつちの男性より強いと思うよ！見た事ないけど♪あつ、大丈夫♪奪ってないから♡軍女か一般女性に漢通して貰うから♡で、沢山姦わして貰う♡この身体は司令司君だけにしか許さないから♡まあ、

エディ達とは遊ぶけど♡はい、証拠写真♪青葉提供ね♪」

「…えっ? あっ? おっおう…。おめでどう。オブザーバー、ピュリファイヤー…」

「おめでどう♪私達の娘達にチャンスがあるな♡素敵じゃないか♡」  
息継ぎしないで早口で喋り切ったよ…。すげえ…。着物似合うね…。で? オブザーバー…。タコ焼き食べてるけど、原料は自分のタコ足って言わないよね? (↑大当たり! 凄いな!)

ほあ??? 出会って3秒でゴール決めて、ドロドロのグチョコグチョコにして2日目の今日の昼にストーンと産み産み??? うん、早いね…。早過ぎるよ…。構造違い過ぎるよ…。すげえ…

証拠写真を見るとさ? もう、高校生3年生から成人じゃない? どう産み産みしたの?! みんな顔真つ赤、茹でダコじゃんか

まあ、そうだよな…。お互い全裸でハグしてるんだもん。お美しい2つの果実を当ててるんですもん…。頬を擦り付けてますもん…。うん…。起立してますな…。立派なんじゃん? こっちの平均値知らん。資料とか無いし…。あつ、俺以外に興味なかったな…。まじか…

「チャンスあるよ。♡でね。♡エディは元気な男の子を5人にい。♡、双子オミッターは元気な男の子を6人産み産み。♡証拠写真♡こつちも青葉提供♪」

「素敵じゃないか!!! なあ! 閣下!」  
「ほあ???」

…: はあ??? ぽぽぽ。と? 男の子だけを? どんな確率だよお。?!! こつちは高校生1年生から成人に後、社会人1年目! を産み産み!?! 男の子産み産み宣言通りになっちゃん?! こつちも茹で蛸お。く! ひえ。?!

◇

「グシュン…。うふふ♡指揮官ったら、比叡の噂をしたのかしら♡」  
「ああああ、あの…。どどどどうして全裸で背後からだだ抱きついてるの? おおお母さん…(エツロい声で抱きつかないでえ。!)  
柔らかい…。コツちも全裸でおつきしてるのバレてるんだよ。!

身体、動かしてるのに動かせないし〜!どうなってんのお?」

「ええ?それは息子とのスキンシップよ?もう、会えないから♪写真撮ったし♪」

「…えっ? (もう会えない?何、言ってるの?)」

「その立派におつきしてるので軍女や一般女性、私達の娘達とイチャイチャしなさい。毎日毎日♪取っ替え引っ換え♪」

「…えっ?…えっ? (何言ってるの?比叡お母さん?えっ?取っ替え引っ換え?ええ?い、良いの?そんな事をして??)」

「あら、時間が来ちやったわ…。窓を開けて…、うふふ♡バイバ〜い♡元気に犯るのよ〜♡」

「えっ?ちよっ?…ええええええええ〜!!! (片手で軽々と窓からぶん投げられたんですけどお〜!どう、なっちやうのお〜!つ!!!いつの間にか服装来てるし〜!おつきしたままだけどお〜!!!)」

ひえ〜!!!比叡お嬢様。息子とのスキンシップを終えてぶん投げて飢えた?女性と出会わせたよ!息子よ!頑張りなさいb健闘を祈るb



「オミッター達嬉しくてね?お祝いでそれぞれ指で2回破ってあげた♡だから4回破ったね♡エディは、発狂気絶して精神が別の世界にお邪魔してるよ♡そこで孤独で愛情に飢えていて強い元気な男の子を100人こっちに連れてくるつ〜♡目が覚めたらあちこちで元気にハッスルすると思うよ〜♡きやは♡」

「それは素晴らしい!素敵なプレゼントをバラ撒いて♡閣下、愛してる♡ちゆるる♡れろれろお〜♡じゅちち♡」

ちよつと、後半何を言ってるのか分からない…。まあ?息子達よ。しっかり励めよ!多分かち合う事はないと思う…。おそらく、メイビー…

さあて!ドエム基地に向けて準備するかあ〜!

司令、安心しな。息子達も司令と同様にしっかり励んで男性を

ちよつとずつ増やしていくから！愛情に飢えた孤独な100人も頑  
張るから！

## ドエム基地

最高の景色だぜっ！

セイレーン達と出会って3秒でゴールを決め、沢山破って遊ぶ。令司の令司君はいつも頑張っている。令司だけ、ブラツクな仕事？をし  
てるんじゃないかい？

出会って2日目、全裸土下座で結婚『首』輪をおねだりされて悪さはしない判断を下してあげた。悪い嫁達が出来た。転移前で親友と語っていた欲望が叶った令司であつた♡おめでどう！

着けた事により他のオスと繋がらない宣言をする。本当かなあ？  
セイレーンみんなの結婚『指』輪に対する価値観は百合。だから何？  
な件について

令司に捧げた後、直ぐに何処からか出現させた指輪を左手薬指に  
めて生やしたフタっちゃんを使ったり、具合わせをして遊んだ。KAN  
SEN達が凄く凍った視線でセイレーン達を見ていた。令司の  
体温が丁度良くなる。どういう神経してんの？

シェフィールドに地図を渡され、地図の場所へ1人ブラリ旅をす  
る。ヴァカみたいに広い日本屋敷が目の前に広がりました。ここに  
存在を忘れていた第5食堂があり、目指すのだった

ここの池で泳いでいるデカイ鯉。これを食べると下半身が元気に  
なる。エロ嫁達が食べると感度が上がるんだとか？媚薬がたっぷり  
入っている餌を鰻頭達があげている。令司は知らないだけで何度か  
食べているぞ

第5食堂に着くとそこには全員メイド服を着たリトルシスターズ  
が居た。おめでどう。お父さんになったぞ♡みんな妻達より大つき  
いか同じ位の胸を持っている。発育がすんばらしくけしからんです。  
はい。大人のクリーブランドは負けました

それに一部の性格などが違っている。大人のニューカッスルは無  
表情なのに対し、リトルは表情豊かでリトルベルファストとイチヤイ  
チャ。大人の2人はそんな事をしない。ウォースパイトもそう…。



良く分からないね？バグかか何かな？癒し刑？イチヤイチャとはいわない

全員とハグと頭なでなでスキンシップ、料理も美味しく食べ、全員のファーストキスを貰った。着物姿の大人のアークロイヤルが書類を持ってやって来た。拗らせ？ているので発情してしまう。準備マントンである

令司君が元気になったので、発情しているアークロイヤルとシスターズの前で教育を施したのだった。2人ともだいぶ頭がアレであります。シスターズ全員もじつと見つめて勉強するのもアレですが…。多分、録画映像で復習するのもかも？

リトルアークロイヤルと大人アークロイヤルが百合キス。饅頭達が写真を撮っていたので貰った令司。対価？として饅頭達にバシバシふくらはぎを叩かれたのだった。饅頭達、優しくて調子いいですね。30枚位の佐久間咲耶の結婚会見の書類を、大人のアークロイヤルの美豊乳を背中で堪能しながら読み込んでいく。カラー写真が数枚載っている。記者達全員もエロいアイマスクを着けていたのでそういう世界なのでしょう…

読み終わった所でタイミング良く、興奮しているオブザーバーとピュリファイヤーがやって来た。2人とも着物を着ている。オブザーバーは自身のタコ足を調理してタコ焼きを食べていた。自身のタコ足は美味しいようです

2人はワンブレスで早口で貴重な男の子を産み産みした報告をする。青葉提供の写真より全員、高校1年生から成人、社会人1年目の見た目で産んだのだった。どんな構造をしてるんでしょう？

それと、エディター、双子オミッターも男の子を沢山産み産み。女の子を1人も産まなかった。どんな確率なんですかねえ？令司、おめでどう。世界を救うきっかけになれたんじゃないか？

エディターママは、別の世界線の孤独で愛情に飢えている元気な男の子を100人を拉…この世界に召喚しました。これで、この世界の男の子の数が緩やかに増えていく事でしょう。息子達と孤児達、頑張っ

張ってね♡

盗撮・盗聴中のエロ嫁達もアークロイヤルのように興奮。そして癒し刑を誰もしなかった。落ち着いたんですね。良かった、良かった…

令司は明日、ドエム基地に向かうので、気合を入れて準備をするのだった。一体、何の準備をするのでしょうか？

ドエム基地では何が待っているのでしょうか。オープン基地以上にドロドロなイチャイチャをするのか？名前通りでDM軍団なのか？令司と相性良いのか？頑張れ、令司

☆☆☆

「~~~~~つっ♡~~~~アツ♡アツ♡ちよつ♡ダメエ♡ダメ♡ダメ♡アソ♡ホンツツトツ、ダメ♡ダメダメダメダメエエ~~~~ツツ♡イヤアアアアアああ~~~~♡~~~~♡~~~~♡~~~~ツツ?!?!」

「~~~~~つ♪…ふう~~~~…。こんな所かあ~~~~…。オブザーバー、ピュリファイヤー、ニーねえ？どうよ？全身をオイルマッサージする為に作ったオイルを使われてさ？」

「」

「エツロ……………。効き過ぎじゃん…。ええ？色々出し過ぎだよ…。ビクンビクンしてるし…。水分取って？ほらほら、グビつとね？」

ええ、こちら現場、マッサージ部屋に居るオイルマッサージ師の令司です

元セイレーン達、オブザーバー、ピュリファイヤー、ニーねえ事、2番テスターのオイルマッサージを施しました。するとすんばらしくエロい景色が広がっています！はい！現場からは以上です！最高の景色だぜっ！

現場の令司さん。ありがとうございます。令司の令司君のイライラ、ムラムラを目の前の3人に全部ぶつけてあげて下さいね？ね？

詳しく説明すると、3人がバカみたいに広いベット…、キングベットに横一列に並んで背中丸出しになっています。3人とも勿論、全裸。並び順は壁側からニーねえ、オブザーバー、ピュリファイヤー

そこで令司が張り切って作ったオイルでマッサージをした。で、ド

ロドロのグチョグチョの3人の出来上がり。出すもん出しまくりに  
沢山逝っていた♡令司、羨ましいゾ♡それでニーねえのニーねえを鎮  
めてあげてね？ね？

「あ〜〜…。なんか、変なテンションになったわ…。あつ？こうなっ  
た経緯？」

誰に向かつて喧嘩声出してんだろ？まあ、いや…

ユニコーンのゆうちゃんがマッサージの勉強をした所でオイルを  
作って準備しとこうとしてたんだよな…。で、最高の景色だぜっ！に  
繋がってるんだもん〜…

この世界の女性の身体は敏感肌なのか、逝き易いのか、オイルが気  
持ち良過ぎたのか、俺の手が神の手？なのかさっぱり分かんね…。神  
の手は違うだろう…

後、何なんだよ。甘イキ、軽イキ、重イキ、本イキ、ガチイキつて  
さ？意味一緒な気がするんだけど？違う！って言われそう…。黙って  
ますねえ。男性と違って無制限に逝けるからね〜？ガチイキしま  
くってくれたら嬉しいわ…。うん…

「「はあ〜〜…♡はあ〜〜…♡んっ♡〜♡ツツ♡」」

この3人にこの世界の女性の身体に似せられるか聞いたら、右手親  
指をグツとして

「「似せられるよ。行動もこの世界の女性になるかも♡えっ？変身し  
て貰いたいのか？」」

の返事を貰ったんだ。何でもありませんねえ〜？んな訳あるかと  
思ったのに…。から始まったんだよな…

で、速攻変身してもらいましたよ…。みんな凄く美しいすんわ…。  
どこのモデルですか？ってね？思わず抱きしめたよね〜。そした  
ら押し倒されて積極的にキスされたわ。それでしれつとニーねえに  
ヌプつとね…。気持ち良過ぎる！ありがとうございます！だったな  
…

変身して人間になったのでオブザーバーのタコ足達は、生き物のタ  
コになってました。性別はメスです。艦装だったのかな〜？

令司達が盛り上がってイチヤイチャしてる所で、シエフ饅頭達がぐ

るりと囲んでメスダコの足を斬ってタコ焼パーティーを開いたのだった。何してんの？シエフ饅頭達は？で、メスダコは積極的に斬られて逝っているのです。ええ？何それえ？

ピュリファイヤーの首が取れるか試しても取れる気配が無かった。そうでしょうよ…。で、オブザーバーとピュリファイヤーの2人はけしからん肉付きをし出したのだった。良かったじゃない。爆乳娘になれて…

終わった後、すぐ令司君が握られるとはねえ？着くまで交代で3人にずっと可愛がって貰いましたよ…。ねつとりとね…。令司君に唾液塗すんすね？ええ…。すつごく気持ち良かった！

ただ…、生殺しなんすわ…。無駄撃ちをさせない！って手つきなんだわ…。まあ、そうなるな…。種、大事だもんね？みんなの手に付いた我慢な汁を美味しくペロペロする仕事、グツときちやったよ♡

玉ちゃんも優しく揉み揉みするし舐めるし、俺の身体はポカポカしてイライラギンギン！すっかり溜まっていくのが分かる分かる。危ない薬とか飲んでないんだけどな…。3人が谷間からなんか取り出して一気飲みしてたけどね？谷間はポケットだったんだなあ…

優しくて清楚な雰囲気ですつと撒き散らしているのに、顔をトロトロにさせて一生懸命に奉仕。時々、俺の顔を伺う。なんかギャップがしゅごい♡堕ちちやお♡

この世界の男性はこういった仕事とかが嫌いなのかも知れないなあ…。気持ち良いのに…。気持ち良過ぎで辛いのもかもしれない。ガツツリ痴女ってるからねえ？ツーツと撫でられただけで…ねえ？

そうしてマッサージ部屋に到着。令司君を放置して3人に手伝って貰ってオイルを作製して試し塗りしたら効き過ぎたみたい…。エロいエロい…。けしからん。ありがとうございます！みんなメスフェロモンポンポン出してありがと！

イライラマックスだよ…。もう、良いよね♡で、最高の景色だぜっ！に至ります…。イエー！オイルマッサージ最高！

「えいっ♡」

「うおっ?!ちよっ?!ピュリファイヤー?!んむう?!」

「んちゆる♡んつく♡んつく♡ちゅっ♡じゆるるっ♡んれっ♡  
チュツチュ♡フっツツツ：フっツツツ♡」

ふおっ♡ピュリファイヤーとのキス気持ち良過ぎるっ♡キスのテクニクしゅごいっ♡俺、絶対涙目だよっ♡令司君、さわさわされてるしっ♡

「えへへ♡令司君の令司くんをこの世界の女性に似せたアタシ達で奉仕するからね♡楽しんで沢山逝ってネ♡ピュリちゃんのキスもそうだからね♡」

「オブつちの言う通り。この世界の本物の女性の佐久間咲耶と結婚するんでしょ？具合は違うと思うけど慣れていってね♡あつ、ダメっ！…んっ♡はあっ間に合った♡これこれ♡最高♡あはは♡あたしのニーねえつてば早っい♡」

お互いの身体、敏感になってそうだからな！気にするな！凄くチュツチュされてる♡気持ち良いっ♡…でね？息させてっ?!お願いしますうっっ!

「んちゅぱ♡ハアハア…♡ハアハア…♡令司君♡沢山逝ってね♡動かなくて良いから♡オブちゃんの事を椅子にしてドーンと構えてくれれば良いから♡」

「んはあ…はあ…。う…つく…。ぜえ…ぜえ…。あ、ああ…。よろしく…なあっ♡んつむっ♡むうっ♡」

「あは♡ニーねえ、キス我慢出来なかつたんだっ♡可愛い♡はあい、よろしくされまあっ♡外はダメ！んぎっ！♡あっ♡あっ♡すっごく気持ち良いっ♡」

「2人とも後で椅子になってよ？令司君、いっぱい気持ち良くなつていっばい逝ってね♡あんっ♡両胸揉まれちゃった♡もつと強く触つてえっ♡」

オイルマッサージをしたお礼？として3人に極上なキステクニツクのお見舞いをしながら令司君を甘々に奉仕。この世界の女性達は多分、こういういた行為を沢山するのだろう。奉仕体質なのかもしれない

3人が似せられる身体をしていて変身して積極的に協力して準備

をさせてくれるとか良かったじゃないか

そして朝までドロドロイチャイチャし合うのだった。令司の令司君は働きモノ♡準備したオイルを使ってドエム基地のみんなをメロメロにしてやりなさい！

◇

「ほうほう…。こうやって盗撮・盗聴していたのか…。3人はまた男の子を産み産みする気なんだな？うらやまけしからんぞ♡愛情に飢えた孤児男性100人を拉致してきてバラ撒いて戻ってみたら♡ハアハア♡」

「エディターママったら自身の右胸を揉みながら言うんだ♡♡愛情に飢えた孤児男性100人、頑張つてハーレム作つてね♡♡まあ、令司様の息子の方が雄力高いけどね♡♡この男性は知らない♡サクッと殺ろつかない♡」

雄力♡オスフェロモンではない。別物らしい。詳しくは知らない。多分、程よく筋肉がついてることなんじゃない？

双子オミッターよ、舌を出して右手で触つてエロいポーズをとりながら物騒な事を笑顔で言わない！

「そうにや♡♡！3人はまた男の子を産み産みする気だにや。良いにや♡♡まあ、明石も男の子を産んだにや♡♡もう、遠くに飛ばして頑張つて貰つてるにや！そうだよにや？そうだと良いにや♡♡、顔真っ赤にして戸惑つてたけどにや？」

「大うつけの息子だから頑張るでしょう？大魔神の血入ってるんだし…。双子オミッターが言うのだから間違いないでしょう…。えっと、男の子を産み産みしたっていう書類を作成したエロKANSEN達は…」

明石と不知火がスルー。平常運転し過ぎでわ？仲良く下の口を濡らして観ちゃってるよ…。本当に悪さをしてないようです…。拉致はまあ？この世界の為だしね？愛情に飢えた孤児だから頑張れるでしょ？と、投げやりで言ってみたり

「エロKANSENって言ったにや…。まあ、そうだけどもにや…。」

ちんまい胸でもムラつとしてくれたからにや…。あつ、セントルイスとジャン・ボールが頑張つて書類の山々を片付けてるにや！」

「手伝つてやりなさいよ…。この映像を左上か右上にすれば出来るでしょうが…。つて、言つてたらもう無くなつてくわね…。どんなスピードを出してるのよ…。これ、手書きでしょ？あつ、わあ…。動かなくて良いって言つてるのに動いてる♡お互いすつごく気持ち良さそう♡」

「ほんとだ♡あはつ♡令司様の体勢が面白くなつてる♡受け入れてるよ。流石♡この世界の女性主体でトコトン突き愛う感じだね♡♡良いね♡♡キユンときちやう♡変身出来ないんだけどね♡♡」

「ごほん…。重桜の書類を読み上げるわ。信濃、金剛、比叡、榛名、霧島、戦艦の加賀、長門、陸奥、扶桑、山城、三笠、伊勢、日向、出雲。で戦KAN全員コンプしましたね…。それと、赤城、瑞鶴、飛鷹、隼鷹、鳳翔、青葉、伊吹、愛宕、古鷹、妙高、那智、鈴谷、神通、五十鈴、長良、三隈、樫野、吾妻、綾波、如月、江風、伊19、伊26、伊58…。不知火は…。およよ…。大鳳がムキになるのも分かるわ：」  
「やゝくん♡令司様つたら重桜だけで何KANに男の子を産んで貰つたの？うんうん…。38?!すつごゝゝい大魔神じゃゝゝん♡だから凄く早くいっぱい元気にブチブチ破つてくれてたんだ♡まだまだあるよ♡何回あるか知らないけど♡ドエム基地にお邪魔して遊んで貰っちゃおつかなく♡♡なんてね♡」

「書類を送つてからにしてやれ？な？うわ…。本当に、オープン基地の全員とヤつたんだな…。大魔神で雄力高過ぎる♡キユンと来た♡お酒を飲んでブツ壊れた時の映像が1番スキュン♡ドキユンしちやつた♡触つてもないのに大洪水だ♡あつ、饅頭達が笑顔で持つてるバケツに出せばいいんだ♡♡んっ♡」

「乱暴に扱つてくれるのがこの時位だから♡不知火は高い倍率に落ちたのです…。およよ…。…まあ、流し込むだけの量を生産してくれたから産み産み出来ただけど…」

「そうにや！夕張とヴェスタルと協力して流し込み機を作つたのにや

！で、金剛型と潜水KAN全員、男の子を3人産み産みしたとか凄いにや!!他は1人と2人なのになや!あつ、まだ書類があるにや…。ええつと、纏まってないけどにや?男の子を産み産みしたの読み上げるにや」

「「まだ居るの?聞かせて聞かせて」」

「そりや大うつけは、200KAN近く所属してる全員と愛し合ったんだからねえ?居るでしょ?」

「ジャベリン、ユニコーンのギャルのゆうちゃん、ヨークタウン、エンタープライズ、ホーネット、キュラソー、エセックス、ヴィクトリアス、アヴローラ、パーチャミ・メルクーリア、ガンダート、フリードリヒ・デア・グローゼ、ジャン・バール、プリンツ・ハインリヒ、ビスマルク、テイルピッツ、ヴェスタル、リットリオ、ザラ、リシユリーの20KANにや!」

「「わくく♡それでみんな男の子2人?凄くい♡(エディらがの方が凄いのかも?そっちは女の子も産み産みしてるんだし?こっちはみんな男の子♡ヤッター♡)」」

かなり産みましたね。多産が常識なのかな?そして多分、高校1年生から成人、社会人クラスの見た目をしているのでしよう…。構造が違い過ぎる…

「分かってるのはそうですね?まだ報告書を書いてないのもいるからもっと増えるかも?まあ、ここ、オープン基地の全員、女の子、大うつけに言わせたら、リトルシスターズを1人以上産んだんだけどね…。もう、各地に赴いていて遊んでるみたい…。息子の何人かはロックオンされたようだけど…」

「ロックオンされた何人かはもう娘達や一般女性達や軍女達に優しく奪われたようだにや!ピースしてる写真がパソコンに溜まってくにや!良い感じにや。♡男の子は抵抗すんにや。ガッツリ襲えにや!だらしないにや!」

涙目の息子達がグツタリ伸びていて、両側から抱き着かれて添い寝している写真が数枚、明石のパソコンに次々と送られていきます。お突き愛、お疲れ様です。これから色々鍛えていつて頑張つてね?



「逃げてでも逃げられないから令司様みたいにどーんと構えて受け入れてあげてよ〜♡そうすればお互いWin Winだよ〜♡うふ♡あはははは♡凄〜い、一般女性かな？幸せて顔に書いてある♡♡フタっちゃんハーレムを築いてるのもいる〜♡。リトル隼鷹のサポート付きだ〜♡息子達、頑張れ〜♡」

双子オミッターの喋った以外にも白ギャルハーレム、黒ギャルハーレム、白黒混合ギャルハーレム、清楚黒髪ロング巨乳・爆乳ハーレムなどなどが集まっていく。属性が盛り沢山ですね〜？息子達の好みにドストライクでしょうよ…

「こちら。エディのを弄りながら喋るのはやめなさい♡あん♡エディの息子も女性達に正の字書いてあげてよ？一定数いるっぽいし…」

「???双子オミッターのオミッターは立派なのかにや？サイズについては聞くにやっって指揮官が言っただけにや？親友の方が少し大きいにや」

「さあ？興味ないので。良い人止まりの親友は多分、別世界でローンとイチャイチャしてると思いますよ？ああ、それとアークロイヤルがアピールしてるって言っただけだね…。大うつけの言う通りさっさとくっつけよ…」

「不知火、サラツと毒吐いたにや…。綾波の影響受けたにや？」

「違います」

「ふ〜ん？」

「ん〜？分かんない♡多分これで最大砲♡あつあつ、明石にはシないから、その物騒な注射器を見せてブンブン振り回しながらコツチに来るのは辞めて〜♡玩具にするされるの関係はセイレーン達だけで済みますから〜♡」

「そうしてくれにや。不知火、もうサツサと寝るにや」

「そうですね…。もう見回りをする必要無くなりましたもんね…。他の部屋を幾つか見てると『あつ、無いんだっ』になって寝てますからね。それと温泉巡り。癒し刑はまあ、ずっとあるでしょう…。もうそんな事しなくても落ち着いてるんですけど…」

「癒し刑を廃止したらまあ、暴走するんじゃないかにや？自主的に見回りを続ける組もいるけどにや？妙高、那智、川内、エルドリツジとか…。川内は毎日飽きないにや…。そいつらに任せるにや。そういう事だから、エディターと双子オミッター、おやすみにや！」

「はあ〜♡はあ〜♡おやすみ〜♡あ〜♡つ♡気持ち良い〜♡」

司令の幕破りが出来なくなるんじゃないか？あつ、うつすらと右太ももに残り回数が表示されましたね…。減ってないようです。どうなってるのよ？不思議ですわ〜

◇◇◇

#### ◇ドエム基地の執務室内◇

身体を似せてイチヤイチヤしてる最中、ドエム基地の長の妻の佐久間咲耶というと…？

「はあ♡駄肉な私が遂に結婚♡深淵のお嬢様だと思ってたのに実は数の少ない男性で、地位は元帥♡最高じゃない♡そりや公表しないよ…。司令様、うえへへ♡会うのが楽しみです♡は〜♡」

「指揮官？両手を両頬についてニヤニヤデレデレしてないで書類を片付けてくれないか？書類の山々が崩れそうですよ？」

「はっ?! そうだったわね…。高雄ちゃん、ありがとう♡」

「どういたしまして。サボってなくてホッとしてますよ…。ラフィー、ホーネット、綾波、ヴェスタル、アークロイヤル、手伝いありがとうございます」

「…「どういたしまして」」

書類の山々と格闘中。書類の山々の枚数はどの位？ざっと500枚はありそうですね？これら全て手書きとかブラックですね♡早くパソコンの導入を考えとけ♡

全員の格好は水着。タイヘンエロスなナイスボディを晒している咲耶です。男性がウジャウジャいる世界に住んでいたらモテモテですよ？エロい水着で海に行ったらナンパされ放題です。意味深の遊びしまくりになりますよ？

まあ、高嶺の花なのでやらないと思いますけど…。というかヤレない？ 辿り着く前に吐き出しちゃうかも…

話？はガラツと変わって、令司も本当なら書類仕事をしなければならいんだけどなく？メンズファースト？な世界だから仕事しないんだよね。判子を押すマツスイくんにもならないんだよねえ？

あつ、そういえば令司は○付けの仕事をしてたね。かなりハード？な仕事をこなしてたよ…。すまんすまん…

注意されて猛スピードで山々を減らしていく。エロイアイマスクは着けたまま仕事をするんですね…。はあく、内側から見える構造になってるとか凄い技術ですね…？

「指揮官、こっちのエロい下着や清楚な下着の申請書の整理終わりました。後は、許可か不許可の判子を押すだけです」

「ヴェスタル、ありがと。下着は大事なんだから全部許可するわ…。押しているわよ。許可の判子は1番下にあるから」

「了解しました」

え〜？10人のフタつちちゃんがまたお邪魔してるの？地下室で遊んであげてよ…。毎日飽きないわね…。あたしにゾツコンじやないんだから書類で報告しないでよ…」

「閣下。オーブン基地のように癒し刑？なる部屋を作って欲しいとの嘆願書が…（途中から声に出してますよ〜）」

「うん？後日みんなを集めて話し合いして、纏まったら上層部に報告ね。保留ボックスに放り込んで置いて頂戴」

「了解しました。それっぽい嘆願書類は保留ボックスに全て放り込んでおきますね」

「ありがと。後で、しっかり目を通すわ」

「……………（ラフィーのもほぼ保留ボックス行きだね…。えいつ…。…酵素コーラ飲みたい…）」

「……………。ラフィー、酵素コーラを飲みながら書類扱って良いわよ」「っ?!ありがと♡咲耶指揮官♡」

「どういたしまして。〜〜〜っ♡…???へえ〜?各地で男性が増加して頑張ってるんだ?（多分、令司様の息子達かな?）…あゝっ???

もの凄く痩せてる男性が複数人見つかった?…写真は…有るかしら?  
」

「「「「……………はっ??」「」」」」

おっと?クツソ凍った低音ボイスで「はっ???」を頂きました。執務室内の温度が一気にマイナスになったぞ。咲耶の後ろのデカイ窓ガラスが凍ってヒビ入ってるし…

はっ???うん…。これは見間違い。そう、見間違い…。一旦、目を瞑って…、深呼吸…。すくはく。すくはく。それでもう一回見るつつ…

「……………はっ???」

事実?そんな事をする女性達って誰?ネエ?ネエ?誰?誰なの?ネエ?

調べて見つけて徹底的に黽つてから殺すわ♡後は使いたくないけど大人の玩具でブチっとシなくちゃね?泣いて許してって叫んでも許さないから♡良かったじゃない♡死ぬ前に経験出来て♡

「痩せてる男性の写真?あつ、ラファイ?見つけたの?」

「うん」

「ラファイ、ありがと…。あうつ…。たらふく食べさせて添い寝してついでに満足するまでサせてあげて?あつ、勿論、精の付く料理よ?一緒にお風呂入りしましょう。私はそうする。他の女性も多分する」

「「「「うんうん」「」」」」

ここまで痩せるまでドピュン♡ドピュン♡なんか絶対にしないわよ!!!馬鹿でしょ?!一緒にお風呂に入っても息子は洗わないわ!言われたら洗うけど…

手出してくれるまで待つわよ…。軍女の理性、舐めんな。一般女性達より強いわ!欲望に素直です♡ってアピールしてるけどさくく??

セイレーン達じゃないし…。サクつと殺すからねえ…。見つけて様が無いからほつところ…。癒されていいって良い感じの体格になるまで太っていったね?令司様の身体って理想的なのよ♡

あつ、そういえば、オープン基地のローン様がオープン基地内で最上位のセイレーン達を飼ってるって話してたっけ…。ヤってる動画

を残していったし…。後で観るわ…

『生は色々ヤバイわよ♡襲いたくなるわ♡』

って、ローン様が言ってたっけ…。雄力が高いのは分かったのよね…。理想の体格してるし…。まあ、もうちよつと太って欲しいんだけど…

右隣に座ってたホーネットがメス度爆上げたんだし…。あの後、破かないように処理してあげたのよね…。ベトベトになった右手を舐め取って貰ったわ…

妹の咲希から連絡来ないし…。電話とかしても出ないし…。フタ基地だから処理に追われているのかな？だから綺麗でエロい貞操帯<sup>パンツ</sup>を貰いたかったのね…。援助しなきゃな…

「うっ…。ここまで痩せてると何も聞かない方が良いですね。マグロになつて何度も何度も吐き出して鎮めて貰わないとですね…」

「…クソ女達、煽って殺す♡しっかり食事・睡眠・運動（意味深）をして幸せになつてね♡（セイレーン達は違うし…。探せの命令は来ないな…。身体使つて貰つて癒すのが手っ取り早いか…）」

「終了…！ハイハイ。暗い話はそこまで…」

後ろから令司様が抱きついて応援してる妄想をしてたらあつという間だったよ…♡明日の昼には体験するんだ♡幕、バイバイ♡えへ♡いっぱい奉仕するね♡

「お疲れ様です。あつ、予習として青葉と川内の映像を見ましよう？」

「そうだね♡見よ見よ♡本人達も一緒にさ♡放送をかけてっ…。青葉と川内は至急執務室に来るように…。繰り返し。青葉と川内は至急執務室に来るように。ふ…。…これでよし♡」

「準備出来てます♡」

「ありがと、高雄。みんなも見るでしょ？」

「…「勿論♡」」

…放送して3分後…

「う…っ！う…っ！」

「あはは…。命令ですので諦めてくださいね？」

「実況して貰いながら観賞するわよ？娘達はもう寝てるんだからね？

就寝時間なるまでの1時間。よろしくね？」

「……………はい」

書類仕事から解放された咲耶達は、一足先にメスになった青葉と川内の映像を本人達の実況で観るといふ。凄いプレイをするんですね？2人に娘が1人出来た。暖かく迎え入れられたようです。おめでとう

令司がドエム基地に着いたらどうなるのでしょうか？令司作製のオイルでのマツサージで効果は抜群だ！になるのか？

えっ？あつ、うん…

ドエム基地に向かう前の準備としてオイルマッサージのオイルを作ろうとした令司。そんな時、オブザーバー、ピュリファイヤー、ニーねえが興味を持ったようでマッサージ部屋に着いて行く事になった。セイレーンなら人間の女性の身体に似せられるんじゃないかね？と思った令司が真顔で聞いてみると、笑顔で出来る返事が。なので変身して貰った。そうしたら全員、ムチムチ爆乳美人に。髪の毛の色はそのまま

思わず抱きしめたら押し倒されて極上のキスをしながらニーねえとサクつとイチヤイチヤ。鮮やかな一本を決められました。抵抗しない。こちらの人間の女性は積極的か？

ニーねえとのイチヤイチヤが終わった後、ズボンの上から令司君を3人が交代して優しく握る。グツグツと煮詰まり続けたままマッサージ部屋へ向かう。その状態でよく歩けたね？ガクガクになる筈なんじゃ？ポジション替えも無理ですねぇ〜？

到着してイライラ、ギンギンにさせたまま3人に協力して貰ってオイルを作製。襲っちゃ不味いと思ったのででしょうか？腕力は彼女達の方が上だからか？そんな事ないと思うのだけれど？

オイルを作製し終わった令司は、素早く全裸になってオイルでエロエロマッサージを開始。すると開始して10秒経った所で絶叫しながら愛え〇や潮、おし〇〇などを出しまくる。そう、3人はビクンビクンしつ放しになった。エロいエロい。ご馳走様です

オイルマッサージされてるニーねえのニーねえがこんばんは。そして何度かファイヤー。3人の絶叫懇願をガン無視して、肌や心などが潤うまで優しく優しく攻め抜いてあげた。押し倒された仕返しをしてるのかな？

マッサージ終了後のキングベツトは、ドロッドロのグツチヨグチヨ。でも、3人の肌はツヤツツヤになっていて美人度を上げていた。不思議ですねぇ〜？

敏感肌、オイルマッサージが効き過ぎ、令司の手が神の手なのかど

うかは分かりません。個人差もあるし？擬似の人間ですからね。本物の人間の妻の佐久間咲耶の身体に直接訊きましよう？

満足逝くまでオイルマッサージを施してあげた後は、この世界の女性主体の夜伽を受け入れる事にした。3人はマッサージで発情していた様です。墮とせるか墮とされるか分かるかもしれない。饅頭達によりベツトメイキングされていてまた汚せます

気持ち良過ぎる極上キステクニツクですつと涙目な令司。美味しい新鮮な空気を吸ったらまたキスをされ、頭の中を壊される？また吸ってまたキス。また吸ってまたキス。そんな甘々なキスを繰り返しながらイチャラブをした

また、新しい扉が開いちやう体勢で愛し合うのだった。気持ち良過ぎて辛いようです。快樂園に旅立ってる令司なのだった。何度、天国へ旅立とうとしてるんだい？

こちらの世界の女性は、人間に化けているサキュバスなのかな？それなら男性の数が少ない理由になりますね？

朝、秘書KANのお出迎えが来るまで甘々イチャラブをした。似せられて良かったね？鍛え抜けるよ？一足先に息子の何人かはパツクンされたようですけど…。同じくグツタリしたようです

愛情に飢えた男性の容姿は、咲耶の書類からの情報によるとかなり痩せているようです。それに細い。もやしです。もやし。ドス黒いオーラを発してクソ女共を殺そうと思ったそう。そこまではするか？手伝ったKANISENもそうだった。何故？

そんな100名の内、数名は保護されてハーレムを築いていつている。各地で意味深運動会が活発になっていく事でしょう。令司と一緒にファイト一発！

☆☆☆

《ドエム基地に向かう朝になりました。これより指揮官をお出迎えし、ドエム基地へ送り届ける作戦を執行します》

お出迎えをするエロい服装をしたエロいKANISENがコンコン…。コンコン…。コンコン…。ゴンゴン…。…と、何度も何度も何





お〜！お〜！幸せそうに寝てるなあ〜。3人の首輪にベトつてるのはニーねえのか…。『外、ダメ、ゼツタイ』だったし…。キングベツト、グシヨグシヨだ〜。どんだけですか…。と、思ったら饅頭達が綺麗にしてく。ありがとう

「……………」

話は変わって、休憩中にオブザーバーのメスダコのタコ足のタコ焼きを食べさせ合ったなく〜。美味しかった。シェフ饅頭達、凄く張り切ってたわ…

積極的に斬られに逝くのもどうかと思うの…。実演されたし…。再生していくのもバツチリ見たし。3人とも腹抱えて笑うとか…。ええ？だったよ…。笑う要素あったんだ？

「どういたしました。昨晩はお愉しみでしたね？」

「えっ？あつ、うん…。愉しんだよ…」

おやおや？異世界転生とかでヒロインと出会い、両想いになって宿屋で初夜して2日目の朝のオーナーとの会話じゃん。一度言われてみたかったんだよね〜。ありがとう

ただ、その言葉をさ？左手で輪っかを作って抜き抜きする仕草を、笑顔するのはどうなのよ？ノリ？良過ぎでわ？そんなキャラじゃない筈なんだけど…

Oh〜♡谷間、プルルンって弾けてる…。ゴクリ…っ。グイツと寄せちゃって見せつけてくるな…。ガン見しちゃう♡ありがとう♡

「……………っ。ボールのメイド服姿、似合ってる。綺麗だ。好き。愛してる」

「うふふ。ありがとうございます♡ボールも令司兄さんを愛しています♡ガン見、ありがとう♡んちゅ♡んれろ♡」

好意丸出し♡うっ…。メイドらしく？ベトベトな令司君を手で掃除してるよ♡長手袋の感触、最高ですう〜♡おうおう、下の口、ヌルヌルじゃんか…。したいけどもう出発しなくちゃだし…。：おっ？逝つたみたい…

全裸な令司と魔改造メイド服を着たジャン・ボールが、異世界テンプレな会話をして、おはようの甘々なキスを触り愛っこをしながらす

る。令司の右手で無事逝かせました。2人共、頭の中、ピンクなアンコがたつぷり詰まってる様子です

令司は異世界転『移』してるもんね？お互いに満足したようです。離れて行く時、唾液の橋が出来てました。エロいであります

「ハア…ハア…。んれ…。じゅぞぞぞ…。ごくん…。(令司兄さんの手とバールの手)ご馳走様です♡」

「えっ？あつ、うん…。お粗末様」

「ドエム基地に出発する時間なので、移動中に朝食を摂ってね？ふっ♡」

「ふお?!えっ？あつ、うん…。ありがと…。そうするよ…」

右耳に息ふっっつ、最高ですうっっ♡煽られてるぜっっ。我慢我慢…

手繋いで行くんだね？了解。母港の何処かで待つてるんだもんね…。悪いねっっ

というか、俺が集合場所に先に居て、嫁達を待つ筈だと思うのだけど？あつ、貞操逆転世界だから、嫁達が先に集合場所で待つてる感じか？というか、集合場所知らないから先に待つ事が出来ないわ…。逆転してる所、良く分かんね…

うっっん。移動手段で考えられるのは、海上スケートと電車、車かな？KANSENだから、海上スケートが一番速いんじやね？ドエム基地に演習しに行く方法だし…

なら、俺は荷物だからお姫様抱っこされるんじやね？それかおんぶ？よろしく頼むよ…。ゴーグルとかつけさせて貰おうつと…

だつてかなりのスピード出して海上スケートするんでしょ？両目守れないと…。俺、当然、海上スケート出来ねえし…。明石ならスケート出来る靴作れそうだけど、興味無いしな…

「はい♡では、手を繋いで行きましよう♡令司兄さん♡……………？令司兄さん？どうしました？」

「うんにゃ？何でもないよ？行こう行こう」

色々、思っている令司、左右に首を振って頭の片隅に放り投げて、恋人繋ぎをして天城、大鳳、ウォースパイト、ユニコーン、シリアス、セ

ントルイスの下へ向かうのだった

男性である令司が、美少女や美女にお姫様抱っこやおんぶされるって絵面が凄いですね〜？

「……………」

令司の服装は上半身裸、下半身ズボンの半裸族。そしてセイレーン3人のキスマークが身体中にべっとり。拭こうよ…。そしてデート？してるジャン・ボールは上半身と顔をガッツリ視漢して歩く。時間ないなら拭いてあげて？それか拭くように言ったら？

障害物とか一切ないから出来る。令司は熱い視線を浴びてデレデレしている。お互いの頭のネジ、数本抜け落ちてませんか？探しません？…あつ？もう捨てた？そうなの…。手遅れですね？

☆☆☆

「……あつ、お兄ちゃん、おはよう。やっぱり素敵な身体だね♡流石、清楚ビッチ♡愛してる♡ゆーちゃんは基地内の温泉巡りしてるよ」

「おはようございます♡指揮官様♡セイレーン3人にこの世界の女性に似せて、夜伽を愉しんだようですね♡移動中に天城だけが出来るキスをたっぷり楽しんで下さいね♡後、尻尾マッサージお願いします♡うふふ♡」

「指揮官様あ〜♡大鳳は〜♡ようやく、男の子を産み産み出来ましたわ〜♡もう、バカ娘の大鳳と繋がって、一般女性達とハーレム築いてるわ〜♡」

「指揮官君ったらオイルに危険生物のエキスを混ぜちゃって♡移動中に、そのオリジナルオイルのマッサージをしてドロツドロのグチョコにしてね♡我慢出来なくなったらココ♡好き勝手に貪り食べて良いから♡うふふ♡」

「…メイド服なんか似合わないでしょ？陛下から着ろって言われて着たんだし…。ふんっ」

「誇らしきご主人様と艦内デート♡楽しみです♡移動中にサキユバスマッサージをしてあげますね♡たっぷり愉しんで下さいませ♡」

「待つてたわよ。ジャン・ボール、お迎えありがと…。指揮官？これに

乗ってええええ！」

「指揮官君？ルイス達もこの船に乗るわよ♡」

横一列に並んでいて、全員背中両目の中に大きい♡マークを出して笑顔で言ったのだった

令司の気配に気付くまでみんな、船を見て触っていた。触る度に、全裸のローンがパイ穴を強調する体勢になってクネクネして下の口が大洪水になっていくのは何故？

ローンが令司に気が付いた時、船を指差してゆでダコのまま、大声で叫んだのだった。怒ってはいない

ウォースパイト、シリアスは魔改造メイド服で谷間の所が♡マーク、ジャン・ボールと同じですね。他のみんなは、乳首と下が見えちゃいそうなエロ水着姿である。眼福ですな♡♡

「えっ？あつ、うん…。乗るううう…！…で、みんなの姿、お美しいしゅき。愛してる」

眼福過ぎるんだが???ありがたや♡♡晒してくれるのは俺の前だけにしてくれ！他のオス達はぜって♡♡、ナンパして乱乱に持つてこうとするから！あつ、この世界は数少ないから平気か？あつちの話になるな…

毎日毎日、海上スケートしてセイレーン達と戦っているKANIS EN達が船に乗るんだ？何か不思議♡♡。で、船の名前が彫られてないなあ…。どんな名前なんだ？

ローン、お帰り。ゆでダコになって涎垂らして悦んでどうしたんだ？お外、拒否してたのに…。あつ、ドエム基地内で誰かと仲良くなつて、お外で百合つた後か？

令司の考えてる事が顔に出ていたのか、ローンは両頬を膨らませて…

「む♡♡。愛してるわ。…で、『ドエム基地内で誰かと百合つた』なんて事ないわよおお♡♡！その…♡♡、これは…」

「おうっ?! そうなんだ?」

両手をくるくるしてモジモジしてるローン。可愛い♡萌え殺す気ですな♡♡♡♡

「ふぎや?!」

「色々、ありがと。ローン♡ヨシヨシ♡」

「……っ♡うん♡」

「愛してるわ♡指揮官様（あ）・指揮官様・指揮官・指揮官君・誇らしきご主人様・お兄ちゃん・兄さん♡」

笑顔で言ってくれてありがと♡♡うむ。お姫様抱っこやおんぶじゃなかったからヨシとしますか……。それで、ローンの萌え萌え成分、沢山食べられて元気でした。よっしゃ、免許あるから運転すっか♡

「??指揮官様あ〜?免許あるのは知ってますが、運転しなくて良いですわ〜。オート?という奴ですから〜。艦内でのデート愉しみましようですわ〜♡うふふ♡」

「えっ?あつ、うん……。了解」

オート?そうなんだ?有難いね〜。みんなもうんうん頷いてるからそうなんだね…

うっは♡右腕が谷間に沈む沈む♡やっぱり何度されても良いねえ〜♡大鳳。ちよつと大つきくなったね♡育ちきったと思ったのに♡艦内デート?よろしく♡オイルマツサージ所望してるからすっか…

「ハアハア♡ハアハア♡良いからサツサと乗りなさいよねええええ!!?」

「うえいつ?!お、おう…」

「……はあい…（照れ隠しなんて…。ザツコ〜♡堂々としなさいよね〜）」「……」

☆☆☆

令司と大鳳一緒↓ユニコーン↓天城↓シリアス↓セントルイス↓ウォースパイトの順番で船に乗った。ローンとジャン・ボールは代表の見送り役だったようです。大勢で見送るとおっ始めると判断したんだね?

「令司兄さ〜ん、ドエム基地のボールとイチヤイチャするんだった

ら〜、最初っから激しくて良いから〜」

「りようか〜い！ローンはゆっくり休めよー！…で？乗ったけどさ？この船に名前つてあるんだよね？彫られてないけど、どんな名前なの？」

「??名前？『ローン』だけど？お兄ちゃん？それがどうかしたの？」

「いや〜？船の何処かに名前が彫つてあるのがあつちの世界の常識だったからさ〜？」

『ローン』。『ローン』?!えっ？そうなの?!ほ〜、ほ〜。全裸になつてたのはこの船を召喚した反動かなんかかな？んな訳ねえな…。全裸からすぐ乳首が見えそうな水着姿になつたし。ずっと顔がゆでダコだったけど…

行つてきますの不意打ちキスで沢山逝つてたな〜♡可愛ええよ♡ローン♡大鳳がサポートしてくれたから出来たんだぜ♡まあ、乗つて直ぐ大鳳とキスしたけど…

「かぶっ…。じゅぞぞ♡んちゆるるっ♡…っは…、へえ〜？そんなんだ…。ルイス達の世界では彫らないわよ…」

「そうなんだね…。色々違うな〜。うぐっ…。ルイス、左耳氣に入つたの？」

背後からの抱き着きからの耳舐めに息ふ〜や首筋舐めて流行つてるん？気持ち良いからヨシっ♡（お久しぶり、現場猫♡）

「氣に入ってるわ♡気持ち良くなつてくれて良かったわ♡常識とか違うけど、そんなの考えないでいっぱい楽しんでね？」

「……………」

「そうする。ルイス、気持ち良いよ♡ありがと♡で、ウォースパイト。メイド服似合ってるよ。美しい」

「…ツツ♡ありがと♡後で、沢山食べて♡」

食べますとも〜♡エリちゃんチョイス。最高。ありがと♡腕組みしてドヤ顔してそう♡で？なんかニューカッスルが椅子になつてるのが浮かんだのは氣のせいだな…。うん…

「そんな事より、指揮官様あ〜♡早く、危険生物のエキスたっぷり含まれてるオイルでマッサージをお願いしますわ〜♡」

「ふぐおっ?!ふがっ?!」

ふお〜♡最高♡やっぱり大つきくなってるよ〜♡オイルマツサージするけどもうちよつと堪能させて〜♡

「そうね、大鳳?どいて?ありがと。指揮官様?失礼します♡」

「は〜っ…。は〜っ…。んっ?!ん〜っ!ん〜っ♡」

「誇らしきご主人様と天城様の情熱的なキス♡誇らしくてイヤらしいですう〜♡んんっ♡…はあ〜♡」

Oh〜♡天城のブレンドキス、美味しい〜♡マッサージ出来なくしてど〜すんの♡

こちらから♡シリアスに天城♡サキュバスの尻尾で器用にズボンを下ろしちやうのかな?おっふ、ツンツンするんじゃないよ♡うぐっ。包まれていく♡これはシリアスっ♡くう〜♡

「んちゅぱ…♡んふふ♡指揮官様のお口、美味しかったですわ♡元気になって良かったわ♡天城とシリアスの媚薬も効いてますね♡」

「は〜♡は〜♡お前ら〜!ドエム基地に着くまで用意したオリジナルオイルのマッサージでたっぷり蹂躪してやつかな〜!!!覚悟しとけよ〜!!!」

セイレーン3人とイチャラブの休憩中にそんなに使わんだろ?つてなる量を作ったから振舞っちゃうゾ♡作業中にも励んだな〜♡令司君?まだ待て。沢山我慢して一気に放出は気持ち良いぞ?ヨシ、聞き分けが良いな!

「ニニツツツ?!♡ハイツツツ♡♡ニニニ」

《これより、オイルマッサージデートを開始する。全KAN、構え!オイル!注入開始!!!》

令司の言霊により全員全裸になった。そして全員背中を魅せる。全員、言霊により3度逝っていた

◇◇◇

Q、どうやってオイルを運んだのか?

A、イチャついてない残りのセイレーン、エディターと双子オミツ



ターと檜野が運んだ

↓オイルは木箱に入れられていて、木箱は30箱近くある。檜野が25箱一気に運びました。運び終わった後、キスをして与えられた任務をこなしに去って行った

『令司様、運び終わりました♡キス、失礼します♡んちゅ♡れるちゅ♡んつく♡んはくく♡うふ♡檜野、任務こなしに行きますね♡ドエム基地内で楽しく過ごして下さいね♡愛してます♡』

『ああ、愛してるよ。檜野、任務よろしく。大鳳、一緒に乗るぞ』

『ハイですわくく♡檜野、よろしくお願いですわ♡』

『『……………(ほとんど運ばれた…。流石、運送KAN…。頭の上に5箱、乗つける事は出来ないよ…)』』』

◇◇◇

☆☆☆

「まずは、ウォースパイトからだくく!!!」

手にオイルを垂らして…。ちよつとビリつくけど…。揉み込んで伸ばして…。ウォースパイトにもかけて開始!!!

「かひゅっ?!?!あゝくく♡うぐっ♡フゝゝツツ♡フゝゝツツ♡ああああゝゝ♡」

「くくくくっ♪」

顔、真つ赤つか。手で口を覆いたい動かせないでギリギリさせて堪えている。無駄だぞ♡どんどん垂らしていき隅から隅までマツサージをしていくのだから♡

「『……………♡』』』」

あゝ♡ウォースパイトのエロい色っぽい声で辛抱堪らん♡令司君♡それ、いつけくく♡

「くくくく?!?!あんっ♡はあ…♡はあ…♡しきかんくく♡ん♡食べてくれて嬉しい♡…♡ツツ?!?!イヤゝゝゝゝツツ♡アツ♡アツ♡ヤゝゝゝツ♡」

「うぐおくく?!?!ルイス!?ちよつ?!締め過ぎ!締め過ぎ!」

ルイスの背中にオイルちよつと垂らしたただけなのに…。なにこれ

？締め過ぎいゝゝふう…。よつしや♡ズツコンバツコン大騒ぎし  
ちやうゾ♡

「んゝやゝゝゝつ♡あんっ♡お…兄…ちやゝん♡んむちゆ♡んゝっ♡  
んゝっ♡」

令司達はこんな感じでオイルマッサージデートをした。演技では  
ない。オイルマッサージの効果出過ぎでわ？

休憩を挟み、ちゃんとシリアスの朝食（天城とシリアスの媚薬たっ  
ぷり含まれている）を食べた。

食べ終わって数分後に、シリアスにサキュバスマッサージをして  
貰った。天城も途中参戦。令司の口はみんななどのキスで塞がったの  
だった。理性？何それ？美味しいの？

令司は全身媚薬塗れ、エロ嫁達はオイル塗れとなった。令司含めて  
全員の肌は、ツヤツツヤのモチモチに。オイルマッサージ終了後、  
全員、全裸のまま、海を眺めながら会話を楽しむのだった。まあ、主  
に海の生物についてだったりするが…

◇

令司達を見送った後の話

「アアアアアアアアアアアアあゝゝゝっ♡♡♡やっちやったゝゝゝ  
ゝああああああ♡♡♡」

「あゝゝあゝゝ。ローンだったら…。壊されないように作り直して良  
かったわ…。ゴクゴクゴク…。ぷはあゝゝ…。けぶっ…。あっ、おっ  
まみなくなっちゃった…。何処だっけゝゝ？」

「ヴェスタルゝゝ？頼まれ物を持って来たにやゝゝ。って、ローンが  
顔真っ赤っかになつてて両手で両目を隠して勢い良くゴロゴロして  
るのは何でにや？」

「指揮官様をドエム基地に送る為にローン自身の船を出したのよ…。  
エンタープライズもホーネットも出したそうにしてたわ…。まあ、迷  
惑にならない所で出して饅頭達とメンテナンスしてるんじゃないか  
しらっ？」

「他のみんなも顔を真っ赤っかにして晒し出すかモジモジしてた所

で、ローンが…はむ…。まっはきにぐくん…。出したのよ…。デートに選ばれてた連中はニヤニヤしてたわ…」

「ヨークタウン。そっか…。照れてるんにやね…。「うぐっ?!んん…。Zzzzzz…。…」だからエンタープライズとホーネットは明石の船を数隻、全裸土下座で頼んだんだにやね。で?ヨークタウンとヴェスタルは出さないの?」

「VRのヨークだけの指揮官様に沢山汚して貰って満足してますから…。現実の指揮官様に船を晒し出すなんて♡それでメンテナンスなんかされたら♡イヤん♡死んじやいます♡」

「えっ??ヤダヤダ!!工作道具、見られたくない!!あああ明石は、どうなのよ?!出せるの?!」

「ジョッキをドンとするにや。出せるにや♡自慢の工作道具でピカピカに磨き上げられてから沢山汚して貰いたいにや♡あゝ♡優しい手付きで磨き上げられて行く感触♡堪らんにやゝゝ♡にやゝゝ♡」  
「ええ?そうなの?クネクネしながら言わないでよ…。ゴクゴクゴクゴくん…。うう…。ううゝゝ!」

どうやら、ローンと言う名の船は、ローン自身にとってメチャメチャ恥ずかしく?死んじやいたい位の、魂みたいなモノなのかもしれない。令司にデレツデレだから最初に来たのかもしれない…

令司、愛されてますぜ♡ローンの船、オイルなどで沢山汚してやれ

♡

◇◇◇

☆☆☆

令司達がオイルマツサージデートを堪能しながら向かっている頃の咲耶達は…

「「「……………」」」

「「「……………」」」

「その…。青葉と川内…。あつ、はい…」

「……………。青葉と川内?映像通りに跨って遊んだのね?沢山、沢山ね?」

は、初めてが逆レイプ…だなんて…。素敵な男性が存在してたのね…。令司様、手で搦って舐めさせるなんて…。♡ガチイキしつ放しになっちゃったじゃない♡キスしながらシてるのもあるし…。嫌な顔どころか笑顔で楽しんでる♡最高過ぎるわ♡

「……………はい…。すつごく気持ち良かったです♡あつ、同意してますですよ?!映像通り、オープン基地の青葉と川内に沢山煽られました。令司様に沢山、両胸を揉まれました♡気持ち良かったです♡」  
「そ、そうなの…。良かったじゃない♡」

煽られてノツて、オープン基地の青葉と川内と抱き合って交流して  
るじゃない…。交互に沢山出し入れされてるし♡羨ましいわ♡私も  
妹の咲希とコレ、シタいわ♡あゝ、サキ母さんも撒き込もうかしら  
♡お願いすればヤツてくれるかしら?!

令司様は乳首を舐めまわされるのに抵抗がないようだし…。そう  
よっ!ずくずくとサポーターを着けてないっ!男性ならサポーター  
は外さないわよ?!?!教科書でそう習ったわよ?!規格外ね?!

理想的な体型。それで素敵な清楚ビッチ!!あゝ♡私の身体、隅か  
ら隅まで楽しんでくれそう♡ローン様からどストライク判定貰った  
から間違いないわ♡駄肉が好きとか、自信持っていないのかもしれない  
わね♡パイ本、何処にしたかしら?!

夜通し見続けていました。いつの間にかみんな全裸。真つ赤つか  
でゆでダコ状態。みんなから『ポフィン』という効果音が鳴ったのだつ  
た。床に湖が出来ていた。この基地にも饅頭達がいるが積極的に掃  
除をしない

エロいアイマスクは外している。黒い瞳をしている。令司?オツ  
ドアイとか魔眼とかそういうのはなさそうだよ?ハイライトオフな  
ヤンデレモードがメチャメチャ似合いそうだぞ♡

「あのおゝゝ?みんなの下半身が落ち着いた所なんです言います。咲耶  
指揮官?今更ですが、高雄達がオープン基地に向かってお迎えするべ  
きだったのでは?もう、こちらに向かつてる最中だと思うので、向か  
いませんけど…」

「んっ♡んっ♡ふくっ♡そうだったわね…。高雄は知らないか…。

オープン基地内に到着するのは不可能よ？お迎え出来ないわ…」

「えっ？不可能？そうなんですか？場所知ってるから簡単に行けますよね？」

「そうよ？知ってるじゃない？でも不可能よ。演習相手として、クリーブランド、アークロイヤル、プリンツ・オイゲン、ビスマルク、綾波、神通に行つて貰った事があったのよ？」

「ええ…」

「そろそろ着くわねって所で、見えない壁に阻まれたんだって。写真や映像を残して貰いたかったんだけど、故障しちゃったんだって。他の基地も同様だって。砲撃とかして開けて入ろうとしてもダメで、矢や砲撃の玉とかが全部素通りだって」

技術凄すぎるわよ…。絶対入ってくんじゃねえよ！って感じるわ…。触ったらビリビリしたって言うし…。ダメージ入ってないのに服が溶かされたって言うし…。エツロいわ…

「ええ？そんなことが…？」

「でね？見えない壁の向こう側に、真つピンク色の霧があつたんだって。母港の全体像とか見えなかったんだってさ」

蜃気楼？って奴かしら？流石、元帥達の中で一番上に君臨している基地よねえ…。そこで指揮してるのが数少ない男性の令司様♡赤ちゃん部屋がギョルんつてなっちゃう♡

「うん。そう。それで帰って来た綾波が、ラフィーの部屋に勢い良く入って来て覆い被さって来たの…。すぐく発情してた…。泣いて気絶させてって言ったから気絶させた…。だからまだラフィー新品…。綾波も新品。ぶいつ」

「どうかしてたです。ラフィーの練度が高くて良かったです。気絶させてくれてありがとうなのです」

「あつ、それなヴェスタル、知ってます。演習に選ばれた全員、ラフィーと同じ状況になりましたからね…。姉妹や仲の良いKANSENに気絶させられましたね…。神通は…」

「えっ？ああ、俺と那珂、夕立と長門、陸奥、江風、妙高で抑え込んだよ…。明石に観て貰った結果は、全員、新品だった」

「青葉は翌日の青葉新聞に、この出来事を載つけましたからねえくく。ビスマルクはティルピッツが籠った部屋の前で1日中、全裸土下座で謝り続けてたからね…」

「ええ、そうね…。アークロイヤルの首吊り大事件の真相はコレよ…。熊野が見つけたから未遂で良かったわ…」

「掘起こさないでくれ、閣下…。ううくく」

「ヴェスタルが治してあげたんですよねくく。対価として少し遊んで貰いました♡ヴェスタルとアークロイヤル、両名しつかり新品です♡」

「あくく…。うん…」

「このメンバー、ほぼ被害者と加害者が集まってるわ…。良好で良かった…」

ティルピッツが1日中籠ってた理由は、オ♡♡だったんだけど…。言わない方が良いわね…。器用に避けてスルのね…。興味無い雰囲気醸してたのに」

ビスマルク：、咲希に盗られてたわよ…？あつ、私の基地のビスマルクの名前も叫んでたからドロドロねえくく？出てきた後、ビスマルクは気絶したわね…。ティルピッツと一緒に入渠して貰ったけど…

「で、1回だけじゃ分からないから、3回分。18KANに行つて貰ったら、同じ結果が出たの。だから不可能って判断したの。他の基地もそうよ…。元帥の判断もそうだったし…。だから、まあ、お迎えは無理ね」

「あくく、愛宕が涙目で襲ってきたのはそう言う事だったんだ…。翌日、気持ち悪い位に機嫌とりしてたわ…。後、剣道でボロボロにしてって言ったし…。ボロボロにしたけど…」

「そんな報告書出されてないんですけど？そう言えば、キリがないからしくて良いつて過去の私が言ったわね…。それで大分、書類減つたし…」

「あくく？ちよつと良い？」

「ホーネット？何かしら？」

「青葉と川内がオープン基地内に入れた理由って？青葉と川内は北方

連合の食堂で初体験してるじゃない？可笑しいでしょ？」

「そうね。説明お願い。で、演習会場に出来ない理由とかあったら教えて？書類出しても無視だし…」

「はい。オーブン基地に指揮官のプロポーズ書類を届ける連絡を入れてから向かったからです…。『演習じゃないんですね？演習じゃないんですね？』って散々確認されましたよ…。『いつものです』って言ったら『了解。解除しますね』って言われました」

「『ええ？』」

書類などは許可、演習だけ？拒否か…。演習場がモノ凄く荒れて、轟沈しちゃうのかも…。演習で轟沈判定以上で、本当にお亡くなりになって欲しくないし…

「演習会場に出来ない理由は教えてくれなかった。会場見せて貰えなかったし…。行こうと思ったら身体が動かなくなったし…」

「『ええ??』」

「ドンパチやってるのは聞こえたけど…。凄く激しかったよ…。で？  
咲耶指揮官？」

「演習場としてそもそも使わせる気が無かったのかもね…。ゴクゴク…ぐくん…。…んっ？川内、何かしら？」

「時間？大丈夫じゃないですよ？もう直ぐ到着しますよ？」

「うえ？あっ?!あゝゝっ?!ちよゝゝっ?!令司様を先に待たせるとか、終わってんじゃない?!映像と見えない壁の解説し過ぎたあゝ?!向かいますゝゝ!待ってないでゝ?!」

「あつ、ちよつと?!指揮官?!秘書KANの誰かを連れて行かないと…。ああ、もうホーネットが行くわ！」

「咲耶指揮官らしいですね…。アイマスク忘れてるし全裸だし…。令司様に嫌われに行くのかしら？」

「その時は、高雄がいっぱい遊んであげないとね？指輪持ちなんだし…」

「川内？関係持っていないですよ？新品です。これ、令司様にあげるんですよ…。後、指輪は左手じゃなくて右手ですから…。誘われませんし、誘いません♡」

「あはは〜。えつと？ラファイーと青葉？さつきからガサゴソしてるけど盗聴機を使用する気です？」

「うん。そう。オープン基地の青葉と明石によって高性能になったからね？ポチつとな」

☆☆☆

盗聴してるので全て『』で表記にします。そして全て佐久間咲耶のセリフのみでお送りします。咲耶、おめでとう♡令司は元気です♡

『はあ〜。はあ〜。間に…あつた〜。島風、雪風、夕立、時雨とスキンシップとして追いかけてっこしてて良かったわ〜。ホーネット、来てくれたんだ？ありがと』

『あつ?!アイマスクするの忘れた?!持ってないんだ？良いよ良いよ。戻ってる時間な…うわ〜つつ?!?!あつ?!すすすみません！皆さん、初めまして。ここ、ドエム基地の指揮官をしている佐久間咲耶です。こっちはホーネットです』

『ほえ?!?!女神様？か、超一流グラビアモデル？幾らお金を積んでも会えない？』そ、そんな事無いですつてえ〜。令司様の方こそ、幾らお金を積んでも会えませんか。超一流グラビアモデルなんですから…。嫌われ軍生活をしていて駄肉で拗れ処女な私のプロポーズ書類を、受け入れてくれるなんて〜』

『?!?!皆さん、何で驚いてるんです？えつ？『綺麗な黒い瞳してる？魔眼やオッドアイ？を期待してた』んですか？ファンタジーな眼なんか持ってませんよ。『ヤンデレモードが似合う？』…えつ？『よっしゃ〜?!キタコレ！』…?!?!あつ、ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい…』

『うへっ?!ホーネット?!なんで背後に回って拘束するの?!セントルイスに何を耳打ちされたの?!KANISEN達に力負けするって知ってるよねえ〜?!?!』

『へっ？令司様が何を考えているのか？『咲耶をドロドロのグチョヌチヨに愛し抜きたい♡』ですけど…。うえ?!ええ…、準備マンタンですけん♡♡んむ〜♡♡れちゅ♡ちゆるる♡ん♡?!ん♡ん♡ん♡つつつつ?!?!ん♡♡ん♡♡?!?!』



『んぷは…。れいししやまゝもつとチュゝしてくらひやいゝ  
♡ええ？しあわせなイタみでしたよゝゝあゝゝしよんなゝゝ♡  
ほーねつとといちやいちゃするんれふんかゝゝあゝゝ♡てつらい  
わふゝゝ♡もぎゆもぎゆ♡ぴんぴんじゃなゝゝい♡』

『れいししやまとキスして繋がって良いなゝゝ♡シリアスになんかに  
ゆられたゝゝ♡ぼわぼわするゝゝ♡わた…』

「「「うっ…。立派になって…。おめでどう♡沢山汚されてね♡赤  
飯炊こう♡」」」

「あつ、そうそう。これって基地全体に発信されてるの？」

「高雄の疑問点ってそのなの？発信されてますよゝゝ♡これで、青葉  
が作る青葉新聞ネタ頂きましたゝゝ♡咲耶のお母さん。サキさんに  
伝えられますよゝゝ♡」

「サキさんかゝゝ。ヴェスタルの遊び相手ね♡仲間呼んで貰って久し  
ぶりに遊びたいわ♡」

「ヴェスタルの遊びって実験の事でしょ？ラフィーも沢山実験された  
し…」

もう一度言おう。佐久間咲耶。おめでどう♡見事に2コマ墮ちし  
ましたね♡令司の思考が読めちゃう？からエロいアイマスクをして  
た可能性がありますね？令司は隠し事が出来ないかも…。咲耶が特  
殊体質って事も考えられますね…

令司の令司君は、元気いっぱいドエム基地内のみんなを沢山鳴か  
す事でしょう。張り切り過ぎに注意してね？多分そのストッパー役  
にオープン基地から選ばれしエロ嫁達がデートをしに来るのでしょ  
う

……えっ？はっ？

ドエム基地に向かう朝まで、人間に似せて貰ったセイレーン達とイチヤイチャラブラブして鍛え抜いた。オイルマッサージの技術も上げて貰った。3人はバッチリ男の子を仕込まれました

魔改造メイド服（谷間♡マーク、パイ穴見放題）を着たクール美女なジャン・バールから異世界転『生』初日に、出会ったヒロインと宿屋での朝のテンプレな言葉を笑顔でエロく言われた。ジャン・バール？ハジけ過ぎでわ？

令司達の後始末はいつも通り、饅頭達がする。ありがとうございませ

恋人繋ぎをして母港の何処かで待っているエロ嫁達と出会うまでデートを堪能するジャン・バール。ジャン・バールの下半身は大洪水でいつでも襲って♡な状態だった。チョコロ…ゲフンゲフン…である

船を眺めていたエロ嫁達の中で、いち早く令司に気が付いたのはユニコーンだった。そこからみんな一言二言言った。みんなの格好がドスケベで眼福な令司である

移動手段は海上スケートではなく、みんなが眺めてたり、触ったりしていた『ローン』と言う船で移動。船を召喚？晒した？ローン本人は顔を真っ赤になって興奮していた。何故だい？

談話室でしょうか？で、悶えていて勢い良くゴロゴロしまくるローン。家具壊れちゃうよ？それをオカズにお酒を飲むヴェスタルとヨークタウン。そこにヴェスタルに頼まれていたモノを持って来た明石は、ローンに何かを注射して眠らせた。幸せな顔をしている

そこから談笑？猥談？をする3人。どうやら自分自身の船を晒すのはかなり勇気？がある事だったらしい。明石はメンテナンスされたいようだ。令司、時間を作ってしっかりメンテナンスしてやれよな？指揮官なのに整備員の仕事をやる事になる？ワケワカンナイね？

令司が作ったオイルにはどうやら危険生物の油などが使われているようです。危険生物とはどんな何でしょうね？海？陸？空？どれだい？で、みんな蕩けた顔をしてマッサージを期待している。腕の見

せ所ですね！

オイルマツサージを開始してすぐ発狂絶叫。みんながそうだった。危険生物の油などの効果でしょうか？効き過ぎですね〜？ノリノリでマツサージを進めるので、エロ嫁達みんなの下の口は、ドロドロのグチョグチョお馬鹿さんになった

令司の心などが潤うし、エロ嫁達はデートと処理を同時に出来て幸せ。WinWinなのだ。令司は魔性スキルを上げている感じだった

マツサージデートをしてくれたお返し？としてサキユバスである天城とシリアスが、サキユバスマツサージなるモノをしてくれた。どんなだったのか？

『令司君は大丈夫です！』と、何処その某3番艦の真似？をエロエロ顔で言うR-18な状況でしたよ？お互いの肌はツヤツヤのモチモチのスベスベになった。元氣過ぎます。令司はしっかりミイラになる筈なのに…

そしてシリアスの朝食を大鳳の口移しで食べた。朝食を食べる前に、エロ嫁達みんなにバッチリ仕込んだ。朝食後、海や空の景色を眺めながらドエム基地に向かうのだった

眺めている時の令司達の手は、お互いのお尻を撫で合っていた。もつと説明しろ？令司が真ん中で両手を使っただけですけど？エロ嫁達が制限時間を設けて代わってましたね…。令司達の服装？全裸だよ。全裸

ドエム基地に到着した令司達。服はしっかり着た。セーラー服や着物、ドレスなど。それぞれの正装をね？令司は真っ白な軍服姿に。両肩に元帥と分かる紋章が縫われていた

長である佐久間咲耶の姿は無かった。女性は男性より早く集合場所に到着していないといけない世界なのに…。咲耶、ドンマイ

それとエロイアイマスクを付けない上に全裸でお迎えだなんて…。書類を手伝ってくれたKANISEN達とドスケベの予習をして忘れてたんですね？

『まだ到着してない。良かった』と、思っている咲耶は、後追いした

ホーネットと軽い雑談をする。そんな時、令司はサプライズとして背後から咲耶の右肩に手を置く。お互いオーバーリアクションをとる。そんな様子を見たエロ嫁達はクスクス笑うのだった

令司は言葉にはしてないが、心の中で叫んだのが咲耶の口からポロリと溢れた。試しに何度か強く思ってみて、思った事を喋る咲耶。エロいアイマスクをつけている理由はこれなのかもしれない

お互い一目惚れ。耳打ちされたホーネットと協力して咲耶と初夜をする。咲耶あゝ、ベットでなくていいのかよおゝ！と突っ込みた。突っ込んでる場所は違うけど

大洪水だったようでサクッと受け入れて幸せな顔をして幼児退行を起こしました。清楚なお嬢様は何処にいったの??? 貴女、キャラブレブレじゃない?

耳打ちされて協力していたホーネットも直ぐ攻略した。RTAする気かい? イチャラブ中に、咲耶は立派に育てた美爆乳を令司の背中に当てて来るのだった。エロく泣いて甘えて。右耳、犯されました。ゾクゾクするのだった

盗聴していた青葉達は顔を真っ赤にしたまま赤飯の用意をしに食堂へ向かう。それと盗撮してるんでしょ? 後でナニするのか?

令司達? 盛ってないで早く食堂に向かいますよ? 咲耶のエロ? 部下達が赤飯炊いて待ってますよ? しつかり食べて、お突き愛をしましょ? アンアンイワスゾ海峡を攻略しますよ? いや、ギシギシアンアン海溝? ラブール峡? 名前はいつでもでもいいですけどね

☆☆☆

「…ホーネット? こんな狭くて見えづらい道を通った覚えはないのだけれど? 草、邪魔ですわあ」

「大鳳…。大鳳達が演習で来た所とは別の道で案内してますからね…。近道なんですよ…。んあつ…。溢れて…」

「獣道って奴よ。裏道とも言うのかも? この獣道で沢山盛りたいのよねえゝゝ? 良くこらして見ると穴が沢山掘ってあるし。スポットなのよねっ?」

「あつ、少し前まで盛っていた形跡がありますね(2組?が交姦してましたね…)」

「セントルイスに天城…。まあ、その…。はい…。時々利用してます…。(用足しだけどね?)整備員達も利用しますね。(こっちは沢山のカップル?が盛ってますよ…)あははは…」

「整備員達がいるんだ?ユニコーン、初めて来たから良くわかんない」「そうなんだ?あつ、整備員達は皆さん、女性です。普通は男性なんか軍に所属なんかしないんですけどね?女性嫌いですし。なのに…。令司様は規格外過ぎですよ?素敵っ!また、抱いてっ!」

「そうでしょ?あゝゝ、整備員達と早くOHANASHIしたいわゝゝ」

「あはは…。そうそう、この食堂しかないんで整備員達も利用します。今の時間は整備員達は居ません。もうすぐ抜けます。抜けると食堂の裏口が見えるよ」

「誇らしきご主人様。見え…。あはっ♪頑張り過ぎです♪」

「はあ…。はあ…。シリアス…。ありがと…。…くっ」

「令司様ゝゝ♡好き好き好き♡大好き♡あつ♡愛します♡あつ♡あつ♡んちゅ…。一目惚れでしゅ♡んあつ♡締めましゅゝゝ♡私を…咲耶を捨てないでゝゝ♡んれ♡れるれるれちゅむん♡」

「指揮官?鍛えてて良かったね?後、咲耶が勝手に堕ちていつて良かったじゃない。オイルマッサージ気に入ったようだし?3箱使い切るとかブルっちゃうわ。ウォースパイト含めたみんなマッサージ中に1度は寝たというのに、咲耶は寝なかったのよね…」

「んはゝゝ…。うあ…。ウォースパイト。そう…。だな。この体勢でのプレイ沢山してて良かった…。うっ」

「ゝゝゝゝゝゝツツツ?!?!ゝゝゝゝゝゝツツツ!!!」

ふうゝゝ…。ウォースパイトもこの体勢でされるの好きだったよね?おうおう…。俺だっって一目惚れだよ。締まり良くて気持ち良過ぎるのを捨てるもんか!咲耶はキス、好きだねゝゝ?

初めてだったのにメキメキと上達しちゃってさゝゝ。教えてないのに見つけてくんの…。逆転世界の女性って凄いな?奉仕体質なの

かなあ〜？

サキユバスのコスチューム着て貰ってプレイしたら、令司君はどんな感じになっちゃの〜？本物が居るけどさ？別腹ですぜ？

俺の息子達がグチャグチャになるの分かるわ。イメージすると超高級店の店員さんなんだから。手を出すなんて不可能な美人なんだぜ？諦めつきそう。でも、俺のドスケベエロ嫁なの。ひゃっほ〜！

オイルマッサージもしつかり出来たし。ずっと絶叫してたみたいだけどね？気持ち良くてガチイキしつぱなしだとき。天城談。尻尾での応援ありがとね？

整備員達が居るんだ？オープン基地には居なかったな…。工場に行ったらいるのかもね？オープン基地、バカ広いから工棟が有りそう…。貰った地図に載ってなかったよな？別の地図に載ってるんだな…。うん…

整備員達と仲良くなってしつぽりするか？咲耶がどう思ってるかだけど…。大鳳？どんなお話をするんだい？後ろ姿なんだけど、なんか黒い笑顔を浮かべてるのが分かるぜっ！

あつ、そうそう。男女の腕力は逆転してないっぽい。力が逆転してる世界観を書いたエロ小説あったと思うんだけど違ったよ。数が少ない男性の腕力はどうなってるんだ？女性達に負けちゃうのか？…：…：その内、会えたら良いなあ…

メチャメチャ敏感肌だった。咲耶だけかもしれないけど…。うむっ。お風呂でドスケベエロイベント有ればいいなあ〜。お風呂場どうなってるんでしょ？

「多分、咲耶指揮官とホーネットのプレイ、盗聴されたので赤飯が炊かれていますと思う。後は、アレの準備をしてるかも」

「「「「「???アレ?」」」」」

「~~~~~っ!~~~~~っ!」

「ふ〜っ。咲耶、気持ち良かったよ。って、気絶してる…」

あ、そうだ。す〜は〜す〜は〜は〜は〜

咲耶ってエロゲー声優が天職じゃね？っと思える声で俺を墮とし

て来てんだからな?! 自覚ないの?! 耳孕んじやうから! ねえ?! イチャイチャしてた時、凄くイライラギンギンさせられたんだからね?!

というかサキュバスの血が混じってるんでしょ?! そうだよな?! 母親のサキさんと出会ってそこんところどうなのか詳しく聞きたい! で、サキさんとイチャイチャしたい! サキさん、咲耶以上に美人さんだと思っし! 妹さん、2人も仲間外れにしたくない! 家族丸つと愛します!

ステイステイ。心の声、早口だよ? 咲耶に催眠術を掛けられたのかい? 解けないの? 本物のサキュバスと沢山イチャイチャしてるじゃん? と指摘したいね。サキュバスはそういうの超得意じゃん?

「指揮官君、お疲れ様。お姫様抱っこで食堂へ向かいましょ?」

「あゝ、そうだな…。よい…しよつと…」

ようやく治まった…。セントルイス…。手で掃除してくれたのを器用に下の口に…。エツロロ

あゝ、そういやサキさん、母親なのに処女って書いてあったな…。人工の受の精の方か? で、体外が主流か? サキさん、長女の咲耶を立派なメスにしてやりましたよ

サイテーですけど、サキさんも一緒に堕ちませんか? イケるんで! オツケーな世界だと思うし? これで一夫一妻はイケナイパラダイスでしょ?

清楚で黒髪ロング美爆乳お嬢様、中身は淫乱M属性どビッチ! 最高! ありがと! 愛してる! あつ、そうそう。右目の側に黒子があるってなんか良いよね! ねっ! サキさん、産んでくれてありがとごさいます!

まだ催眠状態?…で、建物が見えて来るまでハッスルしたと…。交代した感じは無いんだよなあゝ。咲耶、体力お化けかい? 元気いっぱいな駆逐艦達と遊びという名のスキンシップで鍛えたから?

サキさんに出会えたら良いねゝ? 青葉が連絡を入れたので、いずれすつ飛んで来るんじゃない? ホーネットの言うアレとは何なのでしようか? 食堂に着いたら分かるかな?

令司達はホーネットのけしからん紅葉マークが付いてるお尻を見

ながら、後を追って食堂へ向かうのだった

ふと来た道を振り返って地面をチラツと見た令司。沢山湿っていて、白いのと黄色いのが混じった水溜りも沢山あった。栄養になれよ？と思ったのだった。…そのままにするんだ？掃除しときなさいよ…

☆☆☆

「お待ちしておりました。ご主人様。元メイド長のベルファストと申します。気絶してお姫様抱っこされてる咲耶お嬢様の下の口に、コレを付けさせて貰いますね？」

「メイド長のニューカッスルです。拗れまくりの処女の咲耶お嬢様を、メスにして下さりありがとうございます。ニューカッスル達もこれで捧げられます。よろしくお願いしますね？」

「「「「あ〜〜」」」」

「あつ、はい。こちらこそ、よろしく。ベルファスト、ニューカッスル。2人とも美しいよ」

「ありがとうございます。ご主人様もカッコよくて素敵です♪」

咲耶をお姫様抱っこしたまま食堂に着いて早々、ベルファストが満点花丸な笑顔で貞操帯を振り回してるんだけど？かなり嬉しい出来事なんだね？2人とも魔改造メイド服着てる。ありがとうございます。眼福、眼福

エロ嫁達はなんか納得してる。貞操帯Ⅱパンツなのかな？なんかエロい模様してるよ…。エロいアイマスクといい、エロい貞操帯といい。エロに特化した世界なんだな…。令司君は毎日幸せですよ。枯れないでくれてありがとう

ニューカッスルは笑うんだね？笑顔、素敵だよ。今度、時間があつたらニューカッスルに笑顔の練習をして貰っていい？無表情と笑顔を使い分けて欲しいんだよ…。声色は文句無し！

おうおう。ニューカッスル、笑顔でゆっくり捲っていく行動、令司君に効いちやいますよ？あら、準備出来ちゃってるよ…。ごくり

「あらあら、咲耶お嬢様にたっぷりありがとうございます。ササつと



着けて…。出来上がりです。んっ…。ご主人様？」

「おっと、すまん。右手が滑ってしまった。素晴らしい桃尻してるね。何度でも揉んでいたいよ…」

「んあ…。令司様は流石ですね？ベルファストとニューカッスルに早速アタックをするなんて…。…っ?!はあんっ!!!…っ?!?」

わあい。俺の右手、オープン基地のベルファストと同じようにガッツリ、桃尻揉んじやったよ。左手はニューカッスルの下の口の中に自然とね？エロい声出しちゃって…

チラッと見えたけど、ベルファストって、咲耶に取り付けた色違いのを穿いてるんだね？似合ってるよ。結婚指輪は右手も左手もしていない。だからなんだ？なんだけど…

左手薬指に付けてるのいるのかわくく？うーむ。もしかして右手薬指が一般的なのか？筆頭秘書KANの高雄だけ指輪してそう。高雄と会ってないね？まだ仕事中心かな？

高雄は厨房で料理を作ってますよ？令司のいる場所じゃ見えませんがね？愛宕も手伝ってます

「いえいえ。ご主人様のお誘い。ノリますね。かなり溜まっています。大鳳達は赤飯を食べてリラックスして下さいませ。ご主人様に食べられて来ますね？不束物ですが、可愛がって下さいませ。百合の経験もございません」

「二二二いただきます。楽しんでね？」  
「お、おう…う…よろしく。ベルファスト…」

なんか発情しちやっただけど？両目♡マーク浮かんでる…。強引にセクハラをするのが正解って本当だったんだくく？

おう。いつの間にかエロい貞操帯が脱げてる。鍵無しなのに、どうなってんだよ…。まあ、いいや。メスフェロモンダダ漏れになった…。ごくり…

「くくくくく。んちゅ…。ふふ。はあむ…」

ベルファストの発情スイッチをうっかり押したようです。鍵無しエロい貞操帯が何故か脱げて、交尾出来るようになりました。メスフェロモンをプンプン漂わせています。召し上がれと叫んでるよ。

良かったね？

フタつちやんじやない。まあ、フタつちやんでもゴールしますけどね？ビスマルクとテイルピッツとザコつちと、しつかりゴール決めてるし。人間のふた女性達？とも簡単にゴールしてパクパクするんじゃない？

キスをしてから右耳にボソボソつと喋った後、耳たぶを甘噛みしたベルファスト。何を喋ったんでしょ？固まっちゃったよ？ファーストキス頂きました

「……………えっ？はっ？」

咲耶の卵に種がゴールインしてデキちゃったの？初夜なんだけど？濃い沢山吐き出したと思うけどさ？分かるんだ？それで3日後にポーンつと？ほお〜

逆転世界の女性の身体って不思議がいっぱい詰まってるんだね！男の子だったら良いね？女の子は咲耶に似て可愛く美しくなってるんでしょ？

成長スピードはどんななのか知らないけどね？KANISEN達と構造違うし…。…だよ？そうだよ？見た目、小学生から短期間で成人になったりしないよね？ね？まあ、そこんところはど〜と構えておくけど…

どうやら咲耶はデキたようです。おめでとう！初夜でデキるとは思ってなかったようですね？エロい貞操帯は、令司の種を一滴も漏らさず卵ちやんを逆レイプし続ける為か？

卵ちやんが『あんっ…。…もつと…もつと責めてえ〜っ！んあぁ〜っ！』的な事になってるかもしれないですね？えっ？それって逆レイプじゃなくてレイプって言うんじゃない？って？

ここは貞操逆転世界。逆レイプが正解。男性から女性は逆レイプ。女性から男性はレイプ。ややこしい〜！って事を、令司は知ってるのかな？多分、知らないだろうな〜…

数が少ない男性の貴重な？種を無駄にしない為に繁殖力？がモノ凄く高い？のかもしれないね？令司は1つ賢くなったね？

咲耶だけじゃ分からないので、検証として整備員達ともすれば分か

るのでは？子宝の男神様になりましたよ？励みまくって男女比の比率を変えていきましようね？息子達も同様に励め！

大鳳達は1つのテーブルに集まって、もくもくと赤飯などを食べるのだった。お酒を出されていたがみんな一滴も飲んでいない。何かが入ってるんでしようね？飲めないメンバーではないから…

えっ？咲耶はどうしてるのかって？まだ幸せな顔をして気絶してますよ？起きないんじゃない？

「…ぐ…：…人…：…う…ぐ…：…し…：…様…：…ぐ…：…主…：…様…：…ぐ…：…主…：…人様？ご主人様？…：…えいつ」

「おわっ?!んむっ」

ボーツとしてたわ…。Oh…。口と両手が幸せ…。もぎゆもぎゆするの止まんね…。キスの味は無味ですね？これが普通でしようよ…。美味しい…

エロ嫁達が特殊なんですよ？原初とかそんな言葉が咲耶の書類に書いてあったし…。そうなんだ？で流したよ。本人達に聞く気ないし、喋る気もなさそう出し？

「うふふ。楽しいって伝わって来ます。シリアス。こつちに来なさい。では、行きましたようか」

うむ…。むちましい。けしからん。あっ？ちよ…ちよつと？両足を持つてるのと令司君を持って狙いを定めてるのはだあ…っ?!

かなり溜まってる宣言を出したベルファストとキスをしながら美爆乳を堪能。そして強制的に繋がるのだった。強制サポートをしたのは誰なのか？ニューカツスルとシリアスでございます

咲耶あ…？起きろ…？夫が部下で元メイド長のベルファストとハッスルし始めちゃったぞ…？何か言わなくていいのかあ…？ダメだ、起きねえ…。結婚式を挙げてないけど？もしかして、パコるのが結婚式って事かい？

☆☆☆

赤飯などをおかわり3杯して満腹になったエロ嫁達。バチバチ音

とピチャピチャ音が沢山鳴っているヤバイ?のを見たり、ドエム基地の自分達を観察や会話をするのだった

位置関係はテーブルを挟んで向かい合っていたり、右隣や左隣にいたりなどなのである

オーブン基地内では当たり前?な光景ですけどね?ドエム基地の皆さん、食事のスピード遅いですね〜?予習した筈なのにね?

「お兄ちゃんとの気持ち良いよね。ベルファスト、涙目になってる…。：へえ?こつちのゆうちゃんはオスなんだ?番はいるの?ユニコーン?」

「あむ…。ごくん…。番…。3頭いる…。沢山子供いる…。ゆうちゃん、娘達ともヤツてる。後、息子ちゃん達は嫁が2頭いて、交換してヤツてるの。んぐん。今度、ゆうちゃんの仲の良い未亡ちゃんが、ゆうちゃんの1頭の嫁が2日間ずっとヤル計画立ててるの…。薬はもう用意してあるの」

「ふ〜くん?そうなんだ?」それで…。ヤダよ?ユニコーンのゆうちゃんを、そつちのゆうちゃんと未亡ゆうちゃんに会わせないから」

「…うん。分かった。こつちだけにしとくね。書類にそう書いてく…。…ご馳走様でした」

「シリアスにサキユバスの尻尾は生えてないんですね?後、髪が短いですね?髪の毛の色は一緒ですけど…。元メイド長のベルファストの実演をじっくり見えますね。もじもじしてる」

「シリアスだったら尻尾で支援するわよね?シリアスの髪は切ってもすぐ伸びるのよね?…はあ…。オープン基地が異常なのだと分かるわ…。ここの天城は弱ってるみたいだし…。加賀と赤城に世話されてる…。世話された事ないわあ…」

「あら、ほんとね…。天城…。ここのルイスはお酒好き。個性出てるわね〜。ルイスも飲めるけど、ここのルイスのようにはならないわ…。：天城の病気?は治るのかしら?咲耶指揮官や明石、ヴェスタルが頑張ってるって、ここのポーラから聞いたわよ?」

ここのセントルイスのようにならない…。…色んなKANISENの背後に回って首筋を舐めている行為

舐められているのは主に軽巡達である。またやっつる。な雰囲気で受け入れられている。オープン基地のセントルイスは、この行為を1度もしていない。令司にはしてるけど

「指揮官様の特効薬で治るんじゃないかしら？興味ある感じだし？ポーツと見てるもの。加賀も赤城も。サキュバスとして応援しないかね？出された媚薬入りのお酒に、サキュバスのキツイ媚薬を混ぜて飲ませましょうか♪うふふ。幸せになあれ♪」

「危ない奴じゃない。匂いだけでどうにかなりそう。天城、最狂のサキュバスの1人だつて自覚ないでしょ？楽しくならないで？やめて？ルイスで実験しないで？フリじゃないわ！」

「指揮官様の言う通りでしたわあ〜。ここの大鳳はアルバコアのサブライズで気絶してますわ。ハグで仕返ししないのね。あつ、シリアスとニューカッスルとイチヤイチャし始めてますわ…」

「お兄ちゃん。シリアスと口移しで食べてるね。で、ニューカッスルと繋がつてると…」

「その…。ウチの陛下と戯れてくれてありがとうございます」

「いえいえ。発散出来るのでこちらこそありがとうございます。椅子になるくらいどうって事ないわ」

何か、凄い？会話をしてますね。ドエム基地のみんなは食事が終わったようです

イチヤイチャし終えたベルファストの身体のあちこちに、令司のキスマークが付いている。幸せな顔をして全裸で寝ている。それとエロい貞操帯が穿かされていました

オープン基地の天城は、ドエム基地の天城にお酒を飲ませに向かう。サキュバスがキツイと言う媚薬を媚薬入りのお酒に混ぜちゃダメでしょ？

あー？天城？近づいていったらさ？世話をしていた加賀と赤城の尻尾がメチャメチャ震えていますよ？ジグザグという表現がぴったりきちやう尻尾になっている

2人の狐耳もピコピコ。どんな状態になつてんの？座っている所が濡れちやつたよ？強制発情期にされちやつたか？

天城は無言笑顔で、右手に持っていたお酒を渡し、両手で受け止めた天城は、狐耳を前に垂らしてお酒と天城の顔とサキュバスの尻尾を交互に見て一気飲みをした

「ぶは〜。…かつは!!!!はあ…はあ…。あつ…あつ…。く〜ツツツ!!? はあうんっ!んっ…んっ…。熱い…。こう…び…こうびい〜。んん」

「ビツクリしてるけど、受け入れたわね。自分の気持ちに…。はあい。指揮官様の所へご案…うふふ。赤城と天城、加賀、四つん這いで行つたわね…」

「天城、汚いわね〜。サキュバスの♡マークを舐めて興奮してるんじゃないよ…。もう…。こつちのルイスはずっとモジモジしてるわね〜? 指揮官君に直接指揮されないと発散出来ないかも…。あ〜、早く順番回つてこないかしら?」

「ぐふおっ?!…こらっ!天城く〜っ?!何してくれてんのっ?!んむん…。ちゆれ…。…んはあ〜。よしよし…。たくさん(乳首)吸ってヨシ。そうそう。良い感じ良い感じ。天城い!お仕置きするから来いっ!すまんすまん。(ドエム基地)天城の好きなペースで振つて?」

「はあい!逝きま〜す♪」

「モジモジしてないでいきましょっか?大丈夫よ。指揮官君の指揮は上手なんだから♪服は全部没収ねっ」

サキュバスのキツイ媚薬が入ったお酒を飲んだ天城。と、匂いだけで発情期?に入った赤城と加賀とオープン基地の天城とガッツリ交尾をする事になった。ダブルセントルイスも令司の所へ向かうのだった

整備員達が食事をしに来る時間帯を教えて貰ってなくね?報連相、しつかりしろよ

咲耶は起きません。手慣れている部下達が濡れタオルで身体を綺麗にして、服を着せて食べさせてました

☆☆☆

〈♪キンコンカーンコーン♪〉

ドエム基地の全建物、何棟あるか分からないが、一斉にチャイムが鳴り響いた。整備員達の食堂利用時間のお知らせである。オープン基地にはこんなチャイムは存在しない

「ごっはん。ごっはん。って、うえ〜?!?!……えっ?…えっ?…うそ…。ママママジ?(今日来るって連絡あつたけど。嘘だと思ってただけど?この状況はマジパナいつ!超タイプ!)」

「ふぎやん!いった〜い。急に止まんないでよ〜!何なんですかあ?もう。驚いちゃって〜。……えっ?」

「そうそう。上手になってるよ。セントルイス。んむん…。はあ…。ぐっ…。おいおい…。ルイス?ドエム基地のセントルイスに嫉妬かい?んっ!……舌入れるなんて…。可愛いなあ〜。天城の媚薬は流石だよ。ちよつとしか触ってないのにね…」

「咲耶お嬢様の旦那様じゃんっ!うわ〜!うわ〜!メチャメチャ良いドスケベの身体してんじゃん。雄力高い!超タイプ!流石元帥!オープン基地で指揮官してるだけあるよ!」

令司〜、整備員達がご飯食べに来たぞ〜?早よ気付けつてば〜。整備員達の顔が蕩けてるぜ?超タイプなんだってさ?

「うわ〜。どうしよ!どうしよ!生はヤバいんですけど!咲耶お嬢様に全裸土下座して頼んで漢わさせて欲しい!あつ、鼻血出ちゃう…」

「その咲耶お嬢様はさ?幸せな顔して寝てるんだけど?全裸土下座無理じゃん。無理に起こすとネチネチな手付きで追い詰められるのよ」「経験者だもんね…。発散出来ない身体にされるんだよね…。サツサとご飯食べて、生ドスケベ観賞をしよう?お腹空いたもん。秘書KANの誰かが起こすよ」

「そうだね〜。食べよつか。日替わりメニューは…」

注文しに行く2人。チラチラ令司を見るが令司は気付かない。まあ、そうだよな。気絶していた大鳳が起きてパフパフと下の口を味わっているんだから。赤城達?全裸で寝っ転がって息を整えていますよ?

そろそろと整備員達が食堂に来て同じ反応を取るがサツサと食べ

終える。走って食堂を出る。部屋に籠ってナニするんです？それがお風呂で念入りに身体を綺麗にするんです？

「もぐもぐもぐもぐ。ごくん……。ご馳走様でした。…お風呂、一緒に入ってくれるかなあ？」

「もぐもぐもぐもぐ……。んぐん。ご馳走様でした。どうだろ？出来たら幸せだけど？想像しただけで重イキしちゃった」

「そうなの？あだし、軽イキと重イキのダブルパンチなんだけど？早く起きてよ。腕枕されたいし、喉仏にキスしたい」

「へえ……。ウチはね……。」

食べ終わった2人は性癖でしょうか？を令司をチラ見しながら語る。令司の令司君をお迎えする事は出来るんでしょうか？令司はこの2人の事がタイプなのか？マジで早く気付けよ。エロイベントが目の前に広がってんぞ。後、咲耶お嬢様は起きなさいよ

2人の容姿？あたしさんは、金髪ポニーテール美爆乳ギャル。逆転世界に住んでいなければ絶対、経験豊富のクソヤリマンでしょう。そんなイメージがあたしさんにはある

ウチさんは、茶髪ポニーテール美爆乳ギャル。こっちはネットリ出来そうで出来ない雰囲気醸し出している。心の芯が強いと思うよ。ハラハラドキドキ感を常に感じる事になるね。雄力を磨かき続けないとね？

据え膳。置いてあります。このギャル2人は食べようとしています。これかな？『据え膳、喰わねば女の恥』

咲耶お嬢様が起きるのを待っている。ドエム基地のお昼に来てこれだぜ？令司の生活はこれからどうなるのでしょうか？本当にRTAするんじゃない？エロイベントが大量発生しそうだよ？



レベル高つかうい!!!

ホーネットの案内により近道として獣道を通って食堂へ向かう。この獣道は盛り場である。令司達が来る前まで使われていた模様。令司達もその内に利用するんじゃないかな? 気持ち良いでしょうね  
くく

案内されていても令司と咲耶はずっと盛っていた。どうやら相性抜群のようです。キスを沢山した。キス魔、誕生である

オイル3箱使い切って墮とした。エロ嫁達は、3箱使い切りには耐えられないのに対し、耐えた。なんと素晴らしい耐久力なんでしょう! 咲耶は実は人間じゃなくてKANISENじゃない?

咲耶の身体はツヤツヤのモチモチでメス力・雌力がぐぐぐんと伸びた。なんか簡単にツヤツヤのモチモチになり過ぎでわ? 幸せを感じてるからヨシッ

えっ? オイル1本、何mlか知りたいてっ? こちらになります  
令司特製オリジナルオイル↓1本、300mlの茶瓶。(危険生物の油や脂?などが主成分)。木箱1箱満タンにした本数は、30本  
かなり気合い入れて作りましたね。オイルマッサージデート、大成  
功になって良かったね!

食堂に着いた令司達。入口付近で、元メイド長のベルファストが笑顔で楽しい声色でエロい貞操帯を振り回していた。何でさ? 咲耶に装着していったのだった

ゴールインした事を耳打ちされる。嘘を言っている感じがしないのだった。逆転世界の女性の神秘に触れたのだった。男の子の場合、お祭り騒ぎになるんじゃないか?

次にメイド長のニューカッスルが笑顔で挨拶して、令司を欲情させる行動を取る。バッチリ拜んだのだった。ニューカッスルは見られて準備万端でした。お互いの頭、お花畑なんですね?

エロ嫁達から強引にセクハラもとい、スキンシップを取れ。のようなお言葉を貰っていたようで、その通りにベルファストとニューカッスルにスキンシップを取った結果がこれ

ベルファストの初めてを全て頂いた。嬉し涙が溢れる。それをエロ嫁達は赤飯を食べながら見るのだった

ドエム基地のみんなは顔を真っ赤にしてチラチラ見ている。「あの元メイド長が凄く乱れている…」とか思っているのかな？

エロ嫁達はドエム基地の自分自身と仲良くする。ドエム基地のユニコーンのゆうちゃん的事情を聴くユニコーンなのだった。だいぶ拗れてる感じですね？

オープン基地のゆうちゃんは狙われていた様ですが、これから一切、チンを出されない書類を書いたユニコーンだった。書類で解決出来るんですね？優しい世界なのかな？

サキユバス天城は病弱？天城の欲情、発情期を煽る行動を取る。世話をしていた赤城、加賀が、お酒の臭いを嗅いだだけで強制発情期に。病弱天城、赤城、加賀が仲良く、初めてのギシギシアンアン海溝に挑んだ

サキユバス天城はお仕置きツクスをされる事に。お互い愉しむのだった。船の中でもシタのに。調教されてるから簡単に濡れるのだった。どんな事をシタんだ？

キンコンカンコンとチャイムが全建物に鳴り響いて、エロいアイマスクを着けている整備員達が一斉に食べに来た。汗を掻いている者も居て、上半身半裸、首にタオルの格好をしている者が数人居た

令司はチャイムに気付かないでまだ盛っていたのでバツチリ見られるのだった。みんなの下半身がキュンキュンしたのだった。オスフェロモンが素晴らしいでしょう

ここは、オープン基地内じゃないんだぞ？抑えなさいって…

整備員達の中で仲が良さそうな2人が令司に一目惚れ。直ぐ勢い良くレイプをしようみたいな事を口にするが、理性が高め？なのでずっと眺めるだけだった。それと咲耶の許可が必要なようです。2人は食事を摂る事にしたのだった

令司よ。目の前にはエロイベントがなんかゴロゴロ広がってますよ？咲耶以外にも仲良くデキる整備員達がいいますよ？

でも、その前に令司君を寝かせませんか？頑張り過ぎで身体壊れちゃ

うぞ？

女性の皆さん、理性高めなようなのでレイプされずに済みました？いや、男性は女性嫌いという常識を持っているから手を出さなかった？令司は大好きですけどね？良く分かりませんね〜？

ドエム基地での性…生活はどうなるのでしょうか？楽しみですね〜？

☆☆☆

「……ご馳走様でした。へえ〜？最上位のセイレーン達の大移動した理由って、『どつかで拾ったオープン基地特集の雑誌を読んだから』…と。それで、その指揮官である令司様の令司様で貫通して貰いたかった。…と？なんかぶっ飛んでるね〜？愛の力かな〜？」

その雑誌、みんなにバレない様に読んでたな〜。…大丈夫…だよ？結構オカズに…

「…ごくん。ご馳走様でした。ヴィクトリアスの料理美味しかった〜。だよねだよね〜？」

雑誌の件、バレてないと思ってるな〜…。折り目付けんなって…「あたしら整備員達の仕事を勝手に増やしてくれるんだから…。索敵範囲外からの攻撃とかパナいの」

令司達のアンアンラブラボイスをBGMにして食事を終えた美爆乳ギャル2人。最上位セイレーンの大移動した理由を知ったのだった

食べ終わった2人は令司達の方を見る。終わってると思ったのに、サキユバス天城先生の指導を受けている高雄とラブラブ中。猫耳が凄いい勢いで振っている

「(うわ〜♡)…最新武器でもほぼ通用しないからね。セイレーンは…。饅頭達いるけど気まぐれだからねえ…。気分ノったら一瞬で終わるし…。ドレイク〜！デザート2つちようだ〜い」

令司達をガン見する。見たままデザートを担当していたドレイクに頼むのだった。注文を受けたドレイクは、2人の様子を察し？てメニュー表に載っていないのを作るようだ

2人の顔は早くやりたい。みたいな言葉が書いてありそうだった。

2人のオ♡♡コはもう、いつでも『お帰りなさい、貴方♡』な状態になつていた。KANSENと一緒に濡れやすい体質です？

沢山イツているので多分、動けないんじゃないか？誰か？？介護してあげて〜？

「ありが…」

「良く寝たわ〜。ふふふ、令司様との子供♪どっちかしら？」

「咲耶指揮官。おはようございます。筆頭秘書KANの高雄の初めて令司様に捧げてるよ？良いの？」

気絶から復帰した咲耶。伸びをする。服着てるのにタプタプという効果音が出ちゃってるよ？ベルファストの言う通りで出来ていた模様。幸せな顔をしている

指摘されて令司達の方を見ると、うつとり顔をキメる。どうした？何か変な食べ物でも食べたかい？

大鳳について？ドエム基地の大鳳は、全裸でオープン基地の大鳳の膝枕をされて寝ている。オープン基地の大鳳はそんなキャラだったかい？すつごくお姉さん感を出してるよ？

「良いわよ？高雄ちゃんったらデレデレしてる感じね〜。抵抗するフリをして滾らせるなんて凄いわ〜。ゾクゾクしちゃう♡あつ、こつちに気付いた。イツてる顔素敵〜♡ハアハア♡もつとその顔見せて♡服、邪魔。脱いじゃう♡」

「あ〜〜…。はいはい…」

(良いんだ？お嬢様の身体、オイルマッサージで凄くハリ艶が良い。エツロい…。令司様、レベル高つか〜い!!!マッサージされて沢山ガチイキした〜い。子作りしたいな♡認知しなくて良いよ♡令司様の令司様、レベル高つか〜い!!!んんんっ)

「はい。こちら、ジャンボスペシャル媚薬マシマシマシマシパフェ、2つです。どうぞごゆっくり。咲耶指揮官？令司様のお疲れを、添い寝で癒して来ますね？」

「ハアハア…。そう？あつドレイク、私の寝室に入る事を許可します。そこで添い寝以上の事をして良いわよ♡あつ、咲とユリも許可します♡汚れて来ちゃいなさい♡午後の仕事無いし？その内に執務室で映

像一緒に見ましようね?」

咲耶?捨てないで?つて叫んでたけど、これ捨てられてない?基準が良く分からないんだけど?

「…?!あ、ありがとうございます。それ以上になれるか分からないですけどね?」

「…?!んぐつ?!ゲホっ…ゲホゲホ…っ。んんっ。ありがとうございます。咲耶指揮官。アイマスク、気合入れないとなく」

「あら?アイマスクしなくても良いと思うわよ?令司様の心の声、私達、女性達を嫌ってないから。そうそう。私、催眠出来る?声を持つてるんだって♡そっちは勉強してなかったからしないとね」

服を着させられたのに脱いじやったよ。この長。『パイ穴でシない?』と誘う行為をしながら、右手人差し指で口をツンツンするのだった

「えっ?あつ、うん…」

(しなくていいんだ?まあ、嫌いだったからおつきしないもんね?声は同感。沢山告白されてる理由は声だと思うの)

「後々、私の家族全員、愛してくれるって♡母さんの乱れる姿を見れるとか最高♡あつ、サキユバスのコスプレをしたいからさ?咲、ユリ?コスチュームプレイ専門店教えて?サキユバス以外も着るわ。楽しくイってね?令司様?」

「はあ…はあ…。えあ?…あゝ、うん…。教え…る…よ。ド、ドレイク?ハアハア…。キツイんですけど…?」

「ようやく効きましたか。耐性あり過ぎ。明石作の1本20mlの媚薬を全部入れましたからね?薄めろと言われましたけど、原液で。ほら、イキましょ〜」

「レ、レベル高つか〜い!!!ハアハア…。あああんっ。あつ、ちよっ…。引っ張らないで〜」

「添い寝してらっしや〜い♡あゝ〜ん♡私の寝室で部下達に旦那様をネットリされる?♡鬱絶頂、素敵ね〜♡クルウ〜っ♡」

令司、モテモテ?ですな〜?休憩している所に突撃するドレイク、咲、ユリなのだった

添い寝は確定イベント。2人のエロいアイマスクを拝む前にドレイクに取られていた。どうやったのさ？さあ、令司の心の声を聞くのだ

咲耶…。貴女、書類の山々に日々、追われて？いたから相当お疲れの様です？令司ニウム？とやらを沢山吸って疲れを取りましよう？ねっ？

☆☆☆

「うふふ。沢山シたわね〜？船の上でも沢山ヌツキしたのに元氣過ぎるわ…。大鳳と大鳳の膝枕を熱心に見てるわね〜？さりたいの？」

「ルイス。尊いだろ？その内ね？ここの大鳳はアルバコアに氣絶させられるから新鮮だよ。オープン基地のエロ大鳳がお姉さん感を出してるん…んっ？」

オープン基地のセントルイスが、令司の背中にたわわな双丘を押し付けながら左耳にボソボソと喋るのだった。ドエム基地のセントルイス？は、全裸でオープン基地のセントルイスの椅子になって寝てます。なんでさ？

「令司様、お突かれ様です。後、船での移動も。だから…ね？添い寝しよ？…ねっ？」

「えっ？お、おう。そうだね…。疲れてるから添い寝して貰おうかな？おっ？ドレイク、飲み物ありがと。…えくと？」

ちよつと〜？なあに、コレえ??？咲耶もそうだけど、2人とも美女！レベル高っか〜い!!!

経験豊富の美爆乳金髪ビッチギャルと、ネットリ出来そうで出来ない茶髪美爆乳一途ビッチギャル。と、添い寝イベントが始まろうとしてんだけどっ??!

「どういたしまして」

あ〜〜♡そんな♡簡単に飲むなんて♡エロ嫁達、いやエロ妻達は何も言わないでニコニコしてる。やっぱり経験者ね♡そっちのドレイクはどんな感じなのかしら？…ドレイク、いるよね？

「んっ。あたしは森咲。経験豊富じゃないよ？新品だよ〜。ちゃんとするから。しつかり見てね？出来れば携帯で写真撮ってから激し

くシて下さい！」

経験豊富？アハルの事を言ってるのかな？それなら10人だけ……。豊富……なのかな？

フタ基地なら皆んな？50はいくと思うけど？咲耶お嬢様の妹さん達は未経験だけど。令司様の方が清楚ビッチじゃん。強いし。楽しんでね？

「ウチの事をそんな風に思ってたんだ……？久場ユリで……す。新品だよ……？令司様の事、一目惚れしちゃいました……♡咲も一目惚れだよ？媚薬飲んでるけど、添い寝出来るから安心して……♡」

寝てる時に手出してスツキリしてくれて良いのよ？ウチの血、飲みたいなく。豊富？アハルの事？未経験！咲は10人だよ？ウチの幼馴染は進んでるんだ……。フタ基地の方が凄イと思うよ？

「お、おう……。よろしく……」

咲とユリの声萌え……！コレ、何てエロゲーム？買った覚えはないよ！！無料体験版でもさ？振る舞い過ぎじゃね?!好感度を上げるイベント省略し過ぎ！ありがと！早速、攻略するね！

ドエム基地の整備員の総人数を知らないけど美少女、美女しかいないのかも？F○○○○→→→F○○○○→→→喜んで添い寝させて貰いますよ？

あつ、お幾ら払えばいい？言い値で買っても良い。お金は幾らでもあるかも！

うんうん。そりや、添い寝屋が人気出る訳だわなく。健全だと親友が言ってたっけな……。裏オプション有りそうなんだけど？寝ている間に捨ててんじゃね？

「あううう……。あ、ありがと……」

……んっ？顔が真っ赤ですね？もしかして心、読まれてる？エロいアイマスクしてないし？いつもは着けてるんでしょ？

添い寝のお誘いをされたエロゲームの主人公の令司。テンション爆上げである。オープン基地のセントルイスは、令司の左耳タブをハムハム甘噛みしている。令司君には触れていない。多分、ルイスルールを守っているのでしょう

「アイマスクは毎日着けてるよ？へえ？エロいんだ？そうは思わないんだけど…」

(ちようちよ。褒めすぎいっ!!ちよつと高めだからかな？あつ、胸に熱い視線が♡お金はこっちが出すんだけど…？どつかズレてるね？やつ…、ガチイキしちゃった♡パフエ、完食したからかな？はっやくい)

エロいアイマスクを着けてないので、令司の心の声を読んで、なんか勝手にキユンキユンしている。堕ちるの早過ぎですよ？

媚薬パフエで色々興奮しているのであつさり？ガチイキ。2人の下の口は『いらつしやい♡貴方♡』みたいに準備が来ている『男性は女性が嫌い。会ったらずつと罵声や怒声を浴びせる』とか習ったんじゃないか？知らんけど。ガン見されて嬉しい様です。良いぞ。もつと見てやれ

お金を出す行為は『女』性から『男』性へ。がここ、貞操逆転世界の常識の様です。令司の常識が非常識。というのが当てはまったぞ？大分分かって来たんじゃない？

咲とユリは令司の目と喉仏と乳首を見る。乳首周りに沢山キスマークが付いているのだった。勿論、令司もラブラブした全員の身体中にキスマークを付けている

ドレイクはどうしてるか？寝ている令司君をガン見してますよ？令司のエロ妻達はようやくか…。みたいな顔をして口を開くのだった

「誇らしきご主人様、シリアス達は基地内を散歩してきますね？」

「そうね。指揮官君？添い寝、楽しんで来てね？」

「おう。みんなと仲良くしてね？演習許可書？みたいなのがあって、申請されていたのなら演習してね？」

ユニコーンは初めて来たんだもんね？で、演習許可書とかある…よね？まあ、無くても勝手にやってそうだけど。…資材大丈夫じゃないじゃ？…いや、遠征してるようだし？なんとかなるでしょ？

「了解しました」

「話は終わったみたいだね？ほら、行くよ♡」



「おふっ。分かった、分かった」

ありがとうございます。ありがとうございます

媚薬が入っているのに襲いませんね？ガッツリ行くのかと思いましたが？右側に咲、左側にユリで令司の両腕を自慢の谷間に挟んで咲耶の寝室へ向かうのだった。ドレイクは後ろから笑顔で付いて行く

☆☆☆

「はあい。到着しました〜。入って入って」

「お邪魔します」

ずっと幸せを感じてたぜ！フェロモンを出してたんよ。ありがと。媚薬入ってるのに凄い早く歩いたね？廊下で体験するのかと思ったけど、違ったわ。理性、凄いなだね？

わおっ！必要最低限の物しか置いてないわ…。家族写真は飾っていないか…。サキさんを拝みたかった。咲耶を産んだ女神様あ…

ここのキングベット、使ってないよね？もしかしたら執務室にある仮眠室で寝てるんじゃない？

書類の山々とかずっと見てそうだもん。書類仕事しないでつて言われたからね？ぜって〜、俺には理解出来ない書類なんだろうなあ〜

海軍ってブラックじゃん…。労働基準法どうした？ねえねえ？…あつ、俺って元帥の地位なんだっけ？権力使っちゃう？いいや。明日以降の俺が頑張れば良いか。眠いからね

「もう寝ましようね？ふふふ♡お休みなさい。添い寝出来た♡ありがとございます♡」

「お、お休みなさい。んおっ」

寝れるか〜い！添い寝なのに令司君が…ふひっ！パオんしちゃう！美爆乳が凄い！あう、気、気持ち良い〜。うっ…、令司君、素直！マジで寝かして？うぐっ?!

「…ふふ。お香焚いていきますね？」

3人が咲耶の寝室へ入って、キングベットにゴロンした事を確認したドレイク。明石から貰ったお香を素早く焚いていった

焚いた後、全裸になる。寝る時は全裸派の様です。因みにオープン基地のドレイクは、上半身だけ身に付けて寝るスタイル。ドエム基地のドレイクが見たらどんな反応をするのでしょうか？

「あ……れ……? なん……か……急……に……寝む……く……? Z Z Z Z ……」

「ふうふう……。…あつ? おくくい!」

ちよろくつ?! ニギニギしたまま寝ないで?! 小悪魔めっ! あつ、ドレイク……。何故全裸?! 添い寝なのにヤル気マックスです?! あつ、なんかお香? 焚いてる? 良い香りを嗅いでたらだん……だんと眠気が……

「失礼します。チュっ♡チュく♡んれちゅん。れるれるおく。んつく……んつく。ちゅくくじゅるるっ」

「くくくくつ?!」

あつ……。ダメだこりや……。海賊美女のドレイクのキスニツクでネットリされる。ボーつとしてく……。お……休みな……さい。Z Z Z ……」

「つつつつ?!」

令司様♡お休みなさいませ♡ドレイクがしばらく下の口で温めますね♡素敵な体験ありがとうございます。死んでも良い♡こんなエツチな海賊でごめんなさいね? お休みなさい

明石のお香が効いて、みんなお寝んね。明石の技術、凄い! 海賊ドレイクのまくんにブレイクされた。ドレイクはキス初めてなのにね?

咲とユリは添い寝が出来て幸せな顔をしている。襲いませんでしたね? 襲われたかったのかもしれない

咲耶が「晩ご飯の時間よ? 起きて頂戴?」と言いに来るまでぐっすり寝るのだった。令司は肉体と精神を癒されたかな? 癒されていれば良いね?

シリアス達は基地内の散歩をした。そして演習場で10戦するのだった。大鳳と天城は不参加。結果はオープン基地の全勝である。色ボケしてても強いようです。資材はそこまで消費されなかったそう

演習に参加したドエム基地のみんな『こっちは実弾。あつちは空砲。なのに、開始して1分30秒で全滅……。終わった後のご褒美ありますか？』と笑顔で言ったそう。誰かバグを修正して？

☆☆☆

ドエム基地に着いてイチャコラしている頃の、オープン基地に居るエロKANISEN達という？ムラムラがマツハで各部屋でアンアンしているんじゃないのか？

その答えは…

「あはは。捕ったどろ!!すごいヌルンヌルンな魚!面白い!超デカい。これ、食べられんの?」

「えつと…?オミッターの片方ちゃんとエディターが捕まえた、それ…。ヌーチス…?だっけ?生きたまま特殊液に3日間泳がせて置けば食べられるようになるよ?」

「そうなんだろ?うわ。ヌル度が増した。口から卵っぽいのが出てきた!収穫用の水槽にポイだ!」

「何々?鈴谷…?何が食べられる…?って、ヌーチスじゃん!珍しくて美味しい奴!ヤツタ…?3日後が楽しみ…?みんなに知らせなくちゃ。令司つちが食べる分残さないとね?1週間分にしよう!」

オープン基地内にある饅頭生簀?でオミッターの片方ちゃんとエディターが楽しく全裸漁業をしていた。ムラムラがマツハしていない。健全である。全裸は危ないでしょ?服着なさいよ!

鈴谷は監視役かな?捕った魚達を捌いていく。ヌーチス…。主っぽいですね?通りすがりの熊野、解説ありがとうございます。熊野の身体、埃塗れですよ?どうしたんです?」

「それじゃ、危険魚を捕るぞ〜♡」

「危険魚?名前、分からないんじゃない?って、あ〜、潜っちゃった…!」

「…危険魚って泳いでたかな〜?あつ、捌くの手伝うよ?」

「…………熊野?お風呂入った方が良くない?全部捌き切ったよ?要らないわ。ありがと」

「そう?終わったんだ?…へっ?うっわ。気付かなかった。…うん、

そうする〜。ヌーチスの水槽、魚専門の饅頭達の所に持って行くね〜」

「ありがと」

名前を知らない危険魚を捕まえる事が出来るのかね?…『危険魚』って魚の名前じゃないよね?ね?

超デカイ魚、ヌーチスが泳いでいる水槽を、ウエイトレスが何枚も皿を重ねて持ち運ぶ持ち方を右手でした。平気な顔をして、水平を保ち歩いていく。令司が見たらどんな反応をするのでしょうか?

場面を更に変えましょうか

◇

「んしょつと…。抜けた〜。大きいね?これ。カブ…だよな?美味しいくなさそう…」

「ニーねえの引っこ抜いたそれはカブね。少し小さいわよ?美味しいわよ?人参、キャベツ、ナス、「えっ、ちよつ…」キュウリ、トマト、かぼちや、玉ねぎ、インゲン、ルッコラ、パクチー、枝豆などなど。果物とかも全部大きくて美味しいわよ?」

「あ〜、うん。分かった。吾妻の収穫箱のキャベツ全部大きいからね。10箱満タンになってる。深海ではこんなに大きく育たなかったわよ」

「そうなの?深海の野菜とか果物とかで深海料理を食べてみたいわ」  
「オミッターに聞いて頂戴。収納空間に沢山あると思うから。ゲテモノだと思っけど?…この料理どれも美味しすぎるわ。深海料理はもう食べられない」

「ありがと。あら?ますます深海料理を食べたくなったわ。リットリオ辺りがはしやぎそうね。吾妻母乳、樫野母乳、信濃母乳でどれが一番美味しくなるか研究しそう。リットリオに搾って貰おうかしら」

「ええ??吾妻、母乳体質って本当だったんだ?」

ニーねえと吾妻以下、駆逐艦達や軽巡艦達が農家になっていた。こども健全でした。人参担当、ナス担当といった感じ。それぞれに監視役が付いている。監視役って入ります?

みんながバカみたいに食べるからか、野菜や果物全てが大きい。

で、美味しい。どれも饅頭パワーが入ってそうですね？

令司が料理したじゃないか？大つきいとリアクションしてないじゃん？それはメチャメチャ小さくカットされているのを調理したのです

「深海料理!?食べる食べる!と、いうか料理させて?!」と、令司がはしやぎそうですね?リットリオと一緒に料理しそうだ

令司が「持つよ?」と言っても持てない重さになっている。収穫箱一箱を満タンにすると、1トン以上する。トラックは使っていない。饅頭作の収穫箱のみである

テキパキと収穫していき、それぞれの野菜150箱に、それぞれの果物150箱を満タンにしたのだった。収穫量、凄いつすね?何日保つんでしようか?

またまた、場所が変わって

◇

「いっぱい採れるなく。…あれ?ねえねえ?時雨くく?このキノコなあに?ビリビリしてるんだけど?」

「んっ?あつ、ちよっ!オミッターの片方!素手で触っちゃダメ!それ、見た目通り、ビリビリダケって奴だから!」

山があるんですね?凄いなく。戦艦、重巡、駆逐艦達が山菜やキノコ狩りをしていた様です。ここも健全でした

令司のキノ…。いや、なんでもないです。なんか面白い名前のキノコがあるんですね?

時雨が叫んだビリビリダケは、全体が本当にずっとビリビリしている。簡単に感電死しちゃうような危険なキノコである

「へえ?まんまだねくく?どうやって採る:「時雨くく?叫んでどう:。あら?ビリビリダケね。立派に育ったわねえ?収穫出来るサイズだわ。美味しいのよねく」

「あれく?扶桑が素手で触ってるよ?うわ:、右手がバチバチしてる:」

時雨が叫んだので扶桑が様子を見に来た。ビリビリダケを素手で採り、背負っている籠に入れるのだった。危険なのに凄いな。籠の中

は色んなキノコが入っている

「扶桑さん!?大丈夫じゃないでしょ?明石からクリームを貰わないと。と、いうか持ってます。…あれ?何処にしまったつけ?…あれ?」

「えっ?少しビリビリするだけだから大丈夫よ?これ採れるの戦艦と重巡だけよ?その慌てっぷりは、雪風辺りが度胸試しに。とかで素手で触ったのかしら?」

「セイレーンのあたしは触れるんじゃない?えつと…?あつ、あつたあつた。ホラ〜、触れた〜。ビリビリするね〜?」

「あつ、はい。そう…です。3日間、右手が使えなかった様です。えっ?あつ、うん…」

「ふ〜ん…。あつ、そうそう。珍しいカンカンダケを伊勢が3つ見つけたの!3日間干して置けば、指揮官の指揮官がもつと素敵になるわよ。きやつ♡」

「〜っ!う〜う〜!」

「カンカンダケ?なんか怒ってそうだね〜?珍しいんだ?時雨?ゆでダコになってどうしたの?うつわ、右手少し焦げた…」

「珍しいわよ?思い出したのよね〜♡さ、沢山採れたから山降りるわよ。降りながらカンカンダケの説明するわ。久々に媚薬作りしようっ」と

「ひっ!!」

「???ゆでダコから真っ青になってく時雨って面白いね!時雨に渡されたクリームを右手に塗ろつと…。わあ〜!綺麗になつた〜!凄〜い!」

扶桑が令司とのイチャイチャを思い出したのか、両手を両頬についでクネクネしている。パイ穴の見せつけ、ありがとう

別の場所でカンカンダケを見つけた伊勢の様子?こちらになりま

す  
『おっ!カンカンダケ!3つ目!こらっ!怒ってないで大人しくしろ!あつ、逃げんな!よしっ!捕まえた!1つは干す。1つは生。1つは焼きだ。干したので、媚薬を作って指揮官に飲んで貰おう♡』

です。手伝っていたKANSEN達がクネクネしていた。令司の身体で実験をしてるのかな？キノコが逃げるって…。ええ？では、最後にマッサージ棟の様子を見ましようか

◇

「ヨシっ。ゆー、色々、勉強頑張った。ドエム基地でデートする時、成果を褒めて貰おう♡くうくう♡」

「ピンクの霧の濃さが薄いからほとんど利用されてないのかな？みんなして船を召喚してなんか掃除セットで掃除してたなく。ゆーにはそんなの必要ないんだよねく。獣人だもん」

「あつ、もう寝る時間。鍵閉めて…。お休みなさい。Zzzzzz……。Zzzz……」

ゆーちゃんが初めて来た部屋の本棚にある本を、全て読んでいた様です。勉強熱心。照明を消さないで寝る。ゆーちゃんの個室になった感じ。開いたままのノートを見てみましょう

『指揮官が気持ち良くなり、令司君が元気になるツボ』が、分かり易い絵と解説付きでまとめられていた。令司、このノートがバラ撒かれたら昇天しまくりですね？サキュバスマッサージで体験済みかもしれない

ピンクの霧の濃さの件は、ゆーちゃんの言う通り薄いです。利用されてないです。ムラムラがマツハしていないようです。自主的に癒し刑をする必要が無くなった？

自身の船のメンテナンスをしているからそれどころじゃないのかもしれません。令司に乗って貰いたい欲があるのでしうね？

うっわ

整備員の2人の名前が森咲と久場ユリと判明。令司の経験豊富の発言で、アール経験人数を心の声で呟く

貞操逆転世界では、これが常識なのかもしれません。個人差があるようですが

媚薬が入っている咲とユリ。に、媚薬パフェを作ったドレイクとの添い寝イベントが始まろうとしていた。驚いた令司だったが、チョロインポジションなので簡単に攻略されに行く

咲耶と同じでエロいアイマスクを外している2人とも令司の心の叫びを聞いて、好感度を爆アゲてキュンキュンしていた。こちらもチョロインのようです

添い寝をする所は咲耶の寝室。令司は両手の乳圧の幸せを感じながら向かうのだった。2人共、媚薬が入っているのに歩けるのは凄いですね？イキ慣れているのでしょうか？

咲耶のキングベットで令司、咲、ユリが添い寝を開始。そこでドエム基地の明石作製のお香を焚くドレイク。咲とユリは直ぐ寝てしまい、令司の令司君がギャン？泣きになる？

明石特別製のお香の効果凄いですね？オープン基地の明石のお香と比べてみたらどうでしょう？違いがはつきりと分かるんじゃないかな？

令司もお香の香りを嗅いでだんだんと眠くなって行く時に、ドレイクのファーストキスを貰う

そして勢い良くドレイクのドレイクにブレイクしてファイヤー。嬉し涙を流すドレイクなのだった

満足した？令司は眠りに堕ちていった。ドレイクが掛け布団になっていた。積極的々々。令司は身体を癒す事が出来たのでしょうか？

話は変わって。ドエム基地に行つてイチヤイチャしている頃のオープン基地のエロKANSENSEN達の様子

それぞれセイレーン達と一緒に食材を収穫、捕獲していた。ムラム





ドレイクと令司のカクテルを右手で触って、ちよつとガツカリしている咲耶。2人にエロいアイマスクを装着していくのだった

「コレ、用意してて良かったわ。ヴェスタルの実験に付き合わされたけど…。起きたら令司様に飲んで貰いましょう。いや、飲ませますね？」

ドレイクに渡す分しか残ってなかった？無理させてた？などを思ったが、ミニ冷蔵庫から飲み物を取り出して『飲んでくれれば平気よね』な顔をしているのだった

令司は起きたらナニを飲む事になるのでしようか？令司君にどんな効果が出るのでしょうか？令司って毎回毎回、何かしら混ぜてる？飲み物を飲みますね？

饅頭達から渡される飲み物は何も混ぜていない。いい奴である「塗りたくって…、2人の準備は出来たわね。あら、右手がびしょ濡れに。令司様、失礼しますね？…：…あつ」

「んっ?!」

…えっ？起きたらなんか咲耶の右手を食してるんだけど？…：…すぐく…湿ってるね？また新しい扉を開けたかもしれない

「んくく…。良く寝れた…よ…？咲…耶？あつ、ありがと？」

「ふあくく。んぎぎ…。良く寝れたくく。つて？あれれ？左手のそれ…。へえ…？ウチらにサービスつてワケだ？ありがとね。もうね？限界なんだあ」

2人とも媚薬飲んだのに良く寝むれたね？明石のお香のお陰ですかね？明石の技術スゲく。咲耶はちよつと変な行動を見られるのだった

咲耶の指摘通りで我慢の限界にきているようです。令司はこれから大変になるんですね？わかります

「…：…晩ご飯の時間になったから起こしに来たわ。あつ、令司様？コレ、飲んでくださいいね？」

「…えっ？もがっ?!んぐんぐ…。つつつつ?!?!?!」

美味しんだけど、令司君が元気になっていくくっ?!熱いつ！熱いつ！晩ご飯出来てるから起こしに来たっていうのに俺が晩ご飯替

わりっ?!晩ごおふっ?!~~~~っ?!~~~~っ?!

令司、一気飲みさせられてるね?令司君が漲る飲み物だったようです。疲れが取れたのにまた疲れさせるんですね?

「うっわ。すっごい事になってる…。効き過ぎ!」

「ハアハア…。ハアハア。アアアッ!」

「咲耶指揮官、こんばんは。拘束させて貰うので、友人2人の卒業式を見ましようね?」

「こんばんは。ドレイク。もう縄で拘束してるじゃないの…。ばんざい…!」

指揮官なのだから令司みたいに言霊を使えばいいんじゃない?使えるのかな?使えるけど、使いたくないのかもしれないね?フレンドリーな職場したいから。という理由で

ドレイク、上官を万歳させて縛っちゃうのね?反逆罪とかにはならない?解体?もんじゃね?知らんけど…

「~~~~~~~~っつっつ?!?!」

(んあ~~~~っつっつ!!キタキタ~~~~ツツ。…っ?!?!アツツうう~~~~っ?!?!んん~~~~っ)

「ユリ、大胆だね~~~~?令司様?あたしの中でも気持ち良くなってよね?」

「ユリ、おめでどう。どっちかしらね?楽しみね?」

晩ご飯は令司だったようです。添い寝前から蓄積されていたのを一気に解放したようだ。ユリはサキユバスなんじゃないかな?これは咲もサキユバスの可能性がありますねえ?

「んは~~~~。ハアハア…。ファーストキスと処女貰ってくれてありがとうね?気持ち良かったわ。相性良いわね?」

「ハアハア…。ど、どういたしまして!」

沢山出したというのにまだまだ元気だよう…。本当にお前って奴は…。頼もしいな…。まあ、飲み物の効果もあると思うが…。まだ熱い。求めてるよ…

晩ご飯を食べるのは先になりますね?ユリは、令司の胸にのの字を書いて落ち着かせていたのだった。令司は咲耶の腋を見るのだった

「ふう…ふう…ふう…。んっ…。はあ…。……………充分に休憩取れたよ  
うね?令司様?ふくくっ。…いらつしやい?」

「ふぐお?!咲…。ただい…まあくくっ!!!」

あく、もう…。咲耶の腋に令司君を…。という妄想をしていたのを  
咲に読まれたのかな?咲も催淫効果がある甘いエロい声で左耳を犯  
すんじやねくくよおくく!!!ゴラアああツツツ!!!

「つつつつつ?!?アアアあああくくっ!んゝチュむっ…:…」

ここか?ここがええんか?こんのエツロいサキュバスめっ!!!この  
このっ!!!煽りまくるエロい身体付きをしちやつてさ?何なん?沢山  
突き合えよな?!なっ!一気に解消しろよ!うぐおっ!!!

「二うっわ。最高。されたいわ:二」

令司、飲み物を飲んだがお酒ではない。令司君を元気いっぱいにする  
成分が多く含まれているだけ。それなのにご乱心

まあ、仕方ないよね?相性バツチりなんでもん。咲耶達、サキュ  
バスっぽいですし?

ユリ、咲耶、ドレイクはアツアツ?な交尾を見て、羨ましいと顔に  
書いてあった。触れていないのに濡れる濡れる。ドスケベですねえ  
?自分の胸を揉む。といった行為を取っていなかった

「ふうく…」

「ハアハア…。…えっ?まだ…あた…んむんっ?!んゝくっ!!!んゝくっ  
!!!」

「あはっ。令司様、令司様。咲耶のこの駄肉パイで掃除してもっと元  
気にして下さいね?あんっ。ふへへ。早速ですか?そうそう。熱  
い視線をくれた腋も使つても良いんですよ?」

「令司様?スッキリするならドレイクのドレイクにお願いします」

「ハアハア…。ハアハア…。ああ…。治んねえから沢山、突き愛つて  
もらうぞ!」

ほんと、堪りません!令司!逝きます!

「二二はいっ!!!」

効果が切れるまで、咲耶以外を沢山、アンアン鳴かせまくったの  
だった。咲耶とのスキンシップも忘れずにやった。みんな大喜びで

ガチイキしまくりの大満足。良かったですね？

実は、咲耶は最初からこんな光景を見たいし、混ざりたいから早めに起こしに来たのです。令司はそんな事は知らない。踊らされてる？…ね？幸せ感じてるからいつか？

☆☆☆

「はい、あ〜ん」

よっしや〜!! 『あ〜ん』いただきました〜!! 嬉しいですう〜。すっつごく良い笑顔！では、頂きますっ！

「あ〜ん。…うんうん。美味しい」

咲とユリからの『あ〜ん』でなんかメロメロしている令司。右側がユリ、左側が咲である。服装？2人共、もう着てねえじゃん?! といふのを着ている

2人の肌はモッチモチのツヤツヤ。美人度が爆上がりしました。ヤツタネ！令司！令司肌もモッチモチのツヤツヤ。カサカサにならなくて良かったね〜？

「…：凄いモノを見てるわね？んっ…、濡れて来ちゃった。ザラはどうなの？」

「ポーラ…：濡れてるわよ。咲耶指揮官の旦那様の令司元帥はすぐドスケベだから、チャンスありそうよ？」

「やった♪お風呂に連れて行くと思うから先に入浴してましょ？」  
「そうね…。行きますよ」

あ〜、最高。2人がここ、貞操逆転世界で男性貴重世界じゃなかったらさ？絶対、痴漢やレイプされまくりでしょ？

で、助けた男性もケダモノになるね。裏路地行き、間違いなしだ。でも、2人とも腕力あるんだよな？結構、痛た気持ち良かったよ

聞けば、何かの書類を見た咲耶は、万年筆をへし折ったんだとか？  
そうなんだ？だったね。手加減されてそうだな〜？

それをさ？咲耶がいるのに言うなよ。で、咲耶は『イヤん♡』なポーズをとったし。写真、撮りたかった…。どんな内容だったかは聞かないでおくよ…

うんうん。令司の言う通りで、男性が溢れ返っている世界に居たのなら、されまくりでしょうね？

けれど、ヤツた全員は、一生おつきしなくなりますよ？だってサキユバスだし？…えっ？令司？特別製。令司の所にちゃんと戻ってくるんじゃないかな？

スッキリした咲耶はどうしたのか？もう既に食べ終わっていて、『仕事してくるわ』と笑顔で言っつて、縛られたままドレイクと一緒に執務室に向かった

本当だよ？百合をするとかじゃないよ？ドレイクの右手と左手の薬指のどちらにも指輪を付けてないから。それがなんだ？ですけど

「そう？良かったね〜？…っつて」

「うっ…。あつあつあつ…。んんん〜っ?!やっ?!や〜っ?!?!」

「気持ち良くなり過ぎて聞いてないわね…。分かるわあ…」

「うんうん。ウチらも何度も味わったからね〜？沢山イツケえ！」

あつ、そうそう。エロい美少女3人とエロいアイマスク無しでラブラブしてるぜ。ドエム基地の顔面偏差値、凄く高いのよ。超高級店！VIP！VIP！ありがと！

まだ新しい扉が残ってたか〜。開けきったと思ったん…：だけどな〜???両手と令司君、幸せだぜ。ほんと令司君、元気。病氣じゃねーかな？飲み物のせいもあるかもだけど

咲耶の寝室でハッスルしまくりでスッキリさせた筈の令司君。なのに食堂内でまたまたハッスルしている。令司君よ。良い加減、お寝んねしよう？なっ？なっ？

疲れが取れているのに、令司はなんか変なテンションである。憑かれているのか？美少女3人と繋がっている。違法で犯罪じゃね？警察呼ばなくちゃ!…あ。っ?合法?へえ?そう?ならヨシっ!

「令司様ったら、ウチらのエロいっつていうアイマスクを結構触って来るよね?肌触り良いでしょ?ちよつと高めなんだ」

「想像より肌触り良いよ、これ。へえ?そうなんだ?」

聞いてもピンとこなさそう。なんか金額、バグってそうなんだよなあ。高級車が何十台?とかを一括で買えそう…。何を言ってるん

だろか

ちよつと高めか……。高い判定食らったアイマスクはどんな肌触り  
なんでしょ？

プロポーズ書類通りでエロいアイマスク、種類豊富！凄いわ。  
あつ、そうだ。貰つて良いかい？

楽しく？ラブラブ？している令司。この世界に来てから初オ  
♡でもする気かい？多分、許されないんじゃないかな？知らんけど  
知られたらどんな事をされるか想像が付きませんねえ？もしかし  
て知られてナニをされたい欲望をお持ちですか？分からされたいの  
？この変態！

「二」あゝ。あゝ。あつあつあつ。んひつ?!んゝゝつ!!!」

ラブラブしてる3人から急に『幾ら欲しいですか？言い値で払いま  
すよ?』つて食事をしていた時に聞かれたから驚いたよ。考えこんで  
たら急に脱ぎだして全裸土下座だもんね…

床がさ？ドンドン濡れていくのよ？何故、興奮してるん？と思つた  
よ。でも、眼福でした。ありがとう。あつ、食べた料理を作つた美少  
女達だったよ。料理（意味深）しちやつたよ！

「ふうゝ……」

「スツキリしたみたいね……。令司様？お風呂、入りませんか？女世帯  
だから強制混浴になるわ。あたし達を嫌いに…はならないわね。う  
ふふ」

「おつ？そうだね。もうお風呂の時間か。嫌いにならないぞ？混浴、  
楽しみだわ」

混浴イベントキタゝゝつ！そうだよねゝゝ？男性の数が少ないん  
だもんね？作つてるワケないよな。オープン基地に男湯無かつたし  
嫌いに？あつ、そうだった。ここの男性つて女性嫌いなんだつた。  
うん…、頭ん中を壊さないでくれます？

スキンシップして慣れていけば良いのに……。優しいんだぜ？色々  
受け入れてくれるんだぜ？最高だるうおお!?

「やった。是非是非。堪能して下さいね？オープン基地のお風呂場の  
方が豪華だるうけど、立派よ?」

「良い事聞いたわ。早く入ろう。案件よろしく。おつふ」

「もちろん。案内するわ。むぎゆ〜。えへへ」

良かった。みんな、チャンスがあるわよ！咲耶お嬢様の許可も下りてるし！みんな未経験だけど色々努力したものね？喜ばれてね？

令司君をスツキリさせた令司。お風呂に入る事になった。実りに実った果実の穴に、令司の両手を埋めて案内する

右手にユリ。左手に咲である。2人は咲耶と同じく、ドエム基地のシリアスに貞操帯を着けられていた

夜のお店を体験するんですね？オープン基地内で味わっています  
が、他所の基地が相手だとわ…。気配を隠して、背後から包丁等でグサッ！ドゴンツッ！をされない？

連行（案内）中の時の令司君は、大人しく寝ていた。察しているのかな？

☆☆☆

「着いたよ〜。風呂場はここしかないからね？KANSEN達と整備員達と一緒に入ってるんだ」

「そっか。案内ありがと。よし入るか」

途中から乳首責められたぜ。満足してもらえて何よりだ。お礼に2人のお胸様を吸ったけどね？喜んでくれたぜ。それじゃ？夜のお店に来店しますね〜？

「あっ！咲耶指揮官の旦那様！間違えた。令司元帥！咲とユリ。グッジョブ！スケベな身体付きしてるね？うへへ」

「でしよでしよ〜？あんたら、色んな所を揉まれて来なさい！下の口でキスしても良いわ！咲耶お嬢様から卒業の許可、降りてるわよ」

「は〜い」

「ありがとう！…うむ。みんなKANSEN達と同じ位に、けしからん身体付きをしている！本当にけしからん尻だ！」

なんちゆう会話を脱衣所でしてんだよ…。頭の中がお花畑になってますね？まあ、サキュバス？だからそうなるか？

KANSEN達は多分、先に浸かっているでしょう。それか哨



戒や見回り、演習などをしている可能性がある

貧・豊・巨・爆乳。お嬢様、ヤンキー、ギャル、根暗、マツマ。：  
で？タレ目、ツリ目、片目メカクレ：などなど。バーゲンセール開催  
中!!!より取り見取り!

本当に偏差値高い！本当に夜の超高級店ですよん！ありがと！お  
客は俺だけ！Foooo!!!冷える視線や、熱い視線、ありがとうございます  
います！

令司の超タイプが沢山いるようで、寝ていた令司君が起きた。令司  
君は働きモノです。働き過ぎだと思っけど…

「わっ！令司様に桃尻触られたっ?!一緒に風呂入ってくれるんです  
ね?!ヤツタ~~~~!背中、洗わせて下さいね?…えっ?持ち上げてどう  
…ん?っ?!?!~~~~ツツツ!!あ~~~~っ…」

「おめでと」  
「二二」あら?あらあら。おめでとう。令司元帥?そのまま入りましょ  
うね?二二」

桃尻?ちゃんにファイヤーしたようだ。そのまま入っていくの  
だった。幸せな顔をしている

「あら?ザラ?来たわよ?あはっ。繋がってるわね?元気いっばい  
ね?凄いわ」

「これで…、はい。消えたわよ…。演習お疲れ様。えっ?…あっ、本  
当。で、もう気絶してるじゃない」

先に入浴していたザラとポーラ。ポーラは演習に出ていた駆逐艦  
の身体に書いてある?何かを落としていた。多分、正の字じゃないか  
な?

2人共、ピンク声を出すのだった。令司の出すフェロモンやられて  
いるのか?それより前に既に堕ちてそうなんですけど?

一緒に入って来た整備員達は、令司とイチヤイチャしないで髪など  
を洗うのだった。洗い合ったりしている

「ふう…。あっ…」

やっべ。桃尻ちゃんに背中洗って貰え…おうっ!?!い、いきなりだね  
?素晴らしいのをお持ちのようだ…。ありがとう

「令司様〜？お背中、失礼しますね〜？んっ…んっ…んっ…。はあ…。  
いかがですか〜？こうなりたいから艶本でいっぱい勉強したんです  
よ〜？後、神聖書も読みました〜」

「さいっつっつこうです！あり「こっちも洗いますね？出しちゃメっ！  
ですよ？えいっ♪」はうっあっ?!」

こいつらっ?!あ〜っ!あ〜っ!あ〜っ!まんま?超高級店じゃんか!あり  
がとう!ありがとう!ありがとう!右耳があ〜、甘い声で犯されてる  
!ありがとうございます!

艶本?あ〜、エロ本の事ね?神聖書?そんなのがあるんだ?う  
ぐっ。くう〜!

パイパイしてる金髪ロング褐色ツリ目爆乳美女。分かってるじゃ  
ん!アイマスクしてないからこっちの弱点バレてる!

あつ、そんな…。こうたい。い〜ぐあ〜!?!ビリビリする〜?!谷間に  
ナニか塗ったなあ〜っ?!イ。っっっ?!っけない〜?!

「綺麗になってくださいね〜？よしよし…。んっしよ…んっしよ…」  
オープン基地内でもそれらを味わった?よね?なんか凄く感動し  
て泣いてますね〜?(↑違う涙だぜ?)。本当に超高級店に来店して  
んじゃん。おめでどう

一緒に入って来た整備員達は、無言で目線で指示して令司君を洗っ  
てる。いや?調教してるのかな?連携バッチリである。マジでサ  
キュバスである。ありがとうございます

サキュバス達が住むドエム基地へようこそ?な件

令司よ。しっかり攻略してレベルを上げな?多分、まだ見ぬセイ  
レーン達や別の基地の飢えた?軍女や一般人とドスケベする事なる  
と思うからさ?弾けちゃお?なっ?

「凄い光景ね〜?…えっ?仕上げにザラのザラで綺麗綺麗して良いの  
?ありがと♪ポーラ?先に卒業して来るわね?念入りに洗ったから  
大丈夫。オープン基地のザラと比較して欲しいわあ。劣化品かしら  
?なら頑張るわね♪」

「はあい。逝ってらっしやい。見守ってるわ〜」

発情期に入っている?ザラのザラで令司君の仕上げをするそうで

す。準備が出来ている。令司に近づく時、髪を掻き上げるのだった。その仕事をクワツツとして見る。そして：

「あははっ！お互い、吠えてる♪令司様のうるさい口は、整備員の口で塞がれちゃったけど。令司様、気持ち良さそうにしてるわね〜？ザラ〜？良かったじゃない♪ホラ、綾波？続き続き」

「……………えっ？はいです。元帥と整備員達が大人？のキスを交代しながら沢山してるんです。オツパイ椅子にもたれ掛かっています。椅子係、交代してるんです。後は、元帥の涙を手で拭いたり、直接舐めてるですね。あつ、元帥がザラのファーストキスを奪ってそのまま、ザラの上になって大きい」

「はい。そこまで〜！説明ありがとう。ヨシヨシ…」

「…はいです。…もつと撫でろです」

おうおう。ドエム基地の綾波〜？凄い説明ありがとう。ポーラ、ナイス判断！毒舌？なオープン基地の綾波に対し、無表情なんですネ〜？個人差があるんですね〜？

「ふう…。…………綾波？ムラムラしてるのならゴールインして大人になっちゃいなさい？」

「…えっ？でも優先順位が低」

「……………そういうのいいから。よいしよつと…」

「きやあ!?えっ?…ちよつ?…ポーラ?えっ?えっ?」

おや?なんかイラつとしたポーラが綾波を拘束して持ち運び始めたぞ?そのまま令司の元へ歩いている。ゴールインさせる気満々ですネ?

どうやら優先順位があるようです。が、無視するようです。整備員達が気付いたようで令司を煽っていった?

「つつつつつ?…んんっ!」

見事にゴールイン。ポーラ?乱暴ですね?綾波の表情が変わったので?令司の令司君は更に暴走したそうなの?

オープン基地内と一緒に逆上せるギリギリ手前まで、入浴しているみんなとハッスルをするのだった。初顔合わせなのにね?なんか凄いわ。令司の出すオスフェロモンの所為かもしれないね?

「んちゅ…。んんっ！れるれるるお…。んっ…んっ…」

ふくくっ!!!みんな違つて、みんな良いぞくく!!!ありがとうございます！ありがとうございます！ありがとうございます！

……令司、貴方さあ？マジで背後から気配隠されて包丁や砲撃、空撃？などで刺されるんじゃないやね？防衛しなよ？

まあ、優しい女性ばかりだからそんな事は起こらないと思うけどさ？まだ見ぬ女性達がどんなのか知らないじゃん？

☆☆☆

◇ドエム基地の執務室◇

「あく。凄く楽しそうにハッスルしてるわね。仕事捗るわ！良いもの観てるわ！艶本通りよ！ねっ？ドレイク？」

「ええ。そうですね。明日分の一部に手を出すまで捗ってますね…。毎日、これなら良いんですけど？」

オープン基地から取り付けられた？風呂場の映像を観ながら書類の山々を、貞操帯一丁の姿で片付けていく咲耶なのだった

ドレイクも見張り兼、秘書KANをする。こっちもちゃんと仕事をしてきた。こっちは海賊女だぞ？と分かる服装をしている。正装なのでしよう。そしてアールになんかの尻尾を付けて過ごしている

「ええ？疲れちゃうわよ。どうでもいい内容ばかりなんだから」

『アルバコア。○月△日。大鳳にサプライズを20回して20回気絶させる。気絶中に、大鳳のお腹を撫で回す。昨日より3回減った』や、『夕立。○月△△日。フタつちゃん2人を時雨モデルで、時雨本人が見てる前で3回イカせた。ご褒美に時雨の聖水をプレゼント』

「とかよ？あつ。私のモデルもあつたわね…。使用頻度合計で第1位なんだつて…。気持ち良いのね？所謂、鈍器という奴よね？努力したからかしら？」

鈍器↓貞操逆転世界では超名器の事を指す。名器じゃない呼び方？さあ？

「そうなんですネ？最近、そういうのはドレイク達が処理してまっけどね？報告しなくて良いって言っても報告するKANISE

N達がまだ居ますし。ドレイクもそうなんですけどね…。うっかり報告しちゃいます」

「そうよね？『ドレイク。フタ基地KANISENのドレイクと咲耶の妹、整備員の方を、咲耶モデルとドレイクモデルで合計10回イカす』があつたわね。妹に使わせないでよ…。指揮官よりタチ悪いんだから。でも両方、未使用なのよね…」

「あはは。守る為でしたから…」

「ふ〜ん。そこにしれつと…。そうそう。『伝説、幻の土佐の建造を成功させる』といった滅茶苦茶な命令を出してくるんだから…。ちゃんと読まなくちゃいけないのよね。建造して何をするのかしら？」  
「そりゃナニじゃね？元帥達の容姿、気になりますね〜？伝説になつてるんですね？どんな伝説を持つてるんです？土佐？」

「オープン基地に居ないの？令司？土佐、知りませんか？ヤツたんでしょ？それか信濃が知ってそうかな？」

「さあ？令司様以外の元帥達の考えなんか分からない事ばかりですよ？話は変わりますが、パソコンを研修して使ったら楽しかったですか？」

「そう〜そうなのよ。楽なのよね〜？でも没収されちゃったのよね？令司様の顔バレしてるから何か言っただけで、言ったら私が刺されちゃいそうなのよね…。困っちゃうわ…」

刺されちゃうってそんな大袈裟なく〜。で、話は変わって。どっかで呟いていたパソコンでの仕事を以前したんですね？没収って…。早く仕事を終わらせられるのにな？令司以外の元帥達の作業かな？

令司以外の元帥達は毎日何してるの？令司も他の元帥達と1度はおしゃべりした方が良くないかな？集合場所は知らないけど。意味深の方なら効果があるかもよ？こいつらは多分、幕が無いんじゃない？

そんな感じで咲耶とドレイクは、令司達の素敵なパーティーを見ながら書類を片付けていくのだった。開始前は10柱あつたが2柱が消えていった

「『お邪魔します。咲耶指揮官。手伝いに来ました』」

「ゴクゴクゴク…。んはくく…。…おつ？赤城、天城、加賀…。ありがとう。あつ、今日、令司様にナニされたかの報告書だったら、読了済の判子を押しして読了済ボックスに入れておいてね？」

「えっ？あつ、はい」

一航戦とその指導役の天城がお手伝いするのだった。報告書を書く一部だったようだ。直ぐに読了済ボックスに投函して書類の山々と対峙するのだった

「ふう…。ちよつと休憩。…あら？天城、体調が良くなってるんじゃない？オープン基地のサキユバス天城絡まれてたけど何かされたの？」

「あら、ほんとね？書類をしながら聞くわ。書類に同じ事が書いてあるでしょ？」

「えっ？ええ…。そうです。サキユバス式マツサージと令司様のオリジナルオイルマツサージをされました。で、令司様に純潔を捧げましたね。その位です」

「天城姉様が凄く色っぽい声を沢山あげてましたわくく。途中から令司様にキスされて黙らせられたのだけれど」

「赤城…。赤城も同じ事をされて何度も何」

「言わせませんわ！」

「オイルマツサージね？昼間のね？（寝ている時にそんな事があつたのね？）はいはい。6柱終了。それ以降は明日ね。それじゃ、赤城達のプレイ見ましようか？解説よろしくね？」

『くくくく?! くくくくつ!!! くくくくくくく。くくくくくく?!?!』

「…令司様のハッスルは多分朝までコースよ？ドスケベよね？流石清楚ビッチ。ありがと。観たら遊んでらっしゃい？発情期なんでしょ？」

「はい。発情期です。了解しました。待って下さいね？令司様あ？」

手伝ってくれた事で早く終わった。ので、咲耶が寝ていた昼間の情事を観る事に。観終わったら発情期に入ったメス狐3頭が向かいま

すよ？令司君。フアイト一発！いや、数発！逝けるって！

濃厚？な1日を過ごす令司なのだった。付いてきた？エロ妻達は  
どうしたか？サツサとオープン基地に帰っていて、途中で翌日デー  
するメンバーと出会ったらしいよ？

随分と淡泊？ですな〜？演習とかでお腹一杯になったのかもし  
れませんか？

建造…？にや？

昼寝、もとい添い寝を晩ご飯の時間になるまでした令司。疲れがちゃんととれていた。まあ、別のナニかが憑いたんですけどね？

寝室に備えてあるミニ冷蔵庫。飲み物専用かな？から精〇剤が沢山入っている飲み物を取り出したのだった。見た目？フアンタジー世界でお馴染みであるポーシヨン

ヴェスタルの実験とはどんななんでしょうかね？令司も是非、体験してみてわ？

因みに、令司のオイルマツサージのオイル瓶の見た目はエリクサー。まあ、そんな情報要らないと思いますけど…？

ポーシヨンの効き過ぎで、食堂が混雑する時間を過ぎるまでハッスルした。咲とユリの両目が♡マークになっていた。2人仲良く、サキユバス判定を食らったのだった。実際そうだし？咲耶もそう

ドーピングされてなかったらどうなっていたのかな？一瞬でしようね？ポイ捨てされたでしょう（↑そんな事、されません）

サキユバスのコスプレをした時は、それはもう天『獄』でしょうな？何度も何度も強制起立させられるんでしょうね？愉しみですね？

ピークが過ぎた食堂で、晩ご飯と美少女3人を同時に食べる。美少女3人はこの常識に従って令司の身体を買おうとしていた。結果？タダチン。である

ここ、ドエム基地でも強制混浴イベントが発生。嬉しいイベントである。選択肢が『入浴する』一択のエロゲームである

男湯がない理由？裸のお付き合いをして、男性の裸体を拝み倒して見慣れてゴールインしたいから？飢えてるんですよ？

脱衣所で、整備員の1人のけしからん桃尻を持つ桃尻ちゃんと繋がる。幸せを感じ過ぎていたのか気絶していたのだった。容赦ねえな？でも、『乱暴にされるのが好き』という情報を手に入れていたので、

WinWin

立派な立派な露天風呂でした。夜景が綺麗。で、整備員達は夜の超高級店員であった？令司、超VIPなお客様。徳を沢山積んでいたよ



うですね？

整備員達の連携は素晴らしく、スポンジやタオルなどを一切使わな  
いで綺麗綺麗される。エロイアイマスクを外しているのも数名いた  
ので、弱点、バレちゃいました

令司君を仕上げしたのはKANSENのザラの初ザラ。ドエム  
基地のザラは、なんか勝手にオープン基地のザラに対抗心？を燃やし  
ているようだった。演習か何かで一方的にエムザラが負けたのかな  
？

ザラのちよつとシタ仕草で、令司はズキュンドキュン。マジ、チヨ  
ロイン。花丸な行動をとってますよ！水も滴る良いオンナ。だった  
のかな？

お湯に浸かっているポーラと無表情綾波が、令司達のおセッセを実  
況中継。だいぶ生々しく？中継をする綾波なのだった

優先順位を気にしていた綾波は、ちよつとイラついたポーラに拘束  
されて、令司君と強制ゴールイン。駆逐艦は優先順位が低いのかもし  
れない？1番高いKAN種はどれなんでしょう？

そこから先は逆上せないように、素敵な素敵なパーティーを開催。  
オープン基地と同様に、はっちゃけちゃいました

咲耶とドレイクは、執務室内で書類の山々の柱？を令司達のパー  
ティーを観ながら捌いていくのだった。午後、仕事無いつて言っ  
てなかつたっけ？整備員達のだけ無い。って話なの？

パソコンを没収されるとかあり得ないでしょ？手書きより早く仕  
事が終わるのに？1度、令司と他、女性元帥達が集まって会議をした  
方がいいと思いますか？…するのでしょうか？

赤城、天城、加賀が初体験のプレイを報告書に纏めて入室。直ぐ読  
了済判子を押して手伝う。その為、早めに？雑？に終わったのだった  
設置されている大型テレビで、赤城達の昼間のイチャラブの鑑賞  
会。参考資料なんですね？本人達が解説をするのでしよう。令司が  
見たらどんな反応をするのだろうか？

完全に発情期に入ったメス狐達が、浴場で欲情している令司と『遊  
んで良い』と、咲耶から許可が下り素直に従う。令司君、大はしやぎ

するんじゃないかな？

……というか？ 咲耶の許可が必要なんですね？ 咲耶の許可より、司令の許可が必要だと思うのですが？ 司令は許可しか出さなそうですけどね？

添い寝や、食事、お風呂場でナニかを盛られたか、塗られたか？ 咲耶の言う通り、朝までガッツリ繋がるコースに

で？ 司令はどの位、滞在するのでしょうか？ 書類に書いてなかったと思いますか？ 『全員をコンプリートするまで帰れませっ♡♡』とかがあり得そうですね？

R T A 推奨。で、即？ 枯れるエロゲーム？ 難易度が分からなくなつたね？ 男性が減っている理由はコレかも？ 司令よ。体調管理などをしっかりしましょう！

☆☆☆

◇司令がドエム基地のお風呂場でハッスルハッスル。を、している頃のオープン基地の工廠にて◇

「建造…？ にや？…どうしたんにや？ 戦力なら過剰にやよ？ 三笠？ 頭、大丈夫じゃないにや？」

ボロボロになっっている誰かの艤装のメンテナンスをゴグルを付けて黙々としていた明石。そんな所に三笠から建造話を聞かされる。『何言ってるんだ？ コイツ？』な顔をして三笠の顔を一瞬だけ見て作業に戻った

夕張も離れた所に居て、饅頭達に囲まれて一緒にメンテナンスをしている。明石と三笠の会話は聞こえていないようだ

「いや、まあそんなんだけど…。頭？ 指揮官とドスケベックスをしたいと毎日思っているが大丈夫だぞ？」

切り返しが何か変だぞ？ 真剣な顔をして首を傾げて言う事ですか？ ドスケベックスは三笠以外も考えていそうだ。モテモテだね？ ほら、明石の尻尾がピーンとなったから考えていたようだ

「あ、はいにや…。あくあく…。お疲れにゃんね？ お薬、出しとくにゃ」

作業を止めて異次元ポケットに右手を突っ込んで、ガソゴソして錠剤タイプの一箱を見せる

「ありがとう。貰つとく。話は戻るが、指揮官以外の元帥達が『伝説、幻の土佐の建造を成功させる』という命令を出したんだ。ホラ」

おいおい…。箱を谷間に…

証拠として建造書類を明石の顔の前に突きつけたのだった。建造なら令司の仕ご…いえ、なんでもないです

「え〜？本当にや…。土佐…。ねえ？…どれ？」

「秘書KAN達も明石と同じで、『ええ…？どれ？どのKAN種？』で、あたしの顔を見ていたぞ？何で見たかサツパリだったけど」

「…へえ？そう？」

「あつ、そういえば。戦闘狂のローンが『予想通りなら…。壊してみたいわいでも、壊されるのはローンね♪愉しみ。それに…。…ねっ？夜伽。楽しくなりそうねえええ♪』と言っていたぞ」

どれ？どのKAN種？えっ？どういう事？複数種あるんです？

ローンの声真似をするとは、三笠はお茶目？流石、ギャル。↑凄く失礼

「わあ。ローンの声真似、凄く上手にや。ローンが反応するんなら戦艦にやね。空母、兵装実験艦、標的艦じゃないにや」

「……………?!は、はあ〜?!戦艦?!加賀型二番艦か?!変態の妹?!」

「あつはは〜。いい反応にや〜!」

おっ？なんか戦艦っぽいんですな？4種あるんですね？元帥達もKAN種を指定しなさいよ

三笠、なんかサレたんですな？戦艦の加賀は翔鶴スキーじゃなかった？

「うぐつ…。んんっ！このカプセルっぽいロッカーで！戦艦の加賀型二番さんを建造しろだつてさ？資材、馬鹿食いするのにさ？あつ、このロッカーでのプレイをしたら指揮官はどんな反応をするのだろうか？」

三笠、建造のカプセルっぽいロッカーに抱きついてヘッコヘッコするとは…。溜まつてる？谷間の薬、落としちゃったよ？

「(早口だにや〜?) それ、開かないんだけど? そうだね。多分、最高に燃えるんじゃない? で、元帥達は資材、溶かしちゃったんだろうね? きつとオフニヤばつかったんにや。戦艦以外も建造されてないんにや。あははっ♪」

「ふう…。ふ、ふうーん? 指揮官はオフニヤをそこまで建造してないけど? 違いは何?」

おっと? この世界に来てから工廠に1度も足を運んでいないと思うが? どういう事だ? 転移する前のゲーム時代の話かな? まあ、どうでも? いいですけど…

「さあ? で? このカプセルっぽいロッカーを動かす資材はあるにや。他の基地に結構渡しているから、多分4回分かにや? 指揮官が居ないから動かせないにや。えーと? 期限は: 『なるべく早く!』 ええ? 決めろよ」

4回分の資材あるんだ? 令司が建造すると土佐の4種。つまり4人、スツと建造されそうなんですよね? ヤツタネ! 妻が増えるよ! 令司君はいつも? ブラック?

「連絡しようとしても指揮官は、お風呂場でパーティー開いてるぞ? 連絡するなら朝だ。いや、他に手段はあるか…。あたした、携帯電話持ってるし…」

「わあ! 整備員達、全員メモロにや。全員もう仕込まれてるにや! 増やせ増やせ! 赤城、加賀、天城、完全に発情期に入ってるにや! あははっ」

「……………: 指揮官が落ち着くのは朝だな。えつと…。シリアス達と入れ替わりでドエム基地のデートに向かったのは…。……………あった。アルジェリー、檜野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットリオだな。よし。旗艦の龍鳳に連絡を入れておこう」

「ハアハア…。あ〜! フタっちゃん達が指揮官とピー……………!!!」

明石よ…。その発言はR18なんだよ…。ギリギリを攻めてるんだけどね? アウトだよ。完全にアウト。発情期、入ってますね? ……

「……………あつ? もしもし。龍鳳? 今、何処に居る? ……良かった…。実

は建造の件で……あ、っ???んん……。場所を変えて話すから……」

三笠のメンタル?強つよーい。……というか明石の方を見てないね? ?

「明石。終わったよ。……って。三笠さん、誰に連絡してるの?」

饅頭を頭の上に乗っけている夕張が作業を終えたようで、明石の所にやってきた。お疲れ様です

「はっ?!夕張、ありがとう。ドエム基地に向かっている龍鳳に連絡してる。元帥達から戦艦の土佐を建造する書類が来たからね?指揮官、携帯持ってもあんまり使わないにや」

「そうなんだ?戦艦なの?兵装実験艦だと思ってたんだけど?先輩って呼びたい。それと夜のお相手も……。もちろん指揮官と一緒に良い」  
噛み合ってそれで噛み合っていない?これはあれだ……。夕張の頭の中、お花畑でしたわ。それとレイシニウム欠乏症なんじゃないかな? 令司!早く愛してやってえく!!

「……。土佐なら誰でもいい気がして来たにや。「なるべく早く!」って来たから明日の朝、指揮官をオープン基地にお帰りなさいして、工廠に招待にや」

「そっか。あつ。三笠さんの姿がない……。まあ、いつか」

「まあいいね?夕張、メンテナンス手伝うにや。その後、明石のお相手をするにや」

おっ?百合ん百合んな関係をスルんですかね?令司に無事連絡が行くかな?龍鳳なら大丈夫だろ?(↑その自信はどこから?)

「了解。指揮官は戦艦の土佐を建造する事が出来るのかな?兵装実験艦が良いのですけど……。あつ、土佐、4種コンプしたら面白いですよね」

「ぶほっ!あははっ!それは三笠を見る楽しみが増えるにや!」

夕張の提案で明石のツボに入ったらしい。どうやら令司は、ドエム基地からオープン基地に帰る方向になっているぞ?。

これはローンと同じ?で、誰かの船に乗って帰るデートが始まります?エロ妻の最大のプロポーズ?をされるんですね?おめでどう?

☆☆☆

「ようやくドエム基地に着きました。令司様が居る場所は…。地下…  
2階?ガッツリプレイを楽しんでたのね?うふっ」

「うっ!うっ!うっ!なんで…。なんで…。勝てると思っただのに…」

「諦めなさい。負けたんだから。船、晒しなさい。…ね?」

「…分かったわよ。アルジェリー…。次は勝つ」

「ええ。勝ってね?待ってるわよ」

「ロング、危なかったの!アルジェリー、強すぎるの!」

「鈴谷、3位…。んっ…」

「2位か…(あく)。服、脱ぎたい…。榎野様のお胸様の感触がまだ…。  
それと沢山泣かされてしまった…。気持ち良かった…」

アルジェリー、榎野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットリオ  
がドエム基地に無事着いた。艦装を解除する。みんな正装。リット  
リオ?脱ぐなよ?

ナニか勝負をして、龍鳳が令司に自身の船を晒す事に決まったよう  
だ。茹で上がっているし、両目がグルグル目だぞ?後、可愛い仕草し  
てるぜ?眼福眼福

榎野が令司の居場所を見つけたようだ。お風呂場から地下2階へ  
?地下は何階まであるのだろうか?オープン基地にも地下があるのか  
な?あつたら令司よ。行け!

榎野はリットリオに揉まれてキラ付けがされている。まあ、令司が  
付ける程じゃないが…。百合?を楽しんだようだ

「みんな?落ち着いたわよね?地下2階に行きましょう?」

「…了解」

「えっ?榎野?旗艦は龍鳳なんだけど…って?!早過ぎない?!ちよつと  
?!資材置いてるってば!あつ、待って!うっわっ?!滑るっ!これっ

…榎野のっ!」

みんな自由っすね?早く令司に会いたいなだね?龍鳳、ドンマイ  
?滑らないように後を追うのね?…後始末しないんだ?あつ、目印  
にしているんですね?

☆☆☆

「「「あ〜っ…。あ〜っ…。あ〜っ…」」」」

「??はあ…。土佐の建造?」

「ハアハア…。気持ち良かったわ。ええ。そうよ?土佐の建造をし  
ろって元帥達からの命令されたの…。4種あるんだけどね?指定さ  
れてないのよ…」

はあい。こちら令司。お風呂場でハッスルしてたんだけどね?そ  
こから両手に幸せを感じながら移動して地下2階にいます。で、も  
う朝です。何度も体験しているデース。建造話された〜

今いる部屋に、拘束具がいつぱいあったんだよ。使いましたよ。凄  
く喜んでた。良かったです。締め付け良かったあ!

地下1階は全部ゲーム部屋で、完全に裏だった。ダメでしょ?と  
思ったが合法だとき。オープン基地にもあるのだろうか?あつ、地下  
2階までだつてさ〜

ノースカロライナのバニー姿を見てたらハッスルしちゃった!初  
めてご馳走様!(↑キス、オマ♡♡、ア♡ルの事)

で、バニー姿になるとは思わなかったなあ?撮影会、始まったぜ!  
エロ妻達にバレてんだろ?現場から以上であります!

え〜…。身体中にキスマークや引つ掻きキズがある令司。中継?  
ありがとうございます。バレてると思いますよ〜?コスプレさせら  
れるんじゃない?

エロいアイマスクを着けていて、上半身裸姿の咲耶から土佐の建造  
話を聞く。ピロートーク?が、仕事内容って良いの?

咲耶は令司君と?れないので、身体中を開発?されたようだ。キス  
マークが沢山ある。お似合い?夫婦?である?ラブラブですね?

令司は5人のフタっちゃんともラブラブしていた。フタっちゃん  
も美少女と美女である。ストライクゾーンに入っていたようだ。令  
司のストライクゾーンってメチャメチャ広い?

幸せです!な顔をして寝ている。フタっちゃん達のフタっちゃん  
も何度もファイヤーしたようだ。フタっちゃん達は令司のア♡ルへ  
ラブラブファイヤーしたのかい?

ドエム基地の饅頭達は、掃除兼食事をしないから部屋の換気をしよう？ビシヤビシヤのヌルヌルで大☆惨☆事だぞ？

お寝んねしてる総人数は、整備員、KANISENを合わせてざっと：40名位かな？すっごーい！：えっ？汚い使用済の風船の存在があるか？そんなの1つも無い！あるのは沢山のモデルさん

モデル名を挙げると、咲耶、時雨、ドレイク、赤城、天城、シリアス、ベルファスト、ブレマートン、ヴェスタル、アルジェリーである。全て使用済。ハッスルしまくったんですね？

「へえ？で？もう土佐を建造したの？あつ…。こらこら」

「あつ。ごめんなさい。熊野の建造をしたばっかだからしてないわ。資材足りなくなっちゃったし…。失敗するとネコのオフニヤが大量に産まれるわ。（建造しろ命令多いのよね。熊野の前に連続2回失敗よ…。潜水艦のみんな、いつもありがとう）」

「ふくん？」

熊野の建造で資材足りないんだ？んっ？？熊野、建造出来ないんだけど？あつれえ？？なんか可笑しいですな？？気にしないでおこーう

量を聞いてもピンとこなさそう。ゲームとこの世界の要求量違いそうだし？オフニヤかく。地下1階に沢山放し飼いされてたなあ…。100匹以上は居るだろ。：餌はなんだろう？

土佐…。土佐かあ…。元帥達は何故、土佐の建造命令を？見た目が超好みなんだろうか？うん。分かるよ。：元帥達って女性だよね？（大当たり！）どんななんだろう？（ストライクゾーンに入ってるんじゃない？）

出会ったら全裸土下座しなきゃ！頭を足でグリグリしても良い！いや、寧ろしろっ！それかサンドバックに俺はなる！許してくれるまで何だっつするっ！

ご乱心？両目がグルグル目だぞ？戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦。どの土佐にやらかしたの？転移する前の事？だよ？許してもらえると良いね？

ただね？「何だっつするっ！」てセリフ吐いちやダメじゃね？「死ぬ」と言われるんじゃ？土佐と出会えますかね？



…おっ？足音が複数しますね？令司がいる部屋を見つけたようだ

「二」「おはようございませす。令司様・指揮官。あゝっ?!」「三」

「追いついた。…何してんだか…。指揮官、おはよう。あつ、シリアス達はもうオープン基地に帰ってるわ」

「きやつー!」

「痛いぜ!この女郎達っ!」とドアが怒って言いそうな勢いで入場してきたよ。みんな興奮してる。ステイステイ

1番乗りは鈴谷。で、雪崩が起きて下敷きになっちゃったね?ドンマイ?ビックリして咲耶が令司に抱き付いてきたじゃないか!真正面!グツジョブ!

「おうっ?!お…おおう。アルジェリー、樫野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットリオ、おはよう。龍鳳、報告ありがとね」

「んっ♡どういたしまして♡(すっごい臭っさい…。ダメエゝ♡我慢我慢…。ハアハア♡)」

ビックリした。やっぱリシリアス達は帰ってたか。連絡入れてよ?咲耶!ありがと!よしよし…

「ふにゃく!!!ん。っ。…ありがと」

「……んっん…。指揮官、朝までお楽しみでしたね。土佐の建造命令が出ているのでオープン基地に帰って工場に行つて建造しますよ?」

「えっ?あつ、はい」

あつ、雪崩終了…。眼福だったのに…。いきなりですな?まあ、書類に滞在期間書かれてなかったから自由なんだろうけど…?

「あつ、咲耶指揮官。足りない資材、持ってきてるのでそれで土佐の建造をして下さいね?2回分です!」

「…えっ?あ、ありがと?龍鳳。令司様を拘束しちゃってゴメンね?パーティー楽しかったわ。ありがと」

「いいの。で、おめでとうなの」

「ぶふっ?!ロングアイランド。あつありがと…」

「おいおい。それって賄賂じゃね?」

資材横流し?現場に遭遇しちゃってるんだけど?!ブラツツツ

ク~~~~っ!

あつ? フタっちゃんら? みんな起きて手を振りながら出ていく。ドア、凄い音したもんね? 投げキッスありがと。手振つとこ…。気持ち良かったよ! ありがとね~!

令司、なんとかしなさいよ! でもなんかね? リットリオがね? ポカ顔してるのよ?

「?? 賄賂じゃないぞ? 合法だぞ?」

「えっ? そうなの? リットリオ?」

良かった~! …んっ? んん???

「…ねえねえ? ロングアイランドさんや? お姫様抱っこをしてさ? 何処に連れて行く気だい?」

ぬあんでき? お姫様抱っこされてるのかぬあ? ロングアイランドの思考が分からないんだけど? 誰得なんです? (エロ妻達得b)

「え~? 指揮官をドエム基地の工廠に連れて行って建造する所を見てからサツサと帰るの。咲耶指揮官。工廠に行くの」

「あは。あはは…。ソウナンデスネ?」

あつ、これマジな奴だ…。大人しくしてよ…

「…………。えっ? あつ、はい! 案内します! あつ。軍服を着てきますね! 執務室の前で待っていて下さい!」

「敬礼しなくても…。って、行っちゃった…。足、早いわね? ほら、執務室の前に行くわよ」

「「了解」」

「アルジェリー。仕切らないでよ」

「あはは…。龍ほ…あつ? おい? ちよっ?! 速い速い! さっむううう!? もがっ?!」

ロングアイランドにお姫様抱っこされたまま執務室に向かうのだった。ロングアイランドを見るみんなの目、凄いぞ? したかったんだね? 多分、勝負のご褒美じゃない?

軍服姿の咲耶と合流して令司が褒めたらメチャメチャ、キスをされた。お姫様抱っこされたままであるが…

アルジェリーが忠誠を示す？為に、ロングアイランドにお姫様抱っこされたままの令司に向かって、右膝を床について令司の右手の甲にキスをした。そしてお姫様抱っこを交代して工場へ向かうのだった。エロ妻達の心の叫び↓「今度は絶対お姫様抱っこをする！」…と、決…尻意した。ロングアイランドとアルジェリーつてば、令司が触つてないのにお口が大洪水なんだぜ？  
令司の受難？はまだまだ続きます？

☆☆☆

「はえ〜？これで建造されるんだ？」

ねえ？これさ〜？棺桶じゃね〜かっ！横に3つ位が並んであるかも？と思つたのに1つしかないんだけど？

投入口は一箇所。大つきいね？なんて説明すれば…。あつ、失礼だけどゴミ箱だね！分けなくていい奴だ！

だね？床を見るとね？闇魔法陣が描かれてるんだ！厨二病さん？ありがとうございます！儀式だもんね！分かるよ！

オープン基地の工場にあるのはどんなだろ？同じ棺桶かな？工場に行つてないからワクワクするなあ

なんか感動しているね？説明通りで闇魔法陣の上に棺桶がドーンと置いてある。血を寄越せて言われそうだ。うん。コレ、焼却炉ですぬ〜？

オープン基地の建造機は、カプセルっぽいロッカーですよ！テストに出ます！

ここ、工場にはドエム基地にデートしに来たエロ妻達と、筆頭秘書KANの高雄。それとホーネット、明石、夕張、ヴェスタルだけ

他のみんなは朝風呂や朝食を摂っている。メイド隊は地下2階のお掃除。令司が沢山ハッスルしたからね？饅頭達は手伝ってない。オープン基地の饅頭達を見習つて？

「ええ。そうよ。秘書KAN達や整備員達に以前頼んで動かして貰ったんだけど動かなかつたのよね。で、私がしたら動いたから、これを動かせるのは指揮官だけなのよ…。他の基地も同じだった」

「そうなんだ?」

違いがあるんだ? 良く分かるねえ? どこで判断してるんだい? 棺桶さんよ?」

「それじゃあ、貰った資材と集めて貰った資材で2回実演するわね?」  
「お願いします」

2回ガチャ開始! ふむふむ? 資材は…燃料、開発資材(釘)、高速建造材。…の3つ? をオール9999…。…どこからツツコんだ方が良いんだい? いや、突っ込まないんだだけ…どおお?!

「ふふつ!」

司令がなんか吹き出した…。で、ドエム基地のみんなは「??」が頭の上に出ていてみんなして右側に首を傾けている。連携取れてますね? ?? すごいなく

で、オープン基地のみんなは「あゝつ…」な、反応をする。説明しときなさいよ!

「ちよつと?! ナニしてはるんですか?! 咲耶はんつ?!」

「ハアハア…。ええつ♡見て…んっ♡分かるでしょう? んあつ♡最後のしぎ…イいんっ♡ハアハア…。んっ…もう…1回…。んっんっんっ…」

うん。分かってるよ? いきなりさ? 下半身を晒してオ♡♡してらんだよね? ええ? 資材なの? で、高雄が回収してる…。真剣な顔してるんですけど?!

…えっ? もしかして? 最後? の資材はマジでそれかい? おつ? イッタ…

はい。マジです。大マジです。高雄に回収されて量を真剣な顔をして確認しています。貞操帯穿いているのにね?

「……………はい。しっかり規定量以上です。お疲れ様です。どうぞ」  
「ハアハア…。高雄、ありがとう。ゴクゴクゴクゴク。んっはく…。染みる…。最後の資材ってコレなのよ…」

「アツ、ハイ。ソウナンデスネ?」

「??…それじゃ投入して。スイッチオン! お願いします! 土佐! 出てきて頂戴!」

1回目！デデンっ！

「ニヤァ」

〈オフニヤの建造に成功しました〉

「ああああああ…。オフニヤが20匹もおおおく?!?!?地下2階行きよおおおおお！」

「おおぅ…」

ドウルルルルルっ！チーン。…って効果音が出る棺桶って…なんなん？オフニヤ祭りですよん…。失敗したのか…。大丈夫。もう1回建造出来るドン！

咲耶…。発狂してる…。すっごー。もう懐いてる。頭の上や両肩に乗っかられてるよ。頭の上、寝てるし…。…やってみても良いのかな？

「ちよつといいかな？」

「はい？どうしました？」

「やってみていいかな？」

「…えっ？ど、どうぞ？」

あら？良いの？部外者なのに？令司君から新鮮なものをファイヤーすれば良いんだろ？任せろって！

「ありがと。建造出来るかは分からないけどね？アルジェリー、頼む」「はあい♪頼まれました。ぎゅっってすればいいのよね？こんな事は異常性癖なのよ？無駄撃ちなのよ？分かって欲しいわっ」

そうなんだよねっ？でも、ノリノリじゃんか…。あっ！冷たい視線が刺さってるよ…。最高ですうっ

「ゴメン。ゴメンってば…。うおっ?!」

「船の上のデートでしっかり注いでよね？」

「もちろん。オイルマッサージします。アルジェリー様」

「(えっ？ヤダっ！嬉しい！沢山イける♡)…えっ？…よろしくね？えいっ♪」

それイッケっ！

「…はい。規定量以上です」

ふう。スツキリ。では、ボタン！押します！

令司がチャレンジ！結果は？

「……………あつるえくく？反応なしくく？」

ウソでしょ？あく。何か条件を満たしてないんだな？新鮮じゃねくくってか？悪うございました！オープン基地に帰ったら新鮮なのを出すんで！お願いしますね！

起動しなかった。どういう事なのかな？棺桶さん？

「あはは…。資材も戻って来たし…。はい。切り替えて、2回目2回目！スイツチオン！」

2回目！デデン！

「最上型重巡洋艦の熊野よ！かの大戦では第七戦隊のメンバーと…して…??あれれくく？なんか土下座してる黒髪ロングの女性が指揮官だつて分かるんだけどさ？どつたの？」

〈2人目の熊野の建造に成功しました〉

「……………」

うわくく。2人目…。レシピをね？土佐が出るって奴に変更して回したのに…。みんなの顔がどうしたら良いのか…。になつてる

「……………熊野？」

「ハイッ！」

「…(チョーカーが青ね…。もう1人は赤だから助かるわ…)もう1人の熊野にみんなと仲良くしてね？指揮官からの命令は以上よ」

「ハイッ！会いに行きますね！（もういたんだくく？納得くく！もう1人の熊野、よろしくねくく?)」

「あつ、案内するにや！明石にや！」

「お願いします！」

「あくあく。……………咲耶…?…さく…おわっ?!」

「令司様。建造はこんな感じなんですよ。土佐の狙い撃ちは滅茶苦茶なんです。令司様が建造に成功したら嬉しいです。サイン欲しいです。お願い…しますね？令司様の現地妻より。…咲耶の事、忘れてないで下さいね？」

「うんうん。分かったよ…」

右耳で囁くんだ？まあ、気まずいからね？忘れられそうにないよ

…。森咲と久場ユリもね？

オープン基地に来ればいいだろうって？それがさ？アルジェリー達の話だと、KANISEN達はウエルカムで咲耶達、人間はノーウエルカムだつてさ？なんでさ？

多分、言霊使つてもダメでしょうな？原理とか知らん。多分、解読できないと思うの

「…これでオープン基地に帰れますね？咲耶指揮官？ありがとうございますごましました」

「あつ？はい。龍鳳、こちらこそありがとうございます。みんなには帰る事を知らせるから挨拶しなくていいわ」

龍鳳と咲耶がハグ。良いよね〜？最高だよね〜！

「令司様？龍鳳の船に乗ってデートを楽しんで帰りましょうね？」

「えっ？「ちよつと〜?!言いたかつたんですけど〜?!」」

「ほらほら、サツサとオープン基地に帰りましょう？」

「お、おう…。咲耶？いつか会いに来るからな？」

「ええ。待ってるわ」

「ちよつ?!リットリオもお姫様抱っこ?!わあああ〜?!?!」

こうしてなんかグダグダしてリットリオのお姫様抱っこをされて龍鳳の船に乗ってデートを楽しむ事にしたのだった

みんなをオイルマツサーズで気持ち良くイカセるが、アルジェリーがより多くイカセされる。朝食はロングアイランドが、海の中に潜つて捕まえたのをリットリオが捌いて美味しく頂きました

令司は土佐を建造する事が出来るのでしょうか？三笠の反応が気になりますね〜？

## 再びオープン基地

ウソでしょ!!?

お風呂場から地下2階へ移動した令司達。そこで拘束プレイなど色々と楽しんだ

令司君を元気にしてくれるメスがいっぱい居ましたからね?朝までハッスルしまくったのだった。その結果、整備員全員をおめでうにしたのだった。男の子が産まれれば良いね!

整備員全員、エロい貞操帯を穿かせられた。多分、ラブラブ逆レイプをさせる為でしょう。みんな幸せな顔をしていた

いつも通りに、令司とメス達の肌はツヤツヤのモチモチに。令司って、本当にどんな身体してるんですかね?

ピロートークとして令司以外の女性元帥達からの無茶苦茶な?命令の『土佐の建造』で盛り?上がる。狙い撃ちは不可能に近いらしいそんな時、ドエム基地にデートしに来たエロ妻達(アルジェリー、樫野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットリオ)が特攻してきて、咲耶の建造現場を見学する事に

そしてオープン基地に帰って、土佐の建造をする事になったのだった。令司の扱い、雑じやないですかね?上官じやん?

工廠で建造機を初めて見た令司。棺桶と闇魔法陣の厨二病全開でビックリしながら興奮するのだった。イメージと違ったのでしょうか。どんなイメージがあったのかな?

オープン基地から渡された資材と集めて貰った資材で2回ガチャる事に。投入している最中に、いきなり咲耶のエロなサービスシーンが発生。思わずむせたのだった

サービスを終え、その最後の資材を筆頭秘書KANの高雄に規定量以上を確認される。そしてボタンを押してオフニヤ20匹を成功させた

令司は建造チャレンジをしてみたくなり、許可を貰ってからアルジェリーのパイで異常性癖?を晒して?気持ち良くなり、規定量以上



を初ファイヤー。令司君。マジ、元氣

結果は反応無し。投入した資材も戻ってきた。一応、指揮官だよ？地位は元帥だよ？1番偉いんだよ？何が違うんでしょうか？

2回目のガチャの結果は、2人目の熊野の建造に成功。ふんわり？な初命令を出す。元氣いっぱい返事と敬礼を見たのだった。明石が基地の案内を始めて解散

咲耶の命令通り、1人目の熊野と本当に仲良くなった。百合ん百合んな関係にはなっていないが。みんなとも仲良しになる。こつちも関係を持っていない。ホワイト？な基地である

ドエム基地に来る前に、何かの勝負をして負けた龍鳳の船に乗って帰宅デートをするのだった

みんなに特製オイルマッサージをして喜ばせて沢山イカせてあげた。アルジェリーは多めにスキンシップをされてデレデレ。令司、その道で食っていけるよ？

船の上では、みんな正装を脱いでいて、令司を殺しまくるエロい服装をしていた。リットリオは全裸だった。令司君を使用したか？していない。ハッスルするのを変えたっばい

朝食を摂った後、龍鳳と一緒に風呂に。スキンシップを沢山した。鍵をかけられて閉じ込められたのだった。ここでも令司君を使用していない。龍鳳だけ沢山いった

他のみんなは、漁獲をしていたり寝ていたり、持ち込んだゲームで協力プレイをしたり。と、のんびり過ごしていた

令司がこの貞操逆転世界に転移してきてからの初？仕事？は土佐の建造である。咲耶みたいにオフニヤ祭りにならないければ良いですね？

土佐に対してなんか「謝らねば！」なので、建造に成功したら許して貰いましょうね？ただ、土佐は令司の謝られる事を覚えているのでしょうか？

4回ガチャチャレンジが始まります。夕張が建てた？戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦の4種コンプリートのフラグを回収するのでしょうか？ガチャ運を見てみましょう！

☆☆☆

「令司様。工廠に着きました。檜野と工廠デートを楽しみましょう？  
それでは入りましょうか」

「おっふ」

時代劇とかに出てくる蔵じゃん。年季メチャメチャ入ってる。暗い。それがヴァカみたいに広い。まあ？大型船、戦艦クラスを基準にしなくちやだもんね？こうなるよね？

令司の右手が、檜野の谷間に沈んだまま工廠デートを開始するのだった。他のみんな？自分達の仕事？をする為に船を降りて直ぐ解散

龍鳳は、自分の船に沢山お辞儀をして回収してお昼寝という仕事をする。その後、寝起きを狙って部屋に入ってきた青葉の取材に答える。青葉新聞に載ったのだった

「おっつ?!すっげ〜!楽だな」

「ええ。そうでしょう？行き先が書かれている矢印の看板に従えば良いんですよ。だから1つ右側に乗り移れば、建造エリアです」

令司がちよつと？興奮している理由は、床がベルトコンベアーになっていて歩かなくても良いから。そして檜野の指摘通りで、建造メンテナンス。改修。などなどが矢印看板に書かれている

ざっくり？説明すると、令司と檜野がいるのは移動エリア。そうして建造エリアに連れて？いかれるのだった

「……………。お熱いですにやっつ!!にやはははっつ!!」

「／／／／／／／／／／／／」

「ええ？明石よ？笑いすぎだろ〜!」

フェロモンに当てられちゃったんだからなっ!「おっばい揉んで？揉んで？揉んで？揉んで？揉んで？それとそれと…」って目で言ってくるんだもん。するでしよ？

それと、背中に引っ掻き傷をつけようかつけないか悩んでたけどね？つけられなかったよ…。つけていいっていったのに…

「良いもん見せて貰ったにや!（青葉新聞が楽しみにや!）資材はちや

んと溜めてるにや?」

「ええ…。あつ、はい」

明石、見たんなら分かるじゃんか。ムラムラギンギンっすよ? 船の上のデート中、たつつつつくさん煽られてたんだからな? 使用してないからね? 精〇剤、飲んだし?

べっしよりパンツは龍鳳が回収したぜ? 青葉の取材入るよ? アレは? 船の上のデート中の写真とか撮られてるのかな?」

龍鳳ってばド変態(褒め言葉)だったよ…。遠慮しないでいいって言ったけどさ? あつ。やっべー! 痛っ! 令司君? もう少し静かにして?!

お熱い? それは建造エリアに到着して、明石に見つかるまでキスと両方の美爆乳を搾乳していたから。船の上でのスキンシップでも足りなかつた様子!

用意が良いのか? 檜野の両太ももに母乳瓶が沢山巻き着いていた。沢山搾られたんですね? リットリオに献上しましょうね?

「良かったにや! 4回分の資材があるにや! 連続モードがあるからそれに變更してパパッと土佐の建造にや! あつ、檜野母乳は冷蔵庫に入れてくるにや〜!」

「…:テンション高め〜…。ありや、発情期に入ってるな?」

「うふふ。では、建造を終えたらパーティーを開いて下さいね? もう分かってると思いますけど、準備出来てますから」

「もちろんですとも!!! うおっ?!」

するに決まってるんだろおお?! 明石の奴、尻尾で誤発射をさせようとしてきたし…。良く耐えた! で? なんで羨みたいに持たれてるん?

「移動し辛そうにしてたので、このまま担いで建造機の所へ行きますね?」

「そっかく…? ありがとね〜?」

「うふふっ」

「はうっ!」

尻尾で顔をペチペチ叩かないで?! いや? ベシベシ? 結構強いんだ

けど?!

受け入れバツチリの檜野に依持ちをされて、建造機の場所へ向かうのだった。到着するまで牛尻尾で左右をビンタされるのだった

土佐と出会う?というのに顔を腫らして良いのかよ?

☆☆☆

「お待たせにや。檜野母乳を冷蔵こ…つつつ?!?!」

「…ナゼ、シバラレテルンダ?ホドケナイシ…」

「分かってるくせに…。土佐を受け入れる為よ?土佐の建造出来る筈だもの」

「ローンの言う通りだぞ?愛しの妹のお迎えから逃げていたから縛った。まあ?三笠を見てどんな反応をするか分からないけどね?センカは好きだぞ?」

「ウウウ…。トサジャアリマセンヨウニ」

「あはは…。あつ、檜野と指揮官が来ますよ!」

カプセルっぽいロッカーの前に、明石、全裸で縄で縛られている正座中で重石を五つ両太もに乗っけている三笠、ローン、戦艦加賀(センカ)、夕張が居た

「はい。建造機の前に着きました。降ろしますね?」

「あつ、ああ…。ありがと…。ふう…」

ふう…。ずっとビンタされてたぜ。痛いから腫れてるよな?これから土佐?の建造するんですけど?!いや、土佐以外も建造されると思うけどね?」

「???そういうプレイをしていたのか?指揮官?腫れてるぞ?」

「…えっ?。「はいっ」あつ。はい」

「ふうくん?」

あつ、ローンとセンカの目。その内、顔にクツキリ、ハツキリ紅葉マークが付くね。腫れてるのか…。どうしようか?三笠には、触れないでおくよ…

「指揮官?これで顔を拭いてあげますね?」

「うん?おつ。ありがと。夕張いっ?!」

すっげー冷たああああいつ!!痛い!痛い!痛いんですけど!……あれ?だんだん身体がポカポカする……。あた:ま:がボーっとする……

「……準備完了だな?では、指揮官?イカすね?」

「~~~~~つつつつつつ!?!?」

「はあい。回収回収」

「……………はい。お疲れさまです。榎野の膝枕で回復してくださいね?」

夕張による冷たいタオルで顔を拭いていつて腫れを直していく。で、副作用?でポッカポカに。センカにより沢山暴発させられたのだった

そしてローンが集めていく。完璧?な連携だった。溢れないように手でキャッチしたのは下の口に塗り込んでいくのだった

回復するまで榎野の膝枕をされるのだった。榎野以外は横一列に並んでビシッと気をつけをしていた

榎野以外、背中に大汗をかいていて顔が真っ青だった。どうした?冷房とかが効き過ぎか?設定温度は……………20度をキープしてるんですけど?

三笠の顔が特に真っ青で歯をガチガチしている。いやいや、縛られていて令司に何も出来ないじゃん?一定数に大喜びされそうな行動をとってるんですけど?この茶髪美爆乳ギャル

資材は揃ったので4連ガチャが始まるぞ。……………で?疑問。咲耶は自身でオ♡♡ニーをしていたが、させられたぞ?そんな資材で良いのかな?反応する?まあ?答え合わせをするか

☆☆☆

「はあい!それでは~~~~!この~~~~!ロッカーの建造モードを単発から連続に変更したのでえ~~~~!土佐の建造、4連ガチャをしようと思いま〜す!はいっ!」

「~~~~ハイッ(あつ、スキ♡止まらないよお〜♡)~~~~」

榎野の膝枕で無事回復。意識が戻って速攻押し倒して吸ったんで

すよね。檜野は嬉しくて聖水と潮をバラ蒔いたんだよ？建造する前から大惨事

なんか？ハイテンションな令司を見てズキュンドキュンしてるんですけど？湖が広がってるんですけど？好感度とかダダ下がりする行動をとつてると思うんですけど???

「ポチつとなー…ぎゃくつ!!」

「[[[[うっ?!]]]]」

ピカツツツツツツ！と光った瞬間に安心と信頼？の工場専門の饅頭達が、大惨事な床をピツカピカにするのだった。すつごくうい！それと湖作り、止まりました

さてさて？光と煙のモクモクがだんだん収まっていく4連ガチャの結果は？KAN—SEN達は、もう眩しいのに慣れたので、出て来る所を凝視していた

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたものの、最後までされていなかった…たあくく?!あつ？ちよつと！おい！押すな！」

おや？これは？当たりましたねえ？どの艦種でしょうか？顔が見えるように青い狐のお面をズラして被ってますね

「[[[[??]]]]」

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたものの、最後までされてい…わあく?!イテテ…えっ？えっ？」

おやおや？これは？これは？2人目？どの艦種かな？困惑してるね？目の前に土佐がいるからね？こちらも青い狐のお面をズラして被っている

「[[[[?!]]]]」

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたものの、最後までされ…あつ？…えっ？ちよつ？」」「[[[[つつつ?!]]]]」…ちよつと？…どいて？「えっ？うん。…うん？」

おつとく?!あらあら？3人目！こちらも青い狐のお面を…。…と？「ちよつと？」と言ったのも？もしかしたら？もしかする？

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたもの…あれ？なんか？…え？何？この記憶は？…へえ？」

青い狐のお面を…。と？いう訳で？

〈4人の土佐の建造に成功しました〉

「「「ウソでしょ!!?艦種は?」」」」

それはそれはみんなビックリ。初建造で狙い撃ちに成功したのだから。思わず艦種を聞いたら

「「「…えっ?えくつと…。戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦だけど?」」」

「「「ウソでしょ!!?」」」」

パンパカパン!!!4種コンプリートおおお!夕張のフラグ回収に成功しましたく!!!夕張の新しい?夜のお相手が来ましたよ!

……で?軍服上下をしっかり着こなしている令司の状態は?光を思いつき見ちゃいましたけど?大丈夫じゃないよね?

「目があああ〜っ!目があああ〜っ!あああ〜っ!あああ〜っ?!イメージと違うよおおお?!う〜っ!う〜っ!」

うん。大丈夫じゃなかった。ゴロゴロしまくってるよ。軍服が汚れると思っただが汚れていない。失明するなよ?令司君より大事じゃんか

「「「……???ゴロゴロしてるのが指揮官。……であってるよね?」」」

「「「「……………」」」」」

「「「(……一斉に無言で首を縦に振るからそうか…。あつ、三笠…)そうか…。そうなのか…。ごくつ…。…この姿で着任した以上、失望はさせんぞ♡」」」

おやく?令司を見て唾を飲み込んでメス声を出しているぞ?それにモジモジしちゃって…。ええ?そうなの?見守っているみんなの心の声を覗いて見よう!

「「「(あつ。落ちてる・にや。沢山、気持ち良くなってるね?)」」」

2コマ落ちだね?ヤツタね!令司!妻が増えたよ!土佐にサインを貰って咲耶に渡しに行こうな?

☆☆☆

「ウンでしょ!?!?」

落ち着いた令司が、明石に渡された飲み物を飲んで失明回避！明石、スゲエ

土佐4人の左手薬指と顔を交互に見てこの発言をしたのである。本当にビツクリ顔をしている

えっ？何でかって？初建造されたのに左手薬指に結婚指輪らしいのが嵌められていたから。プロポーズイベントが発生させた覚えがないからね？

バグってないかい？初めての出来事じゃないかな？他の基地の指揮官に連絡がいつたらどうなるのだろうか？

「ニウソじゃない。本物の結婚指輪だぞ？戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦だぞ？よろしくね？指揮官？」「」

何で分かるんですくく？うくん？別の世界の俺？とそれ以外と愛し合っていた可能性があるのかな？…まあ？そんな事は何処かにポイして燃やそう。うん、そうしよう

本物の結婚指輪を嵌めている4人はメス声を出している。ムラムラしているようだ。令司のフェロモン。レイシニウムの所為かな？

ちなみに、土佐4人は結婚指輪を外して見せようとしたらしいがとれなかった

「ひゃい!!!んむんっ」

うおくくっ！美爆乳のカッコお美しい土佐4人に密着されてるよおくく！両耳、幸せくく！ありがとうございます！ズボンの中でおつきしちやった

…：やっぱり、半端ねえ回復力だよなあ？まあ、飲み物の効果もあるけど…。ありがたい。空母の土佐にバレテラ。キスありがとうございます。ございます。…：ファーストキスだよね？

令司君に感謝している令司に、真正面で抱き付いてくる空母の土佐とキス。もちろん、ファーストキス。4人の布陣は、背中が戦艦、右手が兵装実験艦、左手が標的艦である

何故分かったか？ブレスレットに戦、空、兵、標と書いてあるし、チョーカーの色が違う。

それにチョーカーに土佐と入っているし、色は戦艦は赤。空母は



青。兵装は緑。標的は黒となっている。呼び方はどうするのだろうか？

司令が初工廠へ来て、初建造をするイベントを青葉が見逃す訳が無いので。土佐の建造シーンや密着してラブラブしている所を撮り、新聞に載つけたのだった

後日、青葉にお仕置きという名の交尾をして仕込まれるb

「二「ねえ？ねえ？指揮官？ここに居る、明石、檜野、夕張、三笠、姉上、ローンと沢山、沢山交尾したのよね？」二」

「おふつ。は、はい。そうです。後、このオープン基地に所属している全員と交尾済み。しかも子持ちだよ」

あつ。あつ…。あつ…。同じ声が四つで同時囁き♡エロい♡やばいやばいやばい！頭の中が壊れちゃうYO☆（↑もう、壊れてますb）。新しい扉が開いちやう♡

「二「二／＼／＼／＼／＼／＼／＼／＼／＼／＼／＼／＼」二」

「二「へえ？そうなの？指揮官の指揮官って素敵なのね？」二」

「ハアハア…ハアハア…。うつつ…。あ、ありがとう…ごごご…はあ…います…ひやいん?!」

はあ〜。昇ってくるう〜!!!アツ!!!

「?!?!」

「二「空母の土佐〜？おめでどう♪感想を聞きたいけどキスしてるから聞けないわね〜？では、奉仕しますね〜？」二」

「ふう…。ようやく解かれた〜。…んっ？…ローン？」

「うふふつ。み・か・さ？」

「な、なんだ？どうした？用事があるんだが？」

「用事なんてないじゃない。グチャグチャになってよね♡」

「…えっ？うぐお?!指揮官?!す、すまない！」

床から戦艦の土佐、司令、空母の土佐、三笠というサンドイッチである。刺激でファイヤーした。ローンのフラインプレー？かな？三笠？ドンマイ

「二「あら？三笠〜？突き合ってくれるの〜？指揮官と交尾してる所を見て勉強しますね〜？」二」

「えっ？えっ？指揮か…んむくくっ！んっ!？」

「……………ねえねえ？明石？」

「ん？何にや？夕張？こんな所でおっ始めちゃって大丈夫か？って話なら大丈夫にや！ホラ。工場長の饅頭がグツとポーズしてるにや！」  
「あつ、大丈夫なんだ？ほんとだ。『美味っ！』って法被を全員着てる…」

「それに過去にここで、エンタープライズとホーネットが百合をシてたにや！」

「そう…なんだ？」

「それに姉妹百合を影からヨークタウンが見てたにや！そのヨークタウンをモナークとサン・ルイが胸を揉んだにや！声を我慢する姿、興奮したにや！」

なんつー話を笑顔でしてるんですか？明石も工場に居たのかな？それか盗聴かな？

「アツ、ハイッ。……………あつ。指揮官がなんか眩かれて思いつきり動揺してる感じがする…」

うん。土佐に眩かれましたね。そしてクスクスとなって、その言葉を沢山囁いている

で、かなり激しく愛し始めたぞ？どうした？土佐が令司の謝まる行為を覚えていた感じか？

「はあ…。ううん…。令司様。榎野、沢山搾られたというのにまた溜まっちゃいました♡今度はたぐっつぶり、吸い尽くして下さいね♡」  
「榎野って羨ましいのを持つてるよね？……………えっ？土佐も持つてる？そうなの？ありがと。それじゃあ…？もつと育てていつてね？指揮官、イツたねくく♪」

令司、催眠状態にかかっているんじゃないか？目のハイライトさんが居ないぞ？おーい？ちゃんと仕事してるくく？居なくなるのが仕事ですか？

「……………。ローンは参加しないのか？センカは見守ってるよ。兵装の土佐が三笠を襲おうとしてるからやつぱり好きか…」

「しないわ。土佐4人がメインだし。三笠、これでスッキリするわね

？指揮官も大はしやぎして良かったわ」

「ああ。そうだな…」

そんな？こんな？で？淫乱な空母の土佐とシタのを合図にしてパーティーが開催された。昼食の時間になるまで続いた

センカとローンは参加しなかった。アンアンボイスをBGMにして健全なオイルマツサージをし合っていただけである。オイルは令司作

戦力が過剰になっちゃったね？元帥達の基地や大将以下の基地では土佐の建造に成功したのでしょうか？オフニヤ祭りかな？それかダブリ艦祭りかな？それ以外？

☆☆☆

◇ドエム基地の執務室◇

「咲耶くく？許可されてないけど入るよくく？…って？」

森咲と久場ユリが何度も扉をノックしたのに許可が降りなかったので入って来た

2人はお風呂上がりで、髪の毛が少し濡れている。格好はタオルブラとエロい貞操帯のみである。令司は押し倒すんだろうね？繋がれないですけど

「シくく」

書類仕事をしていた高雄、愛宕、ヨークタウンに静かにポーズをされた

「アツ、ハイ…。書類仕事手伝うねくく？」

「ありがとうございます」

「くくくくっ♪♪」

5人が書類をしている時、咲耶は何をしているのかというと

「うんうん…、早希も土佐の建造、出来なかったのね？オフニヤ20匹と2人目の熊野よ。えっ？会見通りよ？令司様との初夜のビデオを贈ったじゃない。ええ。ありがとう」

フタ基地の指揮官である妹の早希と電話中だった。電話しながら書類仕事してるよ。服装は軍服から水着になっている

早希も土佐のお迎えは出来なかったみたい。そして結婚した事のお祝いの言葉を貰ったようだ

「話、戻すわよ？土佐の建造出来なかったのになんか嬉しそうじゃない？…えっ？戦艦の加賀の成功？で、付いてないんだ？へえ？そうなの？」

「！！！！（ウソでしょ！！）」

「（ユリ？凄いね？初めてなんじゃない？）」

「（うん。初めてだね。フタ基地で建造されるKANSENって付くのが当たり前だったし。で…）」

「（初命令は決まってて、早希指揮官と秘書KAN達が見守ってる中でフタちゃんを連続オ♡♡して何度もファイヤーさせるんだもんね？）」

「（そう。空になるまで励んで貰った後に、精〇剤を飲ませて早希モデルと秘書KAN達のモデルを装着して貰って何度も強制ハツスルで何度もファイヤーだもんね？）」

「（凄い事してるよね？メスの方が濡れてようが、早希も秘書KAN達も何もしないし…。出張整備しに行った時、行為室？だったかな？臭い凄かったな～）」

「（そうだったね～。でも、令司様の方が立派で優秀～。良い匂いだった～）」

「（そうだね～）」

ユリと咲が手伝いながらコソコソと妹の早希が指揮しているフタ基地の下事情を話してるよ…。淫獄基地じゃないか？令司がフタ基地に遊び？いや、訪問しに行ったらどうなるんだ？

「加賀の初めてをみんな狙ってるんじゃない？…。えっ？狙ってない？へえ？それじゃア♡ルは？狙ってないんだ？神々しくて無理なんだ？モデルを作らせて貰えるか聞くのね？」

「…？何か、煩くない？何かあるみたいだからもう切るね～？なんかあったら、また電話してきてね？うんうん。じゃね～？…ふう～…。あ～…。戦艦の加賀があ～。来てくれないかなあ？」

「飲み物をどうぞ。電話の最中に令司様から連絡がきています。帰っ

て直ぐ建造をするとの事だったので、建造結果でしようね」

「愛宕。ありがとう。んくと？……ふふおっ!!」

「うわっ?!ちよっと?!何?!急に吹き出さないでよ?!」

書類には吹きかかっていない。ナイス!

「ゲホッ……、ゲホゲホ……。あくあ……。ああ……。ごめんごめん。だって、土佐の建造に成功したって連絡だったし」

「「「「???……えっ?ウソでしょ!!」」」」

全員、手を止めて咲耶の顔を見る。驚くくらい土佐の建造は成功し辛い?のかもしれませんがね?

「ウソじゃないのよ。4回建造したらしいの。で、4回全て土佐の建造に成功よ」

「「「「……はっ???……はっ???KAN種は?」」」」

「戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦と4種全てを成功させたわ。どうなってるのよ」

「「「「ウソでしょ!!」」」」

「ウソじゃないわ。ブレスレットに戦、空、兵、標と、チョーカーに土佐って書いてあるもの。テレビに繋げるわね」

「昼食の時間なので食べながら見ましようか」

「「「賛成」」」」

昼食を食べながら見る事になった。発言したのはヨークタウン

☆☆☆

昼食を食べながら次々と画像をスライドさせて見ていく。持つて来たのはベルファスト。配り終えたら何処かの掃除をする為に去っていった

「本当だね……。コレ、4人とシた後じゃん。明石や夕張達ともシたね……。土佐4人とも見せつけてるよ。で、空母だけパツと見で分かるね?」

「ユリの言う通りね。狐耳と狐の尻尾があるからね」

ええ。空母だけ間違えないです。狐耳と9本の尻尾を持っていますからね?

「……ねえねえ？ 咲耶？」

「どうしたの咲？ 土佐4人を初建造したのに結婚指輪を嵌めてる事かしら？ 全員、青い狐のお面を被っている事？」

「結婚指輪の方。あり得ないよね？ 高雄、愛宕、ヨークタウン？」

「あり得ないですね。練度？ つばい値は全て1で建造ですから」

「だよね？ やっぱ？」

「……。オープン基地の建造機だけバグってそうね？ 凄いわ……。豪運なのね？……あつ」

「土佐4人のサインを貰えるみたいだね？ 欲しいって言ってたもんね？ 良かったじゃん」

「咲、ありがとう。サイン16枚なのは家族分かしら？」

「そうじゃない？ 4枚貰えるね？ 元帥達がどんな反応をするかな？」

「ユリ。さあ？ 口説くんじゃないかしら？ オープン基地に行けないから書類じゃない？」

「そうかな？ 令司様の反応はどうなるかな？」

「どうだろ？ 令司様と拗れ処女達が集まって乱乱する映像を見たいね？」

「盛り上がりそ〜！」

観賞会終了。高雄達は書類仕事を再開するのだった

「何それ？ 見たいわ。…で？ 咲、ユリ？ なんかあつて来たんでしょ？」

「そうそう。咲耶と一緒に今日、コスプレ店に行こうと誘いに来たの」

「ウチらもコスプレして令司様に喜んで貰いたいからね？」

「えっ？ ありがとう。行きましょ。行きましょ。高雄？」

「はい。書類仕事はお任せください。行ってらっしゃい」

「ありがとう。助かるわ。明日、帰るわね？」

「ええ。はしやいで来て下さいね？」

「それじゃ、コスプレ店に行こう。お〜！」

「お、お〜！」

咲耶がコスプレ店に向かうぞ？ どんなコスプレをするのかな？ サキュバスをして貰いたいのはバレバレなので見つけ次第買うでしょ

う。楽しみが増えたね？

うん。知ってたけど…。ねえ？

龍鳳が晒し出した船デートを楽しんだ令司達。オープン基地に到着して船を降りたら、みんなとハグやキスをして解散。仕事をこなしに行くのだった

工場の場所を知らないので檜野とデートをする事に。建造部屋へ着くまでキスに母乳搾りを沢山した

船デートでもシたのに溜まるとはどういう構造をしているのだろうか？不思議？がいつぱい詰まっているね？

建造機（カプセルっぽいロツカー）と初対面。見守る？のは明石、檜野、戦艦の加賀（センカ）、三笠、夕張、ローン。三笠は逃げられないようにされていた。土佐が苦手なのでしよう

4回建造する為、新鮮な資材をファイヤー。溜めた甲斐がありましたね？令司が再起動するのを待つのだった

ハイテンションな令司を見てみんなの下の口はジュンっとなった。相変わらず？お花畑のようです。ハッスル中に登場していたのかも知らない？

メチャメチャ眩しい光の演出で4回の建造が始まった。結果は、成功。戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦の4種コンプリート。建造された難い？とされているのにな？おめでとう

そして建造された土佐全員、一味？も二味？も違っていた。本物の結婚指輪を全員、左手薬指に嵌めていたのである。色々な数値がカンストしていたのでしょね？偽物つてあるんだね？

土佐全員、令司に一目惚れしていたようで積極的に美爆乳を押し付けてきた。そして、空母の土佐と繋がりパーティーが開催

4人の声により、令司は催眠状態に？凄いねえ？プレイの幅？が広がるね？令司君は幸せですね？ブラック？気味ですけど…

ローンとセンカ以外とパーティーした画像達を令司の携帯電話を青葉が使ってドエム基地に提供した。みんなの良いオ♡ズになるでしょう

観賞会を終えた咲耶達はそれぞれ元気に仕事を再開。咲耶、咲、ユ



りはコスプレ店に向かうのだった。護衛が必要なんじゃないや？と思うが大丈夫なようです

令司と再会した時はきつと盛り上がるでしょうね？仕込まれるでしょう

日帰りした令司は、土佐達と素敵なパーティーを終えたらどんな行動をとるのでしょうか？令司君を寝かす事が出来るのでしょうか？

☆☆☆

「はい。これが異常発生してるミミズよ。名前はアンアンミミズよ」  
名前あるのか。変な名前してるね？

「うん。知ってたけど…。ねえ？…デカイね…。想像以上だったよ。よつと…。おお…。筋トレ出来る重さだな。ビックリ」

「うふふ」

こちら令司。夕方ですが、只今、異常発生した巨大なミミズがいる巨大な畑、ナスと枝豆のエリアにいます。農家であります。ありがとうございます！

広さの数値を聞かされてもピンと来ないです。どこかの市や区が束なつてもオープン基地が勝つんじゃない？

なんでもかんでも巨大化され過ぎているよ…。本当にテーマパークだよ。で、一般人を見た事ないんだけど？引きこもってるからかな？

話を戻して、目の前にはタオルブラだけのモナークが。巨大化されたアンアンミミズが入った籠を見せられたよ

それと右手に1匹持つてる。暴れるんじゃないや？と思っただけど、大人しいんだよねえ。

海の生物はほぼ巨大化されたから、ミミズも巨大化されてるんだろうなあ。50cm級かなあ？と思っただのに…。ねえ？

籠の中のミミズ、本当にどれもデカイ。デカすぎるよ。1m以上はあるんだって。モナークが持つてるのは2m。大物は3m以上するんだってさ…。あは、あはははは…。凄すぎるよ

それで、モナークはほぼ同じ場所を1人で掘り続けて狩りまくった

んだって。それで籠が100以上あるの。どうしてそうなった？

あれか？土が栄養豊富過ぎるせいかな？よくここまで成長できたよね？凄いよ…。モグラ達、頑張って食事してくれてありがとうございます！

そうそう。1つの籠の中に、300匹以上いるんだってさ。ファンタジー世界が広がってたよ。明石パワーか饅頭パワーかな？うん。どっちも凄いよ

他のKANSEN達も別の場所でミミズ狩りや、ミミズが発生していない別の場所で、野菜（大根、南瓜）や果物（メロン、スイカ）の収穫してる

これらも巨大化されてるよ。凄い。凄いいしか言えない病気にかかったかも…。加工場に持って行って調理し易いように小さくするんだってさ。有難いわ

…えっ？何で夕方になってるのに巨大な畑にいるかって？それは「ずっとハッスルしてるから健全な日を過ごしてみたいなあ」な眩きをしたらね？

オイルマツサージでツヤツツヤのモチモチになったローンから「それなら畑で異常発生しているミミズ狩りね？モナークがひと狩りしてるわ。夕方ならチャンスよ？」と言われたからさ

土佐4人はポカン顔をしていたけど、みんなは、うんうん。つてなってたんだ。狩りの経験が一度はあるんだね？

明石は冷蔵庫から出したマタタビ茶？を飲んで、「にや〜。にや〜」と酔ってたよ。仲の良い不知火に連絡して来て貰った。引きずられて行ったよ

不知火、優しくしてやってよ…。夕張と頑張って艀装メンテナンスをしてたんだから。不知火の艀装をしてたんだからね？

脱線したね…。ミミズを食べてくれるモグラ達とかが頑張ってるっぽいんだけど、超過供給なんだとき？ええ…？どんだけえ？

そこで、夕張と土佐4人と一緒に異常発生している畑に夕張をおんぶして来たわけよ。漏れてたねえ？

で、夕張と土佐4人はそれぞれ別の場所でミミズ狩りを早く始めた

の。でね？土佐4人、慣れるの早くない？籠、30はいつてるんですけど？現場からは以上

現場の令司さん。ありがとうございます。健全ですね！農家の気分を沢山味わって下さいね？

土佐達の行動が分かった理由は、モナークから渡された端末を見ているからですね？それで、様々な畑を監視してる感じですね？

話は変わって、令司はモナークを見ても我慢してるんだね？巨大ミズに夢中だからかな？

モナークの方も発情している様子がないですね？令司に会えない間に癒し刑の部屋を利用してたのかな？（↑してません）

「これ、異常に増えてるから間引かないといけないの。指揮官のお手伝い、有難いわ」

「どういたしまして」

「あつ、そうそう。土佐の4種コンプリートおめでとう。土佐4人、張り切ってるわね〜？…で？セッセしたのでしょうか？」

「んっ？そうだよ？シたよ？」

もう知ってるんだ？いきなりですね！おお…。手に持ってるミミズが固結びされていくよ…。大人しいね？暴れると思っただけど

「そうよね。…気持ち良かったでしょ？」

「もちろん。モナークのも気持ち良いよ？」

催眠状態に掛かったんだよ…。新しかった…。色々な所を沢山吸われたような…。失望はしなかったよ。最高だった。…先輩呼びはさ？やつぱり…。いや、思い出すのはやめとこう…

「そう…。ありがとう」

「そうだよ…」

「……………」

どうした？お二人さん？無言でお互いを熱く眺めちゃって？モナークが何かを察したような顔をしているような？で、モナークはジユンッと潤っている。何故だ？

土佐の1人？に何かありそうですね？艦種はどれだろう？

「…………籠、いっぱいだね？筋トレ兼ねて運んで来るよ？よいしょつと

…。何処へ持っていけばいい?」

「あら。そうだったわね。饅頭達の所へ持っていかなくちや…。指揮官はミミズ狩り始めてて? よいしょっと…」

「あつ、はい。行ってらっしゃい…。よし。始めるぞ〜」

再起動した2人。令司は若干、顔が引きつってるね? それは、令司から2つぶんどつてから、器用に100以上の籠全てを両手と頭の上に沢山乗つけて、揺らさないで早歩きで持って行ってるからね?・

饅頭達の様子を見ると、運ばれたミミズ達を油で次々と揚げていく。衣をつけていたり、つけずにだったり。食べられるんですね? 美味しいのかな? 令司達は美味しく食べられるのかな?・

生きたまま美味しく食べている饅頭達もいる。オヤツですかね? ミキサーにかけているのもいる。ジュースにするのかな? 饅頭達の料理教室? が始まっているようだ

こうして、令司のミミズ狩りが始まりました。どの位、狩れるでしょうか? 1つの籠をいっぱい出来るかな?・

☆☆☆

「よっしゃ〜っ!!!!これで55匹。大人しいからどんどん狩れるわ」

モナークが掘ってない別の場所へ移動して掘るとそれはそれが出るわ出るわ。フツカフカナ土だから掘り掘りするのが楽しくって落とし穴が出来ちゃってね? 嵌っておりますよ〜

異常発生してる理由は、番ってるからっぽい。ペアで沢山狩れたんだ。そういう季節なんだろうね? 元氣…なんだね? たまに、3♡をシてるっぽいのもいたわ。なんだよ、それえ…。どうなってるのさ? で? これ、かなり深い所に3m以上の大物がいるでしょ? 狩りたいけど掘り過ぎたら出られないんだよなあ。クレーンか何かで引っ張り出して貰おうかね?・

「…どうすつかなく?」

ザクザク狩っていく令司。かなり深い所に大物が住んでいると踏んで狩ってみたいと思っただよう。ミミズの情事を知って? しまったのだった

掘りを一旦中止して、汗を拭いてどうしようかと悩んでいたら上から声がしたのだった

「何がどうするの?」

「おわっ!」

「おうっ!?!粘ついたのが頭にドバツと!ありがとうございます!少し冷えたぜ!

なんで、お礼を言ってるんですかねえ?可笑しいだろ?

「沢山、狩れてますね。指揮官。飲み物をどうぞ」

「あ、ああ…。モナークとサン・ルイか…。ありがと。ゴクゴクゴクゴク…。んはあく…。美味しいよ、コレ」

「それは良かったです。新作なんですよ♪まだまだいっぱいあるので沢山飲んで下さいね?」

「そっか。飲む飲む。喉渴いてたんだ。ありがと」

「うふふふ♪」

「それで?何がどうするの?」

「んはく…。えっ?かなり深い所に住んでそうなの、大物な巨大ミミズを狩るにはどうしたらいいのかな?とね?間引くべきなのはこっちの方でしょ?」

「深い所だったら安心して番えるもんな?どん位、産み産みするか知らんけどさ?メチャメチャな数じゃねーの?」

「言われてみれば、そうですね」

「新しい籠をいっぱい持ってきたモナークと飲み物を持ってきたサン・ルイ。汗をかいているので丁度良いタイミングである」

2人の森

飲み物には、異常発生しているアンアンミミズ達のエキスがタップリ含まれている。なんちゆう物を飲ますんですか?美味しいんだ?

味覚、可笑しいんじゃない?(↑正常である)

「そうなの?簡単に大物を狩れる方法があるわよ?」

「よっしゃ!その方法で大物を狩ってやる!それでかなり間引けるでしょ?そうでないと困るわ」

「おっ?あるんだ?ご教授お願いします。モナーク先生」

「ええ。それはね？指揮官が聖水を出すだけよ」

「…そう…んっ？…んんんっ？」

笑顔でナニ言ってるの？健全じゃないんだけど？サン・ルイがうんうんと縦に振ってるんだよな

「モナーク？聖水って言った？」

「言ったわ。それで効果が直ぐ出るわよ」

「…マジ？」

「はい。マジです♪実践しましょう？」

「お、おう…。笑顔でなんちゆう事を…。聖水を出して間引けるならするか」

確かに？ミミズ狩りを積極的にしてるリーダーっぽいみんなは、そっち系の性癖を持つてるもんね？

モナークとサン・ルイだつてそうだし…。沢山飲ん…。おっと、いかんいかん。健全な日にするんだった

みんなして沢山、水分とってたから何だろうな？と思っただよな  
？理由はそれだったか。…………よし、いっけえ。大物、ゲットだぜ  
！

渡された飲み物の効果で聖水を沢山出した。2人は上から凝視してくるし、音を楽しんでいる。2人とも森を見せつけてるね？

聖水を出してる時、頭に2人のネバネバが沢山降り注がれたのだった。マーキングでのしてるのかな？久しぶりに会話が出来てはしゃいでるのでしょいかね？

令司の聖水で、本当に深い所にいる大物の巨大ミミズを狩れるのでしょうか？何匹狩れるのでしょうかね？30匹位でしょうか？どんな結果になるかな？

☆☆☆

「ふう。これでよしと…」

すごく出たわ。どうなるかなあ？ワクワクだな！アンアンミミズの3m以上、いらっしやうい

「スッキリしましたね？穴から出してあげますね。えいっ」

「うん。ありがとう。サン・ルイ。2人のネバネバシャワー凄かった

よ。落ち着いたかな?ふいふ」

クレーンじゃなかった。右手だけで頭を持たれて穴から出して貰ったよ。ヌルヌルしてるのによく持ってたな

重め?の艀装を使ってセイレーンと戦ってるから簡単に持ち上げられるよね。腕相撲したら全敗だろうな

うん。それで敗北後の…。ってのはしてないな…。言えばグチャグチャにしてくれそうだな。ずっと涙目だろうな…。声をずっと出すかもだが、キスですつと黙らされるかもね?

ネバネバシャワーを浴びたのとアイアンクローもどきで可笑しくなってますね?健全に過ごすんじゃないの?

良かったじゃん?新しい扉を開けられそうだね?ガンバってハツスルしてね♪クレーンは明石とヴェスタルだけが使える艀装だよ!

「どういたしまして。落ち着いたわ。ありがとう。(いっぱいかけちゃった♡掻きあげる仕草、しゅき♡)」

「落ち着…あつ、来ますよ!(ナンデ、ハグノジヤマヲスルノ?ゴミメ)」

「……え、っ?効果出るのはっやつ!!」

うん。なんかゴゴゴツツツて感じだわ。移動スピード早い!あつ、かけた所に集まっていく感じだわ

モナークの言う通りで効果が直ぐ出た。さてさて?何匹の大物が狩れるかな?ハグする時間を奪われて怒ってますね?落ち着いて?ね?ね?

巨大アンアンミミズの登場でえ〜つす!

「うおっ?!ちよ?!ウソでしょ?!デカすぎるよ?!?!?!おいおいおい!ドンドン出てくるんだけど!」

ええ?3m以上の大物と言ったけどさ?5mはあるでしょ?!登り龍?みたいな登場してるんだけど…。これ、暴れてるよね!

なんかファンタジー世界に突然転生か転移しちゃってるんですけどっ?!

「えっ?!はっ?ちよっ?!おっ、おいしいいっつ?!?!」

「わあ〜!シヨクミミズのメスがいつぱい!流石〜♪」

なんか危険な名前をしてるんだね？そんなメスが100匹以上釣れたようだ。口？かな？から粘液がドバツと垂れ流している。なんか令司を狙っているね？

「そんな事、言ってる場合かぁ？！なんか令司君が狙われてるんだけどろ？！危なっ！ぐざぎざつ！！」

もしかしてアレですか？そのネバネバで感度3000倍の世界を体験しなくちゃいけないの？！誰得だよ！エロ妻達得だよ！こんの！

ヌーチスつていう巨大古代魚のヌルヌル成分は、ロー♡♡ンとスライムオ♡ホの材料。ロックンギョダケという巨大魚はキス魔にさせる

危険魚という巨大魚は、男女両方を枯れるまでヌキヌキしてくる。コイツの油を調査すると全身が性感帯になるんだって。そんな油を調査してたよ！てへっ

成る程？みんな、発狂してたもんね？ガックガクで潮、吹きまくりでしたもん。で、ビリビリダケは高級痺れ薬の材料。カンカンダケは媚薬の材料などを教えてもらったけどさ？

どれもエロ特化過ぎるでしょ？！生物みんな？男性を襲うっぽいし！！少ない理由の1つかもしれないね！

うわっ！？ちよっ？！なんかヌメヌメするう〜！それ、スライムの仕事だってばぁ〜！！

「ふうふうふうっ」

そうだよ（笑）この世界の生物は、ほぼエロ特化型だよ。男性の男性を狙ってるんだ♪異種姦の本が厚くなるね？需要高いんだよ？

令司は回避しまくっている。捕まってもなんとか引き剥がしていた。ヌメヌメにされたけど…

本ではサレていいが、現実ではさせないわ♪な雰囲気纏ってるモナークとサン・ルイ。2人とも両目のハイライトが無い。仕事しだしたんですね？出勤、お疲れ様です

「指揮官。もう全部籠の中よ（ヤラセナイカラ。ホンノナカダケニシテ）」



「ハアハア…。ハアハア…。ありがとう。疲れた…」

あつという間に全てが籠の中へ。ハイライトは無事戻りました。良かったね？

「晩ご飯の時間になったので食堂へ行きましょうか。どの食堂へ行きますか？」

「もうそんな時間か…。第1だな。うおっ?!サン・ルイ?」

おいおい?!いつの間にか全裸じゃん!服、溶かしてたんだな?だからあゝ、それはスライムの仕事なんだってば!何してくれてんだよ!シヨクミミズ達め!

夢中になってたからなく。で?今回はお姫様抱っこが流行ってる感じ?おうっ?!モナークにキスされたぜ!舌が吸われてる!

「では、このまま第1食堂へ行きましょうか♪」

「んぷはく。…あつ、はい。よろしく。モナークの料理を食べたいよ」「ご馳走様。あら?そうなの?でも、残念。料理当番じゃないの。朝、第3食堂で待ってるわ」

「サン・ルイも当番じゃないです。昼で、第2ですよ?待ってますね?」

「了解。食べに行くわ」

なんか決まりがあるっぽいな。食べに行くともく!うわっ!早い早い!さつむ!!

晩ご飯の時間になるまで間引いたのだった。後、格闘?をしたからね?お疲れ様でした。お疲れ気味なので、お姫様抱っこされて第1食堂へ向かったのだった

モナークはシヨクミミズでいっぱいになった3つの籠を第1食堂へ持っていくようだ。令司達でも食べられるようですね?

籠の中がちやぶちやぶしてるんですけど?籠、良く溶けないね?明石か饅頭達の技術スゲ

☆☆☆

第1食堂へ無事到着した令司は、ハーマイオニーの料理を食べ、お代わりにダイドーの料理。デザートで2人の下の口を頂く!つとい

う展開にはならなかった

イベントを健全?にこなしましたね?後は、お風呂のイベントですね?

「むぎゆ〜。指揮官?どう?ポートランドのおっぱいを背中に当てられてる感触は?ふふふ。アワアワだね?」

「さい…こうです!ありがとう。うんむっ?!」

「あはは!インディ!最高!あはは!インディ、顔が真っ赤く!もうシてる仲なのに〜!きゃ〜!殴られちゃう〜!逃げろ〜♪」

「…元気ねえ?サン・ルイ?」

「そうね?モナーク。…で?飲んでるのは何?」

「これ?シヨク酒よ。シヨクミミズのシヨクの部分を贅沢に使ってるの。どうぞぞ?」

「頂きます。んっ…。んっ…。んは〜。美味しい。身体がポカポカする〜」

「そうよね〜♪我慢して我慢して一気に出せば気持ち良いわよ♪」

「はい♪」

「ん〜♪シヨクミミズの煎餅美味しい♪ごくごくごく。ぷはあく。アンアンミミズとシヨクミミズのブレンド茶も美味しい♪」

「ダイドールの言う通り美味しいですね。かなり間引けたので、後はモグラ達に頑張つて貰いましょう。で、今度は別の畑に異常発生しているイキリバツタを指揮官と一緒に狩りしましょうかね」

「そうだね〜。健全になりたいって言ったからね?良いんじゃないかな?ハーマイオニーが話してきなよ?」

「もちろん。指揮官に準備して貰いたい物があるし」

インディアナポリス、ポートランド、モナーク、サン・ルイ。ハーマイオニー、ダイドールなどと仲良くお風呂に入るのだった

逆上せない程度にハグやキス、マッサージをしただけで誰ともしていない。令司君は察していて?おつきしなかった。優秀?じゃないかな?それか料理に何か抑える薬でも入っていたのかな?

「ふう…。さっぱりした〜。この世界で初めての一人寝。お休みなさい。ZZZZZZ…」

お風呂場でスキンシップを沢山とり、専用部屋に1人ポツンとなった。睡魔に襲われたのでさっさと寝たのだった。エロエロなエロ特化の生体の実態を知ったから気疲れでもしたのかな？

健全な日？を送れて良かったね？夢の中でセッセ！な事も無く、ニューカッスルがノックしに来るまでぐっすり寝たのだった。令司君、お寝んね出来てえらいえらい♪

ミミズの次はイキリバツタというバツタ？を狩りまくる予定が入ったよ？準備して貰う物は何でしょうかね？

次の日も令司は健全にイキリバツタ狩りをして送るのか、エロエロするのか？何処かにデートをしに行くのか？どうするのでしょうか？

☆☆☆

◇フタ基地の写真撮影会場◇

令司達がアンアンミミズとシヨクミミズを狩りまくっていた頃の会話である。咲耶の妹達が所属している基地ですね？早希と早紀だったかな？どんな性…生活を送っているのでしょうか？

「……………」

「良いね！良いね！凄く良いよ。加賀！あつ、その表情最高！ありがとうー！」

「早希姉え…。はしやぎ過ぎだよ…。その服で9着目じゃない？」

「良いじゃん。良いじゃん。どれを着ても最高なんだよー！」

建造した戦艦の加賀が色々なコスプレをして早希に何枚も写真を撮られてる。エロいポーズをしている。早希さん、グツジョブ

「……………早希指揮官に早紀整備長。初命令がこのコスプレでいいの？執務室に籠って、かなり悩んでいたらしいが？指揮官が全裸土下座するとかないだろ？」

「うん。これで良いの！だってこれらの写真全て、オープン基地で指揮官をしている令司お兄様に送るからね！」

「はあ……………」

令司、なんかフタ基地の戦艦の加賀のコスプレ写真を送られて来る

ぞ？どんな反応をするかな？

「……………はっ？令司お兄様？男…性？」

「あつ！その表情、1番最高！きゃわいい！興奮しちゃう！」

「……………好きにしてくれ（もつと撮れ）」

「はあ…。暴走し過ぎだよ…」

「うん。好きにするもん♪良いじゃん良いじゃん。最後はこれを着てね！」

「……………。了解…」

「令司お兄ちゃん。喜ぶのかな？ドスケベな咲耶お姉ちゃんを妻にしたから喜ぶ。…よね？きつと…？」

「喜ぶって！サキ母さんともシタいつて言ってたし、咲耶お姉ちゃんのコスプレ姿見てみたいって思ったらしいよ！出来れば、早希。令司お兄様と繋がりたいな♡うえへへ♡」

最後はやっぱり？サキユバスだった。令司、絶対喜ぶね？まあ、本物のサキユバスを妻にしていますけど。多分、別腹

早希お嬢様指揮官は写真を撮りまくれて肌が潤っている。オープン基地の青葉と仲良くなれそうだね？

〈撮影会場の外〉

「はあ…。早希お嬢様…」

「うん？ベルファスト。深い溜め息をいつてどうしたの？顔、真っ赤よ？」

「あつ、エディンバラ姉さん。フタを触りながら聞かないで…」

1週間溜めさせられてどうにかなりそうなの！姉さんを襲いたくなっちゃう…。それはダメなの…。今日の晩ご飯の時間まで我慢したら、早希お嬢様からご褒美が貰えるのよ！

フタ基地という名前通りで、エディンバラとベルファストに付いてます。付いてます。挨拶代わり？で触り合っている。2人の服装はエロ特化の改造メイド服。おつきがバレバレになるね？

ベルファストのベルファスト、濡れ濡れですね？何かをして罰を喰らってる感じだね？ご褒美は何でしょうかね？

「えっ。うん…。で？どうしたの？」

「…早希お嬢様とシたいって思ってるのに相手にしてくれないの…。アプローチが下手なのかな？頑張ってるんだけど…。ご褒美は貰えるんだけど…」

「えっ？下手よ？エディもシたいけど、かわされるわ。というか、エディ達には興味なさそうよ？貞操帯をずっと穿いているし。ご褒美は多分、義務なんじゃない？まあ？嬉しいんだけどね？」

「そ、そんなく…」

ウソでしょ…。初命令の時の刺激が忘れられないのに…。あの時の視線、興奮したわ…。あつ、思い出したらちよつと出ちゃった…。我慢我慢

「……ねえ？」

ほうほう？早希お嬢様指揮官のご褒美は凄く嬉しい物なんだね？…んで？ベルファストのベルファストがエディンバラのエディンバラより大…。これは止みましょうか…

「んっ？何？相手、シてくれるの？」

「シないわ。整備員達とグチョグチョしてるのが悪いのかな？見つかったし…」

「うん？悪くないでしょ？エディ達は、毎日何度も限界までハッスルしないといけないんだから。整備員達には悪いと思ってるけどね？向こうも早希指揮官も早希整備長も納得してる事だし…」

アハル掘り、止められないわよ。で、5日間溜めさせられてるのよね…。辛いわ…。早くスッキリしたい。ご褒美はどんなのだろう？

「で、整備員達のオハハコでしようとするとか制裁を喰らうものね？」

「……アレはダメよ」

あらあら？お盛んだね？整備員達、毎日お疲れ様です。制裁の経験があるようだね？2人とも顔、真っ青じゃないか。KANISEN達のパワーを上回るのかな？

『はああああ?!?!』

「二つつつ?!?!えっ？何？何？」

(危ない！完全に出る所だった！戦艦の加賀の声は毒なのよ！！)  
戦艦の加賀が早希か早紀に何かを言われたようだ。2人はうっか  
り破りそうになった。加賀、凄いな？

『~~~~~！』

『~~~~~つ！』

「うわっ！」

(あつ、もう…ダ…メ…)

「待つてえ〜！お願いしますう〜！お願いしますう〜！命令を  
出すのって何かやなの〜！ウツソ?!足、はつや?!うつわ…。なんか  
床が濡れてる！加賀あ〜！興奮してるんだね〜！お願い！話合  
おう！ね！ね！」

「はあ…。追いかけてこが始まった…。姉さんの勝ちだね…。…んっ  
？」

無事撮影会が終了して、サキユバスのコスプレをしたまま追いか  
けっこが始まった。早希は何かの書類を持ってるね？書類の話をし  
てこうなったのかな??何が書いてあるんだろうか？

「あううう…」

「あらら…。エディンバラとベルファスト。ふう〜くん？最終日で後  
ちよつとだったのにな？残念ね？」

「早紀整備長…。これは…。その…(その視線と声は止めて！興奮し  
ちやう！)」

あら？2人とも直ぐに正座したね？ちよつと何、考えてるのか分か  
らない…

「ふふふ。延長ね？ご褒美は無し」

「…了解しました」

「では、整備長として新しい命令をします♪ 2日間また溜めてね？  
後で姉えに伝えておくわ。コッソリしてもバレるからね？これも  
破ったら制裁だから♪」

「了解しました！(それはヤダア〜！)」

「良い返事。さて、姉えと加賀の様子を見てくるわね？饅頭達と一緒に  
綺麗にしてね？」

「了解！」

うーくん？何かドロっとしてるね？キャラを作ってる可能性がある？

令司はハイテンション気味な早希と、冷徹？な早紀と出会ったら仲良くなれるのでしょうか？令司はフタ基地に訪問をするのかな？考えてなさそうだよ？

令司はもつともつと色々な女性達と出会った方が良いんじゃないかな？知らんけど…

まあ？楽しく？生きていきましよう！

うお〜っ！やっぱりかあ〜っ！！！！

健全な日を過ごしたいっ！と思った令司。そうでしょうよ。何回も何回もハッスルしていてブラツク過ぎるのですから

エロ妻達もやり過ぎ？と分かっていたようで、誘惑をしなかった。会ったらキスとハグはしている

夕方に巨大畑で異常発生している巨大ミミズ(アンアン・シヨク)を大量に間引くのに参加した。この2種類以外に小型ミミズもいる

シヨクミミズのネバネバで、令司の服が溶かされるエロイベントが発生。ファンタジー世界を初体験した。スライムの仕事だろ？と怒るのだった

スライムは存在するのでしょうか？存在したら令司はどんな行動をとるのでしょうか？

ハイライトオフになったモナークとサン・ルイが、シヨクミミズを全て素早く調理し易いサイズまで切り刻んで回収。それと、令司とシヨクミミズの絡みを脳内フォルダに保存していた

令司×シヨクミミズか、シヨクミミズ×令司の話題になって戦争が始まるんか？それでうっかりイベントが発生して令司にバレるんでは？

別の巨大畑でミミズ駆除や、収穫しているエロ妻達も令司の様子を見てハイライトオフ。間引く筈なのに、アンアンミミズとシヨクミミズが絶滅した。バツチリ、絡みを脳内フォルダに保存していた

令司は食事を終えた後でもハッスルはしなかった。お風呂でも令司君以外のマッサージをされただけだった。健全。続けてます

転移してきて初めて専用寝室で独り寝。疲れが溜まっていて直ぐに寝れた。それはそれはグツスリとね

巨大ミミズの間引きの次は、イキリバツタというバツタ？の間引き？絶滅？をさせる事が確定していたのだった

男性が巨大エロ生物に襲われるファンタジー世界の冒険がまた始まるうとしている？負けるなっ！負けていいのはエロ妻達だけにしろよっ！



健全、2日目。はっじまるよ〜っ!!!

☆☆☆

『『『『イキいいいいっ!!!』』』』』

「うお〜っ! やっぱりかあ〜っ!!!」

漫画の世界の様に、土埃が舞いそうな勢いで走る令司。それを追うバツタの図が出来ている。なんという事でしょう! バツタの両目はハートマークが浮かんでいる!

ちよつとした回想をしようか?

指揮官専用の寝室でニューカッスルのノック音を聞くまでグツスリ。スヤスヤしてたです。息子は寝てたです起きてると思っただけどね?

ニューカッスルとおはようのキスとハグをしましたよ。ええ…。セーフ

無表情でも感じてたねえ〜。見せつけたら何も言わずに舐めたよ。腕を組んで第3食堂へ行っただぜ

約束通り、モナークの料理をニューカッスルのあ〜〜んで食べた! デザートとしてモナークの両胸を吸ったけどね! ハッスルはしてないからセーフ! セーフ!

そんで現在。田んぼに来てて、小型サイズのイキリバツタというバツタから走って逃げてるんだ〜!

イキってる息子をお持ちだったよ…。しかもずっと元気なんだつてさ! 無限なのかよ! 凄すぎ!

一匹のメスに複数のオスなんだって。そうなんだね? それなのに何故、人間の男性をオス達は襲うんですかね〜? メスいるじゃんか!

そんなエロバツタ達を駆除をする為にお薬を調合して、田んぼ全体に散布して貰ったのさ。イキってるのに更にイキったのよ

そんなイキり狂っちゃったオス達の獲物はオ・レ・の・カ・ラ・ダ♡ 捕まるわけにはいかないよね〜!

数?多分、1000匹以上いる!スリルがあつて楽しいんだあゝゝ  
! そつちの世界は大つつっ嫌いなんだからあゝゝ!ウス異本の中だ  
けにしるよゝゝ!

あつ、そうそう。何冊か存在を確認してるぜ!中身を読んでね?俺  
似の主人公がバツチリ、犯されてた!需要が高い?多い?んだつて  
さ。拗れてるうゝゝ

「指揮官ゝ!胸に飛び込んで来てえゝゝつ!!!」

「引きつけ完了したぞゝゝつ!標的の土佐と空母の土佐の美爆乳にダ  
ゝゝイブっ!」

「あんっ…。驚掴みに…。気持ち良い…。ねえ?健全の日を過ごす  
んじやなかったの?」

到着!後は土佐達に任せる!無能だからねっ!仕方ないねっ!

「ゼエ…ハア…。そう…なんだけど…。ふう…。セーフだ。あゝゝ、  
両手が幸せゝゝ」

「ああん…。良い汗の匂い♡滾つちやう♡土佐も幸せよゝゝ!後は  
任せて?」

「任せた!連日、エロ特化生物の駆除でスマンの」

「良いの良いの。楽しいし♡」

「うっ!?すつつつごく寒い!」

「はい。これで任務達成♡ミミズの方が楽しかったわ」

「さむさむ…。…えっ?早くね?そんな…あつ…。マジかよ…。う  
わゝゝ…うわゝゝ。汚ねえ氷漬けじゃんか…」

誰得の光景?飛んでる全てが氷漬けになつてる。確かにさ?そう  
なるお薬を調査したけどさ?効きすぎじゃね?用意されてた材料に  
1つ材料を足したからか?

発車してるのもいるねえ?周りの羽根にかかつてんじやんか…。  
ええ?名前通り?イキリ過ぎてない?

うん。俺氏。ファンタジー世界に冒険者と書いて遊び人と読む職  
業に転生か転移してんじやねえかな?

令司のちよつとした?ファンタジー世界の妄想が流れます

〈妄想スタート〉

転生か転移した俺。冒険者のエロイン達と出会う。そして一目惚れ?をされて安全な場所へ行き、流されるまま初夜?イベントをこなす

そして、ますます好きになられる。お代わりをした。いや、された?

男性が少なく弱々、生物達もエロ特化で男性の男性を狙う世界と判明。色々な困?として活躍をする事にb

クエスト初日で巨大ミミズ2種類の依頼を受ける。俺、襲われそうになる。エロイン達がキレて?ハイライトオフになつてミミズ全滅?

夜、エロイン達はバレないように自分でハッスルしたんだとか?いないんだとか?

2日目、そわそわしてチラチラと俺を見るエロイン達と、イキリバツタの討伐依頼を受ける

引きつけて全力でエロイン達の元へ走つて胸にダイブするのが俺の仕事!バツタ達は氷漬けになる

〈妄想終了〉

…と、ストーリーはこんな感じかな?まつ、雑なんだけどさ?テンプレ盛り沢山だよね〜

そんなテンプレを今、体験してんだよなあ。今更だけど貞操逆転世界に転移したのもファンタジー。エロ妻達とエロエロ出来るからありがと!

「あつ、褒美…。どうす…グエ!」

「そんなの決まってるわ♡ハグよ。ハグ♡むぎゅ〜っ」  
「ツツツ?!」

うほっ!気持ちええんじや〜!健全2日目を過ごしたいのに〜  
〜!元氣出ちやうの〜!

「はあ〜。満足した〜。指揮官?もう一ヶ所の田んぼへ向かったら?」

「お、おう…。ここより多いって言ってたなあ〜。連絡とるね?

あつ、ゆっくり休憩してて?」

司令司、こつちの世界に対応した携帯電話を手に入れて使う

「了解」

「……あつ?もしもし?フォーミダブル?うん。全部氷漬けになったよ。えっ?知ってる?そっか〜」

待機中の土佐達は、伸びをして美爆乳をタユンタユンと揺らす

「ねえ?空母の土佐?知ってるってどういう事?」

「えっ?ああ…。これじゃない?」

「フォーミダブル達がいる田んぼに向かいたいんだけどさ?場所はどこ?うん?空を見ろお?おう…」

司令司は、コソコソ話をしている所を見ながらフォーミダブルと会話をすのだった

「んっ?空?ああ…。フォーミダブルの艦載機か…。あつ、パイロットと目が会った。綺麗な敬礼されちゃった」

「そうね…。ロイヤルの艦載機が幾つかあるわ。で、土佐も艦載機を放ってるの」

「それで散布したんだよね。巨大な田んぼだからねえ?空母、大活躍ね?」

「そうね?土佐の艦載機の中で寛いでるのもいるわね。流石、ロイヤル。お茶会が始まってるわ」

「仲イイね。エンタープライズのパイロットだけ参加してなさそうだよ?」

「そうね。謎のルールでも存在してるのでしょ?んっ…」

「そっか。ふふ…。見てるね?」

「ええ…。見てるわね?もつと見て貰うわよ?」

「了解」

仲良いね!ハグしてお互いの美爆乳が沈んでいくね?司令司はしっかりと見てます

そんな所にサツサとこつちに来て!されるのだった

「うえっ!フォーミダブル?これは?うん。梯子、知ってる。エンタープライズの艦載機に乗れって?そっか。ありが…。あ〜…」

切られちゃった…。慌ててたなあ〜」

「指揮官。氷漬けになったバツタ達は饅頭達と一緒に処理すれば良いのかしら?」

「そうして。饅頭達が張り切ってるから従ってくればあつという間だと思おうよ?」

「了解。行つてらっしゃい」

「うん。行つてきますね〜?梯子、揺れるなあ…。あつ?ちよつ?急に縛つて?あ〜〜れ〜」

急に縛られちゃう令司。無事に艦載機の中にお邪魔した。令司の扱い、雑過ぎるんじゃないかな?

「到着つと…。あらら?パイロット…君?...ちやん?」

無口。ジエスチャーしてるからなんとかなる!

「……………」

うん。中性かな?そんな感じがする。綺麗な敬礼されちゃった。返しとこう

「エンタープライズはいないのか」

「……………」

首を縦にしたから肯定か

「そつか…。いないか。色々見るねえ?」

「……………」

お〜、広いんだね?みんなこうなのかもなあ〜。いや、エンタープライズだけかも?

「……………」

「あつ?お茶会?しよつか。喉渴いてたんだあ。…うんうん。美味しい。潤つてくよ…」

あはは。シリアスのクッキーが沢山あるわ。美味しそうに食べるねえ?...えつ?

「うっ?!眩しっ!」

建造機よりはマシだな…。あ〜。チカチカする。はやく戻れ〜

「あ〜…。戻った…。大丈夫じゃないでしょ?パイロット…ちやん

「?へえ〜?」

「……………」

すつご〜。中性からエンタープライズにそっくりになったよ。  
コードG…なのかな?

シリアスのクッキーは関係なさそう?ビツクリさせたかったんだ  
ろうなく〜。演出凝ってるね?エンタープライズ?サプライズ成功  
したよ?

「……………」

「うん?ズボンとパンツを脱げと?その右手に持つてるタライに出せ  
と?」

えっ?急ですね?イキリバツタ達のお薬の材料かな?それなら、納  
得だね?いつけえ〜

「……………」

「おふっ。掃除しなくていいんだよ?ごめんな?」

「……………」

?  
最後まで見てたなく〜。身体、ユラユラしてたけどさ?何だろうね

「ハグしたいんだ?どうぞ?おいで?」

「……………」

「よしよし…。あつ…エンジンが止まった?到着した感じだね?行っ  
てくるよ〜」

「……………」

無表情じゃないんだ?でね?エンタープライズ?色々と負けてる  
んだけど…?

さあさあ、お仕事お仕事お〜!イキリバツタ達い〜!エサが今  
から行きますからねえ〜?

ハイテンションでスカイダイビングをする。ファンタジー世界の  
冒険者の気分?をまた味わいたいんでしょうね?良いエサですねえ  
?



令司がエンタープライズの艦載機に乗ってコードGとハグしている時のオープン基地内の演習場

「くしゅんっ…。あ〜…。」

「ハアハア…あっ！由良っ！何で！」

「隙ありいっつ！」

「…えっ？きやくっつ！あうう…。あて、旗艦・由良。轟沈」

「轟沈確認。演習終了じゃ。セイレーン達の勝ちじゃ」

「お疲れ様〜。えっへへ〜。面白かった〜。長門〜？演習しようよ〜」

「オミッターの片方。燃費悪女だからの？資源が満遍なく減るのじゃ」

「ド力食い女なんだ〜？令司と交尾した時は燃費良かったんじゃないっけ？」

「うぐっ…。か、関係ないじゃろ?!そ、それと長門は、演習許可を指揮官から貰ってないのじゃ！」

「え〜？じゃあさ？じゃあさ？資源を使わない戦い方をして？ねえ？それなら許可なしでもイけるでしょ？ねえ？」

「えっ？それなら許可出てるのじゃ…。でも…でもじゃ…」

「戦いたくてうずうずしてるんでしょ〜？」

「…じゃ！やるのじゃあっ！いくぞー！」

「わあい！あつぶなあ〜い！あはは〜。あっ、おつきしちやったく〜！シないよ〜これは…ちよっ?!やっば〜」

「ズビ〜！うん…。直った…？」

「由良？どうしたの？逆転出来そうだったのに…。風邪なんかひかないの…？」

「江風…。なんか、誰かにあての噂をされた気がして…ね？ね？」

「ああ…。その巫女服を脱いだら凄いつて事をか…」

「えっ？まあ…うん。そうだけ…。指揮官、驚いてたし…。江風も凄いいじゃん？」

「ありがとう。由良には負けてるんだけどね？それじゃ、長門が演習しちやっただから陸奥に連絡入れるね」

「……。駆逐艦でそれは凄いいんだけどな……。……。さっ、みんな？工廠にいる夕張の所に行つて艦装を預けたら自由よ」

「了解」

くしゃみが出たのが演習で良かったね？戦場ならお陀仏じゃない？

審判？をしていた長門が煽られて？オミッターの片方と戦つてい始めた。資源を使つてないっていうのに凄い音が響いてますよ

江風はやれやれ。な顔をして長門たちの演習を見ながら陸奥に連絡を入れている。慣れてるようだ

由良は、長門たちをチラツと見てから仲間達に指示を出して解散？する事にした

令司？長門に演習許可を出してやれよ？ガス抜き？は大事でしょ？

長門は直談判すれば良いんじゃない？許可するでしょ？身体を使つちやえばいいさ。あつ、もう使つてたか？

◇

☆☆☆

〈第2食堂〉

「指揮官。異常発生したイキリバツタの駆除。お疲れ様です。どうぞ、召し上がれ」

「ありがと。サン・ルイ。頂きます……。はむっ……。うん。美味しい……。ゴキユゴキユ……。ぷはあくく。飲み物も美味しい。ご馳走様でした」

「ふふ。お粗末様でした。フォーミダブル達が駆除する田んぼのイキリバツタ達の様子はどうでしたか？」

「ゴクゴクゴク……。うん？どうつて？中型サイズで5000匹以上が繁殖期に入っていて交尾してたね。凄くオエつてなった。あつ、これがその時の動画ね？」

「はい。見ますね？……。うっわ……。すっごい……。メス、丈夫なんです



ね？あつ、フォーミダブル達が指揮官の調合したお薬を散布し出したら、指揮官がロックオンされましたね？」

「そうなんだよ。不思議過ぎるわ…」

「やっぱりロックオンされちった☆スリルあり過ぎたよ！」

「丈夫なんだよな〜？イッてる様子が無いんだよね…不思議過ぎる…。稲達が枯れていく瞬間見ちゃった…。ヤベエっすわ…。卵もデカかったし…。処理したぜ？」

「まあ、巨大な田んぼだから一部が全滅してもあちこちにあるから大丈夫って言われたな。備蓄が腐る程あるってみんな言ってたし…」

「で？サン・ルイ？ハイライトオフになってるぞ☆ハイライトさん、仕事熱心だね？アレだね？レイシニウムとやらを接種しないとかな？動画ストツプ！」

「アンっ…。指揮官？ありがとうございます…」

「よしよし。どういたしまして。そうそう。土佐達の所とは迫力が違ったよ〜。メチャメチャ走った。凄い良い運動になったよ。動画の続き見てみ？最高だと思っからさ？」

「イキリバツタ達の息子のサイズ違っただよ〜。小型は小型、中型は中型。大型は大型なんだろうね？」

「大型は、逃げ切れるかな？大型よ。存在してないでくれよ？」

「はい。…んっ？あははっ！最高ね？グロリアスったら最高の褒美を貰ってるじゃない。羨ましい」

「あははっ…。そうなんだよね〜？動画の通りでロイヤル空母隊はさ？優雅に駆除してないのよ。炎の壁の所為もあるかもだけど？」

「みんなの両目、ハイライトオフ☆だった。優雅じゃない攻撃をしまくりでしたよ。炎の壁に突進してコンガリ焼けているっていうのにな？」

「エンタープライズとエセックスが特に凄かったな。笑い声をあげながらだったからな〜。テンション高すぎでしたね」

「グロリアスのピ〜っ！にピーっ！だもんね？そんでね？俺も気にしてなかったな〜。キラ付けバツチリ。活躍したね」

「指揮官。もっと強く抱きしめて？」

「了解」

あゝ。癒されるゝ。息子は健全って事を分かってますねゝ。良い子良い子

それでコンガリ焼けたイキリバツタ達を俺以外のみんなが後片付けしたなあゝ。饅頭達は作業しながら食ってたし。雑食かあゝ。ありがたいよ

エロ特化生物だからこいつらも強壯剤とか精〇剤とか媚薬とかになつてんじやね？知らない内に食べたり飲んだりしてそうだよなゝゝゝ

美味しく食べた、飲んだのがまさにそれだったり？ってね？聞く気ないけど。もう何度も盛ってるっぽいし…。今更だし…

シヨクミミズのシヨク酒っていうお酒をお風呂で美味しく飲んでいたらしいからねえ？お酒作り出来る環境が整ってるんですねえ？

「あつ、そうそう。指揮官？熊野から聞いている？ヌーチスが食べられるようになったという事を？」

「んっ？聞いてないな」

ヌーチス？ああ…。バカデカイ古代魚ね？魚専門の饅頭達と熊野、鈴谷などが水槽の前で笑顔でピースしてたのは知ってる。食べられるんだ？

「そうなの？んっ…。美味しいわよ？夜になったら第1食堂でヌーチスのフルコースよ。もうね？健全でいられなくなるんじゃないかしら？」

「マジか？食べた事があるんだ？夜が楽しみだ。久しぶりに盛り上がるな？」

健全は2日で終了のようだ。寝ててもさ？溜まってる感じしてるからねゝ？単純だよねえ

みんな、かなり溜まってそうだよねゝ？あつ、でもニーねえや双子オミッターなどのセイレーン達のフタっちゃんを使ったり、癒し刑部屋で百合ん百合んしてるからスッキリしてるか？

「……………指揮官？」

「んっ？何だい？」

なんか寂しいや怒るや悲しい？みたいな色々なのが混ざった声で、指揮官？って言われたんだけど？

「サン・ルイを含めてみんな、セイレーン達のフタっちゃんを使ったり、癒し刑部屋で百合ん百合んしてスツキリとかしてないから。してないからっ！」

「お…おう…。そっか」

考えてる事が顔に出てたかな…？背後から抱きついてるんだけどな…？みんなも健全に過ごしてたのか。サキュバス並なのに？

「でもさ？自分の部屋で籠ってハッスルした事はあるんじゃないかな？」

「まあ、それなら…。サン・ルイはしてませんが」

「そうなんだ？夜。相手、お願いね？ふう…」

「ひゃい♡よ、よろしくおねぎやいしまふ♡」

「ありがと。失礼するね？」

フアンタジーの冒険は一旦終わりかな？今度はどんな名前のエロ特化巨大生物が異常発生するんだろ？楽しみだな…

ふむ。ヌーチス料理か…。楽しみですね…？食後のデザートとしてしっかりエロ妻達を食べるよ？オイルも沢山あるし。とことんハッスル出来そうだ

あつ、そうだ。トレーニング室でへろへろにしてからパーティーに臨もうかな？みんなのマッサージ受けたいからねえ？腕磨いてるでしょ？

令司はサン・ルイの右耳に息を吹きかけてトロトロにしてから食堂を去った

小型、中型のイキリバツタ達から逃げきってへろへろ気味な所に、トレーニング室で追い込みをかけようとすると、バカあ？

スキップをしてトレーニング室へ向かうのだった。マジでへろへろになる気のようにだ。料理に何かを盛られている事を知っているのでしょうか？

☆☆☆

「~~~~つ♪」

「えつとくく…。あつ、良かった。いたいた！指揮官！」

「おつ？オーロラ？んちゅん…。…どうしたんだい？トレーニング室に向かおうとしていた所だったんだが？」

「んつ…。佐久間サキさん。佐久間咲耶のお母さんですね。が、指揮官に会いたいそうです。基地に来てます」

「えつ？咲耶のお母さんが？急だね？オープン基地つて入れないんじゃないかったつけ？」

「おつと？突然、咲耶のお母さんのサキさんとの会話イベントが発生したぞ？」

「顔写真なかったからなく？どんな女性でしょうか？ついてる可能性あるか？アイマスクはしてるでしょ？会えば分かるか」

「そうですね？急ですね。オープン基地内に入れないのは、他の基地の指揮官や整備員達ですよ？一般女性達は入れます。結構出入りしてますよ？」

「えつ？そうなんだ？」

「一般女性達と出会うイベントがあったという事か。広過ぎるからイベントが発生しなかったんだな？土地がダダ余りしてるから住んでそうだ」

「そうです。行為室で待つて貰ってます」

「行為室か…。健全に過ごすのは終わりなのか…」

「ハグとキスだけの生活。結構楽しんだな。手で相手をしたのは健全じゃないかもだけど」

「サキさん…。そこヤリ部屋だったような…。ムラムラしてるのかな？処女って書いてあったけどね？数が少ない男性をゲットして卒業をしたが良いが満足出来なかったと？」

「相手にするのが多いのですから、無茶言わんでください。制限あるんですし。頑張った筈ですよ？うん。道具とは違うんだからね？うん」

「はい。健全に過ごすのは終わりです。夜にはヌーチス料理を食べて

元気になって素敵なおパーティーが開かれるんですから。楽しみです」  
「こっちこそ楽しみだ。サキさんをそのメニュー料理に招待しても良いんだろ？」

「指揮官が良いというのなら良いわ。みんな、受け入れるわよ」

「そうか…。行為室へ行くのか？案内よろしく。お姫様」

受け入れないっていつでも受け入れさせる？言霊って口もあるからねえ？口を塞がれたら効果ないと思うけどさ？よしっ…。お姫様抱っこをするか

「ええ…。任せて」

令司は咲耶のお母さん。サキさんとの会話イベントが発生。どんな会話をするのでしょうか？

お姫様抱っこで、ポーっとしてキュンキュンするオーロラ。夜の素敵なパーティーが楽しみですねえ？

☆☆☆☆

「ここが行為室よ。オーロラも入るわ」

流石。行為室。ドアの下からピンクの霧がモクモクと漏れてるぜ。行為中だろう？百合ん百合んしてるでしょ？男性はここには来ない宣言されたし…

「了解。よし。入ろうか」

「ハア…ハア…。アアっ…。んっ…」

「感度、バッチリねえ？長女の咲耶が働いているドエム基地のヴェスタルに良いようにされてたのね？」

「こっちの明石みたいなものね…」

「そうねえ？」

「Oh…。これはこれは…」

ヴェスタルとローンがおもてなししてたんだな？全裸で拘束されてるのがサキさん。イツた所をお邪魔しますねえ

このドスケベ世界。間違えた。貞操逆転世界の女性達って拘束されるのがお好きなようだな？

エロいアイマスクはテーブルの上に置いてあるのか。心の眩き、読まれちゃうね！

うん。サキさん。娘達がいるのに若あい！間違われるでしょ？フタっちゃんじゃない。美爆乳！男性をホイホイ滾らせるドスケベボデーだ。パーフェクト。ありがとう

アレだ。美魔女ってやつだ。うむ。ムラムラしちゃった魔法使えそう。拘束魔法が得意なんでしょ？拘束されて力を奪われて、負けてずっと分からせられるコースだろうなく…

枯れてポイされて。「はい。次の男、男…」ってね？うん。男性がなくなる理由になるなく。納得納得。前世からサキユバスなんだな？

「ふふ。指揮官、ムラムラしちゃってますね？」

「オーロラ。3日…。3日間。健全に過ごそうと思つて溜めてたんだぞ？コレを見たらムラムラして吠えちゃうって」

ようやく起きたか息子よ。寝坊助め…。おはようさん

「ふふっ…。もう我慢しなくて良いんですよ♡沢山吠えちゃつて良いんです♡ふうっ♡」

「うぐっ…。ああ…そうだな…」

オーロラ…。ズボンの上から優しく触りながら、胸を押し付けてきて右耳に甘いエロい声で囁いて吹きかけて誘惑するなよ。痛くなつたじゃないか

「ええ…。そうよ…。ドエム基地のヴェスタルに何度も弄られたわ。感度バッチリで良かったわ…。あら？令司…様？初めてまして♪あつ…まあ！」

「指揮官。行為室に初めて来たわね。まあ、場所知らなかったものね？あら、うふふっ…。咲耶のお母さん。サキさんの状態は最高でしょ？」

「そうだな。最高だよ。ローン。サキさん。初めまして。サキさんの長女の咲耶の夫の令司です。コレで、咲耶を美味しく頂きましたよ。美しく咲き乱れました。ご馳走様です」

「ええ。美味しく頂いたようで。ありがとうございます。お粗末様で

す。咲耶が幸せになってくれて嬉しいわ。後、咲耶のお友達の久場ユリと森咲も美味しく頂いたようで♡」

「ええ。そうですね。美味しかった。それですわね？いきなりですが、サキさん？」

「はい。何でしょうか？令司様？ハアハア…。アアつ…」

「ここは行為室。つまりヤリ部屋だ。まあ、交尾室と言っても良い」

「そうですね…。知ってます。サキは咲耶達と素敵に楽しく交尾する令司様に一目惚れしていました」

「それは嬉しい」

おっと？一目惚れだと？美魔女が？イタタ…。大はしやぎしちゃうか…。まだ待てえい。脱ぐから〜！

☆☆☆

「はうっ♡」

「「うふふっ」」

匂いでえ？それとエロ妻達からの熱い視線、最高。おっと。いかにかん。サキさんの相手だったわ…。心、読んでそうだし…。おっ？もう準備出来てるう〜

「ハア…ハアハア…はっはっ…。交尾したくてしたくて、積極的にこの行為室に通ってました♡ドエム基地にもたまに行きますけど…」

「ふう〜…。ほう…？では、コレをサキさんのにキスしても良いと？」

「アンっ♡はいっ♡処女なので激しくして下さいね♡」

そこは優しく。って言う所だと思っただけど？逆転してるからこうなるんだよな〜。逆転してる所が変過ぎるでしょ？

「優しくって言う所？なんですか？逆転してる？どういう事ですか？」

「おっと…。心を読まないで下さいよ〜」

「あつ、つい。気分は大丈夫でしょうか？」

「そんな青くならなくても大丈夫ですよ？咲耶達にも沢山、読まれましたからね？」

「良かった…。アアん…。周りに…」

「では、楽しくやりましょうか？サキさん？いや。サキ」

「…ツツツ♡ンチュ…。んゝんゝんゝくっ！」

「うふふ…。夜にヌーチス料理を食べてからのパーティーがあるのにつまみ食いしちやったわね♡」

「ローン。仕方ないわよ。2日間、健全に過ごせたのは凄いだから♡」

「誘惑っぽいのをしたヴェスタル達が悪いのもあると思うけどね？」

ローン、オーロラ、ヴェスタルの3人は、行為を見ながら優雅にお茶会を開いている。みんな、足を組んでいる。美脚ショーだな！

ヌーチス料理を食べ終わった後のパーティーを想像している様で、大洪水。受け入れの準備が出来ている。飲み物に何かが入っていたのでしょうか

「あつ…。♡」

「??どうし…。つつつああんっ！アツアツアツ」

「ハア…ハア…。ローンっ！ローンっ！」

「幸せ感じてるわね？ローン♡おめでと♡サキさんのを横取りしたわよっ。」

「フーツ♡フーツ♡ンンンッ!!ンフーツ♡」

「キスしてるから返事出来ないわね♡お熱いわね♡」

「ハア…ハア。んんっ…。ああ…。拘束されてるから令司様に会いに行けないこの状況。堪らないわあ♡」

令司の素敵な？暴走？が始まりました。トレーニング室でトレーニングするより最高のトレーニングでしょう???

「ああんっ♡お帰りなさい。サキの性癖を理解してくれて嬉しいわ♡愛してます♡ああつ♡オーロラに横取りされてイックうゝつつ!!!」

ヌーチス料理の準備が整って呼びに来るまで行為に励む励む♡サキも食堂へ拘束したまま連れて行くのだった

料理を美味しく食べて令司君はご立派に。素敵なパーティーでトコトン乱れ合うのだった。パーティーはバッチリ撮影されている



令司達の身体はまゝたツヤツツヤのモチモチになるでしょう。咲耶の反応がどうなるのかな？それと、そろそろ？子供がね？じゃないの？連絡貰った？

☆☆☆

〈深海の深海〉

「オロチちゃん。オロチちゃん」

「はい。何です？オリテスタ？もしかして、刺激が物足りなくなっちゃいました？」

「うん。物足りなくなっちゃった」

「そうですか。かなりのテスターが亡くなっているのに…。それらの色々なのを受け止めているのに？」

「そうなんだけどさあゝゝ？足りないのゝゝ」

「何かしらの対策をしないとですね？このドM」

「……つつつ！はあうあつ！冷えっ冷えの低音ボイスをありがと！少し満たされた！超がつくと思うよ？」

「へえゝゝ？そうですか？」

「そう。で、オロチちゃんのおっぱいは立派だね」

「えっ？ありがとうございます。背中に当てているのも相当なモノでは？」

「そうなの？デカイの？へえ？…あつ！オープン基地！オープン基地があつた！」

「オープン基地？エロく素敵な攻撃をしてくれる所ですか？それが？」

「いや？…ここ最近さあ、気持ち悪い優しい攻撃だからね？過激に攻めて欲しいなあ…？と…。攻撃してくれる回数も極端に減ってる気がするし…」

「最近、涙目で叫びながら口から大量に資源をブチ撒けてたのはそれでしたか」

「うん。だいぶスッキリしたね」

「物足りない理由はそれですよ。パンフレット出さなくて良かったじゃないですか。探すの大変だったんですよ?」

「えっ? そうなの? ゴメンね? これが恋ってヤツ? きゃはっ♡」

「……………」

「??? ねえ? ねえ? オロチちゃん? 何処かに行くの?」

「パンフレットに場所が書いてあるのでオープン基地へ行こうかと。エロく素敵な攻撃を受け止めたいので」

「つつつ?! オロチちゃんが外出する気になった! ありがと! オープン基地のみんな! ささ、準備して行こう!」

「はい。楽しみですね」

令司いっく!!! 大変だぞくく!!! セイレーンの頂点? と2番目? つぽいオリテスタとオロチちゃんがオープン基地へ向かうぞくくつ!

こいつらが移動した途端に深海の深海付近に生息している巨大? エロ? 生物達が死にかけてるぞくく! 死にかけてるから励んでるんだぜくく?

エロ妻達の攻撃は甘美だったそうだ。これは令司達が責任を持つてお相手しなさいよねっ!

本気出されたら逆転世界が滅ぶと思うよっ! ファイト!

元帥会議い〜？

咲耶のお母さん。サキがオープン基地に出入りしていた事が判明。  
一般女性達もオープン基地に出入りしていた

風○な場所なのでしょう。咲耶の基地と同じ役目？がそこには  
あった。行為室に到着した令司。サキはドストライクな容姿をして  
いた

食べちゃいたい位に。サキも令司に一目惚れ。食べられちゃいた  
い。と、お互いがWinWinだったという事でサクサクっ♡と、行  
為室で行為をドロッドロにした。おめでたになったよ！

行為室がそれなりにある事も分かった。令司の行動範囲が狭めだ  
から仕方ないんだよな〜。行為室に大人な道具がいっぱい。だが、  
汚い風船は存在していなかった。数、増やしたいからねえ

令司が頑張って健全に過ごす生活は終わったのだ。みんなもそれ  
なりに我慢してたんだった。それで凄く濃いのを出したそうな？我  
慢は良くない事を体感したね

そして晩ご飯に巨大古代魚？の精○剤？のヌーチス料理を食べて  
息子を元気にし、エロKANSEN達とサキと大いに盛り上がりま  
くる。乱乱したんだ

令司達が盛り上がりまくっている裏では、セイレーンのボス？と副  
ボス？のオロチとオリテスタがオープン基地を目指して移動してい  
る。令司達は、素晴らしい危機が迫って？きている事がいつ分かるの  
でしょうか？

令司はボス級の2人と会ったらどんな行動を取るのでしょうかね  
？愛し合うのでしょうか？それとも殺し合うのでしょうか？

☆☆☆

令司達が素晴らしいパーティーを開いて盛り上がりまくっている  
頃。どこかの海域でドンドンパチパチと戦闘が繰り広げられていた。  
んだけど…

「『『『『『『『』』』』』』』」

「『『『『『『『』』』』』』』』」

「うっ…。あうっ…。ひゃん!」

「…ふくくん? 感度は良いっぽいけど開発されてないね…。…処女なのね…。大丈夫。傷付けないわ。もう終わりにするから」

あつさりと勝負がついた。セイレーンの勝ち。セイレーンのエロ攻撃をみんな、喰らっているのだった。両目がトロンとしている。涎もいっぱい垂らしている。轟沈してないだけ優しい? のか?

「はあ…はあ…はあ…。つぐ♡」

「気持ち良くなれたのね? 良かったね? んれろん…」

(はあ…。オープン基地じゃなかった…。残念…。見ただけで脚、プルプルさせてたからなく。やつぱり醜いんだろうなく。髪長いから? ボサボサじゃないんだけど…。)

「やつほくく♡オロチちゃん、オロチちゃん♡傷付けないで気持ち良くして無力化♡凄いいよく♡」

「背後から両おっぱい揉みしだきながら言う事? オリテスタは? 気持ち良くなれたの?」

「なれない! つまんない! みんな攻撃してくれないんだもん! 脚、プルプルさせちゃってさくく? コツチから攻撃したらご覧の通りだもん!」

「へえ? みんな、全裸で綺麗に横一列に並んで両手、両足を大の字で固定されてるのね? オリテスタの艦装の粘液でヌルヌルじゃない…。…凄く臭いね?」

「オープン基地用に改造したからね? 凄い光景だよ♡鼻つままなくて良いのにくく。良い匂いだよ?」

どこかの基地のみんながエロイベントに遭った様だ。改造したのは良いが、オープン基地のみんなは捕まりませんよ?」

令司が拘束中のみんなを見たらごくくと、唾を呑み込むでしょう。百合尊い! とか叫びそう

分身体? と感覚が共有されてるみたいだからね? オリテスタがしっかりとサンドバックになるんです。レイシニウムを十分に補給し

たみんなはギラギラするからさ♡

「拘束したままオープン基地へ向かいましょうか。…いつまで揉んでるんです?…」

(気持ち良くなれないなあ…。揉み加減色々してくれてるけど…)

観賞と話をしている間ずっと揉んでいたオリテスタ。オロチの表情は清々しい程に無表情。オープン基地のニューカッスルと良い勝負が出来そうだな

「おつと…。ごめんごめん。揉み心地最高だったからつい…。むう…。濡れてない。不感症め…。まあ、いいや。オープン基地へゴー!」

令司は不感症のオロチを攻略出来るのか?それとも令司が攻略されちゃうのか?オロチは、なんか黒いオーラを纏ってるね?」

「では…。オープン基地へ案内お願いしますね?」

「は、はいいゝ!!!案内します!」

「あんっ♡」×12

「あゝ。早くオープン基地に到着したゝゝい!」

「あつ、そうそう。応援を要請したようだけど、応援組もこうなる所を見てて下さいね?」

「あははっ♡なる所、見とけ見とけ♡」

オープン基地への案内艦をゲットしたので到着するのが早くなるか?」

しばらく移動していると応援組が到着する。必死に攻撃をするが、2人はつままない表情をして鮮やかに避けてみんなを宣言通りに拘束したのだつた

応援組もじんわりと快感を与えられるのだった。必死に抵抗しても無駄なのだ

いつオープン基地へ到着するのかな?楽しみですね?ルンルンで移動していると

「あぐっ♡」

「えっ?谷間を強調して何、変な声を出してんの?」

「キタキタキタキタ♡アゝゝツツツ♡濡れるつつっ♡おうっ♡」

「あゝゝ…。オープン基地のみんな？から攻撃されてるんですね？幸  
せで良いな…。クソが…。あつ？ううん。何も言っていないですよ  
ゝ？チツ…」

（何、気持ち良くなってるのよ！オロチもちゃんと気持ち良くなりた  
いわよ！良い男にドチャクソに攻め抜かれたいわよ！オープン基地  
の指揮官が男性そうだし。それっばいし！）

「……………」

（背中がずつと寒いゝゝつ!!!オープン基地まで5日間も視線を浴びな  
きやいけないのゝゝ!!!みんな喘ぎ過ぎてどうにかなつちやいそう…。  
タスケテ…。シキカン）

案内、お疲れ様でゝゝす！

☆☆☆

オロチとオリテスタ達がオープン基地へ向かって来ている頃の令  
司達は、素敵な素敵なパーティーを終えて眠っていたり、復活してセ  
イレーン退治をしていたりしたのだった。仕事熱心？ですね？

「ふうゝゝ。素晴らしく気持ち良くなれたわゝゝ。身体バキバキだ  
…」

サキ達と行為室で行為してからヌーチス料理を食べに食堂へ行つ  
たら、みんなエチチなパーティードレスを着ていたんだ！すっかり観  
賞したぜ！

ノー○ラ・ノー○ンだったから眼福だったんだぜ！ありがと！分  
かっているじゃんか！点火しちやったからみんなを押し倒して食べま  
くつちやったぜ♡抵抗すれば勝ち目は無いのにね？しないのよ…

ヌーチスってさ？超が幾つもつく高級な精が付く魚じゃんか！元  
気有り余り過ぎて2週間ぶつ通しで行為しちやった♡みんな、エロい  
ゾンビみたいになつてたなあゝ♡

素晴らしい！令司は立派な種…、ゲフンゲフン。カッコ良いオスな  
んだね！お風呂はどうしたか？繋がったまま入った様だぜ？

ずゝつと誰かに密着されて2週間を過ごしたんだとか。2日間溜  
めまくったのも1つの原因でしょうが。お互いが最高に気持ち良い

2週間を過ごしたんだね!

饅頭達は狂った様にずっとお掃除と食事をしてくれたし。部屋は臭わなかった。空気美味かった!ありがとうございます!」

「Z z z z ……。Z z z z ……。」  
「ハッスルお疲れ様。あつ、そうだ。元帥会議に参加してね?はい。これ…」

「元帥会議い〜?ローン。ありがと。ご〜ご〜ご〜ご〜。あ〜。美味しい〜!!!」

とろみのあるお茶を美味しく飲む。みんなキラキラしてて幸せな顔をして寝ている。下の口から溢れているけどな!

「そうよ?まあ、会議といつてもストリップだけだ」

「へえ?ストリップね?…:…んっ?もしかしてその女性元帥達とヤレと?」

会議じゃなくない?ストリップだから新作水着とかのお披露目会かな?最高じゃね?

ピンポンピンポン!大正解!新作水着以外にも他のエロイベントがあるかもよ?

そういえば、咲耶が書類仕事が、手書きからパソコン作業へ変わったって言ってたっけ。それでコミュニケーションを取る時間が増えたと喜んでたな。そんな指示?出した覚えないけど楽が出来て良かったね?

「勿論よ♡カッチカチで拗れまくってるからチョロいわよ♡サキのパパさん♡」

まじか?7人の美女な元帥達のストリップを観れると。カッチカチなんだ?まあ、みんな秘書KANがアイドル方面達だったからな〜。KAN-SEN達の目ハイライト無かったけどさ?これ、サキ情報

「そっか…。おうっ…」

うんうん。サキが念願の男の子を持つ事が出来たもんね?5人もさ?おめでと!咲耶も3人の男の子を持ったって連絡来てたな〜

サキとの行為、バレバレだったけどさ。咲耶、泣いて喜んでたな。

サキの締めり良くなつてたよな♡

咲耶のお友達の咲とユリは男の子を1人と女の子2人って言つてたっけ。約束取り付けられちゃった♡あんな最高のサキュバスコスプレ姿をされたらね♡イキますとも!

でさ?でさ?子供達さ?成長スピード過ごすぎるんですけど?もう、小学生位になつてただけど…。ドエム基地のKANSEN達は面倒見が良かったなあ。整備員達もね?

「うふふふふ♡スケベな所、好きよ♡」

「ああ…。エロ過ぎるローンを愛してるよ♡」

「ンチュ♡んっ♡んっ♡」

令司の令司君が素敵に吠えまくってパーティーが終了した後、女性元帥達とのエロイベントの開催を知らされた

ローンと愛し合つたドロドロのエチチボディを見てたら、ローンがハグをしてきて濃厚なキスを始める。マジでサキュバスとインキュバスですな!!!?

「ふふふ♡お熱いわね♡サキも混ぜて♡」

(男の子を持って嬉しいわ♡会社みんなに動画を見せつけたらフタちゃん達が祝福の砲撃してくれたもの♡優しい部下達を持って嬉しい♡刺激されてア♡ルプレイおっ始めちゃったけど♡令司様、食い入る様に見てたわね♡)

起きてきたサキ。のけ者にしないでしっかり濃厚なキスをしてイかせたのだった。子供達?別の部屋で饅頭達やゆーちゃんと遊んでいる。ゆーちゃんは令司のを中に残したまま遊ぶのだった。だいたいイかれてる

「ん〜…。キスご馳走様。で?元帥会議ってどこでやるの?」

「指揮艦に乗って海上でやるのよ。そろそろ現れる頃ね?」

指揮官?に乗って?ローンにぶっ刺したまんま移動すんのね?気持ち良いな…。溶けちゃう。いや…。船の方だよな。指揮官が乗る為の船かだろう…。そんなの無かったような?アレえく???

セイレーンの脅威がありそうだけど、みんなの戦闘力は凄いから安心だよな?



「そうか…。ローン。海上まで案内頼むわ…」

「サキに任せた方が良いわね。抜くわ…。ふう…。サラトガ、ボルチモア、ブレマートンに連絡入れとくわね」

「任されたわ。ふふ。楽しく報道が出来るわ。今回は盛り上がるわ♡（7人全員はどんな声をあげるのかしら♡）」

「あつ、はい。よろしく」

うひよくく!!! やっぱやわらけくく!!! カップ数を聞いたら咲耶より上だったよ。咲耶、遺伝してんだな…。妹達も期待しちゃうぞ？

うん。乳首、クリクリすんの好きですねくく!!! 逆転してるからそうなんだろうけどさあくく。慣れないわ

「しばらくこう、密着させてね？あなた♡」

「もちろんだとも！サキ」

「ああん♡もつと醜いおっぱいを揉んで♡」

令司は出発の準備が完了してるからサラトガ、ボルチモア、ブレマートンが迎えに来るまでサキとお互いの身体を触りあって楽しんでた。3人の周りに♡マークが飛び散っているぞ

醜くないという事をエロイアイマスクを外して分からせるのだった。ずっと顔が赤いままのサキなのだった

☆☆☆

「はいはくくい！サラトガが指揮艦へ案内するよくく！サキさんも一緒だって話だったねくく。よろしくくく」

「2人とも熱い世界に入ってるから聞いてないわよ…。ちよつとくく？ボルチモア達も居る事を忘れないでよくく？」

サキとイチヤイチャ現場へ到着したサラトガ、ボルチモア、ブレマートン。サラトガはテンションが高め

ここのサラトガは美爆乳をお持ちだ。ロリ爆乳である。他の基地のサラトガ達はこんな立派に育ってはいない。クイーン・エリザベスと同じなのだ。サラトガの姉のレキシントンも立派な美爆乳を持っている

「ぶはっ…ああ…。たの…むっ!!?」

ブレマートンっ!!!なんて素敵な格好をしてるんだ!それと汗をいっばいかいてるっ!頂きます!

「あはは…。きやつ!!?」

令司は汗をたつぷりかいているブレマートンへダイブしてセクハラ…もといコミュニケーションをとった。サラトガとボルチモアも汗をかいていたんですけどね?何かが違うたのでしょう。グツと来た様だ

ブレマートンは驚いたが直ぐにハグをもつとして!みたいになつて抱き締め返した。

あの?イチヤイチャするのは良いですけど指揮艦へ早く行きません?女性元帥達が待つてるでしょ?

「おっ?ブレ。良かったじゃん。そのままにしとけよ?」

「あ〜あ。サラトガ、賭けに負けちゃった〜♡んっ…」

勝負をしていたようだ。サラトガはボルチモアにお尻を揉まれる。溜まってんのかな?パーティーで沢山愛し合ったのに?成分補給出来たのに。2人ともキラキラ。ブレマートンもキラキラ

「負けちゃったな?まあ、ブレマートンに全て負けてるけど…」

「う…ひゃうっ?!指揮官、汗、舐め過ぎ!臭…いかアっ♡」

「良いも〜くん!ここはザコじゃないもん。ボルチモアはザコだよ  
ね」

サラトガはぶるると揺らしてから下の口を指差してボルチモアに吠える

「んなっ!?!そ、そうだよ…。でもパーチャミよりザコくない!」

「そうだったね。アレよりマシだったね〜。でさ?ボルチモアってばお腹をメチャメチャ触られてたね〜」

パーチャミはアレ呼ばわりされているようだ。アイドルがそんな事を言っちゃいけないと思うんだけどなあ

「う、うん…。ゾクゾクしちゃった♡あ、こら…。ニヤニヤすんなよ〜!」

「みんな熱いわね〜♡写真、数枚撮っても良いかしら?」

「んっ?どうぞ♪熱々な指揮官達をいっぱい撮ってね?」

「ありがと♪:うんうん♪良い写真が撮れたわ」

「それじゃ、熱々なお二人さんを縄で縛って指揮艦の所へ案内しま〜す!失礼しますね〜!ほいつ」

「んぐっ!?(入れちやった...入れられちやった♡ああ〜♡・ああ〜♡)」

サラトガが縄で縛った時、キスをしていた令司とブレマートンで、勢いあまって行為をしてしまった。令司君はさ?ぶっ通しでシタというのに元気になったんだな?回復力、凄くないかい?

「サラトガ達と久々に会える〜!レベルアップしてるかな〜?」

「よつと...。してないと思うな〜?いつも通りみんなの両目がハイライトオフになってるだけだよ。あつ、やばつ。時間きてんじやん。急がないと!」

「うわっ。本当だ...。走ろっか♡失礼しますねっ」

「良い写真が撮れてるわ♪最高♪きやつ。んぐっ?!」

(えっ?ちよっ?!猿轡されたんだけど?!いつの間にか首にカメラをかけるし...。きやく〜っ!速い速いつ!!)

動けない2人をひよいつとお姫様抱っこしたボルチモア。サラトガはずつと写真を撮っているサキをお姫様抱っこ。時間がギリギリのようで猛スピードで走るのだった

指揮艦に無事到着するのでしょうか?男性だから遅れても許される?世界ではあるけどさ...?

仲良くなれるエロイベントを逃しちや、元帥達は数の少ない他の男性に取られちゃうんじゃないかい?拗れてるっばいから大丈夫?だとは思っけどさ...

☆☆☆

指揮艦が現れる海上で、7人の拗れ女性元帥と、護衛艦やアイドル艦が数名が待っていた。海面がゴゴゴツツ!!となる

「あつ...。指揮艦が現れましたよ!○○元帥!」

「そうね…。デカイわね…。とと…。揺れが凄いわ…。ヨシつ。新作の水着を複数用意したし淑女としてアピールしなくちゃね！」

「あ～～～！サラトガ様の神々しい水着姿が見れる！ありがたや～～～！ありがたや～～～！」

「ソウダネ…。アハハハ…。（これ、紐じゃん…。刺つてたけどさ…。こんなのが良いんだ？）」

黒い巨大な指揮艦が現れてみんながギャ～ギャ～ワ～ワ～していいる。盛り上がってるね？

「…遅いのお～～。まだ、イチャイチャしてるのかな？」

「そうでしょ？間に合うでしょ？サラトガ、ボルチモア、ブレマートンだし」

オーブン基地の長門が腕組みをして令司達を待っている。護衛艦？として来ているようだ。ローンに選ばれた3名は脚が速いんだね？島風？ちよつと何言ってるのか分からない

戦艦を護衛艦に使うのはどうなのだろうか？江風とクリーブランドも護衛艦として来ている。3人とも素敵なパーティーに参加していた。そして中に残したままだ

「そっか…。んぶっ?!」

「サプラ～～イズ！ねね！長門、長門。指揮艦の底にこんなのが付いてたよ～？黒…。：長門？どうしたの～～？うぎや～～っ?!」

アルバコアが長門をずぶ濡れにするサプライズをした。長門は海水を思いつきり飲んでしまった。スケスケしちやったぞ～？で、アルバコア？戦艦にサプライズしちやダメでしょ!?

「江風？…アルバコアってさ？大鳳専門じゃなかったっけ？んつとと…??何だろ？この黒い箱は？」

クリーブランドが両手で黒い箱をキャッチ。太陽に照らして表裏を見るのだった

「うん？そうだけど？ん～、なんだろう？貸して。ん～？チクタクチクタクしてるね？時計かな？あれ…？開け口が分からないな…」

江風に渡して箱に右耳をつける。チクタクするのを聞いて開けようとするが開け口が無い。艤装でグツバイしちやえば？と思うだろ

うが、こういった物に使用出来ない仕様だ

「まあ、いつか…。指揮官に見せれば分かるでしょ？はい…」

「返されても…。とりあえず明石が作った亜空間にポイしとこつと…。渡されたこのスイッチを押してと…。うわ…。穴が出来たよ…。すぐ…。で、そいやつ。これでヨシ…」

（うくくん。亜空間って何処に繋がってるんだろう？別の世界かな？考えても無駄だね…）

クリーブランドの行動は正しいぞ。その黒い箱は爆弾だし♡威力高めだぞ♡明石、亜空間を作れたんだ？グッジョブ！爆弾は亜空間内で爆発したぜ！

「で、アルバコアはこうして誰にでもサプライズするよ？」

サプライズ好きなアルバコアは護衛艦をする前に大鳳にサプライズしていてアルバコアが気絶した。潜水艦のみんなが慣れた手付き回収して修理剤をぶっ掛けてここに来ている。アルバコアも司令と行為をシタぞ。で、残っているぞ

「へえ？…：…んっ？サプライズされた事ないんだけど？」

「重桜だけだった…。だいたい、ああやって長門は愛情たっぷりアイアンクローをするの」

「ふくん？娯楽ってとこかな？…おっ？この音は…：キタっ」

「来たね…。間に合ったな…」

アルバコアへ愛情たっぷりアイアンクローをかましてグツタリしたアルバコアを見るクリーブランドと江風。クリーブランドが音を聞き取った。江風も聞き取った。2人は音がする方へ振り向く。KANSEN達は耳が良い

「ふく。お待たせく。時間ギリギリく。サラトガ、良い汗かいたく」

間に合ったようだ。5人目が乗り込む所だったぞ

「んむ、っ！（寒い寒い寒い寒い寒…：。っ、ぎゃくっ?!アツツくい!!!）」

「お待たせ。出来上がってるサキ、指揮官、ブレマートンを指揮艦の中に連れてくね？」

「よろしく。サラトガ、ボルチモア。護衛は任せて。…元帥達を喰う

のにブレマートンとシちゃったんだ？サキさんに『アツいぞ☆』って  
いうポーシオンをぶっ掛けたわね…。原液のままです」

(ブレ、涙目でトロンとしてる…。良いなあ…)

「こんぐらい、サキさんは平気よ。ドエム基地のヴェスタルに気に入  
られてたからさ。ね？」

「そっか。なら大丈夫だね」

「んっ?! (ええ…。まあ…。平気…よ?)」

「大丈夫よ。元帥達のストリップ見てたら元気になるから♪あと、サ  
ラトガが応援するし♪」

「そうだね…」

「うん。それと一応、指揮官が元気になる薬を沢山用意したから♪成  
分は七色黄金ママシでしょ？ビリテングダケでしょ？ヌーチスの肝  
臓エキスが入ってるんだってさ♪」

ボルチモアの谷間から精♡剤を取り出して笑顔で振りながら成分  
を喋る。見た目が毒ポーシオンなんだよな。その成分、凄くヤバそう  
だぞ？

「うわ…。ボルチモア、それが何なのか理解してないでしょ？」

「????」

お姫様抱っこされて来た令司は入れたまま寝ている。凶太いなあ  
…。いや、これは気絶してるのかな？猛スピードで来たから仕方な  
いのもかもしれないが。令司は全裸だ。で、出すもんをブレマートンに  
出したようだ

成分を聞いて引き攣った顔をする江風。そしてボボボつと真つ赤  
になりモゾモゾする。色々と思いつ出したのだろう

「うわっ…。拗れ元帥達をやり殺す気マンマンじゃん♡サキさん、良  
い動画が撮れるよ♪良かったじゃん♡」

クリーブランドは両目を♡マークにしてジャンプして喜んでいる。  
頭を壊しちゃった？

「んっ?!?!」

(ウソっ?!超危険生物のエキスしか使っていないじゃないっ?!手に入れ  
るの難しいのに?!で、毒性強いじゃない!それを使って元帥達を廃人

にする気なのっ?!羨ましいっ!是非飲んでサキを沢山使って♡)

ヤバかったようだ。サキ?あなたも色々壊れちゃったのね?聞いてて下の口がキュンキュンしてる気がするぞ?モジモジしてるし

「サラトガー!ボルチモア!最後の元帥達が乗り込んだのじゃ!サツサと乗れ!」

「ふう〜。長門のアイアンクロー最高だった♪これだからサプライズは止められないよ♡」

くねくねしながら言う事です?

「はあ〜い♡」

「逝ってらっしゃ〜い♪」

長門とアルバコアが復帰したようだ。最後の元帥達が乗った事を知らせる。そして更に?援軍?が到着した

「間に合った〜♪」

「来たか…。間に合って良かったのじゃ。戦闘お疲れ様じゃ」

「お疲れ様。吾妻と樫野…。乗る感じ?」

「ありがとう。そうよ。乗るわよ?三笠の指示だもの」

「ありがとう。樫野は明石からですけどね。ボルチモアに持たせた精♡剤を使う時が来た時用の穴ですよ♡素晴らしく気持ち良いとお褒めいただいたし♡では、逝ってきますね♡」

「アツ、ハイ」

令司が指揮艦へ会場入りを果たしました。令司の令司君を酷使?するエロイベントが始まるぞ!身体、壊さないでね?行ってきますの字が違いそうだから令司は生還するんだろうけどさ?

吾妻と樫野は後ろに手を組んでルンルンな気分で指揮艦に乗った。いつ襲われても良い様に大洪水にしていた。マンマンですねえ?

女性元帥達やアイドル艦達とちゃんと仲良くなってるギシギシアンアンしような!令司の顔や令司君の事はみんな知ってるからさ?イケるイケる!

ボルチモアが理解していない毒ポーションを飲む令司。吾妻と樫野の活躍により1人の元帥を廃人に、サキを廃人手前にする最小限の犠牲にする未来が待っているんだ♡

アイドル艦に認定されているのは、サラトガ、伊吹、那珂、イントレピット、アクイラ、インディアナポリスぐらいである。水着着てストリップするぞ！

☆☆☆

オープン基地へ向かうオロチ達。とある海域に入る。時系列は令司達が指揮艦に乗って元帥会議という名の交流会を楽しんでしている所だ

「…………。さつきからドコンボコンと爆発音がしてるんだけど？水柱、凄い数ね…」

「あつ、はい。ここは爆発物モリモリ海域ですからね。ずっと爆発してますよ…」

(ふええええ…。オロチがシールド展開してるよ……。で、なんか守られてるよ……)

海域名が変ですね？爆発してて水柱があちこちに出来てるよ。同時だったり時間が少しズレてたり。色々と凄い事になってる

水柱に少し当たっただけで大破しちやいそうな威力だ。そんなのがずっと爆発するってどんだけモリモリに埋まってるんだYO！

「ふえええ？近道…なんだよね？」  
「そうです…」

(うえええ！黒いオーラがまた濃くなってる気がする。頭、ボーっとしちゃう…)

水柱を避けて案内をする。色々な近道を使って頑張つてオープン基地へ連れてくんだ！5日掛かる所を3日位まで短縮しろ！

「あえええ♡気持ち良いえええ！オープン基地のみんな、ありがとえええ！最高♡うはっ♡水柱に当たった。気持ち良いえええ♡」

「えええ？」  
「?!?!」

拘束されてるトロトロ顔を晒している20名以上がオリテスタを見てびっくりしてる。だって、大破しちやうかもな水柱に艤装が当



たったのに小破以下なんだから。頑丈すぎひん？どうなってんのさ？再生魔法でも使えるの？

「フルボッコにされてるのね？艦装の一部を椅子にして拘束して正解だったわね？」

オロチが振り向いて言う様にオリテスタは椅子に座って拘束されている。座り心地の良いキング椅子に艦装が変形出来るとか凄いい〜？燃料とか色々なのを爆食いしそうだけどね？

「うん♡オロチ、あゝりゝがどう♡っ♡あああああああゝゝゝゝっっっ!!ビリビリぎもゝぢいゝゝゝっ！」

「そっか…。それは良かった…。うん。凄く威力の高い電流を流されてるね？お漏らししちゃって…。燃料ありがと」

オリテスタのお漏らしが燃料とかなんか凄いいね？両手、両足が焦げてるじゃん。でも再生してるっばいんだよね？流石。ボスなだけあるわ

こんなのはどうやって勝てと？超？ドマゾ？は無敵なんだな…。マゾのMではなく、無敵のMかもしれない

オロチの艦装の1つが補給を開始。他の7つの艦装は分け与えられてるようでどれも急激に満タンになっていく。補給艦かな？

「濃厚な燃料ね？ふ〜ん？所々からあつたかい柱が出来てるわね〜」

（あつ、艦装が一部溶けたけど、もう治っちゃった…。もうちよつと気持ち良くなりたかったのにな…）

オリテスタの燃料補給？してる最中よ？肌がガサガサしてたのがモチモチのツヤツヤになってるんだよね。オープン基地の攻撃が燃料補給とかになってるんだな？

案内しているKANISENの補給？もう済んでるよ。拘束されてるみんなの艦装から貰ってね？

指揮艦に付いていた爆弾はこの海域のかもしれないね？付いた状態をよく爆発しなかったな？

もしかしたら途中で令司達とばったり遭遇するイベントがあるかも？令司？イベント同時攻略は楽に出来るよなあ？それに護衛艦が

いるから何とかなるでしょ？

サツサと令司達と出会えって！

☆☆☆

元帥会議に参加している頃のドエム基地の執務室

「この入力で…最後おっ！終わってたっ！」

「咲耶指揮官、お疲れ様です。飲み物どうぞ」

「ありがと、高雄。んっ！美味しいっ！ハア…。パソコン導入  
やっ！だよっ！んもう！早い！ありがと！」

「そうですね。想像以上に早く終わりましたからね。令司様のお陰で  
すね？」

「うんうん。流石だよ♡ダーリンは♡お代わりお願い」

「流石と言えば咲耶のお母さんのサキさんと令司様がイチャイチャ行  
為をシて男の子を産んだんですよ？」

「んっ？愛宕？気付かなくてごめんね？そうだよ？素敵なパーティー  
に参加したから数、負けちゃった」

「十分おめでたですけどね？泣いて祝福してたね？」

「高雄、ハグしてもらって高揚しました♪加賀の言葉を借りると上々  
ね♪」

「あつ、うん…。んっ。美味しい」

「愛宕は愛宕ちゃんだけでしたも。もうどこかでゴールインを果た  
してるけどね？」

「お友達の咲、ユリと一緒にサキユバスのコスプレを見せて子供、予約  
したじゃない」

「愛宕の愛宕ちゃん。おめでと。ホーネット。そうだよ？あつちには  
本物のサキユバス達がいるんだけどさ？その本物達からお墨付き  
貰っちゃった♡イエー！」

「そうだったね？後はフタ基地の妹達だね？」

「愛宕、笑顔で何て事を…」

「んっ！家族全員が竿に？最高ね！ダーリン、大丈夫かな？フタ基

地って強いんだけど…」

「そうみたいですわね？大丈夫でしょ？で、みんなに幕はちゃんとあるようですよ？…この明石とヴェスタルが全員を診察しましたし…」

「人間もKAN—SENもだよわね？報告されたから知ってるわよ。フタ基地へ出張しなくちゃか…」

「もうずっと書類仕事は無いので休暇を使って行きましよう。たんまり溜まっていますからね？」

「そうね。パソコンに疎いから勉強会開いてあげないと…。最悪はご褒美（意味深）で釣ってね」

「ご褒美（意味深）ですか…。簡単に釣れますわね♪こっちのベルファストを連れて行きましようよ」

「んっ？行くメンバーはジャンケン大会で決めるわ。行く数は20名よ。整備員達も含めてね？それ以外はこの基地の維持等をよろしくね？」

「了解致しました。直ぐにジャンケン大会を開催しますわ♪放送室へ行って来ます」

「うん。あっ！」

「はい」

「エロ巨大生物達がなんかいきなり狂い出したから異常発生しちゃってるって報告が来てるの。残ったみんなで考えて駆除して。お願いね？」

「はっ!!!」

司令のお陰で全基地にパソコンが導入されたようだ。凄いで。司令。たんまり溜まっていた休暇を使うようだ

ジャンケン大会って。KAN—SEN達は身体能力が凄すぎんだから引き分けばっかになりそうだけど？整備員達は簡単に全滅するよ…。決まるのかな…？

エロ巨大生物達の話が出た途端にみんなの両目がハイライトオフに。3名は恨みでもありそうだ。他のみんなより狩りまくってたのかもね？みんな、勢い良く走っていった

「ふう〜」。元帥会議の時間だね？新作水着にストリップ、ヌルヌル

相撲とかを見ないと…。今回からダーリンが参加するし。…ごぶつ!?!」

「ゲホゲホゲホツツツ…。情熱的なキスしてるっ。1人、廃人にされてる…。えっ? 凄い量じゃん? えっ? 廃人寸前がお母さん?! 檜野と吾妻、ありがとう!」

パソコンをパソコン置き場って書いてある所へ置いて、テレビを付けて元帥会議を見てたら鼻と口から吹いちやったよ…。ボルチモアの持っていた精<sup>♡</sup>剤を使用したようだ。人間を辞めちやったね? ギラギラして見ている。息荒いぜ!

「はい。こちらドエム基地、咲耶でございます。あく。なんだ。咲希か…。どうしたの? うん。見てるよ? 元帥会議。そう。お母さんが廃人寸前。凄いよね? 興味出たの? そっか。あげちゃえ♪んん? 怒んないよ。お姉ちゃんに見せてね?」

あらら? 咲希が簡単に堕ちちゃったか? ギラギラしたまま妹と会話してるよ。このエロ姉さんは…

「やつほくく? 早紀。んっ? 息荒いね? 早紀チンで誰かをパコパコしたくなったの? ダーリンとしたい? まあまあ♪えっ? K A N I S E N 達も息荒いの? ふくくん?」

「戦艦の加賀は気絶して保健室かく。オープン基地への移動が決まってるんだよね? 大丈夫じゃないじゃ…。何とかなる? そうなんだ?」

「早紀はオープン基地へ行く? 移動するんだ? 咲希の許可が降りたの。へえ? 出世したのね? おめでと。おっ? 廃人になりたい? 咲耶にじゃなくてダーリンに言つてよね?」

「あつ、そうそう。休暇を取ったからフタ基地へお邪魔するわ。パソコンを教えに行くわ。K A N I S E N? 20名行くわよ? どう致しまして。ええ? どうしようかなくく? ちよつとくく? 泣かなくて良くない? もう電話切るわね? またね?」

「楽しくなりそうね♪フタ基地へ行く準備なくちゃねくく♪帰る期限を言っていないけど、かなり使えそう♪ダーリン、許してくれるかなくく? 電話して聞いてみよつと♪」

令司が来てから表情が明るくなったな？いや〜、妹達が令司の令司君を受け入れる準備が出来たようだ。良かったな？

ついでに沢山、掘られるのが確定？したようだけ？ファイト！令司も受け入れ体勢は整ってるんだろ？素敵なパーティーを始めよう！

マジかよ…

素敵な素敵な乱乱パーティーを2週間ぶつ通して楽しんだ令司。終わって身体をバキバキ鳴らしている所にローンが来る。いっつもバキバキボキボキしてんね？

ローンから元帥会議と言うワードを聞く。これは会議と言う名のストリップショーが見れるエロイベントだった。言わば？交流会の様な奴である。元帥達の仕事つてこういうのなのかもしれない？

やれる許可がローンから出ちやった。簡単に仲良くなれて墮とせると言われるのだった。その通りなんですよね…。令司は女性元帥達がどんな方達なのか見たかったので行く事に

令司とブレマートンは拘束されたまま愛し合っている所にボルチモアがお姫様抱っこ。サキも猿轡で舌を噛まない様にされてサラトガにお姫様抱っこをされてスピードを出しまくり指揮艦を目指すのだった

寒くなり過ぎて気絶してしまった全裸の令司。扱いざつ！ブレマートンは意識はあったがトロトロに蕩かされて喋れなかった。ブレマートンの扱いも雑だね？地位が低いのかな？

長門、江風、クリーブランド、アルバコアが指揮艦の護衛艦として仕事をする。早速、アルバコアは指揮艦の底に張り付いていた黒い箱（爆弾）を見事に見つける。グッジョブ

女性元帥達のKANISEN達も護衛艦として来ていた。潜水艦も居たがオープン基地のアルバコアしか爆弾の存在に気付かなかった。ファインプレーだ！

みんな、長門の愛情たつぷりのアイアンクローをポカン顔で見届ける。何してんだよ？な顔をしているのもいたのだった

クリーブランドは明石作成の亜空間へ爆弾をポイ捨てして爆発処理をさせるファインプレーをした。別の世界線には被害が無いので安心安心

逆転世界と別の世界との狭間って感じ？明石の技術力ってスゲえ！ってなる

後日、爆弾の事を護衛をしていたみんなで令司に報告。すると、令司が素敵に襲い見事に宿す。そんな事をまだ知らないのだった。令司はしつかりと良い仕事をしますね！

で？ 廃人になっちゃった元帥をどうするのでしようか？ その基地に所属しているKAN-S EN達はどうなるのでしようか？

廃人寸前のまで逝ったサキは？ それと、令司の身体は大丈夫なのか？ 色々と問題？ がありますねえ？

エロイベントが起こり過ぎでは？ これからもエロイベントは起こりそうですね？ 令司は体調管理をして逝きましようね？ オロチとオリテスタという最大の問題？ が残ってるんですから

☆☆☆

「う……。あつ……。ぐふう……」

(こいつら……。なん……。なの……。よ……)

全裸でうつ伏せで下の口から滝を作っているブレマートン。うつすら目でポーと見ている光景とは？

「はあく……。ヨシヨシ。お寝んねしてね……。ユリネ？ うんうん♪ お休み……。♪」

藤峰ユリネ。令司が廃人にしちゃった金髪ポニーテール。もちろん、エロいアイマスクをしている。榎野に頭をナデナデされている。このユリネのアイドル艦、アクイラの初めても貰っている

ユリネを含めて元帥全員とアイドル艦達全員の初めてをペロリ。そんな光景を咲耶達はしつかりと見届けたんだな？

「榎野、お疲れ様。はい。飲み物よ」

ナデナデが終わった頃に飲み物を投げて渡す

「吾妻、ありがと。……。ふう。染みる……。……。んっ？」  
「うっ……。Z z z z z……」

(ブレ……。達より撃……。たれて……。いた……。のにピン……。ピンし……。す……。ぎ……。サ  
キュ……。か……。よ……。Z z z z z……)

沢山撃ち込まれた榎野と吾妻が、ピンピンしていてみんなの介護を

して回っていたのを見ていたようだ。サキュバスじゃないのにサキュバス並に旺盛のようだ。凄いや。何かに気付いた

サラトガとボルチモア?もう爆睡していた。ブレマートンもようやくお寝んねした。お休みなさい

「あらあら?」

「うごごっ?!くうくう。バキバキ鳴ってるくう。毎度毎度、凄いわく。…うわお…」

令司がグイグイと伸びをしながらバキバキボキボキと身体を鳴らす。いつもの奴だ。辺りを見渡す。それはそれは大が幾つも付いちやう惨事が広がっていた

凄く臭うな!これ全部、出したんだよな?量、異常ですやん…。マジかよ?人外かよ…。精♡剤の効果だよな?スゲえな?!

超危険生物のエキスで作製した精♡剤の効果がバツチリと出ていたね?精♡剤の種類は豊富の様だ。数が少ない男性達も愛用してるかもしれないな?

「…復活したのね?流石ね♪ふふっ♪吾妻、凄く沢山イケて良かったわ♪ありがと」

「ええ、そうね…。沢山イケたわね?ありがと」

そう言つて全裸で谷間に令司の両腕を組んで鎮める

「えっ?お、おう。こっちこそありがと」

うん。やわらけえくく。みんなの介護してたんだね?ありがと

「ふふ♡どういたしまして♡チュ♡」

うんうん♪最高なほっぺキスだぜ!

右頬が吾妻、左頬が榎野である。そして本命の口に2人ともちゃんとキスをした

うくく…。『知らない間に身体が?インキュバスになっていた件について』って小説が作れそう。……誰か作つて?読むから。…売れるのかな?…んっ?

ユリネを見た令司はアレえ?と感じて首を傾げる

「ご馳走様♪どうしたの?」

「お粗末様。榎野。いや、ユリネになんか立派なツノ、綺麗な羽根、



しやぶり尽くしたい尻尾があるから。綺麗な淫紋まであるし…。サキユバスのコスプレ似合ってるな〜？って思ってるね？」

淫紋を光らせるってさ？技術、発展してんね〜？本物じゃん？…おっ？羽根をパタパタしてる。寝てるのに器用だね？いや〜。幸せな顔をしてんな〜？おっ？ビクウ！ってなった。イッたか…。うむ。良い匂いするなあ〜！

「コスプレじゃなくて本物のサキユバスよ？」

「……はい？」

吾妻？冗談は言わないじゃない？真面目な顔でなんつ〜事…。えっ？？本物お？嘘ん？

「そうね…。バッチリとサキユバス化してるわ。おっぱいのサイズも大きくなってる♪お尻も」

「えっ？そ、そうなの？」

榎野まで?!マジかよ…

そういえば、パーティー中にみんなして、「廃人になれておめでどうのサキは残念ね♪」をしてユリネに沢山、なんかを飲ませてたな？サキの顔、悔しがってたな〜？そんなんが関係してたのか？

うん。ユリネのお胸様、超ドストライクに性長してるな…。揉みくちやにして愛したいわ。元帥達の中で一番素晴らしいのを持っていたのね？

「『そうよ？廃人にしちゃってサキユバスに生まれ変わったの♪本物よ♪本物♪これからずっとサキユバスとして生きてく事になるの♪』」

「マジかよ…」

セッセして廃人になったらサキユバスに生まれ変わるの？スゲ〜くな！素質でもあったんかね？これから先、どう生活していくんだ？「基地での仕事があるだろ？後、下事情の方も気になる。起こして聞くとするか…」

サキユバスだから数が少ない男性を襲ってくんだらうか？そして報告しながらセッセするの？とかとか？うん。息子がピクピクしてる…。どっちの反応か分からんね…。イケると判断しとくよ…。

そつちもまあね？

「えっ？基地での仕事？もうしないわよ？下事情は…どうだろ？」

元帥になると部下達に丸投げするのが仕事だからね？とは、言わない吾妻達だった

「…えっ？もうしない？」

即答しちやっつてんですけど？ユリネから聞いてないのに?!なんか目が泳いだな？夢の中で食事でもするんか？おくく。近いたら尻尾が右手にクルクルと巻きついてきたよ。つついてくるし…

令司とユリネのスキンシップを見てた樫野達。ユリネのフェロモンで急にウトウトし始める

「…なんか…眠くなつて来ちゃった」

「吾妻も…。お休みなさい」

「お休み。…うひよわっ!」

「ご主人様くく♪素敵素敵なご主人様くく♪あくくん♡良い匂いくく♡」

「うっ!」

ただただ背中におぱーいっ!を押し付けて左耳でご主人様呼びをされただけなのに!なんで!なんで…元気になるのかなあくく?! 令司君?!スツキリヌツキヌツキしたよねっ?!

あつ。良い匂いがする…。サキユバスのフェロモン…しゅごい♡ 乳首クリクリもしゆるんだ♡

サキユバスに生まれ変わったユリネ。元気になって起きたようだ。そして令司というご馳走を食べようとしている。いや?ご奉仕をしようとしている?エロい声でゾクゾクするのだった

エロイベントが終わったばかりなのにサキユバス襲来のエロイベントが来ちゃったね♪頑張れ♪

「おふっ?!んむっ?!」

グルンと体勢を変え跨られてキスをする。ユリネがサキユバスとして生まれ変わっての初めてのキス

「んぐつつ。…んフっ♡んつくんくんく♡」

(はうくく♡幸せ♡2回目、あげちゃった♡ふふふ♡気持ち良かった

んだね♡唾液をもつと飲んで元気になつて出して出して♡)  
マジかよ…。キスだけで…。あゝあゝ♡ひゃゝゝ!!!な、な、  
なっ?!あゝゝ♡あゝゝ♡

令司の頭が無事、壊されました♪令司君、壊れた蛇口になっちゃつた♪ユリネにしつかりとしがみついてサキユバスのオマゝ♡に濃いのを沢山注ぎましようね♪

頭を壊されちゃつた令司も奉仕されつ放しはなんか嫌な様で?サキユバスのエロ妻達をメロメロにしたテクニツクを使つて過激に愛す事にした

「んん、っ?!んはっ…。あゝゝ♡お尻揉まれて気持ち良くなる♡あはっ♡もつと♡もつと♡美味しいの頂戴♡残さず食べるからゝ♡あんっ♡イクイクゝゝ♡」

(ご主人様の顔、素敵ね♡それと女性達の夢の中も濃くて美味しい♡みんなド・ス・ケ・ベなんだから♡ご主人様ったら愛されてるゝ♡嬉しい♡あっ♡イツクゝゝ♡)

(ふふっ♡オープン基地つて愉快な所ねえ♡セイレーン達が居るんだ♡平和ね♡理想郷があるわね♡あつ、セイレーン達に生えてる♡ふふっ♡みんなの食べちゃお♡ご主人様は二穴に興味あるのかなゝゝ?)

「あゝゝ!!!くれ…て…やるっ!うおっ!くうゝゝ♡締めっ!すぎ…だ!がはっ!!!」

あゝゝ♡あゝゝ♡あゝゝ♡あゝゝ♡あゝゝ♡なあゝ♡

ユリネつたらイキイキしてるゝ♡良かったねゝ♡令司君との相性、バツチリじゃないか!令司達はみんなが寝ているのにお構い無しに音を立てまくる。気持ち良過ぎて止まらないもんな?

お互いが落ち着くまで体勢を変えてズッコンバッコン大騒ぎする。令司の大勝利に終わる。流石だぜ。鍛え抜いてたからかな?行為後、ユリネの今後の生活について話し合う

みんなが起きてお掃除をして帰りの支度を始めた。みんなの肌はツヤツツヤのモッチモチだ。いつも通りの光景である。こうして素敵な元帥会議が終わつたのだ

☆☆☆

「最高ののじゃ！指揮官を船に乗せるのは！晒し、気持ち良い〜！」  
腕を組んで胸をぶるんとしてドヤ顔で吐き捨てる。キラキラを  
通りこしてキラキラしている。テンションが可笑しくなってる狐巫  
女だ事

「そうなんだ？ずっとほったらかしにして汚かったのを掃除したん  
だもんね？良かったね？」

「江風〜。言わなくていいのじゃ！あんつ。ア、アルバコア！底に  
しがみつくだないわ！そんなサプライズは入らん！大鳳にするの  
じゃ！あはははっ！くすぐったいのじゃ〜」

アルバコアにサプライズされてゴロンゴロンする。長門は涙目だ。  
唆る奴だな？

◇◇◇

「へっくしゅっ?!?!もしかして、指揮官様に噂されてますの?!漲って  
きますわ〜っ!!!」

「うふふっ♪赤城も負けられないわ♪沈みなさい♪」

「お〜お〜！良いね良いね！気持ち良い〜！レイシニウムとやらの補  
給で力が漲る！大鳳と赤城より多く狩ってるぞ？あははっ！」

「性能が違うからそうでしょ?!土佐！どりゃ〜っ!!!あははっ♪」

長門が叫んだ大鳳はセイレーンを狩りまくっている最中の様で？  
そして赤城と土佐と競争している。土佐が多く狩っている様だ

3人とも無傷。レイシニウムは凄い燃料の様だ。愛のパワーって  
凄いいんだね？

「「ふふふん♪回収♪回収♪」」

潜水艦達が何かを楽しく回収している様だ。お疲れ様です♪オー  
ブン基地へ帰ったらレイシニウムを補給しなさいね？

◇◇◇

☆☆☆

「あはは……。内装、凄いや……。流石、巫女だね？」

「お〜〜！沸いた沸いた……。茶葉はどこかな〜？」

グルグル目をしているクリーブランド姉貴。おい！すっかりしろ！頭から煙が出てんぞ！それで、江風！しれっと煙を利用してお湯を沸かすなっ！

指揮艦からそれぞれの基地へ戻る。令司達は長門の船で。令司はちゃんと上下とも着ている。全裸が正装では無かった様だ。数名の饅頭がちやつかり付いてきたお陰だ

「それじゃ、確認するぞ？ユリネは廃人しちやつたからサキユバスへ産まれ変わった」

「うん♪廃人は全女性の憧れなんだ♡条件がいっぱいあるみたいなんだけどね♪そこで寝てるサキは残念だったね？混ぜてみたい」

胡座してる所にちよこんと座らせて背後からユリネの乳揉みを堪能するの最高♡ツヤツヤのモツチモチ度が半端じゃね〜♡

「そっか……。で、これからずつとオープン基地所属。食事は令司君や女性の夢の中でのエッチい事。後はオ〇〇ーサポート。：なんだな？」

サキユバスだからそうなるよな〜？百合の花が咲き乱れるなあ〜〜！最高かよ！

「うん♪そうなの。よろしく♪こういうスキンシップだけでも食事になるよ♪秘書KANのアクイラはコツチの基地とオープン基地のパイプとして頑張ってる貫うのも決めたね♪」

アクイラは護衛艦と一緒にユリネの基地の方へ帰っていつてる。その内にオープン基地へ遊びに来て行為するようになるぞ♪

「うんうん。それで、みんなとセッセするんだろ？よろしく♪」

お相手する基地が増えたぜ！ヤツタ♪それと外出する時はユリネを連れて行くのも決まったよな〜？外出はあんまりしたくないんだけどね？刺激欲しいでしょ？って、言われたからなあ

「ブレ、夢の中で気持ち良くなったよ？指揮官が沢山登場して乱乱したわ♪ユリネから指導されながらね♪起きたらスツキリしててビツクリしたもん…♪」

ブレマートンは夢の中での出来事をハッキリ分かってるようで笑顔で報告していくのだった。ちゃんと服は着ている。エロいのをな？

「マジかよ…」

夢の中で令司を増やして乱乱！捲るなあ〜♡夢の中でイチャイチャされたみんな、キラキラしてるもんね♪ご馳走様♪

「帰り道を阻む海の生物達をぶっ飛ばしてくるね♪美味しい食材がいっぱい待ってる♪」

エロ生物達が暴れ回っている様で漁業を始めるようだ。樫野と吾妻は既に始めている

「行つてらっしゃい。で、その綺麗な淫紋は契約みたいなもんで、男性達をお断りする奴なんだろう？フタっちゃん達は受け入れられるようだけど…。何それ？最高かよ」

サキュバスはフタっちゃんが好物だったんだね？令司、良かったな？擬似ビツチの出来上がりだ

「いやん♡褒めてくれてありがと♡オープン基地に帰ったらセイレーン達を襲つて食事してくるね♪」

「おう。しっかり躡けてこいよ！撮影をするのを忘れんな？」

経験人数が一気に増えるな！おめでと！二穴映像楽しみだぜ！セイレーンなんだからオツケーだろう？

変なテンションですね？サキュバスのフェロモンでやられちゃったか…？耐性付いてるんじゃないっけ？令司とユリネはどうやら割り切った？悟った？関係の様だ。お互いがWinWinの関係がそれかな？

「分かってるってば〜♡あ〜♡美味しい♡セイレーン達のフタっちゃん、楽しみ〜♡」

オープン基地へ到着するまでユリネとイチャイチャ。交尾はしなかったがキスとハグはした。ユリネに令司特製のオイルマツサージ

を施して更にメロメロになるのだった

マジもんのサキュバスをメロメロにするテクニックとは凄いつすね? いや? オイル方が優秀なのかも?

江風、クリーブランドは長門の船内探索をして過ごす。長門は帰るまでずくくつとアルバコアのくすぐりサプライズをされてゴロンゴロン。そしてそのままイカされる

長門達とも交尾はしなかった。令司君は休暇を頂いていた様だ。休むの大事。うんうん

ドンパチ音を聴いて過ごす。ブレマートン達はクリーブランドが持つて来た亜空間にエロ巨大魚達を突っ込こんでいく。江風が書類に魚名を書いていく。漁獲量でも決まってんのか?

令司達はこれでまた? 豪華な魚料理が楽しめるね? 令司はたつぷり精が付きますね♪ エロ妻達にしっかりと出しましょう♪

☆☆☆

「ただいまつと…。仕事、よろしく♪」

エロ妻達と恒例行事なっている? キスハグをみんなとしてから解散した。もちろん、令司の魔性のお尻は揉まれまくった。紅葉は出来ていない

いやくく、ユリネにオイルマッサージしたら更にメロメロになったぞ♪ 良いイキっぷりだった。我慢したけどね!

施した後、ずつと抱き付いてきて背中が幸せだった。両耳が気持ち良く犯されたな♪

そのメロメロになったユリネは、オープン基地に到着してすぐ飛んでフタっちゃん達のセイレーン達を狩りに行った。サキュバスの本能? が剥き出し? の様ですね?

サキは会社の方へ降ろしていた。会社員達と令司の顔合わせした。そこでは握手とキス、ハグをしただけで行為はしていない。フタっちゃん員達はおつききしていた。なので、令司が手伝ってあげただけ「お、お帰りなさいませ。ご、ご、ご主人様ああ!!!」

「お、おう…。ただいま？加賀…。？だよな？戦艦の方の…」

アレエ？なんか違うぞ？グルグル目してるし…。建造した覚えないぞ？咲耶は勝手に出来ないって言ったよな？

うんうん。メイド服、似合ってるじゃん。こういう態度って珍しいなあ…

「ご主人様。お帰りなさいませ。フタ基地からこちらへ移動してきた戦艦の加賀でございます。書類をどうぞ」

お辞儀をしてお迎えしたベルファスト。フタ基地からの書類を渡して令司のお尻をウツトリ顔で触るのだった。麻薬かなんかか？

「うう…」

(凄い…。色んなエロKAN達の映像で勉強したけど積極的くく！無理無理！良いお尻をしてる…。ち、乳首も見え…見えてる…。破壊力凄い…)

「ベルファスト。ただいま。フタ基地から…。？ふむふむ」

咲耶の妹達の基地だよな？全員がフタっちゃんだった話。薬無しなんだろう？凄いよね？

何々…。『神々しくて手を出したくない！だから令司元帥！手、出して下さい！』そしてフタ基地との交流の検討を是非！おもてなし(意味深)します！』って…。ふうん？

身体、大丈夫じゃなくなるかもなあ…。最高に気持ち良くなると思うけど…。良い運動しとかなくちゃ！

それと、付いてないと…。マジかよ…。例外の建造したのか。例外、起きすぎじゃないの？バランス崩壊してない？ねえ？

「よ、よろしくお願ひします！こ、こ、こちらから手を出させて貰いましゅー！」

書類を読み終わって加賀を見ると？

「落ち着け？熱々過ぎるぞ？！」

頭から煙が出る現象はやっぱ慣れんわ。って、両手からも煙が！大丈夫じゃないじゃん?!冷却しろって!?!火傷しちゃうYO!

「そうです。落ち着いて下さい？ご主人様はお疲れなんですから。お突き愛はマツサージ部屋でしましょう？」



「きゃひんっ！」

「ええ…？」

頭にチョップかよ…。涙目じゃん…。涼しい顔して何しとんねん…。力、バグってるんか…？レイシニウムを補給しまくってたからか？そんな事つてあるのかなあ…？

あるんです！令司君パワーでみんな生き生きしてるんよ？無能じゃないよ！いつもキラ付けしてんじゃん。オリテスタも大満足する攻撃力なんだぜ！誇れよ！

では、フタ基地から移動してきた戦艦の加賀を愛しましょうね？褐色の戦艦の加賀を探して一緒に愛すのも良いんじゃないかね？

「……落ち着きました。はあ…。ずっと触っていられる…」

「ですよねっ!!!」

落ち着いた戦艦の加賀。令司のプリ尻を堪能。危ない薬を決める感じでウツトリ顔をする。令司つてキラを乗つけすぎなんじゃないか？そういう体質になっちゃった？

「そりゃ良かった。このままマッサージ部屋でマッサージ(意味深)しようか？」

ベルファスト、鼻息荒いぜ…。メイド長の顔をしてないじゃん。もう仕事終わったんだな？

「は、はいっ！よろしくお願いします！」

「ふふふっ。良い返事。ご主人様？ベルファストも一緒に愛して下さいませ」

「もちろん。ベルファストのマッサージは最高だからな」

最高な顔をしてくれるからなあ…。虐め甲斐があるんだよね♪

「嬉しい♪では、愛の巣に籠って沢山遊びましょう♪」

愛の巣つて…。沢山あるんだよね…。どこのマッサージ部屋だろうか？ま、お楽しみつて事にしましょう。案内よろしく♪

令司達はマッサージ部屋へ向かう。加賀は素敵な素敵な初体験を味わう事になる。令司ったら仕事熱心だなく…？

☆☆☆

元帥会議を終えて長門の船で帰る頃のオロチとオリテスタ達

「ふう〜。あつたまる〜！あはっ！まだ攻撃してる！気持ち良いのが2倍以上！ヤツタ〜！」

「あつたまるわね…。髪の毛、綺麗になったわ…。廃墟な基地なのに電気等が使えるって不思議ね〜？」

お風呂で温まっている。基地は廃墟になってしまったようだ。理由は不明だ。電気等がちゃんと使えるようで良かったね？

…で？2人が浸かっているお湯は真っ黒なんですけど？ジュー・ジューって音してるんですけど？天井から落ちてくる板などあつという間に溶けていくんですけど？そんなんであつたまる発言？凄いな？

自立型？のオロチ？の艦装君ちゃん達も、別のお湯に浸かって燃料補給？をしているっぽい

「そうだね〜！あふんっ！ネチネチしてる〜！良いね良いね！もつともつと！」

オリテスタは大満足出来る攻撃を喰らって肌がツヤツヤ、モッチモチ、ツルツル。元気ですな〜？

「……………はあ…」

「はふ〜っ！みんな、お休み！イキ延びたみんなはエライエライ！」

攻撃が終わった様だ。祈りのポーズをし出した。意味不明である「ねえねえ？オリテスタ？」

「…んっ？なあに？そのデカッパイを揉んで貰いたいの？するするっ！とおっ！」

「えっ？…そうじゃないんだけど…」

質問しようとしたらしいオロチのおっぱいを背後から揉む。仲良しだな？

「うん。モッチモチだから〜。いつも思ってるんだけど、ほんと良いモノをお持ちですな〜！羨ましいっ！」

「ん。ありがと…。で？拘束を外したKANSEN達はどうしたの？」

「どうしたの？つて？んつと？プルップルの足で、…えつと？工廠？つていう所を目指してる？つぽい？」

揉むのを止めないで拘束していたみんなの事を聞くオロチ。オロチについてもしかして優しいのか？案内艦をシールドで守ってたんだし？

「へえ？そうなの？ちよつと飛ばして工廠の様子を見ようかしら」

工廠の場所が分からないように艦載機を飛ば始めるのだった

「うつわ…。エッグいわ…。その攻撃は気持ち良くないんだよね…」

艦載機を見た途端、引き攣った顔をするオリテスタ。揉むのを止めて凄く遠くへ離れた。気持ち良くないらしい。攻撃を喰らった事があるのかよ…。仲間なのに？いったい、ナニをシたんだらうか？何もしないで喰らったのかな？

「えつ？そうなの？こうげ「ヤメテクダサイ。オネガイシマス」…はあい」

顔をお湯に浸けたぞ?!無意識かなんか知らんがオリテスタも艤装を構えた。プルプルしてるけど…。オロチの攻撃は気持ち悪くてエッグいのかな？

「あつ…。工廠っぽいの見つけた…」

オリテスタを放置したオロチ。沢山の映像から工廠っぽいの見つけだしその映像をタップ。すると拡大画面が現れ、オロチツパイにタッチして弾んだ。そして見やすい？タブレットになった。どうなってるんのさ？

「工廠で何してんの？補給か何か？お風呂に入れば補給は出来るんじゃないの？違う？」

気持ちを切り替えたようで近づく。顔は無事だ。セイレーン達の身体って便利？なのかな？

「うん？寝てるね？そこが工廠だったんだ？」

左肩に顎を乗せて映像を見るオリテスタ。揉んでない

「ええ…。寝てるわね？何かの箱が1つポツン。それと瓦礫の山々があるだけね？」

瓦礫の山々で重なって寝ている映像を見る2人。映像を拡大して

いくオロチ。みんなの下の口が大洪水になっているのが分かるくらい  
の画質だ。凄いね？

寝ているみんなは最低限の補給を済ませている。修復モードで必  
死に修理している。こちらでも便利な身体してるのね？修理してるの  
が分かった理由？頭の上に修理中！という輪っかがグルグルしてる  
から

「みんなが起きるまでここから動く事が出来ないね？修理中！って  
なってるし？コッチもフルにするのに時間かかるし？？」

2人なら案内艦無しでもオープン基地を目指せそうんだけどね  
？

「そうね。瓦礫は艦装達の食事にもなるから指示して行儀良く食べて  
貰おうかしら？」

「りようか？。そんじやオリテスタはあ、セーブモードで海の生  
き物達を狩りまくってくる？？」

「はいはい。海、荒れてたもんね？行ってらっしゃい。瓦礫等はちゃ  
んと残しときますね？」

「ありがと！待ってる？！そんでバツタリ遭遇してグへへ展  
開キボンヌ！」

う？。百合夫婦っぽい会話してるね？どの位、廃墟基地に留  
まるんでしょうか？エロい拘束をされっ放しだったみんなは、ちゃん  
と修理出来るのかな？

トラブル？があった？ようで？オープン基地へ到着するのが遅れ  
たね？

オリテスタの安全を守る為か？オロチは艦載機を複数追跡させた。  
そして直ぐに瓦礫の撤去作業に取り掛かったのだった。2人とも行  
動力？が凄いのね？

令司達や女性指揮官達は、この廃墟基地の存在を知ってるのかな？  
そこん所、どうなんだろうか？色ボケし過ぎた未来がこの廃墟基地み  
たいになるのかな？分からないが令司達？しっかりと防衛しましよ  
うね？

オープン基地へ到着した2人とエロ妻達の戦闘するのは避けられ

ないのかもしれない？司令の指揮官棒で何とかありませんかね？2  
人はそれを目指してんでしょ？違う？

ウエーい！

元帥会議に参加した令司は全員としつぱりして仲良くなった。ローンの言った通りで即コロでした

ボルチモアが持って来た精<sup>♡</sup>剤の効果がすんばらし過ぎて元帥の1人、藤峰ユリネを廃人にしてサキュバスへ生まれ変わらせてしまった。この世界の女性って凄いね？

ユリネはサキュバス生としてもう一回、初めてをあげた。飢えてた？からスンバラシイ行為をシタんだそうなの？

令司が勝利した様だが、今後は一方的にやられるんじゃないかい？だって、サキュバスだし？そっちのプロフェッショナルじゃん？とりあえず令司、鍛えて頑張れ？

2人で色々と話し合った後、オイルマッサージでユリネを更にメロメロにした。流星ですね？

ユリネはオーブン基地に到着したらセイレーン達を襲う為、直ぐに羽根で飛んで行く。腹ペコなんですけどね？大満足なんかしなないと思うんだよなあ？加減を覚えて貰わないとね？令司達はしつかりと面倒を見ないとね？

フタ基地から強制？異動してきた戦艦の加賀。フタ基地で建造されて間もない？のに改造メイド服を着て令司をお出迎えをした。顔等がガチガチになっていた

隣にはニコニコ顔のベルファスト。魔性のお尻を堪能するのだった。令司もする。3人仲良くマッサージ部屋にいつて加賀を気持ち良くマッサージ。そして意味深マッサージをして絆を深めるのだった。令司はたらしである。良い事なんだぜ

そんな事が起こっている裏では、近道していたオロチ一行が廃墟になっっていた？しまった？基地で補給等をしていた。燃料等がほぼ尽きかけていたらしいから丁度良かった様だ。オーブン基地とどの位離れてるんでしょうかね？2日って所でしょいか？

エロい攻撃を喰らっていたKANISEN達は修理中のモードで修理。指揮官達はどう思ってるのかな？連絡が取れてないんでしょ

？もう、轟沈判定されてて所属リストとかから消されてたり？轟沈者は1人も居ない。オロチとオリテスタは優しいようだ

まあ？オープン基地に行ったら？KANISEN達をなんとかするでしょ？オロチとオリテスタは修理中のみんなが復活するまで廃墟基地に滞在するのだった。瓦礫等を楽しそうに綺麗綺麗にしている。業者かな？

☆☆☆

「お〜！北方連合のお風呂場は氷達で出来てるんだな〜！綺麗だ」

北方連合のお風呂は初めてだぜ！広いなあ！全部氷で出来てるのに寒くない！扉の様凝ってるねえ！凄い！氷達は溶ける気配ないし。う〜む。不思議。パワーが広がってますね！

ああ：甘い匂いがするなあ。お香でも炊いてるのか…。鳳翔部屋で嗅いだのとは違うな…。おおう…。お酒の自販機があるし…。北方連合のみんなって酒豪だもんな？飲んでポカポカしたいんだね？露出プレイまたしような！

加賀達と意味深マツサージをし愛った後、令司は北方連合のお風呂場に来ていた。2人はマツサージ部屋でスヤスヤと寝ている

令司が出て行って数分後にニューカッスルとシエフィールドと饅頭達がニコニコしながら部屋と2人の身体の掃除をするのだった。饅頭達は加賀に群がって観察して何かのデータを取っていた。何のデータでしょうね？

「あ〜…。あつたまる〜」

身体中がツヤツヤのツルツルスベスベモチモチになったよ。こんな事、初めてですな！全身がビリビリしたけど大丈夫だろ？不思議なシャンプー、リンス、石鹸だったな〜

ふむふむ…。令司像が多いね？氷像祭りじゃんか！ふむ…。令司君から出してるんだな〜？飲める！っていうのもあるし…。そっか〜！ふお〜！

ドドドドツツッ！って感じで元気良くお湯を出している。令司！それで滝修行をするな！そういつた行動はバツチリ撮られてるんだぞ!?

修行出来たぜ！おくくつと？美化され過ぎてないかい？腹筋、バツキバキじゃないよ？腹筋フエチがおったんかな…？そういえば、ずっと触ってくるのが居たなあ。舐めなかつたけど…。うつとり顔をキメてたな。危ない薬かナニかかよ…

おふっ?!女体化の令司像が幾つもある…。ほほう。むっちりドスケボボディーしてるじゃんか…。綺麗系より可愛い小悪魔？おぱーいのサイズ色々あるな？どれも好みですぜ？うむ。女体化したらこうなんのかな？

あつ、もしかしたら女体化出来る薬があるんじゃないか？明石に聞くか？そういうの知ってるの明石ぐらいだと思うし？フタつちちゃんがいるから楽しくなりそうだ！そういうえば、ユリネはセイレーン達と行儀良く行為してんのかな？

まあ、いつか。…で！女体令司達の後ろには令司君像が！まさかの自分同士の行為を見るとはねえ？こういう薄い本が売られて広がってそうだなくく！是非、見せて貰いたい！販売されてる奴全部！…あつ、読む時間あつたかな？

令司は変な？テンションでお風呂場を観察するのだった。やつぱり、頭のネジがゆるゆるである。それかネジが幾つもとれていて無くなってないかな？新しいネジで締めない？

「はあ…。ここのお風呂はなんか別世界じゃんか…。すっごく綺麗で空気が美味しい…」

観察に夢中になってお風呂場に入ってくる足音等に気付かないのだった。サプライズされちゃうのだ

「でっしよくく！綺麗だよね！お風呂で1番のお気に入りなの！」

「うん？熊野か？お仕事、お疲れ様」

「ありがとく！資源回収捗ったよく！最近、燃料の資源が多くて助かってるく！」

「そうか。燃料、大事だもんな？」



燃料がないと活動出来ないもんね？低燃費じゃないのもいるから。  
長門お：

おう：結構お酒を飲んでるねえ？うん。良い感じにエロく出来上がってるぜ！流石だぜ！熊野ママ

熊野と盛り上がって少しお喋りをしてからまたお風呂場の観察を始める。熊野は沢山用意したお酒をドンドン開けて飲んでいく。強い？様だ。プリンツ・オイゲンは見習い？ましよう？悪い酒癖直ったのかな？

みんなエロく小、中、大破してるわ。ほうほう：。北方連合のお風呂場って入渠施設でもあったんだな？

大破用の場所、大人数で入れるんだ？1人だけしか入れないと思っただけけど？違ったわ。ゲームとは違ってるんだねえ。色々変わってるな？

みんな、洗い合いっこをしていたり、入渠時間が表示されているお風呂場に入っていくのが何人も居た。入渠用だけお湯の色が緑色をしているから分かり易いし、ご丁寧に入渠用と書いてあった

おっく！入渠時間が表示されてる。スゲく！ゲーム画面で見たのと同じだ！やっぱダメージ量？で時間が変わるんだね？

大破すると時間が凄い事に。いや、まあ？分かってたけどさ？なんなのさ？2日間浸かりっ放して？！ふやふやになっちゃうじゃん！フツド達、お疲れ様です！

大破組を見る令司。入渠時間にビックリ。寝るのもいれば趣味なのだろう編み物を編み始めるのもいたり、お互いのおっぱいを揉みしだきあったりしていた。後、お酒をガバガバ飲んでるのも。もちろん食事もとっている。饅頭達が用意しているのだ

「ウエーいー！」

熊野？いきなり目の前に移動して来たと思ったら万歳しちゃって。おふ。ぶるんぶるん！ご馳走様です！ヨシっ！ノっところか

「ウエーいー！」

令司も熊野と同じテンションになって万歳した。その時、勢いが良くて熊野の顔にお湯をかけたのだった

あつ！やつべえ！

「あははっ。最高だよ〜！ヒック。あつ、そうそう。話が大幅変わるんだけど元帥会議見てたよ。元帥の1人のユリネをサキユバスにするなんて素敵だね！サキは残念だったけどね？」

「おつ…。おおう…。そうだな？」

ゲラゲラ笑ってる！なんか許されてる感じ！良かった！くねくねしてる…。誘ってませんか？

熊野達も仕事をしながら元帥会議を見ていた。同時進行する事なんか楽勝なのだ。令司の愛のパワーのおかげかもしれないが。エロ妻達は高性能である

やっぱり素敵なんだ…。？みんなして沢山褒め倒すからなんか身体がムズムズしたんだよなあ…。で、ムキになったな

元帥達、凄く綺麗だったよ。ドストライクしかいなかったよ。年下だったけど。ビックリしたわ。ユリネだけ上だったな

清楚系はやっぱりビッチだったよ。処女だったんだけどさ。みんな素晴らしいモノをお持ちで気持ち良かった。うっ…?!

「おつ？樫野と吾妻のイケイケなマンを想像したの？それか締まりが最高の腹筋バッキバキのボルチモア？うくん？いっばい繋がってるから分かんないな？あつ、もしかしてふわふわな熊野の事を考えてたりする？ねえ？だれを想像したのお？」

なんかバレバレであった。顔に出てそうだもんな？ニコニコして聞いてくるぜ？両目は♡マークだ。発情しているんだね？

右耳囁きが凄いいいです！とけちやいそう。あ〜！イケイケギャルママが胸板をクルクルしてくるとわ…。気持ち良過ぎる！上手に調教されたな！俺の身体は！

熊野って見た目がギャルJKでママみを感じるんだから破壊力が凄いいんだよ！熊野と仲良しの鈴谷も清楚JKを丸出しだし！ああ〜！

訳のわからん事を吠える令司。ゾクゾクしてるんですね？

「はうっ…。ぜ…」

「ん〜？ぜ？だ〜れえ〜？ねえ？」

「全員です…。みみみんな違って最高だったよ」

最低だと思っただけけど事実だし！仕方ないよね！うん！悪くない！

開き直ってドンと構えるのだった。うん。バラ捲く事が仕事だから仕方ないよ！熊野の顔を見ると分かるだろ？幸せな顔してるんだよ？グツジョブなんだぜ！

「えへっ。そっかく！それは良かった！でっ！久しぶりに繋がろうよ？良いでしよ〜！」

「もちろんですとも！」

もう回復してますから！加賀とベルファストと仲良くやったのにな！相棒は仕事熱心なんですよ！ずっと足りないって叫んでるようですから！ハッスルしましょうか！熊野ママ！

「きやつ！えへへ〜！やった〜！沢山、甘々しようね？…んっ！」

ハグをしてから素敵に行為に励み始める。お互い発情期入ってるんですかね？

「…フツド。イチヤイチヤし始めたわよ？唆るわ〜♪」

「そうね？レキシントン。大破して良かったって思うわ…。お酒が進むもの」

大破組がギラギラした目付きで眺めていた。息荒いぜ！令司は色々な女性とよろしくするし中々会えない？からそうなるのでしよう

「ずっと浸かりっ放しだからやる事があんまりないものねえ？」

大破したら入渠時間のタイマーが0になるまで浸っていないといけないのだ。修理剤とか色んな成分を浸透させる為だろう。フツド達は船でもあるからね

「アンアンのBGMを聞いているから退屈しないわよ？後、短縮薬があるからそれを使えばすぐ上がれるじゃない？うん。熊野、良い感じにメスってるわね…。良いなあ…」

指揮官達のイチヤイチヤを見ながら息を荒くしてレキシントンへ言うフツド

「ええ。そうだけど。短縮薬を使用すると副作用でムラムラしちゃう

じゃない？浮気な感じがして何か嫌なのよ…」

頭をボリボリして告白するレキシントン。レキシントンも指揮官達を見ている。短縮薬の成分はムラムラさせるのが多い？ようだ。体験してるようだ。良く大破するのかな？

「浮気？ああ…オ〇〇ーね？指揮官はそれ、許してくれるわよ？」

何言ってるの？な顔をするフツド。令司は許すね！むしろガン見するでしょ！

「そうなの？あ、そっか。調教されてたわね？…フツドはこの状況でお酒飲みながらハッスルしてるのね？ふう〜ん」

ここでお互い、目線を合わせる。令司に調教されてる2人は仲良く笑いあっている。クチュ音を聴いたようだ

「ええ。してるわ。バッチリされたわ♡気持ち良いわよ♪聴いてるんでしょ？」

「良かったわね？ええ。聴いてるわ…：あつ、2人がこっちに来るわね？」

ゲラゲラ笑いあつた2人。令司の足音に気付いたようでパアーツとトロトロのメス顔をキメて準備を始めた。フツドはイッた。2人とも令司とのイチャイチャ成分を補給したいようです。令司も注入したいようだからWinWinだね！

「そうね？小破、中破組も着いて来てる。ふふっ。退屈しないわねえ♪」

「ウエーい！」

仲良くチャラチャラ登場。そういうプレイ中なのかな？熊野は笑顔でウインクとピースをしてるよ

「ふふっ。ウエーい！指揮官？久しぶりに食べて下さいね？緑色をしてますけど入れますよ？…あんっ♪」

フツドとレキシントンもノリ良く笑顔でウインクとピースで応える。他の大破組もつられてノツた。こっちは顔が真っ赤だったが

令司達は大破様のお湯に浸かってお互いの不足成分を補給し愛う。そして素晴らしいエロい声がずっと響くのだった。良い夫ですね！もつともつとハッスルしなきゃ！逆上せるなよ！

☆☆☆

北方連合のお風呂場で欲情してパーティーを開催している裏側では

「ふう〜くん？指揮官に報告してご褒美を貰わないのかな？」

複数のデカイ画面のパソコンを操作して3つほどピックアップして眺めているのがいた。氷の椅子に座ってるんですけど？平気なんだね？

「ロシア〜？なんか分かった〜？近づきたくない基地の事お〜??」

近づきたくない基地なんかがあるんですね？戦闘狂でもか？まあ？そうなるのかな？沢山の渦潮の映像がありますからねえ？巨大だし。なんか呪われてます？

「メルクーリア…。うん。廃墟になっちゃった基地にセイレーンが2人。それと遭遇して戦ったであろうKAN—SEN達が20名以上居る事が分かったわよ。修理中ってなってるわ。もしかしたら野良かもね？」

メルクーリアが背後から挨拶をするかのようにロシアに抱き付いて揉んでいた。ロシアは慣れっこのよう分かった事を伝えた。うん。揉みしだきたいわわっぱいを持つてるから仕方ないね？司令だってロシアのを蹂躪したし

おっと？セイレーン達はオロチとオリテスタの事ではありませんか？野良？そうなんですか？保護しないとじゃない？直ぐそこまで来てたんだね？ちゃんと近道してたんだ？良かったな？

北方連合達はまあ？諜報員？みたいな活動がメインである。ロシアは2つの画面をチョイスして更に拡大した。画質良いですね！なんか楽しそうに活動してる2人が撮影されていますよ！

「ふう〜くん？野良か〜。まだ居たんだ？…わわっ！長い黒髪のおっぱいがポインポインのセイレーンが艦装達を使って瓦礫達を綺麗に片付けてる！8つ？以上あるのって凄いな！」

「凄いねえ？上半身が裸で、下半身は艦装で隠してる感じよね〜？  
見せろよ」

「あはは。それと、笑いながら危険な巨大魚達を綺麗に捌いてるセイレーンがいるね？亜空間が使えるんだ？こつちの方が強そう！これらをザコに報告しないと！」

「そうね〜？報告しないと〜。うん。良く見ると長い黒髪ボインのセイレーンは指揮官の超真ん中のタイプなんじゃない？黒いオーラを放ってるわ〜。あつ、気付かれて壊されちゃった♪」

「壊されちゃったね〜？艦載機凄いやつた〜」

ロシアの声が嬉しそうだった。指揮官に捧げる供物を見つけた！みたいな？感じた。そしてロシアは自身の唇を舐めていた。両目がどうなっているのかわかって？ハイライトオフであります！ハイライトさん、仕事お疲れ様です！

巨大魚達を綺麗に捌いてるセイレーン。オリテスタは気付いてないよう、海面に背中から大の字ダイブして舌を出し嬉しそうな顔をしてプカプカしている映像が流れていた。オープン基地の誰かが他のセイレーン達に攻撃してるのかもね？

オロチの方は気付いた際にボインボインのたわわっぱいを右手で隠して1つの艦装に命令を出して撮影機？盗撮機？を破壊させた。オロチの顔は真っ赤になっていたぞ！無表情キヤラではなかった！

「うんと〜？廃墟の基地ってここから1日で行ける場所だったよね？危険な巨大魚達を乱獲してるからこれでようやく近づけそうかな？」

揉みしだくのをやめたメルクーリア。ロシアの隣に座って地図の画像を出して見ていた

「本気のスピードを出せば半日で到着するわよ？行くなら指揮官に話さないかね？仕事内容は廃墟基地の監視だけだし？後は、エロい魚達の間引きもあつたっけ？」

「そうだっけ？間引きは仕事ではなかったような？近づきたくないのに近づいちゃう方達を守る。があつたような？」

「そつちがあつたわね…。ヴェスタルがキラキラした目をして癒して

たわね〜?」

「そうだったね? 人気あるし…。はしやぎまくってる面白い姉ちゃんが危険な巨大魚達を狩って貰ってるけど、まだいそうだから対策しないとだね! 材料はいっぱいあるから! さてさて? ザコは何処にいるかな? : あつ、ここのお風呂場じゃん! 行つてきま〜す!」

面白い姉ちゃんが狩りまくってもまだ居るようだ。令司の調査スキル? でもっと危険な巨大魚達を乱獲するようです? 狩った危険な巨大魚達は美味しく食べられるのかい?

ヌーチスみたいに超高級な夜の頼もしい味方の成分に使えるのかな? サキなどの一般人がサキユバスへ生まれ変わるかな?

パソコンをガチャガチャして令司を見つけたメルクーリア。映像は行為中でエロい声が入っていた。こつちの画質も最高に良いですね!

「楽しんでるわね? ちよっ!? 脱ぎ散らかさないでよ! 片付けたらロシアも行くからね!」

パソコンを全部落としてメルクーリアの服を回収し始めるロシア。回収し終わったら脱ぎ始めて饅頭へ渡す。オロチとオリテスタのグラビアアイドル写真などを持ってお風呂へ向かうのだった

ロシアが走った氷床は濡れていた。そして湯気が出ていて溶けていた。凄く: ホカホカなんだね? 令司とのイチヤイチャを期待してるのかも?

オロチ一行と令司との顔合わせする時が近いですね! メルクーリアとロシアの報告を聞いた令司はどうなるのでしょうか?

☆☆☆

「イヤッフ〜つっつ!!! 未亡人タイプキタアあああつ!!! 行こう! 是非っ! この長い黒髪ボイン様と仲良くスツポリしたい! 黒いオーラをプリン放つなんて最高じゃないかっつ!!!」

きたコレエええつっつ!!! セイレーン達の中でいっつっちばんタイプ! ドS! 壊してくれそう! ネットチネットチタイプ! 経験豊富だ

ろっ！男性を少なくした元凶なんだろうおん？！

なんだよ！ダイナマイトなボディーは！殺しに来てるじゃん！男性が多い世界に居たらホイホイ釣れるぜ？！毎日同時喰いを楽しんでるんだろうね？流石！サキユバス未亡人！ありつつです！

「にっしし〜！即答！だよね！だよね！はあはあ…。この幸薄未亡人な黒髪ロングボインって強そうだから戦闘するのが楽しくなりそう！はっ：はっ：艦装8つ以上を同時使用ってヤバいんだよ！エンタープライズとエセックスは絶対我慢出来ないねっ！」

（最近、戦闘成分が足りてないからなあ〜？最高じゃんっ！超タイプ！盗撮機に気付いて壊す時の表情をもっと見せてよね♡あっちは未経験だね！令司っちは経験豊富って思っそう…。そんな訳ないじゃ〜ん♡）

「あううう…♡しゅごい〜♡きもひい♡」

「あははっ♡見せちゃった見せちゃった♡浮気、しゅごい良い♡ハマりそう♡」

「レキシントン。そうでしょ？指揮官に完全に調教されきつてなかったのね？愛し合った回数が少ないから仕方ないけれど…」

朗報！令司が壊れた！オロチよ。ロックオンされたぞ！幕、予約されちゃったぞ！おめでとう！良かったな！ドロドロに愛されるね！勝手にサキユバス判定喰らってる。ぷぷぷ

ロシアとメルクーリアはちゃんと廃墟基地の現状を報告したようだ。そこん所は軍女なんですなえ？レキシントンがぼわんぼわんしている。フツドはうんうん頷いている

報告後。令司の成分を過剰摂取したようだ。キリリとした顔はもう無い。饅頭達が2人の身体で戦？のような遊びをしていた。楽しんでますねえ？この饅頭達は北方連合所属。みんな厚着をしている。住み分けられてるんだね？

面白い姉ちゃんの方はなんとも思われてないようですか？残念ですね？オリテスタ？興奮しそうだ…

面白い姉ちゃんはイキイキしてアへってますね〜？こっちもタイプだわ。で？見えない攻撃を沢山喰らってる感じがするんだけど



?う〜くん?誰かと感覚共有でもしてるのかな?そんな事できるんだ?あつ!閃いた!ムフフ:

Oh::。こっちの写真は危険な魚達をキラキラ顔で狩ってるよ...アへ顔で。凄い器用だねえ?

魚達は食えるのかな?夜の味方の方がメインな気がするけど?商品化、出来るくらい沢山作れるよね?きつと。男性諸君、元気になつて数を増やそうぜ?

「ふう::。この面白い姉ちゃんの写真全部がさ?アへってるんだけど?これはど:::あれ?ロシア?聞いている?」

「ん〜?ロシア?やり過ぎてダウンしてるよ?メルクーリアもね?面白いアヘアへ姉ちゃんも強いと思うな?」

(Mだろうな〜?拗れてるよね?色んな方法で攻めてあげる♡きつと喜ぶでしょ?うえつ::。艀装がベトベトしてるじゃん::。身体を自由に捏ねくり回しているのは令司っちだけだからねっ!)

オリテスタのベトベトな艀装の出番は無さそうだよ?フルボッコ確定ですね!期待していいと思いますよ!はい!

「あつ、本当だ。へえ?強いんだ?」

う〜くん。面白い姉ちゃんは強く見えないんだけどね?騙されちゃったかな?小悪魔系ですかね::?ニーねえの母って感じがするわ::。若いんだよねえ?ニーねえの方が年上って感じがする

うんうん。黒髪ボイン様と同じ位のお持ち?若干小さいような?う〜む。面白い姉ちゃんを沢山虐めたい気持ちになるのは何故だ?交尾したら沼にハマりそうなんだけど?令司君も訴えてきてるし::

んっ?熊野?キラキラしてるね?キラ付けバツチリだぜ!涎垂れてるよ〜?で、ハイライトオフ。ハイライトさん!お久しぶりですね!元気に仕事してますねえ!

「メルクーリアの言った通り、調合して魚駆除してお邪魔しようよ?渦潮は大丈夫。避けられるから♪」

「ん?そうか?熊野がそう言うならそうなんだろうね?でも、巨大な渦潮自体を無くせればいいと思うんだけど?」

多過ぎでしょ？1つで十分だと思うよ？こんな所に良く沢山の危険な魚達がいるなあ？どれも巨大だし…。どうなってんの？生態系は？見てきたの全部巨大じゃんか…

「ん〜？自然現象だから無くすのは無理だね♪同じ事を考えた人がいたけどサクツとプチッと逝ったよ？何人もね？熊野達は巻き込まれてもピンピンしてたけど？くすぐったかったな〜！」

「よし！その話はもうしない！早速危険な魚達を狩る為の薬を調合するか！準備をしっかりとって廃墟基地へ行こう！逝く人数は12名で！」

背筋をピーンとして早口で一息で元気良く言った

老衰以外で死んでたまるか！ささ、調合調合お!!

「だね〜？選び方はどうするの？明石は確定で行かせないとだよ？」

(ジャンケンだと幸運値が高いのが有利だよ〜!!低いんだよ〜)

「そうか？選び方は…そうだな。…みんなの名前が書いてある紙を箱へいれて俺が11枚を取ろうか。不正が無いようにみんなの前でね？」

「そうだね。それなら不満は出ないね？饅頭達の紙に細工なんか出来ないし。選ばれるか祈ってるねえ？」

(幸運値とか関係無い選び方だ〜。安心出来るう)

へえ？紙って饅頭製だったんだ？細工、出来ないんだ？凄い技術だね？饅頭達、ありがと！

饅頭の頭を撫でる令司。撫でられた饅頭はくねくねしだした。饅頭達がわらわらと撫でてと要求をするかと思っただがしなかった。しなかつたかわりに刑事ドラマのワンシーンが出来上がっていた。みんな熱い演技をしている。楽しんでいるね？

「選ばれなくてもオープン基地へ連れてくるさ。演習場で暴れまくれる許可を出しとくよ。おわっ?!目の前に突然、紙と万年筆が?!スツゴ…」

サインすれば良いのだろうか？うん。演習場で大暴れ出来る書類だわ…。許可に丸をして、名前を書き書き…。つと、あらら…？無く

なっちやった…。みんな？後はよろしく？

戦闘狂のみんなが満足出来るかもしれないからねえ？熊野も戦闘狂の一員だし。長門よ。我慢しなくても良い相手が出るかもよ？テスターのニーねえで物足りない顔をしてたようだし？ニーねえも満足してたし

資材は…大丈夫だろ？カンスト？がどんぐらいかは分からないけど建造4回ガチャ出来たんだからね？豪遊したな…？

「ほんとう!!?やった〜!!!楽しみ〜!!!調合手伝う!」

「調合手伝うわ。祈つとくわね?」

「フツドとレキシントンも食い付き良いねっ?!手伝いよろしく!…の前にご飯を食べて寝よっか?」

「了解!」

返事、キリリってしてんの慣れない…。良い声してんだよねえ…。軍女って事が分かるわ〜!メリハリあつて最高だな!

廃墟基地へお邪魔する事を決めた令司。しっかり準備してから臨むようだ。オロチ達、良かったですねえ!みんな令司と抱き合ってるのだった

☆☆☆

「~~~~~つつつ?!?!んえっ?えっ?えっ?…あれっ?誰もいない?」

寝る所だったオロチが令司の真っピンクな思考をキャッチしたのでしょう。汗を沢山かいていた。良い感じにエロく仕上がっている。黒いオーラは無かった。濃さ?が薄くなっているようだった

「ただいま〜!魚、大量だったよ〜!楽かった〜!つて…?どうしたの?オロチちゃん?キョロキョロしてさ?…ていつ」

ツヤツヤのモチモチになつて帰ってきたオリテスタ。1匹の魚に右腕を噛まれてますけど平気なんだ?あつ、魚死んだ…

「あつ、オリテスタ…。お帰りなさい。えつと…誰かに見られててね…?」

シートでボインを隠して、髪の毛をかき上げてエロい声で見られた報告をした。浮気しちやった感が出ている

「うんうん」

「そのお…、それでなんか初めて気持ち良くなれたんだ？熱くなったし…？」

「おおくくっ?!オロチちゃんの顔が真っ赤に！良かったじゃん!?不感症じゃなかったんだ!?!」

「う、うん…。そうみたい…？でね？ドロドロに愛し合いたい気持ちになつてきたの…。下の口がね？ヌルヌルしだしたんだ？何コレ？」

「おくく！春が来たね！首傾ける仕草グツとくる！耳貸してくく」

「えっ?!そんなっ?!凄いのねっ?!」

「ねくく？一緒に卒業しようね？」

「うん！」

オロチはようやく？令司の指揮官棒を受け入れる準備が整ったようだ。危険な魚達の乱獲薬などを調べてメンバー選抜を終えたらすぐに廃墟基地へ逝くと思いますよ？2人とも愛し、愛されましょうね？

## 廃墟基地

効き過ぎじやないかなあ？

「ふわ〜…。んん…。ふう。よく寝た〜。うぎぎ…っ」

毎度毎度、身体がバキバキ言ってる…。何でさ？エロエロマツサー  
ジしてくれてるのに…

あ〜…：饅頭達の出してくれる飲み物美味しい！染み渡るう…。  
今回ののは結構とろみあるのな…？…：苦いの飲んだ記憶ないな〜？  
苦いの飲んでみたいなあ…。頼むか

「二「ふへへ…。…：しきか〜ん♡しゅき〜♡」」

「苦い飲み物よろしくね♪…んっ？そうか。愛してるよ。熊野、レキ  
シントン、フツド、ダイドー、ホーネット」

全裸の令司の両首筋と両乳首にはキスマークが沢山付いている。  
お楽しみでしたねえ？ダイドーとホーネットは食事後に誘惑してき  
て連れ込んだ

キラキラして幸せ顔をして寝ているみんなに熱いキスをした。も  
ちろん、エロ妻達も全裸だ。みんなはもう全裸が正装なんじやないか  
な？常にベトってるよ？

「あ〜、いたいた〜！おはよう！ご主人様〜♪」

「ユリネか…。おはよう」

うむ…。混じりつけ？のないサキュバスの正装？ってエチチだな  
！ずっと見てられる…。眼福眼福♪正装は持ってた薄い本と一緒だ  
ね〜？思考とか読まれて進んで着てるのかな？

ず〜と浮いてる…。流石っすね。良い匂いだ。…：ユリネの  
全部…：貰ったんだよなあ…。ごっくつ…。と、着替え着替え…

「…：…、これから薬を作って危険魚達を乱獲するつもり？スンスン  
…。…へえ？楽しんだんだあ？」

令司達がいるのは調合部屋。ベットはもちろんキング。そうして  
質の良い？運動をして質の良い睡眠を摂った

「するつもり。あっ？ああ…、楽しんだぞ。そっちだっけ楽しんだん

だろ？」

背中が幸せだ……。けしからん爆乳だ！煽られちゃうぜ……。あらら〜？なんか声がエロくないぞ？暗いぞ？憧れのサキユバスになつて楽しくセイレーンを食事（意味深）してきたんだろ？ウキウキだったじゃんか？

「むう……。楽しんでない……。憧れのサキユバスの身体って不便よ……。はふう……。ご主人様って美味しい……」

「おっふ……。そりや良かった……。そつか？不便なんだ……。……。た〜くと食べよ？」

「……………うん。ありがと」

うん？突然、ビデオカメラが現れたぞ？青葉のじゃん……。どうした？

おっ？お〜、セイレーン達の映像じゃん。ふむふむ、みんな付いてるね〜？ニーねえ達が集まってる。あらら……。おっ？ユリネの登場。…あっちゃ〜……。マジかよ……。何で……？

着替え終わった令司は、調合を始めないで観賞会を始めた。見入ってる令司をトロトロ顔で食すユリネだった

部屋へ入ってきた時は♡マークの尻尾がしょんぼりしていたのに、抱きついて食べたならピーンと伸ばしてブンブン振り回す。元氣になつて良かった

寝ているみんなが起きるまでずっと観ていた・食事していた。ユリネは令司を喜ばせるのを忘れなかったようだ？

「ふうん？サキユバスの身体って不便なんだねえ？ねっ？フツド？ゴクゴクゴク……。美味しい」

饅頭達から飲み物を貰って飲み終わったホーネット。軽く10杯は入っている。ユリネとセイレーン達の映像を観てそう呟いたのだった

「そうねえ？ユリネは受け入れてないし泣いてる。セイレーン達はなんか知ってた。って顔をしてるし？変な状況よねえ？」

「セイレーン達が優しく接してる……。…どうしてこうなつた？」

「淫紋のせいじゃないかしら？…だとすると天城達、サキユバスは相

当悶々してたんでしようね？」

レキシントンの髪の毛を撫でながら答える膝枕をしているフード。  
レキシントンはフードのお尻を揉んでいる

「そっか〜。天城達ってず〜とフェロモンポンプンさせて誘惑して来てたし…。理性鍛えられたと思うなあ…。あれらで」

「…っつ。その話はもう止めて調査しましよ？指揮官が今、ユリネから沢山採取してるし、天城達も協力してくれたし？ほら」

グルグル目をして早口で言うフード。天城達による甘い誘惑に負けて思い出しちゃったのかな？

令司とユリネが発情したようで盛っている。そして、サキュバスの何かが材料のようだ。催淫でもさせるのかな？

令司達をポーツと見るフード。床、湿らせてるぞ？レキシントンにパチンパチンって叩かれてるぞ？レキシントンは起きれない感じだ

「うん。ローンが犠牲になってくれたからねえ？天城達、積極的に凄かったなあ〜。ご馳走様。ダイドー、熊野お？調査手伝うよ〜！」

くねくね、いやいやんするホーネット。パイがぶるんぶるんしてるぞ？カウガールの頭の中は真っピンクのようです？

「〜っ♪んっ？ありがとう。よろしくねえ？フードとレキシントンはイチヤイチャしてて良いよ？」

セッセと材料を用意してセッセと鍋に入れて錬金している熊野。ホーネットは背後から熊野パイを揉む。令司はこの百合をバッチリ観て興奮する。令司ってば単純だなく〜？

「悪いわね…。調合、始めたばかりだけど良い匂いするわね…。：なんか…くすぐったいわ…」

「んっ…。そうだね…。オイルマッサージより優しいかも？」  
匂いでくすぐりたい？フードは何を言ってるんでしょ？薬の性能

なのかな？魚達に効くのか？

「ありがとうございます。このダイドー。ホーネットを色々と搾らせて貰いますね？」

笑顔で両手をいやらしくわきわきするダイドー。メイド服は改造

するのが当たり前なのかな？

「んえっ！ひやうっ!?そ…そんな…いきなりい♡ホーネットはぎ、材料だったの…♡あんっ♡」

「にしし♪退屈しなく〜い!ねえねえ?令司っち〜。薬を作り終えたら沢山遊ぼう?時間、まだあるしい?」

「〜♡♡ご主人様ああああんっ♡」

「ふう…ふう…。ユリネの…最高。ハアハア…。熊野、もちろんだとも!早く薬を作るぞ!」

ユリネに火を付けられちゃったからねえ!?裸エプロン、ありがとうおおお!!!ふんふんっつ!!!

誘い受け?に成功した熊野ママ。おめでとう!勉強?熱心なんだね?令司を何かの沼?に墮とそうぜ!

調査しながら遊ぶ令司達。危険なエロい巨大魚達に効く薬をちやんと作れるのかな?鍋のお湯の色が真っピンクだぜ!湯気が♡マークになっている。湯気に意思?があるんだ〜?!

危険なエロい巨大魚達?逃げ場がないかもね?全滅するんじゃない?きつとバランス?を壊してらって判断されちゃったんだよ…。料理してオープン基地のみんなの胃袋に収められましょう!

☆☆☆

「」「頂きます!」「」

令司達は遊びと薬を作り終えて第1食堂でみんなと食事をしてい。遠征や演習などに行っている物は誰もいない。全員集合しているのだ。広いからまだ席などに余裕がある

みんな、ソワソワしている。だって演習場で大暴れが出来る許可が降りているし、最狂?なセイレーン2人、オロチとオリテスタと沢山戦闘が出来るのだから?戦闘狂には大歓喜イベントでしょ?

「ご馳走様でした。よし。さあさあ!みんな!お待たせしましたあ〜!廃墟基地にいるオロチお嬢とオリテスタちゅわんをお迎えするメンバーの抽選はつじめるよ〜!!!」



「了解!!」

行為のし過ぎでま〜くた壊れちゃったようだ? ワイシャツの第2ボタンまで外してアピールしてる。エロ妻達は軍女らしく、綺麗な敬礼をする

「あはっ♪良い返事だ! 顔もキリリっ! てしてて最高! 選ばれる11名は、だ〜くれだ! じゃ〜くん! …鳳翔でえ〜す!」

ハイテンションのまま饅頭製の箱から11名を抽選し始めた。どデカイテレビに鳳翔と書かれた紙が映し出された。ビンゴ大会みたいな感じである。饅頭達はテレビ局の真似をしている。楽しんでるねえ?

鳳翔かあ〜! ガタが来たって申請されて退いたんだっただな…。それからずっと料理とか雑用系ばかりして貰ってたっけな…。ありがとね?

「……………えっ? ほ、鳳翔が? ですか?」

「……………えっ??!」

「そうだ。前線復帰しちゃうがね? 知ってるぞ? こっそり身体を鍛え直してた事を!」

重桜の空母の一部の顔が青白くなっているね? どうしたんでしょ? 両手が震えてるのもいるねえ? 扱き倒された過去をお持ちなのかな? 軍だしスパルタ教育も必要でしょう?

既に決まっている明石はステージに居てピョンコピョンコしててこっちにや〜! をしている。ポカン顔をしていた鳳翔は明石に気付けて表情を引き締めて早歩きでステージへ上がるのだった

全員集合という事は? 仲良くなったセイレーン達もいるという訳でして…

「うわ〜…。オロチ様はともかく、オリテスタ様が大興奮になるの間違いなしじゃん…。このみんな強いからねえ? すごい熱気で溶けちやいそう♪」

双子オミッターがお互い、頬をスリスリし合って興奮している。お互いの両目の中が☆マークだ。♡マークとの違いは何だろう?

「あはは…。オロチ様、黒いオーラを凄く出しちやってる。ふむふむ

…。この写真、瓦礫を燃料にしてるし…。あつ、こつちのはとつさにエロいポーズ。可愛い♪ムラムラしちゃう♪」  
「ピュリフアイヤー？その緊縛は誰にされたっ?!されたいんだがつ?!  
教えてくれ!」

！  
艀装が器用にスプーンを使つて食べさせてるよ…。すつごゝゝい

「んん？エディター？されたいんだ？愛宕から習ったけど？…しよつか？…つて、もう愛宕の所にいるし…。あつ、高雄に気絶させられちやつた…。…あれ？縛らないんだ？」

ポンコツ？になったのかな？エディターは。アークロイヤルと同じ匂いがしてそうだ。そのアークロイヤルはクイーン・エリザベスの椅子になつている。ウオースパイトが羨ましい顔をアークロイヤルを見ている

「オロチ様の観察、楽しくなりそうね♪それと演習場での大暴れ。オブザーバー達も参加出来るなんて最高♪あんっ…。ダーリンの垂れてきちゃう…。塞がないと…」

テーブルの上におっぱいを置いて舌舐めずりしてみんなを観察するオブザーバー。オロチ嬢を見る目はハイライトオフだった。セイレーンの世界にもハイライトさんの仕事があるんですね！過去に会つてて何かされたのでしょうか？

「オリテストママが楽しそうにしてて良かった♪ニーねえ達も嬉しい♪幕、あげたらニーねえ達にも幕を頂戴♪しつかり遊ぼうねえ？」

(捉えてるKAN—SEN達はどうするんだろ？なんか雰囲気が違うなゝゝ？指揮官達はほつたらかしかあゝゝ？別にどうでも良いんだけどね？遊び相手が増えたね。ラッキー♪身体弄り倒されたから面白いくらい弱点バレてるよゝゝ！きゃははっ)

北方連合は？

「あゝゝ」

みんな、おっぱいをテーブルに押し付けてダウンしている。環境に慣れてないのかもしれない。諜報活動でお疲れなのかも？

「ほい！雪風だ！あはは。くすぐったいぞ。ンチュ…。ささ、ステー

ジへお行き。ではでは？これで最後だ！呼ばれるのは誰だあ？…この紙にする！じゃくくん！クイーン・エリザベスだ！」

饅頭達がドウルルルとドラムを叩いたりして盛り上げて最後のデートメンバー入りの発表。ノリが良いですね？咲耶の基地の饅頭達はこうはならないよ？

「!!ヤッた！やったわっ！デートお！げぼ…、指揮官とデートおおっ!!!」

「ぐふっお?!おっ、うおお…。へ、陛下あくく…。き、効くう…」

「ぐつ…、う、羨ましいぞー！」

「!!「あはは…」」

凄いい勢いでステージに上がるエリザベス。アークロイヤルはお尻攻撃でぐぎゃーと腰が鳴った

ウォースパイトがアークロイヤルを羨ましそうに見て、メイド達は呆れ気味。お転婆？なのかも？令司との素敵なパーティーの競争に負け続けてしまった反動かな？

オロチ嬢とオリテスタのお出迎えデートメンバーを発表し終えた令司。空の箱を饅頭達から渡され、デートする12名の紙を入れた

「????」

負傷などをしていないみんなは、首を右側へ傾け、右手人差し指で頬をついた。タイミングは一致。なんか…シユール…？

選ばれた12名は、明石、鳳翔、イラストリアス、ジャベリン、プリンツ・ハインリヒ、ジャン・ボール、サセックス、エセックス、鈴谷、ライプツイヒ、雪風、クイーン・エリザベスである

編成？のバランス？何それ美味しいの？な感じだ。みんな強いからオロチ嬢とオリテスタと楽しく？殺し？じゃれ合う？のではないだろうか？

「おほん。えくく。廃墟基地へのデートメンバー12名の紙を箱へ入れたのはな？船に乗せて貰うのを選ぶ為だ！…って、アツツ?!ええ？なんか急に部屋の温度が高くなったんですけど?!」

サウナかよっ?!おくく？ボフンっとなってる。選ばれなかった組もなんか咄嗟にエロいポーズをする!!

あつ、そつかあ？船晒しつて最大級？のプロポーズなんだっけ…？  
こつちからだ逆ポーズ。もう、ここが貞操逆転世界に来たって  
事を忘れるんだけどお？いいや。次、引くぞお…？

令司は汗をかいて服をスケスケにするラッキースケベ状態の出来  
上がり。一斉にごくつと唾を飲み込んだ。目はギラギラしていない。  
理性がちゃんと機能しているようです？けれど、モジモジしている  
今更だが逆転していない世界線で例えるなら。盛りたい男性部下  
達の前でフェロモンを無自覚か？故意か？ポンポンさせまくってチ  
ククククと煽りまくっている誘い受けクソビッチ？の上司。の構  
図だろうか？分り辛い説明か…

「船を晒して貰うのは…。クイーン・エリザベスだ！よろしく！」

お〜！女王の船でデートとは！良いですねえ？楽しみだな

「……えっ？…バっ?!えっ?!あっあっ♡あ〜♡」

召喚中かな？うむ。腕組みして前かがみになっちゃって。美爆乳、  
素晴らしい！けしからん！グルグル目、最高だぜ

「よろしくね！陛下！」

選ばれたデート仲間は両手を後ろに組んで身体を前にして笑顔で  
言った。明石以外、選ばれなくてホッとしていた

「帰りはオロチ嬢かオリテスタの船で帰る事にする！晒してくれれば  
だけどな？晒してくれ無かったら…、じゃん！ライプツイヒので帰る  
！」

「…ふえ?!ふえええええっ?!あ、ああありがっがとうございませゆー！  
「こつちこそ、ありがと。あつ、そうそう。調査した薬を使って危険な  
巨大魚達の乱獲メンバーも決めるぞ〜？こつちの人数は20。演習  
場で大暴れが出来なくなるぞ。済まないね？後日、演習場で大暴れし  
ていいから」

「了解!!」

「良い返事だ。選ぶぞ〜？乱獲メンバー入りするのはー？」

デートに選ばれなかったみんなは乱獲メンバー入りを祈るのだっ  
た。こちらと呼ばれたらステージへ上がっていく

「よおし…。選抜終了。これで準備は整ったな。ではでは、廃墟基地

へ逝きましょ!! 饅頭達? 掃除などよろしくお願いしますね?」

饅頭達も綺麗な敬礼するな〜! 頼もしいよ! ありがとう!

こうしてそれぞれデートと漁業、演習場で大暴れをする為に移動するのだった。セイレーン達は全員演習場へ向かう。興奮している様だ

移動中のセイレーン全員がピカッと光ったら着てた服装が変わった。戦闘服なのかな? 際どい服しか持ってないんかい?

演習場で死闘が繰り広げられてお互い仲良くなる事をみんな知らない。戦闘後のセイレーン達はセイレーン同士でグチヨグチヨし愛うのものね? (幕は無事。セイレーン達の下半身は不思議だ)

☆☆☆

「あはっ♪獲れる獲れる〜! ヌーチスをまたゲット! 大っきい! 薬の効果、すご〜い! えいえい! みんな〜? 絶滅させるくらい獲ろ〜! ほいと〜、またヌーチスう? こつちも大っきい!」

ピチピチ、バシャンバシャンして津波ですか? って、位に波ってるんですけど? 難破して遭難するシーンの出来上がりなんだけどお? 夕立?! サーフインしてる?!

食えない! 材料にもならない! って判断されてるのを渦潮にボツチャンしていきコロコロするのだった。幾つもある渦潮は天然の巨大ゴミ処理場ですね♪みんな、明石製の亜空間に締めたのを放り込んでいく。

「効き過ぎじゃないかなあ?」

うん…。実は指揮官業より調合師やってた方が良いんじゃないかねえかな? いや? 調教師がしつくりくるかな?

ええ? レシピ通り作ってたんだけどお? チョイ足しすれば? ってみんなに言われてチョイ足しした位だよ? 愛情とナニを…

「えへへ♪エンタープライズ先輩より先に最狂のオロチとオリテスタと戦闘が出来る♪ゾクゾクしちゃう〜♡」

エセツクスの事は無視しとこうつと…。う〜む…、魚達の名前、

教えられたけど似てるのが多いよ？違いが分からん！モドキつてのが多いんだよなあ：

どれも男性達の下半身の味方になるんだよな？みんなが渦潮という処理場に放り込んでる以外はさ？ありがと！お世話になってます！使わない日もあるけど：

熊野が担当してるエリアってヌーチス養殖場じゃないの？獲れるの全部、ヌーチスじゃん。ほら〜、またヌーチスう…。どれも食べたのより大きいんですけど？産卵するぞ！つてのが多いな？時期かな？

オスはどうした？ポックリ？うんうん。メス達、強そうだもんね〜？と、どうでもいい事を考えちゃうぜ♪

「うん。効き過ぎだよ。兄さん。ジャン・ボール達の下半身を元気にさせてくれちゃってさ？兄さん成分を補給したら落ち着いたけど…。んんっ」

「落ち着いてくれて良かった。スッキリしたよ。ありがとう。情熱的だったよ」

「えへへ…♪」

作り過ぎたから1人1本原液のまま飲んで貰ったらさ？全員発情したよ…。んで？マタタビは入れてないのに明石、酔っ払ったなあ〜。みんなで可愛いがったよ♪

ジャン・ボールの頭、撫で撫でするぞ？ん…良い匂い…。ふう…。：よおし。全裸腕組みをしてるエリに近づいて揉むサプライズしてやろう。足音で気付くと思うがね

「!!危ないわね！みんな！シールド展開はずっとしてなさいよ！あん♡指揮官、もっと揉んで！」

はっ！揉むさあ！うん。みんな、固有スキルがある様で？エリザベスの船をシールドしてくれてるから津波の被害は無かった。みんな、ありがとう！

あつ、そうそう。エリザベスの船って想像してた通りで真っ赤で豪華な内装してた。上品清楚って奴？一斉に『お〜っ!?』って言った。エリザベスは顔を真っ赤にしてたね♪可愛いよ♪

「指揮官様。廃墟基地が見えて来ました。…鳳翔は戦いまくって良いのでしょうか？」

渦潮達をしつかり避けて、乱獲された事によって廃墟基地に近づく事が出来た

「良いんだぞ。みんなと協力してスッキリしてきなさい。ウズウズしてるんだろ？ヤンキー。艦内でオロチ嬢とオリテスタの事を待つてるからな？」

「了解♪んもう…、空母達をほんの少しだけ。ほ…んの少しだけ可愛いがっただけですよおう♪んちゅん♪…火照ってしまいましたぁ♡では、行って参りますう♪」

花魁、逝つてらっしやい。A H A H A！ほんの少しで重桜のヤベー空母達がビクビクするかつ…の…んっ？

「にゃ…！オロチ嬢の艦装を早くバラバラに分解したいにゃ…!!! にゃにゃ？オロチ嬢とオリテスタがこつちに気づいたにゃ…！凄いい艦載機の数にゃ！」

鼻血出しまくりじゃん…。ステ…い！

「んぎやにゃ…っ!？」

うんうん♪トントンすると面白い反応をするねえ？落ち着いたね…。ほら、饅頭達が用意したの飲んで？

「…：…：どれどれ？うっわ…。あれがオロチ嬢の艦載機か？数スツゴっ!!おっ？お…？鳳翔達、空母勢がイケイケしてるのか？」

初生戦闘シーン、迫力あるな…？すっげ…♡水柱に当たったらサクッと天国行きだな♪

オロチの艦載機つてマジかあ？そーいや、粉もん系つてこつちに来てから食べてないなあ？

粉もんはみんな苦手？毒だったりするん？ええ？お好み焼き、もんじゃ焼きとかって美味しいの…。作って振舞おうか！

「よっしや、戦闘じゃ…!!!邪魔なシールドはこいつで破壊にゃ…！そいやあ…っ!？」

ははっ♪明石が猫の尻尾をぶんぶん振り回してて低音イケイケボイスしてる♪テンションが可笑しいんだが。最高！みんなの修理は

バツチリかもしれないな♪

「そうか。みんなく〜！楽しんで来いよ〜！オロチ嬢とオリテスタをちゃんと捕獲するんだぞ〜？よろしく〜！」

うつわあ〜。凄い爆発音なこと…。ドクロマーク出てる…。大丈夫じゃないじゃん：

ふ〜くん？シールドが何重にも展開されてたんだ〜？ドクロのお陰か？おうっ?!みんな、スピードはっや〜い！エセックスがいつちばーん乗り♪

うむ。戦い始めた感じだねえ？オロチ嬢とオリテスタ？満足して拘束されてね？それで仲良くしっぽり愛し合いましたよ？ねっ？ねっ？平和に暮らそうぜ☆争い、良くない！戦争！ダメ！絶対！

こいつ、欲望がダダ漏れである。ダダ漏れの男性がこの世界では好まれるのだ。本当に歪な世界ですなあ？

「指揮官？護衛の為に残ったクイーン・エリザベスと明石と鈴谷の身体を隅々を堪能して待ちませんか？掃除しないといけないけどまた汚…きやんっ?!」

「鈴谷！最高！そうしよう！あ〜！幸せ！よおし。用意したオイルを沢山使っちゃうぞ？気持ち良くなれよな？」

「はい♡気持ち良くなつて下さいね♡んんっ…。…あゝっ?!」

「にや!?!そのオイルはダメにや!?!「ほれほれ、明石も♪」にゝいやゝゝっ?!」

「ズルいわー！下僕！エリザベスにゝっ?!ゝゝゝっ?!?!」

戦闘音をBGMにして新しいオイルでマツサージをしたり行為などを楽しむ令司達。攻撃をちゃんとシールドしてるよ…。即修理されていく。スリルを満喫してるね〜？

漁業中のメンバー達が空砲でしょうか？撃ち墜としコンテストを始めた。絶滅させたのでしょうか？餛飩達が楽しく採点をしている。優勝者は令司と交尾だったりするのかな？みんな精度が良いですねえ♪

令司はいよいよ、オロチ嬢とオリテスタ達が出会うようだ。令司の令司君？無理はするなよ？というか？オロチ嬢とオリテスタ様に溜



めとかないのかよ…

☆☆☆

「おらああああんんんつつ!!逃げんなあ〜!ピュリファイヤーああ!!」

「きゃははっ♪長門の攻撃おつもしろ〜い♡逃げるよ〜んだ♡燃料バカ重狐女〜♡えつとお?これだ、属性モリモリだよね〜♡」  
「それは言うんじやんなあああいい!!ネチネチと攻撃をするなのじゃあ〜!」

「演習になんないじゃ〜ん♡ほらほら!攻撃攻撃!」

「長門ねえつてば単純〜♪陸奥も行きま〜す!そおい!」

「…。江風は別の所に行つてきま〜す。おつと…。危ない…。回避技術が無駄にあがるわ〜」

ドツゴオオオオン!!とあちこちで爆音などが響いてる。水柱は途切れない。これ絶対、耳が可笑しくなるよ。な状態のオープン基地の演習場である

「ハアハア…。んん…。ハア…ハア…」

「あら〜?もつと観察したいのだけど〜?イケるでしよ〜?コードG?...大破姿つて最高にエロいわよねえ♡」

「エンタープライズだよ…。逝くぞ!強くて最高だああ。オブザーバー!」

艦装の椅子?に脚を組んでエロい美脚を披露するオブザーバー。両手を両頬についてハアハアしてて両目は♡マーク。小破である。頑丈?なんだね…

「あら〜♪ありがと〜ん♡オブザーバー姉さんに欲情してくれても良いのよん♡おつと…。良い攻撃ね?お返し♪それぞれ♪」

両手を前へ広げておいでをする。艦装もおいでをしていた。すっごい光景ですね?

「誰があんたなんか欲情をするかあ〜!オロチ嬢と戦いたかったんだよ〜!エセツクスに先を越されたのをぶつけるぞお!イツ

ケえ〜!!!」

「どうぞ〜♪う〜ん…。色々と荒いのよね〜?簡単に回避出来ちゃうわ…。ぷぷぷ。未熟ねえ〜♪優雅に攻撃しなさいよ〜♪」  
「おっと…。それはどうもおおー!」

「ほらほら〜♪もつともつと火力上げてえ?ねえ?」

「えっ?...あつ、ちよ?んえっ?こ、これ以上は出ないっ!...んひっ!うっぐ…」

「そっか〜?艦装を改装した方がより火力が出ると思うよお〜?大暴れ出来る位、資材があるんだからさあ?改装なんて楽勝でしょ?」

「二」駆逐艦に火力を求めちゃダメよお〜?双子のオミッター?こつちの火力を試さなあい?」

「うんうん♪軽巡のヤンキーギャルや重巡姉さん達。よろしくう♪受け足りないんだあ♡♡どうぞ〜♡:っ?!んはあ♡さいっ♡」

「二」あははっ♪それは良かった〜♡もつと試させてね?」

「どうしたどうした?瑞鶴、翔鶴?!攻撃緩いぞお〜?剣の修行足りないんじゃないか?」

「うつつさいわね!エディター!くう…。かつた〜い…」

「そういう服だからな!おっと…。翔鶴の攻撃くすぐったいな!!!」

「はあ…。脳筋は嫌ねえ?奇襲したのに…。ほらほら!行っちゃって〜!」

「!!そうこなくっちゃ!みんなもさあさあ!攻撃してくれ!」

「緊縛姿で悦んでんじやないわよお〜!!!」

「…瑞鶴…。若いつて良いわねえ?」

「愛宕お…。愛宕が縛ってあげたら良かったんじゃないか?」

「高雄?イ・ヤ♡高雄縛りは最高なのよ♪」

「ど、どうも…。変態…。援助しに逝くぞ」

「りようか〜い♡くらいなさ〜い♡」

えっ?何、この変態な戦闘集団は?令司は見てなくて良かったなあ?ちゃんと演習として?成り立ってるのが凄いわ…。強い秘訣かなあ

？

令司とデートしてる方が優雅？で清楚？で上品ですね？…資材どの位減るのかな？後始末しつかりしろよ？

いよっしやくっつ!!!

「そろそろ上がって良いんじゃないの!?……あつ、げぼ……ううん。指揮官! オロチとオリテスタの拘束、成功したわよ!」

全裸で腕組みをして空をずっと見ていたエリザベス。指をさしてはしゃぐ。連絡待ちだったようだ。下僕と呼ばれたかったんだね? 呼んじゃえば良いじゃん? 笑顔で許して貰えるよ!

「いよっしやくっつ!!!」

ようやく決着がついたか! 綺麗な祝砲だなく! というか、花火だよ。花火。花火大会が開催されたよ。打ち上げ過ぎだけどね? 全部、デカイよ! ん? エリってば下僕呼びしたかったのか? カモン! 愛称、カモン!

基地へ突撃する前に饅頭達が渡してたのはこれだったのか……。饅頭達って万能だなあ? ありがとう。ここに来て初めて花火を見たよ。汚ねえ花火なら毎回撃ち上げてるけどね♪

「あふっ?! ちよちよっ?! うっつ!」

到着して直ぐ決着すると思ったのにさ? 次の日の夜まで戦闘したんだよなあ。量がエグかったからそうかもだけど……?

デート抽選で選ばれたみんなはさ? 清楚戦闘狂なんだよ? 凄く強いよ? なのに……。オロチ嬢とオリテスタって高火力&高耐久だったんだ? 回避力もね? 凄いぜ……

「綺麗。……ふうくん? 鈴谷はこれを打ち上げて返信つと……。よし」

そうそう。漁業をしたみんなはノリノリで絶滅させたって。到着した夜までに決着がついた。凄い

暇になったんで、エリの船に乗って貰ったんだ。お風呂に入ったり、スイートな部屋で寝てたり、獲った魚達を捌いてたりと自由にしてる。ゴロゴロしてるんじゃないかな?

もちろん、みんなとお帰りなさい・ただいまのキスとハグをしたよ♪ 鯖折り技術はローンが最高級。比べるなって言われちゃったけどね

ドンパチしまくってて耳がおかしくなると思ったけど、無事だった

！明石製の耳栓をずっとしてたからね。みんなの工口声が聞こえる不思議な耳栓でございました。爆音は聞こえなかった。量産して売ろうぜ！売れるよ！

明石製の耳栓を本当に売り出して、ガツポリ儲ける事に成功する事になる事をまだ知らない。令司の直感？は凄いようですよ？毎日毎日どっかしらで砲撃とかが鳴りまくってるからか？

「にやはくく！沢山、修理出来て興奮したにや！新艦装の性能バッチリだったにや！やった！後は、オロチの艦装の解体。楽しみにや！にやふふ」

ねじり鉢巻きをしてみんなのブツ壊れかけた艦装達を修理していった明石。落ち着いた今は、キラキラしていて新艦装に抱きついてウツトリ。尻尾を振り回しながら艦装を突いてる。良い音が鳴っている

「大活躍だったね…。これでお邪魔出来るわね…。んっ、KANISEN達の保護と治療も出来る…。…か」

「鈴谷、お疲れ様。全員無事かい？捕虜になった方々も無事かい？」捕虜になったKANISEN達の指揮官達ってさ？応援してくれ。って他の基地に言っただけなのか？電話番号知ってるでしょ？咲耶達のKANISENや、ユリネの方も援軍なかったし…

色々な仕事をしてるからそれどころじゃねえ！って感じかな？…エリア違い？後は、KANISEN達がKANISENに要請する感じか？…電波妨害されそうだけど？…まあ、考えても無駄だよなあ？

「信号弾を読んてるからちよっと待ってて…。…うん。みんな無事。どっちも轟沈者、無しよ。みんな大破してるけど」  
「そうか。そうか。良かった」

花火じゃないのが連射されてたね。ソレ、信号弾だったんだ？綺麗だったよ。そりゃ？大破するでしょ？激しい戦闘してたんだからさ？お疲れ様です

…ごくりっ…。髪の毛をかきあげる仕草ってさ？なんかグツとくるよね？くるよね？…こ、こない？そ、そんなあ…

「ふしや〜！ふしや〜！！」

「…あつ。エリ、ありがとう。…よし、みんなに会いに行こうか」  
おつと… つい、エリを高い高いしてしまった。可愛いすぎるのが  
イケないんだぞ！女王様っ！

「……………」

「了解！！」

「んん？エリ？どうした？」

…またスルのか？結構、ハッスルしたんだけど？グチヨグチヨに愛  
したよね？燃えたじゃん？

「か、かた…ぐるま…ししなさい！」

「……………へえ？ヤルじゃない？」

Oh…、そうきたか〜！！戦艦のプライドとやらはゴミ箱か海に投  
げ捨てたか！イチヤイチャ成分、足りてないんだね？くっ?!鈴谷、チ  
ラ見せはズルいつ！

「仰せのままに」

「ありがとー下僕！」

エリを肩車するなんて、想像してなかったよ…

令司の首筋は良い感じに湿っていくのだった。狙っていたのかな  
？この肩車は駆逐艦達のお気に入りである。令司にとっては良い筋  
トレになっていたりする。筋トレ、成分補給でWinWinである  
父と娘の絵面の完成。母親はいっぱいいいるぞ♪今は鈴谷が母親だ  
！小悪魔風な？母親ですけど。みんな、良い笑顔をしている

「ほら〜！早くするにや〜！！イチヤイチャは充分だろうにや〜  
！」

門？だった？場所へ1番乗りしていた明石。両手をグルグル振り  
回すのと、猫の尻尾をぶんぶん振り回して待っていた

「行くから〜。待つてろよ〜？うっ…。あくもう！瓦礫、邪魔だなあ  
?!」

オロチ嬢が艤装達を使って綺麗にした写真を見たけどさ？それ  
でも多くないかな?!立地条件が最悪だから廃墟になって当然だと思  
うよ?!スリルのある別荘に来た！って感じがするな!?

「帰る前に、瓦礫共を全部片付けましょうか？…これら、資材になりますし♪」

「うん？…そうなんだ？片付け、よろしくね？」

「了解よ」

資材回収のベテランの鈴谷が言うのなら間違いないな！熊野もいるから捗るな…。数の暴力で解決う！で？鈴谷？魔性のお尻成分、しつかりと補充できたかい？

片付けに参加するのはム・リ・D A ☆だつて、持てる重さじゃないし、防塵マスクがないもん♪腕力、無えもん♪敵わないってば♪

マスク、あるかもだけど、そこにいるだけで良い。つて、言われそうだし…。なんなら？掃除を見ながら…。キスしたままエツ！をする可能性があるな！外でシタがるメンバーが多いんだし？

瓦礫達が資源に変わるようだ。良かったじゃないか！建造ガチャが出来るくらい回復？するのか？貯まったら建造ガチャをまたするのか？ボスの2人を拘束したのだから要らないと思うのだけど？

そういうのは置いときましょうか。いよいよ、オロチ嬢とオリテスタと対面。どんな行動をとるのでしょうか？

オロチ達はチョロインなのでしょうか？遠い？深海から遠足？してきたのだからチョロインだろう？この廃墟基地へ到着するまで激しい戦闘をしなかつたよね？ステルス機能でも備わっていたのか？

☆☆☆

「……………」

「ハアハア♡すつつつつつごく気持ち良かった〜！！破壊力抜群だよお〜！！生。すご〜い♡あ〜くん♡思い出したら、濡れてきちゃった〜くん♡いやん♡絞まるう♡」

「ひっ!?!うぐっ?!」

万歳姿で拘束されてるオロチとオリテスタ。と、案内していたKANSENが見張る。復活して直ぐ見張りに志願したそうだ。捕虜だったみんなは、エセックス達と一緒に部屋に居る。寛いでたり寝て

いたりしている。エロな行動をとっていない

オリテスタは超興奮。間接攻撃より刺激が強かったようで満足してる顔だ。涎を垂らしてツヤツヤしている。オリチは黒いオーラを出してモジモジしている。エロいぞ？

「指揮官様、こちらです。見張り、お疲れ様。ゆつくり休んでね？」

「は、はい！失礼します！」

「……。追って、慰めてきますね？」

「鳳翔、案内ありがと。鈴谷、よろしく。優しく相手しておやり？：やっべ：。2人ともお美しい!!!」

鳳翔と合流した令司達。無事、オリチ達の元へ到着した。見張りの交代時間だったようだ。鈴谷はため息をついて慰め宣言。令司は鈴谷の頭を撫でて送り出した。鈴谷はスキップして慰めに行く。夜の仕事が入ったようだ？

明石は、さつきから無言でオリチとオリテスタの壊れて？いる艤装達を涎を垂らして熱視している。嬉し？過ぎて全身を震わせている。早く解体したいのでしようね？

ふむふむ？すっかり拘束されてるね。ここでも高雄の縛り技術が……。えくつと？とりあえず。お仕事？お疲れ様です？で、いいん：だよね？大破姿、エロいなあ！

じつくりと2人を視姦する令司。エリザベスを肩車したままご対面するとか、印象、最悪なんじゃない？

うくむ。オリテスタを見ると、やっぱりメチャメチャ、虐めたい気持ちになるんだよなあ？何で？そういうフェロモンでも出してるんかい？どうなのよ？

オリチ嬢は：。サラツサラツ、フワツフワの長い黒い髪の毛で上手に！かあく！分かってんねえ！視線、ホイホイされちった♪手を出したら上手にコロコロされちゃうかも♪おつきつきしないようにスッキリしてきたのになあ？反応してきてるんだけど?!

これである。チャラチャラしすぎなんじゃないかなあ？オリチ達の反応はどんなだ？オリチの解説は早口だった

「だ、男性だあ：。ヤダ、美しいだなんて♪ムチムチしてるからブス



だよ。根暗だよお？」

いやんいやんしたいようだが、代わりにジャランジャランと鎖の音が鳴る。黒いオーラがピンク色に変わってきている。ムラムラし出した？ チョロイン？

あつ、オロチ嬢の頭から湯気が出てる。ナニ？ 可愛いんだけど。トウンク

心臓のある部分を掴む令司なのだった。行動、変ですね？

「わあ〜！ イケイケの低音じゃん！ メツチャタイプ！ ねえねえ！ オープン基地の指揮官だよな？ 指揮官棒でヌルヌルのココを沢山虐めてっ！ お願い！ キャンキャンしてるの♡」

笑顔で早口でおねだりをする。ハアハアいつてる…。両目が♡マーク。発情期に入ってますねえ？ いや？ 万年発情期だったね？ ボコボコにされ過ぎて頭、パッパラパラ〜に？

「あらあら♪ オリテスタってば良さを分かってますねえ？ 仲良く出来るわ♪」

「ふえっ?! いいきなり?! そそそれはデートをしてお互いを深く知ってからじゃないのお?! ステップ飛んでるう!!」

「ええ? デートだよ? お突き愛いするんだよ? いや? 尻合う? うん。他の滅ぼした世界達の男性達より凄くカッコ良いし! 身体の相性、絶対良いと思うんだよね♡ オロチも相性良いって♪」

「えっ? そ、そうかな? そそっか〜! えへへ♡」

おおく? 好印象じゃん? やったぜ♪ さらつと世界達を滅ぼしたって言ったよ。マジかよ? オリテスタってば、世界線とやらを渡れるのか? スゲえな?

そういうギャップでやられたのか〜。KANISENが1人も居ない世界線だったんだろうね? 対抗出来るのってKANISENだけだし?

男性達は何かでグチョグチョ、ヌツチョヌツチョにイカされ続けてココロされたのかもしれない? それか人類同士? でくつつつだらない理由でサクつと。…とか? う〜ん? 考えるのは無駄だよな? 忘れようつと

その世界線で生きていたかもしれない俺よ？ 幸せな生活をおく  
れてたかい？ アイツに裏切られてなかった？ 裏切られてそうだなあ  
…

「おっ？ そうか…。 つー！ 痛い痛いっ?! エリ？ 痛いってえ?!?!」

無言でこめかみをグリグリしないで?! ああっ?! 痛気持ち良いマツ  
サージ最高! もっ…って、急にどうした? 筋トレ始めてさ? おおう  
…。 太ももの感触最高♪ 太ももフェチの方々の力説が理解出来たか  
もしれない

「…………指揮官様? 今更、思わなくてもいいじゃないですか…?」

「えっ? あっ? ハイっ」

ほ、鳳翔? 目付きが鋭いぞ? ドスい声、出せたんだね? ……左足を  
蹴ってきてなんなのさ? 危ないな。怒ってるんだ? なんもしてない  
じゃん? いや、船の中で沢山シてたけどさ? えっ? 今更? 今更なの?  
「んっしょ…」

(鳳翔も感じたようね。ほんつと今更! あんな奴、忘れなさいよ!!! エ  
リ達をちゃんと味わいなさい! 上書き! ……んっ。これ、良い筋トレに  
なるわね! 駆逐艦達が気に入ってるの分かるわ!)

「オロチ、オロチ〜!」

「あっ? はい? ……えっ? 明石? で良いのよね? 何?」

両目を☆マークにしてる明石。ワクワクしてる? ようで、艦装達と  
オロチの目を行ったり来たりしていた。もちろん尻尾を振り回して  
いる

「そうにや〜! 明石にや。いきなりだけど、オロチの艦装達を解体し  
て良いかにや? 8つ以上も要らないでしょ?」

「解体? そうねー。要らないわねえ〜。あつ、3つは残して貰うわ。  
それ以外はどうぞご自由に」

要らない説明を。KANSEN達は艦装を2つまでしか扱えな  
いよ。例外で3つイケるのがありますが少数である。鳳翔は少数組だ。  
艦装を8つ以上同時使用が出来るオロチは化け物でございます

オロチ以外のセイレーンも5つまで同時使用がイケる。こちらも  
立派な化け物です。こんな奴らに人類側はよく勝てたな? 数の暴力

か？

「本当にや?! ありがとなのにや! やった〜! お礼にどうぞにや! ひやつふ〜! 早速、解体作業じゃ〜!」

(よっしゃやおら〜つつ!!! 徹夜でハッスルじゃ〜!!!)

うおっ?! 笑顔が眩しい! ジャンキースイッチが入っちゃった〜! 行ってらっしゃい。おっ? おく? 明石の船かあ? 変わった外見してるんだな? 中は工具でいっぱいだろうね? 工具使って明石を汚して良いかい? ダメだろうね…

…今更だけど。…美爆乳持ちのみなさんはさ? 谷間に亜空間でもあるん? 何かしらを挟んでるよね? 吸い寄せられるんだけど…。 H A H A H A ☆俺ってば単純だ♪

「えっ? んぐつ?! んつくんつく…。 けほけほ…。 ……ん”ん”ん”つつ?!」

おく? エリの船で獲りたてのモドキ魚達の色んなエキスを混ぜた奴を飲んだね。効いてる効いてる。イツタねえ? 盛大に潮、嘔いちやつてるね? かかつちやつた♪…甘くて美味しい♪

「あ〜! オロチったらエロくなれる薬を飲まれたんだねえ? 良かったじゃん! お先にどうぞ♪ 卒業しなよ! ささ、お突き愛い♡ お突き愛い♡」

豊富じゃなかったんだ? 裏アカウントを持ってズブズブしてたと思ってたんだけど? ホイホイバディーしてるんだから。って、この世界って少なかったね…。…他の世界線に行ってもないのか?

「ハアハア…。 んんっ♡…………っ」

なんか期待してる目だ。 よおし、しっかりさせて頂きますね?

「ここじゃない場所でしなさいよ! とっておきの部屋に案内するからそこで沢山、お突き愛いをしなさいよね!」

「んっ? ああ…そうだな。案内よろしく」

「任せなさい!」

寒過ぎるからね。みんながドンパチしまくったから瓦礫等の山々があるわ…。 これらも資材に…なるのか? えっ? 豊富過ぎない? 多分、1回分の建造ガチャが出来そうなんだけど? 回すのは要相談かな

？ボス2人を拘束したのだからね？

「指揮官様。オロチとオリテスタの拘束具を外さないでお連れ致しますね？………??指揮官様？」

「んお？お？おお、よろしく。鳳翔」

「はう〜…♡」

「お願いしま〜す！あつ、そうそう。鳳翔の攻撃、美味しかったよ！ご馳走様！」

鳳翔…。引きづつてくのかよ…。平気な顔してるよ…。なんか力オス…

「あらあら？…ありがとうございます♪こちらも久しぶりに大暴れが出来て満足ですう♪また美味しく攻撃を食べて下さいね♪」

「本当？！やったく♡えへへえ〜」

攻撃が美味しい？頭のネジが幾つも取れてる会話してるう…。理解、出来ちゃいけない世界だわあ…。そつとしておこう。鳳翔のハネっ毛がピコピコしてる。嬉しそうで良かったね？

さあ、色々切り替えてオリテスタを虐め抜いてあげましょうか！もちろん、オロチ嬢の卒業式もするよ？何処へ案内してくれるんだろうか？楽しみだ

肩車したままとっておきの部屋へ向かうのだった

父と全裸の娘、奴隷2人（購入後）と花魁の清楚妻。といった絵面でしょうか？なんか、犯罪臭が凄くしますね？幼妻達もいるから立派な犯罪者だったわ…。今更だったよ

☆☆☆

「ごんごよ！好き勝手に使って汚しなさい！」

（ややややったわあ〜！見、見せられた！掃除、しつかりしたから大丈夫よね！ね！変なのは全部捨てたしっ！？青葉が持ってなければいいけどー！）

「うっわ…。ええ??」

「眩しい！眩しいよお〜！あうっ！肌が痛い！根暗にはキツイです

うくく!!!ファンタジーな空間!ごごごめんなさい!あんっ♡」

「流石、女王艦ですね」

「あ、あの? いいいい、一泊、おおお幾ら?か、軽く億はイクでしょうっ?!」

マママジかよよよ……っ?!?!眩し過ぎるんですけどおろ?!?!目があああ!!!

全裸で両手を大きく広げてドヤア!っっているエリザベス。顔は真っ赤でヤカンを沸かせそうだ。肩車はされていない。部屋へ近づいた時に降ろして貰ったのだ

顔を引き攣らせるオリテスト。なんか良く分からない反応をするオロチ。拘束している縄が良い感じに絞まって感じたようだ。エロい声をあげた

そうだろうね?と、いう顔をして頷いている鳳翔。両足をガクガクさせて、お財布を開くジュエスチャーをして値段を聞く令司。ご丁寧に、中身は空っぽなんだよ?なっ?なっ?という仕草をする。芸が細かいのね?という絵図が出来上がった

そう。案内されたのはVIPルームでございました。ありがとうございます。マジで女王様だった。棚には下半身をイラつかせる飲み物やオイル等が、使い切れない程ギッシリと置かれている

(…えっ?なに?その反応は?この部屋って普通でしょ?)

いやいや、普通じゃないですって。首を傾けて不思議がるのだった。?マークが頭の上に幾つもあるのが見えた気がした。想像していた反応ではなかったようだ

「お金は取らないわよ!タダよ!タダ!…そうね!指揮官棒で払って貰うわ!支払い先は……、オロチとオリテストのアッチよ!良いわね!」

(まあいいわ!ヨシ!ビシッと、決まったわね!)

「えっ?!」

「ははあ〜っ!仰せのままに!!!」

ええ。ええ!しつかりと完済させて頂きますよ!オロチ嬢とオリテストは受け入れ体勢が整ってるようだし!かなり溜め込んでるん

でしょ？アハハつつ!!! イツキますよ〜??

忠誠を誓う騎士のポーズをとった令司。あんた？上司だろ？良いのかよ？簡単に頭を下げちゃって？で、支払い先にエリザベスと鳳翔は入ってないんだね？…あつ、既に沢山払っていたね♪

令司は変なスイツチが入ったようササつと支払いをする為に2人へダイブするのだった。

「あつ？ちよ…っ?!んむんっ!?〜っ?!?!」

(ヤダヤダツ!!! 優しくしないでっ!!! 優しくっ!しないでよ〜お!!! 何で優しくスルの?! 何で何で? ヤっ! ツライツ!!! あんっ♡口、美味しい!!! ぁぁぁぁぁっつっつ?!?! ビリビリするう〜っ?!?! 沈む〜っ!!!)

令司の先制口撃を喰らって轟沈し出す2人。優しく優〜しくスルのだった。もつともつと轟沈しましょうね? 2人とも涙目。それ、煽ってるんだよ? ほら、みろお〜? グイグイし出したぞ?

「携帯が使えるようになったから、みんなに連絡を入れておくわ〜♪ 待ってるだろうから。楽しんでね?」

(その調子で沢山泣かせましょう? うふふ♪ 優しく過ぎるわよ♡ 鬼畜♡ さて、準備しないと♡ お香お香…♪)

「棚にあるのは好き勝手に使って! まあ? 全部使ってくれろと嬉しいのよね! サポートは任せて! …っつて、キスに夢中で聞いてないわね!」

(オロチとオリテスタは極上の口をしてるのね! もつと虐めヌキなきいよ! オロチとオリテスタの表情、最高ね!)

令司の行動を爽やか笑顔で見る鳳翔とエリザベス。全力全壊でサポートをするようだ。サポートをする為鳳翔は谷間に挟んでいたお香を取り出して次々と設置していくのだった。そして脱いでいく

棚にある高級なオイルや飲み物を全部使用したら、令司がまた壊れてしまうゾ☆ エリザベスは、壊れちゃった状態の令司を愛したいのかもしれない? キラ付けではなくキラ付けで絶好調だったようだからね? 仕事が捗ったデータがあるんだ♪

「ハアハア…。つく、イライラが…。オロチ嬢! 支払うぞ! …んっはあっ?!」

「…っは…、~~~~~っつっつっつ?!?!」

あぎやあああつっつ?!?!持つでがれゝるゝうゝううゝゝつ?!?!ナ  
ゝ二ゝゴレゝ ええゝゝつっ?!?!どんデもゝねえゝゝ?!

相性が良いようで2人は絶叫する。良い感じに壊れてくゝヤツタ  
ゝゝゝ

「オロチっ?!大丈夫じゃな…んゝんゝんゝ っ?!?!」

「こ、これはあ?!?!」

「はあい♡涙ぐんでる指揮官!飲んで元気出さない!いっぱいある  
からね!…うんうん!その調子でドンドン支払いなさいよね!」

キラキラ光る飲み物を飲まされた。元気いっぱいになり、オロチへ  
支払い始めるのだった。オリテストの胸をしつかりと揉むのを忘れ  
ない令司だった

「やつほゝゝ!!ねえ?聞いてえ?鈴谷つたらねえ?…つて、うつわ…。  
何?この部屋?スツゴ?!眩しっ!」

「熊野?扉の前で止まらないで?早く入って?…ハインリヒ。来たよ  
ゝゝ!おゝ!?!始めてるね。サポートつてこれか?任せて!柵、漁  
ろつと。…これ、良さそう!」

「お香焚かれてるゝゝ?落ち着くゝゝ。にししゝゝ、このオイル、使  
たかったんだよねゝゝ?説明書、読まないとゝゝ!ゝゝつ♪」

「うう…。ライプツイヒの船…。指揮官を満足させられないかも…。  
うわゝゝんっ」

「おつと?…雪風の胸で泣かなくてもいいのだ?大つきくないのだ。  
…ヨシヨシ。サポート、始めよ?」

「指揮官!エセックスが全力でサポートしますね!オリテスト?後  
ろ、失礼しますねゝゝ?うふふゝゝ♡楽しんで下さいねゝゝ?」

鳳翔マツムの連絡を受けてゾロゾロと入って来た。みんな好き勝  
手に支払いサポートを始めていくのだった。好き勝手だけど、何故か  
連携が取れている。指揮官棒でしつかり指揮をとったからかな?令  
司は何も指示をしていないけど…

「あぎやんっ?!うひんっ?!ちよゝゝ?!ちよゝゝ?!相性!やつぱり良い  
じゃん?!?!痛くないっ!顔をしてれろうが?!こへひや、うへしなみ

にやだよ！ひやぎやつ?!」

「ふ〜っ♪ふ〜っ♪うふふっ♡指揮官つてば耳を真っ赤にして〜♡可愛い♡」

「もつと♡もつと♡支払つてえ〜♡」

うひやひやひや!!!アヒヤヒヤ!止まらないよ〜♡もちろん!ドンドン支払つてイキますよ〜!!!気持ち良過ぎるわ〜!!!

サポートのお陰で令司の令司君が良い仕上がりをしていった様だ。サツサと完済して瓦礫達を回収してオープン基地へ帰りません?支払い期間はどの位なのだろうか?瓦礫の撤去も待つてるし、保護したみんなを基地へ帰らせないといけないぞ?

これでセイレーン達を完全に性成敗した令司達。これからセイレーン達はどんな生活を送っていくのでしょうかね?悪さはもうしないよね?指揮官棒に悪さをしてるけど…

令司はフタ基地の訪問、咲耶達とのサキュバスコスプレエツ!等などが待つてるぞ?ここで枯れたりすんなよ?枯れても復活させる技術をエロ妻達は持つてるけどね?

☆☆☆

オープン基地。セイレーンのお部屋にて。演習場で大暴れしたニーねえ、エディター、双子オミッター。ムラムラし過ぎたようで百合つて発散する所だった。壁は令司と愛し合った写真でいっぱいだ

「あ〜っ?!あ〜っ?!あつあつ…?!イクっ?!」

(えっ?…えっ?…えっ?…えっ?…えっ?…えっ?…えっ?…えっ?…えっ?…えっ?…)

「…えっ?何?ニーねえ?エディター、準備してて手を出してないのに?!うっわあ〜…。不思議な現象が起きてる〜!すぐ〜」

「そうだね?おお?すっご〜♡出されてる…。不思議だね〜?」

両頬をスリスリし合つて、ニーねえを見る双子オミッター。キラキラしている

「ハアハア…。んっ…。はう…」



「どうやってなったのかな?」

「う〜ん? 指揮官がオリテスタママに手え、出したんじやない? 勝手に感覚を繋げられちゃったんでしょ〜? そういうの得意そうだし?」

「ふ〜ん? ソレしかないかもね? …ニーねえの分身達も悶えてるし…。ハッピーの押し売りかな? よおし、準備出来た。ゴクっ…。なんか唆る! 失礼する…よつと! くお〜っ♡ 指揮官のが♡…ちよつ?…うっ?!」

(あゝ…。やっぱり負けるなあ〜…。仕方ないよなあ〜♪あ〜っ♡)

オリテスタママの不思議パワーで沢山イカされるニーねえ。幸せな? 顔をしている。双子オミッターの読み通りで令司の花火を受け止めたのだ。プレイの幅が広がった瞬間だね?

エディターはニーねえの雰囲気? に煽られたようで? 令司から奪い返し? を決意して手を出した。が、サクッとやられたようだ。双子オミッターのサポートがあつたからかもしれないけど…

「はあい。エディター? 飲み物だよ〜? 飲んだら相手してよねえ〜? …待たないよお? 好きじゃん? フリ上手〜♪イツクよ〜!」

楽しく? 仲良く。発散していくのだった。悪さ? はセイレーン同士だけのようだ? 令司は興奮するだろう

「ただいま〜。あつたまつた〜♪暴れてスッキリ! さっすが〜♪…おつ? ふ〜ん?」

「ただいま。あら? 始めてるのね? しつかり観察するわね?」

お風呂から帰ってきたピュリファイヤーとオブザーバー。2人ともしつかり乾かしなさいよ。令司い〜? お世話してやって〜? 良い感じのエロスですよ〜!

「観察がてらにお互いの胸。揉まない?」

「ええ。揉むわよ?」

セイレーン同士で素敵なパーティーが開催された。仲良しだね?

## 最終話

これはこれは……

「んっ……。もう……。優し過ぎて狂ったわよ?」

「悪い悪い。オロチ嬢。素晴らし過ぎたよ」

「うっ、うん。ありがと……。相性良くて良かった……。んんっ」

「イエエーイー!満足したくっ!……。1週間経ったね!」

「う、うん……。そうだな……。テンション高いね?」

オロチ嬢とオリテスタと相性抜群過ぎたわ……。みんなもサポート  
ありがとね?」

令司椅子の座り心地は逝かがです?あくく、オロチ嬢のお胸様、  
ずつと触つてられる。もう黒いオーラが無いね?変わりにピンク色  
になったけど

オリテスタはホンットに超が幾つもつくドMだったね?みんなも  
ノリノリだったなあ……。溜まつてたのね?ごめんね?オリテスタ、眩  
し過ぎるよ!

令司達はエリザベスの船で1週間を過ごした。食料とかは問題な  
い。沢山ある。ハッスルやマツサージのし愛をして過ごす。いつも  
通りだ。部屋はぐちやぐちやだ。イチヤイチャするのを辞めない

他のみんな?それぞれ好き勝手に過ごしていた。介護?されてる  
みんなと百合ったんじゃない?鈴谷のように

と、というか?ユリネを連れて行く約束があったんじゃないの?連れ  
て来ないじゃん?いいのか?

「令司っちくく!瓦礫撤去終わったよくく!資材すんごい貯まったく  
く!建造を10回出来るくらいね!」

良い感じにエロい水着を着て瓦礫撤去をしていた熊野。報告書を  
谷間に挟んでいる。後ろに手を組んで近く

「熊野。撤去指示の長してくれてありがとね?」

あるええ?……マジ?建造ガチャ出来るの?ここの基地にそれっぽ  
いがあるって鳳翔から聞いたけど?」

「いいのいいの。エリザベスをコキ使うの楽かったし♪」

オリテスタが令司の背中から退いて熊野が抱きついて成分摂取を始めた。報告書は投げ渡した。オロチの谷間に挟まったが。令司は何も言わずに受け入れた

エリに対してそういった態度とか取れるの凄いわく。もしかしたらみんなもコキ使ってるのかも？

ピンポンピンポン。大正解。みんな良い感じにコキ使ってるよ。エリザベスは嬉しそうに受け入れてるよ！

「はい。貴方。報告書」

「そっかく。オロチ嬢。ありがと…」

オロチから貴方発言！実に良い！本当に瓦礫が資材に変わったよ。うだ。何周、周回すればいいのかわからん量を？どうなってんのさ？精鋭？の饅頭達が何かしたのかもしれないね？

「…んっ？どうした？熊野？」

「いやあ？建造ガチャするのかな？ってね？」

「んあ？ああ、するよ。廃墟基地の護衛でもして貰おうかなってね？」

「了解。そうそう。廃墟とはもう呼べないよ？」

「???どういことだい？」

廃墟とはもう呼べないのか…。建築でもしたんか？明石が張り切ったのだろうか？

満足するまで成分摂取が出来て背伸びをする熊野。そしてドヤ顔をキメる。キラ付けがされた

「見た方が良いよ♪ほあら、行こう？オロチとオリテスタも！」

「は、はいっ!?!」

椅子のまま持ち上げるのかくく？オロチ嬢も一緒とか…。やっぱスゲえ力だわ…。加減してくれて嬉しうね♪ありがと！

そうして、ドナドナされたのだった。オリテスタは頭に両手をつきながら廃墟だった基地へ向かう。1週間引きこもってたからね？良い運動になるね！

☆☆☆

「じゃ〜んっ！明石が饅頭達と一緒に張り切って建築しました〜  
！凄いいね〜！」

熊野が令司達を置いた後、腰に手をあてエツヘンする。手伝った事も伝えたが令司は聞こえてない。熊野も知ってた。という顔をした

「これはこれは…」

ラのつくホテルになってるではあ〜りませんかっっ！デツカいなあ〜!?あっ、オロチ嬢とオリテスタがモジモジしてる。何度もハッスルしたのを思い出したのか？

令司達の目の前にはピカピカの新築があった。外見が完全にあっは〜ん！うっふ〜んっ！である。どエロい専門の建物は存在しないのだ。快拳である。扉が開いて中からゾロゾロと出て来るのであった

「明石ったら凄いわ〜。これで満足するまでハッスル出来るわね♪危険な魚達は狩り尽くしたから他のカップル達も来れるわね♪」

「…ちよつと？咲希に早紀？くっつき過ぎよ？」

「サキユバスのコスプレをして誘ってるのが悪い〜！似合い過ぎ！抜いて貰ったのにおつきしちゃった〜」

「家族としてのスキンシップだよ〜！ローン様から連絡を入れられた時の絶望した顔、凄いいそそつて、キョんキョんしちゃった♪」

「そうだね〜！久しぶりに見たけど、暴れっぷりは健在だったね♪嬉しかったな〜！」

「ね〜っ♪♪♪」

「ちよつと?!その話はもういいじゃない！早紀！仕舞いなさい！」

「樫野さんのお陰で来れた〜！忘れられるんだもん…。ありがと〜」

「いえいえ。ユリネさん。母乳搾りありがとうございます♪いつもより良質なのが出ました♪」

「良かった♪美味しく飲んだわ。ありがとう」

「あっ、来たにゃ！」

「はあい。来たよ〜？」

明石にローンに咲耶にその姉妹の咲希と早紀?と、連れて来るのを忘れたユリネ。樫野が連れて来たんだね?ごめんね?ユリネは宙に浮きながら器用に樫野のを搾ってる…。凄いな…

咲耶の妹達、綺麗じゃないか!どっちもたわわに実ってる…。サキ、流石だよ…。ふむ?ついてるのが早紀か…。美味しそうじゃないか。エロいアイマスクはやっぱり付けるのね?お揃いだね?

サキユバスのコスプレ、最高に似合ってる。襲いたい!ありがとうございます!眼福!

「饅頭達と一緒に建てたにや!中の道具等はオロチの艦装達にや!解体するの楽かった♪ありがとにや!」

「そ、そうなの?艦装達も生まれ変わって良かったね?」

「はいにや!」

フンスフンスしてるよ…。オロチの両手を握ってブンブン振り回してる。優しい反応されて戸惑ってるね?優しくされるの慣れてないもんな?明石の頭撫でちゃう。よしよし

「にや〜♡幸せにや〜」

猫の尻尾を嬉しくブンブン振り回す。オロチはオリテスタに拘束された

「指揮官〜♡はああん♡」

明石の頭を撫で回しているとローンが背中に当てて抱きついてきた。いやらしい手付きで魔性の尻を揉む。ローンの顔はトロトロだ。チラリとオロチとオリテスタを見る令司。2人はハグをし愛っていた。1週間、令司の指揮でお互いの事を分かったのかも?

「セイレーンの上位種を完全性覇出来たね?おめでと♪」

「ありがと。…中の様子はどうぞ?」

「良いエロさよ?お1人夜戦をしたわ。ユリネの講座を聞いてね?」

「そっか…」

右耳が犯されて幸せだ〜♡うんうん。…抄ったんだね?

「中に入ってさ〜?ハッスルしようよ〜?遊びつくそうよ?もうね?平和になったんだし〜!ねえ?みんな?」

「うっ…。熊野…、最高♪」

令司の両胸を触る熊野。退けられた明石はクネクネダンスを披露している。令司達の後ろを見る熊野。令司はローンをおんぶして振り返ると？

「はいっ！男性様に初めてを捧げた後、指揮官とここで全力でイチヤイチャしたいと思います！連絡は入れたんで来ると思います。お願いします！」

オロチとオリテスタを案内していたKANISENがそうやって来た。他の拘束されていたみんなもお辞儀をしてくる。首筋にキスマークが付いているのがいた。犯人は鈴谷か？

「あ、はい。よろしくお願いします？」

みんなの左手を見ると指輪付けてるけどね？燃えるのかな？当然？女性指揮官でしようけど？おっ？急いで中に入っていく感じ？…んっ？

「初めまして。咲耶の妹の咲希・早紀だよ♪」

「初めまして。咲希。早紀。エロい挨拶をするんだね？最高だよ♪」

お互いの指揮官棒を触る挨拶をしてるんだぜ？どエロい咲耶の妹達も、どエロいのか。グへへ

「やった〜♪熊野さんの言う通り、中に入って遊ぼう♪初めてを貰ってね？痛くしてよね♡」

痛くして？マジか？逆転？してるからか？初めて言われたぞ？

「そう？遠慮なく行くね？咲耶お姉さんもパクつと行くね？」

「どうぞどうぞ♪中で準備して待ってますね♪楽しんで下さい♪」

「あっ！ちよっ?!令司様に挨拶を〜。きや〜っ?!力、強い!」

「うふふ…。みんなキヤイキヤイして中に入っていくわね？楽しくなるわね？」

「ふう…。そうだな。……………なあ？ローン？」

「んっ？何かしら？」

（お一人様夜戦の回数でも聞くのかしら？30回よ♡ユリネの食事になったわ。少ないけどね？報告書に書くように言おうかしら？）

「…ローン達を幸せに出来ているかい？色んな美女、美少女を引っ掛けまくってるクスだけどさ？」

「なんだ。そんな事。幸せよ♡（クズじゃないわよ。仕事じゃない）中でしつかり分かってよね？」

「そっか…。それなら良かった」

あゝ、痛気持ち良い…。声がなんとも言えない感じしてるね？

「フタ基地にもお邪魔して沢山成して貰わないとね♡元気ねえ？」

「…そうだね。熊野達が集めた資材を使って建造ガチャしてからハツスルするよ」

「あらそう？スタッフを呼ぶのね？了解。案内するわ」

令司はずつと前から聞きたかった事を聞いた。即答された。良かったじゃないか

そうして？建造ガチャをする為に建造機がある所へ手を繋いで行くのだった

令司はみんなから奉仕されて、幸せだよ♡という事を分からされる事を知らないのだった。令司が老衰するまでこうしたイチャイチャは続いたのだった

男女比の崩壊は、息子達や愛に飢えていた男性達のお陰で1:1に戻りつつあった

このラのつくホテルは性地として参考にされ、あちこちで似た建物が作られていったそうだ。めでたしめでたし